外典

目次

1st Esdras

最初のエスドラ

第 1 章

1 ヨシヤはエルサレムで主に過越の祭を執り行い、正月
の十四日に過越の食事をささげた。
2 祭司たちをその日の行程に従って定め、長い衣を着て
主の宮に着かせた。
3 そして彼はイスラエルの聖なる奉仕者であるレビ人た
ちに、彼らが主に身を捧げ、ダビデの子ソロモン王が建
てた家に主の聖箱を置くように言った。
4 そして言った、「あなたたちはもう箱を肩に担ぐこと
はできない。だから今、あなたの神、主に仕え、その民
イスラエルに仕え、家族や親族に倣って備えなさい。
5 イスラエルの王ダビデの定めに従い、またその子ソロ
モンの威光に従い、また、あなたがたの兄弟であるイス
ラエルの子らの前で奉仕するレビ人のあなたがたの家族
のいくつかの威厳に従って神殿に立たなければならな
い。、
6 過越の食事を順番にささげ、兄弟たちのためにいけに
えを用意し、モーセに与えられた主の戒めに従って過越
の食事を守りなさい。
7 そこでヨシヤは、そこで見つかった民に、三万頭の子
羊と子羊、そして三千頭の子牛を与えた。これらのもの
は王の小遣いの中から、約束どおり民、祭司、レビ人に
与えられた。
8 神殿の総督ヘルキアス、ザカリヤ、シエルスは、過越
の祭のために羊二千六百頭と子牛三百頭を祭司に与えた。
9 また、エコニアス、サマイアス、およびその弟ナタナ
エル、アサビアス、オキエル、ヨラムら数千人以上の隊
長は、過越の祭のために羊五千頭と子牛七百頭をレビ人
に与えた。
10 これらのことが終わると、祭司とレビ人は種なしパ
ンを持って、親族に従って非常に整然と立ち、
11 そして、モーセの書に書いてあるとおり、先祖たち
のいくつかの威厳に従って、民の前で主にささげ物をし
なければならなかった。朝、彼らはこのようにした。
12 そして、彼らは、前述したとおり、過越の食事を火
で焼き、犠牲については、真鍮の鍋やフライパンに良い
香りを付けて蒔いた。
13 それから彼らをすべての民の前に立たせた。その後、
彼らは自分たちと、祭司たちの兄弟であるアロンの子ら
のために準備をした。
14 というのは、祭司たちは夜まで脂肪をささげたので、
レビ人は自分たちのために備え、祭司たちは彼らの兄弟
であるアロンの子らに準備をさせた。
15 アサフの子らである聖なる歌を歌う者たちも、ダビ
デの任命に従って、アサフ、ザカリヤ、そして王の従者
エドトゥンの順序であった。
16 さらに、門番たちはすべての門にいました。 通常の
奉仕から離れることは誰にとっても合法ではありません
でした。彼らの兄弟のために、レビ人は彼らのために準
備しました。
17 その日、過越の祭を執り行うために、主のいけにえ
に属する事柄はこのようにして成し遂げられた。
18 そしてヨシヤ王の命令に従って、主の祭壇にいけに
えをささげなさい。
19 そこで、その場にいたイスラエルの人々は、その時
過ぎ越しの祭りと七日間の菓子パンの祭りを行った。
20 そして、預言者サムエルの時代以来、イスラエルで
はそのような過越の祭りは行われませんでした。
21 そうです、イスラエルのすべての王は、ヨシヤ、祭
司、レビ人、ユダヤ人がエルサレムに住んでいた全イス
ラエルに対して行ったような過越祭を行っていませんで
した。
22 ヨシヤの治世の十八年に、この過越の祭が守られま
した。
23 そしてヨシヤたちは敬虔な心をもって主の御前に正
しく立った。
24 彼の時代に起こったことについて言えば、その昔、
罪を犯した者たち、すべての民と王国を超えて主に対し
て悪事を行った者たち、そして彼らがいかに主を非常に
悲しませたかについて書かれていた。 主はイスラエル
に対して立ち上がった。
25 ヨシヤのこれらすべての行為の後、エジプト王ファ
ラオがユーフラテスのカルカミスで戦争を起こすために
やって来たので、ヨシアスは彼に対して出陣した。
26 ところが、エジプト王は人を遣わして、「ユダヤの
王よ、私とあなたと何の関係があるのですか」と言わせ
た。
27 私はあなたに対して神である主から遣わされたので
はありません。 私の戦争はユーフラテスにあるからで
す。そして今、主は私とともにおられます。そうです、
主は私とともにいて私を前進させています。私から離れ
て、主に逆らわないでください。
28 ところがヨシアスは、主の口から語られた預言者エ
レミの言葉を無視して、戦車を引き返さず、彼と戦おう
とした。
29 しかし、マジドの平原で彼と戦い、王子たちはヨシ
アス王に攻め入った。
30 そこで王は家来たちに言った、「私を戦いから連れ
去ってください。」 私はとても弱いからです。 そして
すぐに家来たちが彼を戦いから連れ去った。
31 それから彼は二番目の戦車に乗り上がった。 そして
エルサレムに連れ戻されて死亡し、父親の墓に埋葬され
た。
32 そして、全ユダヤ人がヨシアスの死を悼んだ、そう、
預言者エレミはヨシアスのことを嘆き、男たちと女たち
も今日に至るまで彼のために哀悼の意を表した。そして
これは全国民で継続的に行われる儀式として発布された。
イスラエルの。
33 これらのことは、ユダの王たちの物語の書に書かれ
ており、ヨシヤの行ったあらゆる行為、彼の栄光、主の
律法に対する彼の理解、および彼が以前に行ったこと、
そして今朗誦されている事柄は、イスラエルとユダヤの
王の書に報告されています。
34 そこで民はヨシアスの子ヨアカズを捕らえ、彼が二
十三歳のとき、父ヨシヤに代わって王とした。
35 そして彼はユダヤとエルサレムで三か月間統治した。
そしてエジプト王は彼をエルサレムの統治から追放した。
36 そして彼はその土地に銀百タラントと金一タラント
の税を課した。
37 エジプト王はまた、弟のヨアキム王をユダヤとエル
サレムの王とした。
38 そこで彼はヨアキムと貴族たちを縛ったが、弟のザ
ラセスを捕らえてエジプトから連れ出した。
39 ヨアキムがユダヤとエルサレムの地で王となったと
き、彼は五二十歳であった。 そして彼は主の前に悪を
行いました。

40 それで、バビロンの王ナブコドノソルが彼に向かっ
て来て、真鍮の鎖で彼を縛り、バビロンに連れて行った。
41 ナブコドノソルも主の聖なる器を取り上げて運び去
り、バビロンにある自分の神殿に置いた。
42 しかし、彼とその汚れと不敬虔について記録された
ことは、王たちの年代記に書かれている。
43 そして彼の息子ヨアキムが彼の代わりに王となった。
彼は十八歳で王となった。
44 そしてエルサレムで統治したのはわずか三か月と十
日であった。 そして主の前に悪を行いました。
45 そこで一年後、ナブコドノソルは人を遣わして、彼
を主の聖なる器物とともにバビロンに連れて行った。
46 そしてゼデキヤは一二十歳のとき、ユダヤとエルサ
レムの王となった。 そして彼は 11 年間統治しました。
47 そして彼は主の目にも悪を行い、預言者エレミが主
の口から彼に語った言葉を気に留めなかった。
48 そして、ナブコドノソール王が彼に主の名によって
誓わせた後、彼は自らを誓って反逆した。 そして首と
心をかたくなにして、イスラエルの神、主の律法を犯し
ました。
49 民の総督たちや祭司たちも律法に反する多くのこと
を行い、すべての国のあらゆる汚染を通過させ、エルサ
レムで聖化された主の宮を汚した。
50 それにもかかわらず、彼らの先祖の神は、彼らとそ
の幕屋を赦されたので、彼らを呼び戻すように使者を遣
わした。
51 しかし彼らは彼の使者たちをあざ笑った。 そして見
よ、主が彼らに語られた時、彼らは主の預言者をからか
った。
52 彼は、民のあまりの不敬虔さに憤りを感じて、カル
デアの王たちに彼らに向かって来るように命じた。
53 彼らは、彼らの若者たちを、いや、聖なる神殿の範
囲内でさえ、剣で殺し、若者も侍女も老人も子供も彼ら
の中から容赦しなかった。 彼はすべてを彼らの手に渡
したからだ。
54 そして彼らは、大小の主の聖なる器をすべて、神の
箱の器や王の宝物とともに取り、バビロンに運び去った。
55 主の家については、彼らはそれを焼き、エルサレム
の城壁を破壊し、その塔に火を放った。
56 そして、彼女の輝かしいものについては、彼らがす
べてを食い尽くして無に帰すまで絶えることはなかった。
そして、彼がバビロンに持って行った剣で殺されなかっ
た民も、
57 彼らは、ペルシア人が統治するまで、エレミの口か
ら語られた主の言葉を成就するために、彼とその子供た
ちに仕える者となった。
58 地がその安息日を享受するまで、その荒廃の全期間、
七十年の任期が終わるまで、彼女は休むであろう。

第 2 章

1 ペルシア人の王キュロスの元年、エレミの口で約束さ
れた主の言葉が成就するためであった。
2 主はペルシア人の王キュロスの霊を起こさせ、王国全
土に、また次のように書いて宣言した。
3 ペルシア人の王キュロスはこう言った。 イスラエルの
主、いと高き主は私を全世界の王とされました、
4 そして、ユダヤ人のエルサレムに家を建てるよう私に
命じました。
5 それゆえ、あなたがたの中に彼の民に属する者がいる
なら、主、すなわち彼の主が彼とともにおられ、ユダヤ
にあるエルサレムに上って、イスラエルの主の家を建て
させなさい。 エルサレムにお住まいの主です。
6 それで、周囲の場所に住んでいる者は、金や銀を持っ
ている、私が言う、彼の隣人である人たちに助けてもら
いましょう。
7 エルサレムの主の宮のために、誓いによって定められ
た贈り物、馬、牛、その他の物を携えて。
8 そこで、ユダヤの氏族とベニヤミン族の族長たちが立
ち上がった。 祭司たち、レビ人、そして主が上ってエ
ルサレムに主のための家を建てようと心に動かされたす
べての人々、
9 そして、彼らの周りに住んでいた人々は、銀や金、馬
や牛、そしてそのことに心を動かされた多くの人々から
の非常に多くの無償の贈り物によって、あらゆる面で彼
らを助けました。
10 キュロス王はまた、ナブコドノソルがエルサレムか
ら持ち去り、偶像の神殿に設置した聖なる器を持ち出し
た。
11 さて、ペルシア人の王クロスが彼らを連れ出したと
き、彼は彼らを財務官ミトリダテスに引き渡した。
12 そして彼らは、彼によってユダヤ総督サナバサルに
引き渡された。
13 その数はこれであった。 金の杯が千個、銀が千個、
香炉が銀が二十九個、金の小瓶が三十個、銀が二千四百
十個、その他の器が千個。
14 こうして運び去られた金と銀の器は全部で五千四百
三十九個であった。
15 これらはサナバサルによって捕囚の者たちとともに
バビロンからエルサレムに連れ戻された。
16 しかし、ペルシア人の王アルテクセルクセスの時代
には、ベレムス、ミトリダテス、タベリウス、ラトゥム
ス、ベエルテトムス、書記官セメリウス、およびサマリ
アその他の場所に住んでいる彼らと協力していた他の者
たちとともに、彼に反対の書簡を送った。 ユダヤとエ
ルサレムに住んでいた人たちには、次のような手紙が続
きます。
17 我らの主君アルテクセルクセス王、あなたの僕たち、
物語作家ラトゥムス、書記官セメリウス、およびその評
議会の残りの者たち、そしてケロスリアとフェニキアに
いる裁判官たちに。
18 王よ、あなたから私たちに向かって立ち上がったユ
ダヤ人たちが、あの反逆的で邪悪な都エルサレムに来て、
実際に市場を建て、その城壁を修復し、確かに都市の基
礎を築いたことを、王よ、今ではご存じのとおりです。
寺。
19 さて、もしこの町とその城壁が再び築かれたら、彼
らは貢納を拒否するだけでなく、王たちに反逆するだろ
う。
20 そして、神殿に関する事柄は現在手元にあるので、
そのような問題を無視することはできないと私たちは考
えています。
21 しかし、私たちの主君である王に、もしよろしけれ
ば、あなたの先祖たちの書物に調べていただけるよう、
次のように話してください。
22 そして、あなたはこれらのことについて書かれてい
ることを年代記に見つけ、その都市が反逆的であり、王
と都市の両方を悩ませていたことを理解するであろう。

23 また、ユダヤ人は反逆的で、国内で常に戦争を起こしていた。この街さえも荒廃したのはそのせいだ。
24 そこで、王なる主よ、私たちは今あなたに宣言します。この都市が再び建設され、その城壁が新たに築かれた場合、あなたは今後、ケロシリアとフェニキアに入ることができなくなります。
25 それから王は、このようにして、物語作者ラトゥムス、ベルテトモス、書記官セメリウス、その他の任務に就いている者たち、およびサマリア、シリア、フェニキアの住民に再び手紙を書いた。
26 私は、あなたがたが私に送ってくれた手紙を読みました。そこで、私は熱心に捜索するように命じましたが、その都市は初めから王たちに敵対する活動をしていたことが分かりました。
27 そして、そこにいた人々は反乱と戦争にさらされた。そして、エルサレムには強力な王たちと猛々しい者たちがいて、ケロシリアとフェニキアで統治し、貢物を徴収した。
28 そこで私は、あの人たちが町を建設するのを妨げるように命じました。
29 そして、その悪しき働き人たちがこれ以上王たちの迷惑にならないように、
30 それから、手紙を読まれていたアルテクセルクセス王、ラトゥムス、書記官セメリウス、および彼らと協力していた残りの者たちは、騎兵の一団と戦闘態勢を整えた多数の民とともに急いでエルサレムに向けて出発し、建設業者たちの妨害を始めた。; そしてエルサレムの神殿の建設は、ペルシア人の王ダリウスの治世の二年まで中止されました。

第 3 章

1 さて、ダレイオスが統治していたとき、彼は臣民全員、家族全員、そしてメディアとペルシャの君主たち全員に盛大な祝宴を開きました。
2 また、インドからエチオピアに至るまで、彼の配下にあった百二十七の州の総督、船長、副官たち全員に。
3 そして、食べたり飲んだりして満足して家に帰ったとき、ダリウス王は寝室に入って眠り、すぐに目を覚ました。
4 そこで、王の遺体を保管していた衛兵の三人の若者が互いに話し合った。
5 私たち一人一人に一文を語らせてください。勝利し、その判決が他の者よりも賢明であると思われる者には、ダリウス王は勝利のしるしとして偉大な贈り物と偉大なものを与えるでしょう。
6 紫の服を着て、金で飲み、金の上で眠り、金の手綱をつけた戦車、上質の亜麻布の頭飾り、そして首に鎖を巻いたのと同じである。
7 そして彼はその知恵の故にダリウスの隣に座り、彼のいとこダリウスと呼ばれるであろう。
8 それから、各自が自分の文章を書いて封をし、ダリウス王の枕の下に置いた。
9 そして、王がよみがえったら、ある者たちが王に書物を与えるであろう、と言いました。 そして、王とペルシアの三人の君主は、どちらの側の彼の判決が最も賢明であると判断するであろう、その者に、定められたとおり、勝利が与えられるであろう。
10 最初に書きました、ワインは最強です。
11 二人目は、「王は最強だ」と書きました。
12 三人目は、「女性は強い。しかし何よりも真実が勝利をもたらす」と書きました。
13 さて、王が起き上がると、彼らは彼らの文書を取り、王に届けたので、王はそれを読んだ。
14 そして彼はペルシャとメディアのすべての君主たち、総督、艦長、副官、副士官たちを呼び集めた。
15 そして彼を裁きの王座に座らせた。 そしてその文書が彼らの前で読まれた。
16 そこで彼は言った、「若者たちを呼んでください。そうすれば彼らは自分たちの判決を宣告するでしょう。」それで彼らは呼ばれて入ってきました。
17 そこでイエスは彼らに言った、「この文書についてのあなたの考えを私たちに告げてください。」 それから最初の人がワインの強さについて話し始めました。
18 そこで彼はこう言った、「皆さん、ワインはなんと強いのでしょう。」 それを飲むとすべての人が間違いを犯すことになります。
19 それは王と父のいない子の心を一つにする。 保証人も自由人も、貧しい人も金持ちも、
20 それはまた、あらゆる思いを陽気さと楽しさに変え、人は悲しみも負い目も思い出さないようにする。
21 そして、それはすべての心を豊かにするので、人は王も総督も覚えていません。 そしてそれは才能によってすべてを語るようになります。
22 そして、杯の中にいるとき、彼らは友人や兄弟への愛を忘れ、少し後に剣を抜きます。
23 しかし、ぶどう酒を飲むと、彼らは自分たちが何をしたのか覚えていない。
24 汝らよ、このように強制するワインが最も強いのではないか。 そして彼がそう言い終えると、彼は平静を保った。

第 4 章

1 そこで、王の力について話していた次男が言い始めた。
2 汝らよ、人間は海と陸とその中の万物を支配する力に優れているではないか。
3 しかし、王はさらに強力です。王はこれらすべてのものの主であり、それらを支配しているからです。 そして彼が彼らに命じることは何でも彼らは行います。
4 もし神が彼らに、一方と他方と戦争をせよと命令すれば、彼らはそれを実行する。 もし神が敵に対して彼らを派遣すれば、彼らは行って、山の壁や塔を打ち破る。
5 彼らは殺しても殺されても、王の命令に背いてはいけない。もし勝利を収めたら、戦利品も含めて、他のすべてのものを王にもたらす。
6 同様に、兵士ではなく、戦争に関係のない、夫としての働きをする者たちも、自分たちが蒔いたものを再び刈り取ると、それを王に持ってきて、王に貢物を納めるよう互いに強要する。
7 しかし、彼はただ一人の人です。彼が殺せと命令すれば、彼らは殺します。 彼が惜しまないように命令すれば、彼らは惜しまない。
8 もし彼が打てと命じれば、彼らは打つ。 もし彼が荒廃させるように命令すれば、彼らは荒廃する。 彼が建てるよう命令すれば、彼らは建てます。
9 彼が伐採せよと命じれば、彼らは伐採する。 彼が植えるよう命令すれば、彼らは植えます。

10 それで、彼の民と軍隊はみな彼に従い、さらに彼は
横になり、食べたり飲んだりして休息をとる。
11 そして、これらの人たちは彼の周りを監視しており、
誰も立ち去って自分の仕事をすることはできず、何事に
おいても彼に従わないことはありません。
12 汝らよ、王がこのような形で服従するとき、どうし
て最も強力であろうはずがないのか。 そして彼は口を
閉ざした。
13 それから、女のことと真理について話していた三人
目（これはゾロバベル）が話し始めた。
14 汝らよ、優れているのは偉大な王でも、群衆でもな
く、ワインでもない。 それでは、彼らを統治している
のは誰ですか、それとも彼らを支配しているのですか?
彼らは女性ではないのか?
15 女性は王と海と陸の統治を担うすべての民を担って
きました。
16 彼らのうちから彼らも来て、ぶどう園を植えた者た
ちに栄養を与え、そこからぶどう酒が生まれる。
17 これらは男性用の衣服も作ります。 これらは人々に
栄光をもたらします。 そして女性なしでは男性は存在
できません。
18 そうです、もし男性が金や銀、あるいはその他の良
いものを集めているなら、彼らは好意と美しさにおいて
美しい女性を愛さないのですか。
19 そして、それらすべてを手放しても、彼らは口を大
きく開け、口を開けても目をしっかりと彼女に向けませ
んか。 そして、男性は皆、銀や金、あるいはその他の
良いものよりも彼女に望むものではないでしょうか?
20 人は自分を育ててくれた父親と自分の国を離れ、妻
に固く結ばれます。
21 彼は生涯を妻と一緒に過ごさないことに固執してい
る。 そして父も母も国のことも覚えていない。
22 このことによって、あなたがたは、女があなたを支
配していることも知らなければなりません。あなたがた
は、労苦し、すべてを女に与え、与えているのではない
ですか。
23 そうだ、人は剣を取り、盗んだり盗んだり、海や川
を航海したりする。
24 そして、獅子を眺めて、暗闇の中を行きます。 そし
て、盗んだり、損なったり、盗んだりしたとき、彼はそ
れを自分の愛にもたらします。
25 ですから、人は父や母よりも妻を愛するのです。
26 そうです、女のために知恵を失い、女のために召使
いになった人がたくさんいます。
27 また、多くの人が女性のために命を落とし、過ちを
犯し、罪を犯しました。
28 それで、あなたがたは私を信じないのですか。 王は
その力において偉大ではないのか。 どの地域も彼に触
れるのを恐れるのではないでしょうか?
29 しかし、私は彼と、王の側室である立派なバルタカ
スの娘アパメが王の右に座っているのを見ました。
30 そして王の頭から冠を取り上げて、それを自分の頭
にかぶせた。 彼女はまた左手で王を殴りました。
31 それにも関わらず、王は口を大きく開けて彼女を見
つめた。彼女が彼を笑えば、彼も笑った。しかし、彼女
が彼に少しでも不満を抱いたなら、王は彼女が彼と和解
できるように、いとも簡単にお世辞を言った。 また。
32 あなたたちよ、女性がそのようにしているのを見る
と、女性は強くなければならないはずがありませんか。
33 そこで、王と君たちは顔を見合わせたので、彼は真
実を話し始めた。
34 男たちよ、女は強いではないか。 地は大きく、天は
高く、太陽の進路は速い。なぜなら、彼は天の周りを一
周し、一日のうちに再び自分の場所に進路を戻すからで
ある。
35 これらのものを作る人は偉大ではないでしょうか。
したがって、真理は偉大であり、すべてのものよりも強
いのです。
36 全地は真理を叫び、天は真理を祝福する。すべての
業は真理に震え、震える。真理とともに不正なことはな
い。
37 ぶどう酒も悪い、王も悪い、女も悪い、人の子らも
皆悪い、彼らの悪い行いはみなこれである。 そしてそ
れらの中に真実はありません。 彼らもその不義のゆえ
に滅びるであろう。
38 真理は永続し、常に強い。 それは永遠に生き続け、
征服されます。
39 彼女には、人や報酬を受け入れることはありません。
しかし、彼女は正しいことを行い、不当で邪悪なことを
すべて控えます。 そして、男性は皆、彼女の作品が好
きです。
40 彼女のさばきにはいかなる不義もない。 そして彼女
はあらゆる時代の強さ、王国、権力、そして威厳です。
真理の神に祝福あれ。
41 それで彼は平穏を保った。 すると民は皆叫び、「真
理は偉大であり、何よりも力強い」と言った。
42 そこで王は彼に言った、「文書に書いてあること以
上に何を望むのか尋ねなさい。そうすれば、それを与え
ましょう。あなたは最も賢いと思われるからです」。
そうすればあなたは私の隣に座り、私のいとこと呼ばれ
るでしょう。
43 それから彼は王に言った、「あなたの王国に来た日
にエルサレムを建てると誓ったあなたの誓いを思い出し
てください。
44 また、キュロスがバビロンを滅ぼすと誓ったときに
エルサレムから取り去った船をすべて送り返し、再びエ
ルサレムに送るためである。
45 あなたはまた、ユダヤがカルデア人によって荒廃さ
れたときにエドム人が焼き払った神殿を建設することを
誓いました。
46 そして今、王よ、これが私があなたに要求し、私が
あなたに望んでいることであり、これがあなた自身から
発せられる君主の寛大さです。したがって、私はあなた
が誓いを果たし、その誓いをあなたの口で履行すること
を望みます。 あなたは天の王に誓った。
47 それから、ダリヨス王は立ち上がって彼に口づけし、
すべての財務官、副官、船長、総督に宛てて、彼とエル
サレム建設のために彼と一緒に上っていくすべての人々
を無事に伝えるようにと手紙を書いた。 。
48 彼はまた、ケロシリアとフェニキにいる副官たち、
そしてリバノスにいる副官たちに、リバノスから杉材を
エルサレムに運び、彼と一緒に都市を建設するようにと
の手紙を書いた。
49 さらに彼は、自分の領土を出てユダヤ人となったす
べてのユダヤ人に向けて、彼らの自由に関して、将校も
統治者も副官も財務官も強制的に彼らの門に押し入って
はならない、と書き送った。

50 そして、彼らが保持するすべての国が貢物なしで自
由になるべきである。 そしてエドム人は、当時彼らが
所有していたユダヤ人の村を引き渡すべきであると主張
した。
51 そうだ、神殿の建設には、それが建てられるまで、
毎年二十タラントが与えられるべきである。
52 また、17 タラントをささげるという戒めがあったの
で、毎日祭壇に全焼のいけにえを維持するために、年に
10 タラントを加えた。
53 そして、都市を建設するためにバビロンから行った
すべての人たち、そして彼らの子孫、そして去ったすべ
ての祭司たちも自由を有するべきである。
54 彼は次のようにも書いている。 罪状と、彼らが奉仕
する際の司祭の祭服。
55 また、レビ人の罪も、家が完成し、エルサレムが建
てられる日まで、同様に与えられる。
56 そして彼は、町の年金と賃金を維持しているすべて
の人に与えるように命じた。
57 彼はキュロスが用意しておいたすべての器をバビロ
ンから送り出した。 そしてキュロスが戒めとして与え
たすべてのことは、彼にも行われるように命じられ、エ
ルサレムに送られた。
58 さて、この若者は出て行ったとき、エルサレムに向
かって天に顔を上げ、天の王を賛美した。
59 そして言った、「勝利はあなたから、知恵はあなた
から、栄光はあなたのものであり、私はあなたのしもべ
です。」
60 私に知恵を与えてくださったあなたは幸いです。私
たちの先祖の主よ、私はあなたに感謝します。
61 それで彼は手紙を受け取って出てバビロンに行き、
そのことを兄弟たち全員に話した。
62 そして彼らは、彼らに自由と自由を与えてくださっ
たので、先祖たちの神をたたえました。
63 上って行って、エルサレムとその名で呼ばれる神殿
を建て、彼らは音楽と喜びの楽器を持って七日間祝った。

第 5 章

1 この後、部族ごとに選ばれた家族の主要な人々が、妻、
息子、娘、下男、女中、家畜を連れて上って行った。
2 そこでダリヨスは、彼らをエルサレムに無事連れ戻す
まで、千人の騎兵を彼らに送り、楽器のタブレットとフ
ルートを持たせた。
3 それで、兄弟たちは皆遊んだので、イエスは彼らを一
緒に上らせた。
4 これらは、部族の中で、その家族に従って、その数人
の頭に従って上って来た人々の名前である。
5 祭司たち、アロンの子ピネスの子ら、ファレスの血族
のうち、ダビデの家に属するサライアスの子ヨセデクの
子イエスと、サラティエルの子ゾロバベルの子ヨアキム。
ユダ族。
6 ペルシアの王ダリウスの治世の二年目、ニサンの月、
つまり最初の月に、ダリウスの前で賢明な言葉を述べた
のは誰でしょうか。
7 これらは、バビロンの王ナブコドノソルがバビロンに
連れて行った、捕虜の状態から上がって来たユダヤ人で
あり、そこで異国人として住んでいた人々である。
8 そして彼らはエルサレムとユダヤ人の他の地域に戻り、
ゾロバベル、イエス、ネヘミヤ、ザカリア、レサイアス、
エネニウス、マルドケウスとともに来た者はみな自分の
町に帰った。 ベルサロス、アスファラスス、リーリウ
ス、ロイマス、バーナ、彼らのガイド。
9 国民とその総督、フォロスの子らの数は二千百七十二
人。 サファトの息子たち四百七十二人:
10 アレスの子らは七百五十六人。
11 パアト・モアブの子らは二千八百十二人。
12 エラムの子らは千二百五十四人、ザトゥルの子らは
九百四十五人、コルベの子らは七百五人、バニの子らは
六百四十八人、
13 ベバイの子らは六百二十三人、サダスの子らは三千
二百二十二人。
14 アドニカムの子らは六百六十七人、バゴイの子らは
二千六十六人、アディンの子らは四百五十四人、
15 アテレジアスの子らは九十二人、セイランとアゼタ
スの子らは三十七人、アズランの子らは四百三十二人。
16 アナニアの子らは百一人、アロムの子らは三十二人、
バッサの子らは三百二十三人、アゼフリテの子らは百二
人、
17 メテルスの子らは三千五人、ベトロモンの子らは百
二十三人。
18 ネトファの者は五十五人、アナトトの者は百五十八
人、ベトサモスの者は四十二人、
19 キリアティアリウスの者は二十五人、カフィラとベ
ロトの者は七百四十三人、ピラの者は七百人、
20 カディアスとアミドイの者は四百二十二人、チラマ
とガブデスの者は六百二十一人、
21 マカロンの人々、百二十二人、ベトリオスの人々、
五十二人、ニーフィスの息子たち、百五十六人、
22 カラモラルとオーノスの子らは七百二十五人、エレ
コスの子らは二百四十五人。
23 アンナスの子らは三千三百三十人。
24 祭司たち：サナシブの子らのうちイエスの子ジドゥ
の子ら九百七十二人、メルトの子ら千五十二人:
25 パサロンの子孫は千四十七人、カルメの子孫は千十
七人。
26 レビ人はエッサイ、カドミエル、バヌアス、スディ
アスの子ら七十四人。
27 聖なる歌を歌う者たち：アサフの子ら百二十八人。
28 門番たち：サルムの息子、ジャタルの息子、タルモ
ンの息子、ダコビの息子、テタの息子、サーミの息子、
全部で百三十九人。
29 神殿のしもべたち：エサウの子ら、アシパの子ら、
タバオトの子たち、セラスの子ら、スドの子たち、ファ
レアスの子ら、ラバナの子ら、グラバの子たち、
30 アクアの子孫、ウタの子孫、ケタブの子孫、アガバ
の子孫、スバイの子孫、アナンの子孫、カトゥアの子孫、
ゲドゥルの子孫、
31 アイルスの息子たち、ダイサンの息子たち、ノエバ
の息子たち、チェセバの息子たち、ガゼラの息子たち、
アジアの息子たち、ピネスの息子たち、アザレの息子た
ち、バスタイの息子たち、アサナの息子たち メアニの
息子たち、ナフィシの息子たち、アキュブの息子たち、
アシファの息子たち、アッシュルの息子たち、ファラキ
ムの息子たち、バサロテの息子たち、
32 メーダの子ら、コウタの子ら、カレアの子ら、カル
クスの子ら、アセレルの子ら、トモイの子ら、ナシテの
子ら、アティファの子ら。

33 ソロモンの家来の子らは、アザフィオンの子ら、ファリラの子ら、イエリの子ら、ロゾンの子ら、イスラエルの子ら、サフェトの子ら、
34 アヤの子ら、ファラカレトの子ら、サビの子ら、サロティの子ら、マシアスの子ら、ガルの子ら、アッドゥスの子ら、スバの子ら、アフェラの子ら、バロディスの子ら 、サバトの息子たち、アロムの息子たち。
35 神殿の奉仕者とソロモンの家臣の子らは全員三百七十二人であった。
36 これらはテルメレテとテレサスから来て、カラアタラルが彼らを率い、アラルが彼らを率いた。
37 彼らは、自分たちの家族にも、自分たちの家系にも、自分たちがどのようなイスラエル人であるかを示すことができなかった。すなわち、ラダンの息子、バンの息子、ネコダンの息子、六百五十二人である。
38 また祭司の職を奪ったが見つからなかった祭司のうち、オブディアの息子たち、アクコスの息子たち、バルゼルスの娘の一人アウギアと結婚し、彼の名にちなんで名付けられたアッドゥスの息子たちである。
39 そして、これらの人々の親族の記述が登録簿に求められたが見つからなかったので、彼らは祭司職の執行から外された。
40 というのは、ネヘミヤとアタリアスは、教義と真理を身につけた大祭司が立ち上がるまでは聖なる事柄にあずかるべきではない、と彼らに言ったからである。
41 それで、イスラエル人は十二歳以上で、その数は全員四万人、男従と女従を除くと二千三百六十人であった。
42 彼らの下男と侍女は七千三百四十七人、歌う男と歌う女は二百四十五人であった。
43 らくだ四百三十五頭、馬七千三十六頭、ラバ二百四十五頭、くびきに慣れている獣五千五百二十五頭。
44 そして、家族の長のある者たちは、エルサレムにある神の神殿に来たとき、自分の能力に応じて、自分の場所に再び家を建てることを誓った。
45 また、金千ポンド、銀五千ポンド、祭司の祭服百着を業の聖なる宝物庫に納める。
46 こうして祭司、レビ人、民がエルサレムと田舎に住み、歌い手たちも門番たちも住んだ。 そして村々にいるイスラエル人全員。
47 しかし、第七の月が近づき、イスラエルの人々がそれぞれの持ち場に集まったとき、彼らは全員一致して、東にある第一の門の開いた場所に来た。
48 それから、ヨセデクの子イエスとその兄弟たちの祭司たち、サラティエルの子ゾロバベルとその兄弟たちを立てて、イスラエルの神の祭壇を備え、
49 神の人モーセの書にはっきりと命じられているとおりに、その上に燔祭をささげなさい。
50 そして、その国の他の国々から彼らのもとに集められ、彼らは自分たちの場所に祭壇を築いた。なぜなら、国のすべての国々が彼らと敵対し、彼らを圧迫したからである。 そして彼らは時に従っていけにえをささげ、朝と夕に主に燔祭をささげた。
51 また彼らは、律法の定めに従って幕屋の祭りを開き、定められたとおりに毎日いけにえをささげた。
52 そしてその後、継続的な奉献、安息日、新月、そしてすべての聖なる祝日の犠牲が続いた。
53 そして、神に何らかの誓いを立てた者たちは皆、主の宮がまだ建てられていなかったにもかかわらず、第七の月の一日から神にいけにえをささげ始めた。
54 そして彼らは石工や大工たちに、お金と肉と飲み物を快く与えた。
55 ジドンとツロの人々にも、ペルシャの王キュロスの命令に従って、リバヌスから杉の木を山車でヨッパの安息所に運ぶよう、車を与えた。
56 そして、彼がエルサレムの神の宮に来てから二年二か月目に、サラティエルの子ゾロバベル、ヨセデクの子イエス、および彼らの兄弟たち、祭司、レビ人、およびすべての人々は出発した。 捕らわれの身からエルサレムに来なさい。
57 彼らはユダヤ人とエルサレムに来て二年目の第二の月の一日に神の家の基礎を据えた。
58 そして彼らは二十歳からのレビ人を主の業に任命した。 それから、イエスとその息子たちと兄弟たち、その兄弟カドミエルとマディアブンの息子たち、エリアドゥンの子ヨダの息子たち、その息子たちと兄弟たち、レビ人全員が一致してこの事業を進めて立ち上がった。神の家の業を前進させるために努力する。 そこで労働者たちは主の神殿を建てました。
59 祭司たちは祭服を着て、楽器とラッパを持って整列して立っていた。 アサフの子らレビ人はシンバルを持っていた。
60 イスラエルの王ダビデが定めたとおり、感謝の歌を歌い、主を賛美しなさい。
61 そして彼らは大声で主を賛美する歌を歌った。主の憐れみと栄光はイスラエル全土にとこしえにあるからである。
62 民はみなラッパを吹き鳴らして、大声で叫び、主の宮の栄えを主に感謝の歌を歌った。
63 また、祭司、レビ人、およびその家族の長たちのうち、前の家を見た古代人たちも、泣き叫びながらこの建物にやって来た。
64 しかし、多くの人がラッパを持って喜び、大声で叫んだ。
65 民の泣き声にラッパの音が聞こえないほどであったが、群衆の驚くべき響きは遠くまで聞こえた。
66 そこで、ユダ族とベニヤミン族の敵対者たちは、それを聞いて、そのラッパの音が何を意味するのかを知った。
67 そして彼らは、捕囚の者である自分たちがイスラエルの神、主のために神殿を建てたことに気づいた。
68 そこで彼らは、ゾロバベルとイエスと家族の長たちのところに行って、「私たちはあなたたちと一緒に建てます」と言った。
69 わたしたちも、あなたがたと同じように、あなたの主に従い、わたしたちをここに連れて来てくださったアッシリアの王アズバザレの時代から、主に犠牲をささげているからである。
70 そこでゾロバベル、イエス、およびイスラエルの家族の長たちは彼らに言った、「私たちとあなたたちが一緒に私たちの神、主のために家を建てることはできません。」
71 ペルシャの王キュロスが命じたとおり、わたしたちだけがイスラエルの主を建てるのです。
72 しかし、その地の異教徒たちはユダヤの住民に重くのしかかり、彼らを拘束し、彼らの建設を妨げた。
73 そして、彼らの秘密の陰謀と民衆の説得と騒動によって、キュロス王が生きている間ずっと、彼らは建物の

完成を妨害した。そのため、ダレイオスの治世までの二年間、建設が妨げられた。

第 6 章

1 さて、ダリウス・アゲウスとアッドの子ザカリアの治世の二年に、預言者たちは、ユダヤ人とエルサレムにいるユダヤ人たちに、イスラエルの神、主の御名によって預言した。
2 それから、サラティエルの子ゾロバベルとヨセデクの子イエスが立ち上がり、エルサレムに主の宮を建て始めた。主の預言者たちが彼らとともにいて、彼らを助けた。
3 同時に、シリアとフェニキアの総督シシンネスが、サトゥラブザネスとその仲間たちとともに彼らのところに来て、彼らに言った、
4 あなたがたは誰の任命によってこの家とこの屋根を建て、その他すべてのことを行っているのですか。 そして、これらの作業を行う労働者は誰ですか?
5 それにもかかわらず、ユダヤ人の長老たちは好意を得ました。主が捕虜を訪れられたからです。
6 そして、それらについての意味がダリウスに与えられ、答えが得られるまで、それらは建設を妨げられなかった。
7 シリアとフェニキアの総督シシンネスとサトゥラブザネスが、シリアとフェニキアの統治者であるその仲間たちとともに書いてダリウスに送った手紙の写し。 ダレイオス王に次のように挨拶します。
8 私たちの主である王にすべてのことを知らせてください。ユダヤの国に来てエルサレムの町に入ると、私たちはエルサレムの町で捕虜になっていたユダヤ人の古代人たちを見つけました。
9 主のために、切り出された高価な石と既に壁に張られた木材で大きくて新しい家を建てる。
10 そして、それらの仕事は非常に早く行われ、仕事は彼らの手で順調に進み、栄光と勤勉さをもって行われます。
11 それから、私たち長老たちに尋ねて言った、「あなたがたは誰の命令によってこの家を建て、これらの工事の基礎を築いたのですか」。
12 そこで、私たちはあなたに書面によって知識を与えようと、主な行為者が誰であるかを彼らに要求し、彼らの主要な人々の名前を書面で要求しました。
13 そこで彼らは、「わたしたちは天地を造られた主の僕です」と答えました。
14 この家はというと、何年も前に偉大で強いイスラエルの王によって建てられ、完成しました。
15 しかし、私たちの先祖たちが神の怒りを買い、天におられるイスラエルの主に対して罪を犯したとき、神は彼らをカルデアのバビロンの王ナブコドノソルの手に引き渡されました。
16 彼は家を取り壊し、焼き、捕虜となった民をバビロンに連れ去った。
17 しかしキュロス王がバビロンの国を統治した最初の年に、キュロス王はこの家を建てるために手紙を書きました。
18 また、ナブコドノソルがエルサレムの家から持ち去って自分の神殿に置いた金と銀の聖なる器は、王キュロスがバビロンの神殿から再び持ち出して、彼らに引き渡された。 ゾロバベルと統治者サナバサルスに、
19 同じ器物を運び去って、エルサレムの神殿に置くようにとの命令を与えた。 そして彼の代わりに主の神殿が建てられるべきであると。
20 それから、同じサナバサルスがここに来て、エルサレムに主の宮の基礎を据えた。 そしてそれから現在まで建物のままであり、それはまだ完全に終わっていません。
21 それで、もし王がよろしければ、キュロス王の記録を調べてみましょう。
22 そして、もしエルサレムの主の宮の建設がクロス王の同意を得て行われたことが判明し、もし我々の主である王がそのようにお考えなら、彼が我々にそのことを知らせてください。
23 そこでダリウス王に、バビロンの記録を探すように命じた。その結果、メディアの国にある宮殿エクバタンで、これらのことが記録された巻物が見つかった。
24 キュロス王の治世の最初の年、キュロス王は、エルサレムに主の宮を再び建て、そこで絶えず火を焚いて犠牲をささげるようにと命じた。
25 その高さは六十キュビト、幅は六十キュビト、切り石が三列、その国の新しい木材が一列ある。 そしてその費用はキュロス王の家から与えられる。
26 また、ナブコドノソルがエルサレムの家から持ち出してバビロンに持ち帰った、金と銀の主の宮の聖なる器物は、エルサレムの家に戻され、その場所に安置されるべきである。 彼らは以前にいました。
27 また彼は、シリアとフェニキアの総督シシンネス、サトゥラブザネスとその仲間たち、そしてシリアとフェニキアの統治者に任命された者たちに、その場所に干渉しないように注意し、その召使ゾロバベルを苦しめるよう命じた。 主よ、ユダヤの総督よ、ユダヤの長老よ、その場所に主の家を建ててください。
28 わたしはまた、それを再び完全に建て直すように命じました。 そして、主の宮が完成するまで、ユダヤ人の捕虜となった人々を熱心に助けるよう努めること。
29 また、ケロスリヤとフェニキの貢物の中から、主のいけにえとして、すなわち、雄牛、雄羊、子羊として総督ゾロバベルに捧げるために、その一部が慎重にこれらの者たちに与えられた。
30 また、トウモロコシ、塩、ぶどう酒、油も、エルサレムにいる祭司たちが日々費やすことを意味するように、それを問答無用で毎年継続的に与える。
31 それは、王とその子孫のためにいと高き神に捧げ物がささげられ、彼らが自分たちの命のために祈ることができるようにするためである。
32 そして彼は、違反した者、つまり、これまでに話したり書かれたことを軽視した者は、自分の家から木を抜き、その上で絞首刑に処し、王のために全財産を押収するようにと命じた。
33 それゆえ、そこに御名が呼び求められている主は、エルサレムの主の家を妨げ、あるいは損害を与えようと手を伸ばすすべての王と国民を徹底的に滅ぼすであろう。
34 わたしダリウス王は、これらのことに従って、それを熱心に行うよう命じた。

第 7 章

1 それから、ケロシリアとフェニキアの総督シシンネスとサトゥラブザネスは、その仲間たちとともに、ダレイオス王の戒めに従い、
2 古代のユダヤ人や神殿の総督を助けて、聖なる業を非常に注意深く監督しました。
3 こうして、預言者アゲウスとザカリヤが預言したとき、聖なる業は栄えた。
4 そして彼らは、イスラエルの神、主の命令と、ペルシャの王キュロス、ダリウス、アルテクセルクセスの同意を得て、これらのことを完成させた。
5 こうして聖なる家は、ペルシアの王ダリウスの第六年、アダルの月の三二十日に完成した。
6 また、イスラエルの子ら、祭司、レビ人、および捕虜として彼らに加えられた他の人々は、モーセの書に書かれているとおりに行った。
7 そして、彼らは主の宮の奉献に、雄牛百頭、雄羊二百頭、子羊四百頭をささげた。
8 また、全イスラエルの罪のために、イスラエルの部族の長の数に応じてやぎ十二頭。
9 祭司とレビ人も、モーセの書にあるとおり、イスラエルの神、主に仕えるために、親族に応じて祭服を着て立ち、門番もすべての門に立った。
10 捕因のイスラエル人は正月十四日に過越の祭を行い、その後祭司とレビ人は聖別された。
11 捕因の者たちは皆一緒に聖別されたわけではありませんが、レビ人は皆一緒に聖別されました。
12 そこで彼らは、捕らわれの者たち全員と、兄弟たちの祭司たちと、自分たちのために過越の食事をささげた。
13 そして、捕因から出てきたイスラエルの人々は、その地の民の憎むべきものから離れて主を求めた者たちをすべて食べた。
14 そして彼らは種なしパンの祭りを七日間執り行い、主の御前で喜び、
15 それは、彼がアッシリアの王の勧告を彼らに向けて、イスラエルの神、主の業において彼らの手を強めるようにしたからである。

第 8 章

1 これらの事の後、ペルシア人の王アルテクセルクセスが統治していたとき、サライアスの子、エゼリアの子、エゼリヤの子、サルムの子ヘルキヤの子エスドラスが来た。
2 サドゥクの子、アキトブの子、アマリアスの子、エジアスの子、メレモテの子、ザライアスの子、サビアスの子、ボッカスの子、アビソムの子、ピネスの子 祭司長アロンの子エレアザルの子。
3 このエスドラスは、イスラエルの神から与えられたモーセの律法を十分に備えて、律法学者としてバビロンから上って来ました。
4 そして王は彼に敬意を表した。なぜなら、彼はすべての願いの中で恵みを目にしたからである。
5 イスラエルの子らのうちの何人か、レビ人の祭司、聖なる歌い手、門番、神殿の奉仕者たちも彼と一緒にエルサレムに上った。
6 アルテクセルクセスの治世の第 7 年、第 5 の月、これは王の 7 年目でした。 彼らは主が彼らに与えられた豊かな旅に従って、正月の一日にバビロンを出てエルサレムに来たからである。
7 というのは、エスドラスは非常に優れた技術を持っていたので、主の律法と戒めを一切省略せず、全イスラエルに儀式と裁きを教えたからである。
8 さて、アルテクセルクセス王から書かれ、祭司で主の律法の朗読者であるエスドラスのもとに届いた任務の写しは次のとおりである。
9 アルテクセルクセス王は、祭司であり主の律法の朗読者であるエスドラスに次の挨拶を送ります。
10 わたしは、親切に対処する決意を固めたので、我が国の領土内にいるユダヤ人、祭司、レビ人のうち、喜んで望んでいる者は、あなたと一緒にエルサレムへ行くように命じました。
11 したがって、そのことに思いを寄せている人は、あなたと一緒に出発しましょう。それが私と私の七人の友人のカウンセラーにとって良いことのように思えたからです。
12 それは、彼らが主の律法の中にあることに同意して、ユダヤとエルサレムの事柄に目を向けるためである。
13 そして、私と私の友人たちと誓ったイスラエルの主への贈り物と、バビロンの国で見つけられるすべての金銀をエルサレムの主に携えて行きなさい。
14 また、エルサレムにある彼らの神、主の神殿のために民から与えられるもの、また、雄牛、雄羊、子羊およびこれらに付随する物のために銀と金が集められるようにするためである。
15 それは、彼らがエルサレムにある彼らの神、主の祭壇で主にいけにえをささげるためである。
16 また、あなたとあなたの兄弟たちが銀と金を使って行うことはすべて、あなたの神の御心に従って行うことである。
17 また、エルサレムにあるあなたの神の神殿を使用するためにあなたに与えられた主の聖なる器を、あなたはエルサレムのあなたの神の前にささげなければならない。
18 また、あなたの神の神殿の使用のために他に覚えておくべきものは何であれ、王の宝庫から差し出さなければならない。
19 そして、私アルテクセルクセス王はまた、シリアとフェニキアの宝の管理人たちに、祭司でありいと高き神の律法の朗読者であるエスドラスが送るものは何であれ、速やかに彼に与えるようにと命じた。
20 銀百タラント、小麦も同様に百コル、ぶどう酒百個、その他の物が豊富である。
21 いと高き神に、すべてのことを神の律法に従って熱心に行ないなさい。そうすれば、王とその子らの王国に怒りが来ないように。
22 また、あなたがたに命じます。祭司、レビ人、聖なる歌手、門番、神殿の奉仕者、あるいはこの神殿で活動する者に対して、税金やその他のいかなる賦課も求めないようにと、 誰も彼らに何かを課す権限を持っていないということ。
23 そして、エスドラスよ、あなたは神の知恵に従って裁判官と裁判官を任命し、シリアとフェニキアの全土であなたの神の法を知っているすべての人を裁くことができるようにしてください。 そしてそれを知らない人には教えてください。
24 そして、あなたの神と王の律法に違反する者は、死、その他の刑罰、金刑、投獄など、厳しく罰せられるであろう。

25 そこで律法学者エスドラスは言った、「わたしの先
祖の中で唯一の主なる神がほめたたえられますように。
神はエルサレムにある王の家を讃えるために、これらの
ことを王の心に入れてくださいました。
26 そして、王とその側近たち、そして彼の友人たちと
貴族たち全員の前で私を尊敬してくれました。
27 そこで、わたしはわたしの神、主の助けによって励
まされて、一緒に上っていくためにイスラエルの人々を
集めた。
28 そして、アルテクセルクセス王の治世に私と一緒に
バビロンから上ってきた者たちは、その家族による首長
と数名の高名な者たちである。
29 ピネスの子らではゲルソン、イタマルの子らではガ
マエル、ダビデの子らではセケニアスの子レトス、
30 ファレズの息子のうちではザカリヤ。 そして彼と一
緒に百五十人の男がいたと数えた。
31 パハト・モアブの子らのうち、ザライアスの子エリ
アオニアスと、彼とともにいた兵二百人は、
32 ザトエの子らのうちでは、イゼルスの子セケニアス
と彼とともに三百人、アディンの子らのうちでは、ヨナ
タンの子オベテと彼とともに二百五十人。
33 エラムの子らのうちでは、ゴトリアスの子ヨシヤと、
彼とともに七十人。
34 サファテヤの子らのうち、ミカエルの子ザライアス、
および彼とともにいた男三十人と十人。
35 ヨアブの子らのうち、イゼルスの子アバディアスと
彼とともにいた者は二百十二人。
36 バニドの子らの中では、ヨサフィアスの子アサリモ
テ、および彼とともに百三十人。
37 バビの子らのうちでは、ベバイの子ザカリヤと、彼
とともにいた男二十八人。
38 アスタテの子孫のうち、アカタンの子ヨハネスと彼
とともに百十人はいる。
39 アドニカムの最後の子らのうち、その名は次のとお
り、エリファレト、ジュエル、サマイアス、および彼ら
とともにいた者は七十人である。
40 バゴーの息子のうちでは、イスタルクルスの子ウテ
ィと彼とともに七十人。
41 そこで私はこれらの人々をテーラスという川に集め、
そこで三日間天幕を張った。それから私は彼らを観察し
た。
42 しかし、そこには祭司もレビ人も誰もいないのを見
つけたとき、
43 それから私はエレアザル、イドゥエル、マスマンの
ところに遣わした。
44 また、アルナタン、ママイアス、ヨリバス、ナタン、
ウナタン、ザカリヤ、モソラモン、主な者であり学識者
である。
45 そこで私は、彼らに、宝物庫の代わりにいる船長サ
デウスのところに行くように言いました。
46 そして彼らに、ダデオとその兄弟たち、そしてその
場所にいる財務官たちに話し、主の宮で祭司の職を執行
できるような人たちを私たちに送るようにと命じた。
47 そして彼らは、わたしたちの主の力強い御手によっ
て、イスラエルの子レビの子モリの子らのうちの熟練し
た者たち、アセベビアとその息子たち、およびその兄弟
たち十八人をわたしたちに連れてきた。
48 カヌネウスとその子孫のうち、アセビア、アンヌス、
およびその弟オサイアスは二十人であった。
49 また、ダビデが任命した神殿のしもべたち、および
レビ人に奉仕する主な者たちのうち、神殿のしもべ二百
二十名、その名は目録に示されていた。
50 そこで私は、主の御前で若者たちに断食を誓い、私
たちと私たちと一緒にいた人々、子供たち、そして牛た
ちのために、豊かな旅を主に願うことを誓った。
51 というのは、私は恥ずかしくて王に、私たちの敵か
ら守るための歩兵や騎兵、そして行動を尋ねたからです。
52 というのは、私たちは王に、私たちの神、主の力が
彼を求める者たちとともにあり、あらゆる面で彼らを支
えてくださるはずだと告げたからです。
53 そして再び私たちは、これらの事柄に触れてくださ
るよう主にお願いしたところ、主が私たちにとって好意
的であることが分かりました。
54 それから、わたしは祭司長エセブリアスとアサニヤ
のうち十二名と、彼らの兄弟十名を引き離した。
55 そこでわたしは、王とその議会と君たちと全イスラ
エルが与えた、金と銀と、わたしたちの主の宮の聖なる
器の重さを量った。
56 それで、私はその重さを量ってから、銀六百五十タ
ラント、銀の器百タラント、金百タラントを彼らに渡し
ました。
57 また、金の器二十個と、金のように輝く青銅の器、
それも上質な黄銅でできた十二個の器があった。
58 そこでわたしは彼らに言った、「あなたがたはどち
らも主に対して聖なるものであり、器物も聖なるもので
ある。金と銀はわたしたちの先祖の主である主への誓い
である。」
59 あなたがたは目を覚まして、エルサレムにいる祭司
長とレビ人、およびイスラエルの家族の主要な者たちに、
わたしたちの神の宮の間へ引き渡すまで、これを保管し
なさい。
60 そこで、銀、金、器物を受け取った祭司とレビ人は、
それらをエルサレムの主の宮に運び込んだ。
61 そして、私たちは正月の十二日にテーラス川を出発
し、私たちとともにおられた主の力強い御手によってエ
ルサレムに着きました。そして私たちの旅の初めから、
主は私たちをあらゆる敵から救い出してくださいました。
私たちはエルサレムに来ました。
62 私たちがそこにいて三日が経ったとき、計量された
金銀は四日目に主の宮でイリの子祭司マルモスに届けら
れた。
63 また、ピネスの子エレアザルも一緒で、レビ人であ
るイエスの子ヨサバドとサバンの子モテも一緒だった。
すべて彼らは、数と重さによって引き渡された。
64 そして、それらの重量はすべて同じ時間に記録され
た。
65 さらに捕らわれの地から出てきた者たちは、イスラ
エルの神、主に、全イスラエルのために雄牛十二頭、雄
羊四十頭と十六頭のいけにえをささげた。
66 子羊三頭と十二頭、和解のいけにえの山羊十二頭。
それらはすべて主への犠牲です。
67 そして彼らは王の命令を王の家令たちとケロシリア
とフェニキアの総督に伝えた。 そして彼らは人々と神
の神殿を尊重しました。
68 さて、これらのことが終わったとき、支配者たちが
わたしのところに来て言った。
69 イスラエルの国民、君たち、祭司、レビ人は、その
地の異邦人、つまりカナン人、ヒッタイト人、フェレシ

人、エブス人、モアブ人といった異邦人の汚染を彼らから遠ざけなかった。 エジプト人とエドム人。
70 なぜなら、彼らもその息子たちも娘たちと結婚しており、聖なる種はこの地の見知らぬ人々に混じっているからである。 そして、この問題の初めから、支配者や偉人たちはこの不法行為に加わってきました。
71 そして、これらのことを聞くとすぐに、私は服と聖なる衣服を引き裂き、頭から髪の毛とひげを引き抜き、悲しくてとても重い気持ちで私を座らせました。
72 そこで、イスラエルの神、主の言葉に心を動かされた人々はみな、私が咎を嘆いている間、私のもとに集まった。しかし、私は夕方のいけにえの時まで、体が重くてじっと座っていた。
73 それから、断食から立ち上がって、服も聖衣も裂けて、膝をかがめ、両手を主に差し伸べた。
74 私は言いました、「主よ、私はあなたの面前で当惑し、恥じています。
75 なぜなら、私たちの罪は頭上で増し、私たちの無知は天にまで達しているからです。
76 私たちは先祖の時代からずっと、今日に至るまで大きな罪を犯し続けています。
77 そして、わたしたちの罪と先祖のゆえに、わたしたちは兄弟たち、王たち、祭司たちとともに、地の王たちに、剣に、捕虜に、そして恥ずべき獲物として、今日に至るまで引き渡されました。
78 そして今、主よ、あなたからある程度の憐れみが私たちに示されています。あなたの聖所の場所に私たちに根と名前が残されるように。
79 そして、私たちの神、主の宮に光を見出し、私たちの奴隷の時に食物を与えてくださいます。
80 そうです、私たちが奴隷にされていたときも、私たちは主から見捨てられませんでした。 しかし、彼は私たちをペルシャの王たちの前で親切にして、彼らが私たちに食べ物を与えてくれました。
81 そうだ、そして私たちの主の神殿を敬い、荒廃したシオンをよみがえらせ、彼らは私たちにユダヤ人とエルサレムに確実に住むことを与えてくれた。
82 さて、主よ、これらのことを持って、私たちは何と言うでしょうか。 私たちは、あなたがあなたのしもべ預言者の手によってこう言われたあなたの戒めに背いたからです。
83 あなたがたが遺産として所有するために立ち入ったその土地は、その土地のよそ者たちの汚染で汚染された土地であり、彼らはそこを自分たちの汚れで満たしたのである。
84 したがって、あなたがたは今、自分の娘を自分の息子に連れて行ってはならず、自分の娘を自分の息子に連れて行ってはならない。
85 さらに、あなたがたは、強くなって、その土地の良いものを食べ、その土地の相続財産を永遠に子供たちに残すために、彼らと平和を築こうと決して求めてはならない。
86 そして、私たちに降りかかるすべてのことは、私たちの邪悪な行いと大罪のために行われます。 主よ、あなたは私たちの罪を軽くしてくださいました。
87 そして、私たちにそのような根を与えてくれました。しかし、私たちはあなたの律法に違反し、国の諸国民の汚れと交わるために再び後戻りしました。
88 あなたは、私たちに根も種も名前も残さないまで、私たちを滅ぼすために怒らないでしょうか?
89 イスラエルの主よ、あなたは真実です。今日、私たちは根を残しています。
90 見よ、私たちは今、あなたの前で不法行為を行っています。これらの事柄のせいで、私たちはあなたの前にこれ以上立っていることができません。
91 そして、エスドラスが祈りの中で告白をし、神殿の前の地面に横たわり、泣きながら告白したとき、エルサレムから非常に多くの男女や子供たちが彼のところに集まった。群衆の中で大泣きしたからである。
92 そこで、イスラエルの子らの一人、ジェロスの子エコニアスが大声で言った、「エスドラスよ、わたしたちは主なる神に対して罪を犯し、この地の諸国民の見知らぬ女たちと結婚した。そして今、全イスラエルは高揚している」。
93 主に誓いましょう。異教徒から奪った妻たちをみな、その子供たちとともに離別します。
94 あなたが定めたように、多くの人は主の律法に従います。
95 立ち上がって、処刑に臨め。この問題はあなたに関係しているのだから、私たちはあなたとともにいる。勇敢に行動しなさい。
96 そこでエスドラスは立ち上がり、全イスラエルの祭司長とレビ人に、これらのことを行うことを誓約した。そしてそう彼らは誓います。

第 9 章

1 それから、エスドラスは神殿の中庭から起きて、エリアシブの子ヨアナンの部屋に行った。
2 そしてそこに留まり、肉も食べず、水も飲まず、群衆の大きな咎を嘆いた。
3 そして、全ユダヤ人とエルサレムで、捕虜となっているすべての人々に向けて、エルサレムに集められるようにという布告があった。
4 また、統治する長老たちが任命したとおり、二、三日以内にそこに集まらなかった者は、その家畜を捕らえて神殿の使用に供し、自分自身も捕らわれの者たちから追い出されるであろう。
5 そして三日後の第九の月の二十日に、ユダ族とベニヤミン族の者は皆エルサレムに集まった。
6 そして群衆は皆、この悪天候のために神殿の広い庭に震えながら座っていた。
7 そこでエスドラスは立ち上がって彼らに言った、「あなた方は律法を犯して見知らぬ妻と結婚し、それによってイスラエルの罪を増大させた。」
8 そして今、告白することによって、私たちの先祖の神、主に栄光を帰しましょう。
9 そして神の御心を行い、その地の異教徒や見知らぬ女たちから身を離しなさい。
10 それから、群衆はみな叫び、大声で言った、「あなたが言ったように、私たちもそうしましょう」。
11 しかし、人が多く、天気も悪く、私たちはそれなしでは立っていられず、これは一日や二日の仕事ではないので、これらのことにおける私たちの罪は遠くまで広がっているのがわかります。

12 それゆえ、群衆の支配者たちは留まり、私たちの居
住地に住む見知らぬ妻がいる者はみな、定められた時に
来なさい。
13 そして、各地の支配者や裁判官たちも彼らとともに、
この問題に対する主の怒りを私たちから遠ざけるまでは。
14 そこでアザエルの子ヨナタンとテオカヌスの子エゼ
キアスがこの問題を彼らに引き受けたので、モソルラム
とレヴィとサバテウスが彼らを助けた。
15 そして、捕らわれの者たちはこれらすべてのことを
行った。
16 そこで祭司エスドラスは、彼らの家族の主要な者た
ちを全員名前を挙げて彼に選び、十月の一日、彼らは問
題を調べるために一緒に座った。
17 こうして、見知らぬ妻たちを抱えた彼らの大義は、
第一の月の一日に終焉を迎えた。
18 そして、集まってきた祭司たちのうち、見知らぬ妻
を持っていた者たちの中には、次のような人たちがいた。
19 イエスの子らの中ではヨセデクの子とその兄弟たち。
マテーラスとエレアザル、ヨリブスとヨアダヌス。
20 そこで彼らは、自分たちの過ちを償うために妻を離
し、雄羊をささげるために手をささげた。
21 エメルの子らからも。 アナニア、ザブデウス、エア
ネス、サミウス、ヒエレエル、アザリア。
22 パイスルの子らからも。 エリアナス、マッシアス・
イスラエル、ナタナエル、オシデルス、タルサス。
23 レビ人についても。 ヨザバド、セミス、カリタスと
呼ばれたコリウス、パテウス、ユダ、ヨナス。
24 聖なる歌手のうち。 エレアズルス、バッチュルス。
25 ポーターのうち。 サラムスとトルバネス。
26 イスラエルの人々のうち、フォロスの子孫のうち。
ヒエルマス、エディアス、メルキアス、マエルス、エレ
アザル、アシビアス、バーニアス。
27 エラの子らのうち。 マタナアス、ザカリア、ヒエリ
ロス、ヒエレモス、アイディアス。
28 ザモテの子らからも。 エリアダス、エリシムス、オ
トニアス、ヤリモス、サバトゥス、そしてサルデウス。
29 ババイの子らのうち。 ヨハネス、アナニア、ヨサバ
ド、アマタイス。
30 マニの子らのうち。 オラムス、マムコス、ジェデウ
ス、ヤスバス、ジャサエル、ヒエレモス。
31 アディの息子たちからも。 ナアス、ムーシアス、ラ
クヌス、ナイドゥス、マタナアス、セステル、バルヌウ
ス、マナセアス。
32 アンナスの子らからも。 エリアナス、アセアス、メ
ルキアス、サッベウス、シモン・コサメウス。
33 アソムの子らからも。 アルタネウス、マティアス、
バナイア、エリファレト、マナセス、セメイ。
34 マアニの子らからも。 エレミアス、モンディス、オ
マエロス、ジュエル、マブダイ、ペリアス、アノス、カ
ラバシオン、エナシブス、マンニタナイムス、エリアシ
ス、バンヌス、エリアリ、サミス、セレミアス、ナサニ
アス、そしてオゾラの息子たち。 セシス、エスリル、
アザエルス、サマトゥス、ザンビス、ヨセフス。
35 エトマの子らからも。 マジティアス、ザバダイアス、
エデス、ジュエル、バナイアス。
36 この人たちは皆、見知らぬ妻をめとって、子供たち
とともに離別した。
37 祭司とレビ人、およびイスラエル人は、第七の月の
一日にエルサレムとその地方に住んでいた。イスラエル
の子らも彼らの住居にいた。
38 そして群衆は皆、一致団結して、東の方にある聖な
る玄関の広い場所に集まった。
39 そこで彼らは、祭司であり朗読者でもあるエスドラ
スに、イスラエルの神、主から与えられたモーセの律法
を持ってくるよう言った。
40 そこで祭司長エスドラスは、第七の月の一日に、男
から女までの群衆とすべての祭司に律法をもたらし、律
法を聞くようにした。
41 そして彼は、朝から正午まで、聖なる玄関前の広い
庭で、男女の前で朗読をした。 そして群衆は律法を守
りました。
42 そして、祭司で律法の朗読者であるエスドラスは、
そのために作られた木の説教壇に立った。
43 そして、マタティア、サンムス、アナニア、アザリ
ア、ウリアス、エゼキアス、バラサムが彼の右側に立ち、
44 そして彼の左手には、ファルダイオス、ミサエル、
メルキアス、ロサスブス、ナバリアスが立っていた。
45 それからエスドラスは群衆の前に律法の書を持って
行った。彼は皆の目の前で堂々と先頭に座っていたから
である。
46 そして彼が律法を開くと、彼らは皆まっすぐに立っ
た。 そこでエスドラスは、いと高き神、万軍の神、全
能の神、主を祝福しました。
47 すると民はみな、「アーメン」と答えた。 そして手
を上げて地に伏し、主を礼拝した。
48 また、レビ人のイエス、アヌス、サラビア、アディ
ヌス、ヤクブス、サバテアス、アウテアス、マイアネア
ス、カリタス、アスリアス、ヨザブドス、およびレビ人
のアナニア、ビアタスも主の律法を教え、彼らにそれを
理解させた。
49 そこでアタラテスは祭司長エスドラスに言った。 と
読者、そして群衆、さらにはすべての人に教えたレビ人
に向かって、こう言いました。
50 この日は主にとって聖なる日である。（彼らは皆、
律法を聞いて泣いたからです:)
51 それで、行って、脂肪を食べ、甘いものを飲み、何
も持たない人たちに一部を送りなさい。
52 この日は主にとって聖なる日だから、悲しんではい
けない。 主があなたに名誉を与えてくださるからです。
53 そこでレビ人は、すべてのことを民に告げて言った、
「今日は主にとって聖なる日である。 悲しまないでく
ださい。
54 それから彼らは出発し、みな食べたり飲んだりして
騒ぎ、何も持っていない者たちに分け与え、大いに歓声
を上げた。
55 彼らは、自分たちが教えられた言葉と、そのために
集められた言葉を理解していたからである。

2nd Esdras

セカンドエスドラス

第 1 章

1 預言者エスドラスの第二の書、サライアスの子、アザリ
アの子、ヘルキアスの子、サダミアス、サドクの子、アキ
トブの子、
2 アキアスの子、ピネスの子、ヘリの子、アマリアの子、
アジエイの子、マリモスの子、アルナの子、オジアスの子、
ボリスの子、アビセイの子 ピネスの息子、エレアザルの息
子、
3 レビ族のアロンの子。 ペルシアの王アルテクセルクセス
の治世にメディアの地で捕虜となった者である。
4 すると、主の言葉がわたしに臨んで、こう言われた。
5 あなたの道を行き、彼らの罪深い行為を私の民に、そし
て彼らの子供たちに彼らが私に対して行った悪を見せてく
ださい。 彼らが自分の子供の子供たちに次のように伝える
ことができるように。
6 それは、彼らの先祖たちの罪が彼らのうちに増大したか
らである。彼らはわたしを忘れ、奇妙な神々に捧げ物をし
たからである。
7 彼らをエジプトの地、奴隷の家から導き出したのは私で
はないでしょうか。 しかし、彼らは私の怒りを引き起こし、
私の勧告を軽蔑しました。
8 あなたの頭の髪の毛を引き抜き、すべての悪を彼らに投
げつけなさい。彼らはわたしの律法に従わなかったが、反
逆的な民だからである。
9 わたしは彼らにこれほど善いことをしたのに、いつまで
耐えなければならないだろうか。
10 わたしは彼らのために多くの王を滅ぼした。 ファラオ
とその家臣たち、そしてその力のすべてを私は打ちのめさ
れました。
11 わたしはすべての国々を彼らの前で滅ぼし、東ではテュ
ロスとシドンの二州の民をも散らし、彼らの敵をすべて殺
した。
12 そこで、あなたは彼らに向かって言いなさい、「主はこ
う言われる。
13 わたしはあなたを海に導き、初めに広くて安全な道を与
えました。 わたしはあなたにモーセを指導者として、アロ
ンを祭司として与えました。
14 わたしはあなたたちに火の柱で光を与え、あなたたちの
間で大きな不思議を行った。 それでもあなたがたはわたし
を忘れたのか、と主は言われる。
15 全能の主はこう言われる、「うずらはあなたへのしるし
だった。」 私はあなたの安全のためにあなたたちにテント
を与えました。それにもかかわらず、あなたたちはそこで
つぶやきました、
16 そして、あなたがたの敵を滅ぼすために私の名において
勝利したのではなく、今日に至るまでまだつぶやいている
のです。
17 わたしがあなたがたのためにした益はどこにありますか。
あなたがたが荒野でお腹が空いて喉が渇いたとき、私に叫
ばなかったのですか。
18 言う、「なぜあなたは私たちを殺すためにこの荒野に連
れて行ったのですか。」 私たちにとって、この荒野で死ぬ
よりは、エジプト人に仕えた方が良かったのです。
19 それで、私はあなたがたの悲しみを憐れんで、あなたが
食べるマナを与えたはずです。 それであなたがたは天使の
パンを食べたのです。
20 あなたがたが渇いたとき、私が岩を割ると、水が流れ出
てあなたが満たされたではありませんか。 暑さのため、木
の葉であなたを覆いました。
21 わたしは、あなたがたの間に実り豊かな地を分け、カナ
ン人、フェレジ人、ペリシテ人をあなたの前から追い出し
た。あなたがたのために、これ以上何をしてあげようか。
と主は言われます。
22 全能の主はこう言われる、「あなたがたが荒野、アモリ
人の川で渇き、わたしの名を冒涜していたとき、
23 わたしはあなたの冒涜のゆえに火を与えず、水の中に木
を投げ、川を甘くした。
24 ヤコブよ、わたしはあなたに何をしたらよいでしょうか。
ユダ、あなたは私に従わないでしょう。私は私を他の国々
に向けます、そしてそれらに私の名前を与えて、彼らが私
の法令を守るようにします。
25 あなたがたがわたしを見捨てたのを見て、わたしもあな
たがたを見捨てます。 あなたがたが私に慈悲深くあってほ
しいと望むなら、私はあなたに慈悲を加えません。
26 あなたがたがわたしを呼び求めても、わたしはあなたの
言うことを聞きません。あなたがたは手を血で汚し、足は
急いで殺人を犯したからです。
27 あなたがたは、いわば私を見捨てたのではなく、あなた
がた自身を見捨てたのである、と主は言われる。
28 全能の主はこう言われる、「わたしは、息子たちの父親
として、娘たちの母親として、幼い乳母としてあなたに祈
ったではないか。
29 それは、あなたがたがわたしの民となり、わたしがあな
たの神となるためです。 あなたたちが私の子供になり、私
があなたの父親になるということでしょうか?
30 わたしは、鶏が羽の下に鶏を集めるように、あなたたち
を集めました。しかし、さて、あなたたちに何をすればよ
いでしょうか。 あなたを私の顔から追い出します。
31 あなたがたがわたしにささげるなら、わたしはあなたか
ら顔を背けます。あなたの厳粛な祝日も、新月も、あなた
の割礼も、わたしは捨てたのです。
32 わたしはわたしのしもべである預言者たちをあなたがた
に遣わしたが、あなたがたが彼らを捕えて殺し、その体を
引き裂いたので、わたしはその血をあなたの手から求める、
と主は言われる。
33 全能の主はこう仰せられる、「あなたの家は荒れ果てて
いる。風の刈り株のように、わたしはあなたを追い出す。」
34 そしてあなたの子供たちは実を結ばないでしょう。 彼
らは私の戒めを軽蔑し、私の前で悪であることを行ったか
らです。
35 あなたの家を、来るべき民に与えます。 まだ私のこと
を聞いたことがない人は私を信じるでしょう。 私が彼らに
何もしるしを示さなかったにもかかわらず、彼らは私が彼
らに命じたことを実行するでしょう。
36 彼らは預言者を見たことがありませんが、彼らは自分た
ちの罪を思い出させ、それを認めるでしょう。
37 わたしは、来たるべき民の恵みを証しするつもりです。
彼らの幼い者たちは喜んでいます。そして、彼らはわたし
を肉の目で見たわけではありませんが、霊においてはわた
しの言うことを信じています。
38 さて、兄弟よ、見よ。何という栄光でしょう。 東から
来た人々を見てください。
39 わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブ、オセアス、ア
モス、ミカイア、ヨエル、アブディアス、ヨナスを指導者
として与えよう。
40 ナホム、アバカク、ソフォニアス、アゲウス、ザカリヤ、
そして主の天使とも呼ばれるマラキ。

第 2 章

1 主はこう言われる、「わたしはこの民を奴隷の状態から
導き出し、預言者である下僕たちによって彼らにわたしの
戒めを与えた。 彼らは聞く耳を持たず、私の忠告を軽蔑し
ました。
2 彼らを産んだ母親は彼らに言った、「子供たちよ、行き
なさい。あなたがたは行きなさい。」 私は未亡人であり、
見捨てられた者だからです。
3 私は喜んであなたを育てました。 しかし、悲しみと重さ
とともに、私はあなたを失いました。あなたはあなたの神、
主の前で罪を犯し、彼の前で悪いことをしたからです。
4 しかし、私はこれからあなたに何をすればよいでしょう
か。 私は未亡人で、見捨てられた者です。私の子供たちよ、
あなたの道を行き、主の憐れみを求めてください。
5 父よ、私はあなたに、この子供たちの母親に関する証人
を求めます。この子供たちは私の契約を守らないでしょう。
6 あなたが彼らを混乱させ、彼らの母親を略奪し、彼らの
間に子孫が残らないようにしてください。
7 彼らを異教徒の中に散らせ、彼らの名前を地から消し去
りましょう。彼らはわたしの契約を軽蔑したからです。
8 アッスルよ、あなたは災いなります、あなたは不義をあ
なたの中に隠します。 おお、邪悪な者たちよ、私がソドム
とゴモラにしたことを思い出してください。
9 その土地はピッチの塊と灰の山の中にある。それでも、
わたしの言うことを聞かない者たちにわたしはそうする、
と全能の主は言われる。
10 主はエスドラスに言われた、「わたしがイスラエルに与
えるつもりだったエルサレムの王国を、わたしが彼らに与
えるとわたしの民に告げてください。」
11 わたしはまた彼らの栄光をわたしに持ち帰り、わたしが
彼らのために用意した永遠の幕屋を彼らに与えよう。
12 彼らは命の木を甘い香りの香油として手に入れるであろ
う。 彼らは労苦することも、疲れることもありません。
13 行きなさい、そうすればあなたがたは受け取ります。そ
の時間が短縮されるように、あなたがたに数日祈ってくだ
さい。王国はすでにあなたのために準備されています。見
守っていてください。
14 天と地を証人にせよ。 わたしは悪を打ち砕き、善を創
造したからである、わたしは生きている、と主は言われる。
15 母よ、あなたの子供たちを抱きしめて、喜んで育てなさ
い。彼らの足を柱のように速くしなさい。わたしがあなた
を選んだから、と主は言われる。
16 そして、死んだ者たちを、わたしはその場所からよみが
えらせ、墓から連れ出すであろう。わたしはイスラエルで
わたしの名を知っているからである。
17 子供たちの母よ、恐れるな。わたしはあなたを選んだ、
と主は言われる。
18 あなたの助けのために、私はしもべエサイとジェレミー
を送ります。彼らの助言に従って、私はあなたのために、
さまざまな実を実らせる十二本の木を神聖化し、準備しま
した。
19 そして、乳と蜂蜜が流れる多くの泉と、そこにバラとユ
リが生える七つの雄大な山々があり、それによってわたし
はあなたの子供たちを喜びで満たします。
20 やもめに正しいことをし、父親のいない人のために裁き、
貧しい人に施しをし、孤児を守り、裸の人に服を着せ、
21 傷ついた人や弱い人を癒し、足の不自由な人を嘲笑して
はならず、障害のある人を守り、目の見えない人を私の目
の前に来させてください。
22 老人も若者も壁の中に閉じ込めなさい。
23 死者を見つけたところはどこでも、連れて行って埋めて
ください。そうすれば、あなたを私の復活の第一位にあげ
ます。
24 わたしの民よ、じっとしていて、休んでください。あな
たの静けさはまだ来るからです。
25 よい乳母よ、あなたの子供たちを養ってください。 足
を安定させます。
26 わたしがあなたに与えた僕たちは、一人も滅びません。
あなたの数の中から私が彼らを要求するからです。
27 疲れてはいけません。困難と重苦しさの日が来ると、他
の人は泣き悲しみますが、あなたは楽しくて豊かになるで
しょう。
28 異教徒はあなたをねたむであろうが、彼らはあなたに対
して何もできないであろう、と主は言われる。
29 あなたの子供たちが地獄を見ないように、わたしの手で
あなたを覆う。
30 母よ、子供たちとともに喜びなさい。 わたしがあなた
を救い出すからだ、と主は言われる。
31 眠っているあなたの子供たちを思い出しなさい。わたし
は彼らを地の側から連れ出し、彼らに憐れみを与えます。
わたしは憐れみ深いからです、と全能の主は言われる。
32 わたしが来て彼らを憐れむまで、あなたの子供たちを抱
きしめてください。わたしの井戸はあふれ、わたしの恵み
は尽きないからです。
33 わたしエスドラスはオレブ山で主から、イスラエルに行
くよう命じられた。 しかし、私が彼らのところに来ると、
彼らは私を無視し、主の戒めを軽蔑しました。
34 そこで、私はあなたがたに言います。聞いて理解する異
教徒よ、あなたの羊飼いを探しなさい。彼はあなたに永遠
の安息を与えてくれるでしょう。 なぜなら、世の終わりに
来るであろう彼はすぐそこまで来ているからです。
35 王国の報いに備えなさい。永遠の光が永遠にあなたを照
らすからである。
36 この世の影から逃れ、あなたの栄光の喜びを受け入れて
ください。私は私の救い主を公然と証します。
37 ああ、あなたに与えられた賜物を受け取り、喜び、あな
たを天の御国に導いてくださった神に感謝しなさい。
38 立って立ちなさい、見よ、主の祭りに印を押される者の
数。
39 世の影から離れた者たち、 そして主の栄光の衣を受け
取りました。
40 シオンよ、あなたの数を取り、主の律法を全うしたあな
たの中の白い服を着た者たちを黙らせなさい。
41 あなたが切望したあなたの子供たちの数は満たされまし
た。初めから召されたあなたの民が聖なることができるよ
うに、主の力を懇願してください。
42 わたしエスドラスはシオンの山で数え切れないほどの大
いなる民を見た。そして彼らはみな歌で主を賛美した。
43 そして、彼らの中に、他の者よりも背の高い、背の高い
若者がいた。そして、彼は皆の頭に冠をかぶせて、さらに
高揚していた。 私はこれに非常に驚きました。
44 それで私は天使に尋ねて言いました、「先生、これは何
ですか？」
45 彼は答えて私に言った、「これらの人々は、死すべき衣
服を脱ぎ捨て、不滅の者を着て、神の名を告白したのです。
今、彼らは冠をかぶって、手のひらを受けています。」
46 それから私は天使に言った、「彼らに冠をかぶせ、彼ら
の手に手のひらを与えるのはどの若者ですか？」
47 それで彼は答えて私に言った、「それは彼らがこの世で
告白した神の子です。」 それから私は、主の御名のために
固く立ち上がった彼らを大いに賞賛し始めました。

48 そこで御使いはわたしに言った、「行って、あなたの神、主のどれほど大きな不思議をあなたが見たのか、わたしの民に話してください。」

第 3 章

1 都市の滅びから三十年目に、私はバビロンにいて、不安を抱えてベッドに横たわっていましたが、私の心に次のような考えが湧き上がりました。
2 というのは、わたしはシオンの荒廃と、バビロンに住む人々の富を見たからだ。
3 そして、私の霊は激しく動かされたので、いと高き方に恐れに満ちた言葉を話し始め、こう言いました。
4 統治を担う主よ、あなたは初めに、あなたが土を植えたとき、そしてあなただけが民に命じられたとき、こう言われました。
5 そして、魂のない体をアダムに与え、それはあなたの手の細工であり、彼に命の息を吹き込み、彼はあなたの前で生きさせられました。
6 そして、あなたは彼を、地球が前に出る前にあなたの右手で植えた楽園に導きました。
7 そして、あなたは彼に、自分の道を愛しなさいという戒めを与えました。彼はそれを犯しましたが、すぐにあなたは彼と彼の世代、数え切れないほどの国、部族、人々、そして親族に死を与えました。
8 そして民は皆、自分の意志に従って歩み、あなたの前ですばらしい行いをし、あなたの戒めを軽蔑した。
9 そしてまた、時の流れの中で、あなたは世に住む人々に洪水を引き起こし、彼らを滅ぼしました。
10 そして、アダムに死が起こったのと同じように、洪水も彼らに起こった。
11 それにもかかわらず、あなたは彼らのうちのひとり、すなわちノアとその家族を残しましたが、その中から義人はみな出てきました。
12 そして、地上に住んでいた彼らが増え始め、多くの子供たちを儲け、偉大な民となったとき、彼らは再び最初の者よりもさらに不敬虔になり始めた。
13 さて、彼らがあなたの前で非常に邪悪に暮らしていたとき、あなたは彼らの中からアブラハムという男をあなたに選びました。
14 あなたは彼を最愛しました、そしてあなたは彼だけにあなたの意志を示しました。
15 そして彼と永遠の契約を結び、決して彼の子孫を見捨てないことを約束した。
16 あなたは彼にイサクを与え、またイサクにヤコブとエサウを与えました。 ヤコブに関して言えば、あなたは彼を自分に選び、エサウに任命しました。それでヤコブは大群衆になりました。
17 そして、あなたが彼の子孫をエジプトから導いたとき、彼らをシナイ山に連れて行きました。
18 そして、あなたは天をかがめて地を定め、全世界を動かし、深みを震わせ、当時の人々を悩ませました。
19 そしてあなたの栄光は、火と地震と風と寒さの四つの門を通過した。 それは、あなたがヤコブの子孫に律法を与え、イスラエルの世代に勤勉さを与えてくださるためです。
20 それにもかかわらず、あなたは彼らから邪悪な心を取り除かず、あなたの律法が彼らの中で実を結ぶようにしました。
21 というのは、最初のアダムは邪悪な心を持って罪を犯し、打ち負かされました。 そして彼から生まれたすべての人も同様です。
22 こうして、病弱は永続的なものとなった。 そして法律は（また）根の悪性を伴う人々の心の中にあります。 そのため、善人は去り、悪人は依然としてとどまりました。
23 こうして時は過ぎ、歳月は終わりを告げた。そのとき、あなたはダビデという僕を育て上げた。
24 あなたはこの人に、あなたの名のために都市を建設し、そこであなたに香と奉納物を捧げるよう命じました。
25 これが何年も行われたとき、町に住んでいた人々はあなたを見捨て、
26 そして、すべてのことにおいて、アダムとそのすべての世代がしたようにしました。彼らも邪悪な心を持っていたからです。
27 こうして、あなたは自分の町を敵の手に渡した。
28 それでは、バビロンに住む彼らの行為は、それゆえにシオンを支配することよりも良いことなのだろうか。
29 なぜなら、私がそこに来て、数え切れないほどの不敬虔を見たとき、私の魂はこの三十年間に多くの悪を行う者を見たからです。 耳を傾けたので、私の心は失望しました。
30 わたしは、あなたがどのように彼らの罪を苦しめ、悪を行う者たちを赦し、あなたの民を滅ぼし、あなたの敵を救って、それを表わさなかったのかを見てきました。
31 どうしてこの道が残されたのか思い出せません。それでは、バビロンの人々はシオンの人々よりも優れているのでしょうか。
32 それとも、イスラエルのほかにあなたを知っている人がいるでしょうか。 あるいはヤコブほどあなたの契約を信じた世代は何でしょうか?
33 それなのに、彼らの報酬は現れず、彼らの労働は何の成果も上げません。私は異教徒の中をあちこち行ってきましたが、彼らが富に満ち溢れていて、あなたの戒めを考えていないのがわかりました。
34 それゆえ、あなたは今、私たちの悪と、世に住む彼らの悪を天秤にかけなさい。 したがって、あなたの名前はイスラエル以外のどこにも見られないでしょう。
35 それとも、地上に住む人々があなたの目に罪を犯さなかったのはいつ以来ですか。 あるいは、あなたの戒めをこれほど守った人がいるでしょうか?
36 あなたは、イスラエルという名前があなたの戒めを守っていることに気づくでしょう。 しかし異教徒ではありません。

第 4 章

1 そして、私に遣わされたウリエルという名の天使は、私にこう答えました。
2 そして言った、「あなたの心はこの世の遠くまで行きましたが、いと高き方の道を理解できると思いますか？」
3 それから私は言いました、「そうです、主よ。」 すると彼は私に答えて、「私はあなたに三つの道を示し、三つの類似点をあなたの前に示すために遣わされたのです。」
4 それで、もしあなたが私にそれを宣言できるなら、私はあなたが見たいと望んでいる道もあなたに示します、そして邪悪な心がどこから来るのかをあなたに示します。
5 そこで私は言いました、「主よ、教えてください。」 それから彼は私に言った、「行きなさい、火の重さを量るか、風の強さを測るか、過ぎた日にもう一度電話してください」。
6 それから私は答えて言った、「あなたが私にそのようなことを尋ねるなんて、誰がそんなことができるのですか？」
7 そして彼は私に言った、「もし私があなたに尋ねるとしたら、海の真っ只中にどれほど大きな住居があるか、ある

いは深みの始まりにどれほどの泉があるか、あるいは大空の上にいくつの泉があるか、あるいはどの泉が湧き出ているのか、と。」パラダイス：
8 思いがけず、あなたは私にこう言いたいでしょう、私は一度も深みに落ちたことも、地獄に落ちたことも、天国に登ったこともありません。
9 それにもかかわらず、私は今あなたに尋ねていますが、火と風と、あなたが通過した日のこと、そしてあなたが切り離すことのできない物事についてだけですが、あなたはそれらについて私に何も答えることができません。
10 さらに彼は私に言った、「あなた自身のこと、そしてあなたと一緒に育った人のことを、あなたは知らないわけがない。
11 それでは、あなたの器はどのようにして至高者の道を理解することができますか、そして、私の目に明らかな腐敗を理解するために、今世界が外側に腐敗しているのを理解するにはどうすればよいでしょうか?
12 それから私は彼に言った、「悪の中で苦しみながら、その理由も知らずに生き続けるよりは、まったくそうでなかったほうがよかったです。」
13 彼は私に答えて言った、「私は森の中の平地へ行きました、そして木々は相談を受けました、
14 そして言った、「さあ、行って海と戦って、海が私たちの前から離れていき、私たちをさらに森にしようではありませんか。」
15 海の洪水も同じように相談して、「さあ、上って平原の森を征服しよう。そこでも我々を別の国にしよう。」と言った。
16 木のことを考えても無駄だった。火が来てそれを焼き尽くしたからである。
17 海の洪水の考えも同様に無駄になった。砂が立ち上がって洪水を止めたからである。
18 もし今あなたがこの二人について裁判官をするとしたら、誰を正当化し始めますか。それとも誰を非難したいですか?
19 私は答えて言った。「確かに、二人が考え出したのは愚かな考えです。土地は森に与えられ、海にも洪水を耐える場所があるからです。」
20 そこで彼は私に答えて言った、「あなたは正しい裁きを下しましたが、なぜあなた自身も裁かないのですか。」
21 というのは、大地が木に与えられ、海が洪水に与えられるのと同じように、地に住む者は地上にあることしか理解できず、天の上に住む者は物事を理解することしかできないからです。それは天の高さを超えています。
22 そこで私は答えて言った、「主よ、お願いです。理解させてください。」
23 というのは、わたしの心は高尚なものに興味があるのではなく、毎日私たちのそばを通り過ぎるようなものに興味を持っていたからです。つまり、イスラエルは異教徒への非難として引き渡され、あなたが愛した民は何の理由で引き渡されるのでしょうか。不敬虔な国々に対して、そしてなぜ私たちの先祖の法律が無効になり、書かれた契約が無効になるのか、
24 そして、私たちはバッタのようにこの世から去っていきます。私たちの人生は驚きと恐怖に満ちており、憐れみを受ける資格はありません。
25 そのとき、彼は、私たちが呼ばれているその名に対して何をなさるでしょうか。これらのことについて私は尋ねました。
26 それから彼は私に答えて言った、「あなたは調べれば調べるほど、ますます驚くでしょう。あなたはもっと驚くでしょう。」世界は急速に過ぎ去ろうとしているので、
27 また、義人に将来約束されている事柄を理解することもできません。この世は不義と弱さで満ちているからです。
28 しかし、これに関しては あなたが私に尋ねた NG については、私があなたに教えます。悪は蒔かれていますが、その滅びはまだ来ていないからです。
29 したがって、もし蒔かれたものがひっくり返されず、悪が蒔かれた場所が去らなければ、善が蒔かれたものは来るはずがない。
30 というのは、悪の種は初めからアダムの心に蒔かれていたのに、それが今に至るまでどれほど多くの不敬虔をもたらしたであろうか。脱穀の時が来るまで、まだどれだけ実を結ぶだろうか?
31 今、あなた自身で、一粒の邪悪な種がどれほど大きな邪悪な実をもたらしたかを考えてください。
32 そして、数え切れないほどの耳が切り取られるとき、それはどれほど大きな床を満たすでしょうか。
33 そこで私は答えて言った、「これらのことは、いつ、どのようにして起こるのでしょうか」。なぜ私たちの年は少なく、邪悪なものなのでしょうか?
34 すると彼は私に答えて言った、「いと高き者よりも急いではいけません。あなたがはるかに上回っているのですから、急いで彼を上回っても無駄だからです。」
35 義人の魂もまた、自分たちの部屋でこれらのことについて質問し、こう言ったではないか、「いつまでこのやり方に期待しなければならないのか」。私たちの報酬の床の果実はいつ来るのですか?
36 これらのことに対して天使長ウリエルは答えて言った、「たとえあなたの中に種の数が満ちているとしても、彼は天秤で世界を量ったからです。」
37 彼は量りで時間を測ったのである。そして彼は回数を数えた。そして、前述の措置が完了するまで、彼はそれらを動かしたり、動かしたりしません。
38 それから私は答えて言った、「最も統治を担う主よ、私たちもみな不敬虔に満ちています。」
39 そして、私たちのために、地上に住む彼らの罪のせいで、義人の床が満たされないのです。
40 それで彼は私に答えて言った、「子供を抱えた女のところへ行って、彼女が九か月を終えたとき、彼女の子宮がこれ以上産み続けることができるかどうか尋ねてください。」
41 そこで私は、「いいえ、主よ、そんなことはできません」と言った。そして彼は私に言いました、「墓の中の魂の部屋は女性の子宮のようなものです。」
42 というのは、産婦が産婦の必然性から逃れるために急いでいるのと同じように、それでもこれらの場所は、自分たちに託されたものを届けるために急いでいるのです。
43 最初から、見よ、あなたが見たいものは、あなたに示されるであろう。
44 それから私は答えて言った、「もし私があなたの好意を見つけて、それが可能であれば、そしてもし私がそれに会うなら、
45 それでは、過去よりもこれからのことがあるのか、それともこれからのことよりも過去のことがあるのか、教えてください。
46 過去のことは知っていますが、これからのことはわかりません。
47 すると彼は私に言った、「右側に立ってください。そうすれば、その類似点をあなたに説明しましょう」。

48 それで私は立って見ました、そして見よ、熱く燃えるかまどが私の前を通り過ぎました。そしてたまたま炎が消えたとき、私が見ると、見よ、煙は静止したままでした。
49 この後、水雲が私の前を通り過ぎ、嵐とともに大雨を降らせた。 そして嵐の雨が去っても、水滴は静止したままでした。
50 それから彼は私に言った、「あなた自身で考えてください。」 雨が水滴よりも大きいように、火が煙よりも大きいように。 しかし、水滴と煙は後に残ります。したがって、過去の量はさらに多くなりました。
51 それから私は祈って言いました、「その時まで生きていられると思いますか？」 あるいはその頃には何が起こるでしょうか?
52 彼は私に答えて言った、「あなたが私に求めているしるしについては、部分的にはお話しさせていただきますが、あなたの人生に関わるので、私はあなたに見せるために遣わされたのではありません。」 私にはそれが分かりません。

第 5 章

1 それにもかかわらず、しるしが来るのに、見よ、地上に住む者たちが大勢捕らえられ、真理の道は隠され、土地は信仰の不毛となる日が来るだろう。
2 しかし、不法行為は、あなたが今見ているもの、あるいは昔聞いたものよりもさらに増大するでしょう。
3 そして、あなたが今根を張っているように見える土地は、突然荒れ果てるのを見るでしょう。
4 しかし、いと高き方があなたに生かしてくださるなら、第三のラッパの後に、太陽が夜に再び突然輝き、月が昼に三度輝くのを見るでしょう。
5 そして、木から血が落ち、石が声を出し、民は混乱するだろう。
6 そして、彼らが地上に住む者として注目していない者さえも支配し、鳥たちは一緒に飛び去ります。
7 そして、ソドミテの海は魚を追い出し、夜に音を立てますが、多くの人はそれを知りませんでした。しかし、彼らは皆、その声を聞くでしょう。
8 多くの場所でも混乱が起こり、火は再び頻繁に出され、野獣は場所を変え、月経中の女は怪物を生み出すでしょう。
9 そして、甘いものの中に塩水が見出され、すべての友人がお互いを滅ぼすでしょう。 そうすれば、機知に身を隠し、理解力が彼の秘密の部屋に引きこもります。
10 そして、多くの人に捜されるが、見つからないであろう。そのとき、不義と失禁が地上で増大するであろう。
11 ある国もまた別の国に尋ねて言うだろう、「人を義とする義はなくなったのだろうか」 あなたを通して？ そして、それは「いいえ」と言うでしょう。
12 同時に、人は望みますが、何も得られません。彼らは苦労しますが、その道は繁栄しません。
13 あなたにこのようなしるしを見せるために、私は残しておきます。 そして、もしあなたがもう一度祈って、今のように、そして何日も断食して泣くなら、あなたはさらに素晴らしいことを聞くでしょう。
14 それから私は目を覚ましたが、極度の恐怖が私の全身を駆け巡り、私の心は混乱して気を失ってしまいました。
15 そこで、私と話し合うために来た天使は、私を抱いて慰め、立ち上がらせてくれました。
16 二日目の夜、民の長サラティエルがわたしのところに来て、「どこにいたのか」と言った。 そしてなぜあなたの顔はそんなに重いのですか?
17 イスラエルが捕囚の地であなたに託されていることを知らないのか。
18 それなら、パンを食べて、残忍な狼の手に自分の群れを任せる羊飼いのように、私たちを見捨てないでください。
19 それから私は彼に言った、「あなたは私から離れて、私の近くに来ないでください。」 そして彼は私の言うことを聞いて、私から立ち去りました。
20 それで私は、天使ウリエルが私に命じたように、悲しみ、泣きながら、七日間断食しました。
21 そして七日後、また私の心の思いは非常に憂鬱になりました。
22 そして私の魂は理解力を取り戻し、再びいと高き方と話し始めました。
23 そして言った、「統治を担う主よ、地のすべての木とそのすべての木の中から、あなたはただ一つのぶどうの木をお選びになりました。
24 そして、あなたは全世界のすべての土地の中から一つの穴をあなたに選び、そのすべての花の中から一輪のユリを選びました。
25 そして、あなたは海の深さすべてから川を一つ満たし、建てられたすべての都市のうちからシオンを自分のために神聖なものとされました。
26 そして、あなたは、造られたすべての家禽の中から、一羽の鳩と名付けられました。また、造られたすべての牛の中から、一頭の羊をあなたに与えられました。
27 そして、あなたは多くの民の中から、あなたをたった一人の民とされました。そして、あなたが最も愛したこの民に、すべての人に認められる律法をお与えになりました。
28 それなのに、主よ、なぜあなたはこの一人の民を多くの者に譲られたのですか。 そして、あなたはその一つの根の上に他の人々を備えさせたのに、なぜあなたはたった一人の民を多くの人々の中に散らしたのですか?
29 そして、あなたの約束を無視し、あなたの契約を信じなかった者たちは、それを踏みにじりました。
30 あなたが自分の民をそれほど憎んでいるのに、自分の手で彼らを罰すべきではありませんか。
31 さて、私がこれらの言葉を話したとき、昨夜私のところに来た天使が私のところに遣わされて、こう言いました。
32 そして私に言った、「聞いてください。あなたに教えます。」 私の言うことを聞いてください、そうすればもっと話しましょう。
33 そこで私は言いました、「主よ、お話しください。」 それから彼は私に言った、「あなたはイスラエルのために心を痛めています。あなたは、人々が彼らを造った彼よりも優れていることを愛していますか？」
34 そこで私は言いました。「いいえ、主よ。しかし、私はとても悲しいことを言いました。なぜなら、いと高き方の道を理解し、その裁きの一部を探ろうと努力している間、私は毎時間手綱を痛めているからです。」
35 すると彼は私に言った、「それはできない」。 そして私は言いました、「主よ、どうしてですか？」 そのとき私はどこで生まれましたか? あるいは、なぜそのとき私の母の子宮が私の墓ではなかったのか、そうすれば私はヤコブの苦難やイスラエルの株の疲れる労苦を見ることができなかったのではないだろうか?
36 そして彼は私に言った、「まだ来ていないものを数えてください。散らばった残骸を集めてください。しぼんだ花を再び緑色にしてください。」
37 閉ざされている場所を開いて、その中に閉ざされている風を呼び起こし、声のイメージを見せてください。そうす

れば、私はあなたが知ろうとしていることをあなたに宣言します。
38 そこで私は言った、「最も統治を担う主よ、人々と住んでいない者以外に、誰がこれらのことを知っているでしょうか。」
39 私に関して言えば、私は賢明ではありません。それでは、あなたが私に尋ねているこれらのことについて、どうして私が話すことができますか。
40 それから彼は私に言った、「あなたが私が話したこれらのことのどれもできないのと同じように、それでもあなたは私の裁きを、そして最終的には私が私の民に約束した愛を見つけられないのですか」。
41 それで私は言った、「主よ、見よ、あなたは最後まで残された人々の近くにおられます。では、私の前にいた人々、今いる私たち、あるいは私たちの後に来る彼らはどうするのですか？」
42 そして彼は私に言った、「私の裁きを指輪にたとえてみましょう。最後の者の緩みがないように、最初の者の迅速さもありません。」
43 それで私は答えて言いました。「すでに作られたものと、これから作られるものとを、一度に作ることはできないでしょうか。」 できるだけ早く判断を下すためですか?
44 それから彼は私に答えて言った、「生き物は造り主の上を急いではいけません。 世界がその中で創造されるそれらを一度に保持することもできません。
45 そして私は言った、「あなたがしもべに言ったように、すべてのものに命を与えるあなたは、あなたが創造した生き物に一度に命を与え、その生き物はそれを生みました。それでも、それは今、彼らをも産むかもしれません」 今すぐに存在してください。
46 そして彼は私に言った、「女の子宮に尋ねて、彼女に言いなさい。もしあなたが子供を産むなら、なぜ一緒にではなく、次々に産むのですか？」 したがって、10 人の子供を産むように彼女に祈ってください すぐに。
47 そこで私は、「彼女はできません。しかし、時間の距離によってそれをしなければなりません」と言いました。
48 それから彼は私に言った、「それでも、私は地の子宮を、その時代に蒔かれる人々に与えました。」
49 というのは、幼い子供のように、老人のものを生み出すことはできないかもしれないが、たとえそうであっても、私は自分が創造した世界を処分してきたからである。
50 それで私は尋ねて言いました、「あなたが今私に道を与えてくださったのを見て、私はあなたの前で話していきます。なぜなら、あなたが私に若いと言っていた私たちの母が、もう年に近づいているからです。」
51 彼は私に答えて言った、「子供を産む女に尋ねなさい。そうすれば彼女があなたに教えてくれるでしょう。」
52 彼女に言ってください。「なぜ、あなたが今産んだ彼らは、以前の人々と同じでありながら、身長が低いのですか。」
53 そして彼女はあなたに答えるだろう、「若さの勢いで生まれる人は一通りであり、子宮が衰える年齢の時に生まれる人はそうではありません。」
54 したがって、あなたも、以前の人々よりも身長がどれほど低いかを考えてください。
55 また、あなたがたよりも後から来る者たちも、今や老い始め、若さの力を過ぎた生き物と同じである。
56 それから私は言いました、主よ、お願いです。もしあなたの目に好意があるなら、あなたの生き物を訪問するあなたのしもべを見せてください。

第 6 章

1 そして彼は私に言った、「初めに、地球が造られたとき、世界の境界が立つ前、または風が吹く前に、
2 雷鳴がとどろいて明るくなる前、あるいは楽園の基礎が築かれる前に、
3 美しい花が見られる前、あるいは可動権力が確立される前、無数の天使が集まる前、
4 あるいは、大空の尺度に名前が付けられる前に、あるいはシオンの煙突が熱くなる前に、空気の高さが引き上げられたことがあった。
5 そして、現代に至る前に、あるいは、宝物として信仰を集めた封印される前に、今では罪を変えた彼らの発明が探求されました。
6 それから、私はこれらのことを考えました。そして、それらはすべて、他のものではなく、私だけによって作られたものです。それらもまた、他の誰によっても、私によって終わらせられます。
7 そこでわたしは答えて言った、「時代の分かれ道はどうなるのでしょうか」。 あるいは、最初のものが終わり、その後に続くものはいつ始まるのでしょうか?
8 そして彼は私に言った、「アブラハムからイサクに至るまで、彼からヤコブとエサウが生まれたとき、ヤコブの手はまずエサウのかかとを握った。」
9 エサウは世の終わりであり、ヤコブはその後に続く世の始まりだからです。
10 人間の手はかかとと手の間にあります。エスドラスよ、他の質問はしないでください。
11 そこで私は答えて言った、「最も統治を担う主よ、もしあなたのご好意を私が見いだしたら、
12 お願いです。昨夜あなたが私に別れを告げた証の終わりをあなたのしもべに見せてください。
13 そこで彼は答えて私に言った、「立ち上がって、力強い声を聞いてください。」
14 そして、それはまるで大運動のようになるだろう。 しかし、あなたの立っている場所は動かされません。
15 したがって、それが語られるときは、恐れるな。その言葉は終わりのものであり、地の基は理解されるからである。
16 では、なぜでしょうか? なぜなら、これらの事柄の言葉は震え、感動するからです。なぜなら、それはこれらの事柄の結末が変えられなければならないことを知っているからです。
17 そして、それを聞いたとき、私は立ち上がって耳を傾けると、見よ、声が聞こえ、その音は多くの水の音のようでした。
18 そしてそれは言った、「見よ、その日が来て、わたしが近づき、地上に住む者たちを訪ね始めるだろう。
19 そして、彼らに、その不義によって不当に害を与えた者たちが何であるか、またシオンの苦しみがいつ終わるのかを尋問し始めるであろう。
20 そして、消え去り始める世界が終わるとき、私はこれらのしるしを見せます。本は大空の前で開かれ、それらはすべて一緒に見るでしょう。
21 また、一歳の子は声を出して話し、子のいる女は生後三、四か月の早産の子を産み、彼らは生きて育てられる。
22 そして、蒔いた場所は突然、蒔かれていないようになり、満杯の倉は突然空になる。
23 そしてラッパの音が鳴り響き、それを聞く者は皆、突然恐れるであろう。

24 その時、友人たちは互いに敵のように戦い、地はそこに
住む者たちと共に恐怖に怯え、泉の泉は止まり、三時間後
には流れなくなる。
25 わたしがあなたに告げたこれらすべてのことから生き残
る者は、逃げ出して、わたしの救いとあなたの世の終わり
を見るでしょう。
26 そして、生まれた時から死を味わったことのない受け入
れられた人々はそれを見るであろう。そして住民の心は変
わり、別の意味に変わるだろう。
27 悪は消え去り、欺きは消え去るからである。
28 信仰に関して言えば、それは栄え、腐敗は克服され、長
い間実を結ばなかった真理が宣言されるであろう。
29 そして、彼が私と話したとき、 見よ、私は自分の前に
立っている彼のことを少しずつ眺めた。
30 そして、この言葉を彼は私に言った。 私は、来たるべ
き夜の時間を知らせるために来ました。
31 もしあなたがさらに祈って、また七日間断食するなら、
私は日ごとに、私が聞いた以上のことをあなたに告げるで
しょう。
32 あなたの声はいと高き方の前に聞こえるからです。力あ
る者はあなたの正しい行いをご覧になり、あなたの純潔も
ご覧になりました。
33 それゆえ、神はこれらすべてのことをあなたに見せて、
あなたにこう言うために私を遣わしたのではないでしょう
か。
34 また、過ぎ去った時代に急いで無駄なことを考えてはな
りません。そうすれば、後の時代から急いではいけません。
35 この後、私は再び泣き、同じように七日間断食し、彼が
私に言った三週間を全うすることにした。
36 そして八日目の夜、私の心は再び腹立たしくなって、い
と高き方の前で話し始めた。
37 私の霊は激しく燃え上がり、私の魂は苦悩したからです。
38 それで私は言いました、「主よ、あなたは天地創造の初
めから、最初の日からこう言われました。そしてこう言わ
れました。」 天と地を造りましょう。 そしてあなたの言
葉は完璧な働きでした。
39 そして、霊があり、暗闇と沈黙が四方八方にあった。
人間の声はまだ形成されていませんでした。
40 それから、あなたの仕事が現れるように、あなたの宝物
からきれいな光が出るよう、あなたに命じました。
41 二日目に、あなたは大空の霊を造り、それを裂き、水の
間に分け目を作り、一方の部分は上に上がり、もう一方の
部分は下に残るように命じました。
42 三日目に、あなたは水を地の七番目の部分に集めるよう
に命じました。あなたはその六つの部分を枯れさせて保管
しておきました。これは、神によって植えられ、耕された
これらの部分があなたに役立つようにという意図によるも
のでした。
43 あなたの言葉が発せられるとすぐに、その働きは実現し
たからです。
44 というのは、すぐに、大きくて数え切れないほどの実が
なり、さまざまな味の楽しみがあり、変わらない色の花が
咲き、素晴らしい香りが漂ったからである。そしてこれは
三日目になされた。
45 四日目に、あなたは、太陽が輝き、月が光を与え、星が
整うようにと命じました。
46 そして彼らに、人間に奉仕する義務を与えた。
47 五日目に、あなたは水が集まる第七の部分について、そ
こから生き物や鳥や魚が生まれるはずだと言いました。そ
してそのとおりになりました。
48 というのは、物言わぬ水と命のない水が、すべての人々
があなたの驚くべき御業を讃えるために、神の命令によっ
て生き物を生み出したからです。
49 それから、あなたは二匹の生き物を定めました。一方を
エノクと呼び、もう一方をリヴァイアサンと呼びました。
50 そして、一方を他方から分離しませんでした。第七の部
分、つまり水が集まっている部分には、両方を保持できな
い可能性があるからです。
51 あなたはエノクに、三日目に枯れてしまった一部の部分
を与え、そこに住むようにと与えました。そこには千の丘
があります。
52 しかし、あなたはレビヤタンに第七の部分、すなわち湿
った部分を与えました。 そして、あなたが望む誰に、いつ
食べられるように彼を保ちました。
53 六日目に、あなたは地に、あなたの前に獣、牛、はうも
のを生み出すようにとの命令を与えました。
54 そしてこれらの後に、あなたがあなたのすべての被造物
の主としたアダムもまた、私たち全員、そしてあなたが選
んだ民も彼から来ます。
55 主よ、私があなたの前でこのすべてを話しました。あな
たは私たちのために世界を造られたからです。
56 同じくアダムから出た他の民について、あなたは、彼ら
は何もない、唾を吐き出すようなものだと言い、彼らの豊
かさを器から落ちる一滴にたとえました。
57 そして今、主よ、見よ、これまで何でもないと評判され
ていた異教徒たちが、私たちを支配し始め、私たちを食い
荒らし始めました。
58 しかし、あなたがあなたの長子、あなたの独り子、そし
てあなたの熱烈な恋人と呼んだ私たちあなたの民は、彼ら
の手に渡されます。
59 もし今、世界が私たちのために作られたのなら、なぜ私
たちは世界の相続財産を持たないのでしょうか。 これはど
れくらい耐えられるでしょうか?

第 7 章

1 そして、私がこれらの言葉を話し終えたとき、前夜私に
遣わされた天使が私に遣わされました。
2 そして彼は私に言った、「エスドラスよ、立ち上がって、
私があなたに告げに来たという言葉を聞いてください。」
3 そこで私は言いました、「話してください、私の神よ。」
それから彼は私に言った、「海は広いところにある、それ
は深くて大きいかもしれない。」
4 しかし、たとえて言えば、入り口は狭くて川のようでし
た。
5 それでは、誰が海に入って海を眺め、海を支配できるで
しょうか。 もし彼が狭い道を通らなかったら、どうやって
広い道に入ることができるでしょうか?
6 また別のこともあります。 都市は広大な野原に建設され、
すべての良いもので満たされています。
7 その入口は狭く、落ちると危険な場所に設置されており、
あたかも右手に火があり、左手に深い水があるかのようで
ある。
8 そして、それらの両方の間にある唯一の道、それは火と
水の間でさえ、非常に小さいので、 ねえ、すぐにそこに行
きなさい。
9 もし今、この都市が相続財産として人に与えられたとし
たら、その人がその前に設定された危険を決して通過しな
いとしたら、どうやってこの相続財産を受け取ることがで
きるでしょうか。

10 そこで私は言いました、「主よ、そのとおりです。」
それから彼は私に言った、「それでもイスラエルの分もあるのです。」
11 なぜなら、わたしは彼らのために世界を創造したからです。そして、アダムがわたしの掟に違反したとき、今は終わりであると宣告されました。
12 それから、この世の入り口は狭くなり、悲しみと苦難に満ちたものになりました。それらはほんの数が少なく、邪悪で、危険に満ちており、そして非常に苦痛です。
13 というのは、長老の世界への入り口は広くて確実であり、不滅の実をもたらしたからである。
14 それで、もし生きている者たちが、これらの厳しくてむなしい事柄に入らないように努力するなら、彼らは自分たちのために用意されているものを決して受け取ることはできません。
15 それなのに、なぜあなたは、自分が堕落した人間に過ぎないのを見て、不安を感じているのでしょうか。 そして、あなたは死すべき存在であるのに、なぜあなたは動いたのですか?
16 なぜあなたは、今あることよりも、来るべきことを心の中で考えないのですか。
17 それから私は答えて言った、「統治を担う主よ、あなたはあなたの律法で、正しい者はこれらのものを受け継ぎ、不敬虔な者は滅びるように定められました。」
18 それにもかかわらず、義人は厳しいことを経験し、広いことを望みます。悪を行った者は苦しいことを経験しましたが、広いことを見ることができないからです。
19 すると彼は私に言った。 神を超える裁判官は存在せず、いと高き者を超える理解力を持つ者もいない。
20 なぜなら、彼らの前に定められた神の律法を軽蔑するために、この世で滅びる者がたくさんいるからです。
21 神は、来た者たちに、来たときから生きるために何をしなければならないか、罰を避けるために何を守るべきかという厳しい戒めを与えたからである。
22 それにもかかわらず、彼らはイエスに従順ではなかった。しかし、彼に反対して話したり、無駄なことを想像したりしました。
23 そして、彼らの悪行によって自分たちを欺いた。 そして至高者について、彼はそうではないと言いました。 そして彼のやり方を知りませんでした。
24 しかし彼らは神の律法を軽蔑し、神の契約を否定した。彼らは彼の法令に忠実ではなく、彼の働きを実行しなかった。
25 したがって、エスドラスよ、空しいものは空しいものであり、満ちているものは満ちているものだからです。
26 見よ、わたしがあなたに告げたこれらのしるしが実現し、今は地上から退いてしまった花嫁が現れ、出てくるのが見られる時が来るだろう。
27 そして、前述の悪から救われる者はだれでも、わたしの驚異を見るであろう。
28 というのは、わが子イエスは、彼とともにいる者たちとともに現され、残る者たちは四百年以内に喜ぶであろう。
29 これらの年月の後、わたしの子キリストと、命のあるすべての人が死ぬであろう。
30 そして、世界は、以前の裁きのように、七日間昔の沈黙に変わり、誰も残らないであろう。
31 そして七日後には、まだ目覚めていない世界が起き上がり、堕落した世界は死ぬであろう。
32 そして、地はその中に眠っている者たちを回復し、塵も沈黙のうちに住む者たちを回復し、秘密の場所は彼らに託された魂たちを救い出すであろう。
33 そしていと高き方が裁きの座に現れ、悲惨は過ぎ去り、長い苦しみは終わるでしょう。
34 しかし、裁きだけが残り、真理は存続し、信仰は強くなるでしょう。
35 そして、仕事は続き、報酬が示され、善行は効力を持ち、悪行は規制されないであろう。
36 そこでわたしは言った。アブラハムはまずソドム人のために祈り、モーセは荒野で罪を犯した先祖たちのために祈った。
37 イエスはアカンの時代にイスラエルのために彼の後に続いた。
38 サムエルとダビデは滅びのために、ソロモンは聖所に来る者たちのために、
39 雨が降った人々にはヘリアス。 そして死者のために、彼が生きられるように。
40 そして、エゼキアスはセンナケリブの時代の民のために、そして多くの人は多くの人のために。
41 それにもかかわらず、今では、腐敗が進み、悪が増大し、義人が不敬虔な人のために祈っているのを見て、なぜ今もそうなるのではないでしょうか。
42 彼は私に答えて言った、「今生は多くの栄光が続く終わりではありません。 それゆえ、彼らは弱い人々のために祈ってきたのです。
43 しかし、破滅の日はこの時代の終わりであり、腐敗が過ぎ去った来るべき不死の始まりである。
44 不節制は終わり、不貞は断たれ、義が育ち、真理が芽生えます。
45 そのとき、誰も滅ぼされる者を救うことはできず、勝利を得た者を抑圧することもできない。
46 それで私は答えて言いました。「これが私の最初で最後の言葉です。アダムに地球を与えない方がよかった、さもなければ、地球が与えられたときに、彼が罪を犯さないようにしていた方が良かったのです。」
47 人間が今この時代に重苦しさの中で生き、死後に罰を求めて何の益があるでしょうか。
48 おお、アダムよ、あなたは何をしたのですか。 なぜなら、罪を犯したのはあなたですが、あなたが一人で堕落したのではなく、あなたから来た私たち全員が堕落したからです。
49 不滅の時が約束されているとしたら、それが何の得になるでしょうか。 私たちは死をもたらす行為を行ったのでしょうか?
50 そして、私たちには永遠の希望が約束されているのに、最も邪悪な私たち自身がむなしいものにされるということでしょうか。
51 そして、私たちが邪悪に生きてきたにもかかわらず、健康と安全の住居が私たちのために用意されているということでしょうか。
52 そして、私たちがすべての中で最も邪悪な道を歩んでいるのに、用心深い生活を送っている彼らを守るためにいと高き方の栄光が保たれているということでしょうか。
53 そして、その果実が永遠に続く楽園が示されるはずだ。我々がそこに入ることはないのに、安全と医療はどこにあるのか。
54 (私たちは不快な場所を歩いてきたからです。)
55 そして、禁欲をした者たちの顔は星々の上に輝くのに、私たちの顔は闇よりも黒いということでしょうか。
56 というのは、私たちは生きていて不法行為を犯していた間、死後その罪で苦しむべきではないと考えたからです。
57 それから彼は私に答えて言った、「これが、地上に生まれた人間が戦うことになる戦いの条件です。

58 それは、もし彼が打ち負かされれば、あなたの言ったように苦しむであろう。しかし、もし彼が勝利を得れば、彼はわたしの言うことを受け入れるだろう。
59 これは、モーセが生きている間に民に向かって、「あなたが生きられるように、命を選びなさい」と言ったのがその生涯である。
60 それにもかかわらず、彼らはイエスを信じず、彼の後の預言者たちも、彼らに語ったわたしも信じなかった。
61 それは、彼らの滅びがそのような重荷にならないように、救いを説得された彼らに喜びが生まれるようにするためです。
62 そこで私は答えて言った、「主よ、いと高き方は、まだこの世に来ていない者たちを憐れんでくださるという点で、慈悲深いと言われていることを知っています。
63 また、神の律法に従う者たちにも。
64 そして、彼は忍耐強く、罪を犯した者たちを彼の創造物として長く耐えます。
65 そして彼は豊かである、なぜなら彼は必要とするところに与える用意があるからである。
66 また、彼は大いなる憐れみ深い方です。なぜなら、彼は今いる人々、過去にいる人々、そしてこれから来る人々に対して、ますます憐れみを増し加えてくださるからです。
67 なぜなら、もし神がその憐れみを増やさなければ、世はそこを受け継ぐ者たちとともに存続しないであろうからである。
68 そして彼は赦した。 なぜなら、もし彼が不法行為を犯した者たちがその罪を軽減されるようにと善意でそうしなかったら、人間の 1 万分の 1 は生き続けることができないはずだからである。
69 また、裁き人である彼が、自分の言葉によって癒され、多くの争いを消し去った人々を赦さないとしたら、
70 無数の多数の中で、残された冒険はほとんどないはずです。

第 8 章

1 すると彼は私に答えて言った、「いと高き方は多くの人のためにこの世を造られましたが、来るべき世界は少数の人のために造られました。」
2 エスドラス、私はあなたに一つの類似点を教えます。 あなたが地球に尋ねるとき、地球はあなたに、土の器が作られる多くの型を与えるが、金が生じる塵はほとんど与えないと言うように、この現在の世界の成り立ちも同様です。
3 創造された者は多いが、救われる者は少ない。
4 そこで私は答えて言った、「理解力よ、わが魂よ、それから飲み込みなさい、そして知恵をむさぼり食ってください。」
5 あなたは耳を傾けることに同意し、喜んで預言するからです。あなたにはもはや生きること以外の余地がないからです。
6 主よ、もしあなたがあなたのしもべを苦しまないなら、私たちがあなたの前に祈り、あなたが私たちの心に種を与え、私たちの理解に豊かな文化を与えてください、それが実を結びます。 堕落した人間、人間の代わりを務める人間は、どのように生きるべきでしょうか?
7 なぜなら、あなたが言ったように、あなたは一人であり、私たち全員はあなたの手の一つの作品だからです。
8 なぜなら、体が母親の胎内で作られ、あなたがそれに部品を与えたとき、あなたの生き物は火と水の中で保存され、あなたの細工は母親の中で創造されたあなたの生き物に 9 か月耐えるからです。
9 しかし、保つものと保たれるものは両方とも保たれます。 そして時が来ると、保たれた子宮はその中で育ったものを送り出します。
10 あなたは、体の各部分、つまり乳房から、乳の実である乳を与えなさいと命じました。
11 それは、あなたが御慈悲に従って処分してくださるまで、造られたものがしばらく養われるためです。
12 あなたはご自分の義によってそれを育て、あなたの律法によってそれを育み、あなたの裁きによってそれを改革されました。
13 そして、あなたはそれをあなたの被造物として苦しめ、あなたの仕事としてそれを活発にしなければなりません。
14 したがって、もしあなたが、多大な労力を費やして造られたものを破壊するとしても、造られたものが保存されるように、あなたの戒めによって定められるのは簡単なことです。
15 そこで、主よ、私は話します。 一般的に人間に触れることについては、あなたが一番よく知っています。 しかし、あなたの民に触れることは申し訳ありません。
16 そしてあなたの相続財産のために、私はそのために悲しみます。 そしてイスラエルのためにも、私はそのために心を痛めています。 そしてヤコブのために、私はそのために悩んでいます。
17 それゆえ、私は自分自身と彼らのためにあなたの前で祈り始めます。なぜなら、私はこの地に住む私たちの滝を見ているからです。
18 しかし、わたしは、来たるべき裁判官の迅速さを聞いた。
19 ですから、わたしの声を聞いて、わたしの言葉を理解してください。そうすれば、わたしはあなたの前で話します。これは、エスドラスが取り上げられる前の言葉の始まりです。 援助、
20 主よ、永遠の中に住まわれ、天と空にあるものを上からご覧になるあなた。
21 誰の王位は計り知れない。 その栄光は理解されないかもしれない。 その前に天使の軍勢が震えながら立っており、
22 その奉仕は風と火に精通している。 その言葉は真実であり、ことわざは変わらない。 その戒めは強力であり、その儀式は恐ろしい。
23 その視線は深みを枯らし、憤りは山々を溶かす。 それは真実が証明しています:
24 おお、あなたのしもべの祈りを聞き、あなたの被造物の嘆願に耳を傾けてください。
25 わたしは生きている限り話し、理解できる限り答えます。
26 おお、あなたの民の罪に目を向けないでください。 しかし、真実にあなたに仕える彼らに対してです。
27 異教徒の邪悪な発明ではなく、苦難の中であなたのあかしを守る人々の願いを大切にしてください。
28 あなたの前を偽って歩いた人々のことを考えないでください。むしろ、あなたの御心に従ってあなたの恐れを知った彼らを思い出してください。
29 獣のように生きてきた彼らを滅ぼすことをあなたの御心としないでください。 しかし、あなたの律法を明確に教えた彼らに目を向けてください。
30 獣よりも悪いとされる彼らに対して憤りを感じないでください。 しかし、あなたの義と栄光に常に信頼を寄せる人々を愛してください。
31 わたしたちもわたしたちの先祖も、そのような病気で苦しんでいます。しかし、わたしたちの罪人のゆえに、あなたは慈悲深いと呼ばれるでしょう。

32 もしあなたが、私たちを憐れみたいと願うなら、あなた
は、義の行いを持たない私たちにとって、憐れみ深い者と
呼ばれるでしょう。
33 あなたと多くの良い行いを積んだ正しい人は、自分の行
いから報いを受けるからです。
34 人間とは何者であって、あなたが人間を不快に思うのか。
それとも、腐敗しやすい世代とは何ですか、あなたはそれ
に対してそれほど苦々しい思いをする必要がありますか?
35 実際、彼らは生まれながらに人間ではなく、邪悪な行い
をしたのである。 そして忠実な者の中で、間違いを犯さな
かった者は一人もいない。
36 主よ、善行に自信のない者たちを憐れんでくださるなら、
このことによってあなたの義と善が宣告されるからです。
37 それから彼は私に答えて言った、「あなたは正しいこと
を言っています、そしてあなたの言葉どおりになるでしょ
う。」
38 実際、私は、死の前、裁きの前、滅びの前の、罪を犯し
た人々の性質については考えようとは思わない。
39 しかし、わたしは正しい人の性質を喜び、また彼らの巡
礼と、彼らが受けるであろう救いと報いを思い出します。
40 私が今話したように、それは実現するでしょう。
41 というのは、農夫が地に多くの種を蒔き、多くの木を植
えても、その季節に蒔かれたものが芽を出さないように、
植えられたものがすべて根を張るわけでもない。 世界で;
彼ら全員が救われるわけではない。
42 それで私は答えて、「もし恵みを見つけたら、話させて
ください」と言いました。
43 農夫の種が、適切な時期に成長せず、あなたの雨が降ら
なければ滅びるのと同じです。 あるいは、雨が多すぎて、
それが腐敗した場合、
44 それなのに、人間もまた滅びます。それはあなたの手で
形造られ、あなた自身の像と呼ばれています。なぜなら、
あなたはその人に似ているからです。その人のために、あ
なたは万物を造り、彼を農夫の種にたとえました。
45 私たちに対して憤慨しないで、あなたの民を赦し、あな
た自身の相続財産を憐れんでください。あなたはあなたの
被造物に慈悲深いからです。
46 それから彼は私に答えて言った、「今あるものは今のた
めのもので、これから起こるものは将来のためにある。」
47 というのは、あなたは私以上に私の被造物を愛すること
ができるには程遠いからです。しかし、私はしばしばあな
たに、そしてそれに近づいてきましたが、不義な者には決
して近づきませんでした。
48 この点においても、あなたはいと高き方の前で驚くべき
お方です。
49 その点で、あなたは自分自身を低くし、義人の間で大い
に栄光を受けるに値すると自分自身を判断しませんでした。
50 なぜなら、彼らは非常に誇りを持って歩んできたので、
後の世に世に住むであろう彼らには、多くの大きな不幸が
与えられるからである。
51 しかし、あなたを自分自身で理解し、あなたのような者
のために栄光を求めなさい。
52 あなたには楽園が開かれ、命の木が植えられ、来たるべ
き時が準備され、豊かさが準備され、都市が建設され、休
息が許されているからです、そうです、完全な善と知恵で
す。
53 悪の根はあなたから封じられ、弱さと蛾はあなたから隠
され、腐敗は忘れられるために地獄に逃げます。
54 悲しみは過ぎ去り、最後には不滅の宝が示される。
55 したがって、あなたは、滅びる多数の人々について、こ
れ以上質問しないでください。
56 彼らは自由を手に入れたとき、いと高き方を軽蔑し、そ
の律法を軽蔑し、その道を捨てたからである。
57 さらに彼らは彼の義人を踏みにじり、
58 そして彼らは心の中で、「神などいない」と言った。
そう、そして彼らは死ななければならないことを知ってい
るのです。
59 というのは、前に述べたことがあなたがたを迎えるよう
に、渇きと苦痛が彼らに備えられているからである。人間
が無に帰することは神の御心ではなかったからだ。
60 しかし、創造されたものは、 彼らは彼らを造った神の
名を汚し、彼らのために命を備えてくれた神に感謝しませ
んでした。
61 したがって、私の判断は今、目の前にあります。
62 これらのことをわたしはすべての人に示したのではなく、
あなたと、あなたのような少数の人々に示しました。 それ
から私はこう答えました。
63 見よ、主よ、あなたは今、終わりの時になさろうとなさ
る数々の不思議を私に見せてくださいました。しかし、い
つのことか、あなたは私に見せてくださいませんでした。

第 9 章

1 そこで彼は私に答えて言った、「時間をそれ自体で熱心
に測ってください。そして、私が前にあなたに話した過去
の兆候の一部が見えたら、次のように言いました。」
2 その時、あなたは理解するであろう、それはまさに同じ
時であり、至高者は自らが造った世界を訪問し始めるだろ
う。
3 したがって、世界中で地震と人々の騒ぎが見られるとき、
4 そうすれば、いと高き者は、あなたの以前の時代から、
さらには初めから、それらのことについて語っていたこと
を、あなたはよく理解するでしょう。
5 この世で造られたすべてのものと同じように、始まりと
終わりがあり、終わりは明らかだからです。
6 それでもなお、いと高き方の時代もまた、驚異と力強い
働きで明白に始まり、結果としるしで終わります。
7 そして、救われる者は皆、自分の行いと、あなたがたが
信じた信仰とによって、逃れることができる。
8 わたしは前記の危険から守られ、わたしの地とわたしの
境界内でわたしの救いを見るであろう。わたしは最初から
わたしのためにそれらを神聖なものとしたからである。
9 そのとき、わたしの道を乱用した彼らは、哀れな目に遭
うだろう。そして、それにも関わらず、彼らを捨てた者た
ちは、苦しみの中で生きることになる。
10 このような人たちは、生前に恩恵を受けていましたが、
わたしを知りませんでした。
11 そして、わたしの律法を憎んだ者たちは、まだ自由があ
り、悔い改めの場がまだ彼らに開かれていたときに、理解
せず、それを軽蔑した。
12 同じように、死んだ後も苦しみによってそれを知らなけ
ればなりません。
13 したがって、不敬虔な者たちがいつどのように罰せられ
るかについては興味を持たないで、義人がどのように救わ
れるのか、世界は誰のものであり、世界は誰のために創造
されたのかを尋ねてください。
14 そこで私は答えて言った。
15 わたしは以前にも言いましたし、今も言いますし、これ
からも言うつもりです。救われる者よりも滅びる者の方が
多いのです。
16 波が水滴よりも大きいように。

17 すると彼は私に答えて言った、「畑がそうであるように、種もまたそうです。花がそうであるように、色もまた同様です。職人がそうであるように、仕事もまた同様である。そして、畜産者自身がそうであるように、その畜産もまた同様である。なぜなら、それは世界の時代だったからである。
18 そして今、私がまだ造られていなかった世界を、彼らが今生きている世界に住めるように準備したとき、誰も私に反対する者はいませんでした。
19 そのときは、皆が従ったが、今では、この造られた世界に創造された彼らの作法は、永遠の種と、探ることのできない律法によって、腐敗してしまっている。
20 そこで私は世界について考えました。そして、見よ、世界に侵入してきた装置のせいで危険が存在していました。
21 そして、私はそれを見て、それを大いに惜しんで、一房のブドウと偉大な民の植物を私に保管しました。
22 では、無駄に生まれた群衆は滅びよう。そして私のブドウと私の植物を保管してください。大変な苦労をして完璧に仕上げたからです。
23 それにもかかわらず、もしあなたがまだ七日間休むつもりなら、（しかし、あなたはそこで断食してはならない、
24 しかし、家が建っていない花畑に入って、野の花だけを食べなさい。肉の味もせず、ワインも飲まず、花だけを食べてください;)
25 そして、いと高き方に絶えず祈ってください。そうすれば、私は来てあなたと話しましょう。
26 それで私は、彼が私に命じたように、アルダスと呼ばれる野原に行きました。そこで私は花の間に座って、野の薬草を食べました、そしてその肉は私を満足させました。
27 七日後、私は草の上に座っていましたが、以前と同じように、私の心はイライラしていました。
28 そこで私は口を開いて、いと高き方の前で話し始め、こう言いました。
29 主よ、私たちに御姿を見せてくださったあなたは、私たちの先祖たちがエジプトから出てきたとき、荒野、人の足が踏み入れない場所、不毛の地で御姿を見せてくださいました。
30 そしてあなたはこう言った、「イスラエルよ、聞いてください。」そして、ヤコブの子孫よ、私の言葉に印を付けてください。
31 見よ、わたしはわたしの律法をあなたがたのうちに蒔く。そうすれば、それはあなたがたのうちに実を結び、あなたがたはその律法において永遠に尊ばれるであろう。
32 しかし、律法を受け入れた私たちの先祖たちは、それを守らず、あなたの定めも守らなかった。あなたの律法の果実は滅びなかったが、それはあなたのものだったから、滅びることもなかった。
33 しかし、それを受け取った人々は、自分たちの中に蒔かれたものを守らなかったので、滅びました。
34 そして、見よ、地が種を受け取ったとき、あるいは海が船、あるいは肉や飲み物を受け取ったとき、それが蒔かれた場所、あるいは投げ込まれた場所で滅びるのが習慣である。
35 蒔かれたもの、投げ込まれたもの、あるいは受け取ったものは、滅びて私たちのところに残りません。しかし、私たちの場合はそのようなことは起こりませんでした。
36 律法を受け入れた私たちも罪によって滅び、律法を受け入れた私たちの心も滅びるからです。
37 にもかかわらず、律法は滅びず、存続する。彼の力。
38 そして、私が心の中でこれらのことを話したとき、私は目で振り返ると、右側に一人の女性が見えました。見よ、彼女は悲しみ、大声で泣き、心の中で非常に悲しんでいました。服はレンタルされており、頭には灰がかぶっていた。
39 それから、私は自分の中にいたという考えを手放し、彼女の方に向き直りました。
40 そして彼女に言った、「なぜ泣いているのですか。」なぜあなたは心の中でそんなに悲しんでいるのでしょうか?
41 そして彼女は私に言った、「先生、私を放っておいてください。私は自分自身を嘆き、悲しみをさらに増大させるかもしれません。私は心の中でひどくイライラしていて、非常に落ち込んでいるからです。」
42 それで私は彼女に言った、「あなたは何をしているのですか」。教えて。
43 彼女は私に言った、「私はあなたのしもべで、三十年間夫がいたにもかかわらず、不妊で子供がいませんでした。
44 そして、その三十年間、私は昼も夜も毎時間も、いと高き方に祈りをささげること以外には何もしませんでした。
45 三十年後、神はあなたのはしための私の声を聞いて、私の悲惨さを見て、私の悩みを考慮して、私に息子を与えてくださいました。そして私は彼をとても喜びました、そして私の夫も、そして私の隣人全員もそうでした：そして私たちは彼に大きな栄誉を与えました 全能者。
46 そして私は大変な苦労をして彼を養った。
47 そこで、彼が成長し、妻をもうけるべき時期に達したとき、私は祝宴を開きました。

第 10 章

1 そして、息子は結婚式の部屋に入ったとき、倒れて死んでしまいました。
2 それから私たちは皆で明かりを倒し、近所の人たち全員が私を慰めるために立ち上がったので、私は二日目の夜まで休んだ。
3 そして、皆が私を慰めるために立ち去ったとき、私は最後まで静かにしていられるようになりました。それから私は夜のうちに起きて逃げて、ご覧のとおり、ここの野原にやって来ました。
4 そして、私は今、町に戻るのではなく、ここに留まり、食べたり飲んだりせず、死ぬまで絶えず悲しみ、断食するつもりです。
5 それから私は瞑想をやめて、怒りながら彼女にこう言いました。
6 誰よりも愚かな女よ、あなたは私たちの悲しみが分からないのに、私たちに何が起こったのですか?
7 私たちの母シオンは、どれほど重く、とても謙虚で、とても悲しんでいるのでしょうか。
8 それで今、私たち皆が悲しみ、悲しんでいるのを見て、私たちはみな重苦しいのに、あなたは一人の息子のことで悲しんでいるのでしょうか。
9 大地に尋ねなさい。そうすれば、大地はあなたに、自分の上に成長する多くの者の堕落を嘆くべきは大地であると言うでしょう。
10 というのは、初めにすべての人が彼女から出て、他のすべての人が彼女から出て、見よ、彼らはほとんどすべて滅びに向かって歩み、彼らのうちの多くが完全に根こそぎにされるからである。
11 では、これほど多くの人々を失った彼女以上に嘆く人がいるでしょうか。そしてあなたではありません、ただ一つだけ残念なことはありますか?

12 しかし、あなたが私に、「私の嘆きは地上の嘆きのようなものではない」と言うなら、私は苦しみながら産み出し、悲しみをむき出しにした子宮の実を失ったからです。
13 しかし、地はそうではありません。地の流れに従って、その中に存在していた群衆は、来たときと同じように去ってしまったからです。
14 そこで、あなたに言います、あなたが労働で産んだのと同じです。 それでも、地球はまた、最初から彼女の実、つまり人間を、彼女を造った者に与えました。
15 ですから、今は悲しみを胸にしまって、自分に降りかかった出来事を勇気を持って耐えなさい。
16 というのは、もしあなたが神の決意が正しいと認めるなら、あなたはやがて息子を授かり、女性の間で賞賛されるであろう。
17 それから、あなたの夫のところへ行きなさい。
18 すると彼女は私に言った、「そんなことはしません。私は町には行きませんが、ここで死にます」。
19 そこで私はさらに彼女に話しかけてこう言いました。
20 そうしないで、助言を受けてください。 私から：シオンの逆境はどれだけあるでしょうか? エルサレムの悲しみについて慰められますように。
21 あなたは、私たちの聖所が荒廃し、私たちの祭壇が打ち砕かれ、私たちの神殿が破壊されているのをご覧のとおりです。
22 私たちの詩篇は地に置かれ、私たちの歌は沈黙し、私たちの喜びは終わり、私たちの燭台の明かりは消え、私たちの契約の箱は傷つき、私たちの聖なる物は汚され、その名は 私たちに呼び掛けられたことは、ほとんど冒涜に近いものです。私たちの子供たちは恥をかかされ、祭司たちは火刑に処され、レビ人は捕虜となり、処女たちは汚され、妻たちは略奪されます。 私たちの義人たちは連れ去られ、私たちの小さな者たちは滅ぼされ、私たちの若い人たちは奴隷にされ、私たちの強い人たちは弱くなっています。
23 そして、すべての中で最も偉大なことは、シオンの印章が今やその名誉を失ったことである。 なぜなら、彼女は私たちを憎む者たちの手に引き渡されるからです。
24 それゆえ、あなたの大きな重さを振り払い、多くの悲しみを取り去ってください。そうすれば、力ある者が再びあなたに慈悲を与え、いと高き者があなたに休息とあなたの労働からの安らぎを与えるでしょう。
25 そして、私が彼女と話しているときに、それが起こりました。見よ、突然彼女の顔が非常に輝き、彼女の顔が輝いたので、私は彼女を恐れ、それは何だろうと考えました。
26 すると、見よ、突然彼女は非常に恐ろしい叫び声を上げた。そのため、その女の音で地が震えた。
27 そこで私が見ると、見よ、その女はもう私に現れなかったが、そこには町が建てられ、 大きな場所が基礎から姿を現しました。そのとき私は怖くなって、大声で叫び、こう言いました。
28 最初に私のところに来た天使ウリエルはどこにいるのですか。 なぜなら、彼は私を多くのトランス状態に陥らせ、私の結末は腐敗に変わり、私の祈りは叱責されるからです。
29 そして、私がこれらの言葉を話していると、見よ、彼は私のところに来て、私を見つめた。
30 そして、見よ、私は死んだ者のように横たわっていて、理解力も奪われていた。すると彼は私の右手をとって慰め、立ち上がらせて言った。
31 あなたは何をしているのですか? そしてなぜあなたはそんなに動揺しているのですか? そしてなぜあなたの理解力とあなたの心の考えが混乱しているのですか?
32 そして私は言いました、「あなたは私を見捨てられたのに、私はあなたの言葉どおりに行い、野原に行きました。そして、見よ、私は言い表せないことを見た、そしてまだ見たのです。」
33 そして彼は私に言った、「男らしく立ちなさい。そうすればあなたに忠告します。」
34 それから私は言いました、「主よ、私の中で話してください。」 ただ、私を見捨てないでください。希望を失って死ぬことのないように。
35 というのは、私は知らないことを見て、知らないことを聞いているからです。
36 それとも私の感覚がだまされているのか、それとも私の魂が夢の中にいるのか?
37 そこで、私はあなたに、この幻をあなたのしもべに見せてくださるようお願いします。
38 その時、彼は私に答えて言った、「聞いてください。あなたが恐れている理由をあなたに知らせます。いと高き方があなたに多くの秘密を明らかにするからです。」
39 彼はあなたの道が正しいことを見ました。あなたは自分の民のために絶えず悲しみ、シオンのために大いに嘆いているからです。
40 したがって、あなたが最近見た幻の意味は次のとおりです。
41 あなたは、悲しんでいる女を見て、彼女を慰め始めました。
42 しかし今、あなたには女の似姿はもう見えず、あなたの前に一つの都市が建てられたように見えた。
43 そして彼女は息子の死についてあなたに話しましたが、解決策は次のとおりです。
44 あなたが見たこの女はシオンです。そして彼女はあなたに言ったのに対し、あなたが建てた都市のように見えるこの女でさえ、こう言いました。
45 それに対して、彼女はあなたに、自分は三十年間不妊であったと言いました。それは、彼女に捧げ物がなされていなかった三十年間のことです。
46 しかし、三十年後、ソロモンは都を築き、捧げ物をささげ、不妊の息子を産んだ。
47 そして、彼女はあなたに、労働で彼を養ったと言いましたが、それはエルサレムの住居でした。
48 しかし、彼女はあなたに言った、「婚姻室に入ってきた私の息子はたまたま失敗して死んだのです。これがエルサレムに来た滅びでした。」
49 そして、見よ、あなたは彼女の似姿を見て、彼女が息子のことで悲しんでいたので、彼女を慰め始めました。そして、これらの偶然の出来事のうち、これらはあなたに明らかにされるでしょう。
50 今、いと高き方は、あなたが偽りなく悲しみ、彼女のために心を尽くして苦しんでいることをご覧になり、そのようにして彼女の栄光の輝きと美しさの美しさをあなたにお見せになったのです。
51 そこで、私はあなたに、家も建てられていない野原に留まるように命じました。
52 いと高き方がこれをあなたに示されるであろうことを私は知っていたからです。
53 そこで私はあなたに、建物の基礎のない野原に行くように命じました。
54 なぜなら、いと高き者がその都市を見せ始められる場所には、人の建物が立つことはできないからである。
55 ですから、恐れることはありません。あなたの心を怖がらせてはなりません。しかし、入って、あなたの目に見える限りの建物の美しさと偉大さを見てください。

56 そして、あなたの耳で理解できる限り多くのことを聞くであろう。
57 あなたは他の多くの人より祝福されており、いと高き者とともに召されているからです。 そして、そのような人はほんのわずかです。
58 しかし、明日の夜まで、あなたはここに留まります。
59 そして、いと高き者は、あなたに崇高な事柄の幻を示されるであろう。それは、いと高き者が終わりの日に地上に住む者たちに行うであろう。 それで私はその夜も、彼の命令どおりにまた眠りました。

第 11 章

1 それから私は夢を見ました、そして見よ、12 の羽のある翼と 3 つの頭を持った鷲が海から上がってきました。
2 そして、私が見ると、見よ、彼女は全地に翼を広げ、すべての空気の風が彼女に吹き、集まってきました。
3 そして私が見ていると、彼女の羽から別の反対の羽が生えていました。 そして彼らは小さな羽になり、小さくなりました。
4 しかし、彼女の頭は静止していた。真ん中の頭は他の頭よりも大きかったが、残り物と一緒に横たわっていた。
5 さらにわたしは見ました、見よ、鷲が羽を広げて飛び、地とそこに住む者たちを支配しました。
6 そして私は、天の下にあるすべてのものは彼女に服従しており、誰も彼女に敵対する者はなく、地上の生き物は一人もいませんでした。
7 そして私が見ていると、見よ、鷲が爪を立てて立ち上がり、羽に向かってこう言った。
8 一度に全員を監視するのではなく、全員がそれぞれの場所で寝て、段階ごとに監視します。
9 しかし、頭は最後まで取っておきなさい。
10 そして私が見ていると、見よ、その声は彼女の頭からではなく、彼女の体の真ん中から出ていた。
11 それで私は彼女の反対側の羽の番号を数えました、そして見よ、それらは八枚ありました。
12 そして私が見ると、見よ、右側に一枚の羽が生えて、君臨していた。 d 全地球上。
13 そして、その統治が終わりを迎え、その場所はもはや現れなかった。そこで、次に続く者たちが立ち上がった。 そして統治し、素晴らしい時間を過ごしました。
14 そして、それが統治していたとき、最初と同じように、その終わりも来て、それはもう現れませんでした。
15 すると、そこに声が聞こえて言った。
16 長い間地上を統治してきた汝に聞け、汝がもう姿を現さなくなる前に、私は汝に言います。
17 あなたがあなたの時代に達した後は、その半分に至る人もいないでしょう。
18 それから三番目が起きて、以前と同じように君臨したが、もう現れなかった。
19 すべての残りの者たちも次々と同様に進み、すべての者が君臨したが、それ以上姿を現さなくなった。
20 それから私は見ました、そして、見よ、やがて、後から続いた羽が右側に立ち上がって、彼らも支配するようになりました。 そして彼らのうちの何人かが支配しましたが、しばらくすると彼らはもう現れませんでした。
21 彼らの中には、立てられたのに統治しなかった者もいたからである。
22 この後、わたしが見ると、見よ、十二枚の羽も、二枚の小さな羽も、もう見えなかった。
23 そして、鷲の体にはもう何もなく、止まっている三つの頭と六枚の小さな翼だけがあった。
24 それから、私はまた、二枚の小さな羽が六枚から分かれて、右側の頭の下に残っているのを見ました。というのは、四枚はその場所に留まり続けたからです。
25 そして私は見ました、そして、見よ、翼の下にあった羽が自ら立ち上がって支配しようと考えました。
26 そこで私が見ると、見よ、一台が設置されていたが、間もなくそれはもう現れなかった。
27 そして、二番目の者は最初の者よりも早く出発した。
28 そして私は見ました、そして、見よ、残った二人は自分たち自身も統治することを考えていました。
29 そこで彼らがそう思ったとき、見よ、静止していた頭の一つ、すなわち真ん中にいた頭が目を覚ました。 それは他の二人の頭よりも大きかったからです。
30 すると、ほかの二つの頭がそれにつながっているのが見えた。
31 そして見よ、その頭は一緒にいた者たちと一緒に向きを変え、翼の下に君臨するはずだった二枚の羽を食い尽くした。
32 しかし、この頭は全地を恐怖に陥れ、地上に住むすべての人々を圧制して支配した。 そしてそれは、それまでのあらゆる翼よりも世界を統治していた。
33 この後、私が見ていると、見よ、真ん中にあった頭が、翼のように突然現れなくなった。
34 しかし、二つの頭は残り、同様に地とそこに住む者たちを支配した。
35 そして見ていると、見よ、右側の頭が左側の頭を食い尽くしていた。
36 その時、私に向かって声が聞こえました。「あなたの前を見て、あなたが見ているものを考えてください。」
37 そして私が見た、見よ、それはまるで吠えながら森から追い出された獅子のようだった。すると、彼が鷲に向かって男の声を出して言ったのが見えた。
38 聞いてください。わたしはあなたと話します。いと高き方はあなたにこう言われます。
39 四匹の獣のうちの残りの者は、彼らの時代の終わりが彼らに訪れるように、わたしがこの世界に君臨させたものではないのか。
40 そして、四番目の獣が来て、過去のすべての獣を打ち負かし、非常に恐ろしい力で世界を支配し、非常に邪悪な抑圧で地球の全範囲を支配しました。 そして彼は長い間、欺瞞を持って地上に住んでいた。
41 地はあなたを真理をもって裁いていないからです。
42 あなたは柔和な人々を苦しめ、平和な人々を傷つけ、嘘つきを愛し、実を結ぶ人々の住居を破壊し、あなたに害を及ぼさなかった人々の城壁を打ち破ったからです。
43 それゆえ、あなたの不法行為はいと高き者に報いられ、あなたの高慢は力ある者に報いられる。
44 いと高き方もまた、誇り高き時代をご覧になりましたが、見よ、それらは終わりを迎え、彼の忌まわしい行為は成就されました。
45 したがって、鷲よ、おまえの恐ろしい翼も、おまえの邪悪な羽も、おまえの悪意のある頭も、おまえの痛ましい爪も、おまえのむなしい体も、もう現れることはない。
46 地球全体が元気づけられ、あなたの暴力から解放されて立ち戻り、彼女が彼女を造った神の裁きと慈悲を望むことができるように。

第 12 章

1 そして、ライオンが鷲にこれらの言葉を話している間、私は見ました、
2 そして、見よ、残っていた頭と四つの翼はもう現れなかった。二人はそこに行って統治しようと立ち上がった。彼らの王国は小さく、騒乱に満ちていた。
3 そして私は見ました、そして、見よ、彼らはもう現れませんでした、そして、ワシの体全体が焼け落ちたので、地球は大きな恐怖に陥りました。そして、私は心の悩みとトランス状態、そして大きな恐怖から目覚めました。 そして私の霊にこう言いました。
4 見よ、あなたはいと高き方の道を探求するということで、私にこのようなことをしてくださいました。
5 見よ、それでも私は心は疲れており、霊は非常に弱っている。 そして、今夜私が苦しんだ大きな恐怖のせいで、私の中にはほとんど力がありません。
6 そこで私は今、いと高き方に、最後まで私を慰めてくださるよう懇願します。
7 そして私は言った、「最も統治を担ってくださる主よ、もし私がその前に恵みを見つけたのであれば」 あなたの視力、そして私が他の多くの人たちの前であなたに対して義と認められるかどうか、そして私の祈りが実際にあなたの面前に届けられるかどうか。
8 それなら、私を慰め、あなたのしもべに、この恐ろしい幻の解釈と明白な違いを教えてください。そうすれば、あなたは私の魂を完全に慰めることができます。
9 あなたは私を最後に見せるのにふさわしいと判断したからです。
10 そして彼は私に言った、「これが幻の解釈です。」
11 あなたが海から上がってくるのを見た鷲は、あなたの兄弟ダニエルの幻の中で見た王国です。
12 しかし、それは彼には説明されなかったので、今、あなたに宣言します。
13 見よ、地上に王国が立ち上がり、それ以前のすべての王国を超えて恐れられる日が来る。
14 同じように十二人の王が次々に統治する。
15 その中で、二番目の者が統治し始め、十二人の誰よりも多くの時間を有するであろう。
16 そして、あなたが見た十二の翼はこれを意味します。
17 あなたが聞いた声が、頭から出ているのではなく、体の真ん中から出ているのを見たということについては、次のように解釈されます。
18 その王国の時代の後に、大きな争いが起こり、それは失敗の危険にさらされるでしょう。それでも、それは倒れず、再びその始まりに戻されます。
19 そして、あなたは、羽の下にある八つの小さな羽が彼女の翼にくっついているのを見たが、次のように解釈される。
20 それは、彼の中に八人の王が生じ、その時代は短く、その年月は早いであろう。
21 そして、そのうちの二人は、中世が近づいて滅びます。四人は、終わりが近づき始めるまで保存されます。しかし、二人は最後まで保存されます。
22 そして、あなたは三つの頭が休んでいるのを見たが、次のように解釈される。
23 いと高き方は終わりの日に三つの王国を建て、その中で多くのものを新たにし、彼らは地の支配権を有するであろう。
24 そして、その中に住んでいる人々は、彼らの前にいたすべての人々に比べて、多くの抑圧を受けています。それゆえ、彼らは鷲の頭と呼ばれています。
25 というのは、これらの者こそが彼の悪を成就し、彼の最後の最後を終わらせる者だからである。
26 そして、あなたは偉大な頭がもう現れなかったのを見ましたが、それは彼らのうちの一人がベッドの上で苦しみながら死ぬことを意味します。
27 残った二人は剣で殺されるからである。
28 なぜなら、一方の剣が他方を食い尽くすからである。しかし、最後には彼自身が剣に倒れるであろう。
29 そして、あなたは翼の下に 2 枚の羽が右側の頭の上を通っているのを見ました。
30 それは、これらがいと高き者が最後まで守った彼らであることを意味します。あなたが見たように、これは小さな王国であり、困難に満ちています。
31 また、あなたが見たライオンは、森の中から起き上がり、咆哮を上げ、鷲に語りかけ、あなたが聞いたすべての言葉で彼女の不義を叱責した。
32 これは油そそがれた者たちであり、いと高き者は彼らと彼らの悪のために最後まで保たれたものである。彼は彼らを戒め、彼らの残酷さで彼らを叱責するであろう。
33 なぜなら、神は彼らを生きたまま裁きの前に立たせ、彼らを叱責し、矯正するからである。
34 わたしの残りの民のために、神はわたしの国境に迫られた者たちを憐れみをもって救い出し、わたしが初めからあなたに話してきた裁きの日が来るまで、彼らを喜ばせてくださるであろう。
35 これはあなたが見た夢であり、これらは解釈です。
36 あなたは、至高者のこの秘密を知るために出会ったばかりです。
37 ですから、あなたが見たこれらすべてのことを本に書いて隠してください。
38 そして、民の賢い人たちにそれを教えてください。あなたが知っている彼らの心は、これらの秘密を理解し、守ることができるでしょう。
39 しかし、いと高き方があなたに告げようとされることが何でもあなたに示されるよう、あと七日間ここで待っていてください。 それで彼は自分の道を進みました。
40 さて、民は皆、七日間が過ぎ、私がもう町に来ないのを見て、身分の低い者から偉い者まで全員を集めて、私の所に来て言った。
41 私たちは何をあなたを怒らせたのでしょうか? そして、あなたが私たちを見捨てて、この場所に座っているとは、私たちがあなたに対してどんな悪事をしたのですか?
42 すべての預言者の中であなただけが、ヴィンテージの塊として、暗い場所のろうそくとして、そして嵐から守られた避難所または船として、私たちを残しました。
43 私たちに降りかかる災いだけで十分ではないでしょうか。
44 もしあなたが私たちをお見捨てになるのなら、私たちもシオンの真ん中で焼かれていたら、どんなによかっただろうか。
45 なぜなら、私たちはそこで死んだ彼らよりも優れているわけではないからです。 そして彼らは大きな声で泣きました。 それから私は彼らに答えて言いました、
46 イスラエルよ、どうか慰めてください。 ヤコブの家よ、重くならないでください。
47 いと高き方はあなたを覚えていて、力ある方は誘惑の中であなたを忘れられなかったのです。
48 私に関して言えば、私はあなたを見捨てたわけではなく、あなたから離れたわけでもありません。しかし、私がこの場所に来たのは、シオンの荒廃のために祈り、あなたの低い身分のために慈悲を求めるためです。 あなたの聖域。
49 それで、皆さん、今、家に帰りなさい。この日が終わったら、私はあなたがたのところに行きます。

50 そこで人々は、わたしが命じたとおりに、町に入って行った。
51 しかし、私は天使が命じたとおり、七日間野原にじっとしていました。 当時は野の花だけを食べ、薬草の肉を食べていました。

第 13 章

1 そして七日後に、私は夜に夢を見ました。
2 すると、見よ、海から風が起こり、すべての波を動かした。
3 そして私は見ました、そして、見よ、その男は何千もの天とともに力強くなりました。そして彼が見ようとして顔を向けたとき、彼の下に見られたすべてのものは震えました。
4 そしてその声が彼の口から出るたびに、火を感じて地が衰えるように、彼の声を聞いた者たちは皆燃え上がった。
5 この後、わたしが見ていると、見よ、海から出てきた男を制圧するために、天の四方から数え切れないほどの人たちが集まっていた。
6 しかし、私が見ると、見よ、彼は自分自身で大きな山を掘り、そこに飛び上がった。
7 しかし、私はその丘が掘られた地域か場所を見ることができたであろうが、それはできなかった。
8 この後、わたしが見たのは、見よ、彼を制圧するために集まった者たちは皆、ひどく恐れながらも懸命に戦っていた。
9 そして、見よ、彼はやって来た群衆の暴力を見て、手を上げず、剣も、いかなる戦争の道具も持たなかった。
10 しかし、わたしだけが見たのは、彼が口からは火の爆風のように吐き出し、唇からは燃えるような息を吐き、舌からは火花と嵐を吐き出したことだった。
11 そして、それらはすべて混ぜ合わされた。 火の爆風、燃えるような息、そして大嵐。 そして、戦う準備ができていた群衆に暴力で襲いかかり、全員を焼き尽くしたので、突然、無数の群衆が現れたとき、塵と煙の匂いだけが何も知覚されなくなりました。これを見たとき、私は怖くなりました 。
12 その後、私が山から下りてきて、別の平和な群衆を呼び寄せるのを見た。
13 すると、大勢の人々が彼のところにやって来た。その中で、喜ぶ人もいれば、残念に思う人もいるし、縛られている人もいれば、差し出されたものを持ってきた人もいた。そのとき、私は大きな恐怖で病気になっていたので、目が覚めて言った。
14 あなたは初めからしもべにこれらの不思議を示し、私の祈りを受け入れるに値すると私をみなしてくださいました。
15 今度はこの夢の解釈を教えてください。
16 というのは、私の理解では、その時代に残される者たちには災いがあり、残されない者たちにはさらに災いがあると考えているからです。
17 残されなかった者たちは重苦しかったからである。
18 さて、私は、末日に定められた事柄、すなわち彼らと残された者たちに起こることを理解しています。
19 したがって、この夢が宣言しているように、彼らは大きな危険と多くの必需品に遭遇します。
20 しかし、危険にさらされている者にとって、世から雲のように消え去り、終わりの日に起こる事柄を見られないよりも、こうした事態に陥る方が容易ではないでしょうか。すると彼は私に答えてこう言いました。
21 わたしはその幻の解き明かしをあなたに見せ、あなたの求めたものをあなたに明らかにしましょう。
22 あなたは取り残された人々について話されましたが、次のように解釈されます。
23 その時に危険に耐える者は自分を保った。危険に陥った者は業と全能者に対する信仰を持っている者である。
24 したがって、後に残された人々は、死んだ人々よりも祝福されるということを知ってください。
25 この幻の意味は次のとおりである。一方、あなたは、ある人が海の真ん中から上がってくるのを見た。
26 いと高き神が偉大な季節を保たれた者も同様であり、その者は自らその被造物を救い出し、残された者たちに命じられるであろう。
27 そして、あなたは見たが、彼の口からは突風、火、嵐のように出た。
28 そして、彼は剣も戦争の道具も持っていなかったが、彼の突進が彼を制圧しに来た群衆をすべて滅ぼした。 これは解釈です:
29 見よ、いと高き方が地上にいる者たちを救出し始める日が来る。
30 そして彼は地上に住む者たちを驚かせるであろう。
31 そして、人は他の都市と、ある都市と他の都市と、ある場所と他の場所と、ある民族と他の民族と、そしてある王国と他の王国と戦うことを決意するであろう。
32 そして、これらのことが起こり、わたしが以前あなたに示したしるしが起こり、そのとき、あなたが人間として昇るのを見た、わたしの子が宣言される時が来るだろう。
33 そしてすべての民が彼の声を聞くとき、すべての人は自分の土地で互いに戦っている戦いから去るでしょう。
34 そして、あなたが見たように、数え切れないほどの群衆が集まり、進んで来て、戦って彼に打ち勝とうとするでしょう。
35 しかし彼はシオン山の頂上に立つであろう。
36 そしてシオンが来て、備えられ、建てられて、すべての人に示されるであろう。 あなたが手なしで丘を彫ったのを見たときのように。
37 そして、このわが子は、その邪悪な生活のために嵐に陥った国々の邪悪な発明を叱責するであろう。
38 そして、彼らの邪悪な考えと、それによって彼らが苦しみ始める炎のような苦しみを彼らの前に置き、彼は私と同じ律法によって、労せずして彼らを滅ぼすでしょう。
39 そして、あなたは、彼が別の平和的な群衆を自分のもとに集めたのを見た。
40 これら十部族は、オセア王の時代に捕虜として自分たちの土地から連れ去られ、アッシリアの王サルマナサルが彼らを捕虜として連れ去り、海を越えて連れ去られ、他の地に来たものである。 。
41 しかし彼らは、大勢の異教徒を離れて、かつて人類が住んだことのない遠い国へ出て行くというこの勧告を自分たちの間で受け入れた。
42 それは、彼らが自分たちの地では決して守らなかった掟を、そこで守るためであった。
43 そして彼らは川の狭い場所を通ってユーフラテスに入った。
44 というのは、いと高き方は彼らのためにしるしを示し、彼らが過ぎ去るまで洪水を静められたからである。
45 その国を通るには、一年半という長い道のりがあったからです。同じ地域はアルサレトと呼ばれています。
46 それから彼らは最後の時までそこに住んだ。 そして今、彼らがやって来始めるとき、

47 いと高き方は再び川の泉に留まり、川が通り抜けること
ができる。それゆえ、あなたは群衆を平和に見られた。
48 しかし、あなたの民に取り残されたのは、私の国境内に
いた人々です。
49 さて、彼が集まっている多くの国々を滅ぼすとき、彼は
残っている自分の民を守るでしょう。
50 そして、彼は彼らに大きな不思議を見せるだろう。
51 それから、最も統治を担う主よ、私はこう言いました。
「どうして私は、その人が海の真ん中から上がってくるの
を見たのですか。」
52 そして彼は私に言った、「あなたが海の深さにあるもの
を捜すことも知ることもできないのと同じように、地上の
誰も私の息子や息子と一緒にいる人たちを見ることはでき
ません、日中は」。
53 これはあなたが見た夢の解釈であり、それによってあな
ただけがここで明るくなりました。
54 あなたは自分の道を捨て、私の律法に熱心に取り組み、
それを求めたのです。
55 あなたの人生は知恵によって定められ、あなたの母親を
理解するよう求められました。
56 それで、わたしはあなたにいと高き方の宝物を見せまし
た。あと三日の後に、わたしはあなたに別のことを話し、
力強くて不思議なことをあなたに宣言します。
57 それから私は野に出て、いと高き方の奇跡を時機にかな
えてくださったので、彼に賞賛と感謝をささげました。
58 そして、彼は同じように、季節に応じて物事を統治する
ので、私はそこに三日間座っていました。

第 14 章

1 そして三日目に、私は樫の木の下に座っていました。す
ると、見よ、藪の中から声が私に向かって聞こえてきて、
「エスドラス、エスドラス」と言った。
2 そして私は言いました、「主よ、私はここにいます」そ
して私は立ち上がった。
3 それから彼は私に言った、「私の民がエジプトで奉仕し
ていたとき、私は藪の中でモーセにはっきりと自分の姿を
現し、彼と話しました。
4 そこで、わたしは彼を遣わして、わたしの民をエジプト
から導き出し、長い間わたしが彼を抱いていた山に彼を連
れて行った。
5 そして彼に多くの不思議なことを語り、時代と終末の秘
密を教えた。そして彼に命じてこう言った。
6 これらの言葉をあなたは宣言し、これを隠してください。
7 そこで私はあなたにこう言います。
8 あなたは、わたしが示したしるし、見た夢、聞いた解釈
を心に留めておきなさい。
9 あなたはすべてのものから取り去られ、これからは世が
終わるまで、わたしの子と、そしてあなたに似た者たちと
ともにとどまるであろう。
10 というのは、世界は若さを失い、時代は老い始めている
からです。
11 というのは、世界は十二に分かれており、その十の部分
はすでに去り、十分の一の半分はなくなっているからです。
12 そして、第十部分の半分以降が残っています。
13 それゆえ、今、あなたの家を整え、あなたの民を叱責し、
困っている人を慰め、今すぐ腐敗を捨てなさい。
14 死すべき考えを手放し、人間の重荷を捨て、弱い性質を
今脱ぎ捨てなさい。
15 そして、あなたにとって最も重い考えを脇に置いて、こ
の時代から急いで逃げてください。
16 あなたが見たよりもさらに大きな悪が今後起こるからで
す。
17 見よ、世が年月を重ねるごとにどれほど弱くなり、そこ
に住む者たちに悪がますます増えることになるだろう。
18 時は遠くに逃げており、借りることは困難です。今、あ
なたが見た幻の到来を急いでいます。
19 そこで私はあなたの前で答えて言いました。
20 見よ、主よ、私はあなたの命じられたとおりに行き、そ
こにいる民を戒めます。しかし、後に生まれる彼らを誰が
戒めるでしょうか。したがって、世界は暗闇に設定されて
おり、そこに住む人々には光がありません。
21 あなたの律法は焼き尽くされたので、あなたが何をし
たのか、あるいはこれから始まる働きを誰も知りません。
22 しかし、もし私があなたの前に恵みを見つけたなら、聖
霊を私に送ってください。そうすれば、人々があなたの道
を見つけ、彼らがあなたの道を見つけることができるよう
に、初めから世界で行われたこと、あなたの律法に書かれ
ていることをすべて書き記します。終わりの日に生きる者
は生きているかもしれない。
23 すると彼は私に答えて言った、「行って、民を集めて、
四十日間はあなたを捜さないように言いなさい」。
24 しかし、見てください、あなたは箱の木をたくさん用意
し、サレア、ダブリア、セレミア、エカヌス、アシエル、
すぐに書く準備ができているこれらの五つを持って行きな
さい。
25 そして、ここへ来てください。あなたの心の中に理解の
ろうそくに火を灯します。あなたが書き始めようとしてい
ることが実行されるまで、そのろうそくは消えてはなりま
せん。
26 そして、あなたがそれをしたとき、あなたはいくつかの
ことを発表し、いくつかのことを賢明な人たちに密かに見
せなければなりません。明日の今からあなたは書き始めな
ければなりません。
27 それから、わたしはイエスの命じられたとおりに出て、
民をすべて集めて言った。
28 イスラエルよ、この言葉を聞け。
29 私たちの先祖たちは、初めエジプトにいたよそ者で、そ
こから救われました。
30 そして命の律法を彼らは受けたが、彼らはそれを守らな
かったので、あなたがたも彼らに続いてそれを犯した。
31 それで、この地、シオンの地も、あなたがたの間でくじ
引きで分けられた。ところが、あなたがたの先祖たちも、
あなたがた自身も、不義を行い、いと高き者があなたがた
に命じられた道を守らなかった。
32 そして、彼は正義の裁判官であるため、あなたに与えた
ものをやがてあなたから奪いました。
33 そして今、あなたがたも、あなたがたの兄弟たちもここ
にいる。
34 それゆえ、もしあなたがたが自分の理解を抑制し、心を
改めようとするならば、あなたがたは生かしられ、死後も
憐れみを受けるであろう。
35 なぜなら、死後、私たちが再び生きるとき、裁きが来る
からです。そのとき、義人の名が明らかになり、不敬虔な
者の行いが告げられるでしょう。
36 ですから、今はだれもわたしのところに来ないでくださ
い。また、この四十日間、わたしを捜し求めないでくださ
い。
37 そこで私は、彼が命じたとおりに五人を連れて野に出て、
そこに留まりました。

38 そして次の日、見よ、声が私を呼んで言った、「エスドラス、口を開けて、私があなたに飲ませるものを飲みなさい。」
39 それから私が口を開けると、見よ、彼は一杯のコップを私に差し出した。それはまるで水で満たされているが、その色は火のようだった。
40 そして、私はそれを手に取り、飲みました。そして、それを飲み終えると、私の心は理解力を発し、私の胸に知恵が芽生えました。なぜなら、私の霊は私の記憶を強化したからです。
41 すると、私の口は開いたが、もう閉じなくなった。
42 いと高き方は五人に理解を与え、彼らは自分たちが知らなかった、語られた夜の素晴らしい幻を書き記した。そして彼らは四十日間座って、昼は書き、夜はパンを食べた。
43 私に関して言えば。 日中は話しましたが、夜は口を閉ざしませんでした。
44 彼らは四十日間で二百四冊の本を書きました。
45 そして、四十日が満ちたとき、いと高き方はこう言われた、「あなたが書いた最初のものを、ふさわしい者もそうでない者も読むことができるように、公に出版してください。
46 ただし、最後の 70 個は取っておいてください。民の中で賢い人にだけ渡してください。
47 なぜなら、彼らの中には理解の泉、知恵の泉、知識の流れがあるからである。
48 そして私はそうしました。

第 15 章

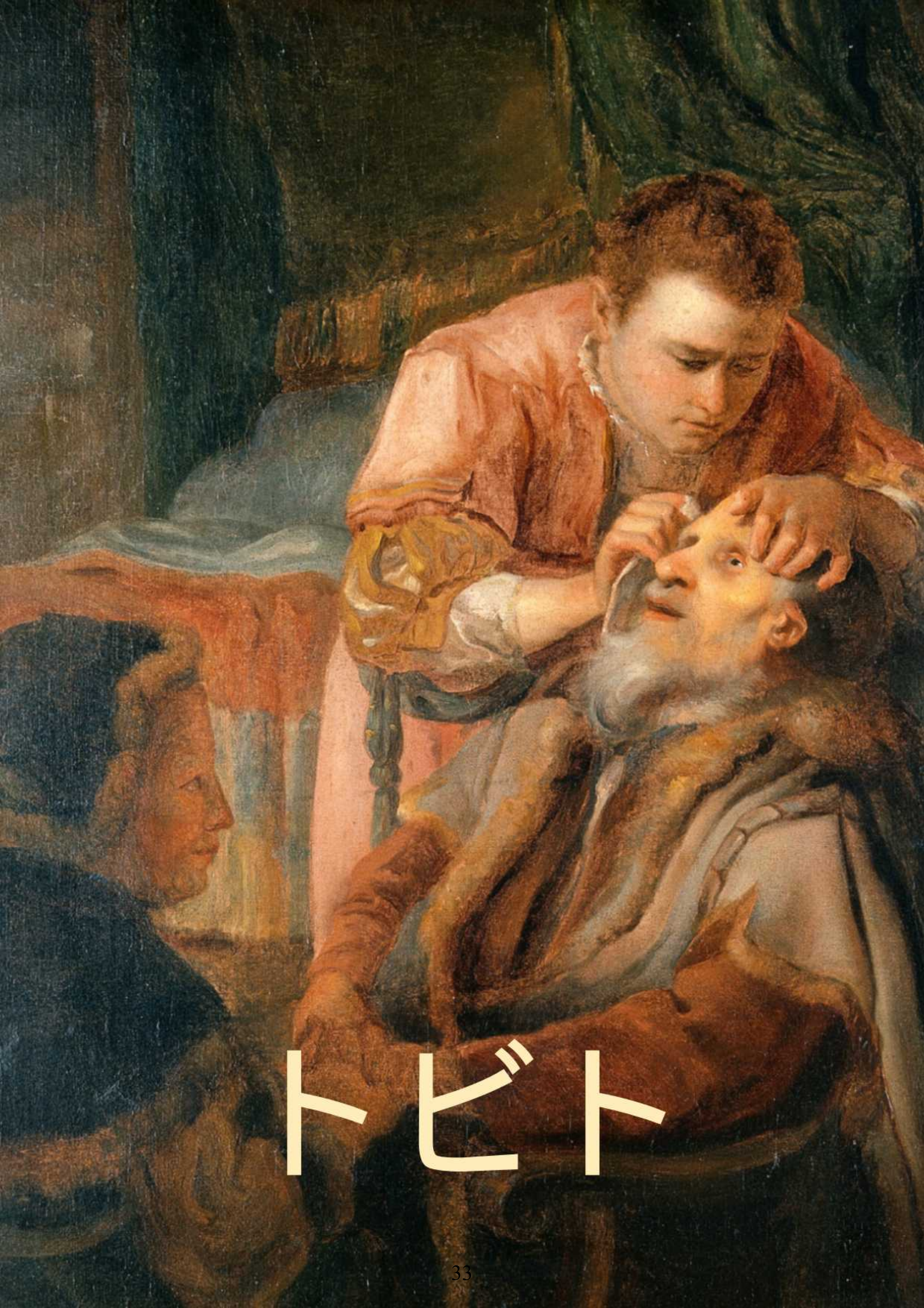
1 見よ、わたしがあなたの口に出す預言の言葉をわたしの民の耳に語ってください、と主は言われる。
2 そして、それを紙に書かせてください。それは忠実で真実だからです。
3 あなたに対する想像力を恐れるな。あなたに敵対する想像力が信じられないことであなたを悩ませてはならない。
4 不忠実な者は皆、その不忠実のままに死ぬからです。
5 見よ、と主は言われる、わたしは世に災いをもたらす。剣、飢餓、死、そして破壊。
6 というのは、悪が全地をひどく汚し、その有害な業が成就しているからです。
7 それゆえ、主はこう言われる。
8 私は、彼らが不敬に犯す悪事にはもう一切触れません。また、彼らが邪悪に振る舞うようなことで彼らを苦しめるつもりもありません。見よ、罪のない正義の血が私と人々の魂に叫びます。 ただ継続的に文句を言うだけです。
9 それゆえ、主は言われる、「わたしは必ず彼らに復讐し、彼らの中から罪のない血をすべてわたしに受け取るであろう」。
10 見よ、わたしの民は群れとして殺戮に導かれている。わたしは今、彼らをエジプトの地に住まわせるつもりはない。
11 しかし、わたしは力強い手と伸ばした腕をもって彼らを導き、以前と同じように疫病でエジプトを打ち、その全土を滅ぼすであろう。
12 エジプトは嘆き悲しみ、その土台は神がその上にもたらすであろう疫病と懲罰で打たれるであろう。
13 土を耕す者は嘆くであろう。彼らの種は爆風と雹と恐ろしい星座によって枯れるからだ。
14 世とそこに住む者たちは災いである。
15 剣とその滅びが近づいているので、一人の民が立ち上がって再び戦うだろう。 お互い、手には剣を持っています。
16 なぜなら、人々の間で暴動が起こり、互いに侵略し合うからである。 彼らは自分たちの王や君主を顧みず、彼らの行動が彼らの権力に影響するであろう。
17 人は町に入ろうと願っても、それはできない。
18 彼らの高慢のゆえに、町々は混乱し、家々は破壊され、人々は恐れるであろう。
19 人は隣人を憐れまず、パン不足と大患難のゆえに、剣でその家を破壊し、財産を損なうであろう。
20 見よ、神は言われる、「わたしは、日の出から、南から、東から、そしてリバノスから来た、地のすべての王たちを集めて、わたしを畏敬させる。 互いに敵対し、彼らにしたことを報いるためです。
21 今日、彼らがわたしの選んだ者たちに対してそうしているように、わたしもそうし、彼らの胸で報いたい。 主なる神はこう言われる。
22 わたしの右の手は罪人を容赦せず、わたしの剣は地上に罪のない血を流す者たちに対して止まることはない。
23 火は神の怒りから出て、燃やされたわらのように地の基と罪人を焼き尽くした。
24 罪を犯し、わたしの戒めを守らない者たちは災いである。と主は言われます。
25 わたしは彼らを容赦しない。子供たちよ、行きなさい。権力から離れて、わたしの聖所を汚さないでください。
26 主はご自分に対して罪を犯した者たちをすべてご存じであり、それゆえに彼らを死と滅びに救い出してくださるからです。
27 今、疫病が全地に襲いかかっており、あなたがたはその中にとどまるであろう。あなたがたが神に対して罪を犯したのだから、神はあなたを救い出してはくれないからである。
28 見よ、恐ろしい幻と、東からのその出現。
29 そこでは、アラビアの竜の国々が多くの戦車を率いて出てきて、その大勢が風のように地上に運ばれ、それを聞く者は皆、恐れおののくであろう。
30 また、カルマニア人は怒り狂って、森の猪のように出て行き、大いなる力でやって来て、彼らと戦い、アッシリア人の土地の一部を荒らすだろう。
31 そしてそのとき、ドラゴンはその性質を思い出して優位に立つだろう。 そしてもし彼らが自首し、彼らを迫害するために強大な力で共謀するならば、
32 そのとき、これらの人々は血を流して悩み、力によって沈黙を守り、逃げるであろう。
33 そしてアッシリア人の地からは敵が彼らを包囲し、彼らの一部を食い尽くすだろう。そして彼らの軍勢には恐怖と恐れがあり、王たちの間に争いが起こるだろう。
34 見よ、雲が東から北から南に向かって出ている。それは見るのが非常に恐ろしいもので、怒りと嵐に満ちている。
35 彼らは互いに打ち合い、地上の無数の星を、さらには自分たちの星をも打ち落とすであろう。 そして剣から腹まで血が流れ、
36 また、人間の糞はラクダの羽についた。
37 そして、地の上に大きな恐怖と震えが起こるであろう。そして、怒りを見る者は恐れ、震えが彼らに来るだろう。
38 そのとき、南から、北から、そして西からの別の部分から、大きな嵐が来るだろう。
39 すると、東から強い風が吹いて、それが開くであろう。そして、彼が怒りで立ち上げた雲と、東と西の風に恐怖を引き起こすために星がかき混ぜられ、破壊されるでしょう。
40 大きくて力強い雲と星は怒りに満ちて膨らみ、全地とその中に住む者たちを恐れさせるであろう。 そして彼らはあらゆる高き著名な場所に恐ろしい星を注ぎ出すだろう。

41 火と雹と飛ぶ剣と多くの水、すべての野とすべての川が
豊かな大水で満たされるように。
42 そして彼らは町も城壁も、山も丘も、木の木も、牧草地
の草も、そのトウモロコシも打ち砕くであろう。
43 そして彼らは断固としてバビロンに行き、彼女を恐れさ
せるであろう。
44 彼らは彼女のところに来て、彼女を包囲します。星とす
べての怒りが彼女に注がれます。そのとき、塵と煙は天に
昇り、彼女の周りにいるすべての者は彼女を嘆くでしょう。
45 そして彼女の下に残る者たちは、彼女を恐れさせた者た
ちに仕えるであろう。
46 そして、アジアよ、あなたはバビロンの希望にあずかり、
彼女の人格の栄光です。
47 あなたは不幸だ、哀れな者よ、あなたは自分を彼女と同
じようにしたのである。 そして、いつもあなたと淫行をす
ることを望んでいたあなたの恋人たちを喜ばせ、栄光を与
えるために、あなたの娘たちを淫行で飾りました。
48 あなたは、その作品や発明のすべてにおいて嫌われてい
る彼女に従ってきました。それゆえに神は言われます。
49 わたしはあなたに災いを送ります。 未亡人、貧困、飢
饉、剣、疫病、破壊と死によってあなたの家を荒廃させま
す。
50 そして、あなたの力の栄光は花のように枯れ、熱があな
たに送られます。
51 あなたは縞模様の貧しい女性のように、また傷を負って
懲罰された女性のように弱くなるでしょう。 あなただよ。
52 私はねたみを抱いて、あなたに対してそのように行動し
ただろうか、と主は言われる、
53 もしあなたが、いつも酔っているときに、あなたの手の
ストロークを高揚させながら、彼らの死者に向かってこう
言いながら、私の選んだ者たちを殺していなかったら、
54 あなたの顔の美しさを説明しますか?
55 あなたの淫行の報いはあなたの胸にある、それゆえあな
たは報いを受けるであろう。
56 あなたがわたしの選んだ者にしたように、神はあなたに
し、あなたを悪戯に引き渡すであろう、と主は言われる。
57 あなたの子供たちは飢えで死に、あなたは剣で倒れ、あ
なたの都市は破壊され、あなたのすべては野で剣で滅びま
す。
58 山にいる者たちは、パンに飢え、水に飢えて、飢えて死
に、自分の肉を食べ、自分の血を飲む。
59 不幸なあなたは海を渡って来て、再び疫病を受けるでし
ょう。
60 そして途中で、彼らは閑古鳥が鳴いている都に殺到し、
あなたの土地の一部を破壊し、あなたの栄光の一部を食い
尽くし、そして滅ぼされたバビロンに戻るであろう。
61 そして、あなたは彼らによって切り株のように投げ倒さ
れ、彼らはあなたにとって火のようになります。
62 そして、あなたとあなたの都市、あなたの土地、そして
あなたの山々を焼き尽くすであろう。 あなたの森と実り豊
かな木々はすべて火で燃え尽きます。
63 あなたの子供たちは捕らわれの者として連れ去られ、見
よ、あなたの持っているものは彼らによって台無しにされ、
あなたの顔の美しさが損なわれるであろう。

第 16 章

1 バビロンとアジアよ、あなたには災いあれ! エジプトと
シリアよ、あなたには災いあれ!
2 袋と髪でできた布を身に着け、子供たちを嘆き、そして
後悔しなさい。 あなたの破滅が目前に迫っているからです。
3 剣があなたに送られましたが、誰がそれを押し返すこと
ができますか。
4 あなたがたの間に火が送られてきたが、だれがそれを消
すことができるだろうか。
5 疫病があなた方に送られてきたが、それを追い払うこと
ができる者は何なのか。
6 腹を空かせたライオンを森で追い払うことができる人が
いるでしょうか。 それとも、燃え始めた刈り株の火を消す
人がいるだろうか?
7 強い射手が放った矢を再び向けることができますか。
8 力ある主は災いを送りますが、それを追い払うことがで
きるのは誰でしょうか。
9 その怒りから火が出るであろう、そしてそれを消すこと
ができるのは誰だろうか。
10 彼は稲妻を落とすだろう、そして恐れない者がいるだろ
うか。 彼は雷鳴をあげるでしょう、そして誰が恐れないで
しょうか?
11 主は脅すであろう。主の御前で徹底的に打ちのめされな
い者がいるだろうか。
12 地とその基礎は揺れる。 海は深いところから波を立て
て湧き上がり、その波は乱れ、その魚たちも主の前で、ま
たその力の栄光の前で、
13 弓を曲げる彼の右手は強く、彼の射る矢は鋭く、世界の
果てに向かって撃ち抜かれ始めると、決して逃さないから
です。
14 見よ、疫病が送られるが、地上に来るまでは二度と戻っ
てこない。
15 火は燃え上がり、地の土台を焼き尽くすまで消えること
はない。
16 強力な射手から放たれた矢が後ろに戻らないように、地
上に送られる災いも再び戻ることはありません。
17 悲惨なのは私です! 悲惨なのは私だ! その日々に誰が
私を救ってくれるだろうか?
18 悲しみと大きな悲しみの始まり。 飢饉と大いなる死の
始まり。 戦争が始まり、列強は恐怖に怯えるだろう。 悪
の始まり! これらの悪がやって来たら、私はどうすればよ
いでしょうか?
19 見よ、飢饉と疫病、艱難と苦悩が、修正のための災いと
して送られる。
20 しかし、これらすべてのことにもかかわらず、彼らはそ
の悪から立ち返ることはなく、常に災いを心に留めること
はありません。
21 見よ、地上では食料が非常に安くて良いものになるので、
彼らは自分は大丈夫だと思い込むだろうが、それでも地上
には悪が蔓延し、剣、飢饉、そして大混乱が起こるであろ
う。
22 地上に住む者の多くは飢饉で滅びるであろう。 そして
飢えから逃れたもう一人は剣で滅ぼされるだろう。
23 そして死者は糞のように放り出され、彼らを慰める者は
誰もいない。地は荒れ果て、都市は打ち倒されるからであ
る。
24 地を耕し、種を蒔く人は誰も残らないであろう
25 木は実を結びますが、誰がそれを集めるのでしょうか。
26 ぶどうは熟しますが、だれがそれを踏むでしょうか。
すべての場所が人間の荒廃となるからです。
27 それは、ある人が他の人に会いたい、その声を聞きたい
と願うためです。
28 都市には十人が残り、野原には二人が残り、深い木立や
岩の裂け目に隠れるであろう。
29 オリーブの果樹園では、どの木にも三つか四つのオリー
ブが残っているのと同じである。

30 あるいは、ぶどう畑が集まると、ぶどう畑を熱心に探し回る者たちの群れがいくつか残るように、
31 それでも、その時代には、剣で家を捜索する者のうち、三人か四人が残るであろう。
32 そして、地は荒廃し、その野原は古くなり、その道とそのすべての道はいばらでいっぱいになるでしょう。なぜなら、そこを通る人は誰もいないからです。
33 おとめたちは花婿がいなくて嘆くであろう。 女たちは夫がいなくなって嘆くだろう。 彼らの 娘たちは助けてくれる人がいなくて悲しむことになるだろう。
34 戦争で花婿は滅ぼされ、夫は飢餓で死ぬ。
35 主の僕たちよ、今、これらのことを聞いて、それを理解せよ。
36 見よ、主の言葉を受け入れなさい。主が語られた神々を信じてはならない。
37 見よ、疫病が近づいているが、衰えることはない。
38 生後九か月の子を持つ女が息子を産むときのように、出産後二、三時間で子宮が激痛に襲われ、その痛みは子が生まれると、一瞬たりとも気を緩めない。
39 それでも、疫病は地に降り注ぐことはなく、世界は悲しみ、悲しみが四方八方に襲いかかるであろう。
40 おお、私の民よ、私の言葉を聞いてください。戦いの準備を整えてください。そして、地上の巡礼者のように、それらの悪の中でも平等でありなさい。
41 売る者は去っていく者のように、買う者は失う者のようにしなさい。
42 商品を占領する者は、それによって何の利益も得られない者と同じであり、建築する者は、そこに住まない者と同じである。
43 刈り取るべきではないかのように種を蒔く者は、ブドウ畑を植える者も、ブドウを集めない者と同じように、
44 結婚する者は、子供を産まない者と同じである。 そして結婚しない人は未亡人です。
45 したがって、労苦する者は無駄な労苦をするのである。
46 というのは、よそ者たちはその実を刈り取り、その財物を損ない、その家を打ち倒し、その子供たちを捕虜にするであろう。捕虜と飢餓の中で彼らは子供たちを得るからである。
47 そして、強盗をして自分たちの商品を占領する者たちは、自分たちの都市、自分の家、自分の所有物、自分自身の人間をますます飾り立てる。
48 わたしは彼らの罪のためにますます怒る、と主は言われる。
49 売春婦が正しく正直で高潔な女性を羨むのと同じように：
50 地上のあらゆる罪を熱心に捜し出す者を擁護する者が来るとき、彼女が身を飾り、面と向かって彼女を告発するとき、義は不法を憎むだろう。
51 したがって、あなたがたは、それらやその作品に似てはなりません。
52 まだ少しの間、不法は地から取り除かれ、正義があなたがたの間を支配するでしょう。
53 罪人は、自分は罪を犯していないと言ってはなりません。神は、主なる神とその栄光の前で、「私は罪を犯していません」と言う彼の頭に火を燃やされるからです。
54 見よ、主は人間の業、その想像、考え、心をすべてご存じである。
55 それはただ、「地を造ろう」という言葉だけを語った。 そしてそれはできました。天国を作りましょう。 そしてそれは作成されました。
56 彼の言葉によって星が造られ、彼はその数を知っている。
57 彼は深淵とその宝を捜し求める。 彼は海とそこに含まれるものを測った。
58 神は海を水の真ん中で閉め、御言葉によって地を水の上に掛けられました。
59 彼は天を丸天井のように広げます。 彼は水の上にそれを設立しました。
60 彼は砂漠に水の泉を作り、山の頂上に池を作り、洪水が高い岩から流れ出て地を潤すようにした。
61 神は人を造り、その心臓をその体の真ん中に置き、彼に息と命と理解を与えた。
62 そうです、そして全能の神の霊は万物を造り、地の秘密の中に隠されたすべてのものを捜し出します。
63 確かに神は、あなたがたの発明も、あなたが心の中で考えていることも、罪を犯し、その罪を隠そうとする者さえもご存じである。
64 それゆえ、主はあなたがたのすべての行いを正確に調べ、あなたがた全員を恥じさせるであろう。
65 そして、あなたがたの罪が明るみに出るとき、あなたがたは人々の前で恥をかかされ、その日、あなたがた自身の罪があなたを告発することになる。
66 あなたは何をしますか？ あるいは、どうやって神とその天使たちの前で自分の罪を隠すつもりですか？
67 見よ、神ご自身が裁き人である。神を畏れなさい。あなたの罪から離れ、あなたの咎を忘れ、永遠にこれ以上それに干渉しないように。そうすれば神はあなたを導き、すべての苦難からあなたを救い出してくださるであろう。
68 というのは、見よ、大群衆の燃えるような怒りがあなたがたに対して燃え上がり、彼らはあなたがたのうちの何人かを奪い、偶像に捧げられたもので怠惰なあなたを養うであろう。
69 また、これに同意する者は、嘲笑され、非難され、踏みにじられるであろう。
70 というのは、あらゆる場所で、また次の都市でも、主を畏れる者たちに対して大規模な反乱が起こるからである。
71 彼らは狂人のようになり、容赦なく、それでも主を畏れる者たちを甘やかし、滅ぼすであろう。
72 彼らは自分の財産を浪費し、持ち去り、家から追い出すからである。
73 そうすれば、彼らはわたしの選んだ者であることが分かるだろう。 そして彼らは火の中の金のように裁判を受けることになる。
74 聞け、わたしの愛する者よ、主は言われる、見よ、苦難の日々が近づいているが、わたしはあなたをその苦難から救い出す。
75 あなたがたは恐れるな、疑うな。 神があなたの導き手だから、
76 そして、わたしの戒めと戒めを守る者たちの導き手、主なる神は言われる、「あなたの罪があなたを圧迫してはならない、あなたの咎が自らを高めてはならない」。
77 罪に縛られ、イニに覆われた者たちは災いなるだろうまさに、野原が藪で覆われ、その道がいばらで覆われ、誰も通れないようなものです。
78 それは裸のまま放置され、火の中に投げ込まれて焼き尽くされる。



トビト

第 1 章

1 ネフタリ族のアサエルの子孫、アナニエルの子、アドゥエルの子、ガバエルの子、トビエルの子、トビトの言葉を記した書。
2 アッシリアの王エネメッサルの時代に、アセルの上のガリラヤにある正確にはネフタリと呼ばれる都市の右側にあるティスベから捕虜として連れ出された人物である。
3 私トビトは、生涯を通じて真実と正義の道を歩み、アッシリア人の地ニネベに一緒に来た兄弟たちや国民に多くの慈善行為を行いました。
4 そして、私が自分の国、イスラエルの地にまだ若かったとき、私の父ネフタリの部族はすべて、イスラエルのすべての部族の中から選ばれ、すべての部族が犠牲となるエルサレムの家から倒れました。 そこには、いと高き方の住まいの神殿が聖別され、あらゆる時代に建てられました。
5 さて、共に反乱を起こしたすべての部族と私の父ネフタリの家は、未経産牛バアルに犠牲をささげた。
6 しかし、私だけは、永遠の布告によってイスラエルのすべての人々に定められていた祭りのときにエルサレムに頻繁に行き、最初に刈られたもので初穂とその十分の一を持っていました。 そして彼らは私を祭壇の上で祭司たちにアロンの子らに与えました。
7 わたしは、増額の十分の一を、エルサレムで奉仕しているアロンの子らに与え、また十分の一を売り払って、エルサレムに行って、毎年それを使いました。
8 そして、父の母デボラが私に命じたように、三番目を会う人たちに与えました。私は父によって孤児として残されたからです。
9 さらに、私が成人したとき、私は同族のアンナと結婚し、彼女からトビアスをもうけた。
10 そして、私たちがニネベに捕虜として連れ去られたとき、私の兄弟たちと私の親戚の人たちは皆、異邦人のパンを食べました。
11 しかし、私は食べるのをやめました。
12 私は心から神を思い出したからです。
13 そしていと高き方は敵使者の前で私に恵みと恩恵を与えてくださったので、私は彼の御用達となった。
14 それから私はメディアに行き、メディアの町ラゲスにあるガブリアスの兄弟ガバエルに銀十タラントを託して出発した。
15 さて、敵メッサールが死んだとき、彼の息子センナケリブが彼の代わりに王となった。 彼の財産が問題になったので、私はメディアに行くことができませんでした。
16 敵メッサールの時代に、私は兄弟たちに多くの施しをし、飢えた人々にパンを与えた。
17 また、私の衣服は裸でした。そして、私の国民の誰かが死んだり、ニネベの城壁の周りに投げ出されたりするのを見たら、私は彼を埋葬しました。
18 そして、センナケリブ王がユダヤから逃げて来たときに誰かを殺したなら、私は彼らを密かに埋葬した。 というのは、彼は激怒して多くの人を殺したからだ。 しかし、王が遺体を捜索したところ、遺体は発見されなかった。
19 ニネベの人の一人が行って、私について王に不平を言ったとき、私は彼らを埋葬し、身を隠しました。 自分が死刑に処せられることを求められていると理解し、恐怖のあまり身を引いた。
20 それから私の持ち物はすべて強制的に取り上げられ、妻のアンナと息子のトビアスのほかには何も残っていませんでした。
21 五五十日も経たないうちに、彼の息子二人が彼を殺し、アララトの山中に逃げた。 そして彼の息子サルケドノスが彼の代わりに統治した。 彼は父の会計とすべての事柄を私の兄弟アナエルの息子であるアキアカルスに任命しました。
22 それでアキアカルスが私のために懇願してくれたので、私はニネベに戻りました。 さて、アキアカルスは献酌官であり、印章の保管者であり、家令であり、会計の監督であった。そしてサルケドノスは彼を彼の隣に任命した。そして彼は私の兄弟の息子だった。

第 2 章

1 さて、私が再び家に帰り、妻のアンナが息子のトビアスとともに回復したとき、七週間のうちの聖なる祭日であるペンテコステの祝日に、おいしい夕食が用意されていました。 私は座って食事をしました。
2 そして、たくさんの肉を見たとき、私は息子に言った、「行って、私たちの兄弟の中から主を心に留めている貧しい人を見つけて持ってきてください。」 そして、見よ、私はあなたのために待ちます。
3 しかし、イエスは再び来て、「父よ、私たちの国民の一人が絞め殺され、市場に放り出されています」と言った。
4 それから、私が肉の味を少しも味わう前に、私は起き上がり、日が沈むまで彼を部屋に連れて行きました。
5 それから私は戻ってきて、体を洗い、重い肉を食べました。
6 アモスの預言を思い出してください。彼が言ったように、あなたの祝宴は悲しみに変わり、あなたの喜びはすべて嘆きに変わります。
7 それで私は泣きました。そして、日が沈んだ後、行って墓を作り、彼を埋葬しました。
8 しかし、近所の人たちは私をあざけり、「この人はまだこの件で死刑になることを恐れていません。逃げた人です。」と言いました。 それなのに、見よ、彼は再び死者を埋葬する。
9 その同じ夜、私は埋葬から戻り、中庭の壁のそばで眠りましたが、汚れていて顔も覆われていませんでした。
10 そして、壁に雀がいるとは知りませんでしたが、私の目は開いていて、雀が暖かい糞を私の目に押し込み、私の目は真っ白になりました。そして医者に行きましたが、彼らは私を助けてくれませんでした。 私がエリマイスに行くまで、アキアチャロスは私を養ってくれました。
11 そして妻のアンナは女性の仕事を引き受けました。
12 そして、彼女が彼らを家主の元に送り届けると、彼らは彼女に賃金を支払い、子供のほかに彼女にも与えた。
13 それが私の家にいて泣き始めたので、私は彼女に言った、「この子はどこから来たのですか」。 盗まれていないのか? それを所有者に提供します。 盗んだものを食べることは違法だからです。
14 しかし彼女は私に答えて、「それは賃金よりも高い贈り物として与えられたのです」と言いました。 しかし、私は彼女の言葉を信じませんでしたが、彼女にそれを所有者に届けるように言いました。そして私は彼女に当惑しました。 しかし彼女は私にこう答えました、「あなたの施しやあなたの正しい行いはどこにあるのですか? 」 見よ、あなたとあなたのすべての業は知られています。

第 3 章

1 そのとき、私は悲しんで泣き、悲しみの中でこう祈りました。
2 主よ、あなたは正義であり、あなたのすべての業とすべての道は慈悲と真実であり、あなたは永遠に真に正しく裁かれます。
3 わたしを思い出し、わたしを見守ってください。わたしの罪と無知、そしてあなたの前に罪を犯したわたしの先祖たちの罪のために、わたしを罰しないでください。
4 彼らはあなたの戒めに従わなかったからです。そのため、あなたは私たちを戦利品として、捕虜として、死に至るまで、また、私たちが分散しているすべての国々への非難のことわざとして引き渡されました。
5 そして今、あなたの裁きは多く、真実です。私の罪と私の先祖の罪に従って私を扱ってください。私たちはあなたの戒めを守らなかったので、あなたの前で真実に歩いたこともありません。

6 だから、今、あなたにとって最善と思われるように私を扱い、私の霊を私から取り出すように命じてください。そうすれば、私は溶けて土になります。なぜなら、私は生きるよりも死ぬ方が有益だからです。なぜなら、私は間違ったことを聞いたからです。 非難し、多くの悲しみを抱いています。だから、私が今この苦しみから救われ、永遠の場所に行くことができるように命じてください。あなたの顔を私からそらさないでください。
7 同じ日、メディアの町エクバタネでも、ラグエルの娘サラが父親の侍女たちから非難されたことが起こった。
8 それは、彼女が七人の夫と結婚していたためであり、彼らは彼女と寝る前に悪霊アスモデウスに殺されたからである。「あなたが夫の首を絞めたことを知らないのですか？」と彼らは言いました。 あなたにはすでに 7 人の夫がいましたが、そのどれにも名前を付けていませんでした。
9 なぜあなたは彼らのために私たちを殴るのですか。 もし彼らが死んだのなら、彼らの後を追って行きなさい。私たちはあなたの息子や娘に会わないようにしましょう。
10 彼女はこれらのことを聞いて非常に悲しみ、自分で自分の首を絞めたのではないかと思った。 そして彼女は、「私は父の一人娘です。もし私がそんなことをしたら、それは父の非難になるでしょう、そして私は彼の老後を悲しみとともに墓場まで連れて行くことになるでしょう」と言いました。
11 それから彼女は窓に向かって祈って言った、「あなたは祝福されていますように、主よ、わが神よ、あなたの聖なる輝かしい御名は永遠に祝福され、名誉あるものです。あなたのすべての行いが永遠にあなたを讃美しますように。」
12 そして今、主よ、私は目と顔をあなたのほうに向けます。
13 そして、こう言いなさい。「私を地から連れ出してください。もう非難を聞かないようにします。」
14 主よ、あなたはご存じのように、私は人間に対する一切の罪を犯していないのです。
15 そして、私は捕らわれの地で自分の名も父の名も決して汚さなかったこと、私は父の一人娘であり、父の跡継ぎとなる子供も近親者も息子もいない 彼が生きているので、私はその人を妻として取っておきます。私の 7 人の夫はすでに亡くなっています。 そしてなぜ私は生きなければならないのですか? しかし、私が死ぬことを望まないのであれば、私をこれ以上非難しないように、私を尊重し、憐れんでください。
16 こうして二人の祈りは偉大なる神の威光の前に聞き入れられた。
17 そしてラファエルは、彼ら二人を癒すために、つまりトビトの目の白さを取り除き、ラグエルの娘サラをトビトの子トビアスの妻として与えるために遣わされた。 そして悪霊アスモデウスを縛り付ける。 彼女は相続権によってトビアスに属していたからです。 同じ頃、トビトが帰宅して家に入ると、ラグエルの娘サラが上の部屋から降りてきました。

第 4 章

1 その日、トビットはメディアの怒りでガバエルに託したお金のことを思い出しました。
2 そして心の中でこう言いました、「私は死を望んでいた。なぜ私は、死ぬ前に息子のトビアスにお金のことを知らせるように頼まないのでしょうか?
3 そして彼を呼ぶと、彼はこう言った、「わが子よ、私が死んだら、私を埋葬してください。 そして、あなたの母親を軽蔑しないで、あなたの生涯を通じて彼女を敬い、彼女を喜ばせることをし、彼女を悲しませないでください。
4 わが子よ、あなたが胎内にいたとき、彼女はあなたに多くの危険をもたらしたことを思い出してください。そして彼女が死んだら、私のそばで一つの墓に埋めてください。
5 わが子よ、日々、私たちの神、主を心に留めなさい。罪を犯したり、主の戒めに背いたりしないように。生涯を通じて正しく行い、不正の道に従わないように。
6 もしあなたが誠実に行動するなら、あなたの行いはあなたとすべての正しく生きる者たちに豊かに受け継がれるでしょう。
7 あなたの物質を施しなさい。 そして、あなたが施しを与えるとき、あなたの目を妬んではならず、貧しい人から顔をそむけてはなりません。そして神の顔をあなたからそらしてはなりません。
8 もしあなたが豊かに持っているなら、それに応じて施しをしなさい。もし少ししか持っていないなら、そのわずかに応じて与えることを恐れないでください。
9 あなたは、いざという日に備えて、自分のために良い宝を蓄えているからです。
10 なぜなら、その施しは死から救い出し、暗闇に陥ることがないからです。
11 施しは、いと高き方の目の前でそれを与えるすべての人にとって、良い贈り物だからです。
12 息子よ、すべての淫行に気をつけなさい。そして何よりもあなたの父祖の子孫の妻を妻とし、あなたの父の部族ではない見知らぬ女を妻にしないでください。なぜなら、私たちは預言者、ノエ、アブラハムの子供だからです。 、イサク、そしてヤコブ：思い出してください、息子よ、私たちの先祖は最初から、彼ら全員が自分の血族の妻と結婚し、子供たちに祝福され、彼らの子孫が土地を受け継ぐことさえ覚えていてください。
13 それゆえ、わが子よ、あなたの同胞たちを愛してください。あなたの同胞たち、あなたの民の息子や娘たちを心の中で軽蔑し、妻をめとらないでください。高慢には破壊と多くの問題があり、みだらには腐敗が伴うからです。 そして大きな欠乏：淫らは飢餓の母だからである。
14 あなたのために働いてくれた人の給料を、あなたのもとに滞らせてはなりません。むしろ、手から与えてください。もしあなたが神に仕えるなら、神もあなたに報いてくださるでしょう。わが子よ、あなたの行うすべてのことにおいて慎みなさい。 そしてすべての会話において賢明であってください。
15 あなたの憎む人にはそのようなことをしてはならない。ぶどう酒を飲んで酔ってはならない。旅の途中で酔いを持ち去ってはいけない。
16 あなたのパンを飢えている人に与え、あなたの衣服を裸の人々に与えてください。 そして、あなたの豊かさに応じて施しをしてください。そして、あなたが施しをするとき、あなたの目を妬まないでください。
17 正しい人の埋葬にはあなたのパンを注ぎ、悪者には何も与えないでください。
18 すべて賢い人に助言を求め、有益な助言を軽蔑してはならない。
19 あなたの神、主を常に祝福し、あなたの道が定められ、あなたのすべての道と計略が成功するように祈ってください。しかし、主ご自身がすべての良いものを与え、ご自身が望むように、望む者を謙虚にされます。 ですから、今、息子よ、私の戒めを思い出してください。決してそれを頭から消してはなりません。
20 そして今、私はメディアの怒りでガブリアスの子ガバエルに十タラントを託したことを彼らに証明します。
21 わが子よ、私たちが貧しくなることを恐れないでください。神を畏れ、すべての罪を離れ、神の目に喜ばれることを行うなら、あなたは多くの富を持っているからです。

第 5 章

1 そこでトビアスは答えて言った、「父よ、私はあなたが命じられたことはすべて行います。
2 しかし、私は彼のことを知らないのに、どうしてお金を受け取ることができるのでしょうか。
3 それから彼はその筆跡を渡して言った、「私がまだ生きている間に一緒に行ってくれる人を探してください。そうすれば賃金をあげます。そして行って金を受け取りなさい」。

4 それで、彼が人を探しに行ったとき、天使であるラファエルを見つけました。
5 しかし彼は知りませんでした。 そして彼は彼に言った、「私と一緒にレイジェスへ行ってもらえませんか？」 あなたはそれらの場所をよく知っていますか?
6 天使は彼に言った、「私はあなたと一緒に行きます、そして私は道をよく知っています：私たちの兄弟ガバエルと一緒に住んでいるからです。」
7 それからトビアスは彼に言った、「父に言うまで待っていてください」。
8 そこで彼は彼に言った、「行ってはいけない、遅刻しないでください。」 それで彼は中に入って父親に言った、「見よ、私と一緒に行く人を見つけた」。 それから彼は言いました、「彼を私に呼んでください。彼がどの部族で、あなたと一緒に行くのに信頼できる人かどうかを知るためです。」
9 それで彼が彼を呼ぶと、彼は入って来て、彼らは互いに敬礼した。
10 そこでトビトは彼に言った、「兄弟よ、あなたはどの部族で、どんな家族なのか教えてください」。
11 彼は誰に向かって言った、「あなたは息子と一緒に行く部族か家族か雇い人を探していますか？」 それからトビトは彼に言った、「兄弟よ、あなたの血族と名前を私は知っています。」
12 そこで彼は言った、「私はアザリアです。大王アナニヤとあなたの兄弟たちの息子です。」
13 そこでトビトは言った、「兄弟よ、どういたしまして」。今は怒らないでください。私はあなたの部族と家族について知りたいと尋ねたのですから。 あなたは私の兄弟で、正直で良い家柄です。私は、あの偉大なサマイヤの息子であるアナニアとヨナタを知っています。私たちは一緒にエルサレムに礼拝に行き、初子とその十分の一を捧げました。 そして彼らは私たちの兄弟たちの過ちに誘惑されませんでした。私の兄弟、あなたは良い家柄です。
14 しかし、教えてください。あなたにいくらの賃金を与えましょうか。 私の息子のために、一日一ドラクマと必要なものをいただけますか?
15 そうです、もしあなたが無事に帰ってきたら、私はあなたの賃金に何かを加えましょう。
16 それで彼らはとても喜んだ。 それから彼はトビアスに言った、「旅の準備をしなさい、そうすれば神はあなたに良い旅を送ってくださいます。」 そして息子が旅の準備をすべて整えたとき、父親はこう言った、「この男と一緒に行きなさい。天に住まわれる神があなたの旅を成功させ、神の天使があなたを守ってくださいますように。」 それで二人は、若者の犬も一緒に出て行きました。
17 しかし、母親のアンナは泣きながらトビトに言った、「なぜ私たちの息子を追い出したのですか。」 彼は私たちの前を出入りする私たちの手の杖ではないでしょうか?
18 貪欲にお金にお金を加えてはいけません。しかし、私たちの子供のことに関しては、それをゴミのようにしましょう。
19 わたしたちは、生きるために主が与えてくださったもので十分だからです。
20 それからトビトは彼女に言った、「妹よ、気にしないでください。」 彼は無事に戻ってくるだろう、そしてあなたの目は彼を見るだろう。
21 善良な天使が彼を守り、彼の旅は成功し、無事に帰ってくるだろう。
22 それから彼女は泣き止んだ。

第 6 章

1 そして彼らは旅を続け、夕方にチグリス川に来て、そこに泊まった。
2 そして、若者が体を洗うために下って行くと、一匹の魚が川から飛び出してきて、彼を食べてしまうところだった。
3 そこで天使は彼に言った、「魚をとってください」。 そして若者は魚をつかみ、陸に引き上げました。
4 天使は彼に言った、「魚を開いて、心臓と肝臓と胆を取り出し、安全に保管しなさい。」
5 そこで若者は天使の命じたとおりにした。 そして魚を焼くと、それを食べました。それから二人はエクバタンに近づくまで出発しました。
6 そこで、若者は天使、兄弟アザリアに言った、「魚の心臓、肝臓、ギャルは何の役に立つのですか？」
7 そこで彼は彼に言った、「もし心臓や肝臓に触れて、悪魔や悪霊が誰かを困らせるなら、私たちは男や女の前でそれを煙にしなければなりません。そうすれば一行はもうイライラすることはありません。」
8 胆汁については、目が白い人に油を注ぐのは良いことです。そうすれば、その人は癒されます。
9 そして彼らがレイジスに近づくと、
10 天使は若者に言った、「兄弟よ、今日私たちはあなたのいとこであるラグエルの家に泊まろう。」 彼にはサラという名前の一人娘もいます。 彼女があなたを妻として与えられるよう、私が彼女の代わりに話します。
11 あなたは彼女の同族にすぎないので、あなたには彼女の権利が属しているからです。
12 そして、その女中は正しくて賢いのです。だから、聞いてください、私は彼女の父親に話します。 そして、怒りから戻ったら、私たちは結婚を祝います。ラグエルがモーセの律法に従って彼女を他の人と結婚できないことは知っていますが、相続の権利は誰よりもむしろあなたに属するため、彼は死刑になるでしょう 他の。
13 それから、若者は天使に答えた、「アザリア兄弟、このはしためは七人の男に与えられ、全員が婚礼室で亡くなったと聞いています。」
14 そして今、私は父の一人息子です。もし私が彼女のところに行ったら、以前の他の人と同じように死んでしまうのではないかと心配しています。邪悪な霊が彼女を愛しており、それは誰の体も傷つけませんが、近づいてくるものを傷つけます。 彼女; それゆえ、私もまた、私が死んで、私のせいで父と母の命を悲しみながら墓場まで持っていくのではないかと心配しています。なぜなら、彼らには他に埋葬してくれる息子がいないからです。
15 そこで天使は彼に言った、「あなたは、あなたの父親があなたに与えた、あなたは同族の妻と結婚しなければならないという戒めを覚えていないのですか」。 したがって、私の兄弟よ、聞いてください。 彼女はあなたを妻に与えられるからです。 そしてあなたは悪霊を考慮しないでください。 この同じ夜、彼女はあなたと結婚することになるからです。
16 そして、婚姻室に入るときは、香水の灰を取り、その上に魚の心臓と肝臓の一部を置き、それで煙を立てなければならない。
17 そして、悪魔はその匂いを嗅いで逃げ、二度と戻ってこないでしょう。しかし、あなたが彼女のところに来るときは、二人とも起き上がって、あなたを憐れんで救ってくださる慈悲深い神に祈りなさい。 あなた：恐れることはありません、彼女は最初からあなたに任命されているからです。 そうすればあなたは彼女を保護しなければなりません、そうすれば彼女はあなたと一緒に行くでしょう。 さらに、彼女はあなたの子供を産むだろうと思います。 さて、これらのことを聞いたトビアスは彼女を愛し、心は事実上彼女と結ばれました。

第 7 章

1 そして、彼らがエクバタネに来たとき、ラグエルの家に来たので、サラは彼らを出迎え、互いに敬礼した後、彼らを家の中に連れて行きました。
2 それからラグエルは妻のエドナに言った、「この若者は私のいとこのトビトになんと似ているのでしょう！」

3 そこでラグエルは彼らに尋ねた、「兄弟たち、あなたたちは
どこから来たのですか」。 彼らは言った、「私たちはニネベ
で捕虜となっているネフタリムの息子です。」
4 それからイエスは彼らに言った、「あなた方は私たちの親戚
であるトビトを知っていますか。」 すると彼らは、「私たち
は彼を知っています」と言いました。 それから彼は言いまし
た、「彼は健康ですか？」
5 そこで彼らは、「彼は生きていて、健康です」と言うと、ト
ビアスは、「彼は私の父です」と言いました。
6 そこで、ラグエルは飛び上がって彼に口づけし、泣きました。
7 そして彼を祝福して言った、「あなたは正直で善良な人の息
子です。」 しかし、トビトが盲目であると聞くと、彼は悲し
み、泣きました。
8 そして、妻のエドナと娘のサラも同様に泣きました。 さら
に、彼らは彼らを明るく楽しませました。 そして彼らは群れ
の雄羊を殺した後、テーブルの上に肉を蓄えました。 それか
らトビアスはラファエルに、アザリア兄弟、あなたが邪魔で
話さなかった事柄について話して、この仕事を終わらせてく
ださいと言いました。
9 それで彼はこのことをラグエルに伝えた。そしてラグエルは
トビアスに言った、「食べて飲んで、楽しもう。」
10 あなたが私の娘と結婚するのは当然のことです。それでも、
私はあなたに真実を宣言します。
11 私は娘を七人の男に嫁がせましたが、彼らが彼女の家にや
って来たその夜に彼らは亡くなりました。それでも今は幸せ
でいてください。 しかし、トビアスは、私たちが同意してお
互いに誓うまでは、ここでは何も食べません、と言いました。
12 ラグエルは言った、「それでは、今後はそのやり方に従っ
て彼女を連れて行ってください。あなたは彼女のいとこであ
り、彼女はあなたのものです。そして慈悲深い神があなたに
すべてのことにおいて良い成功を与えてくださいますよう
に。」
13 そこで彼は娘をサラと呼ぶと、彼女は父親のところに来た
ので、父親は彼女の手を取ってトビアの妻として与え、「見
よ、彼女をモーセの律法に従って連れて行って、あなたのと
ころへ連れて行ってください」と言った。 父親。 そして彼は
彼らを祝福した。
14 そして妻のエドナを呼んで、紙を取り、契約の文書を書い
て封をした。
15 それから彼らは食事を始めた。
16 ラグエルは妻のエドナを呼んで、「シスター、別の部屋を
用意して、そこに連れてきてください」と言った。
17 娘が命じられたとおりにしたとき、娘をそこへ連れて行き
ました。そして娘は泣き、娘の涙を受け止めて、こう言いま
した。
18 娘よ、どうか慰めてください。 天地の主は、あなたのこの
悲しみに喜びを与えてくださいます。娘よ、どうか慰めてく
ださい。

第 8 章

1 そして、夕食が終わると、彼らはトビアスを彼女のところに
連れて来た。
2 そこで彼は、ラファエルの言葉を思い出し、香水の灰を取り、
その上に魚の心臓と肝臓を置き、それで煙を立てた。
3 悪霊がその匂いを嗅いだとき、彼はエジプトの隅々まで逃げ、
天使が彼を縛りつけた。
4 そして、二人とも一緒に閉じ込められた後、トビアスはベッ
ドから起き上がって言いました、「シスター、起きて、神が
私たちを憐れんでくださるように祈りましょう。」
5 そこでトビアスは言い始めた、「わたしたちの先祖の神よ、
あなたは祝福されますように。あなたの聖なる栄光ある御名
は永遠に祝福されますように。」 あなたとあなたのすべての
生き物を天が祝福してくださいますように。
6 あなたはアダムを造り、助け手と滞在者としてその妻エバを
与えました。彼らの中から人類が生まれました。あなたはこ
う言いました。 彼を彼と同じように助けてあげましょう。
7 そして今、主よ、私はこの妹を情欲のためではなく、正しく
受け止めています。それゆえ、私たちが一緒に年を重ねるこ
とができるように、慈悲深く定めました。
8 彼女は彼と一緒に、「アーメン」と言った。
9 それで彼らはその夜二人とも寝た。 そこでラグエルは立ち
上がって、墓を作りに行った。
10「彼も死ぬのではないかと心配です」と言いました。
11 ところが、ラグエルが家に来ると、
12 彼は妻のエドナに言った。 メイドの一人を送って、彼が生
きているかどうか見させてください。もし生きていなければ、
私たちが彼を埋葬し、誰もそれを知りません。
13 そこで、女中は戸を開けて中に入ると、二人とも眠ってい
た。
14 そして出てきて、彼が生きていることを彼らに告げた。
15 それからラグエルは神を賛美して言った、「神よ、あなた
はあらゆる純粋で聖なる賛美をもって称賛されるに値します。
それゆえ、あなたの聖徒たちはあなたのすべての生き物をも
ってあなたを讃美しましょう。 そしてあなたのすべての天使
たちとあなたの選ばれた者たちがあなたを永遠に讃美します
ように。
16 あなたは私を喜ばせてくださったので、ほめられるべきで
す。 そして私が疑っていたようなことは私には思い浮かびま
せんでした。 しかし、あなたはその大いなる慈悲に従って私
たちを扱ってくださいました。
17 あなたは、父祖の独り子である二人を憐れんでくださった
ので、称賛されるべきです。主よ、彼らに憐れみを与えてく
ださい。喜びと憐れみをもって健康に生涯を終えることがで
きますように。
18 そこでラグエルは家臣たちに墓を埋めるように命じた。
19 そして彼は婚宴を十四日間続けた。
20 というのも、ラグエルは結婚生活が終わる前に、結婚生活
の十四日が過ぎるまでは出発してはならないと誓いを立てて
いたからである。
21 それから彼は自分の財産の半分を持って、安全に父親のと
ころに行くべきです。 私と妻が死んだら休むべきだ。

第 9 章

1 そこでトビアスはラファエルを呼んでこう言った。
2 アザリア兄弟、僕と二頭のラクダを連れて、メディアの怒り
のガバエルのところに行き、お金を私に持ってきて、結婚式
に連れてきてください。
3 ラグエルは私が離れないと誓ったからです。
4 しかし、父は日々を数えています。 もし私が長く遅れたら、
彼はとても残念がるだろう。
5 そこでラファエルは出て行って、ガバエルのところに泊まっ
て、その筆跡を渡した。ガバエルは袋を持ってきて封をし、
それを彼に渡した。
6 そして朝早く、二人は一緒に出かけ、結婚式に来た。そして
トビアスは妻を祝福した。

第 10 章

1 さて、父親のトビトは毎日を数えました。そして、旅の日数
が過ぎても、彼らは来ませんでした。
2 そこでトビトは言った、「彼らは拘留されているのか」。
それともガバエルは死んで、彼にお金を渡す人はいないので
しょうか?
3 それで彼はとても残念に思いました。
4 そこで妻が彼に言った、「息子は死んだのです。息子は長く
生きているようです。」 そして彼女は彼を泣き叫び始めて言
った。

5 今、私はあなたを手放したので、私の目の光は何も気にしません。
6 トビトは彼に言った、「安心してください。彼は安全ですから、心配しないでください。」
7 しかし彼女は言った、「安心してください。私を騙さないでください。私を騙さないでください。」 私の息子は死んだ。 そして、彼女は毎日彼らが行く道に出かけ、日中は肉を一切食べず、ラグエルがそう誓った結婚式の 14 日間が満了するまで、一晩中息子のトビアスを嘆くことはなかった。 そこで過ごす。 それからトビアスはラグエルに言った、「行かせてください。父も母ももう私に会おうとしないからです。」
8 しかし、彼の義父は彼に言った、「私と一緒にいてください。そうすれば私はあなたの父親に遣わします。そして彼らはあなたの状況がどうなっているかを彼に報告するでしょう」。
9 しかし、トビアスは、「いいえ」と言った。 でも、父のところへ行かせてください。
10 それからラグエルは立ち上がって、妻サラと家財の半分、使用人、家畜、お金を彼に渡した。
11 そして、イエスは彼らを祝福し、「子供たちよ、天の神があなたたちに豊かな旅を与えてくださいますように」と言って彼らを送り出した。
12 そして彼は娘に言った、「あなたの父親としゅうとめを敬いましょう。彼らは今あなたの両親です。あなたの良い報告を聞くことができるでしょう。」 そして彼は彼女にキスをした。 エドナはまた、トビアスにこう言いました。「天の主よ、愛する兄弟よ、あなたを回復してください。そして、私が死ぬ前にあなたの娘サラの子供たちに会えるようにしてください、主の御前で喜ぶことができますように。見よ、私は娘をあなたに捧げます」 特別信託。 彼女の悪を懇願しないでください。

第 11 章

1 これらの事の後、トビアスは、自分に豊かな旅を与えてくれたと神を賛美し、ラグエルとその妻エドナを祝福し、ニネヴェに近づくまで旅を続けた。
2 それからラファエルはトビアスに言った、「兄弟よ、あなたは知っています、あなたがどのようにして父親のもとを去ったのか。
3 妻の前に急いで家の準備をしましょう。
4 そして、魚の胆汁をあなたの手に取りなさい。 それで彼らは自分たちの道を進み、犬は彼らの後を追いました。
5 さて、アンナは座って息子の道の方を眺めていました。
6 それで、彼女は彼が来るのを見つけたとき、彼の父親に言った、「見よ、あなたの息子と、彼と一緒に行った男が来ます。」
7 それからラファエルは言った、「トビアス、あなたのお父さんが目を開けることはわかっています。」
8 それゆえ、あなたの目に胆汁を塗ってください。そうすれば、彼はそれで刺されてこすれるでしょう、そして白さは落ち、そして彼はあなたを見るでしょう。
9 それから、アンナは走り出て、息子の首にひれ伏して、息子に言った、「息子よ、あなたを見たので、これからは死んでも満足です。」 そして二人とも泣きました。
10 トビトも戸口へ出て行って、つまずいたが、息子が駆け寄って来た。
11 そして父親を抱きしめて、父親たちの目に胆汁をこすりつけて言った、「父よ、期待してください。」
12 そして、目が曇り始めたとき、彼は目をこすった。
13 そして、彼の目の端から白さが消え、息子を見ると、首にひれ伏した。
14 そこで彼は泣いて言った、「神よ、あなたは祝福されますように。あなたの御名はとこしえに祝福されますように。」 そしてあなたの聖なる天使たち全員が祝福されますように。
15 あなたは私を鞭打ち、憐れんでくださいました。見よ、私には私の息子トビアスが見えます。 そして息子は喜びながら家に入り、メディアで自分に起こった素晴らしい出来事を父親に話しました。
16 それから、トビトはニネベの門のところに嫁に会いに出て、喜び、神を賛美した。すると、彼が見えるようになったので、彼を見た人々は驚いた。
17 しかし、トビアは、神が彼を憐れんでくださったので、彼らの前で感謝をささげた。 そして、義理の娘サラに近づくと、彼は彼女を祝福して言った、「娘よ、ようこそ。あなたを私たちに導いてくださった神が祝福されますように。あなたの父と母が祝福されますように。」 そしてニネベにいる彼の兄弟たち全員の間に喜びがあった。
18 アキアカルスとその兄弟の子ナスバスが来た。
19 そしてトビアスの結婚式は大喜びで七日間執り行われた。

第 12 章

1 それから、トビトは息子のトビアスを呼んで言った、「わが子よ、その男があなたと一緒に行った給料を持っているのを見てください、そしてあなたは彼にもっと与えなければなりません。」
2 そこでトビアスは彼に言った、「お父様、私が持ってきたものの半分を彼にあげても差し支えありません。」
3 というのは、彼は私を再び安全なあなたのところに連れてきて、私の妻を健全にし、お金を私にもたらし、同様にあなたをいやしてくださったからです。
4 そこで老人は、「それは彼のおかげだ」と言った。
5 そこで彼は天使を呼ぶと、「あなたが持ってきたすべての半分を持って行き、安全に去りなさい」と言った。
6 それから、彼は二人を引き離して、彼らに言った、「神をほめたたえ、神を讃え、神を讃え、生きているすべての人の目の前で神があなたにしてくださったことを讃えなさい。」 神を賛美し、神の名を讃え、神の御業を名誉ある形で示すのは良いことです。 したがって、彼を称賛することに怠けてはならない。
7 王の秘密を密にするのは良いことですが、神の業を明らかにするのは名誉なことです。 善いことをしなさい、そうすればどんな悪もあなたに触れることはありません。
8 祈りは、断食、施し、義とともに良いものです。 義を少し持つことは、不義を多く持つよりも優れています。 金を蓄えるよりも施しをするほうが良いです。
9 施しは死から救い出し、すべての罪を取り除くからです。 施しと義を行使する者は命に満たされるでしょう。
10 しかし、罪を犯す者は自分の命の敵です。
11 わたしは決してあなたに近づかないようにします。 というのは、私は、王の秘密を秘密にしておくのは良いことだが、神の業を明らかにするのは光栄なことだと言ったからである。
12 それで、あなたが祈ったとき、そしてあなたの義理の娘サラ、私はあなたの祈りの記憶を聖なる方の前にもたらしました。そして、あなたが死者を埋葬したとき、私も同様にあなたと一緒にいました。
13 そして、あなたが遅れずに起きて、夕食を残して、死者を覆いに行くために行ったとき、あなたの善行は私から隠されませんでした。しかし、私はあなたと一緒にいました。
14 そして今、神はあなたとあなたの義理の娘サラを癒すために私を遣わされました。
15 私はラファエルです。聖者の祈りを伝え、聖者の栄光の前に出たり入ったりする七人の聖なる天使の一人です。
16 そこで、二人とも不安になって、ひれ伏した。恐れたからである。
17 しかしイエスは彼らに言った、「恐れるな。あなた方はうまくいくだろう。」 したがって、神を賛美しなさい。
18 私が来たのは、私の好意によるものではなく、私たちの神のご意志によるものです。 したがって、永遠に彼を賛美しなさい。

19 このところずっと、私はあなたがたのところに現れました。しかし、私は食べたり飲んだりしませんでしたが、あなたがたは幻を見ました。
20 ですから、今、神に感謝しましょう。私は、私を遣わしてくださった方のところへ行きます。 ただし、行われたことはすべて本に書きます。
21 そして彼らが立ち上がると、もうイエスの姿は見えなかった。
22 それから彼らは、神の偉大で驚くべき御業と、主の御使いがどのように彼らに現れたかを告白した。

第 13 章

1 それから、トビトは喜びの祈りを書き、こう言いました、「永遠に生きておられる神に祝福あれ、その王国に祝福あれ。」
2 なぜなら、彼はむち打ちをし、憐れみを持っているからです。彼は地獄に落ち、そして再びよみがえらせます。彼の手を避けることができるものは誰もいません。
3 イスラエルの子らよ、異邦人の前で彼を告白しなさい。彼は私たちを彼らの中に散らしたからです。
4 そこで彼の偉大さを宣言し、すべての生きている人々の前で彼を讃えなさい。彼は私たちの主であり、永遠に私たちの父なる神だからです。
5 そして、神は私たちの咎のために私たちを鞭打ち、再び憐れみを与え、私たちを散らしたすべての国々から私たちを集めてくださるでしょう。
6 あなたがたが、心をつくし、思いを尽くして神に立ち返り、神の前に正しく接するなら、神はあなたに向き直り、あなたから顔を隠さないでしょう。 それゆえ、彼があなたに対して何をするかを見て、あなたの口全体で彼を告白し、力ある主を賛美し、永遠の王を讃えなさい。 捕らわれの地で、私は彼を讃美し、罪深い国民に対して彼の力と威厳を宣言します。おお汝ら罪人よ、立ち返って神の前で正義を遂行せよ。神があなたを受け入れ、あなたを憐れんでくれるかどうか、誰が分かるだろうか?
7 わたしはわたしの神を讃美し、わたしの魂は天の王を讃美し、その偉大さを喜ぶであろう。
8 すべての人が語り、すべての人が彼の義を称えよ。
9 ああ、聖なる都エルサレムよ、彼はあなたの子供たちの行いのためにあなたを鞭打ち、義人の子らを再び憐れみます。
10 主をほめたたえよ、主は善い方だから。そして永遠の王をほめたたえよ。主の幕屋が喜びのうちに再びあなたの内に建てられ、捕らわれている者たちをあなたの中で喜びとし、あなたのうちに捕らわれた者たちを永遠に愛してください。 それは悲惨なことだ。
11 多くの国々が遠くから贈り物を手に、すなわち天の王への贈り物を携えて、主なる神のみ名のもとにやって来るであろう。 すべての世代が大いなる喜びをもってあなたを賛美するでしょう。
12 あなたを憎む者はみな呪われ、あなたを永遠に愛する者はすべて祝福されるであろう。
13 義人の子らのために喜びなさい。彼らは集まって義人の主を祝福するからである。
14 ああ、あなたを愛する人たちは幸いです。彼らはあなたの平和を喜ぶでしょう。あなたのすべての鞭打ちのために悲しんでいた人は幸いです。 彼らはあなたの栄光をすべて見たとき、あなたのために喜び、永遠に喜ぶでしょう。
15 私の魂が偉大なる王なる神を祝福しますように。
16 エルサレムはサファイアとエメラルドと宝石で建てられ、あなたの城壁と塔と胸壁は純金で建てられるでしょう。
17 そしてエルサレムの通りはベリルとカーバンクルとオフィルの石で舗装されるであろう。
18 そして、彼女の街路は皆、「アレルヤ」と言うだろう。 そして彼らは彼を賛美し、「永遠にそれを讃えられた神はほめたたえられますように」と言うであろう。

第 14 章

1 そこでトビトは神を賛美することをやめました。
2 彼は八歳と五十歳のときに視力を失い、八年後に回復した。そして施しをし、主なる神への畏れが増し、主を賛美した。
3 そして、彼がかなり年をとってから、自分の息子とその息子たちを呼んで言った、「わが子よ、あなたの子供たちを連れて行ってください。」 見よ、私は年をとり、この世を去る準備ができているからです。
4 息子よ、メディアに行きなさい。預言者ヨナスがニネベについて語った言葉、それが打倒されるであろうことを、私は確信しているからです。 そしてしばらくはメディアに平和が訪れるだろう。 そして、私たちの兄弟たちは、その良い土地から地に散らばって横たわり、エルサレムは荒廃し、そこにある神の家は焼かれ、しばらくの間荒廃するでしょう。
5 そして、神は再び彼らを憐れんで、彼らを再びその地に連れて行き、そこで彼らは神殿を建てますが、その時代が満ちるまで、最初のものとは異なります。 そしてその後、彼らは捕囚のあらゆる場所から戻り、エルサレムを輝かしく築き上げ、預言者たちが語ったように、神の家はその中に輝かしい建物で永遠に建てられるでしょう。
6 そしてすべての国々は立ち返り、真に神である主を畏れ、偶像を葬るであろう。
7 こうしてすべての国々は主を賛美し、その民は神を告白し、主はその民を高められるであろう。 そして真実と正義において主なる神を愛する者は皆喜び、私たちの兄弟たちに慈悲を示すでしょう。
8 さて、わが子よ、ニネベから出て行きなさい。預言者ヨナスが語ったことが必ず実現するからです。
9 しかし、あなたは律法と戒めを守り、あなたがうまくいくように、慈しみ深く正義を示しなさい。
10 そして、私とあなたの母親を私と一緒にきちんと葬ってください。 しかし、もうニネベには留まらないでください。 思い出してください、我が息子よ、アマンが自分を育ててくれたアキアチャロスをどのように扱ったか、彼を光の外から闇の中に導き、そして再び彼にどのように報いたかを覚えておいてください。それでもアキアチャロスは救われましたが、もう一人は報いを受けました。彼は闇に落ちたからです。 マナセスは施しをし、彼らが彼に仕掛けた死の罠から逃れましたが、アマンは罠に落ちて死んでしまいました。
11 そこで、わが子よ、施しが何をするのか、義がどのように救いをもたらすのかを考えてください。 これらのことを言い終えると、彼はベッドで幽霊をあきらめました、まだ 185 歳でした。 そして彼を丁重に埋葬した。
12 そして、母親のアンナが亡くなったとき、彼は父親と一緒に彼女を埋葬した。 しかし、トビアスは妻と子供たちとともに義父のラグエルのいるエクバタネに向けて出発しました。
13 そこで彼は名誉ある年をとり、父と義母を立派に埋葬し、彼らの財産と父トビトの財産を受け継いだ。
14 そして彼はメディアのエクバタネで百七二十歳で死んだ。
15 しかし、彼は死ぬ前に、ナブコドノソルとアシュエロスによって占領されたニネベの破壊のことを聞き、死ぬ前にニネベのことを喜んだ。

ジュディス



第 1 章

1 大都市ニネベを統治していたナブコドノソールの治世の第 12 年。 エクバタネでメディア人を統治していたアルファクサドの時代、
2 また、エクバタンに幅三キュビト、長さ六キュビトの石を切り出して周囲に城壁を築き、その壁の高さは七十キュビト、幅は五十キュビトとした。
3 そしてその塔をその門の上に置き、高さ百キュビト、基礎の幅は三十キュビトとした。
4 そこで彼はその門を造った。その門は高さ七十キュビト、その幅は四十キュビトで、強力な軍勢の出陣と従者の配置のために設けられた。
5 当時でさえ、ナブコドノソール王はラガウの国境にある平原である大平原でアルファクサド王と戦争をしました。
6 そして、山地に住むすべての人、ユーフラテス川、チグリス川、ヒュダスペス川のほとり、エリメアの王アリオクの平原に住むすべての人、およびケロドの子孫の非常に多くの国々が彼のところに来た。 戦いへ。
7 そこで、アッシリアの王ナブコドノソルは、ペルシアに住むすべての者、西方に住むすべての者、キリキア、ダマスコ、リバヌス、アンティリバヌスに住むすべての者、および海岸に住むすべての者に遣わし、
8 またカルメル、ガラアド、ガリラヤ高地、エスドリロムの大平原に属する国々の人々に、
9 また、サマリアとその町々、そしてヨルダンを越えてエルサレム、ベタネ、ケルス、カデス、エジプトの川、タフネス、ラムセス、およびゲセムの全地にいたすべての人たちに、
10 あなたがたがタニスとメンフィスを越えて、エジプトのすべての住民に到達し、エチオピアの国境に到達するまで。
11 しかし、その地の住民は皆、アッシリアの王ナブコドノソルの命令を軽視し、彼と一緒に戦いに行かなかった。 彼らは彼を恐れていなかったからだ。そうです、彼は一人の男として彼らの前にいたのに、彼らは何の効果もなく、そして恥辱を伴う形で彼の使者たちを彼らから追い払ったのです。
12 したがって、ナブコドノソールはこの国全体に対して非常に怒り、キリキア、ダマスカス、シリアのすべての海岸で必ず復讐し、その住民をすべて剣で殺すだろうと、自分の王位と王国にかけて誓った。 モアブの地、アンモンの人々、ユダヤ全土、そしてエジプトにいたすべての人々、そして二つの海の境界に着くまで。
13 それから、彼は十七年にアルファクサド王に対してその力を尽くして戦闘態勢を整えて進軍し、戦いに勝利した。というのは、彼はアルファクサドのすべての勢力とすべての騎兵とすべての戦車を打ち破ったからである。
14 そして、その都市の領主となり、エクバタネに来て、塔を奪い、その街路を台無しにし、その美しさを恥辱に変えた。
15 彼はまたラガウの山中でアルファクサドを捕らえ、矢で彼を撃ち抜き、その日完全に滅ぼした。
16 そこで彼は、その後ニネベに戻ったが、彼自身も、またその諸国民の仲間も非常に大勢の軍人たちであったので、そこでゆっくりと過ごし、自分も軍隊も百二十日間宴会を楽しんだ。

第 2 章

1 そして 18 年目、正月 2 日と 20 日、アッシリアの王ナブコドノソールの家で、彼が言ったように全地で復讐すべきだという話し合いがあった。
2 そこで彼は、すべての役人たちとすべての貴族たちを呼び寄せ、彼らに秘密の勧告を伝え、全地を苦しめていることを自分の口から結論づけた。
3 そこで彼らは、イエスの口の命令に従わないすべての肉を滅ぼすことを命じた。
4 そして、彼が相談を終えると、アッシリアの王ナブコドノソールは、隣にいた軍の長ホロフェルネスを呼んでこう言った。
5 全地の主である大王はこう言われる、「見よ、あなたはわたしの前から出て行き、自分の力を信頼する者たち、歩兵のうち十万二千人を連れて行くであろう。 そして騎手を伴った馬の数は一万二千。
6 そして、あなたは西の国全体に敵対するであろう、彼らは私の戒めに従わなかったからだ。
7 そしてあなたは、彼らが私のために土と水を用意していると宣言しなければなりません。私は彼らに対して怒りを持って出て行き、私の軍隊の足で地の全面を覆い、彼らに戦利品として与えます。 彼ら：
8 そうすれば、彼らの殺された者が彼らの谷と小川を満たし、川が彼らの死者で満たされ、氾濫することになる。
9 そして、わたしは彼らを捕虜として全地の隅々まで導く。
10 それゆえ、あなたは出て行くべきである。 そして、彼らのすべての海岸を私のために事前に奪ってください。そして、もし彼らがあなたに身を委ねるなら、あなたは彼らが罰される日までそれらを私のために取っておくでしょう。
11 しかし、反逆する者たちについては、あなたの目を容赦しないでください。 しかし、彼らを屠殺場に置き、どこに行っても彼らを台無しにしてください。
12 わたしが生きている間、またわたしの王国の力によって、わたしが話したすべてのことを、わたしの手で行うからです。
13 そして、主君の戒めに違反しないように注意し、わたしがあなたに命じたとおりにそれを完全に遂行し、それを怠らないようにしなさい。
14 それから、ホロフェルネスは主君の前から出て、アッシュールの総督、大尉、および軍の将校たちをすべて呼んだ。
15 そして主君の命じたとおり、戦いのために選ばれた者たちを召集し、その数は騎馬の射手一万二千人となった。
16 そして、戦争のために大軍が命じられているので、彼は彼らを射撃した。
17 そして彼は、非常に多くのラクダとロバを車として連れて行った。 羊と牛とヤギは数え切れないほど用意されている。
18 また、軍人全員にたくさんの食料があり、王の家からはたくさんの金銀があった。
19 それから彼は全力を尽くしてナブコドノソール王の前に出て航海し、戦車、騎兵、選ばれた歩兵で西に向かって地球の全面を覆い尽くした。
20 非常に多くの国々も、いなごのように、また地の砂のように、彼らとともにやって来た。その数は数え切れなかった。
21 そこで彼らはニネベからベクティレスの平原に向かって三日の旅をし、キリキア上流の左手にある山の近くのベクティレトから投球した。
22 それから彼は全軍、歩兵、騎兵、戦車を率いて、そこから山地へ行った。
23 そしてプドとルドを滅ぼし、ラセスの子孫全員と、ケリア人の地の南の荒野にいたイスラエルの子孫をすべて滅ぼした。
24 それから彼はユーフラテスを越え、メソポタミアを通り、あなたがたが海に来るまで、アルボナイ川沿いにある高地の都市をすべて破壊した。

25 そして彼はキリキアの国境を占領し、彼に抵抗するすべての者を殺し、アラビアと対峙する南のヤペテの国境まで来た。
26 彼はマディアンの人々をすべて包囲し、彼らの幕屋を焼き払い、彼らの羊小屋を荒らした。
27 それから彼は小麦の収穫の時期にダマスコの平原に下って行き、彼らの畑をすべて焼き尽くし、羊の群れを滅ぼし、また彼らの都市を破壊し、彼らの国を完全に荒廃させ、彼らの若者たちをすべて銑で打ち殺した。 剣の刃先。
28 それゆえ、彼の恐れと恐れは、シドンとテュロスにいた海岸のすべての住民、スールとオキナに住んでいた人々、そしてエムナンに住んでいたすべての人々に臨んだ。 そしてアゾトスとアスカロンに住んでいた人々は彼を非常に恐れた。

第 3 章

1 そこで彼らは、和平を図るために使者を彼のところに遣わしてこう言った。
2 見よ、私たちは大王ナブコドノソルの家来としてあなたの前に横たわっている。 あなたの目に良いように私たちを使ってください。
3 見よ、私たちの家、私たちのすべての場所、私たちのすべての麦畑、羊の群れ、牛の群れ、そして私たちの天幕のすべての小屋があなたの顔の前に横たわっている。 好きなように使ってください。
4 見よ、私たちの都市とその住民さえもあなたのしもべである。 来て、あなたにとって良いと思われるように彼らに対処してください。
5 それで人々はホロフェルネスのところに来て、このように宣言した。
6 それから彼は自分と軍隊を率いて海岸に下り、高地の都市に守備隊を置き、そこから選ばれた人々を救援に連れて行った。
7 そこで彼らと周囲の国々は皆、花輪や踊りや音色をもって彼らを迎えた。
8 それにもかかわらず、神は彼らの国境を打ち破り、果樹園を伐採した。なぜなら、彼はその地のすべての神々を滅ぼし、すべての国々がナブコドノソルのみを崇拝し、すべての言語と部族が彼を神として呼び求めるよう布告したからである。
9 また、彼はユダヤの近く、ユダヤの大海峡に向かってエスドラエロンに向かってやって来た。
10 そして彼はゲバとスキトポリスの間を歩き、そこで軍隊のすべての馬車を集めるために一ヶ月滞在した。

第 4 章

1 さて、ユダヤに住んでいたイスラエルの人々は、アッシリアの王ナブコドノソルの首領ホロフェルネスが諸国民に対して行ったこと、そしてどのようなやり方で彼らのすべての神殿を破壊し、無に帰したのかをすべて聞いた。
2 それゆえ、彼らは彼を非常に恐れ、エルサレムと彼らの神、主の宮のことを心配した。
3 彼らは捕囚から新たに帰還し、最近ユダヤのすべての民が集まった。そして、器物、祭壇、家は冒涜の後に神聖なものとされたからである。
4 そこで彼らは、サマリアの全海岸、村々、ベトロン、ベルメン、エリコ、チョバ、エソラ、サレムの谷に人を送った。
5 そして、高い山々の頂上をすべて事前に確保し、そこにある村を強化し、戦争の備えとして物資を蓄えた。彼らの畑は最近刈り取られたからである。
6 また、当時エルサレムにいた大祭司ヨアキムは、ベツリアと、ドタイムに近い開けた野原に向かってエスドラエロンと対峙するベトメスタムに住んでいた人々にこう書き送った。
7 山地の通路を守るために彼らを突撃させた。彼らのそばにユダヤへの入り口があったからであり、その通路はまっすぐだったので、せいぜい二人で、上って来る彼らを止めるのは簡単だったからである。
8 イスラエルの子らは、エルサレムに住んでいたイスラエル全民の古人たちとともに、大祭司ヨアキムが命じたとおりにした。
9 そこで、イスラエル人はみな、激しく熱烈に神に叫び、激しく自分の魂を謙虚に言いました。
10 彼らとその妻と子供たちと家畜、そしてすべての寄留者と雇い人、そして金で買った召使たちも、腰に荒布を着せた。
11 こうして、男も女も、幼子も、エルサレムの住民も皆、神殿の前にひれ伏し、頭に灰をかぶり、主の御前に荒布を広げ、祭壇の周りにも荒布をかぶせ、
12 そして、イスラエルの神に、全員が一致団結して、彼らの子供たちを獲物として、その妻たちを戦利品として、彼らの相続地である都市を破壊に、聖所を冒涜と非難に与えないようにと、真剣に叫びました。 国々が喜ぶためです。
13 こうして神は彼らの祈りを聞き入れ、彼らの苦難に目を留められた。民はユダヤ全土とエルサレムで、全能者の主の聖所の前で何日も断食したからである。
14 また、大祭司ヨアキム、主の前に立ったすべての祭司、および主に仕える者たちは、腰に荒布をまとい、民の誓いと無償の賜物を添えて、毎日の燔祭をささげた。
15 そして、彼らの冠に灰をかぶせて、イスラエル全家を慈しみ深く見守ってくださるよう、力の限り主に祈った。

第 5 章

1 それから、イスラエルの子らは戦争の準備をし、丘陵地の通路を閉ざし、高い丘の頂上すべてを防備し、 シャンペーン諸国に障害をもたらした:
2 それで彼は非常に怒って、モアブのすべての君たち、アンモンの船長たち、および海岸のすべての総督たちを呼んで、
3 そこで彼は彼らに言った、「チャナンの子らよ、さあ教えてください。この山地に住むこの民は誰なのか、彼らが住んでいる町は何ですか、彼らの軍隊の数はどれくらいですか、彼らの軍隊はどこにいますか」 力と強さ、そしてどの王が彼らの上に置かれているか、または彼らの軍隊のキャプテン。
4 そして、なぜ彼らは、西のすべての住民以上に、私に会いに来ないことに決めたのですか。
5 それから、アンモンのすべての子らの長アキオルは言った、「主よ、あなたのしもべの口から言葉を聞いてください。そうすれば、あなたの近くに住み、山地に住んでいるこの民に関する真実をあなたに宣言します」 ：そして、あなたの僕の口から嘘が出るはずはありません。
6 この民はカルデア人の子孫です。
7 そして彼らは、カルデアの地にいた先祖たちの神々に従おうとしなかったため、これまでメソポタミアに滞在していた。
8 彼らは先祖たちの道を離れ、天の神、つまり自分たちの知っている神を拝んだので、彼らを神々の顔から追い出し、メソポタミアに逃げ、そこに何日も滞在した。

9 そこで彼らの神は、彼らが滞在していた場所を出て、カナンの地に行くように命じた。そこには彼らが住み、金と銀、そして非常に多くの牛が増えた。
10 しかし、飢饉がカナンの全地を覆ったので、彼らはエジプトに下って、そこで養われながら滞在し、そこに大群衆となり、国民を数えることができないほどになった。
11 そこで、エジプト王は彼らに対して立ち上がり、巧みに彼らを扱い、レンガ造りの労働で彼らを貶め、奴隷にした。
12 そこで彼らが自分たちの神に叫んだところ、神はエジプト全土に不治の疫病を襲われたので、エジプト人は彼らを目の前から追放した。
13 神は彼らの前で紅海を乾かし、
14 そして彼らをシナ山とカデス・バーンに連れて行き、荒野に住んでいたすべての者を追い出した。
15 こうして彼らはアモリ人の地に住み、その力でエセボンのすべての人々を滅ぼし、ヨルダンを越えて山地全域を占領した。
16 そこで彼らは、カナン人、フェレジ人、エブス人、シケム人、およびすべてのゲルゲ人を彼らの前に放り出し、その国に何日も住んだ。
17 そして、彼らは神の前で罪を犯さなかったが、不法を憎む神が彼らとともにおられたので、繁栄した。
18 しかし、彼らが神の定めた道を離れたとき、彼らは多くの戦いで非常に激しく滅ぼされ、捕虜となって彼らのものではない地に連れて行かれ、彼らの神の神殿は地面に投げ落とされ、彼らの都市は破壊された。 敵に取られた。
19 しかし今、彼らは自分たちの神のもとに戻り、散り散りになった場所から上がってきて、自分たちの聖所であるエルサレムを占領し、山地に座っている。 荒れ果てていたからだ。
20 そこで、主君、総督よ、もしこの民に対して何らかの過ちがあり、彼らが彼らの神に対して罪を犯したなら、これが彼らの破滅であると考えて、立ち上がって彼らに打ち勝ちましょう。
21 しかし、もし彼らの国に咎がないのであれば、主が彼らを擁護し、彼らの神が彼らに味方し、私たちが全世界の前でそしりを受けることのないように、今は主よ通り過ぎてください。
22 そしてアキオルがこれらの言葉を言い終えると、天幕の周りに立っていた民はみなつぶやき、ホロフェルネスの首長たちと海側とモアブに住んでいたすべての人々は、アキオルを殺すべきだと口を開いた。
23 彼らは言う、「わたしたちはイスラエルの子らの顔を恐れることはない。見よ、イスラエルは強い戦いをする力も力も持たない民だからである」
24 それで、ホロフェルネス様、私たちは上っていきます、そして彼らはあなたの全軍の餌食となるでしょう。

第 6 章

1 そして、会議の周りで人々の騒ぎがやんだとき、アッスル軍の総大将ホロフェルネスは、他の国々の全隊の前でアキオルとモアブ人全員に言った。
2 それで、あなたは何者ですか、アキオル、そしてエフライムの雇い人たち、あなたは今日のように私たちに対して預言し、イスラエルの人々と戦争をすべきではないと言いました、彼らの神が彼らを守るからです。 そしてナブコドノソール以外に神とは誰なのでしょうか?
3 神はその力を送り、地の面から彼らを滅ぼすであろう。そして彼らの神は彼らを救い出さないであろう。しかし、私たち神の僕たちは一人で彼らを滅ぼすであろう。 彼らは私たちの馬の力を維持できないからです。
4 わたしたちは彼らとともに彼らを足で踏みつけ、彼らの山々は彼らの血に酔い、彼らの野原は彼らの死体で満たされ、彼らの足跡はわたしたちの前に立つことができなくなり、彼らは完全に滅びるでしょう。 全地の主、ナブコドノソール王はこう言いました。「私の言葉はどれも無駄ではない」と彼は言ったからです。
5 そして、あなたの咎の日にこの言葉を語ったアンモンの雇い人アキオルよ、私がエジプトから出てきたこの国に復讐するまで、この日からもう私の顔を見ることはないだろう。
6 そのとき、わたしの軍隊の剣と、わたしに仕える彼らの大勢があなたの脇腹を通り抜け、わたしが戻ってくるとき、あなたは彼らの殺された者の中に倒れるであろう。
7 それで、今、わたしのしもべたちはあなたを山地に連れ戻し、通路の町の一つにあなたを置くでしょう。
8 そして、あなたも彼らとともに滅ぼされるまでは、滅びてはならない。
9 そして、もしあなたが心の中で彼らが捕らえられるだろうと自分に言い聞かせるなら、あなたの表情を崩さないでください。私はそれを話しました、そして私の言葉はどれも無駄ではありません。
10 そこでホロフェルネスは、天幕の中で待っていた家臣たちに、アキオルを連れてベツリアに連れて行き、イスラエルの人々の手に引き渡すように命じた。
11 それで、家臣たちは彼を連れて陣営から平地に連れ出し、平地の真ん中から山地に入り、ベツリアの下にある泉のところまで来た。
12 町の人たちは彼らを見て、武器をとって町の外に出て丘の頂上へ行った。そして、石投げを使っていた者たちは皆、石を投げて彼らが登って来るのを妨げた。
13 それにもかかわらず、彼らはひそかに丘の下に入ったので、アキオルを縛り上げて投げ倒し、丘のふもとに放置して主君のところに戻った。
14 しかし、イスラエル人は自分たちの町から下りて、彼のところに来て、彼を解き放ち、ベツリアに連れて行き、町の総督たちに引き渡した。
15 当時、彼らはシメオン族のミカの子オジアス、ゴトニエルの子カブリス、メルキエルの子カルミスであった。
16 そこで彼らは町の古人たちをすべて呼び集め、若者たちも女たちもみな集まって集会に駆けつけ、アキオルを民全員の真ん中に立たせた。 それからオジアスは彼に何が行われたのか尋ねた。
17 そこで彼は答えて、ホロフェルネスの会議の言葉、アッスルの君主たちの真っただ中で話したすべての言葉、そしてホロフェルネスがイスラエルの家に対して誇らしげに言ったことをすべて彼らに告げた。
18 そこで民はひれ伏して神を礼拝し、神に叫びました。と言って、
19 天の神、主よ、彼らの誇りを見よ、我が国の身分の低さを憐れみ、今日あなたに聖別された人々の顔をご覧ください。
20 そこで彼らはアキオルを慰め、彼を大いにほめたたえた。
21 そこでオジアスは彼を集会から連れ出して自分の家に連れて行き、長老たちに宴会を開いた。 そして彼らはその夜ずっとイスラエルの神に助けを求めました。

第 7 章

1 翌日、ホロフェルネスは全軍と、自分の役割を果たすために来た民全員に、ベツリアに対する陣営を撤去し、丘陵地帯の上り坂を先回りしてイスラエルの子らと戦争をするよう命じた。 。

2 そこで、その日のうちに彼らの有力者たちは陣営を撤収した。そして、兵士の軍勢は、荷物の傍らに歩兵百七万、騎兵一万二千、そしてその中には歩いていた他の兵、非常に多くの群衆がいた。。
3 そして彼らはベツリアに近い谷の泉のそばで宿営し、その幅はドタイムからベルマイムにまで広がり、ベツリアからエスドラエロンに対抗するシナモンまで広がった。
4 さて、イスラエルの人々は、その群衆を見て非常に悩み、隣人に言った。 高い山も、谷も、丘も、その重さに耐えることができないからです。
5 それから、人々はみな戦争の武器を取り、塔に火を焚くと、その夜ずっとそこにいて見守った。
6 しかし二日目、ホロフェルネスはベツリアにいるイスラエル人の目の前に騎兵をすべて連れ出し、
7 そして、町に至る通路を眺め、その水の源に来て、それらを占領し、彼らの上に軍人の守備隊を置き、自らも民の方へ去った。
8 それから、エサウの人々の族長全員、モアブの人々の総督たち、海岸の長たちがみな彼のところに来て言った。
9 今、私たちの主に一言聞いてください、あなたの軍隊が打倒されないように。
10 というのは、イスラエルの子らのこの民は、自分たちの槍ではなく、自分たちの住む山の高さに信頼しているからである。なぜなら、自分たちの山の頂上に登るのは容易ではないからである。
11 ですから、主よ、今は彼らと戦列を組んで戦わないでください。そうすれば、あなたの民のうち一人も死ぬことはありません。
12 あなたの陣営に留まり、あなたの軍隊のすべての人を守り、あなたの家臣たちに山の麓から湧き出ている水の泉を手に渡らせてください。
13 ベツリアの住民は皆、そこから水を汲んでいるからです。それで彼らは渇いて彼らを殺し、彼らは自分たちの都市を放棄するでしょう、そして私たちと私たちの民は近くの山の頂上に登り、彼らにキャンプを張り、誰も街から出ないように監視します。
14 それで、彼らとその妻と子供たちは火で焼き尽くされ、剣が彼らに襲いかかる前に、彼らの住む街路で倒されるであろう。
15 このように、あなたは彼らに邪悪な報いを与えてはなりません。 彼らは反逆し、あなたに平和的に会わなかったからです。
16 この言葉はホロフェルネスとその家来たち全員を喜ばせたので、ホロフェルネスは彼らが言ったとおりに行うよう命じた。
17 こうしてアンモン人の陣営はアッシリア人五千人とともに出発し、谷に陣を張ってイスラエルの人々の水とその水の泉を奪った。
18 それから、エサウの子孫はアンモンの人々とともに上って、ドタイムに臨む山地に陣を張った。そして彼らの一部を南へ、また東へ向かって、チュシに近いエクレベルに向けて遣わした。 モックムル川沿い。 そして残りのアッシリア軍は平野に陣を張り、全土を覆った。 そして彼らのテントと馬車は非常に多くの群衆のために張られました。
19 そこでイスラエルの子らは、すべての敵が彼らの周りを取り囲み、彼らの中から逃げる方法がなかったため、心が弱って、彼らの神、主に叫びました。
20 このようにして、アッスルの全隊は、歩兵、戦車、騎兵を含めて四三十日間彼らの周りに留まり、そのため彼らの水の入った容器はすべてベツリアのすべての阻止勢力を破った。
21 貯水池は空になり、一日分の水を飲むこともできなかった。 彼らは彼らに分量に応じて飲み物を与えたからである。
22 そこで、彼らの幼い子供たちは心を乱し、女や若者たちは喉の渇きで気を失い、町の通りや門の通路で倒れ、彼らにはもはや力がなくなった。
23 それから、若者、女性、子供たちも含めて、すべての民はオジアスと町の長のもとに集まり、大声で叫び、長老たち全員の前でこう言った。
24 神が私たちとあなたとの間を裁いてください。あなたがたがアッスルの子らの和平を要求しなかったという点で、私たちに多大な損害を与えたからです。
25 今のところ、私たちには助け手がいません。しかし、神は私たちを彼らの手に売り、渇きと大きな滅びで彼らの前に投げ捨てられるようにされたのです。
26 それで、今彼らをあなたのところに呼んで、ホロフェルネスの人々とその全軍に戦利品として町全体を引き渡しなさい。
27 渇いて死ぬよりは、彼らの戦利品とされるほうが、私たちにとっては良いからです。私たちは神の召使いとなり、私たちの魂が生き、目の前で幼児や妻の死を見ないようにするためです。 私たちの子供たちが死ぬことを。
28 私たちは、天と地、そして私たちの神、そして私たちの先祖の主が、私たちの罪と私たちの先祖の罪に応じて私たちを罰し、今日私たちが言ったとおりにしないことを、あなたたちに対して証言します。
29 そのとき、集会の真ん中で一人の同意を得て大泣きが起こった。 そして彼らは大声で主なる神に叫びました。
30 それからオジアスは彼らに言った、「兄弟たち、勇気を出してください。まだ五日耐えましょう。そうすれば、私たちの神、主が私たちに憐れみを向けてくださるかもしれません。」 神は私たちを完全に見捨てたりしないからです。
31 もしこの日が過ぎても、私たちに助けが来ないとしても、私はあなたの言葉どおりにいたします。
32 そして彼は民を解散させ、それぞれが自分の任務に就いた。 そして彼らは自分たちの町の城壁や塔に行き、女と子供たちを自分たちの家に送り込んだ。そして彼らは町に連れてこられた。

第 8 章

1 さてそのとき、ユディトがそのことを聞いた。それはメラリの娘、オックスの子、ヨセフの子、オゼルの子、エルキアの子、アナニアの子、ゲデオンの子、ラファイムの子であった。 、アキトの子、エリウの子、エリアブの子、ナタナエルの子、サマエルの子、サラサダルの子、イスラエルの子。
2 マナセスは彼女の部族であり親族であった彼女の夫であり、大麦の収穫の際に亡くなった。
3 というのは、彼が野原で束を束ねる人々を見守って立っていたとき、熱が彼の頭に襲いかかり、彼は床に倒れ、ベツリアの町で死んだ。そして彼らは彼を父親たちとともにドタイムとバラモの間の野原に埋葬したからである。。
4 こうしてジュディスは未亡人となって 3 年 4 か月、家で暮らしました。
5 そして彼女は家の屋上に天幕を張り、腰に荒布をまとい、やもめの着物を着た。
6 彼女はやもめになった日は、安息日の前夜、安息日、新月の前夜、新月とイスラエルの家の祝日と厳粛な日を除いて、ずっと断食した。
7 彼女はまた、整った顔立ちをしていて、見るからにとても美しかった。そして彼女の夫マナセスは、彼女の金、銀、

下男や女中、牛や土地を残していった。 そして彼女は彼らの上に留まりました。
8 そして、彼女を悪く言う者は誰もいなかった。 彼女は神を非常に恐れていたからです。
9 さて、彼女は、民が総督に対して悪口を言っているのを聞いたとき、彼らは水不足で気を失った。 というのは、ジュディスはオジアスが彼らに話した言葉をすべて聞いており、五日後にその都市をアッシリア人に引き渡すと誓っていたからである。
10 そこで彼女は、自分の持ち物すべてを管理する侍女を遣わして、この町の古人であるオジアス、カブリ、チャーミスを呼びました。
11 彼らが彼女のところに来ると、彼女は言った、「ベツリアの住民の総督たちよ、さあ、聞いてください。あなたがたが今日民の前で話した言葉は、あなたがたが立てて宣言したこの誓いにふれて、正しくありません。」 神とあなたとの間で、この日以内に主があなたを助けに行かない限り、この街を私たちの敵に引き渡すと約束しました。
12 さて、今日神を試み、神の代わりに人の子の中に立っているあなたがたは何者でしょうか。
13 そして今、全能の主を試してみてください。しかし、あなたがたは何も知ることができないでしょう。
14 あなたがたは、人間の心の深さを知ることはできず、人間が考えていることを認識することもできないからです。 それでは、どのようにして、これらのものすべてを造られた神を探し出し、神の心を知り、神の目的を理解できるでしょうか。 いや、兄弟たちよ、私たちの神、主を怒らせてはいけません。
15 なぜなら、もし神がこの五日以内に私たちを助けてくれないとしても、神は、たとえ毎日であっても、いつでも私たちを守ることができるし、敵の前で私たちを滅ぼすこともできる力を持っておられるからです。
16 私たちの神、主の計らいを束縛してはなりません。神は脅迫されるために人間のようにおられるのではありません。 彼は人の子として、揺れ動くべきではありません。
17 それゆえ、私たちは彼の救いを待ち望み、私たちを助けてくださるよう彼に呼びかけましょう。そうすれば、彼は御心に適うならば、私たちの声を聞いてくださるでしょう。
18 というのは、私たちの時代には、これまでのように、手で造られた神を崇拝する部族も、家族も、人々も、都市も、私たちの時代には誰も生じなかったし、今も存在しないからである。
19 というのは、私たちの先祖たちは、そのために剣と戦利品のために与えられ、敵の前で大敗したからである。
20 しかし、私たちは他に神を知りません。したがって、私たちは、神が私たちを軽蔑したり、私たちの国民を軽蔑したりしないと信じています。
21 もし私たちがそのように受け取れば、ユダヤ全土は荒廃し、私たちの聖所は損なわれることになるからです。 そして彼は私たちの口でそれを冒涜するよう要求するでしょう。
22 そして、私たちの同胞の虐殺、国の捕虜、そして私たちの相続財産の荒廃は、私たちが奴隷にされているところならどこであれ、異邦人の中で私たちに目を向けられるでしょう。 そして私たちは、私たちを取り憑くすべての者たちにとって侮辱と非難となるでしょう。
23 なぜなら、私たちの奴隷状態は好意を向けられるものではなく、私たちの神、主がそれを不名誉なものに変えられるからです。
24 そこで、兄弟たちよ、今、私たちの兄弟たちに模範を示しましょう。彼らの心は私たちに依存しており、聖所と家と祭壇は私たちにかかっています。
25 さらに、私たちの先祖たちと同じように、私たちを試みてくださる私たちの神、主に感謝しましょう。
26 ヤコブがアブラハムにどんなことをしたか、イサクをどのように試みたか、そしてヤコブがシリアのメソポタミアで母の兄弟ラバンの羊を飼っていたときに何が起こったかを思い出してください。
27 主は、彼らの心を調べるために私たちを火で試したりはされませんでした。また、私たちに復讐もされませんでした。しかし主は、ご自分に近づく者たちを鞭打って、戒められるからです。
28 それからオジアスは彼女に言った、「あなたの話したことはすべて、良い心で話したのです。あなたの言葉を否定する人は誰もいません。」
29 あなたの知恵が現されるのは今日が初めてではないからです。 しかし、あなたの心の性質が良いので、あなたの日々の初めからすべての民はあなたの理解を知っていました。
30 しかし、民は非常に渇いていたので、私たちが話したことを彼らにし、決して破らない誓いを立てるよう私たちに迫りました。
31 ですから、今、私たちのために祈ってください。あなたは敬虔な女性ですから、主は私たちに雨を降らせて私たちの水溜めを満たしてくださいます。そうすれば私たちはもう失神することはありません。
32 そこでユディトは彼らに言った、「聞いてください。私は、我が国の子らに代々伝わることをいたします。」
33 今夜、あなたがたは門の中に立っており、私は侍女とともに出て行きます。そして、あなたがたが敵に町を渡すと約束した日以内に、主は私の手によってイスラエルを訪問されます。
34 しかし、あなたがたは、わたしの行いについて尋ねないでください。わたしは、自分の行いが終わるまで、それをあなたがたに告げないからです。
35 それからオジアスと君たちは彼女に言った、「平和に行きなさい。主なる神があなたの前におられ、私たちの敵に復讐してくださいます。」
36 そこで彼らは天幕から戻り、自分たちの病棟へ行った。

第 9 章

1 ジュディトはひれ伏し、頭に灰をかぶり、着ていた荒布を脱いだ。 その晩、エルサレムの主の家で香が捧げられたとき、ユディトは大声で叫び、こう言いました。
2 わたしの父シメオンの神、主よ、あなたはよそ者たちに復讐するために剣を与え、侍女の帯を緩めて彼女を汚し、太ももを恥じさせ、彼女の純潔を汚して非難した者たちに復讐してくださいました。 あなたはそうはならない、と言ったからです。 それでも彼らはそうしました:
3 それゆえ、あなたは彼らの支配者たちを殺させたので、彼らはだまされて床を血で染め、家臣たちをその主君たちとともに打ち、主君たちを王座に就かせた。
4 そして、妻たちを獲物として与え、娘たちを捕虜とし、戦利品をすべてあなたの愛する子供たちに分け与えました。 彼らはあなたの熱意に動かされ、血の汚れを憎み、あなたに助けを求めました。「おお神よ、わが神よ、未亡人の私にも聞いてください。」
5 あなたはそれらの事柄だけでなく、以前に起こったこと、そしてその後に起こったことも、成し遂げてくださったのです。 あなたは今あること、そしてこれから起こることについて考えてきました。
6 そうです、あなたが決めたことは手元に用意されており、こう言いました。「見よ、私たちはここにいます。あなた

のすべての道は準備されており、あなたの判断はあなたの先見の中にあるからです。」
7 見よ、アッシリア人の勢力は増大している。 彼らは馬と人に対して高揚している。 彼らは部下の強さを誇っています。 彼らは盾、槍、弓、投石器を信頼します。 そして、あなたが戦いを打ち破る主であることを知りません。主はあなたの名前です。
8 あなたの力で彼らの力を捨て、あなたの怒りで彼らの力を打ち倒してください。彼らはあなたの聖所を汚し、あなたの栄光の御名が置かれている幕屋を汚し、あなたの祭壇の角を剣で投げ落とすことを意図しているからです。
9 彼らの高ぶりを見よ、あなたの怒りを彼らの頭に送ってください。私が考えた力を、やもめである私の手に渡してください。
10 私の唇の欺瞞によって、君主と君主を撃ち、女の手で彼らの威厳を打ち砕いてください。
11 あなたの力は大勢の中にあるわけではないし、あなたの力は強い者の中にあるわけでもない。あなたは苦しむ者の神、抑圧されている者の助け手、弱い者を支える者、見捨てられた者の保護者、希望のない者たちの救い主だからである。 。
12 あなたに祈ります、私の父の神、イスラエルの相続の神、天と地の主、水の創造者、あらゆる生き物の王よ、私の祈りを聞いてください。
13 そして、私の言葉と欺瞞を、あなたの契約とあなたの神聖な家に対して、シオンの頂上に対して、そしてあなたの子供たちの所有の家に対して残酷な計画を立てた彼らの傷と打ち傷にしてください。
14 そして、すべての国と部族に、あなたはあらゆる力と武力の神であり、あなた以外にイスラエルの民を守る者はいないことを認めさせなさい。

第 10 章

1 その後、彼女はイスラエルの神に叫ぶのをやめ、これらの言葉をすべて終えた。
2 彼女は倒れたところから起き上がり、はしためを呼び、安息日と祝日に住んでいる家に降りて行き、
3 そして、彼女は着ていた荒布を脱ぎ、未亡人としての衣服を脱ぎ、全身を水で洗い、貴重な軟膏を体に塗り、頭の髪を編んで、タイヤを履きました。 それを着て、夫マナセスの生涯に彼女が着ていた喜びの衣を着ました。
4 そして、彼女は足にサンダルを履き、腕輪、鎖、指輪、イヤリング、その他すべての装飾品を身に着け、彼女を見るすべての人々の目を魅了するために勇敢に着飾りました。
5 それから彼女は侍女にワイン一瓶と油一杯を与え、袋に乾燥したトウモロコシとイチジクの塊と上質のパンを詰めた。 そこで彼女はこれらのものをすべてたたみ、自分の上に置きました。
6 そこで彼らはベツリアの町の門に出て行ったところ、そこにオジアスとこの町の古代人、カブリとチャーミスが立っているのを見つけた。
7 そこで彼らは、彼女の顔つきが変わり、服装も変わったのを見て、その美しさに非常に驚き、彼女に言った。
8 神、わたしたちの先祖の神があなたに恵みを与え、イスラエルの子らの栄光とエルサレムの高揚のためにあなたの事業を成し遂げてくださいますように。 それから彼らは神を崇拝しました。
9 そこで彼女は彼らに言った、「あなたがたが私と話した事柄を成し遂げるために私が行くことができるように、町の門を私に開いてくださいと命じてください。」 そこで彼らは、彼女が話したように、彼女に心を開くように若者たちに命じました。
10 そして彼らがそうするとき、ユディトは侍女を連れて出て行った。 そして町の人たちは、彼女が山を下り、谷を越えて見えなくなるまで、彼女の世話をした。
11 こうして彼らは谷をまっすぐ進んだ。アッシリア軍の最初の番兵が彼女に会った。
12 そして彼女を連れて尋ねた、「あなたは何族ですか」。それで、あなたはどこから来たのですか？ どこへ行ったの？ そして彼女は言った、「私はヘブライ人の女です、そして彼らから逃げてきました。彼らはあなたが食べられるように与えられるからです：
13 そして私は、真実の言葉を宣言するために、あなたの軍の長であるホロフェルネスの前に来ています。 そして私は彼に、部下の一人の体も命も失わずに、丘陵地全体を勝ち取る道を教えてやろう。
14 さて、人々は彼女の言葉を聞き、彼女の顔を見たとき、彼女の美しさに非常に驚き、彼女に言った。
15 あなたは、急いで私たちの主の御前に降りてきて、命を救ってくださいました。それで、今主の天幕に来てください。あなたを主の手に引き渡すまで、私たちの何人かがあなたを導いてあげましょう。
16 そして、あなたが彼の前に立つときは、心の中で恐れることなく、あなたの言葉に従って彼に示しなさい。 そうすれば彼はあなたによく懇願してくれるでしょう。
17 そこで彼らは、彼女とその侍女に同行する者を彼らの中から百人選んだ。 そして彼らは彼女をホロフェルネスの天幕に連れて行きました。
18 それから、陣営全体にコンコースがあった。彼女が来ると天幕の間で騒がしくなり、ホロフェルネスの天幕の外に彼女が立っていたので、彼らが彼女の周りに来て、ホロフェルネスに彼女のことを告げた。
19 そこで人々は彼女の美しさに驚き、イスラエルの子らは彼女のゆえに賞賛したので、皆隣人にこう言った、「こんな女もいるこの民を誰が軽蔑するだろうか」。 確かに、彼らのうちの一人が残され、解放されると全地球を欺く可能性があるのは良くありません。
20 そこで、ホロフェルネスの近くにいた者たちは出て行って、家臣たちも皆、彼女を天幕の中へ連れて行った。
21 さて、ホロフェルネスは、紫、金、エメラルド、宝石で織られた天蓋の下のベッドに横たわっていた。
22 それで彼らは彼に彼女のことを見せた。 そして彼は銀のランプを前に掲げて天幕の前に出てきました。
23 そして、ユディトが彼とその家臣たちの前に来ると、皆は彼女の顔の美しさに驚いた。 そして彼女はひれ伏して彼を敬った。そして彼の召使たちが彼女を抱き上げた。

第 11 章

1 それからホロフェルネスは彼女に言った、「女性よ、安心してください、あなたの心に恐れはありません。私は全地の王であるナブコドノソールに仕えようとする者を決して傷つけませんから。」
2 それで、もし山に住むあなたの民がわたしによって光を放てなかったら、わたしは彼らに向かって槍を振り上げなかったでしょう。しかし、彼らは自分たちにこれらのことをしたのです。
3 しかし、今、あなたが彼らから逃げて、私たちのところに来た理由を教えてください。あなたは身を守るために来たのです。 安らかに過ごしてください。あなたは今夜も、そしてこれからも生きられるでしょう。

4 だれもあなたを傷つけることはなく、主君ナブコドノソル王の家臣たちがするように、あなたによく祈ってください。
5 それからユディトは彼に言った、「しもべの言葉を受け入れて、あなたのはしためにあなたの前で話させてください。そうすれば、今夜私は私の主に嘘をつきません。」
6 そして、もしあなたがあなたのはしための言葉に従うなら、神は物事を完璧にあなたの前を通り過ぎてくださるでしょう。 そして我が主はその目的を果たせないであろう。
7 全地の王ナブコドノソルが生き、その力が生きているように、すべての生き物を養うためにあなたを遣わしたのです。人だけでなく、野の獣や牛もあなたによって彼に仕えるからです。 そして空の鳥たちは、ナブコドノソールと彼の家全員の下であなたの力によって生きるでしょう。
8 というのは、私たちはあなたの知恵とあなたの政策について聞いており、あなたは王国全土で優れているだけであり、知識において強力であり、戦争の偉業において素晴らしいだけであると全世界に報告されているからです。
9 さて、アキオルがあなたの議会で語った問題についてですが、私たちは彼の言葉を聞きました。 ベツリアの人たちが彼を救い、彼はあなたに話したすべてのことを彼らに宣言したからである。
10 それゆえ、主よ、総督よ、彼の言葉を尊重してはならない。 しかし、それをあなたの心に留めておいてください。これは真実だからです。なぜなら、彼らが神に対して罪を犯さない限り、私たちの国民は罰せられず、剣も彼らに打ち勝つことができないからです。
11 そして今、我が主が敗北してその目的を挫折させないように、今や死さえも彼らに襲いかかり、彼らの罪が彼らを襲い、それによって彼らがふさわしくないことをするたびに彼らの神の怒りを招くことになるだろう。 終わり：
12 というのは、食料は彼らに与えられず、水もすべて不足しており、彼らは牛に手を出そうと決心し、神が律法によって彼らに食べることを禁じられたものをすべて食べようとしているからである。
13 そして、彼らが聖別し、エルサレムで仕える祭司たちのために取っておいたぶどう酒と油の十分の一の初穂を、私たちの神の御前で費やす決意をしている。 人々にとって、手で触れることが違法であるものは何か。
14 というのは、彼らはある者たちをエルサレムに送ったのである。なぜなら、そこに住んでいる者たちもまた同じことをして、元老院から許可をもたらすためにエルサレムに送ったからである。
15 さて、彼らが彼らに言葉を持ってくると、彼らはすぐにそれを実行し、彼らは同じ日に滅ぼされるためにあなたに与えられるでしょう。
16 したがって、あなたのはしためである私は、これらすべてを知って、彼らの前から逃げています。 そして神はあなたと一緒に物事を行うために私を遣わしました、そこで全地が驚き、それを聞く者は誰でも驚くでしょう。
17 あなたのしもべは敬虔で、昼も夜も天の神に仕えています。ですから、主よ、今はわたしはあなたとともに残り、あなたのしもべは夜に谷に出て、神に祈ります。 彼らが罪を犯したとき、私に教えてくれるでしょう。
18 そして、わたしは行って、それをあなたに見せます。そのとき、あなたは全軍を率いて出陣し、あなたに抵抗する者は誰もいないでしょう。
19 そして、わたしはあなたをユダヤの真ん中を通って、エルサレムの前に来るまで導こう。 そして私はあなたの王座をその真ん中に置きます。 そして、あなたは羊飼いのいない羊のように彼らを追い払うでしょう、そして犬はあなたに向かって口を開けることはできません：これらのことは私の予知に従って私に語られ、私に宣言されたので、私はそれを伝えるために遣わされたのです あなた。
20 そこで彼女の言葉は、ホロフェルネスとその家来たち全員を喜ばせた。 すると彼らは彼女の知恵に驚嘆し、こう言った。
21 顔の美しさと言葉の知恵の両方において、地球の端から端までこれほどの女性はいません。
22 ホロフェルネスも同様に彼女に言った。 神があなたを民の前に遣わしたのは、私たちの手に力が宿り、我が主を軽視する彼らに滅びがもたらされるためでした。
23 そして今、あなたは顔も美しく、言葉も機知に富んでいます。もしあなたが言ったとおりに行動するなら、あなたの神は私の神となり、あなたはナブコドノソール王の家に住み、全国民に名声を得るでしょう。 地球。

第 12 章

1 それから彼は、皿が置かれている場所に彼女を連れてくるように命じました。 そして彼女に自分の肉を用意し、自分のワインを飲むようにと言いました。
2 そこでユディトは、「罪に問われるといけないので、それは食べません。しかし、私が持ってきたものは用意してください」と言った。
3 そこでホロフェルネスは彼女に言った、「もしあなたの備えがだめになったら、どうやって同じものをあなたに与えたらよいでしょうか？」 あなたの国民には私たちには誰もいないからです。
4 それからジュディスは彼に言った、「あなたの魂が生きている限り、主よ、あなたのはしためは、主が私の手で決められたことを成し遂げてくださる前に、私の持っているものを使い果たしてはなりません。」
5 それから、ホロフェルネスの家来たちが彼女を天幕に連れて行ったので、彼女は真夜中まで眠り、朝の番が近づく頃に起きて、
6 そしてホロフェルネスに人を遣わして、「主よ、あなたのはしためが祈りに行くように命じてください。」
7 そこでホロフェルネスは衛兵たちに彼女を泊めてはいけないと命じた。こうして彼女は三日間宿営に滞在し、夜にベツリアの谷に出て、宿営のそばの水源で身を洗った。
8 彼女は出て来たとき、イスラエルの神、主に、自分の民の子らを立ち上げる方向に導いてくださるよう懇願した。
9 そこで彼女は清潔になって帰ってきて、夕方に肉を食べるまで天幕の中にいた。
10 そして四日目に、ホロフェルネスは自分の家臣たちだけを集めて宴会を開き、役人を誰も宴会に呼ばなかった。
11 そこで彼は、自分の全財産を管理していた宦官バゴアスに言った。「さあ、行って、あなたと一緒にいるこのヘブライ人の女を説得して、私たちのところに来て、一緒に飲食するように説得してください。」
12 というのは、見よ、もし私たちがそのような女を付き添うことなく放っておくとしたら、それは私たち人間にとって恥ずべきことである。 なぜなら、もし私たちが彼女を引き寄せないなら、彼女は私たちを嘲笑するでしょう。
13 それから、バゴアスはホロフェルネスの前から出て、彼女のところに来ると、こう言った、「この美しい乙女が恐れることなく、私の主のもとに来て、主の御前で栄誉を受け、ワインを飲み、私たちと一緒に楽しく過ごしてください。」 彼女はナブコドノソールの家に仕えているアッシリア人の娘の一人としてこの日を迎えました。
14 それからユディトは彼に言った、「私は今何者ですか、主君を否定する必要がありますか？」 確かに彼が喜ぶこと

は何でも私はすぐに行います、そしてそれは私の死ぬ日まで私の喜びです。
15 それで彼女は立ち上がって、衣服と婦人服をすべて着飾った。そして、侍女は行って、彼女が毎日使うためにバゴアスから受け取ったホロフェルネスの上に柔らかい皮を地面に置き、彼女が座って座ることができるようにした。 それらを食べてください。
16 さて、ユディトが入ってきて座ると、ホロフェルネスは彼女に心を奪われ、心が動かされ、彼女との付き合いを大いに望んだ。 というのも、彼は彼女を見たその日から、彼女を騙すためにしばらく待っていたからだ。
17 そこでホロフェルネスは彼女に言った、「さあ、お酒を飲んで、私たちと一緒に楽しんでください。」
18 そこでジュディスは言った、「主よ、今からお酒を飲みます。なぜなら、今日は私の命が、生まれてから今まで以上に私の中で大きくなっているからです。」
19 そこで彼女は、侍女の用意したものを彼の前で取り、食べたり飲んだりした。
20 ホロフェルネスは彼女をとても喜び、生まれてから一日に飲んだことのない量のワインを飲みました。

第 13 章

1 さて、夕方が来ると、家臣たちは急いで出発したので、バゴアスは外に天幕を閉め、給仕たちを主君の前から追い出した。 そして、彼らは寝床に行きました。宴会が長かったので、皆疲れていたからです。
2 そして、ユディトは天幕の中に一人残され、ホロフェルネスは一人でベッドに横たわっていた。彼はワインで満たされていたからである。
3 さて、ジュディスは侍女に、寝室の外に立って彼女を待つように命じました。 なぜなら、彼女は祈りに行くと言い、同じ目的に従ってバゴアスに話したからです。
4 こうして全員が出て行ったが、寝室には小さい者も大きい者も誰も残らなかった。 それからジュディスはベッドのそばに立って、心の中でこう言いました。「おお、全能の神、主よ、エルサレムの高揚のためにわたしの手で成し遂げたこの現在をご覧ください。」
5 今こそ、あなたの相続財産を助け、私たちに対して立ち上がった敵を滅ぼすためにあなたの事業を実行する時です。
6 それから彼女はホロフェルネスの頭のところにあるベッドの柱のところに来て、そこから彼の衣装を降ろした。
7 そして彼の寝床に近づき、彼の頭髪を掴んで言った、「イスラエルの神、主よ、今日は私を力づけてください。」
8 そして彼女は力の限り彼の首を二度打ち、彼の頭を彼から取り上げた。
9 そして、体をベッドから転がし、天蓋を柱から引き下ろした。 そして、彼女が出て行って、ホロフェルネスの首を侍女に渡してからすぐに。
10 彼女はそれを肉の入った袋の中に入れた。そこで二人は、いつものように祈りに行った。そして陣営を過ぎると、谷を回り、ベツリアの山に登り、その門に着いた。
11 それから、ユディトは遠くで門の番人たちに言った。「開け、今すぐ門を開けてください。神が、私たちの神が私たちと共におられ、まだエルサレムでご自分の力を示し、敵に対してその軍隊を示してくださいました。 この日に完了しました。
12 さて、彼女の町の人たちは彼女の声を聞くと、急いで町の門まで行き、町の長老たちを呼んだ。
13 それから、小さい人も大きい人も、一斉に走っていきました。彼女が来るのが不思議だったからです。そこで、門を開けて彼らを迎え、明かりのために火を起こし、彼らの周りに立ったのです。
14 それから彼女は大声で彼らに言った、「賛美、神を讃美、神を讃美、私は言います。神はイスラエルの家から憐れみを取り去ったのではなく、今夜私の手で私たちの敵を滅ぼしたのです。」
15 それで彼女は袋から首を取り出して見せて、彼らに言った。「アッスルの軍の長ホロフェルネスの頭を見なさい。そして天蓋を見なさい。彼はそこで酔って横たわっていた。」 そして主は女の手で彼を打たれた。
16 主は生きておられ、私の行く道を妨げてくださった主は、私の顔が彼を欺いて滅びさせましたが、それでも私とともに罪を犯して、私を汚し、辱しめることはありませんでした。
17 そこで民は皆、驚くほど驚き、身をかがめて神を礼拝し、口を揃えて言った、「わたしたちの神よ、あなたに祝福あれ。今日、あなたの民の敵を無に帰してくださったのです。」
18 それからオジアスは彼女に言った、お嬢さん、あなたは地上のすべての女性の上にあるいと高き神の祝福です。 そして天と地を創造し、私たちの敵の首領の首を切り落とすようにあなたに指示された主なる神に祝福あれ。
19 このあなたの確信は、永遠に神の力を覚えている人々の心から離れないからです。
20 そして、神はこれらのことをあなたに向けて、永遠の賛美を求め、あなたに良いことをもたらすようにしてください。なぜなら、あなたは私たちの国の苦難のために命を惜しまなかったのではなく、私たちの破滅に復讐し、私たちの神の前にまっすぐに道を歩いたからです。 すると人々は皆こう言いました。 それでいい、それでいい。

第 14 章

1 そこでユディトは彼らに言った、「兄弟たちよ、さあ、聞いてください。この首を取って城壁の一番高いところに掛けてください。」
2 そして、朝が来て、太陽が地に昇るやいなや、あなたがたはみな武器を取り、勇敢な男たちをみな街から出て行き、あたかもあなたがたがそうするかのように、彼らを指揮する隊長に任命しなさい。 アッシリア人の監視に向かって野原に下りてください。 でも下がらないでください。
3 それから彼らは鎧を担ぎ、自分たちの陣営に入り、アッスルの軍の指揮官たちを起こし、ホロフェルネスの天幕に走るが、彼を見つけることはできない。そのとき恐怖が彼らを襲い、彼らは あなたの目の前から逃げるでしょう。
4 それで、あなたがたも、そしてイスラエルの海岸に住むすべての者も、彼らを追跡し、彼らが行くところを打倒するであろう。
5 しかし、あなたがたがこれらのことをする前に、私をアンモン人アキオルと呼んでください。イスラエルの家を軽蔑し、彼をいわば死に至るまで私たちに送った彼を見て、知ることができるようにするためです。
6 それから彼らはアキオルをオジアスの家から呼び出した。そして彼がやって来て、民の集会の中でホロフェルネスの首が男の手に握られているのを見たとき、彼はうつぶせに倒れ、彼の精神は衰退した。
7 しかし彼らが彼を回収すると、彼はユディトの足もとにひれ伏し、彼女を敬って言った、「ユダのすべての幕屋と、あなたの名を聞いたら驚くであろうすべての国々において、あなたは祝福されています。」
8 そこで、あなたがこのごろしたことをすべて私に話してください。 それからジュディスは、出て行った日から人々

に話したその時まで、自分が行ったことすべてを人々の真っただ中で彼に宣言しました。
9 彼女が話し終えると、人々は大声で叫び、町中に喜びの騒音を立てた。
10 そしてアキオルは、イスラエルの神のなさったことをすべて見たとき、神を大いに信じ、包皮の肉に割礼を施し、イスラエルの家に加わって今日に至っている。
11 そして朝が起きるとすぐに、彼らはホロフェルネスの首を城壁に掛け、全員が武器を取り、隊を組んで山の海峡に向かった。
12 しかし、アッシリア人は彼らを見て、指導者たちに人を遣わし、指導者たちは司令官や護民官たち、そして支配者たち全員のもとに来た。
13 それで、彼らはホロフェルネスの天幕に来て、自分のすべての責任を負っている彼に言った、「私たちの主よ、今起きてください。奴隷たちは完全に滅ぼされるかもしれないと、大胆に私たちに向かって戦いに来ました。」
14 それからバゴアスに入り、天幕の戸をたたきました。というのも、彼はジュディスと寝たと思っていたからだ。
15 しかし、誰も答えなかったので、彼はそれを開けて寝室に入ると、彼が床に投げ出されて死んでおり、彼の首が奪われているのを見つけました。
16 そこで彼は、大声で、泣き、ため息をつき、激しい叫び声を上げ、衣を引き裂いた。
17 彼はユディトが泊まっていた天幕に入ったが、彼女がいないのを見つけたので、人々に飛び出て叫んだ。
18 この奴隷たちは不実な行いをした。 ヘブライ人の一人の女性が、ナブコドノソール王の家に恥をもたらしました。見よ、ホロフェルネスが首なしで地面に横たわっているからです。
19 アッシリア軍の指揮官たちはこの言葉を聞くと、上着を引き裂き、心はひどく動揺し、陣営中に叫び声と非常に大きな騒音が起こった。

第 15 章

1 そして、天幕にいた人々はそれを聞くと、その出来事に驚いた。
2 そして、恐怖と震えが彼らを襲ったので、隣人の目の前に留まっている人は誰もいなかったが、一斉に飛び出して、平地や山地のあらゆる道に逃げた。
3 ベツリアの周囲の山で宿営していた者たちも逃げ出した。そのとき、イスラエルの人々は、その中で戦士である者はみな、彼らに向かって突進した。
4 それからオジアスをベトマステム、ベバイ、チョバイ、コーラ、そしてイスラエルの全海岸に遣わし、起こったことを知らせ、敵を滅ぼすために全員が敵に突撃するよう命じた。
5 さて、イスラエルの人々はそれを聞くと、全員が同意して彼らに襲いかかり、チョバイに殺した。エルサレムと山地全域から来た者たちも同様だった（人々が事の成り行きを彼らに告げたからである） 敵の陣営にいた）そしてガラアドとガリラヤにいた者たちは、ダマスコとその国境を過ぎるまで大虐殺で彼らを追いかけた。
6 そしてベツリアに住んでいた残り物はアッシュールの陣営に落ちて彼らを台無しにし、非常に豊かになった。
7 そして、虐殺から戻ったイスラエルの人々は残ったものを持っていた。 そして、山や平野にある村や都市では、多くの戦利品を手に入れた。群衆が非常に多かったからである。
8 そのとき、大祭司ヨアキムとエルサレムに住んでいたイスラエルの子らの古代人たちは、神がイスラエルに示された良いものを見るために来て、ユディに会い、彼女に挨拶した。
9 彼らは彼女のところに来ると、一斉に彼女を祝福し、彼女に言った、「あなたはエルサレムの高揚者であり、あなたはイスラエルの偉大な栄光であり、あなたは我が国の大きな喜びです。
10 あなたはこれらすべてのことを自分の手で行いました。あなたはイスラエルに多くの善を行い、神はそれを喜ばれました。全能の主から永遠に祝福されますように。 すると人々は皆、「それでいいよ」と言った。
11 民は三十日分の宿営地を荒らし、ユディト・ホロフェルネスに天幕、皿、寝台、器、持ち物すべてを与えた。彼女はそれを受け取ってラバに乗せた。 そして荷車を用意してその上に置きました。
12 それから、イスラエルの女たちはみな、彼女に会いに走って行き、彼女を祝福し、彼女のために踊りを踊った。そして彼女は枝を手に取り、一緒にいた女たちにも与えた。
13 そして、彼らは彼女と彼女と一緒にいた侍女にオリーブの花輪をかぶせ、彼女はすべての女たちを率いて民全員に先立って踊りに出かけた。イスラエルの人々は皆、花輪をかぶって、歌を歌いながら、鎧を着て従った。 彼らの口の中に。

第 16 章

1 そこでユディトはイスラエル全土でこの感謝の歌を歌い始めたので、民はみな彼女に倣ってこの賛美の歌を歌いました。
2 そこでユディトは言った、「ティンバールでわたしの神に向かって歌い始め、シンバルでわたしの主に向かって歌いなさい。主に向かって新しい詩篇を調律してください。主を讃え、主の御名を呼びなさい。」
3 神は戦いを打ち破ってくださるからです。民の真っ只中の陣営の中で、私を迫害する者たちの手から私を救い出してくださったのです。
4 アッシュールは北から山から出てきて、一万の軍隊を率いてやって来た。その群衆は激流を止め、騎兵は丘を覆った。
5 彼は、私の国境を焼き払い、私の若者たちを剣で殺し、乳を飲む子供たちを地面に叩きつけ、私の幼児を獲物とし、私の処女を戦利品にするだろうと豪語しました。
6 しかし全能の主は女の手によって彼らを失望させた。
7 というのは、この力ある者は若者たちに倒れなかったし、巨人の子らが彼を打ったことも、高い巨人たちが彼に襲いかかったこともなかったからだ。しかし、メラリの娘ユディトはその顔の美しさで彼を弱らせたからだ。
8 彼女は、イスラエルで抑圧されている人々を高めるために、やもめの衣を脱ぎ、顔に香油を塗り、髪をタイヤで結び、亜麻布の衣を着て彼を欺いたからである。
9 彼女のサンダルは彼の目を魅了し、彼女の美しさは彼の心を捕らえ、ファショオンは彼の首を通過しました。
10 ペルシア人は彼女の大胆さに震え、メディア人は彼女の頑固さに怯えた。
11 すると、わたしの苦しんでいる者たちは喜びの叫びを上げ、わたしの弱い者たちは大声で叫びました。 しかし彼らは驚いた。彼らは声を上げたが、打ち倒された。
12 乙女たちの子らは、逃亡者の子らとして彼らを刺し、傷つけた。彼らは主の戦いによって滅びた。
13 わたしは主に向かって新しい歌を歌います。主よ、あなたは偉大で輝かしく、力が素晴らしく、無敵です。
14 すべての生き物をあなたに仕えましょう。あなたが話し、彼らが造られ、あなたがあなたの霊を送り出し、それが彼

らを創造したからです。あなたの声に抵抗できるものは誰
もいません。
15 山は水とともにその根元から動かされ、岩はあなたの御
前で蝋のように溶けるでしょう。それでもあなたは、あな
たを恐れる者たちに慈悲深いお方です。
16 あなたに甘い香りを与えるには、すべてのいけにえは少
なすぎるし、あなたの全焼のいけにえには脂肪がすべて足
りません。しかし、主を恐れる者は、どんな時にも偉大で
す。
17 私の同族に対して蜂起する諸国民は災いなるであろう。
全能の主は裁きの日に彼らの肉体に火と虫を入れて彼らに
復讐されるでしょう。 そして彼らはそれを感じて、永遠に
泣くでしょう。
18 さて、彼らはエルサレムに入るとすぐに主を礼拝した。
そして民は清められるとすぐに、全焼のいけにえ、無償の
いけにえ、贈り物をささげた。
19 ユディトはまた、人々から贈られたホロフェルネスの持
ち物をすべてささげ、寝室から持ち出した天蓋も主への贈
り物としてささげた。
20 こうして民は三か月の間エルサレムの聖所の前で宴会を
続けたので、ユディトは彼らと一緒にいた。
21 この後、皆は自分の相続地に戻り、ユディトはベツリア
に行き、自分の所有地に残り、当時は国中で名誉ある地位
にありました。
22 そして多くの人が彼女を望んだが、彼女の生涯を知る人
は誰もいなかった。その後、彼女の夫マナセスが亡くなり、
彼の民に集められた。
23 しかし、彼女はますます名誉を増し、夫の家で年を重ね
て百五歳になり、召使いを自由にした。 それで彼女はベツ
リアで亡くなり、人々は彼女を夫マナセスの洞窟に埋葬し
ました。
24 イスラエルの家は七日間彼女を嘆いた。そして彼女が死
ぬ前に、彼女は自分の財産を夫マナセスの最も近い血縁者
全員と、彼女の最も近い血縁者全員に分け与えた。
25 そしてユディトの時代も、彼女の死後も長い間、イスラ
エルの子らをこれ以上恐れさせた者は誰もいなかった。



エステル記への追加

エステル記への追加

第 10 章

4 するとマルドカイは言った。「神がこれらのことをなさったのです。」
5 わたしはこれらの事に関して見た夢を覚えているが、その夢のうち一つも外れたことはない。
6 小さな泉が川となり、光と太陽と多くの水があった。この川は、王が妻として王妃としたエステルである。
7 そして、その二匹の竜とは、私とアマンである。
8 そして、ユダヤ人の名を滅ぼすために集まったのは諸国民であった。
9 そして、わたしの国民とは、神に叫び求めて救われたこのイスラエルです。主はその民を救い、主はわたしたちをすべての災いから救い出し、異邦人の間でも行われたことのないような奇跡と大いなる不思議を神は行われたのです。
10 そこで神は二つのくじを引いて、一つは神の民のため、もう一つはすべての異邦人のために分けたのです。
11 そして、この二つのくじは、裁きの時刻と時期と日に、すべての国々の中で神の前に現れた。
12 こうして神はご自分の民を心に留め、ご自分の相続地を正当化された。
13 それゆえ、その日々は彼らにとってアダルの月の十四日と十五日であり、神の前に集会と喜びと楽しみが伴う。これは神の民の中で永遠に代々続くものである。

第 11 章

1 プトレマイオスとクレオパトラの治世の第 4 年に、祭司でありレビ人であると自称するドシテウスとその息子プトレマイオスが、このプリムの手紙を持ってきました。彼らはそれが同じものであり、エルサレムにいたプトレマイオスの息子リュシマコスがそれを解釈したと主張しました。
2 大アルテシャスタの治世の第二年、ニサンの月の第一日に、ベニヤミン族のシサイの子、ヤイロの子、セメイの子、ヤイロの子マルドケウスは夢を見た。
3 彼はユダヤ人であり、スサの町に住んでいて、王の宮廷で侍従を務める有力者であった。
4 彼もまた、バビロンの王ナブコドヌスがユダヤの王エコニヤと共にエルサレムから連れて行った捕虜の一人でした。そして、彼が見た夢は次のようなものでした。
5 見よ、騒乱の音、雷鳴、地震、騒動が国中に起こる。
6 すると、見よ、二頭の大きな竜が戦いに備えて現れ、その叫び声は大きかった。
7 そして彼らの叫び声によって、すべての国々は義なる民と戦うために戦いの準備を整えた。
8 そして見よ、地上には暗黒と暗闇、苦悩と苦悩、苦悩と大騒動の日が来る。
9 そして、義なる国民全体は、自分たちの悪を恐れて不安になり、今にも滅びようとした。
10 そこで彼らは神に叫びました。すると彼らの叫びに応じて、まるで小さな泉から湧き出るかのように、大洪水、多量の水が湧き出しました。
11 光と太陽は昇り、卑しい者は高められ、栄光ある者は食い尽くされた。
12 さて、この夢と神がなそうと決意したこととを見たマルドカイは、目が覚めると、その夢を心に留め、夜になるまでどうしてもそれを知りたいと願った。

第 12 章

1 そしてマルドケオスは、王の二人の宦官であり宮殿の守衛であるガバタとタラとともに庭で休息をとった。
2 彼は彼らの陰謀を聞き、彼らの目的を探り、彼らがアルテシャスタ王を捕らえようとしていることを知った。そこで彼は彼らのうちの一人を王に認めた。
3 そこで王は二人の宦官を取り調べたが、彼らが自白した後、絞首刑に処した。
4 王はこれらの事を記録し、マルドケオスもそれを書き記した。
5 そこで王はマルドケオスに宮廷に仕えるよう命じ、その報酬として彼に報酬を与えた。
6 ところが、王に非常に尊敬されていたアガグ人アマダトゥスの息子アマンは、王の二人の宦官のせいでマルドケオスとその民を苦しめようとした。

第 13 章

1 手紙の写しはこうでした。「偉大なる王アルテクセルクセスは、インドからエチオピアまでの百二十七州の君主と総督にこれらのことを書き送っています。」
2 その後、私は多くの国々の王となり、全世界を統治しましたが、自分の権威にうぬぼれることなく、常に公平で温和な態度で行動し、国民を常に平穏な生活に落ち着かせ、王国を平和なものにし、世界の果てまで航行できるようにして、すべての人が望んでいる平和を取り戻すことを決意しました。
3 さて、私が顧問たちに、このことの実現方法について尋ねたところ、私たちの間で知恵に優れ、変わらぬ善意と忠実さで認められ、王国で第二位の栄誉を得ていたアマンが、
4 世界中のあらゆる国々に、ある悪意ある民族が散らばっており、あらゆる国々に反する法律を持ち、王たちの戒律を常に軽蔑しているため、私たちが名誉ある意図をもって計画している私たちの王国の統一は、前進できないということが、私たちに告げられました。
5 ですから、私たちは、この民だけが常にすべての人と対立し、奇妙な法律を制定し、私たちの国家に悪影響を及ぼし、私たちの王国が確立されないようにあらゆる悪事を働いていることを理解しています。

6 それゆえ、私たちは、事務を統括し、私たちに次ぐ
アマンによってあなた方に文書で示されたすべての
者を、その妻子とともに、敵の剣によって、一切の
慈悲も憐れみもなく、完全に滅ぼすよう命じました。
今年の第 12 の月アダルの 14 日です。
7 昔も今も悪意に満ちた彼らが、ある日突然、暴力的
に墓に入り、今後ずっと私たちの物事がうまく解決
され、問題が起こらないように。
8 そこでマルドカイは主の御業をことごとく思い巡ら
し、主に祈った。
9 主よ、主よ、全能の王よ、全世界はあなたの手の中
にあります。もしあなたがイスラエルを救うと定め
られたなら、あなたに反論できる者は一人もいませ
ん。
10 あなたは天と地と、天の下のすべての不思議なも
のを造られました。
11 あなたはすべてのものの主です。主なるあなたに
抵抗できる人は一人もいません。
12 主よ、あなたはすべてをご存じです。私が高慢な
アマンにひれ伏さなかったのは、軽蔑や傲慢からで
はなく、また名誉への欲望からでもありません。
13 わたしはイスラエルの救いのために善意を示し、
彼の足の裏に接吻するだけでも満足であった。
14 しかし、わたしがこのようにしたのは、人の栄光
を神の栄光よりも優先させないためです。神よ、わ
たしはあなた以外のものを拝むことはなく、高慢に
そんなことをすることもしません。
15 主なる神、王よ、今、あなたの民を赦してくださ
い。彼らは私たちを滅ぼそうと目をつけています。
そうです、彼らは初めからあなたのものであった相
続財産を滅ぼそうと望んでいるのです。
16 あなた自身のためにエジプトから救い出した分を
軽視してはならない。
17 私の祈りを聞き、あなたの相続地に恵みを施して
ください。主よ、私たちの悲しみを喜びに変えて、
私たちが生き、あなたの御名を賛美できるようにし
ます。主よ、あなたを賛美する者の口を滅ぼさない
でください。
18 イスラエルの人々も皆同じように、死が目の前に
あったので、主に熱心に叫び求めた。

第 14 章

1 エステル王妃もまた、死を恐れて主に頼りました。
2 そして、彼女はその華やかな衣装を脱ぎ捨て、苦悩
と喪の衣をまとい、高価な香油の代わりに、灰と糞
で頭を覆い、その体を大いに卑しくし、喜びの場所
をすべて、引き裂かれた髪の毛で満たした。
3 彼女はイスラエルの神、主に祈って言った。「ああ、
私の主よ、あなただけが私たちの王です。あなた以
外に助け手のない、孤独な女よ、私を助けてくださ
い。
4 わたしの危険はわたしの手の中にあるからです。
5 わたしは幼いころから、わたしの氏族の中で、主よ、
あなたがイスラエルをすべての民の中から、またわ
たしたちの先祖をそのすべての先祖の中から取って、
永遠の相続地とされたことを聞いてきました。そし
て、あなたが彼らに約束されたことは、すべて果た
されました。
6 そして今、私たちはあなたの前に罪を犯しました。
それゆえ、あなたは私たちを敵の手に渡されました。
7 わたしたちが彼らの神々を拝んだからです。主よ、
あなたは正しい方です。
8 しかし、彼らは、私たちが厳しい捕囚の中にいるこ
とに満足せず、偶像で手を打ち、
9 彼らは、あなたが口で定めたことを廃止し、あなた
の嗣業を滅ぼし、あなたを賛美する者の口を閉ざし、
あなたの家とあなたの祭壇の栄光を消し去るであろ
う。
10 異邦人の口を開いて偶像を讃美させ、肉の王をと
こしえに崇めさせよ。
11 主よ、あなたの王笏を無価値な者たちに与えない
でください。彼らが私たちの敗北を笑わないように
してください。彼らの陰謀を彼ら自身に向けさせ、
私たちに対してこれを始めた者を、見せしめにして
ください。
12 主よ、覚えていてください。苦難の時に、あなた
自身を知らせてください。諸国の王、すべての力の
主よ、私に勇気を与えてください。
13 獅子の前で、わたしの口に雄弁な言葉を与えてく
ださい。獅子の心を、われわれと戦う者を憎むよう
に変えてください。そうすれば、獅子と、獅子と同
じ思いを持つ者すべてが滅ぼされるでしょう。
14 しかし、あなたの御手でわたしたちを救い、あな
た以外に助けのない、孤独なわたしを助けてくださ
い。
15 主よ、あなたはすべてをご存じです。わたしが不
義なる者の栄華を憎み、割礼を受けていない者やす
べての異邦人の寝床を忌み嫌うことを、あなたはご
存じです。
16 あなたは私の必要をご存じです。私は、私が姿を
現す日に頭につける私の高貴な身分の印を忌み嫌っ
ています。それを月経の布のように忌み嫌っていて、
私一人のときにはそれを着けません。
17 また、あなたのはしためがアマンの食卓で食事を
したこともなく、また、わたしは王の宴会を重んじ
ることもなく、注ぎの酒を飲んだこともありません
でした。
18 アブラハムの神、主よ、わたしのしもべも、ここ
に連れて来られた日から今日まで、あなた以外に喜
びはありませんでした。
19 すべてにまさる力強い神よ、見捨てられた者の声
を聞き、私たちを悪者の手から救い出し、私を恐れ
から救い出してください。

第 15 章

1 そして三日目に祈りを終えると、彼女は喪服を脱ぎ
捨て、栄えある衣を着ました。

2 彼女は、華やかに着飾った後、すべてのものを見て救う神に祈りを捧げ、二人の侍女を連れて行きました。
3 そして彼女は、優雅にその一方に寄りかかっていた。
4 そしてもう一人の女も裾を持ち上げながら後を追った。
5 彼女はその美しさの極みによって赤らんでおり、その顔つきは明るく、非常に愛想がよかったが、その心は恐れのために苦悩していた。
6 それから、彼女はすべての戸口を通り抜けて、王の前に立った。王は王座に座り、金や宝石で輝く威厳のある衣装を身にまとっていた。そして、非常に恐ろしい姿であった。
7 それから、王は威厳に輝く顔を上げ、非常に厳しい目で王妃を見つめた。すると王妃は倒れ、顔色が青ざめて気を失い、自分の前を歩いていた侍女の頭に頭を下げた。
8 すると神は王の心を穏やかに変えられたので、王は恐れのあまり王座から飛び降り、彼女を抱き寄せ、彼女が我に返るまで、愛の言葉で慰めて言った。
9 エステル、どうしたのですか。私はあなたの兄弟です。元気を出してください。
10 わたしたちの戒めは普遍的なものですが、あなたは死ぬことはありません。近づいて来てください。
11 そこで彼は金の笏を掲げて彼女の首に置いた。
12 そして彼女を抱き締めて言った。「私に話してください。」
13 すると彼女は彼に言った。「私の主よ、私はあなたを神の御使いのよう見ました。そしてあなたの威厳を恐れて私の心は騒ぎました。
14 主よ、あなたは驚くべき方であり、あなたの顔は恵みに満ちています。
15 そして、そう話しているうちに、彼女は気を失い、倒れてしまった。
16 それで王は困惑し、家来たちは皆彼女を慰めた。

第 16 章

1 偉大なる王アルテシャスタは、インドからエチオピアまでの百二十七州の君主と知事、そしてすべての忠実な臣民に挨拶を述べた。
2 多くの人々は、慈悲深い君主たちの大きな恩恵を受けるほどに、ますます誇り高くなり、
3 そして、我々の臣民を傷つけるだけでなく、豊かさに耐えられず、彼らに善行を施す者たちに対しても、同様に行動に移すのだ。
4 そして人々の中から感謝の気持ちを取り去るばかりでなく、決して善良ではなかった淫らな者たちの栄光ある言葉で高ぶった者たちをも取り去り、彼らはすべてを見て悪を憎む神の正義を逃れようと考えているのです。
5 友人の事柄を管理するよう委託された者たちの公正な言葉が、権力者の多くを無実の者の血にあずからせ、彼らを救いようのない災難に巻き込む原因となったこともしばしばある。
6 彼らは、みだらな性質による偽りと欺瞞で、君主たちの純潔と善良さを欺く。
7 さて、私たちが宣言したように、あなた方は、古い歴史からというよりも、最近、権威にふさわしくない地位に就いている者たちの有害な行為を通して、どんな邪悪なことがなされたかを調べれば、このことがわかるでしょう。
8 そして、私たちは、私たちの王国がすべての人にとって平穏で平和であるように、これからの時代に備えて注意しなければなりません。
9 私たちは目的を変え、明らかな事柄を常に公平な方法で判断します。
10 アマダタの子であるマケドニア人アマンは、ペルシア人の血筋からは遠い異邦人であり、私たちの善意からは遠く離れており、私たちから異邦人として受け入れられたが、
11 彼は、私たちがあらゆる国民に示す好意をすでに得ており、私たちの父と呼ばれ、王の次席者すべてから常に尊敬されていました。
12 しかし、彼はその大いなる威厳を保たず、私たちの王国と命を奪おうとしたのです。
13 彼らは、さまざまな巧妙な策略をめぐらして、私たちの命を救い、私たちの利益を常に図ってくれたマルドカイと、私たちの王国の分け前を受け継いだ潔白なエステルを、全国民とともに滅ぼそうとしたのです。
14 というのは、パウロは、私たちに友人がいないのを見て、この手段によってペルシャ人の王国をマケドニア人に譲渡しようと考えたからである。
15 しかし、この邪悪な悪党が全滅に追いやったユダヤ人たちは、決して悪を行う者ではなく、非常に正しい律法に従って生きていることが分かります。
16 そして、彼らは、私たちと私たちの先祖の両方に王国を最も優れた方法で定めてくださった、最も高く、最も力強い、生ける神の子供たちとなるのです。
17 それゆえ、アマダタの子アマンがあなた方に送った手紙を実行しない方が賢明である。
18 これらの事を行なった者は、その家族全員と共にスサの門で絞首刑に処せられた。万物を支配する神は、その行いに応じて速やかに復讐される。
19 それゆえ、あなたたちはこの手紙の写しをあらゆる場所に公表しなければならない。ユダヤ人たちが自分たちの律法に従って自由に生活できるようにするためである。
20 あなたがたは彼らを助け、その日、すなわちアダルの月の十二番目の十三日に、彼らが苦難の時に襲いかかる者たちに対して復讐を果たさなければならない。
21 全能の神は、選ばれた民が滅びるはずだった日を、彼らにとって喜びに変えられた。
22 それゆえ、あなたがたは、聖なる祭りの中でも、あらゆる祝宴とともにこの日を特別な日として祝わなければならない。
23 それは、今も、そしてこれからも、我々と善意のペルシア人にとっては安全であり、我々に対して陰

謀を企てる者たちにとっては、滅亡の記念となるであろう。
24 それゆえ、これらのことを行わないすべての町や国は、容赦なく火と剣で滅ぼされ、人々の通行不能となるばかりか、野の獣や鳥にとっても永久に忌み嫌われる場所となるであろう。



THE Wisdom OF Solomon

ソロモンの知恵

章 1

1 地上を裁く者よ、義を愛せよ。善良な心で主を思い、素朴な心で主を求めなさい。
2 なぜなら、彼は自分を誘惑しない者たちの中から見つかるからです。 そして、彼を信用しない人たちには自分自身を見せます。
3 なぜなら、神から離れた臆病な考えは、試されるとき、神の力が愚かな者たちを戒めるからである。
4 悪意のある魂には知恵が入りません。 また、罪にさらされている体に住むこともできません。
5 というのは、懲らしめの聖霊は欺きを避け、理解のない考えから遠ざけ、不義が入ってくるとそこに留まらないからです。
6 知恵は愛の霊だからです。 そして、彼の言葉を冒涜する者を無罪にはしないでしょう。神は彼の手綱の証人であり、彼の心の真の観察者であり、彼の舌の聞き手だからです。
7 主の御霊が世に満たされ、万物を内包するものはその声を知っているからである。
8 それゆえ、不義を語る者を隠すことはできない。また、報復が罰せられるときも、その者を通り過ぎることはない。
9 というのは、異端審問は不敬虔な者の計らいとして行われ、その言葉の響きはその悪しき行為の現われとして主のもとに届くからである。
10 ねたみの耳はすべてのことを聞きます。そして、ささやきの声は隠されません。
11 したがって、不利益なつぶやきには気をつけなさい。 陰口を言うのをやめてください。これほど秘密で無駄になる言葉はないからです。そして、信じる口は魂を殺します。
12 自分の人生の誤りに死を求めてはなりません。また、自分の手で滅びを自分に課してはいけません。
13 神は死を造られたのではなく、生きている者が滅ぼされることを喜ばれないからです。
14 なぜなら、神は万物を創造したのは、それらがその存在を成すためであり、世の世代は健康であったからである。 そして彼らの中には破壊の毒はなく、地上には死の王国もありません。
15 (義は不滅だから:)
16 しかし、不敬虔な人々は、自分の行いと言葉で、それを彼らに呼びました。彼らは、それを自分の友にしようと考えたとき、無に消費し、それと契約を結んだのです。なぜなら、自分たちはそれに参加するに値するからです。

章 2

1 というのは、不敬虔な者たちは、自分自身で理屈をこねて言っているが、正しくはありません。 私たちの人生は短く退屈であり、人の死には救済策はありません。また、墓から戻ってきたことが知られている人も一人もいませんでした。
2 なぜなら、私たちはあらゆる冒険の中で生まれてきたからです。そして、私たちはこれからも、まるで最初からいなかったかのように生きているでしょう。なぜなら、私たちの鼻孔にある息は煙のようなものであり、私たちの心の動きの中の小さな火花だからです。
3 それが消えると、私たちの体は灰になり、私たちの精神は柔らかい空気のように消えます。
4 そして、私たちの名前は時が経てば忘れられ、誰も私たちの功績を思い出させることはなくなり、私たちの命は雲の跡のように過ぎ去り、霧のように散らされ、光線で追い払われるでしょう。 太陽とその熱に圧倒されます。
5 なぜなら、私たちの時代は過ぎ去る影そのものだからです。 そして私たちの終わりの後は、戻ることはありません。それは固く封印されているので、誰も再び戻ってこないからです。
6 ですから、さあ、今ある良いものを楽しみましょう。そして若い頃のように生き物を素早く使いましょう。
7 高価なぶどう酒と香油でお腹を満たしましょう。そして、春の花が私たちの前を通り過ぎないようにしましょう。
8 バラのつぼみが枯れる前に、そのつぼみで冠をかぶろうではありませんか。
9 私たちは、だれも、彼の官能的な部分を無視してはなりません。あらゆる場所に私たちの喜びのしるしを残しましょう。これが私たちの分であり、私たちの運命だからです。
10 貧しい義人を抑圧し、やもめを容赦せず、年老いた人の白髪を敬おうではありません。
11 私たちの強さを正義の法則とせよ。弱いものには何の価値もないことがわかるからである。
12 ですから、私たちは正しい人たちを待ち伏せしようではありませんか。 なぜなら、彼は私たちの番ではなく、私たちの行いに反して清いからです。彼は私たちが法律を犯してい

ることを非難し、教育の違反で私たちの悪名に異議を唱えます。
13 彼は神の知識があると公言し、自分を主の子と呼んでいます。
14 彼は私たちの考えを戒めるために造られました。
15 彼は私たちにとって、見るだけでも悲しいです。彼の人生は他の人のようなものではなく、彼のやり方は別の様式だからです。
16 私たちは彼を偽者として尊敬しています。彼は不潔を避けるかのように私たちの道を避け、祝福されるべき正しい者の終わりを宣告し、神が彼の父であると自慢します。
17 彼の言葉が真実かどうか見てみましょう。そして彼の最後に何が起こるかを証明しましょう。
18 もし正しい人が神の子であれば、彼は彼を助け、敵の手から救い出してくれるでしょう。
19 私たちは、彼の柔和さを知り、彼の忍耐力を証明するために、不実と拷問をもって彼を調べましょう。
20 恥ずべき死をもって彼を罪に定めましょう。彼は自分の言葉によって尊敬されるからです。
21 彼らはそのようなことを想像していましたが、騙されました。自分たちの邪悪が彼らを盲目にしたからです。
22 神の奥義については、彼らはそれを知らず、義の報いを期待することも、罪のない魂への報いを認識することもなかった。
23 神は人間を不滅のものとして創造し、ご自身の永遠のかたちとして造られたからです。
24 それにもかかわらず、悪魔のねたみによって、死が世界にやって来ました。そして、悪魔の側に立つ者は、それを見つけます。

章 3

1 しかし、義人の魂は神の御手の中にあり、彼らにはいかなる苦しみも加えられない。
2 思慮のない者たちの目には、彼らは死んだように見えた。そして彼らの旅立ちは悲惨なものとみなされる。
3 そして、彼らは私たちから完全な滅びに至るでしょう。しかし、彼らは平和です。
4 というのは、たとえ彼らは人々の前で罰せられるとしても、それでも彼らの希望は不滅に満ちているからである。
5 そして、少し懲らしめられた後、彼らは大いに報われるでしょう。神は彼らを証明し、彼らがご自身にふさわしいと認めたからです。
6 かまどの中の金のように、彼はそれらを試み、全焼のいけにえとして受け取った。
7 そして、彼らの訪問の時には、彼らは輝き、切り株の間を火花のように走り回ります。
8 彼らは国々を裁き、民を支配し、彼らの主はとこしえに統治するであろう。
9 彼に信頼を寄せる者は真理を理解するであろう。そして愛に忠実な者は彼とともに留まるであろう。恵みと憐れみは彼の聖徒たちにあり、神はご自分の選ばれた者たちを顧みられるからである。
10 しかし、不敬虔な者たちは、正しい者をないがしろにし、主を見捨てた自分の想像に従って罰せられるであろう。
11 知恵と養いを軽んじる者は惨めであり、その希望はむなしく、その労苦は実を結ばず、その仕事は無益である。
12 彼らの妻たちは愚かで、彼らの子供たちは邪悪です。
13 彼らの子孫は呪われる。したがって、汚れのない不毛な者、罪の床を知らない者は祝福されます。彼女は魂の訪問で実を結ぶでしょう。
14 そして、宦官は幸いである、自分の手で咎を犯したことも、神に対して邪悪なことを想像したこともなかった。彼には特別な信仰の賜物と、彼の心にもっと受け入れられる主の神殿の相続財産が与えられるからである。
15 良い労働の果実は輝かしいものであり、知恵の根は決して枯れることはありません。
16 姦淫者の子らは完全にならない。不義の床の種は根こそぎにされるであろう。
17 彼らはたとえ長生きしても、何の評価もされず、彼らの最後の年齢は名誉のないものとなるだろう。
18 あるいは、もしすぐに死んでしまったら、彼らには希望もなければ、試練の日の慰めもありません。
19 不義の世代の終わりは恐ろしいものだからです。

章 4

1 子供を持たず、徳を持った方が良い。その記念は不滅であるからである。それは神にも人間にも知られているからである。

2 それが存在する場合、男性はそれを模範とします。 そしてそれがなくなると、彼らはそれを望みます。それは王冠をかぶり、勝利を収めて永遠に勝利し、汚れのない報酬を求めて努力します。
3 しかし、増え続ける不敬虔な者の子孫は繁栄することはなく、ろくでなしの失言から深く根を張ることも、確固たる基盤を築くこともありません。
4 というのは、彼らは一時的には枝に繁茂しますが、 それでも最後に立っていなければ、それらは風で揺さぶられ、風の力によって根こそぎにされるでしょう。
5 不完全な枝は折り取られ、その実は利益がなく、熟して食べられない、そうです、ただで済みます。
6 不法な床で生まれた子供たちは、裁判で親に対する悪の証人となるからです。
7 しかし、義人は死によって妨げられますが、それでも彼は安息を得ます。
8 というのは、名誉ある年齢とは、期間の長さで決まるものでも、年数で測られるものでもないからである。
9 しかし、知恵は人間にとって白髪であり、汚れのない人生は老年である。
10 彼は神に喜ばれ、神に愛されたので、罪びとの中に生きながら訳された。
11 そうです、その邪悪が彼の理解を変えたり、欺瞞が彼の魂を惑わしたりしないように、彼はすぐに連れ去られました。
12 いたずらの誘惑は、正直なことを覆い隠してしまうからです。 そして、欲望の放浪は単純な心を蝕みます。
13 彼は短期間に完全にされたので、長い間次のことを成し遂げました。
14 彼の魂は主を喜ばせたので、彼を急いで悪者の中から連れ去った。
15 民はこれを見ても理解せず、心の中にも留めなかった、すなわち、神の恵みと憐れみは聖徒たちとともにあり、神はご自分の選ばれた者たちを敬っておられるということである。
16 このようにして、死んだ正しい者は生きている不敬虔な者たちを罪に定めるであろう。そして、不義の長い年月と老年を経てすぐに完成する若さ。
17 なぜなら、彼らは知恵ある者の最後を目にするであろうし、神がその助言において彼に何を命じられたのか、また主がどのような目的のために彼を安全にされたのかを理解できないからである。
18 彼らは彼を見て軽蔑するだろう。 しかし、神は彼らを嘲笑するでしょう。そして彼らは今後、卑劣な死骸となり、永遠に死者の間で非難されるでしょう。
19 神は彼らを引き裂き、真っ逆さまに投げ倒し、彼らは言葉を失うからである。 そして彼は彼らを基礎から揺るがすでしょう。 そして彼らは完全に荒廃し、悲しみに暮れるであろう。 そして彼らの記念碑は消滅するだろう。
20 そして、彼らが自分たちの罪を言いふらすとき、彼らは恐れを抱いてやって来る。そして、自分たちの咎を面と向かって納得させるだろう。

章 5

1 そのとき、正しい人は、自分を苦しめた人々の前に非常に大胆に立ち、自分の労苦を顧みないであろう。
2 それを見ると、彼らは恐ろしい恐怖に悩まされ、彼らが求めていたものをはるかに超えた彼の救いの奇妙さに驚くであろう。
3 そして、悔い改め、霊の苦しみのためにうめき声を上げる者たちは、心の中でこう言うであろう、「これは、私たちが時々嘲笑していたあの人であり、非難の格言である。
4 私たち愚か者は、彼の生涯は狂気であり、彼の最後は名誉のないものであったと考えました。
5 彼は神の子らの中でどのように数えられているのでしょう、そして彼の運命は聖徒の中にあるのです。
6 それゆえ、私たちは真理の道から外れ、義の光は私たちを照らしず、義の太陽は私たちの上に昇りませんでした。
7 私たちは悪と滅びの道に疲れ果てました。そうです、私たちは道のない砂漠を通りました。しかし、主の道については、私たちはそれを知りませんでした。
8 誇りは私たちに何の利益をもたらしましたか? あるいは、私たちの自慢による富が私たちにどんな良いことをもたらしたのでしょうか?
9 それらのものはすべて、影のように、急いで通り過ぎる柱のように過ぎ去ります。
10 そして、水の波の上を通過する船のように、波が過ぎ去ると、その痕跡も、波の中の竜骨の道も見つけることができません。

11 あるいは、鳥が空を飛んだときのように、
その行く手の痕跡は見つからず、軽い空気が
翼のストロークで打ち鳴らされ、その激しい
音と動きを分けて通り抜けていきます。 そし
てその後、彼女がどこへ行ったのかは何も見
つかりません。
12 あるいは、矢が的を射たときのように、空
気が裂け、空気はすぐに元に戻り、人はそれ
がどこを通過したのか分からなくなる。
13 それにもかかわらず、私たちも同じように、
生まれてすぐに終わりに近づき始め、示すべ
き徳の兆候を持ちませんでした。 しかし、私
たち自身の邪悪な行為に飲み込まれてしまい
ました。
14 不敬虔な者の希望は風に吹き飛ばされる塵
のようなものである。 嵐とともに追い払われ
る薄い泡のように。 それは嵐とともにあちこ
ちに散らばる煙のように、一日しか経たない
客の思い出として消え去ってしまう。
15 しかし、義人は永遠に生きます。 彼らの報
いも主にあり、彼らの配慮はいと高き方にあ
る。
16 それゆえ、彼らは輝かしい王国と、主の手
から美しい冠を受けるでしょう。主は右手で
彼らを覆い、腕で彼らを守るからです。
17 彼は完全な武具に対する嫉妬心を自分のも
のとし、その生き物を敵の復讐のための武器
とするであろう。
18 彼は義を胸当てとして、まことの裁きをか
ぶとの代わりに着なければならない。
19 彼は聖性を無敵の盾とみなすであろう。
20 彼の激しい怒りを彼は剣として研ぐだろう、
そして世界は彼とともに愚かな者たちと戦う
だろう。
21 そのとき、正しい狙いを定めた稲妻が外へ
出るだろう。 そして雲から、よく引かれた弓
からのように、彼らは目標に向けて飛び立つ
でしょう。
22 そして、怒りに満ちた雹が、石の弓から出
るように投げられ、海の水が彼らに向かって
荒れ狂い、洪水が残酷に彼らを溺れさせるで
しょう。
23 まことに、強風が彼らに立ち向かい、嵐の
ように彼らを吹き飛ばすであろう。こうして
不法行為は全地を荒廃させ、不正行為は強者
の王座を打ち倒すであろう。

章 6

1 それゆえ、王たちよ、聞いて、悟りなさい。
地の果ての裁判官たちよ、学びなさい。
2 民を治める者よ、耳を傾けて、多くの国々に
栄光をもたらしなさい。
3 あなたには主から力が与えられ、いと高き方
から主権が与えられ、あなたの行いを試し、
あなたの助言を探求されるからである。
4 なぜなら、あなたがたは神の王国の奉仕者で
あるにもかかわらず、正しい判断をせず、律
法を守らず、神の勧告に従って歩いたことが
ないからです。
5 彼は恐ろしく素早くあなたたちに襲いかかる
でしょう。高き所にいる者たちには鋭い裁き
が下されるからです。
6 慈悲はすぐに最も卑劣な者を赦すでしょう。
しかし、力ある者は激しく苦しむでしょう。
7 すべての上の主である方は、いかなる人の人
も恐れることはなく、また、人の偉大さを畏
怖の念を抱かないからです。神は小さい者も
偉大な者も造り、すべての人を同じように気
遣っておられるからです。
8 しかし、痛ましい試練が力ある者に臨むであ
ろう。
9 そこで、王たちよ、あなたがたが知恵を学び、
堕落しないように、私はあなたがたに言いま
す。
10 というのは、聖さを聖く守る者は聖である
と判断されるであろうし、そのようなことを
学んだ者は何と答えるべきかを見つけるであ
ろう。
11 ですから、私の言葉に愛情を注いでくださ
い。 そうすればあなたがたは教えられるであ
ろう。
12 知恵は輝かしく、決して消えることはあり
ません。そうです、知恵は、自分を愛する者
たちには容易に見出され、また、彼女を求め
る者たちには容易に見出されます。
13 彼女は、自分を欲する者たちに、自分自身
を最初に知らせて妨げる。
14 早く彼女を捜す者には、大きな苦しみはな
いでしょう。なぜなら、彼は彼女が自分の戸
口に座っているのを見つけるからです。
15 それゆえ、彼女について考えることは、完
全な知恵である。そして、彼女を見守る者は
すぐに無関心になるだろう。

16 彼女は自分にふさわしい人を求めて歩き回り、道中で彼らに好意を示し、あらゆる思いで彼らに応えます。
17 彼女の本当の始まりは、懲らしめへの欲求だからです。 そして規律を守ることは愛です。
18 そして愛は律法を守ることである。 そして、彼女の法律に注意を払うことは、腐敗のないことを保証するものです。
19 そして、朽ちないことは、私たちを神に近づけます。
20 したがって、知恵の欲求は王国をもたらします。
21 王座や王笏に喜びがあるなら、民の王たちよ、知恵を讃えて、永遠に君臨できるようにしてください。
22 知恵、彼女が何者であるか、そしてどのようにして出てきたかについては、私はあなたに話します。あなたに謎を隠すつもりはありません。むしろ、彼女の降誕の初めから彼女を探し出し、彼女についての知識を明らかにします。 真実を見逃しません。
23 私もねたみを貪りはしません。 そのような人は知恵と交わることができないからである。
24 しかし、賢い者が多いことは世の幸福であり、賢い王は民を支えることである。
25 ですから、わたしの言葉を通して教えを受けなさい。そうすれば、それはあなたにとって良いことになるでしょう。

章 7

1 私自身も、すべての人たちと同じように死ぬべき人間であり、最初に地から造られた者の子孫です。
2 そして母の子宮の中で、10 ヶ月の歳月を経て、血と人間の種と睡眠に伴う快楽で固められて肉となるように形作られた。
3 そして、私が生まれたとき、私は一般的な空気を吸い込み、同じような性質を持つ地球に落ちました、そして私が発した最初の声は、他のすべての人がそうであるように、泣き叫んでいました。
4 私は産着を着て、細心の注意を払って看護されました。
5 それ以外の誕生の始まりを持った王はいないからです。
6 というのは、すべての人間には、人生への入り口が 1 つだけあり、それと同じようなものが出ていくからである。
7 そこで私が祈ったところ、理解が与えられました。私が神に呼びかけると、知恵の霊が私のもとに来ました。
8 私は王笏や王座よりも彼女を好み、彼女に比べれば富など何も評価しませんでした。
9 私も彼女にどんな宝石も比べませんでした。彼女にとって金はすべて小さな砂に等しいし、銀も彼女の前では粘土とみなされるからです。
10 私は健康や美しさよりも彼女を愛し、光の代わりに彼女を持つことにしました。なぜなら、彼女から出る光は決して消えることがないからです。
11 彼女とともにすべての良いことが私にやって来て、数え切れないほどの富が彼女の手中にありました。
12 そして、私は彼ら全員を喜ばせました。知恵は彼らの前にあるからです。そして、彼女が彼らの母親であるとは知りませんでした。
13 私は熱心に学び、彼女に惜しみなく伝えています。私は彼女の富を隠しません。
14 なぜなら、彼女は人々にとって決して絶えることのない宝であり、それを用いる者は神の友となり、学問から得られる賜物が称賛されるからである。
15 神は私に、自分に与えられたものに見合ったように話し、思いつくことを許してくださいました。なぜなら、知恵に導き、知恵ある者を導くのは神だからです。
16 なぜなら、神の手の中には、私たちも私たちの言葉もあるからです。 すべての知恵と、細工の知識も。
17 なぜなら、神は私に、この世界がどのように造られたか、また諸元素の働きについて、確かな知識を与えてくれたからです。
18 時代の始まり、終わり、そしてその真っ只中、日の入りの変化、季節の移り変わり。
19 年周と星の位置:
20 生き物の性質、野獣の猛威、風の激しさ、人間の理性、植物の多様性、根の美徳。
21 そして、秘密にされているものも、明らかになっているものも、すべて私は知っています。
22 なぜなら、万物の働き者である知恵が私に教えてくれたからです。彼女の中には理解力のある霊があり、神聖で、唯一で、多様で、繊細で、生き生きとしていて、清らかで、汚れがなく、平易で、傷つけられることがなく、良いものを愛するからです。 素早い、放っておけない、良いことをする準備ができている、

23 人に優しく、堅実で、確かで、気遣いがなく、すべての力を持ち、すべてのものを監督し、すべての理解を通した、純粋で最も繊細な霊。
24 というのは、知恵はどんな動きよりも心を揺さぶるからである。彼女はその清らかさゆえに、すべてのことを通過し、通過するのである。
25 なぜなら、彼女は神の力の息吹であり、全能者の栄光から流れ出る純粋な影響力だからである。したがって、いかなる汚れたものも彼女の中に落ちることはできない。
26 彼女は永遠の光の輝きであり、神の力を映す汚れのない鏡であり、神の善の姿だからである。
27 そして、彼女は一人に過ぎないので、すべてのことを行うことができます。そして、自分の中にとどまり、すべてを新しくします。そして、あらゆる時代に聖なる魂に入り、彼女は彼らを神の友人にし、預言者にします。
28 神は、知恵をもって住む者のほかには誰も愛さないからである。
29 彼女は太陽よりも、そして何よりも星の順序よりも美しいからです。光と比較されて、彼女は光よりも先に見出されます。
30 この後には夜が来るからである。しかし、悪徳は知恵に勝つことはできない。

章 8

1 知恵は端から端まで力強く伝わり、彼女はすべてのことを優しく命令します。
2 私は彼女を愛し、若い頃から彼女を探し求め、彼女を自分の配偶者にしたいと願い、彼女の美しさを愛していました。
3 彼女は神と通じているという点で、彼女の気高さをさらに誇示します。そうです、万物の主ご自身が彼女を愛されました。
4 彼女は神の知識の奥義に通じており、神の御業を愛する者だからである。
5 富がこの世で望むべき財産であるならば。すべてに役立つ知恵よりも豊かなものは何でしょうか?
6 そして、慎重さが機能すれば、 彼女以上に狡猾な職人がいるだろうか?
7 そして、もし男が義を愛するなら、彼女の努力は美徳である。彼女は節制と思慮深さ、正義と不屈の精神を教えているからである。それは人間にとって人生においてこれ以上に有益なものはないのである。
8 男が多くの経験を望むなら、彼女は昔のことを知っており、これから起こることを正確に推測します。彼女はスピーチの微妙さを知っており、暗い文章を説明することができます。彼女はしるしや不思議なこと、季節や時代の出来事を予見します。
9 そこで私は、彼女が良いことを教えてくれ、悩みや悲しみを慰めてくれると知って、彼女を連れて一緒に住もうとしたのです。
10 彼女のために、私は若いのに、群衆の間で評価され、長老たちから尊敬されるでしょう。
11 私は判断においてすぐにうぬぼれていることがわかり、偉人の前で賞賛されるでしょう。
12 わたしが口を閉ざすとき、彼らはわたしの暇を守り、わたしが話すとき、彼らはわたしによく耳を傾けるであろう。わたしが多く話すと、彼らは彼らの口に手を置くであろう。
13 さらに、私は彼女によって不死を手に入れ、私の後に来る者たちに永遠の記念を残すでしょう。
14 わたしは民を整え、諸国民はわたしに服従する。
15 恐ろしい暴君たちは、わたしのことを聞くだけで恐れるでしょう。 私は群衆の中で善良であり、戦争では勇敢であると認められるでしょう。
16 私は家に帰ったら、彼女と一緒に休むつもりです。彼女の会話には苦味がありません。そして彼女と一緒に暮らすことには悲しみはなく、むしろ楽しさと喜びがあります。
17 さて、私がこれらのことを自分の中で考え、心の中で熟考したとき、知恵と結び付けられることがいかに不滅であるかがわかりました。
18 そして、彼女と友情を築くことができるのは大きな喜びです。 そして彼女の手の作品には無限の富があります。 そして彼女との協議においては、慎重さが求められる。 そして彼女と話していると、良い報告が得られました。私は彼女を連れて行く方法を探し回りました。
19 というのは、わたしは機知に富み、元気のよい子どもだったからである。
20 そうです、むしろ、私は善良で、汚れのない体に生まれました。
21 それにもかかわらず、神が私に与えてくださる以外に、彼女を手に入れることはできないと気づいたとき、私は彼女を手に入れることができました。 そしてそれは、彼女が誰か

らの贈り物であるかを知るための知恵のポイントでもありました。私は主に祈り、懇願し、心を込めてこう言いました。

章 9

1 おお、わたしの先祖の神、慈しみの主よ、あなたの言葉で万物を造られた方、
2 そして、あなたの知恵によって人間に、あなたが造った被造物を支配するよう命じました。
3 そして、公平と正義に従って世界を秩序づけ、正しい心で裁きを執行してください。
4 あなたの王座のそばに座る知恵を私に与えてください。そしてあなたの子供たちの中から私を拒絶しないでください。
5 というのは、私はあなたの僕であり、あなたのはしための息子であり、弱い人間であり、まだ若く、裁きや律法を理解するには若すぎます。
6 というのは、人は人の子らの中でそれほど完全ではないとしても、もしあなたの知恵が彼とともになければ、その人は何とも評価されないであろう。
7 あなたは私をあなたの民の王に、またあなたの息子や娘たちの裁判官に選ばれました。
8 あなたは、あなたの聖なる山の上に神殿を建て、あなたの住む町に、あなたが初めから備えておられた聖なる幕屋に似た祭壇を建てるよう、私に命じられました。
9 そして知恵はあなたとともにありました。それはあなたの行いを知っており、あなたが世界を造ったときにも存在し、あなたの目に何が受け入れられ、あなたの戒めが正しいかを知っていました。
10 おお、彼女をあなたの聖なる天とあなたの栄光の御座から送り出してください。そうすれば、彼女は今ここにいて私と一緒に働き、私があなたに喜ばれるものを知ることができます。
11 彼女はすべてのことを知っており、理解しているので、私の行動において私を冷静に導き、彼女の力で私を守ってくれるからです。
12 そうすれば、私の行いは受け入れられ、そのとき私はあなたの民を正しく裁き、父の座に座るにふさわしい者となるでしょう。
13 神の計りを知ることができる者が一体何者であろうか。あるいは主の御心が何であるかを誰が考えることができるでしょうか。
14 というのは、死すべき人間の考えは惨めであり、私たちの手段は不確かなものだからです。
15 というのは、朽ちる体は魂を圧迫し、土の幕屋は多くのことを思い巡らす心を圧迫するからである。
16 そして、私たちは地上にあるものを正確に推測することはほとんどできず、苦労して目の前にあるものを見つけることができます。しかし、天にあるものは誰が探し出したのでしょうか?
17 そして、あなたが知恵を与え、上からあなたの聖霊を遣わすこと以外に、誰が知っているあなたの助言ですか?
18 このようにして、地上に住む人々の生き方が改められ、人々はあなたに喜ばれることを教えられ、知恵によって救われたからです。

章 10

1 彼女は、一人で創造された最初に形成された世界の父を保存し、彼を堕落から救い出しました。
2 そして彼に万物を支配する力を与えた。
3 しかし、不義な者が怒りに任せて彼女から立ち去ったとき、彼も弟を殺した怒りの中で死にました。
4 地球が洪水で沈んだのは誰のせいですが、知恵が再び地球を守り、価値のない木片で義人の進路を導きました。
5 さらに、国々が邪悪な陰謀に混乱している中、彼女は義人を見つけ出し、神に対して彼を罪のない状態に保ち、息子に対する優しい同情に対して彼を強く保ちました。
6 不敬虔な者たちが滅びたとき、彼女は五つの都市に落ちた火から逃げた義人を救い出した。
7 今日に至るまでその悪行のあかしは、煙の立つ荒地と、決して熟すことのない実を結ぶ植物と、そびえ立つ塩の柱は不信者の魂の記念碑である。
8 というのは、彼らは知恵に関してではなく、良いことを知らなかったためにこのような傷を負っただけではありません。しかしまた、彼らの愚かさの記念碑を世界に残しました。そのため、彼らが犯した事柄の中に、彼らを隠すこともできませんでした。
9 しかし、知恵は彼女に世話をした人々を苦しみから救った。

10 義人が兄の怒りから逃げたとき、彼女は彼
を正しい道に導き、神の国を示し、聖なる事
柄の知識を与え、旅で富を与え、労働の成果
を増やした。
11 彼を抑圧する者たちの貪欲の中で、彼女は
彼に寄り添い、彼を富ませた。
12 彼女は彼を敵から守り、待ち構えている者
たちから守り、激しい戦いの中で彼に勝利を
与えた。 善はすべてよりも強いということを
彼が知るためです。
13 義人が売られたときも、彼女は彼を見捨て
ず、罪から救い出し、彼と一緒に穴に下り、
14 そして、彼女は王国の笏と、彼を抑圧する
者たちに対する力を彼にもたらすまで、彼を
束縛せずに放っておいた。彼を告発した者た
ちについては、彼女は彼らが嘘つきであるこ
とを示し、彼に永遠の栄光を与えた。
15 彼女は義なる民と罪のない胤を、彼らを抑
圧する国から救い出しました。
16 彼女は主のしもべの魂に入り込み、恐ろし
い王たちに不思議としるしを耐えた。
17 義人たちにその労苦の報いを与え、彼らを
驚くべき道に導き、昼は彼らの隠れ家となり、
夜は星の光となった。
18 彼らを紅海に導き、多くの水の中を通らせ
た。
19 しかし、彼女は彼らの敵を溺れさせ、深み
の底から彼らを投げ上げました。
20 それゆえ、正しい者たちは不敬虔な者たち
を甘やかし、主よ、あなたの聖なる御名をた
たえ、彼らのために戦ったあなたの御手を一
斉に讃えました。
21 というのは、知恵は口のきけない者の口を
開き、話すことのできない者の舌を雄弁にし
たからである。

章 11

1 彼女は聖なる預言者の手によって彼らの業を
成功させました。
2 彼らは人のいない荒野を歩き、道のない所に
天幕を張った。
3 彼らは敵に立ち向かい、敵に復讐した。
4 彼らは喉が渇いたので、あなたを呼びました。
すると、火打石の岩から水が与えられ、硬い
石で彼らの渇きが癒されました。
5 というのは、彼らの敵がそのことによって罰
せられたのと同じように、困っている彼らは
恩恵を受けたからである。
6 汚れた血が流れ続ける川の代わりに、
7 幼児たちが殺されたその戒めを明白に戒める
ために、あなたは彼らが望んでいなかった方
法で、彼らに豊富な水を与えました。
8 その渇きによって、あなたが彼らの敵をどの
ように罰したかを宣言してください。
9 というのは、彼らは、慈悲によって懲らしめ
られたとはいえ、裁判を受けたとき、不敬虔
な者たちがいかに怒りをもって裁かれ、正し
い者とは別の方法で渇き、苦しめられるかを
知っていたからである。
10 あなたは、これらの人たちに対して、父親
として戒め、試みましたが、他の人たちに対
しては、厳しい王として、非難し、罰しまし
た。
11 彼らは、不在であっても出席していても、
同じようにイライラしていました。
12 というのは、二重の悲しみが彼らに襲いか
かり、また過去のことを思い出してうめき声
がしたからである。
13 彼らは、自分たちの懲らしめによって他の
人が益を受けるのを聞いて、主に対するある
種の感情を抱いたからです。
14 彼らは、彼が幼子を投げ捨てるずっと前に
投げ捨てられたとき、軽蔑の目で尊敬してい
たが、最後に何が起こったのかを見たとき、
彼らは彼を賞賛した。
15 しかし、彼らが騙されて理性のない蛇や卑
劣な獣を崇拝したという、彼らの悪事の愚か
な策略に対して、あなたは復讐のために理不
尽な多くの獣を彼らに送り込んだのです。
16 それは、人が罪を犯した場合には、それに
よって罰せられることを彼らに知らせるため
である。
17 というのは、形のない物質の世界を造られ
たあなたの全能の手は、彼らの間におびただ
しい数の熊や獰猛なライオンを送り込むこと
を望まなかったからです。
18 あるいは、新たに生み出された、怒りに満
ちた未知の野獣が、燃えるような蒸気か、あ
るいは散らばる煙の汚い香りを吐き出し、あ
るいは目から恐ろしい輝きを放つ。
19 その危害は彼らを即座に追い払うだけでな
く、恐ろしい光景が彼らを完全に破壊するか
もしれません。
20 そうです、そしてこれらの力がなければ、
彼らは復讐の迫害を受けて一撃で倒れ、あな
たの力の息吹によって海外に散らばったでし

ょう：しかし、あなたはすべてのものを大きさと数と重さで命じました。
21 あなたは望むときに、いつでも自分の大いなる力を示すことができるからです。 そして誰があなたの腕の力に耐えることができますか?
22 あなたの目の前にある全世界は、天秤の小さな一粒のようなもの、いや、地に落ちる朝露の一滴のようなものだからです。
23 しかし、あなたはすべての人を憐れんでくださいます。 なぜなら、あなたは何でもできるし、人々の罪に目配せすることもできないからだ。なぜなら、人々は正すべきだからである。
24 あなたは、ありとあらゆるものを愛し、自分の作ったものを何も憎みません。それを憎んでいたら、決して何かを作ろうとは思わなかったからです。
25 そして、もしあなたのご意志がなかったなら、どのようにして物事が耐えられたでしょうか。 それとも、あなたに呼ばれなかったとしたら、保存されていますか?
26 しかし、あなたはすべてを惜しみません。主よ、魂を愛するあなた、それらはあなたのものだからです。

章 12

1 あなたの朽ちない御霊がすべてのものの中にあるからです。
2 それゆえ、主よ、あなたは、罪を犯す者たちを少しずつ懲らしめ、罪を犯したところを思い出させて警告し、彼らがその悪を離れてあなたを信じることができるようにしてください。
3 なぜなら、あなたの聖地のあの古い住民を私たちの先祖の手で滅ぼすことはあなたのご意志だったからです。
4 あなたは、最も忌まわしい魔術の業と邪悪な犠牲を行った者を憎みました。
5 また、子供たちを無慈悲に殺し、人の肉をむさぼり食う者たちと、血の祭りをする者たち、
6 偶像崇拝の乗組員の真っ只中にいる祭司たちと、救いのない魂を自らの手で殺した両親とともに、
7 あなたが何よりも大切にしているこの地に、神の子らのふさわしい植民地が与えられるように。
8 それにもかかわらず、あなたは人間として救い、彼らを少しずつ滅ぼすために、あなたの軍勢の前身であるハチを送り込みました。
9 あなたは、戦いにおいて不敬虔な者たちを義人の手に負わせることができなかったわけではなく、残酷な獣や乱暴な一言で彼らをすぐに滅ぼすこともできなかったのです。
10 しかし、あなたは、彼らがいたずらな世代であること、彼らの中に悪意が芽生えていること、そして彼らの思いが決して変わらないことを知らずに、少しずつ彼らに裁きを執行し、悔い改めの場を与えてくださいました。
11 それは初めから呪われた種だったからです。また、あなたは人を恐れて、彼らが罪を犯したことに対する赦しを与えませんでした。
12 だれが、「あなたは何をしたのですか」と言うでしょうか。 あるいは誰があなたの裁きに耐えられるでしょうか? あるいは、あなたが作った滅びる国々のせいで誰があなたを責めるでしょうか? あるいは、誰があなたに敵対し、不義な人々に復讐するために来るでしょうか?
13 なぜなら、すべての人を気遣うあなた以外に神はいないからです。あなたの裁きが正しくないことをあなたはこの神に示すことができるでしょう。
14 王も暴君も、あなたが罰した者のために、あなたに顔を向けることはできません。
15 それで、あなたは自分自身が義であるのと同じように、すべてのことを正しく命じています。罰せられるに値しない人を罪に定めるのは自分の力に合わないと考えています。
16 あなたの力は正義の始まりであり、あなたはすべての主であるため、あなたはすべての人に対して慈悲深くなります。
17 あなたが完全な力を持っていると人々が信じないとき、あなたは自分の力を示し、それを知っている人々の間でその大胆さを明らかにします。
18 しかし、あなたは、ご自分の力を駆使して、公平に裁き、私たちに大きな好意を持って命令してくださいます。なぜなら、あなたは望むときに力を行使することができるからです。
19 しかし、あなたはそのような業によって、正しい人は慈悲深くなければならないことをあなたの民に教え、あなたの子供たちに、あなたが罪を悔い改めるという良い希望を抱かせました。

20 というのは、もしあなたが、あなたの子供たちの敵や死刑を宣告された人々を、そのような思慮をもって処罰し、彼らに時間と場所を与え、それによって彼らがその悪意から解放されるとしたら、
21 あなたは、父親に誓い、良い約束を交わした自分の息子たちを、どれほど注意深く裁いたのですか。
22 それゆえ、あなたは私たちを懲らしめる一方、千倍も敵を鞭で打たれますが、その意図は、私たちが裁くときにあなたの善良さを注意深く考え、私たち自身が裁かれるときに憐れみを求めるべきであるということです。
23 それゆえ、人々が放縦で不正に生きてきたのに、あなたは彼ら自身の忌まわしい行いで彼らを苦しめたのです。
24 彼らは、非常に誤った道に迷い、自分たちを神とみなし、敵の獣の中でも理解のない子として軽蔑され、騙されていたからである。
25 それゆえ、あなたは彼らに対して、理性のない子供たちと同じように、彼らを嘲笑する判決を下されました。
26 しかし、イエスが彼らに協力したその矯正によって改心しようとしない人々は、神にふさわしい裁きを感じるであろう。
27 見よ、彼らが罰せられたとき、つまり、彼らが神だと思っていた人たちのために、どんなことを恨んだか。 今、彼らの中で罰せられているが、それを見たとき、彼らは、以前は知ることを否定していた神が真の神であることを認めたので、彼らに極度の天罰が下されたのである。

章 13

1 確かに人間は皆、生来虚栄心があり、神について無知であり、目に見える良い事柄から神を知ることができなかった。
2 しかし、火、風、速い空気、星の輪、激しい水、または天の光のいずれかを、世界を統治する神であるとみなした。
3 その美しさに彼らが喜んでいると、彼らは神になったように思えます。 彼らの主がどれほど優れているかを彼らに知らせてください。美の最初の作者が彼らを創造したからです。
4 しかし、もし彼らが彼らの力と徳に驚いているなら、彼らを造られた方がどれほど強力であるかを、彼らを通して理解させてください。
5 というのは、生き物の偉大さと美しさによって、それを作った人が比例してわかるからです。
6 しかし、このことについては、彼らはそれほど責められるべきではありません。彼らは、神を求め、神を見つけたいと願って、あえて間違いを犯すからです。
7 彼らは彼の作品に精通しているので、熱心に彼を探し、彼らの視力を信じます。なぜなら、目に見えるものは美しいからです。
8 しかし、彼らも赦されることはない。
9 というのは、もし彼らがそれほど多くのことを知ることができれば、世界を目指すことができるのだから。 なぜ彼らはその主をもっと早く見つけられなかったのか?
10 しかし、彼らは悲惨であり、死んだものに彼らの希望がある、彼らを神と呼ぶ人、それは人間の手で芸術を表現するための金銀の作品であり、獣や何の役にも立たない石のようなものです。 古代の手の。
11 さて、材木を伐採する大工は、目的に合わせて木を鋸で切り、周囲の樹皮をすべて巧みに取り除き、それを美しく加工し、人の命に適した容器を作りました。
12 そして、仕事の残骸を肉の衣付けに費やした後、自分自身を満たした。
13 そして、何の役にも立たなかった、曲がりくねった木片で、節だらけの廃材そのものを取り出し、他に何もすることがないとき、熱心にそれを彫り、自分の理解力を駆使してそれを形作った。 男性のイメージに合わせて作りました。
14 あるいは、それを何か卑劣な獣のようにして、その上に朱を塗り、絵の具で赤く染め、あらゆる箇所を覆った。
15 そして、それを置くのに便利な部屋を作って、それを壁の中に設置し、鉄で固定した。
16 神は、それが自力で助からないことを知っていて、それが倒れないように備えたからである。 これはイメージであり、助けが必要なためです。
17 そのとき、彼は自分の財産や妻や子供たちのために祈り、命のないものに話しかけることを恥じません。
18 神は、弱っている者に健康を求め、命がある者は死んだ者に祈ります。 というのは、援助する手段が最も乏しい者には謙虚に援助を懇願するからである。そして、前に足を踏み

出すことができない者には良い旅をと願っているからである。
19 そして、得たり得たり、自分の手でうまく成功したりするために、彼にできる能力を求めますが、それは何もすることができません。

章 14

1 また、出航の準備をし、荒れ狂う波を通り抜けようとしている人は、自分を運ぶ船よりも腐った木片を求めます。
2 まさに利得への欲求がそれを考案し、職人が自分の技術でそれを建てたからです。
3 しかし、父よ、あなたの摂理がそれを支配します。なぜなら、あなたは海に道を作り、波の中に安全な道を設けたからです。
4 あなたはすべての危険から救えないことを示しています。そうです、たとえ人が芸術なしで海に出たとしてもです。
5 それにもかかわらず、あなたは、自分の知恵の働きが空回りすることを望まないので、人は小さな木片に命を捧げ、弱い船で荒海を渡れば救われます。
6 なぜなら、その昔、誇り高き巨人たちが滅びたときも、あなたの御手によって統治された世界の希望は、弱い器の中に逃げ出し、あらゆる時代に世代の種を残したからです。
7 義が生まれる木は幸いである。
8 しかし、手で作ったものは、それを作った者と同じように呪われます。彼は、それを作ったからです。 そしてそれは、腐敗しやすいので神と呼ばれていたからです。
9 不敬虔な者もその不敬虔な者も同様に神を憎んでいるからである。
10 造られたものは、造られた者とともに罰せられるからである。
11 それゆえ、異邦人の偶像にも訪問が行われるであろう。なぜなら、神の被造物においては、偶像は忌まわしいものとなり、人々の魂のつまずきとなり、知恵のない者の足を捕らえる罠となるからである。
12 というのは、偶像の考案は霊的不品行の始まりであり、偶像の考案は生活の堕落だからである。
13 それは初めからそうではなく、永遠に続くこともないからです。
14 なぜなら、彼らはむなしい栄光によって世に入ったのですから、間もなく滅びることになるからです。
15 というのは、時が過ぎた悲しみに苦しんでいた父親が、間もなく連れ去られた我が子の像を作ったとき、今ではその時は死人であった彼を神として崇め、自分の下にいた者たちに儀式といけにえを手渡したからだ。
16 このようにして,時が経つにつれ,不敬虔な習慣が強まり,法律として守られ,王の戒めによって彫刻像が崇拝されるようになりました。
17 遠く離れたところに住んでいたので、人々はその人を前で敬うことができなかったが、遠くから彼の容貌を模倣し、自分たちが尊敬する王の姿をはっきりと描いて、その率直さによって王に媚びるようにしようとしたのである。 あたかも彼が存在しているかのように不在でした。
[18] また、この職人の並外れた勤勉さは、無知な人々をさらに迷信に導くのに確かに役立ちました。
19 というのは、彼は権威ある者を喜ばせたいという思いから、自分の技術のすべてを駆使して最高のファッションに似せようとしたからである。
20 そこで群衆は、その働きの恵みに魅了されて、少し前まではただ尊敬されていただけの神を、今では彼とみなした。
21 そして、これは世界を欺く機会であった。人々は、災難か暴政のいずれかに仕える者として、石や株に伝わりにくい名前を付けていたからである。
22 さらに、彼らはこれだけでは十分ではなく、神についての知識を誤ったのです。 しかし、彼らは無知の大戦争の中で生きていたが、あれほど大きな疫病が彼らを平和と呼んだ。
23 彼らは自分たちの子供たちを犠牲として殺したり、秘密の儀式を行ったり、奇妙な儀式を大騒ぎしたりしている間、
24 彼らは、もはや命も結婚生活も汚れることなく保った。しかし、一方が他方を不法に殺したか、あるいは姦淫して彼を悲しませた。
25 こうして、例外なくすべての人のうちに、流血、過失致死、窃盗、偽証、汚職、不貞、騒ぎ、偽証、
26 善良な人々の不安、善良な行いの忘れ、魂の汚れ、種類の変化、結婚生活の乱れ、姦淫、恥知らずな不潔。
27 名前のない偶像崇拝は、すべての悪の始まりであり、原因であり、そして終わりだからです。

28 彼らは、陽気なときに気が狂っているか、嘘を預言しているか、不当に生きているか、あるいは軽々しく自分を捨てているかのどちらかだからです。
29 なぜなら、彼らは命のない偶像に信頼を置いているからです。 彼らは偽りの誓いを立てていますが、それでも傷ついていないようです。
30 しかし、どちらの原因であっても、彼らは正当に罰せられるであろう。それは、彼らが神をよく思わず、偶像に注意を払い、また、偽りに不当に誓い、聖さを軽視したためでもある。
31 なぜなら、彼らが誓うのは彼らの力ではなく、不敬虔な者の罪を常に罰するのは、罪人の正当な復讐であるからです。

章 15

1 しかし、神よ、あなたは慈悲深く、真実で、忍耐強く、慈悲をもってすべてのことを命じておられます。
2 なぜなら、もし私たちが罪を犯したとしても、私たちはあなたの力を知っているので、あなたのものです。しかし、私たちはあなたのものと見なされていることを知っているので、罪を犯しません。
3 なぜなら、あなたを知ることは完全な正義です。そうです、あなたの力を知ることは不滅の根源だからです。
というのは、人間のいたずらな発明も、画家の無益な労働である多様な色で斑点を付けられたイメージも、私たちを欺くことがなかったからだ。
5 その光景は愚かな者たちを誘惑し、その光景に欲情するので、彼らは息のない死んだ像の形を望みます。
6 それを作る者も、それを望む者も、それらを崇拝する者も、悪しきものを愛する者たちであり、そのようなものを信頼するに値する者である。
7 というのは、陶器師は、柔らかい土を焼き戻して、私たちに奉仕するために、あらゆる器を多大な労力をかけて作っているからです。そうです、彼は同じ粘土から、きれいな用途に役立つ器と、それとは反対の用途に役立つすべての器を作ります。 どちらの種類を使用するかは、陶芸家自身が判断します。
8 そして、卑劣な働きをして、彼は同じ粘土でむなしい神を作り、その少し前までは土で作られていた神も、与えられた命が尽きると、しばらくすると同じものに戻ってしまう。 と要求した。
9 彼の世話にもかかわらず、彼は多くの労働をするわけでも、彼の寿命が短いわけでもない。しかし、彼は金細工師や銀細工師に優れるように努力し、真鍮の職人のように努力し、贋作を作ることを自分の栄光だと考えている。
10 彼の心は灰、彼の希望は土よりも卑劣で、彼の命は粘土よりも価値がありません。
11 なぜなら、彼は自分の造り主、そして自分の中に活動的な魂を吹き込み、生きた霊を吹き込んでくださった方を知らなかったからです。
12 しかし、彼らは、私たちの人生を娯楽、ここでの時間を利益の市場とみなしました。なぜなら、たとえそれが邪悪な手段によるものであっても、私たちはあらゆる手段で得をするに違いないからだと彼らは言います。
13 というのは、この男は、地上の物質からできた器や彫像をもろくするものであるから、自分が他の誰よりも罪を犯していることを知っているからである。
14 そして、あなたの民を服従させているあなたの民の敵はすべて、最も愚かで、赤ん坊よりも悲惨です。
15 彼らは、異教の偶像をすべて神とみなしたからです。彼らには、見るための目も、息を吸うための鼻も、聞くための耳も、扱うための手の指もありません。 そして足はというと、歩くのが遅い。
16 なぜなら、人間がそれらを造ったからであり、自分自身の霊を借りた者がそれらを形作ったからである。しかし、誰も自分に似た神を造ることはできない。
17 彼は死ぬべき者であるために、邪悪な手で死んだものを働かせます。彼自身が、彼が崇拝するものよりも優れているからです。彼は一度生きましたが、彼らは決して生きませんでした。
18 そうです、彼らは最も憎むべき獣たちも崇拝しました。
19 彼らは獣として望まれるほど美しくはありません。しかし、彼らは神の賛美と祝福を得ることができませんでした。

章 16

1 それゆえ、彼らも同様に相応の罰を受け、多くの獣によって苦しめられた。
2 あなたはその懲罰の代わりに、ご自分の民を慈しみ深く扱い、彼らのために奇妙な味の肉、さらには彼らの食欲を刺激するウズラさえも用意しました。
3 食物を望む彼らが、自分たちの中に送り込まれた獣の醜い姿を見て、彼らが望むべきものさえも欲しがるまで。 しかし、短いスペースで困窮している彼らは、奇妙な味に参加させられるかもしれない。
4 というのも、専制政治を行う彼らには窮乏が訪れることが必須であり、それを避けることはできなかったが、彼らには敵がどのように苦しめられたかを示すだけでよいのである。
5 というのは、恐ろしい獣の猛威が彼らに臨み、彼らが曲がった蛇の針で滅んだとき、あなたの怒りは永遠に耐えられなかったからだ。
6 しかし、彼らは、救いのしるしを持って、あなたの律法の戒めを覚えておくようにとの警告を受けるために、少しの間悩みました。
7 なぜなら、そこに向かった者は、見たものによって救われたのではなく、すべての救い主であるあなたによって救われたからです。
8 そして、このことによって、あなたは敵たちに、すべての悪から救い出すのはあなたであると告白させました。
9 彼らにとっては、バッタやハエに刺されて殺されたが、命を救う治療法も見つからなかった。なぜなら、彼らはそのような者たちによって罰せられるに値するからだ。
10 しかし、あなたの息子たちは、毒竜の牙をまったく克服しませんでした。あなたの慈悲が常に彼らにあり、彼らを癒したからです。
11 彼らはあなたの言葉を思い出すために刺されたからです。 そしてすぐに救われました。それは、深い忘却に陥ることなく、あなたの善意を常に心に留めておくためでした。
12 というのは、彼らを健康に回復させたのは、薬草でも、和らげる軟膏でもなく、主よ、あなたの御言葉であり、万物をいやしてくださるからです。
13 あなたは生と死を支配する力を持っています。あなたは地獄の門に導き、再び立ち上がらせます。
14 人は確かに悪意によって人を殺します。そして、霊は出て行っても戻ってきません。 受け取った魂が再び戻ってくることもありません。
15 しかし、あなたの手を逃れることはできません。
16 あなたを知らない不敬虔な者たちは、あなたの腕の力で打ちのめされ、異様な雨、ひょう、にわか雨で迫害され、避けることができず、火によって焼き尽くされました。
17 最も驚くべきことであるが、火は水の中ではさらに勢いがあり、万物を消し去る。というのは、世界は義人のために戦っているからである。
18 しばらくの間、不敬虔な者たちに送られた獣たちが燃え尽きないように、炎は弱められた。 しかし、彼ら自身は神の裁きによって迫害されているのを見て、認識するかもしれません。
19 またある時には、それは水の真っ只中でさえ、火の力を超えて燃え上がり、不当な土地の果実を滅ぼすかもしれません。
20 その代わりに、あなたは御自分の民に天使の食べ物を与え、彼らに労せずして調理されたパンを天から送って、あらゆる人の喜びを満足させ、あらゆる好みに同意するものを送りました。
21 あなたの糧は、あなたの子供たちにあなたの甘さを宣言し、食べる人の食欲に役立ち、あらゆる人の好みに合わせて和らげられるからです。
22 しかし、雪と氷は火に耐えて溶けなかった。それは、ひょうの中で燃え、雨の中で輝く火が敵の果実を滅ぼしたことを彼らが知るためである。
23 しかし、これもまた、義人を養うために自分の力を忘れてしまったのです。
24 あなたに仕える被造物、つまり造り主は、不義な者たちに対してその懲罰のためにその力を増し、あなたに信頼を置く者の利益のためにその力を弱めるからである。
25 それゆえ、そのときでさえ、それはあらゆる様式に変えられ、必要とする者の望みに従って、万物を養うあなたの恵みに従順でした。
26 あなたが愛する主よ、あなたの子供たちに、人を養うのは実がなることではなく、あなたに信頼を寄せる子供たちを守るのはあなたの言葉であることを知っていただくためです。
27 火で消えなかったものは、わずかな日差しで暖められて、すぐに溶けて消えてしまったからです。

28 それは、私たちが太陽を避けてあなたに感謝し、夜明けにあなたに祈らなければならないことを知らせるためです。
29 感謝しない者の希望は、冬の霜のように溶けて、無益な水のように流れ去るからです。

章 17

1 あなたの判断は偉大であり、言い表せないからです。したがって、育まれていない魂は誤りを犯しました。
2 というのは、不義な人々が聖なる国民を抑圧しようと考えたときからです。 彼らは家に閉じ込められ、闇の虜となり、長い夜の束縛に縛られ、永遠の摂理から追放されてそこに横たわっていた。
3 なぜなら、彼らは秘密の罪の中に隠れて横たわっているはずだったのに、物忘れの暗いベールの下に散らばり、恐ろしく驚き、奇妙な幻影に悩まされたからです。
4 というのは、彼らを支えていた隅も彼らを恐怖から遠ざけることはできなかった。しかし、水が落ちるような音が彼らの周りに鳴り響き、悲しい幻影が重い表情で彼らに現れた。
5 火の力は彼らに光を与えないだろうし、星の明るい炎もその恐ろしい夜を照らすのに耐えることはできない。
6 そこでだけ、彼らの前に、非常に恐ろしい火が自ら燃え上がったように見えました。彼らは非常に怖がっていたので、目にしたものは、見なかった光景よりも悪いものだと考えました。
7 芸術魔術の幻想に関しては、それらは打ち負かされ、彼らの知恵の誇示は恥辱をもって非難された。
8 というのは、病んだ魂から恐怖と悩みを追い払うと約束した彼ら自身が恐怖にうんざりしており、嘲られるに値するからだ。
9 とはいえ、彼らは恐ろしいものを恐れなかった。 それでも通り過ぎる獣や蛇のシューシュー音に怯えながら、
10 彼らは恐怖のあまり死んだ。空気を見たということを否定したが、それは誰の側からも避けられなかった。
11 というのは、悪は彼女自身の証人によって非難されていますが、非常に恐ろしいものであり、良心の呵責に迫られて、常に悲惨な出来事を予見しているからです。
12 恐怖とは、理性が与えてくれる助けを裏切ることにほかならないからです。
13 そして、内側からの期待はそれほど大きくなく、苦しみをもたらす原因よりも無知のほうが重要視されます。
14 しかし、その夜、彼らは同じように眠りました。それは実に耐えがたいことであり、避けられない地獄の底から彼らに降りかかったのです。
15 彼らは、ある者は怪物の幻影に悩まされ、ある者は気を失い、心臓が落ち込んでいた。突然の恐怖が、探してもいなかったので彼らに襲い掛かった。
16 それで、そこで倒れた者はみな、鉄格子のない牢獄に閉じ込められ、
17 というのは、彼が農夫であれ、羊飼いであれ、あるいは野原での労働者であれ、彼はその必要に迫られ、それを耐え忍んだが、それは避けられなかった。なぜなら、彼らは皆、一つの闇の鎖に縛られていたからである。
18 それが、ヒューヒューと吹く風であれ、広がった枝の間で響く鳥のさえずりであれ、あるいは激しく流れる心地よい水の滴であれ、
19 あるいは、石が投げ落とされる恐ろしい音、あるいは獣が飛び跳ねる姿が見えないような走る音、あるいは最も野蛮な野獣の咆哮する声、あるいは空洞の山々から跳ね返るこだま。これらのことが彼らを恐怖のあまり気絶させた。
20 全世界が澄んだ光で輝き、その労働を妨げられる者はいなかったからである。
21 彼らの上にはただ重い夜が広がっていて、後に彼らを受け入れるであろうあの闇のイメージがあった。しかし、それでも彼ら自身は闇よりも悲惨だった。

章 18

1 それにもかかわらず、あなたの聖徒たちは非常に大きな光を持っており、彼らはその声を聞いていましたが、姿は見えませんでした。彼らも同じ苦しみを経験していなかったため、彼らは幸せだと思っていました。
2 しかし、彼らは、以前にも不当な扱いを受けていた彼らを、今は傷つけなかったので、彼らに感謝し、敵であったことの赦しを求めた。
3 その代わりに、あなたは彼らに、未知の旅の導き手となる燃える火の柱と、彼らを立派に楽しませるための無害な太陽を与えました。

4 というのは、彼らは光を奪われ、闇の中に閉
じ込められても当然であり、あなたの息子た
ちを黙らせ、彼らによって朽ちない律法の光
が世に与えられることになっていたからです。
5 そして、彼らが聖徒たちの幼子たちを殺そう
と決心し、一人の子供が投げ捨てられて救わ
れ、彼らを叱責したとき、あなたは彼らの大
勢の子供たちを連れ去り、激しい水の中で彼
らを完全に滅ぼしました。
6 その夜のことで、私たちの父親たちは、自分
たちがどのような誓いを信じたのかを確実に
知っており、その後は元気でいられるだろう
と事前に証明されていました。
7 こうしてあなたの民は、義人の救いと敵の滅
びの両方を受け入れられたのです。
8 あなたは、私たちの敵を罰したのと同じよう
に、あなたが召された私たちに栄光を与えて
くださいました。
9 というのは、善良な人々の義なる子供たちは
密かに犠牲を払い、一つの同意を得て聖なる
律法を制定し、聖徒たちは同じ善と悪にあず
かる者のようになり、父たちは今賛美の歌を
歌っているのである。
10 しかし、反対側では、敵の悪声が響き渡り、
嘆き悲しむ子供たちのために嘆かわしい騒音
が海外にまで伝わった。
11 主人と召使はあるやり方で罰せられました。
そして王と同じように、庶民も苦しみました。
12 それで、彼らは皆、一種類の死で無数の死
者を出した。 彼らの最も高貴な子孫が一瞬の
うちに滅ぼされたため、彼らを埋葬するのに
十分な生存者もいませんでした。
13 なぜなら、彼らは魔法のせいで何も信じよ
うとしないからです。 長子が滅ぼされたとき、
彼らはこの民が神の子であることを認めまし
た。
14 というのは、すべてのものが静かな沈黙の
中にあり、その夜は彼女の速い航路の真っ只
中にあったからである。
15 あなたの全能の言葉は、破壊の地の真っ只
中に猛々しい戦争の男として、あなたの王座
から天から飛び降りました。
16 そして、あなたの偽りのない戒めを鋭い剣
としてもたらし、立ち上がるとすべてが死で
満たされました。 そしてそれは天に触れたが、
地の上に立った。
17 その時、突然、恐ろしい夢の幻影が彼らを
ひどく悩ませ、予期せぬ恐怖が彼らを襲った。
18 そして、一人はここに投げられ、もう一人
はそこに投げ込まれ、半分死んで、彼の死の
原因を示しました。
19 なぜなら、彼らを苦しめた夢は、彼らが滅
びることのないように、そしてなぜ彼らが苦
しむのか分からないように、このことを予見
していたからである。
20 そうです、死の味は義人にも及び、荒野で
は群衆が滅びました。しかし、その怒りは長
くは続きませんでした。
21 そこで、罪のない人は急いで彼らを守ろう
と立ち上がった。 そして、適切な奉仕の盾、
さらには祈り、そして香のなだめを携えて、
怒りに立ち向かい、災いを終わらせ、自分は
あなたのしもべであると宣言した。
22 それで彼は、体の強さや武力によってでは
なく、先祖たちと交わした誓いと契約を主張
して罰する言葉によって破壊者を打ち負かし
た。
23 というのは、死者たちが次々と山となって
倒れ、その間に立っているとき、イエスは怒
りを静め、生ける者たちへの道を分けたから
である。
24 長い衣の中には全世界があり、四列に並ん
だ石には先祖たちの栄光が刻まれており、そ
の頭の冠にはあなたの陛下が刻まれていたか
らである。
25 滅ぼす者はこれらに譲歩し、彼らを恐れた。
彼らは怒りを味わうだけで十分だったからで
ある。

章 19

1 不敬虔な者たちには、最後まで容赦なく怒り
が彼らに臨んだ。
2 彼らに出発の許可を与えて急いで送り出した
のに、彼らは悔い改めて彼らを追いかけるで
あろう。
3 なぜなら、彼らがまだ死者の墓で嘆き悲しん
でいる間に、彼らはさらに愚かな策を加え、
消え去るように懇願した彼らを逃亡者として
追跡したからである。
4 なぜなら、彼らに相応しい運命が彼らをこの
目的に引き寄せ、彼らの苦しみに与えられた
懲罰を完遂するために、すでに起こったこと
を忘れさせたからである。
5 そして、あなたの民が素晴らしい道を歩むこ
とができますように。しかし、彼らは奇妙な
死に遭遇するかもしれません。

6 というのは、その被造物全体が、本来の種類
にふさわしい形で新たに造り直され、あなた
の子供たちが傷つけられないように、彼らに
与えられた特別な戒めに仕えているからです。
7 すなわち、宿営地を覆う雲のようなものであ
る。そして、それまで水があったところに、
乾いた土地が現れました。そして紅海から障
害のない道を通って出ました。そして激しい
流れからは緑の野原が現れます。
8 あなたの手で守られたすべての民はそこを通
って、あなたの驚くべき奇妙な驚異を見た。
9 彼らは馬のように走り、子羊のように飛び跳
ね、主よ、彼らを救い出してくださったあな
たを賛美したからです。
10 というのは、彼らは、見知らぬ土地に滞在
している間に起こったこと、地面が牛の代わ
りにハエを生み出したこと、そして川が魚の
代わりにたくさんのカエルを生み出したこと
をまだ心に留めていたからです。
11 しかしその後、彼らは新しい世代の家禽を
目にし、食欲に駆られて繊細な肉を求めまし
た。
12 というのは、ウズラが彼らの満足を求めて
海から彼らのところに上がってきたからであ
る。
13 そして、雷の力による前兆なしに罪人たち
に罰が臨んだ。彼らは、よそ者に対してさら
に厳しく憎むべき態度をとった限り、自らの
邪悪さに応じて当然の苦しみを受けたからで
ある。
14 というのは、ソドム人は、来たときに知ら
なかった人々を受け入れなかったが、彼らは
当然のこととして友人たちを奴隷にさせた。
15 そして、それだけではなく、彼らに対して
は、思いがけない敬意を払わなければなりま
せん。なぜなら、彼らは見知らぬ人を友好的
ではなかったのですから。
16 しかし、これらの人々は、祝宴を持って受
け入れられ、すでに彼らと同じ律法にあずか
る者となっていた彼らを、非常にひどく苦し
めた。
17 したがって、義人の戸口にいたときと同じ
ように、目が見えなくなった人たちも打ちひ
しがれたのである。そのとき、恐ろしい大き
な暗闇が周囲を取り囲み、誰もが自分の戸口
を通ろうとしたのである。
18 なぜなら、詩篇の音符が曲の名前を変える
のと同じように、要素はそれ自体が一種のハ
ーモニーによって変化し、それでも常に音で
あるからです。それは、これまでに行われた
ことを見れば分かるかもしれない。
19 というのは、地上のものは水に変わり、以
前は水の中を泳いでいたものが、今は地上に
流れ出ているからです。
20 火は水の中で力を持ち、自らの徳を忘れ、
水は自らの消火性を忘れた。
21 反対側では、炎は腐敗しやすい生き物たち
がその中を歩いていたにもかかわらず、その
肉を無駄にすることはなかった。どちらも、
溶けやすい自然の氷のような天の肉を溶かし
ませんでした。
22 主よ、あなたはあらゆることにおいてご自
分の民を高め、栄光を与え、彼らを軽視せず、
いつでもどこでも彼らを助けてくださいまし
た。

エクレシアスカス

シラクの子イエスの知恵



章 1

1 シラクの子イエスの知恵のプロローグ。 律法と預言者たち、そして彼らの歩みに従った他の人々によって、多くの素晴らしいものが私たちに届けられてきたのに対し、イスラエルはその学びと知恵において賞賛されるべきものである。 そして、読者自身が熟練する必要があるだけでなく、学びたいと願う人たちも、話したり書いたりすることによって、知識のない人たちに利益をもたらすことができるようにする必要があります。私の祖父イエスは、律法を読むことに熱心に取り組んでいた頃でした。 そして、預言者や私たちの先祖の他の本を読んで、そこで正しい判断を得たので、彼自身も学習と知恵に関する何かを書くことに惹かれました。 学びたいと思っていて、これらのことに夢中になっている人は、法律に従って生活することでより多くの利益を得ることができるようにするためです。 したがって、親切に注意深く読んでいただき、私たちが苦労して解釈した言葉が足りないように見えるかもしれませんが、ご容赦ください。 なぜなら、同じことがヘブライ語で話されても、別の言語に翻訳されても、その力は同じではないからです。そして、これらのことだけでなく、律法そのもの、預言者、そしてその他の書物にも、少なからず違いがあります。 彼らは彼ら自身の言語で話されています。 というのは、エウエルゲテスが王であったエジプトに来て 8 年目と 30 年目、そしてしばらくそこに滞在し続けたとき、私は少なからぬ学びとなる本を見つけた。したがって、それを解釈するにはある程度の勤勉さと労力を費やすことが最も必要だと思った。 その空間で細心の注意と技術を駆使して本を終わらせ、見知らぬ国で法に従って生きるためのマナーを事前に準備して学ぼうとしている彼らのためにもそれを提示しました。 すべての知恵は主から来ており、永遠に主とともにあります。
2 誰が海の砂、雨のしずく、そして永遠の日々を数えることができますか。
3 誰が天の高さ、地の広さ、深さ、知恵を知ることができようか。
4 知恵は万物に先立って創造され、思慮深さの理解は永遠から創造されました。
5 最も崇高な神の言葉は知恵の泉である。 そして彼女の道は永遠の戒めです。
6 知恵の根は誰に明らかにされましたか。 あるいは彼女の賢明な助言を誰が知っていたでしょうか?
7 知恵の知識は誰に明らかにされたのでしょうか。彼女の素晴らしい経験を誰が理解したでしょうか?
8 賢くて大いに恐れられる者があり、主がその玉座に座っておられる。
9 彼は彼女を創造し、彼女を見て、彼女の数を数え、彼女を自分のすべての業に注いだ。
10 彼女は神の賜物に従ってすべての肉なる者とともにあり、神はご自分を愛する者たちに彼女を与えられた。
11 主を畏れることは名誉であり、栄光であり、喜びであり、喜びの冠である。
12 主を恐れることは心を陽気にし、喜びと楽しみと長寿を与える。
13 主を畏れる者は、最後までうまくいき、死ぬときにも恵みを受けるであろう。
14 主を畏れることは知恵の始まりであり、それは忠実な者たちの胎内で創造されました。
15 彼女は人々とともに永遠の基礎を築きました、そして彼女は彼らの子孫を続けます。
16 主を畏れることは知恵に満ち、人をその実で満たす。
17 彼女は家中を望ましいもので満たし、彼女を集める者は増えていく。
18 主を恐れることは知恵の冠であり、平和と完全な健康を繁栄させます。 それは両方とも神の賜物であり、神を愛する人々の喜びをさらに大きくします。
19 知恵は、立場を理解する技術と知識を降り注ぎ、それらを自分をしっかりと保持する名誉に高めます。
20 知恵の根は主を畏れることであり、その枝は長寿である。
21 主への畏れは罪を遠ざけ、それがあるところには怒りを遠ざけます。
22 激怒する人は正当化されません。 彼の怒りの揺れが彼の破滅となるからである。
23 忍耐強い人は、一時的には涙を流すが、その後には喜びが湧き出てくる。
24 彼はしばらくその言葉を隠すだろう、そして多くの人の口が彼の知恵を公言するだろう。
25 知識のたとえは知恵の宝の中にありますが、敬虔は罪人にとって忌まわしいものです。
26 もしあなたが知恵を望むなら、戒めを守りなさい。そうすれば主はそれをあなたに与えてくださるであろう。
27 主を恐れることは知恵と教えであり、信仰と柔和は主の喜びだからである。
28 あなたが貧しいときでも、主を恐れるな。二心をもって主のもとに来てはならない。
29 人々の前で偽善者となってはならず、自分の言うことをよく心に留めなさい。
30 自分を高めてはいけません。落ち込んで、あなたの魂に不名誉をもたらすことのないように。そうすれば、神はあなたの秘密を暴き、あなたを会衆の真っただ中に投げ捨てます。あなたは真実に主を畏れるのではなく、あなたの心に来たからです。 欺瞞に満ちています。

章 2

1 わが子よ、もしあなたが主に仕えに来るなら、誘惑に備えて魂を備えなさい。
2 心を正し、絶えず耐え忍んで、苦難の時に急がないようにしなさい。
3 あなたが最後の最後に増し加えられるように、彼に固く結ばれ、離れないでください。

4 あなたに持ち込まれたものは何であれ、喜んで受け
入れ、あなたが卑しい身分に変わったときは辛抱し
てください。
5 金は火で試され、受け入れられる人間は逆境の炉で
試されるからである。
6 彼を信じなさい。そうすれば彼はあなたを助けてく
れるでしょう。 自分の道を正しく定め、彼を信頼し
てください。
7 主を畏れる者よ、主の憐れみを待ち望みなさい。
そして、あなたがたが倒れないように、脇に行って
はいけません。
8 主を畏れる者よ、主を信じなさい。 そしてあなた
の報酬は失敗しないでしょう。
9 主を恐れる者よ、善と永遠の喜びと憐れみを望みな
さい。
10 昔の世代を見て、見なさい。 主を信頼して当惑し
たことがありますか? それとも彼の恐怖の中に留ま
り、見捨てられた者がいるだろうか? あるいは、彼
を呼び寄せた誰を軽蔑したのだろうか?
11 主はあわれみとあわれみに満ち、辛抱強く、非常
に哀れみ深く、罪を赦し、苦難の時に救ってくださ
るからである。
12 恐ろしいのは、恐ろしい心と弱気な手、そして二
方向に進む罪人です。
13 気の弱い者は災いなるだろう。 彼は信じていない
からです。 したがって、彼は弁護されないであろう。
14 忍耐を失ったあなたがたは不幸だ。 主があなたを
訪ねて来られるとき、あなたは何をするでしょう
か?
15 主を畏れる者は、御言葉に背きません。 そして彼
を愛する者たちは彼の道を守ります。
16 主を畏れる者は、幸いなこと、主に喜ばれること
を求める。 そして彼を愛する者は律法で満たされる
であろう。
17 主を畏れる者は心を整え、主の御前に魂を謙虚に
し、
18「わたしたちは人の手に渡らず、主の手に渡りま
す。主の威厳がそうであるように、主の憐れみもま
た深いからです」と言いました。

章 3

1 子供たちよ、あなたの父よ、わたしの言うことを聞
いてください。そして、あなたがたが安全になるよ
うに、その後そうしなさい。
2 主は子供たちに対して父親に栄誉を与え、また息子
たちに対して母親の権威を確証されたからである。
3 父を敬う者は、自分の罪を償う。
4 そして、自分の母を敬う者は、宝を蓄える者と同じ
である。
5 父を敬う者は、自分の子供たちを喜びとするであろ
う。 そして彼が祈りを捧げるとき、彼は聞き入れら
れるでしょう。
6 父を敬う者は長生きするであろう。 そして主に従
う者は母親の慰めとなるであろう。
7 主を畏れる者は父を敬い、主人たちと同じように両
親に仕えるであろう。
8 あなたの父と母を言葉でも行いでも敬え。そうすれ
ば、彼らから祝福があなたに与えられるであろう。
9 父の祝福が子供たちの家を確立するからです。 し
かし、母親の呪いが基礎を根こそぎにしてしまいま
す。
10 あなたの父の不名誉を栄光にあってはいけません。
あなたの父親の不名誉はあなたにとって栄光ではな
いからです。
11 人の栄光は父の名誉から出るのである。 そして不
名誉な母親は子供たちにとって非難となる。
12 わが子よ、あなたの父親を年老いた者として助け、
生きている限り彼を悲しませないようにしてくださ
い。
13 もし彼の理解が得られないなら、忍耐してくださ
い。 そしてあなたが全力を尽くしているときは彼を
軽蔑してはならない。
14 あなたの父の救いは忘れられず、罪の代わりにあ
なたを建てるために罪が加えられるからです。
15 あなたの苦しみの日に、それは思い出されるでし
ょう。 あなたの罪も、晴れた暖かい天気の氷のよう
に溶けて消えるでしょう。
16 父を捨てる者は冒涜者と同じである。 そして母親
を怒らせる者は神から呪われます。
17 わが子よ、柔和に自分の仕事を続けなさい。 そう
すれば、あなたは認められる者に愛されるであろう。
18 あなたが偉大であればあるほど、より謙虚になり、
主の御前に好意を得るであろう。
19 多くの人は高い地位にあり、名声を博しています
が、奥義は柔和な者に明らかにされます。
20 主の力は偉大であり、身分の低い者にも誉れを与
えられるからである。
21 あなたにとって難しすぎることを探し求めてはな
りません。また、自分の力を超えたものを探し求め
てはいけません。
22 しかし、あなたに命じられていることを、敬意を
持ってよく考えなさい。秘密にある事柄を自分の目
で見る必要はないからである。
23 不必要な事柄に興味を持ってはなりません。人が
理解できるよりも多くのことがあなたに示されてい
るからです。
24 というのは、多くの人は自分のむなしい意見に惑
わされているからです。 そして邪悪な疑惑が彼らの
判断を覆しました。
25 目がなければ、あなたは光を望むであろう。だか
ら、あなたが持っていない知識を公言してはいけな
い。
26 かたくなな心は最後には悪に遭う。 そして危険を
愛する者はそこで滅びるだろう。
27 かたくなな心には悲しみが満ちる。 そして悪人は
罪に罪を重ねることになる。
28 高慢な者の懲罰には救いがない。 邪悪な植物が彼
の中に根を張っているからです。
29 賢明な者の心はたとえを理解するであろう。 そし
て注意深く耳を傾けることは賢者の願望です。

30 水は燃える火を消します。 そして施しは罪の償いになります。
31 そして、良い方向に報いる人は、これから起こるかもしれないことを心に留めています。 そして彼が倒れたとき、彼はとどまることを見つけるでしょう。

章 4

1 わが子よ、貧しい人々をだましてはならず、貧しい人々の目を長く待たせないでください。
2 飢えた魂を悲しませるな。 人の苦しみを刺激することもありません。
3 イライラした心にこれ以上悩みを与えないでください。 そして、困っている人には与えないでください。
4 苦しむ人々の嘆願を拒んではなりません。 貧しい人から顔を背けてはならない。
5 貧しい人々からあなたの目をそらさないでください。そして、彼にあなたを呪う機会を与えないでください。
6 もし彼が魂の苦い思いであなたを呪うとしても、その祈りは彼を造った方に聞かれるでしょう。
7 会衆の愛を得て、偉人に頭を下げなさい。
8 貧しい人々に耳を傾け、柔和に友好的に答えても、あなたを悲しませないでください。
9 圧制者の手から不当な扱いを受けている者を救ってください。 そして、裁きの場に座っているときに気弱になってはなりません。
10 父のない人にとっては父のように、その母にとっては夫の代わりになりなさい。そのようにあなたはいと高き方の子のようにならなければなりません。そうすれば、いと高き方はあなたの母よりもあなたを愛してくださるでしょう。
11 知恵は子供たちを高め、知恵を求める者たちを捕らえる。
12 彼女を愛する者は命を愛する。 そして早く彼女を求める者は喜びで満たされるでしょう。
13 彼女をしっかり保つ者は栄光を受け継ぐでしょう。彼女がどこに入ろうとも、主は祝福してくださるでしょう。
14 彼女に仕える者は聖なる者に仕え、彼女を愛する者を主は愛される。
15 彼女に耳を傾ける者は諸国民を裁き、彼女に従う者は安らかに住むであろう。
16 男が彼女に身を委ねるなら、彼は彼女を受け継ぐであろう。 そして彼の世代が彼女を手中に収めるだろう。
17 なぜなら、最初は彼女は彼とともに曲がった道を歩み、彼に恐れと恐怖を与え、懲らしめによって彼を苦しめ、やがて彼の魂を信頼し、自分の律法によって彼を試すようになるからである。
18 そのとき、彼女は彼のところにまっすぐな道を戻り、彼を慰め、自分の秘密を教えるだろう。
19 しかし、もし彼が道を誤れば、彼女は彼を見捨て、彼を破滅に引き渡すであろう。
20 機会を観察し、悪に気をつけなさい。 そしてそれが自分の魂に関することであれば、恥じないでください。
21 罪をもたらす恥があるからです。 そして恥は栄光であり恵みである。
22 あなたの魂に敵対する人を受け入れてはなりません。また、人の尊敬によってあなたを堕落させてはなりません。
23 また、善を行う機会があるときは、語らないようにし、彼女の美しさの中にあなたの知恵を隠してはなりません。
24 知恵は言葉によって知られ、舌によって学びます。
25 決して真理に反することを言ってはなりません。しかし、自分の無知の誤りを恥じなさい。
26 自分の罪を告白することを恥じないでください。そして川の流れを強制しないでください。
27 愚かな人の手下にしてはいけません。 どちらも権力者の人を受け入れません。
28 真理を求めて死ぬまで努力せよ、そうすれば主はあなたのために戦ってくださるだろう。
29 舌を急がず、行いを緩めて怠けてはいけません。
30 あなたの家の中で獅子のようになったり、しもべたちの間で熱狂したりしてはならない。
31 受け取ろうと手を差し伸べて、返すときは手を閉じてはなりません。

章 5

1 自分の財産に心を向けてはなりません。 そして、そうではありません、私は自分の人生には十分です。
2 自分の思いや力に従わず、自分の心の道を歩むようにしなさい。
3 また、「私の行いについて誰が私を規制するだろうか」と言ってはいけません。 主は必ずあなたの高慢を報復してくださるからです。
4 言わないでください、私は罪を犯しました、そして私にどんな害が起こったのですか? 主は忍耐強いので、決してあなたを手放すことはありません。
5 なだめについては、罪に罪を加えるのではないかと恐れてはいけません。
6 また、神の憐れみが大きいなどと言わないでください。 彼は私の多くの罪のために鎮められるでしょう。慈悲と怒りが彼から出て、彼の憤りが罪人たちに及ぶからです。
7 主に立ち返るのを遅らせてはならない。その日その日を怠ってはならない。突然主の怒りが起こり、あなたは安全のうちに滅ぼされ、復讐の日に滅びるであろう。
8 不当に手に入れた品物に心を寄せてはならない。災いの日には、それらはあなたに利益をもたらさないからである。
9 あらゆる風をかき分けてはならず、あらゆる道に進んではいけません。二重の舌を持つ罪人も同様です。
10 自分の理解に堅実さを持ちなさい。 そしてあなたの言葉も同じようにしてください。

11 急いで聞きなさい。 そしてあなたの人生を誠実なものにしましょう。 そして忍耐強く答えてください。
12 もしあなたに理解があるなら、あなたの隣人に答えなさい。 そうでない場合は、手を口に当ててください。
13 名誉と恥は話の中にあり、人の舌はその堕落を意味する。
14 ささやく者と呼ばれないでください。また、あなたの舌で待ち構えてはいけません。泥棒にはひどい恥があり、二重の舌には邪悪な非難があるからです。
15 大きな事にも、小さな事にも、無知であってはなりません。

章 6

1 友人ではなく敵になりません。 それによって、あなたは悪名、恥辱、そして非難を受け継ぐことになるからです。二枚舌を持つ罪人も同様です。
2 あなた自身の心の勧告に従ってあなた自身を称賛してはならない。 あなたの魂が一人でさまよう雄牛のようにばらばらに引き裂かれないようにしてください。
3 汝は葉を食い尽くし、実を失い、枯れ木のように放置されるであろう。
4 邪悪な魂は、それを持つ者を滅ぼし、敵を嘲笑させるであろう。
5 優しい言葉遣いは友達を増やします。そして、丁寧な言葉遣いは親切な挨拶を増やします。
6 多くの人と平和を保ちなさい。それでも、相談者は千人のうち一人しかいないのです。
7 友人を得たいと思ったら、まずその友人を証明し、急いで彼の功績を認めないでください。
8 ある人は、自分のための友であり、あなたの苦難の日に留まらないからである。
9 また、敵意を向けられている友人がいます。そして、争いによってあなたの非難が明らかになるでしょう。
10 また、ある友人は食卓の同伴者ですが、あなたの苦しみの日には続かないでしょう。
11 しかし、あなたの繁栄の時には、彼はあなたと同じようになり、あなたのしもべに対して大胆になるでしょう。
12 あなたが卑しめられるなら、彼はあなたに敵対し、あなたの顔から身を隠すでしょう。
13 敵から離れ、友人に気をつけなさい。
14 忠実な友人は強力な防御者です。そのような友人を見つけた人は宝を見つけたのです。
15 忠実な友人に対抗できるものは何もありません。彼の卓越性は非常に貴重です。
16 忠実な友人は命の薬です。 主を畏れる者は主を見つけるであろう。
17 主を畏れる者は、その友情を正しく保つであろう。彼がそうであるように、彼の隣人もまた同じであろうからである。
18 わが子よ、若いときから教えを集めなさい。そうすれば、老後まで知恵を得ることができるであろう。
19 耕し、種を蒔く者のように彼女のところに来て、その良い実を待ちなさい。あなたは彼女のために労苦する必要はなく、すぐにその実を食べるでしょう。
20 彼女は無学な者にとって非常に不快な存在である。理解のない者は彼女と一緒に留まらないだろう。
21 彼女は試練の強力な石として彼の上に横たわるだろう。 そして彼は長くは続かないうちに彼女を自分から追い出すだろう。
22 知恵はその名の通り、多くの人には現われないからである。
23 息子よ、耳を傾けてください。私の忠告を受け入れてください。私の忠告を拒否しないでください。
24 そしてあなたの足を彼女の足かせに入れ、あなたの首を彼女の鎖に入れてください。
25 肩をかがめて彼女を抱き、彼女の絆を悲しんではなりません。
26 心を尽くして彼女のところに来て、力を尽くして彼女の道を守りなさい。
27 捜し求めよ、そうすれば彼女はあなたに知らされるであろう。そして、あなたが彼女を捕まえたら、彼女を放してはいけない。
28 あなたは最後に彼女の安息を見つけ、それがあなたの喜びとなるからです。
29 そうすれば、彼女の足枷はあなたにとって強力な防御となり、彼女の鎖は栄光の衣となるでしょう。
30 彼女には金の飾りがあり、帯は紫のレースである。
31 あなたは彼女を名誉の服として着させ、喜びの冠として彼女をあなたの周りに置くでしょう。
32 わが子よ、もし望むなら、あなたは教えられるでしょう。そして、もし自分の思いを働かせるなら、あなたは賢明でなければなりません。
33 もしあなたが聞くのが好きなら、あなたは理解を得られるでしょう。そして、もしあなたが耳を傾ければ、あなたは賢明になるでしょう。
34 大勢の長老たちの中に立ってください。 そして賢い者に固く結ばれなさい。
35 あらゆる敬虔な説教に喜んで耳を傾けなさい。 そして、理解のたとえ話から逃げないでください。
36 そして、もしあなたが理解力のある人に出会ったら、時々彼のところに行き、あなたの足で彼の戸口の階段を踏みしめなさい。
37 あなたの心を主の定めに留め、主の戒めを絶えず黙想しなさい。主はあなたの心を確立し、あなたの望むままに知恵を与えてくださるであろう。

章 7

1 悪いことをしてはなりません。そうすれば、あなたに害が及ぶことはありません。
2 不正な者たちから離れなさい。そうすれば、不法行為はあなたから遠ざかるでしょう。
3 わが子よ、不義の溝に種を蒔いてはいけない。そうすればそれを七倍に刈り取ってはならない。
4 主に卓越した地位を求めてはならず、王に名誉の座を求めてはならない。

5 主の前で自分を正当化してはならない。 そして王の前で自分の知恵を誇ってはなりません。
6 咎を取り除くことはできないので、裁かれることを求めてはなりません。 それは、いつでも、あなたの正しさの障害となる強大な者を恐れることがないためである。
7 都市の群衆に対して罪を犯してはなりません。そうすれば、あなたは人々の中に身を投げ出してはなりません。
8 一つの罪を別の罪に結びつけてはならない。 なぜなら、一度であなたは罰せられないからです。
9 言うな、神は私の多くの奉献をご覧になり、私がいと高き神に捧げるなら、神はそれを受け入れてくださるだろう。
10 祈りをするときに気弱になってはならず、施しをしないことを怠ってはならない。
11 だれでも、自分の魂の苦しみを嘲笑するな。謙虚にして高揚する者がいるからである。
12 あなたの兄弟に対して嘘をつかないようにしてください。 どちらもあなたの友人に同じことをしません。
13 いかなる嘘もつかないようにしてください。その習慣は良くないからです。
14 大勢の長老に対してはあまり言葉を使わず、祈るときはあまりしゃべりすぎないようにしてください。
15 いと高き方が定められた、骨の折れる仕事や牧畜を憎んではなりません。
16 大勢の罪人の中に自分を数えてはなりません。しかし、怒りは長くは続かないことを覚えていてください。
17 大いに謙虚になりなさい。不敬虔な者の復讐は火と虫だからです。
18 決して良いことのために友人を変えてはいけません。 オフィルの黄金の忠実な兄弟でもありません。
19 賢くて善良な女を捨ててはならない。彼女の恵みは金を超えているからである。
20 あなたのしもべが真に働くなら、彼を悪くしないでください。また、あなたのためにすべてを捧げる雇い人もしないでください。
21 あなたの魂は良い僕を愛し、彼の自由を騙してはならない。
22 あなたは牛を飼っていますか? それらに注意してください。そして、もしそれらがあなたの利益になるのであれば、それらをあなたの手元に置いておいてください。
23 あなたには子供がいますか? 彼らに指示し、若い頃から首を下げます。
24 あなたには娘がいますか? 彼らの体を気遣い、彼らに対して明るい態度を見せないでください。
25 あなたの娘と結婚してください。そうすればあなたは重大な事柄を遂行したことになるでしょう。しかし、彼女を理解のある人に渡してください。
26 あなたには、あなたの心に従う妻がいますか。 彼女を見捨てないでください。しかし、軽い女性に身を委ねないでください。
27 あなたの父を心から敬い、あなたの母の悲しみを忘れないでください。
28 あなたは彼らから生まれたことを思い出しなさい。そして、彼らがあなたのためにしてくれたことに対して、どうやって彼らに報いることができますか?
29 心を尽くして主を畏れ、主の祭司たちを畏れなさい。
30 力を尽くしてあなたを造った方を愛し、その臣下を見捨てないでください。
31 主を畏れ、祭司を敬え。 そして、あなたに命じられたとおりに、彼の分を彼に与えてください。 初穂、罪過のいけにえ、肩の賜物、聖別のいけにえ、聖なるものの初穂。
32 そして、あなたの祝福が完全になるように、あなたの手を貧しい人々に差し伸べてください。
33 賜物は、生きているすべての人の目に恵みをもたらします。 そして死者のためにそれを引き留めないでください。
34 泣く者たちとともにいて、悲しむ者たちとともに悲しんでください。
35 病人を見舞うのを怠ってはならない。そうすればあなたは愛されるようになる。
36 あなたが手に取るものは何であれ、終わりを覚えておきなさい、そしてあなたは決して間違ったことをしてはならない。

章 8

1 力ある者と争ってはいけない。彼の手に落ちないように。
2 金持ちと対立しないでください。金持ちがあなたを圧迫しないようにするためです。金は多くの人を滅ぼし、王たちの心を歪めました。
3 舌足らずな者と争ってはならない。また、その火に薪を積んではならない。
4 あなたの先祖の恥をかかないように、無礼な男に対して冗談を言わないでください。
5 罪から立ち直る者を非難してはなりません。私たちは皆、罰を受けるに値する者であることを忘れないでください。
6 年老いた人間を辱めてはいけません。
7 あなたの最大の敵が死んだことを喜ぶのではなく、私たちは皆死ぬということを忘れないでください。
8 賢い人の言説を軽蔑してはなりません。むしろ、彼らのことわざをよく知ってください。あなたはそれらのことわざから教えを学び、偉人に簡単に仕える方法を学ぶでしょう。
9 長老たちの話を見逃さないでください。彼らも自分たちの先祖について学びました。あなたは彼らから理解を学び、必要に応じて答えることを学ぶでしょう。
10 罪人の炭を焚いてはなりません。罪人の火の炎で焼かれてしまわないようにするためです。
11 有害な人の存在に怒って立ち上がってはなりません。その人があなたの言葉にあなたを陥れようと待ち伏せしないように。

12 あなたより強い者に貸してはなりません。 もしあなたが彼を貸したら、それを数えてください、しかし失われたからです。
13 自分の力を超えて保証人になってはなりません。もしあなたが保証人であるなら、注意してそれを払いなさい。
14 裁判官と一緒に法律を調べてはいけません。 彼らは彼の名誉に応じて彼に代わって裁くからである。
15 勇敢な男と一緒に道を歩まないでください。彼があなたを悲しませるかもしれません。彼は自分の意志どおりに行動するでしょう、そしてあなたは彼の愚かさによって彼と一緒に滅びるでしょう。
16 怒っている人と一緒に争ってはいけません。また、彼と一緒に人里離れた場所に行ってはいけません。彼の目には血は何もなく、助けのないところでは、彼はあなたを打ち倒すでしょう。
17 愚か者に相談するな。 なぜなら、彼は助言を守ることができないからである。
18 見知らぬ人の前で秘密のことをしてはならない。彼が何を生み出すかあなたには分からないからです。
19 あらゆる人に対して心を開いてはなりません。そうすれば、彼はあなたに抜け目ない態度で報いるでしょう。

章 9

1 あなたの懐の妻に対してねたみを抱いてはなりません。また、彼女にあなた自身に対する悪い教訓を教えてはいけません。
2 あなたの魂を女に与えて、あなたの本質に足を踏み入れさせないでください。
3 売春婦に会わないようにしなさい。彼女の罠にはまらないようにするためです。
4 歌手である女性とはあまり付き合ってはいけません。彼女の試みに騙されないように。
5 メイドを見つめてはいけません。彼女の大切なものに騙されないように。
6 あなたの魂を売春婦に与えてはなりません。そうすればあなたは相続財産を失わないようになります。
7 町の通りで周囲を見回してはならず、人里離れた場所をさまよいなさい。
8 美しい女から目をそらし、他人の美しさを見てはならない。 というのは、多くの人が女性の美しさに騙されてきたからです。 なぜなら、これによって愛が火のように燃え上がるからです。
9 他人の妻と決して一緒に座ってはならず、彼女を腕に抱いて座ってはなりません。また、彼女とぶどう酒を飲んでお金を使ってはいけません。 あなたの心が彼女に傾いて、あなたの欲望によって破滅に陥ることがないように。
10 古い友人を捨ててはいけません。 新しいものは彼に匹敵しないからです。新しい友人は新しいワインと同じです。 それが古くなったら、喜んで飲むだろう。
11 罪人の栄光を羨んではなりません。罪人の最後がどうなるかあなたは知らないからです。
12 不敬虔な者たちが喜ぶようなことを喜んではなりません。 しかし、彼らは罰を受けずに墓まで行くことはないことを覚えておいてください。
13 人を殺す力を持つ者からあなたを遠ざけなさい。だから、死の恐怖を疑ってはなりません。そして、もし彼のところに来るなら、彼があなたの命を今すぐ奪うことのないように、とがめをしてはなりません。あなたが罠の真っ只中にいること、そしてあなたが都市の胸壁の上を歩いていることを思い出してください。
14 できるだけ近くで、あなたの隣人のことを推測し、賢い人たちに相談しなさい。
15 あなたの話は賢い者たちとなされ、あなたのコミュニケーションはすべていと高き方の律法に基づいて行われなさい。
16 そして、正しい人々があなたと一緒に飲食をしなさい。 そして、主を恐れることのうちにあなたの栄光を現しましょう。
17 工匠の仕事は賞賛されるべきであり、民の賢明な統治者はそのスピーチで賞賛されるであろう。
18 舌の悪い人は、自分の町では危険です。 そして無謀に話す者は憎まれるであろう。

章 10

1 賢明な裁判官は民を教えます。 そして賢明な者の政府はよく秩序づけられている。
2 民の裁判官は彼自身であるように、その役人たちも同様である。 そしてその都市の支配者はどんな人間なのか、そこに住んでいる人たちはみなそのような人たちだ。
3 賢くない王は民を滅ぼす。 しかし、権威ある者たちの賢明さによって、その都市には人が住むことになるだろう。
4 地の力は主の手中にあり、やがて主は有益なものをその上に定められる。
5 人間の繁栄は神の手にあり、律法学者はその名誉を律法学者に託すであろう。
6 あらゆる悪事に対して隣人を憎んではなりません。そして有害な行為は一切行いません。
7 高慢は神と人の前で憎むべきものです。そして、その両方によって人は不法を犯します。
8 不正な取引、傷害、欺瞞によって得た富のせいで、王国はある民から別の民へと移り変わります。
9 土と灰はなぜ誇りに思っているのですか。 貪欲な人ほど邪悪なものはありません。そのような人は自分の魂を売りに出すからです。 なぜなら、生きている間、彼は腸を捨ててしまうからです。
10 医者は長い病気を断ち切る。 そして今日王である者は明日死ぬであろう。
11 というのは、人は死ぬと、這うもの、獣、虫などを受け継ぐからである。
12 高慢の始まりは、人が神から離れ、心が造り主から背を向けることです。

13 高慢は罪の始まりであり、それを持つ者は忌まわしいものを注ぎ出すであろう。そこで主は彼らに奇妙な災いをもたらし、彼らを完全に打ち倒された。
14 主は高慢な君主たちの王座を打ち捨て、彼らの代わりに柔和な者を立てられた。
15 主は高慢な諸国民の根を引き抜き、その代わりに身分の低い者たちを植えられた。
16 主は異邦の国々を打倒し、地の基まで滅ぼされた。
17 神は彼らのうちの何人かを奪い、滅ぼし、彼らの記念物を地上から消し去りました。
18 高慢は男性のために作られたものではなく、女性から生まれた男性のために激しい怒りを抱いたものでもありません。
19 主を恐れる者は確かな種であり、主を愛する者は立派な植物である。律法を無視する者は不名誉な種である。 戒めを破る者は欺瞞の種である。
20 兄弟たちの中で長である者は名誉ある者である。神の目に主を恐れる者たちも同様である。
21 主への畏れは権威を得る前に優先されますが、粗暴さと高ぶりは権威を失うことになります。
22 富んでいても、高貴であっても、貧乏であっても、彼らの栄光は主を畏れることである。
23 理解のある貧しい人を軽蔑するのはふさわしくない。 また、罪深い人間を誇大視するのは都合のよいことではない。
24 偉人、裁判官、権力者は栄誉を受けるであろう。しかし、主を畏れる者ほど偉大な者はいない。
25 知恵ある僕に対して、自由な者は奉仕をしなさい。知識のある者は、改心されても恨まないであろう。
26 自分の仕事をする上で、あまり賢くあってはならない。 苦難の時にも誇るな。
27 苦労してすべてのことに富む人は、自分を誇ってパンを欲しがる人にまさります。
28 わが子よ、柔和をもってあなたの魂に栄光を与え、その尊厳に応じてそれに誉れを与えてください。
29 自分の魂に対して罪を犯した者を誰が正当化するでしょうか。 自分の命を汚す者を誰が讃えられるだろうか?
30 貧しい人はその技能によって尊敬され、金持ちはその富によって尊敬される。
31 貧しくても誉められる者は、富んでいればなおさらだろうか。 そして、富において不名誉な者は、貧困においてはなおさらだろうか?

章 11

1 知恵は身分の低い者の頭を持ち上げ、偉人の中に座らせる。
2 人の美しさを褒めてはいけません。 男の外見を嫌ったりもしない。
3 ミツバチはハエの中でも小さいです。 しかし、彼女の果物は甘いものの長です。
4 あなたの衣服や衣服を誇ってはなりません。また、名誉の日に自分を高めてはなりません。主の業は素晴らしく、人々の間での彼の業は隠されているからです。
5 多くの王が地に座った。 そして、考えられなかった人が王冠をかぶっています。
6 多くの有力者が大きな恥をかかされてきた。 そして名誉ある者は他の者の手に渡された。
7 真実を調べる前に責めてはいけません。まず理解してから叱責してください。
8 原因を聞く前に答えてはいけません。また、人々の話の途中でさえぎってはいけません。
9 自分に関係のない事柄に力を注ぐな。 そして罪人とともに裁きの場に座ってはなりません。
10 わが子よ、多くのことに口を出してはいけません。あまり口を出しても、あなたは無実ではないからです。 そして、もしあなたが後を追っても、あなたは得られず、また、逃げて逃げてはならない。
11 苦労して、苦労して、急いでいるのに、なおさら遅れている人がいる。
12 また、足が遅く、助けが必要で、能力が欠けていて、貧困に満ちている人もいます。 しかし主の目は彼を善く見て、低い身分から彼を立ち上げた。
13 そして、苦しみから頭を上げた。 それでそれを見た多くの人が彼に驚嘆した。
14 繁栄も逆境も、生も死も、貧しさも富も、主から来る。
15 律法の知恵と知識と理解は主から出たものであり、愛と善行の道は主から出たものである。
16 過ちと暗闇は罪人とともに始まりました。そして悪はその中で栄光を放つ者たちとともに老いていきます。
17 主の賜物は敬虔な者たちにとどまり、その恵みはとこしえに繁栄をもたらす。
18 彼の警戒心とつねりによって富を得る者があり、これが彼の報酬の一部である。
19 彼はこう言いました。「私は休息を得たので、これからは自分の物を食べ続けるつもりです。」 しかし、自分にどんな時が来るのか、そして、それらのことを他人に任せて死ななければならないのかも、彼は知りません。
20 あなたの契約をしっかりと守り、それに精通し、あなたの仕事を年を重ねてください。
21 罪人の業に驚嘆してはなりません。 しかし、主を信頼し、自分の労働に耐えなさい。貧しい人を突然金持ちにするのは、主の目には簡単なことだからです。
22 主の祝福は敬虔な者への報いであり、神は突然その祝福を栄えさせます。
23 私の奉仕に何の益があるのかと言うな。 そしてこれからどんな良いことがあるのでしょうか?
24 もう一度言うが、「私は十分に持っているし、多くのものを持っている。それから、私は今後どんな悪いことをするだろうか」などとは言わないでください。
25 繁栄の日には、苦難の忘れがあり、苦難の日には、もはや繁栄の記憶はない。
26 なぜなら、主が死の日に人にその道に従って報いを与えることは容易なことだからである。

27 ひと時の苦しみは、人を快楽を忘れさせる。そして最後には、その行為が暴かれるであろう。
28 裁く人は死ぬ前に祝福された者はいない。人はその子らの中で知られるからである。
29 すべての人をあなたの家に連れて行ってはいけません。欺く人はたくさんの列車を持っているからです。
30 高ぶる者の心も、捕らえられて檻の中に入れられたヤマウズラのように、同じである。 そしてスパイのように、彼はあなたの転落を監視します。
31 なぜなら、彼は待ち構えており、善を悪に変え、賞賛に値する事柄においては、あなたを非難するからです。
32 火の粉から石炭の山が燃え上がり、罪深い男は血を待ちます。
33 いたずらをする人には気をつけなさい、彼は悪事を働くのです。 彼があなたに永遠のしみをもたらすことのないように。
34 見知らぬ人をあなたの家に迎え入れると、彼はあなたを妨害し、あなたを自分のものから追い出すでしょう。

章 12

1 あなたが良いことをしようとするとき、それを誰に対して行うのかを知ってください。 そうすれば、あなたはその恩恵に感謝されるでしょう。
2 敬虔な人に善を行えば、あなたは報いを得るであろう。 そして、たとえ彼からではなくても、いと高き方からのものです。
3 常に悪に夢中になっている人には、善は訪れませんし、施しを与えない人にも、良いことはあり得ません。
4 敬虔な人に与えなさい。罪人を助けてはいけません。
5 身分の低い者には善を行いなさい。しかし、不敬虔な者には与えてはなりません。パンを控えて、彼に与えてはなりません。そうすれば、彼があなたを支配するからです。そうでなければ、あなたは、あなたが持つすべての善に対して、二倍の悪を受けるでしょう。 彼にされたのです。
6 いと高き方は罪人を憎み、不敬虔な者たちに報復し、彼らをその懲罰の強力な日から守るからである。
7 善人に施しをし、罪人を助けてはならない。
8 繁栄の中で友人を知ることはできず、逆境の中で敵を隠すことはできません。
9 人の繁栄の時には、敵は悲しみ、逆境の時には、友さえも去ってしまう。
10 あなたの敵を決して信頼してはなりません。鉄が錆びるのと同じように、彼の悪も錆びるからです。
11 彼がへりくだって、うずくまりながらも、よく気をつけて彼に気をつけなさい。そうすれば、あなたはまるで鏡を拭くように彼に接し、彼のさびが完全にぬぐわれていないことを知るであろう。
12 彼をあなたのそばに置いてはなりません。そうしないと、彼があなたを打ち倒したときに、あなたの代わりに立ち上がるでしょう。 また、彼をあなたの右に座らせてはなりません。そうすれば彼があなたの席に座ろうとするでしょう、そしてあなたは最後に私の言葉を思い出して、それで刺されるでしょう。
13 蛇に噛まれた魔法使いや、野獣に近づく魔法使いをだれが憐れむでしょうか。
14 それでは、罪人のところに行って、その罪の中で汚されている者を、だれが憐れむでしょうか。
15 彼はしばらくの間、あなたのもとにとどまるだろうが、もしあなたが倒れ始めても、彼は留まらないだろう。
16 敵は口先では優しく語るが、心の中ではあなたを穴に投げ込む方法を想像している。目では涙を流すが、機会があれば血を流しても満足しない。
17 逆境があなたに降りかかるなら、あなたはまずそこに彼を見つけなければならない。 そして、彼はあなたを助けるふりをしていますが、それでもあなたを弱体化させるでしょう。
18 彼は頭を振り、手をたたき、ささやき、顔つきを変える。

章 13

1 ピッチに触れる者はそれで汚されるであろう。 そして、誇り高い人と交わる者は、その人と同じようになるであろう。
2 生きている間は自分の力以上の重荷を負わないでください。 そして、自分よりも強くて裕福な人と交わってはいけません。なぜなら、やかんと土の鍋が一緒にどのように一致するのでしょうか? なぜなら、一方が他方に打たれれば、それは壊れてしまうからです。
3 金持ちは悪いことをしたのに、脅迫します。貧しい人は不当な扱いを受けているので、彼も罰しなければなりません。
4 もしあなたが彼の利益のためなら、彼はあなたを利用するでしょう。しかし、あなたが何も持っていないなら、彼はあなたを見捨てるでしょう。
5 あなたが何か持っているなら、彼はあなたと一緒に暮らします。そうです、彼はあなたを裸にし、それを残念に思わないでしょう。
6 もし彼があなたを必要としているなら、彼はあなたを欺き、あなたに微笑みかけ、あなたに希望を与えるでしょう。 彼はあなたに公平に話し、こう言うでしょう、「あなたは何を望んでいますか？」
7 そして、彼は二度か三度あなたを干からびさせるまで、肉によってあなたを辱め、最後にはその後あなたを嘲笑してあなたを嘲笑し、あなたを見るとあなたを見捨て、あなたに首を振るでしょう。
8 欺かれたり、陽気な気持ちに打ちのめされたりしないように気をつけなさい。
9 もしあなたが有力者から招待されたなら、身を引いてください。そうすれば、彼はますますあなたを招待するでしょう。
10 押し戻されないように、彼に押し付けないでください。 忘れられないように、遠くないところに立ってください。

11 話で彼と同等にされないようにし、彼の多くの言葉を信じてはなりません。なぜなら、彼は多くのコミュニケーションであなたを誘惑し、あなたに微笑みかけるとあなたの秘密が暴かれるからです。
12 しかし、彼は残酷にもあなたの言葉を無効にし、あなたを傷つけ、あなたを牢獄に入れることを惜しまないでしょう。
13 よく観察し、よく注意しなさい。あなたは打倒の危険を冒して歩いているのだから。これらのことを聞いたら、眠りから目覚めなさい。
14 生涯を通じて主を愛し、あなたの救いを求めてください。
15 すべての獣は自分と同じものを愛し、すべての人は隣人を愛します。
16 すべての肉は種類に応じて交わり、人は自分の同類のものに固執する。
17 オオカミは子羊とどんな交わりを持っていますか。罪人も敬虔な者と同じです。
18 ハイエナと犬の間にはどのような合意がありますか? そして金持ちと貧乏人の間の平和とは何でしょうか?
19 野ろばが荒野で獅子の獲物であるように、富める者は貧しい者を食い尽くす。
20 高慢な人が謙虚さを憎むように、金持ちも貧しい人を憎みます。
21 落ち始めた金持ちは友人たちに支えられるが、貧しい人は落ち込んでいると友人たちに突き飛ばされる。
22 金持ちが倒れても、彼には多くの助け手がいる。彼は言ってはいけないことを言うのに、人々は彼を正当化する。貧しい人はつまずいたのに、彼らも彼を叱責した。 彼は賢明に話したので、居場所がありませんでした。
23 金持ちが話すとき、人は皆、口を閉ざし、見よ、彼の言うことを雲に向かって称賛する。しかし、貧しい人が話すと、「この人は何者だ」と言う。 そしてもし彼がつまずいたら、彼らは彼を倒すのを助けるだろう。
24 罪のない者にとって富は善であり、不敬虔な者の口では貧困は悪である。
25 人の心は、それが善であろうと悪であろうと、その顔を変える。そして、陽気な心は陽気な顔を作る。
26 明るい顔は、心が豊かであることのしるしです。そして、たとえ話から見つけ出すのは疲れる精神労働です。

章 14

1 口を滑らせず、多くの罪を犯さない人は幸いです。
2 良心が自分を罪に定めず、主への希望から落ちなかった人は幸いです。
3 富は黒人にとって美しくありません。そして、妬み深い人はお金をどうすべきでしょうか。
4 自分の魂をだまして集まる者は、他人のために集まり、自分の財産を乱暴に使います。
5 自分に悪をなす者が、誰に善をなすのか。 彼は自分の財産に喜びを感じてはならない。
6 自分をねたむ人ほど悪い人はいません。 そしてこれは彼の悪事の報いである。
7 そして、もし善いことをするなら、彼は嫌々それをするのです。 そして最後に彼は自分の悪を宣言するでしょう。
8 ねたむ人は邪悪な目を持っています。 彼は顔をそむけ、人間を軽蔑する。
9 貪欲な者の目は自分の分に満足しない。 そして悪人の咎は彼の魂を枯渇させる。
10 邪悪な目は彼のパンを妬み、彼は食卓でニガーとなる。
11 わが子よ、自分の能力に応じて自分に良いことをし、しかるべき捧げ物を主にささげなさい。
12 死はそう遠くないこと、墓の契約はあなたに示されないことを覚えておきなさい。
13 死ぬ前にあなたの友人に善を行い、あなたの能力に応じて手を差し伸べて彼に与えてください。
14 良い日をだましてはいけません。また、良い欲望の一部があなたを圧倒してはならない。
15 自分の苦しみを他人に任せてはいけないのか。 そしてあなたの労働はくじ引きで分配されるべきですか?
16 あなたの魂を与え、受け取り、聖別してください。というのは、墓には贅沢を求めることはないからである。
17 すべての肉体は衣のように老いていく。初めからの契約は、「汝は死を遂げる」であるからである。
18 太い木の緑の葉のように、あるものは落ち、あるものは成長します。 肉と血の世代も同様で、一つが終わりを迎え、また別のものが生まれます。
19 すべての仕事は腐って消耗し、その労働者は共に歩むことになる。
20 知恵によって善いことを思い巡らせ、理解力によって聖なる事柄を推論する人は幸いである。
21 彼女の道を心の中で考える者は、彼女の秘密も理解できるであろう。
22 跡を追う者のように彼女を追って行き、彼女の道で待ち伏せしなさい。
23 彼女の窓で説教する者は、彼女の戸口でも聞くであろう。
24 彼女の家の近くに泊まる者は、彼女の壁にピンを留めなければならない。
25 彼は彼女の近くに天幕を張り、良いことのある宿舎に泊まるであろう。
26 彼は子供たちを彼女の隠れ家の下に置き、彼女の枝の下に泊まるであろう。
27 彼女によって彼は熱から覆われ、彼女の栄光の中に住むでしょう。

章 15

1 主を畏れる者は善を行い、律法の知識を持つ者は彼女を得るであろう。

2 そして、彼女は母親として彼に会い、処女と結婚した妻として彼を迎えます。
3 彼女は理解のパンで彼を養い、知恵の水を彼に飲ませよう。
4 彼は彼女の上に留まり、動かされることはない。そして彼女に依存し、混乱しないであろう。
5 彼女は彼を隣人よりも高く評価し、会衆の真ん中で彼の口を開くであろう。
6 彼は喜びと喜びの冠を見つけ、彼女は彼に永遠の名を受け継がせるだろう。
7 しかし、愚かな人々は彼女に到達することができず、罪人は彼女を見ることができない。
8 彼女は高慢とはほど遠く、嘘をつく人々は彼女のことを覚えていないからです。
9 賛美は罪人の口にあるようには見えません。それは主から彼に送られたものではないからです。
10 賛美は知恵によって語られ、主はそれを栄えさせてくださるからである。
11 あなたは言わないでください、「私が落ちたのは主のおかげです。主が憎むことをあなたはすべきではないからです。」
12「神が私に過ちを犯させたのだ、と言ってはならない。神は罪深い人間を必要としないからだ。」
13 主はあらゆる忌まわしいものを憎まれる。そして神を恐れる者は神を愛さない。
14 神は初めから人を造り、自分の助言者の手に委ねた。
15 あなたが望むなら、戒めを守り、受け入れられる忠実さを実行してください。
16 彼はあなたの前に火と水を放ちました。あなたが望むかどうかにあなたの手を差し伸べてください。
17 人間の前には生と死がある。そして彼が好むかどうかは彼に与えられるでしょう。
18 主の知恵は大きく、力も強く、すべてのものを見ておられるからである。
19 そして彼の目は彼を恐れる者たちに注がれており、彼は人間の働きをすべて知っている。
20 神は、だれにも悪を行うよう命じておらず、また、だれにも罪を犯す許可を与えておられません。

章 16

1 利益のない子供をたくさん産むことを望んではならず、不敬虔な息子を喜ぶこともありません。
2 たとえ彼らが増えても、主を恐れる者が彼らと共にあるのでなければ、それを喜んではいけない。
3 彼らの命を信頼してはなりません。また、彼らの群衆を尊重してはいけません。正しい者は千人よりも優れているからです。そして、不敬虔な子供を持つよりも、子供なしで死ぬほうが良いのです。
4 というのは、理解ある者によって都市は補充されるであろうが、悪しき者の一族は急速に荒廃するであろう。
5 私はそのような多くのことを自分の目で見、私の耳はこれらよりも素晴らしいことを聞いてきました。
6 不敬虔な者の会衆には火がともされるであろう。そして反逆的な国民では怒りが燃え上がる。
7 イエスは、愚かさのあまりに倒れた年老いた巨人たちに対して平穏ではなかった。
8 ロトが滞在していた場所にも彼を容赦せず、彼らの高慢さを憎んだ。
9 彼は、罪の中に取り去られた滅びの民を憐れみませんでした。
10 かたくなな心で集まった歩兵六十万人もまたそうであった。
11 そして、もし民の中に、かたくなになった人がいるなら、その人が罰されずに逃げられるとしたら、それは驚くべきことである。憐れみと怒りが彼とともにあるからである。彼は赦すことも、不満を吐き出すこともできる強者です。
12 その憐れみが大きいように、その矯正もまた大きい。彼は自分の行いに応じて人を裁く。
13 罪人は戦利品を持って逃げてはならない。敬虔な者の忍耐は挫折しない。
14 あらゆる慈悲の業に道を譲ってください。人はみな、自分の業に従って見つけ出すからです。
15 主はファラオをかたくなにして、パロに知られることがないよう、またその力強い業が世に知られるようにされた。
16 神の憐れみはあらゆる被造物に表れます。そして彼は毅然とした態度で自分の光を闇から切り離しました。
17 あなたは言わないでください、私は主から身を隠します。上から私を覚えている人はいますか? 私はこれほど多くの人々の中に記憶されることはないでしょう。なぜなら、これほど無限の生き物の中で私の魂は何なのでしょうか?
18 見よ、彼が訪れるとき、天と天の天、深淵と地とその中にあるすべてのものは、動かされるであろう。
19 主が彼らを見つめられると、山々も地の基も震える。
20 これらのことを正しく考える心はありません。誰が自分の道を思いつくことができますか。
21 それは誰にも見ることができない嵐である。彼の作品の大部分は隠されているからである。
22 誰が自分の正義の行いを宣言できるでしょうか。あるいは誰がそれに耐えられるでしょうか? なぜなら、彼の契約は遠く離れており、万物の試練は終わりに近づいているからである。
23 悟りを求める者はむなしいことを考える、愚かな者は愚かなことを考える。
24 わが子よ、わたしの言うことを聞いて知識を学び、わたしの言葉を心に留めてください。
25 わたしは教義を重く明らかにし、その知識を正確に宣言する。
26 主の御業は初めから裁きによって行われ、主はそれを造られた時からその部分を処分された。
27 彼は自分の作品をとこしえに飾り、その手の中には世々の作品のかしらがいる。彼らは労苦することも、疲れることも、仕事をやめることもない。

28 彼らはだれも他の者を妨げず、決して神の言葉に背いてはなりません。
29 この後、主は地をご覧になり、それを祝福で満たされた。
30 彼はあらゆる種類の生き物でその顔を覆った。 そして彼らは再びそこに戻るでしょう。

章 17

1 主は人を土から創造し、再び土に変えられた。
2 神は彼らに数日と短い時間を与え、またその中の物事を管理する権限も与えた。
3 神は自ら力をもって彼らに耐え、ご自分の似姿にしたがって彼らを造られました。
4 そしてすべての肉なる者に人間への恐れを与え、彼に獣と鳥を支配させた。
5 彼らは主の五つの働きを受け入れ、第六に主は彼らに理解を与え、第七にその思索の通訳を与えられた。
6 助言と舌と目と耳と心によって、彼は理解できるようになった。
7 彼は彼らに理解の知識を与え、善と悪を示した。
8 イエスは、ご自分の業の偉大さを彼らに知らせるために、彼らの心に目を留められた。
9 神は彼らにその驚くべき業の栄光をとこしえに与えて、彼らが理解をもって御自分の業を宣べ伝えられるようにされた。
10 そして選ばれた者はその聖なる御名を讃美するであろう。
11 これに加えて、彼は彼らに知識と、世襲としての生命の法則を与えた。
12 彼は彼らと永遠の契約を結び、彼らに裁きを示した。
13 彼らの目は彼の栄光の威厳を見て、彼らの耳は彼の栄光の声を聞いた。
14 そこでイエスは彼らに言った、「あらゆる不義に気をつけなさい。 そして彼はすべての人に隣人に関する戒めを与えた。
15 彼らの道は常に神の前にあり、神の目から隠されることはありません。
16 人は皆、若い時から悪に染まります。 また、石を求めて肉の心を自分のものにすることもできませんでした。
17 なぜなら、神は全世界の諸国民を分割する際に、すべての民の上に統治者を立てたからである。 しかしイスラエルは主の分け前です。
18 長子である彼は、懲らしめによって養い、愛の光を与えて彼を見捨てません。
19 それゆえ、彼らの業はすべて神の前にある太陽のようであり、神の目は絶えず彼らの道に注がれている。
20 彼らの不義の行いは何一つ主に隠されず、彼らの罪はすべて主の前にある。
21 しかし、主は慈悲深く、ご自分のわざを知っておられたので、彼らを見捨てず、見捨てず、赦してくださった。
22 人の施しはその人にとっての印のようなものであり、その人は人の善行を目に見えるものとして守り、自分の息子や娘たちに悔い改めを与えるであろう。
23 その後、彼は立ち上がって彼らに報いを与え、彼らの頭に報いを与えるであろう。
24 しかし、悔い改める者たちには立ち返らせ、忍耐を怠った者たちを慰められた。
25 主に立ち帰り、自分の罪を捨て、主の御前で祈りを捧げ、罪を犯すことを減らしなさい。
26 再びいと高き方に立ち返り、不法行為から離れなさい。主はあなたを暗闇から健康の光に導き、あなたの忌まわしいことを激しく憎むからである。
27 生きて感謝する者の代わりに、だれが墓の中でいと高き方をほめたたえられるでしょうか。
28 感謝の気持ちは、死んだ者から消えるのと同じように、死んだ者からも消え去る。生きていて心の健全な者は、主を讃美するであろう。
29 私たちの神、主の慈愛と、聖なる者に立ち向かう者に対する主の憐れみは、なんと偉大なことでしょう。
30 人の子は不滅ではないので、すべてのものは人の中に存在することはできません。
31 太陽より明るいものは何ですか? それでもその光は消えます。 そして肉と血は悪を想像するでしょう。
32 彼は天の高みの力をご覧になる。 そして人間はみな土と灰にすぎない。

章 18

1 永遠に生きる者は、万物全般を創造されました。
2 主だけが義であり、主のほかに誰もいない。
3 彼は手のひらで世界を統治し、すべてのものは彼の意志に従います。彼はすべての王であり、その力によって彼らの間で聖なるものと世俗的なものを分けます。
4 神は自分の行いを宣言する権限を誰に与えたのでしょうか。 そして誰が彼の崇高な行為を発見するでしょうか?
5 誰がその陛下の強さを数えるのでしょうか? 誰が彼の慈悲を伝えるでしょうか?
6 主の不思議な御業に関しては、何も奪われてはならず、何かが与えられてもならず、その根拠が見出されることもできない。
7 人は何かを成し遂げたら、それから始める。 そして彼が立ち去るとき、彼は疑うでしょう。
8 人間とは何ですか、そしてどこに仕えるのでしょうか。 彼の善は何で、彼の悪は何でしょうか?
9 人間の寿命は長くても百年である。
10 海に注ぐ一滴の水、砂に比べれば砂利のようです。千年も永遠の日も同様です。
11 それゆえ、神は彼らに対して忍耐強く、彼らに憐れみを注いでくださるのです。
12 彼は彼らの結末を見て、悪であると認識した。 したがって、彼は同情心をさらに深めました。
13 人間の憐れみは隣人に対するものです。 しかし、主の憐れみはすべての肉なる者の上にあり、主は羊

の群れを牧する者のように、叱責し、育て、教え、再び連れ戻してくださいます。
14 神は懲らしめを受け、熱心に神の裁きを求める者たちを憐れんでくださる。
15 わが子よ、あなたの善行を汚してはいけません。何かを与えるときに不快な言葉を使ってはいけません。
16 露が暑さを和らげるのではないか。 ですから、言葉は贈り物よりも優れています。
17 ああ、言葉は贈り物よりも優れているのではないだろうか。 しかし、どちらも親切な人と一緒にいます。
18 愚か者は無礼に罵り、ねたむ者の賜物は目をむしばむ。
19 話す前に学び、物理的な言葉を使い、そうでなければ病気になる前に学びなさい。
20 裁きの前に、汝自身を吟味せよ。そうすれば、訪問の日に汝は慈悲を得るであろう。
21 病気になる前に謙虚になり、罪の時には悔い改めなさい。
22 期限内にその誓いを果たせるよう、何事も妨げてはならない。そして、正当化される死まで延期してはならない。
23 祈る前に、備えをしなさい。 主を誘惑する者になってはいけません。
24 終わりの時に起こる怒りと、彼が顔を背ける復讐の時を考えなさい。
25 十分な余裕があるときは、飢えのときのことを思い出しなさい。そして、あなたが金持ちになったら、貧困と困窮について考えなさい。
26 朝から夕方まで、時間が変わり、すべてのことはすぐに主の前で行われます。
27 賢い人はあらゆることを恐れ、罪を犯した日には罪を警戒するが、愚者は時間を守らない。
28 理解のある人はみな知恵を知っており、彼女を見つけた人を称賛するでしょう。
29 言葉に理解のある者たちは、自らも賢くなり、精緻なたとえを流した。
30 情欲を追い求めず、食欲を抑制しなさい。
31 もしあなたが彼女を喜ばせる欲望を自分の魂に与えるなら、彼女はあなたを中傷するあなたの敵の笑い物にするでしょう。
32 あまり良い気分で喜んではいけません。また、その出費に縛られてもなりません。
33 財布の中に何も持っていないのに、借金して宴会をして物乞いになってはなりません。あなたは自分の命を待ちながら、話しかけられるからです。

章 19

1 A が酔っぱらって働いている人は、金持ちにはなれない。小さなことを軽視する人は、少しずつ落ちていくだろう。
2 酒と女は理解のある男を離れさせるだろう、そして売春婦に固執する者は厚かましくなるであろう。
3 蛾や虫がその人を相続地とし、勇敢な人は連れ去られるであろう。
4 性急に功績をあげようとする者は軽率である。 そして罪を犯した者は自分の魂に対して罪を犯すことになる。
5 悪を楽しむ者は罪に定められますが、快楽に抵抗する者は自分の人生に栄冠をもたらします。
6 自分の舌を治めることができる人は争いなく生きることができる。 そして、せせらぎを嫌う者には悪が少なくなるだろう。
7 あなたに言われたことを他の人にリハーサルしてはいけません。そうすれば、あなたは決して悪いことをしないでしょう。
8 友人であろうと敵であろうと、他人の人生について話してはなりません。 そして、もし気分を害さずにできるなら、それらを明らかにしないでください。
9 彼はあなたのことを聞き、観察したので、時が来ればあなたを憎むでしょう。
10 もし言葉を聞いたのなら、それもあなたとともに死なせてください。 そして大胆になれ、それであなたは破裂することはありません。
11 愚か者は、子どもを産む女のように、言葉を苦しめる。
12 人の太ももに矢が刺さるように、愚か者の腹にある言葉も同様である。
13 友人に、その人はしていないかもしれないが、もしそうしたのであれば、それ以上はしないようにと忠告しなさい。
14 あなたの友人に、そのことを言っていないかもしれないし、もし言っているのなら、二度とそのことを言わないようにと忠告しなさい。
15 友人に忠告してください。多くの場合、それは中傷であり、すべての話を信じるわけではありません。
16 彼の言葉が滑稽だが、心からではない人がいる。舌で気分を害さなかった者がいるでしょうか?
17 隣人を脅す前に、警告しなさい。 そして怒らずに、いと高き律法に身を委ねなさい。
18 主を恐れることは主に受け入れられるための第一歩であり、知恵は主の愛を得る。
19 主の戒めを知ることは人生の教えである。そして主に喜ばれることをする者は不滅の木の実を受けるであろう。
20 主を畏れることはすべての知恵である。 そしてあらゆる知恵のうちには、律法の遂行と神の全能性の知識が含まれる。
21 しもべが主人に言ったとしても、わたしはあなたの思いどおりにはしません。 しかし、その後、彼は自分を養ってくれた人を怒らせます。
22 悪についての知識は知恵ではなく、罪人の助言はいかなる場合でも賢明ではありません。
23 悪もあれば、忌まわしいこともある。 そして知恵に欠けている愚か者がいる。
24 理解力が乏しく、神を畏れる者は、知恵が多く、いと高き者の律法を犯す者よりも優れている。

25 絶妙な微妙さがあるが、それは不当である。 そして、判断を下すために脇を向く人もいます。 そして裁きにおいて正当化する賢者がいる。
26 悲しそうにうなだれる悪人がいる。 しかし内心は欺瞞に満ちており、
27 顔を伏せて、まるで聞こえていないかのようにしている。彼が知られていないところでは、あなたが気づかないうちに、あなたに悪戯をするであろう。
28 そして、権力の欠如のために罪を犯すことが妨げられているとしても、機会を見つけると悪を行うでしょう。
29 あなたがその人に会うと、その人はその外見でわかるかもしれないし、その人はその顔つきで理解できるかもしれない。
30 男の服装、過度の笑い声、歩き方は、その人が何であるかを示す。

章 20

1 美しくない叱責があります。また、ある人は口を閉ざしますが、彼は賢いのです。
2 ひそかに怒るよりも、叱責するほうがはるかに良い。自分の非を告白する者は、傷つけられることはない。
3 あなたが叱責されたとき、悔い改めを示すのは、なんと良いことでしょう。 そうすればあなたは故意の罪から逃れられるからです。
4 宦官が処女を破棄したいという欲望も同様である。暴力によって裁きを執行する者も同様である。
5 沈黙を守り、賢いと思われる者もいるが、喃語を多くすることで憎しみを抱く者もいる。
6 答えられないからといって口を閉ざす人もいるし、時を承知で沈黙を守る人もいる。
7 賢い人は機会が来るまで口を閉ざすが、おしゃべりや愚か者は時間を気にしない。
8 言葉を多く使う者は忌み嫌われる。 そしてその権威を独り占めする者は憎まれるであろう。
9 悪事を働いて成功を収めた罪人がいます。 そして、損失に変わる利益もあります。
10 あなたに利益をもたらさない贈り物があります。そして、その見返りが 2 倍になる贈り物もあります。
11 栄光のゆえに卑劣なことがあります。 そして、低い地所から頭を上げている人がいます。
12 少しのお金で多くのものを買って、七倍にして返す人もいます。
13 賢者は言葉によって愛されるが、愚か者の恵みは注がれる。
14 愚か者の賜物は、あなたがそれを持っても、何の役にも立ちません。 彼は自分の必要性を羨ましがったりはまだしていません。
15 彼は少ししか与えず、多くを非難します。 彼は叫び声のように口を開きます。 今日彼は貸し、明日には再びそれを求めるだろう。そのような者は神からも人からも憎まれるだろう。
16 愚か者は、「わたしには友達がいない、わたしのあらゆる善行に感謝することもない、そしてわたしのパンを食べる人たちがわたしの悪口を言う。」と言いました。
17 彼はどれほど頻繁に、どれほど多くの人に嘲笑されるだろう。 なぜなら、彼は何を持っているのかを正しく知らないからである。 そして、それは彼にとって、あたかもそれがなかったかのように、すべて一つです。
18 歩道で滑るのは、舌で滑るよりもよい。だから、悪しき者の堕落は速やかに来るであろう。
19 季節外れの物語は常に思慮のない者の口にある。
20 賢明な判決は、愚か者の口から出た場合には拒否される。 なぜなら、彼はやがてそれを話さないからである。
21 欠乏によって罪を犯すのを妨げられる者がいる。その者は休むとき、悩むことはない。
22 内気な態度によって自分の魂を破壊し、人を受け入れることによって自分自身を打ち破る者がいる。
23 恥ずかしがって友人に約束し、ただで彼を敵にするということがある。
24 嘘は人間の汚点であるが、教えられていない人の口には絶えずある。
25 盗人は嘘に慣れている人より優れています。しかし、どちらも遺産を破壊されるでしょう。
26 嘘つきの性質は不名誉であり、その恥は常に彼に付きまとう。
27 賢い人は自分の言葉で誉れを高めよう。理解力のある人は偉い人たちを喜ばせるだろう。
28 自分の土地を耕す者はその山を増し、偉人を喜ばせる者は咎を赦されるであろう。
29 贈り物や賜物は賢い者の目を盲くし、その口を塞ぐので、彼はとがめられない。
30 隠された知恵と蓄えられた宝、両者に何の益があるだろうか。
31 自分の知恵を隠す人よりも、愚かさを隠す人の方がよい。
32 主を求める必要な忍耐は、導きのない人生を送る人よりも優れています。

章 21

1 わが子よ、あなたは罪を犯したのですか。 もうそうしないで、以前の罪の許しを求めてください。
2 蛇の顔から逃げるように、罪から逃げなさい。もしあなたがそれに近づきすぎると、蛇はあなたを噛むでしょう。その歯はライオンの歯のようで、人々の魂を殺します。
3 すべての不義は両刃の剣のようなもので、その傷は癒されません。
4 恐れを抱き、悪を行うことは富を浪費するであろう。こうして高慢な人たちの家は荒廃するであろう。
5 貧しい人の口から出る祈りは神の耳に届き、神の裁きは速やかに下されます。
6 戒められることを嫌う者は罪人の道をたどります。しかし、主を恐れる者は心から悔い改めます。
7 雄弁な人は遠くも近くも知られている。 しかし、理解のある人は、自分がいつ滑るかを知っています。

8 他人の金で自分の家を建てる者は、自分の埋葬の墓のために石を集める者のようなものである。
9 悪しき者の会衆は、束ねられたトウのようなものである。そして、彼らの最後には、彼らを滅ぼす火の炎がある。
10 罪人の道は石で平らにされていますが、その終わりには地獄の穴があります。
11 主の律法を守る者はそれを理解し、主を畏れることを完全にするのは知恵である。
12 知恵のない者は教えられない。しかし、苦しみを増大させる知恵がある。
13 賢者の知識は洪水のように溢れ、その助言は清らかな命の泉のようである。
14 愚か者の内面は壊れた器のようなもので、生きている限り何も知らない。
15 有能な人は、賢明な言葉を聞くと、それを褒め、それに付け加えますが、無知な人がそれを聞くとすぐに不快になり、それを後ろ手に投げます。
16 愚か者の語ることは、道の重荷のようなものである。しかし、知恵ある者のくちびるには恵みが与えられる。
17 彼らは会衆の賢者の口を尋ね、その言葉を心の中で熟考するであろう。
18 家が滅ぼされるのと同じように、愚かな人の知恵も同様である。知恵のない者の知識は分別のない話のようなものである。
19 愚か者に対する教えは足かせのようなもの、右手の手枷のようなものである。
20 愚か者は声を上げて笑う。 しかし賢い人はほとんど笑わない。
21 賢者にとって、学問は金の装飾品であり、右腕の腕輪のようなものである。
22 愚かな人はすぐに隣の家に足を踏み入れます。しかし、経験のある人は彼を恥じます。
23 愚か者は家の戸をのぞき見るが、よく養われた者は外に立っている。
24 戸口で聞くのは人の無礼である。しかし、賢い人はその恥辱に悲しむであろう。
25 話す人の口は、自分に関係のないことを話しますが、理解力のある人の言葉は天秤にかけられます。
26 愚か者の心は口にあり、賢者の口は心にある。
27 不敬虔な者がサタンを呪うとき、彼は自分の魂を呪うのです。
28 ささやく者は自分の魂を汚し、どこに住んでいても憎まれる。

章 22

1 怠け者は不潔な石に例えられ、誰もが彼を罵って恥をかかせるでしょう。
2 怠け者は糞場の汚物にたとえられます。それを拾う者は皆、握手するでしょう。
3 邪悪に育った男は、彼を生んだ父親の不名誉であり、愚かな娘が彼の喪失のために生まれます。
4 賢い娘は夫に相続財産をもたらすであろう。しかし不正直に生きる彼女は父親の重荷である。
5 大胆な女は父親にも夫にも不名誉を与えるが、二人とも彼女を軽蔑するであろう。
6 季節外れの物語は、悲しみの音楽のようなものですが、ストライプと知恵の修正は決して時代遅れではありません。
7 愚か者に教える者は、陶器の破片を接着する者と同じであり、熟睡した者を目覚めさせる者と同じである。
8 愚か者に物語を語る者は、まどろみの者に語る。自分の物語を語った後、彼は言うだろう、「どうしたの？」
9 子供が正直に生き、資力があるなら、親の卑劣さをカバーするだろう。
10 しかし、子供たちは高慢であり、軽蔑と養育の欠如によって、彼らの親族の高貴さを汚します。
11 死者のために泣きなさい、彼は光を失ったからです。そして愚か者のために泣きます、彼は理解を望んでいます。死者のために泣くことはほとんどありません、彼は安らかです。しかし愚か者の命は死よりも悪いです。
12 人々は死んだ人のために七日間嘆き悲しむ。 しかし、生涯を通じて愚かで不敬虔な男として。
13 愚か者とは多くを語ってはいけない。理解力のない者のところに行ってはいけない。彼に気をつけなさい。あなたはトラブルに巻き込まれないように。あなたは決して彼の愚かさで汚されてはならない。彼から離れなさい。そうすればあなたは安らぎを得ることができ、決して死ぬことはない。 狂気に不安になった。
14 鉛より重いものは何ですか? 愚か者以外の名前は何ですか?
15 砂と塩と鉄の塊は、理解のない人よりも耐えるのが簡単です。
16 建物の中で張り巡らされて結びつけられた木材が揺れても解けないように、助言によって堅固になった心は、決して恐れることはない。
17 理解しようという考えに落ち着いた心は、ギャラリーの壁に貼られた美しい装飾のようなものです。
18 高いところに置かれた兵士は、決して風に逆らうことはできない。同じように、愚か者の空想の中にある恐ろしい心は、いかなる恐怖にも耐えることができない。
19 目を刺す者は涙を流す。心を刺す者は彼女の知識を示そうとする。
20 鳥に石を投げる者は鳥をほぐす。友人を非難する者は友情を壊す。
21 あなたは友人に剣を抜きましたが、それでも絶望しないでください。好意が戻ってくるかもしれないからです。
22 もしあなたが友人に対して口を開いたとしても、恐れることはありません。 なぜなら、中傷、プライド、秘密の暴露、または危険な傷を除いて、和解はあるかもしれないからです。なぜなら、これらのことで、すべての友人は去ってしまうからです。
23 隣人の繁栄を喜ぶために、隣人に忠実でありなさい。彼の苦難の時に忠実でありなさい。そうすれば、

あなたも彼の遺産を彼とともに相続することができます。卑劣な財産が常に非難されるわけではないからです：賞賛されるのが愚かな金持ちも同様です。
24 かまどから出る蒸気と煙が火の前に出ていくように。血の前でとても罵倒します。
25 私は友人を弁護することを恥じません。私も彼から身を隠すつもりはありません。
26 そして、もし彼によって何か悪いことが私に起こるなら、それを聞く者は皆、彼に注意するでしょう。
27 だれがわたしの口の前に見張りをし、わたしの唇に知恵の印を立てて、わたしが突然彼らに倒れないように、またわたしの舌がわたしを滅ぼさないようにすることができるでしょうか。

章 23

1 おお主よ、私の生涯の父であり総督よ、私を彼らの勧告に任せないでください、そして彼らに屈しないでください。
2 だれがわたしの考えに災いを与え、わたしの心に知恵の訓練を課すでしょうか。私の無知のために彼らが私を赦さないように、そしてそれが私の罪によって過ぎ去らないように。
3 私の無知が増し、私の罪が増えて滅び、私が敵対者の前に倒れ、私の敵があなたの慈悲から遠く離れた希望を持って私を喜ぶことがないように。
4 主よ、私の人生の父であり神よ、私に高慢な視線を向けず、常に高慢な心をあなたの僕たちから遠ざけてください。
5 むなしい希望と情欲をわたしから遠ざけなさい。そうすれば、あなたはいつもあなたに仕えることを望んでいる彼を支えなければなりません。
6 腹の貪欲や肉の欲望に囚われないでください。そしてあなたのしもべを厚かましい心に私に渡さないでください。
7 聞け、子供たちよ、口の規律を守る者は決して口に入れられない。
8 罪人は愚かなままに残され、悪口を言う者も高慢な者もそれによって倒れる。
9 あなたの口を悪口に慣れさせてはなりません。どちらも聖なる者の名前に自分自身を使用しないでください。
10 しもべとして、絶えず打たれ続ける者には、青い印がないはずがない。同様に、絶えず神を誓い、神に名を連ねる者には、無罪はないはずである。
11 悪口を多く使う人は咎に満ち、疫病がその家から出ることはありません。もし彼が罪を犯したなら、その罪はその人に課せられます。そして、もし彼が自分の罪を認めなければ、その人は二重の罪を犯すことになります。もしその誓いが無駄であれば、彼は無実ではないが、彼の家は災難に満ちるだろう。
12 死の衣をまとった言葉があります。神よ、ヤコブの遺産の中にそれが見出されないようにしてください。というのは、そのようなものはすべて敬虔なものから遠く離れており、罪に溺れることはないからである。
13 あなたの口を使って節度のない罵りをしてはならない。そこには罪の言葉があるからである。
14 偉い人たちの中に座っているときは、あなたの父と母のことを思い出してください。彼らの前で忘れてはならない。そうすれば、あなたは習慣に従って愚か者となり、生まれなければよかったと願い、彼らの降誕の日を呪うだろう。
15 不当な言葉に慣れている人は、一生改心することはありません。
16 二種類の人間は罪を増大させ、三番目は怒りをもたらす。熱い心は燃え盛る火のようで、焼き尽くされるまで決して消えることはない。肉の淫行者は、火を燃やすまで決して止まない。火。
17 売春婦にとってパンはどれも甘いので、死ぬまで食べないでしょう。
18 婚姻を破棄し、心の中でこう言いながら、「誰が私を見るのか」という男がいる。私は暗闇に取り囲まれ、壁が私を覆い、誰も私を見ません。何を恐れる必要があるのでしょうか？ いと高き方は私の罪を覚えておられないでしょう。
19 このような人は人の目を恐れるだけで、主の目は太陽よりも一万倍も明るく、人のあらゆる道を見、最も秘密の部分を考慮していることを知りません。
20 神はすべてのものを創造される前から知っていました。同じように、彼らが完成された後も、彼はそれらすべてを見つめました。
21 この男は町の街頭で罰せられ、疑わないところでは連行されるであろう。
22 夫を捨てて、他人から相続人を迎え入れた妻も、同様である。
23 第一に、彼女はいと高き者の律法に従わなかった。そして第二に、彼女は自分の夫に対して不法行為を行った。そして第三に、彼女は姦淫の売春婦を演じ、別の男によって子供を連れてきました。
24 彼女は会衆に連れ出され、彼女の子供たちに対して尋問が行われるであろう。
25 その子らは根を張らず、その枝は実を結ばない。
26 彼女はその記憶を呪われるままに残し、その非難は消え去ることはない。
27 そして生き残った者たちは、主を畏れること以上に素晴らしいことはなく、主の戒めを守ることほど素晴らしいことはないことを知るであろう。
28 主に従うことは大きな栄光であり、主に受け入れられることは長寿である。

章 24

1 知恵は自らを讃え、民の中で栄光を現わすであろう。
2 いと高き方の会衆の中で、彼女は口を開き、その力の前に勝利するであろう。
3 わたしはいと高き方の口から出て、地を雲のように覆いました。
4 わたしは高い所に住み、わたしの王座は曇った柱の中にあった。
5 私は一人で天の周回を回り、深みの底を歩きました。

6 海の波の中で、全地で、あらゆる民と国民の中で、わたしは所有物を得た。
7 これらすべてとともに、私は休息を求めました。では、私は誰の相続地に住まうでしょうか。
8 それで、万物の創造者は私に戒めを与え、私を造った神は私の幕屋を休ませて、「あなたの住まいをヤコブに置き、あなたの相続地をイスラエルに置きなさい」と言われました。
9 神は初めから私を世の前に創造されました、そして私は決して失敗しません。
10 わたしは聖なる幕屋で彼の前に仕えました。 そして私もシオンに定着しました。
11 同じように、愛する都で神は私に休息を与え、エルサレムでは私の力を与えてくれました。
12 そして私は、主の相続財産の一部にさえ、名誉ある民の中に根を下ろしました。
13 わたしはリバノスの杉のように、ヘルモンの山々の糸杉のように高められた。
14 わたしは、エン･ガッディのヤシの木のように、エリコのバラのように、心地よい野原の美しいオリーブの木のように高められ、水辺のプラタナスのように成長しました。
15 わたしは桂皮やアスパラサスのような甘い香りを放ち、最高の没薬のような、ガルバナムやオニキスや甘いエゴノキのような、また幕屋の乳香の煙のような心地よい香りを出しました。
16 テレピンの木のように、わたしは枝を伸ばした。わたしの枝は名誉と恵みの枝である。
17 ぶどうの木が心地よい香りをもたらしたように、わたしの花は名誉と富の実です。
18 わたしは公正な愛、恐れ、知識、そして聖なる希望の母です。したがって、わたしは永遠であるので、彼の名を持つすべての子供たちに与えられています。
19 わたしを求める者はみな、わたしのもとに来て、わたしの実で腹を満たしなさい。
20 わたしの記念は蜜よりも甘く、わたしの相続財産は蜂の巣よりも甘いからです。
21 わたしを食べる者はなお飢え、わたしを飲む者はまた渇くであろう。
22 わたしに従う者は決して惑わされず、わたしに従って働く者は間違ったことをしない。
23 これらすべてのことはいと高き神の契約の書であり、モーセがヤコブの諸会衆に伝えるべきものとして命じた律法でもある。
24 主にあって強くなれない気がして、 そうすれば、彼はあなたを確認し、彼に固く結ばれます。全能の主が唯一の神であり、彼の傍らに他の救い主はいないからです。
25 彼は、新しい実の時のフィソンやティグリスのように、すべてのものをその知恵で満たします。
26 神は、ユーフラテスのように、また収穫の時期のヨルダンのように、悟りを豊かにさせます。
27 彼は知識の教義を光として、またヴィンテージの時代にはゲオンとして出現させます。
28 最初の男は彼女を完全に知っていませんでした。最後の男はもはや彼女を知ることはできません。
29 彼女の思いは海よりも深く、彼女の計らいは深い深みよりも深いからである。
30 わたしもまた、川からの小川として、また園への水路として出てきました。
31 わたしは言った。「わたしは、わたしの一番よい庭に水をやり、わたしの庭壇に豊かに水をやるつもりです。そして、見よ、わたしの小川は川になり、わたしの川は海になりました。」
32 わたしはなお教義を朝のように輝かせ、その光を遠くに送り出すであろう。
33 わたしは依然として教義を預言として注ぎ出し、それを永遠にすべての時代に残しておきます。
34 見よ、わたしは自分のためだけではなく、知恵を求めるすべての人たちのために働いてきたのである。

章 25

1 私は三つのことで美しくなり、神と人々の両方の前で美しく立っていました。それは、兄弟の団結、隣人の愛、一致する男女です。
2 私の魂は三種類の男を憎んでいます、そして私は彼らの人生に非常に腹を立てています：高慢な貧しい男、嘘つきの金持ち、そして不法行為をする年老いた姦淫者です。
3 もし若い時に何も集めなかったのなら、年になってどうして何かを見つけることができますか。
4 ああ、白髪に対する裁き、そして古代の人たちが助言を知るというのは、何とすばらしいことでしょう。
5 ああ、老人の知恵、そして名誉ある人々への理解と助言は、何とすばらしいことでしょう。
6 多くの経験は老人の冠であり、神への畏れは彼らの栄光である。
7 私が幸せであると心の中で判断したことが九つあり、その十番目を舌で言います。 そして敵の滅亡を見るために生きている者は、
8 理解のある妻と暮らし、舌を滑らせず、自分より価値のない男に仕えなかった人は幸いである。
9 思慮深い者、そして聞く者の耳に向かって語る者は幸いである。
10 ああ、知恵を見出す者は何と偉大なのだろう。 しかし、彼よりも主を畏れる者は誰もいない。
11 しかし、主の愛は、すべてのことを照らし出すことができません。それを保持する者は、誰にたとえられるでしょうか。
12 主を恐れることは主への愛の始まりであり、信仰は主に固く結ばれることの始まりです。
13 心の病気以外のどんな災いも私にください。女の悪以外のどんな悪事もください。
14 また、どんな苦しみも、わたしを憎む者たちからの苦しみを除く。また、どんな復讐も、敵の復讐を除く。
15 蛇の頭の上に頭はない。 そして敵の怒りを超える怒りはない。
16 私は悪女と一緒に家を守るくらいなら、むしろライオンや竜と一緒に住んだほうが良かった。

17 女の悪はその顔を変え、その顔を荒布のように暗くする。
18 彼女の夫は隣人たちの中に座らなければならない。そして彼がそれを聞くと、それは苦いため息をつきます。
19 女の悪に比べれば、どんな悪もほんのわずかです。罪人の分は彼女に降りかかりましょう。
20 砂の道を登るのが年寄りの足元であるように、妻も物言わぬ男に言葉を尽くしている。
21 女の美しさにつまずいてはならず、快楽を求めてはいけない。
22 女が夫を擁護するなら、怒りと厚かましさ、そして多くの非難に満ちることになる。
23 悪しき女は勇気を失い、顔は重くなり、心は傷つく。夫の苦しみを慰めようとしない女は、手も弱く、膝も弱る。
24 罪の始まりは女から始まり、彼女によって私たちは皆死ぬのです。
25 水に水を通さないでください。 邪悪な女性も海外で自由に暴れることはできません。
26 彼女があなたの望み通りに行かないなら、彼女をあなたの肉体から切り離し、離婚届を渡して、手放してください。

章 26

1 徳のある妻を持つ人は幸いである、その日数は二倍となるからである。
2 貞淑な女は夫を喜ぶ、そうすれば彼は生涯を平穏に過ごすだろう。
3 良い妻は良い財産であり、主を畏れる者のうちに与えられるものである。
4 人は金持ちであろうと貧乏であろうと、主に対して良い心を持っていれば、いつでも明るい顔で喜ぶであろう。
5 私の心が恐れていることが三つあります。 そして四番目に、私は非常に恐れていました。都市の中傷、手に負えない群衆の集まり、そして冤罪。これらはすべて死よりも悪いです。
6 しかし、心の悲しみと悲しみは、女が他の女に対してねたむことであり、舌のむち打ちはすべての人に通じるものである。
7 邪悪な妻は、前後に揺さぶられるくびきです。彼女を抱く者は、あたかもサソリを抱いているかのようです。
8 酒に酔った女と外国のガダーは大きな怒りを引き起こし、彼女は自分の恥を隠そうとしません。
9 女の淫らさは、その高慢な風貌とまぶたで分かるかもしれない。
10 あなたの娘が恥知らずであるなら、過度な自由によって自分自身を虐待しないように、彼女を厳格に保ちなさい。
11 厚かましい目に注意してください。彼女があなたに対して不法侵入しても、驚かないでください。
12 彼女は、喉が渇いた旅人が泉を見つけたときのように、口を開け、近くにあるすべての水を飲みます。あらゆる生け垣のそばに座り、あらゆる矢に対して矢筒を開きます。
13 妻の恵みは夫を喜ばせ、その分別は夫の骨を太くする。
14 物言わぬ愛ある女性は主からの賜物です。 そして、よく訓練された精神ほど価値のあるものはありません。
15 恥ずべき忠実な女性は二重の恵みであり、彼女の大陸的な精神は評価されません。
16 太陽が天高く昇るときのように、 家の秩序を整える良き妻の美しさも同様です。
17 清らかな光が聖なる燭台の上にあるように、 熟した年齢の顔の美しさも同様です。
18 銀の台座の上に金の柱が立っているように。 変わらない心を持った美しい足も同様です。
19 わが子よ、あなたの時代の花を健全に保ちなさい。そして見知らぬ人に自分の力を与えないでください。
20 あなたが畑全体で実り豊かな財産を手に入れたら、自分の株の良さを信頼して、自分の種を蒔いてください。
21 そうすれば、あなたが残したあなたの種族は、彼らの良い子孫であるという確信を持って高められるでしょう。
22 遊女は唾液とみなされる。 しかし、既婚女性は夫にとって死に対する塔です。
23 悪しき女は悪しき男に与えられるが、敬虔な女は主を畏れる者に与えられる。
24 不正直な女は恥を軽視するが、正直な女は夫を敬う。
25 恥知らずな女は犬とみなされる。 しかし、恥をかいた者は主を恐れるであろう。
26 夫を敬う女は、誰よりも賢いと判断されるであろう。 しかし、高慢さによって彼の名誉を傷つける女は、すべての者の中で不敬虔とみなされるであろう。
27 敵を追い払うために、大声で泣く女と叱責者が求められる。
28 私の心を悲しませることが二つあります。 そして3番目は私を怒らせます：貧困に苦しむ戦争の男。そして、誰にも決められていない理解力のある人たち。 そして義から罪に戻る者。 主はそのような者を剣のために備えられる。
29 商人は悪事を働くのをやめてはならない。 そして詐欺師は罪から解放されない。

章 27

1 多くの人は小さなことで罪を犯しました。 そして豊かさを求める者は目を背けるだろう。
2 釘が石の接合部の間にしっかりと突き刺さるように。同様に、罪も売りと買いの間でくっつきます。
3 人が主を恐れて熱心に身を守らなければ、その家はすぐにひっくり返されるであろう。
4 ふるいでふるいにかけると、ゴミが残るのと同じです。 彼の話の中には人間の汚物が含まれている。
5 炉は陶器師の器であることを証明します。 したがって、人間の試練は人間の推論の中にあります。

6 木が着飾ったかどうかは果実が告げる。 人の心の中にあるうぬぼれの発言も同様です。
7 人の話を聞く前に、人をほめてはなりません。 これは人間の裁判だからだ。
8 もしあなたが義に従うなら、あなたは彼女を手に入れて、輝かしい長いローブのように着るでしょう。
9 鳥は自分の好きなように訴えるだろう。 そうすれば、彼女の中で実践する者たちに真実が戻ってくるでしょう。
10 獅子が横になって獲物を待つように。 ですから、不法行為を行う者たちのために罪を犯してください。
11 敬虔な人の話には常に知恵が伴います。 しかし愚か者は月のように変わる。
12 もしあなたが思慮のない者であれば、時を守りなさい。 しかし常に理解ある人々の中にいてください。
13 愚か者の言論はうんざりするものであり、彼らの遊びは罪の愚かさである。
14 多くを誓う者の話は髪の毛を逆立てます。 彼らの喧嘩には耳が詰まるほどだ。
15 高ぶる者たちの争いは流血であり、彼らののののしりは耳に痛ましい。
16 秘密を発見した者は信用を失う。 そして決して心の友を見つけることはないだろう。
17 あなたの友人を愛し、彼に忠実でありなさい。しかし、もしあなたが彼の秘密を裏切るなら、それ以上彼の後を追ってはなりません。
18 人間が敵を滅ぼしたのと同じである。 それであなたは隣人への愛を失ったのですか。
19 鳥を手から逃がす者のように、あなたも隣人を放し、二度と捕まえてはなりません
20 もう彼の後を追ってはいけません。彼は遠すぎるからです。 彼は罠から逃れた卵のようなものです。
21 傷については、それが縛られるかもしれない。 そして、ののしった後には和解があるかもしれません。 しかし、秘密を裏切る者には希望がありません。
22 目をひそめる者は悪を働く、そして彼を知る者は彼から離れるであろう。
23 あなたがそこにいるとき、彼は優しく話し、あなたの言葉を賞賛しますが、最後には口をもだえさせ、あなたの言葉を中傷します。
24 わたしは多くのものを憎んできたが、彼のようなものはなかった。 主が彼を憎まれるからである。
25 高い所に石を投げる者は、自分の頭の上に石を投げるのである。 そして、欺瞞的な打撃は傷を作るでしょう。
26 穴を掘る者はそこに落ち、罠を仕掛ける者はそこに捕らえられる。
27 悪事を働く者は、それが自分に降りかかり、それがどこから来るのか分からない。
28 嘲笑とそしりは高ぶる者から出る。 しかし、ライオンのように復讐が彼らを待ち構えているだろう。
29 義人の倒れて喜ぶ者は罠にかかる。 そして死ぬ前に苦しみが彼らを蝕むだろう。
30 悪意と怒り、これさえ憎むべきものである。 そして罪深い人はその両方を持っているでしょう。

章 28

1 復讐する者は主から復讐を受け、必ず自分の罪を記憶に留めるであろう。
2 隣人があなたに与えた傷つけを赦してください。そうすれば、あなたが祈るとき、あなたの罪も赦されるでしょう。
3 ある人は他の人に対して憎しみを抱いていますが、主に赦しを求めますか。
4 彼は自分と同じような人間に対しては容赦をしない。そして自分の罪の許しを乞うのだろうか。
5 もし肉にすぎない者が憎しみを募らせるなら、誰が罪の赦しを懇願するでしょうか。
6 あなたの最後を思い出し、敵意をやめさせてください。 腐敗と死を忘れず、戒めを守りなさい。
7 戒めを心に留め、隣人に悪意を持ってはなりません。いと高き方の契約を思い出し、無知に目を細めなさい。
8 争いを避けなさい。そうすれば、あなたの罪は減ります。激怒する人は争いを燃やすでしょう。
9 罪深い人は、友人たちを動揺させ、平和な友人たちの間で議論を引き起こします。
10 火は燃えます。人の強さは怒りです。 そして彼の富に応じて彼の怒りは増大する。 そして、争う者たちが強ければ強いほど、彼らはさらに炎症を起こすことになる。
11 性急な争いは火を燃やし、性急な争いは血を流す。
12 あなたが火花を吹けば、それは燃え、あなたがそれに唾を吐きかければ、それは消えます。そして、これらは両方ともあなたの口から出ます。
13 囁く者と二枚舌を呪う。そのような者たちが、平和だった多くの者を滅ぼしたからである。
14 陰口の舌は多くの人々を動揺させ、国から国へ追いやりました。強い都市はそれを引き倒し、偉人の家を打ち倒しました。
15 陰口は貞淑な女たちを追い出し、労働力を奪った。
16 これに耳を傾ける者は決して安らぎを得ることができず、決して静かに住むことはできない。
17 鞭で打たれると肉に跡がつき、舌で打たれると骨が砕かれる。
18 剣の刃に倒れた者は多いが、舌に倒れた者はそれほど多くない。
19 その毒によって守られる者は幸いである。 くびきを引いておらず、帯で縛られてもいません。
20 そのくびきは鉄のくびきであり、その帯は真鍮の帯であるからである。
21 その死は邪悪な死である、墓はそれよりもましだった。
22 神を恐れる者たちを支配することはできず、その炎で焼かれることもない。
23 見捨てる者は主もそれに陥る。 そしてそれは彼らの中で燃え上がり、消えることはない。 それはライオンのように彼らに送られ、ヒョウのように彼らを食い尽くすであろう。
24 見よ、あなたは自分の所有物をいばらで囲い、銀と金を縛り、

25 そしてあなたの言葉を天秤で量り、あなたの口に戸とかんぬきを作りなさい。
26 待ち伏せしている者の前に倒れないように、そこを滑らないように気をつけなさい。

章 29

1 憐れみ深い人は隣人に貸します。 そして手を強める者は戒めを守る。
2 あなたの隣人が必要なときに貸し、適切な時期に再びあなたの隣人に支払いなさい。
3 あなたの言葉を守り、彼に忠実に対処しなさい。そうすれば、あなたにとって必要なものがいつも見つかるでしょう。
4 多くの人は、物を貸してもらったとき、それが見つかると思って、苦労させて助けてくれた。
5 受け入れられるまで、彼は人の手にキスをするだろう。 そして、隣人のお金のためなら、大人しく話すでしょう。しかし、返済すべきときは、時間を延長し、悲しみの言葉を返し、時間について不平を言います。
6 もし彼が勝てば、半分はほとんど受け取れず、あたかもそれを見つけたかのように計算するだろう。もしそうでなければ、彼は彼から金を奪い、理由もなく敵を作ったことになる。 手すり; そして名誉のために彼は恥辱を払うだろう。
7 したがって、多くの人は、だまされることを恐れて、他人の悪事に融資することを拒否しました。
8 しかし、あなたは貧しい土地の人に対して忍耐強く、彼に慈悲を与えるのを遅らせません。
9 戒めのために貧しい人を助け、貧しさを理由に彼を遠ざけてはならない。
10 あなたの兄弟とあなたの友人のためにあなたのお金を失いなさい、そしてそれが失われるために石の下で錆びないようにしてください。
11 いと高き方の戒めに従ってあなたの宝を蓄えなさい。そうすれば、それはあなたに金よりも多くの利益をもたらすでしょう。
12 施しをあなたの倉にしまっておきなさい。そうすれば、それはあなたをあらゆる苦難から救ってくれるでしょう。
13 それは、強力な盾や強力な槍よりも優れて、あなたの敵に対してあなたのために戦うでしょう。
14 正直な人は隣人の保証人であるが、厚かましい人は彼を見捨てるであろう。
15 あなたの保証人の友情を忘れてはいけません。彼はあなたのために命を捧げたのですから。
16 罪人は自分の保証人の善良な財産を打ち倒すだろう。
17 そして、感謝の気持ちを持たない者は、自分を救い出してくれた自分を危険にさらすでしょう。
18 シュレティシップは多くの良い財産を取り壊し、海の波のように揺さぶった。有力者たちはそれによって家から追い出され、彼らは見知らぬ国々の間をさまよった。
19 主の戒めに背く悪人は保証罪に陥り、利益を得るために他人の事業を引き受け、それに従う者は訴訟に陥る。
20 あなたの力に応じてあなたの隣人を助けなさい。そしてあなた自身も同じようにならないように気をつけなさい。
21 人生にとって最も大切なものは、水とパンと衣服と恥を隠す家である。
22 貧しい人が貧しい家で暮らすのは、他人の家で繊細な食事をするよりも良い。
23 たとえそれが少なくても、多くても、家の非難を聞かないように、あなたは満足しなさい。
24 というのは、家から家へ行くのは惨めな人生だからです。なぜなら、あなたがよそ者である以上、あなたはあえて口を開かないからです。
25 あなたはもてなし、宴会をしても、感謝をされず、さらに、苦い言葉を聞くことになるでしょう。
26 見知らぬ人よ、来て、食卓を整えて、あなたが用意したものを私に食べさせてください。
27 見知らぬ人よ、立派な人に席を譲ってください。兄が泊まりに来るので、家が必要です。
28 これらのことは、理解のある人にとっては痛ましいことである。 部屋の非難、そして貸し手の非難。

章 30

1 息子を愛する者は、最後に息子を喜ばせるために、息子にしばしばむちを触らせます。
2 自分の子を懲らしめる者は、その子を喜びとし、その知人の間でその子を喜ぶであろう。
3 自分の子を教える者は敵を悲しませる、そして友人の前で彼を喜ぶであろう。
4 彼の父親は死んでも、彼はあたかも死んでいないかのようです。なぜなら、彼は自分に似た人を彼の後に残したからです。
5 彼は生きている間、彼を見て喜び、そして死んだときも悲しまなかった。
6 彼は敵に対する復讐者、そして友人たちに恩返しをする者を残した。
7 息子をあまりにも大切にする者は、自分の傷を包むであろう。 そして泣くたびに腸が痛むだろう。
8 折れない馬は頑固になる、放っておかれる子供は意地悪になる。
9 あなたの子供を怒らせると、彼はあなたを怖がらせるでしょう。彼と遊んでください、そして彼はあなたを重くさせます。
10 彼と一緒に笑ってはいけない。彼と一緒に悲しむことのないように、また最後に歯ぎしりをしないようにするためである。
11 若い時には自由を与えてはならず、彼の愚かさに目配せをしてはいけない。
12 彼が若いうちは首をかがめ、若いうちはわき腹をたたきなさい。そうしないと、彼はかたくなになり、あなたに不従順になり、あなたの心に悲しみをもたらすでしょう。

13 あなたの息子を懲らしめ、労働させなさい。息子の淫らな行為があなたを辱めないように。
14 体が病んでいる金持ちよりも、体が丈夫で丈夫な貧しい人のほうがよい。
15 健康と豊かな身体は何よりも金であり、強い身体は無限の富に勝ります。
16 健全な体に勝る富はなく、心の喜びに勝る喜びはない。
17 死は、苦い人生や絶え間ない病気よりも優れています。
18 口を閉ざして注がれる珍味は、墓の上に置かれた肉の塊のようなものだ。
19 偶像に捧げ物が何の役に立つのですか。 それは食べることも匂いを嗅ぐこともできないからである。主から迫害されている者も同様である。
20 彼は、処女を抱いてため息をつく宦官のように、目で見てうめきます。
21 心を重くしてはいけません。また、自分の考えに従って自分を苦しめないでください。
22 心の喜びは人の命であり、人の喜びはその日を長くします。
23 あなた自身の魂を愛し、あなたの心を慰め、あなたから悲しみを遠く離れて取り除きなさい。悲しみは多くの人を殺し、そこには何の利益もないからです。
24 ねたみと怒りは寿命を縮め、用心深さは時より早く老化をもたらします。
25 明るく善良な心は肉と食事に気を配る。

章 31

1 富を見つめることは肉体を消耗し、富を気にすることは眠りを奪う。
2 痛みを伴う病気が眠りを妨げるように、見守っていても人は眠りにつくことはありません。
3 金持ちは富を集めるのに大変な苦労をします。 そして休むとき、彼は繊細なことで満たされます。
4 貧しい人は貧しい土地で働きます。 そして、出発しても、彼はまだ貧しいままです。
5 金を愛する者は義とされず、腐敗に従う者はそれで十分である。
6 金は多くの人を破滅させ、彼らの破滅は存在しました。
7 それに犠牲をささげるのは彼らにとってつまずきであり、愚か者はみなそれに連れて行かれるであろう。
8 傷のない富者、そして金を追い求めない者は幸いである。
9 彼は誰ですか? そして私たちは彼を祝福者と呼ぶことにします。なぜなら彼は彼の民の間で素晴らしいことをしたからです。
10 だれがそれによって試みられ、完全であると認められたでしょうか。 そうすれば彼に栄光をもたらしましょう。 誰が気分を害する可能性がありますか、そして気分を害しなかったのは誰ですか? それとも悪を行ったが、それをしていないのか?
11 彼の財産は確立され、会衆は彼の施しを宣言するであろう。
12 もしあなたが豊かな食卓に座っているなら、それをむさぼって食べてはいけません。また、「そこにはたくさんの肉がある」などと言ってはいけません。
13 邪悪な目は邪悪なものであることを忘れないでください。そして、目より邪悪に造られたものは何でしょうか。したがって、あらゆる機会に泣きます。
14 手をどこを見ても伸ばしてはならず、皿の中に手を突っ込んではなりません。
15 あなたの隣人を自分で裁いてはなりません。あらゆる点において思慮深くありなさい。
16 あなたの前に置かれたものを、人になるように食べなさい。 嫌われないようにメモをむさぼり食う。
17 マナーのために先に出発してください。 気分を害さないように、満足しないでください。
18 あなたが多くの人たちの中に座っているときは、まず手を伸ばしてはなりません。
19 よく育てられた人には、ほんの少しのもので十分であり、ベッドの上で風を切らさない。
20 熟睡は適度な食事から生まれます。彼は早起きし、機知に富んでいます。しかし、見ているときの苦痛、胆汁の増加、腹痛は満足できない人とともにあります。
21 もし食べさせられたなら、起きて、出て、吐いて、休んでください。
22 わが子よ、聞いてください。軽蔑しないでください。そうすれば、あなたは最後に、私があなたに言ったことを見つけるでしょう。あなたの仕事はすべて迅速に行い、そうすればあなたに病気が来ることはありません。
23 肉を惜しまない人は、人々からよく言われます。そして彼のきちんとした家事の報告は信じられるでしょう。
24 しかし、自分の肉を食い物にする者に対しては、町全体がつぶやくであろう。 そして彼の卑劣さの証言は疑われるべきではない。
25 ぶどう酒にあなたの勇敢さを示すな。 というのは、ワインは多くの人を滅ぼしたからである。
26 かまどは浸すことによって刃を証明する。酔うことによって高慢な者の心にワインを与えるのと同じである。
27 適度に飲めば、ワインは人間にとって命と同じくらい良い。では、ワインのない人間にとって人生とは何だろうか? それは人々を喜ばせるために作られたものだからです。
28 適度に飲める季節のワインは、心に喜びをもたらし、精神に陽気さをもたらします。
29 しかし、ぶどう酒を飲み過ぎると、口論や口論が生じて、心が苦くなります。
30 酒に酔うと、愚か者の怒りは増し、ついには腹を立て、体力が減り、傷ができる。
31 ぶどう酒を飲んで隣人を叱責してはならない。また、はしゃいで軽蔑してはならない。彼に意に介さない言葉をかけてはならない。また、酒を飲むように勧めて押しつけてはならない。

章 32

1 もしあなたが宴会の主人になったら、自分を持ち上げるのではなく、残りの一人としてその中にいてください。 細心の注意を払って座ってください。
2 そして、自分の職務をすべて終えたら、彼らと楽しく過ごせるように、また、祝宴を順調に進めたとして冠を受け取りなさい。
3 年長者であるあなた、それはあなたのものだから、健全な判断力をもって話してください。 そして音楽を妨げないでください。
4 音楽家のいるところに言葉を注ぎ出してはならず、時を超えて知恵を出してはならない。
5 ワインの饗宴における音楽のコンサートは、金にセットされたカーバンクルの印章のようなものです。
6 金の細工にはめ込まれたエメラルドの印のように、心地よいワインとともに音楽のメロディーが響きます。
7 若者よ、必要があれば話してください。しかし、二度尋ねられるとほとんど答えられません。
8 あなたのスピーチは短く、少ない言葉で多くのことを理解できるようにしなさい。 知識を持ちながらも舌を巻く者のようでありなさい。
9 もしあなたが偉い人の中にいるなら、彼らと同等にしてはなりません。 そして古代の人たちがその場にいるときは、あまり言葉を使わないでください。
10 雷が鳴る前に、稲妻が起こります。 恥をかいた者が支持を得る前に。
11 何度でも立ち上がって、最後にならないでください。 でも遅滞なく家に帰してください。
12 そこであなたの気晴らしをして、あなたの望むことをしてください。しかし、高慢な言葉によって罪を犯してはなりません。
13 そして、これらのことは、あなたを造り、その良いものであなたを補充した方を祝福するものです。
14 主を恐れる者は主の懲らしめを受けるであろう。そして早く彼を求める者は好意を得るであろう。
15 律法を求める者は律法で満たされるが、偽善者はそこで腹を立てるだろう。
16 主を畏れる者は裁きを受け、光のように正義を燃やすであろう。
17 罪深い人は戒められず、自分の意志に従って言い訳を見つけます。
18 助言を与える人は思いやりを持ちます。 しかし、風変わりで誇り高い男は、自分自身が何の助言も受けずに行動したときでさえ、恐怖にひるむことはありません。
19 アドバイスなしには何もしてはならない。 そして一度そうしたことをしたなら、悔い改めないでください。
20 倒れるような道を行ってはならず、石の間につまずいてはいけません。
21 はっきり言って自信がありません。
22 そしてあなた自身の子供たちに気をつけなさい。
23 あらゆる善い行いにおいては、自分の魂を信頼しなさい。 それが戒めを守ることだからです。
24 主を信じる者は戒めを心に留める。 そして彼を信頼する者は決して悪いことをしないでしょう。

章 33

1 主を畏れる者には災いは起こらない。 しかし、再び誘惑に遭っても、彼は彼を救い出します。
2 賢い人は律法を憎まない。 しかし、そこでの偽善者は嵐の中の船のようなものです。
3 理解のある人は法律を信頼します。 そして律法は神託のように彼に忠実である。
4 言うべきことを準備しなさい。そうすれば、あなたは聞いてもらえるでしょう。そして、指示をまとめて、それから答えを作りなさい。
5 愚かな者の心は側転のようなものである。 そして彼の思考は転がる車軸のようなものです。
6 種牡馬はあざけりする友人のようで、自分の上に座るすべての人の下でいななきます。
7 一年の毎日の光はすべて太陽であるのに、なぜある日は他の日よりも優れているのでしょうか。
8 主の知識によって彼らは区別され、主は季節と祝日を変えた。
9 彼らの中には、神が盛大な日を設けて聖別した者もおり、またある者は平凡な日を設けた。
10 そして、すべての人は土から生まれ、アダムは土から創造されました。
11 主は多くの知識の中で彼らを分け、彼らの道を多様にされた。
12 彼らの中には、神が祝福して高めた者もいるし、聖別して自分の近くに置いた者もいる。しかし、彼らの中のある者は、神が呪って貶め、その場から立ち去った。
13 粘土が陶器師の手の中にあり、自分の好みに合わせてそれを形作るように、人も自分を造った人の手の中にあり、自分に最も似たものを彼らに提供するのである。
14 善は悪と対峙し、命は死と対峙する。敬虔な者は罪人に対して、罪人は敬虔な者に対して対峙する。
15 それで、いと高き方のすべての業に目を留めなさい。 そして 2 つと 2 つがあり、一方が他方に向かっています。
16 わたしは、ぶどうを集める者たちのあとに集まる者として、最後に目覚めました。主の祝福によって、わたしは利益を得て、ぶどうを集める者のようにぶどう酒ぶねを踏みました。
17 私が自分のためだけではなく、学びを求めるすべての人たちのために働いたことを考えてください。
18 民の偉い人たちよ、わたしの言うことを聞いてください。会衆の支配者たちよ、耳を傾けてください。
19 あなたが生きている間、あなたの息子や妻、あなたの兄弟や友人にあなたの権力を与えてはなりません。また、あなたの財産を他人に与えてはいけません。それがあなたを悔い改め、再び同じことを求めることのないように。
20 あなたが生きていて、息をしている限り、自分を誰にも明け渡さないでください。

21 あなたが彼らの礼儀を守るよりも、あなたの子供たちがあなたを求める方が良いのです。
22 あなたのすべての行いにおいて、卓越したものを保ちなさい。 あなたの名誉に汚点を残さないでください。
23 あなたが自分の日々を終え、自分の命を終えるとき、あなたの相続財産を分配しなさい。
24 飼料、杖、重荷はろばのためのものである。 そして召使のためにパン、矯正、仕事を与えます。
25 もしあなたがしもべを働かせるなら、あなたは休息を得るでしょう。しかし、あなたが彼を怠けさせておくなら、彼は自由を求めるでしょう。
26 くびきと首輪は確かに首を垂れます。悪の僕にとっては拷問と苦痛も同様です。
27 彼を働かせて、怠け者にしないようにしなさい。怠惰は多くの悪を教えるからです。
28 彼にふさわしい仕事をさせなさい。従順でないなら、もっと重い足かせをはめなさい。
29 しかし、どんな人に対しても過剰になってはなりません。 そして思慮分別なく何もしない。
30 もしあなたに召使がいるなら、あなたと同じように召し使いにしなさい。あなたはその召使を代価を払って買ったのですから。
31 もしあなたに召使いがいるなら、兄弟として懇願してください。あなたは自分の魂と同じように彼を必要としているからです。もしあなたが彼に邪悪な仕打ちをして彼があなたから逃げたら、あなたはどちらに行って彼を捜しに行きますか。

章 34

1 理解力のない人間の希望は虚しく、虚偽である。そして夢は愚か者を高揚させる。
2 夢を考える人は、影を捕まえて風を追う人のようなものです。
3 夢のビジョンは、あるものと別のものの類似であり、顔と顔の類似です。
4 汚れたもののうち、何が清めることができるでしょうか。 そして、その偽りのものから、どんな真実が生まれ得るのでしょうか?
5 占いも、予言も、夢も、無駄である。そして、心は、苦悩する女の心のように空想する。
6 あなたの訪問において彼らがいと高き方から遣わされなかったとしても、あなたの心を彼らに向けないでください。
7 というのは、夢は多くの人を欺き、夢に信頼を寄せた人は失敗したからです。
8 律法は偽りのない完全なものであると認められ、知恵は忠実な口にとって完全なものである。
9 旅をした人は多くのことを知っています。 そして多くの経験を持つ者は知恵を宣言するだろう。
10 経験のない者はほとんど何も知らないが、旅をしたことのある者は思慮深い。
11 旅をしたとき、たくさんのことを見ました。 そして私は言葉では言い表せないほどのことを理解しています。
12 私は度々死の危険にさらされましたが、これらのことのおかげで救われました。
13 主を畏れる者の霊は生きる。 彼らの希望は彼らを救ってくださる方の中にあるからです。
14 主を畏れる者は恐れることも恐れることもない。なぜなら彼は彼の希望だからだ。
15 主を恐れる者の魂は幸いである、その人は誰を見つめているのか。 そして彼の強さは誰ですか?
16 主の目は主を愛する者たちに注がれており、主は彼らの力強い守りと力強い支えであり、暑さから身を守り、真昼の日差しから覆い、つまずきを防ぎ、倒れないように助けてくださる。
17 神は魂を高め、目を明るくし、健康と命と祝福を与えます。
18 不正に得たものをいけにえとして捧げる者は、そのいけにえはばかげている。 そして不正な人々からの贈り物は受け入れられません。
19 いと高き方は悪人の供え物を喜ばれません。 また、多くの犠牲によって罪が鎮められることもありません。
20 貧しい人々の物品を捧げ物として持ってくる者は、父親の目の前で息子を殺す者と同じことをする。
21 貧しい者のパンは彼らの命である。それを騙す者は血の人である。
22 隣人の命を奪う者は彼を殺す。 そして、雇った労働者を騙す者は流血者である。
23 ある者が建て、ある者が倒すとき、彼らは労苦する以外に何の利益があるでしょうか。
24 ある人が祈り、ある人が呪うとき、主は誰の声を聞くでしょうか。
25 死体に触れた後に体を洗う者が、再びそれに触れるなら、その洗ったものが何の役に立つのか。
26 自分の罪のために断食し、再び行って同じことをする人も同様です。誰が彼の祈りを聞くでしょうか。あるいは彼の謙虚さは彼に何の利益をもたらしますか?

章 35

1 律法を守る者は十分ないけにえを携え、戒めを守る者は和解のいけにえをささげる。
2 恩返しをする者は上等の小麦粉を差し出す。 そして施しを与える者は犠牲を称賛する。
3 悪を離れることは主に喜ばれることである。 そして不義を捨てることは宥めとなる。
4 あなたは主の前に空っぽであるように見せてはならない。
5 これらすべてのことは、戒めに従って行われなければならないからです。
6 義人のささげ物は祭壇を肥えさせ、その甘い香りはいと高き方の前にあります。
7 正しい人の犠牲は受け入れられます。 そしてその記念は決して忘れられないでしょう。
8 良い目で主に栄誉を与え、あなたの手の初穂を軽視してはならない。

9 あなたの賜物すべてにおいて陽気な顔を見せ、喜ん
で十分の一を捧げなさい。
10 いと高き方に、あなたを富ませてくださったとお
りに与えてください。 そしてあなたが得たように、
明るい目で与えてください。
11 主は報いをして、七倍の物をあなたに与えてくだ
さるからです。
12 贈り物で堕落しようと考えてはなりません。 なぜ
なら、彼はそのようなものを受け取らないからです。
そして、不正な犠牲を信頼しないでください。 主は
裁き人であり、主には人を尊重しないからである。
13 神は貧しい人に敵対する者をだれも受け入れず、
虐げられている者の祈りを聞き入れます。
14 神は父のいない者の嘆願を軽蔑されません。 未亡
人が不満を漏らすときも同様です。
15 やもめの頬には涙が流れませんか。 そして、彼ら
を倒れさせる原因は、彼に対する彼女の叫びではな
いでしょうか?
16 主に仕える者は好意をもって受け入れられ、その
祈りは雲にまで届くであろう。
17 謙虚な者の祈りは雲を突き抜け、それが近づくま
では慰められない。 そしていと高き方が正しく裁き、
裁きを執行されるのをご覧になるまで、離れること
はありません。
18 主は怠けたりせず、力ある者も彼らに対して忍耐
せず、無慈悲な者の腰を打ち裂き、異教徒に報復す
るまでは忍耐されないからである。 多くの高慢な者
たちを連れ去り、不義な者の王笏を打ち砕くまでは。
19 神が各人の行いに応じて、また人々の行いに応じ
てその行いに報いを与えられるまで。 神がご自分の
民の大義を裁き、ご自分の憐れみを彼らに喜ばせる
までは。
20 憐れみは、干ばつの時の雨雲のように、苦難の時
にも季節に応じて変化します。

章 36

1 すべての神、主よ、私たちを憐れんでください。そ
して私たちをご覧ください。
2 そして、あなたを追わないすべての国々にあなたの
恐怖を送りましょう。
3 見知らぬ国々に対して手を上げて、彼らにあなたの
力を見せてください。
4 あなたが彼らの前で私たちの中で聖化されたように、
あなたも私たちの前で彼らの間で尊ばれます。
5 そして、私たちがあなたを知っていたように、神よ、
他には神はなく、あなただけであることを彼らに知
らせてください。
6 新しいしるしを示し、他の不思議な奇跡を起こしな
さい。あなたの手と右腕に栄光を与えなさい。そう
すれば、彼らはあなたの不思議な業を示すことがで
きる。
7 憤りを上げ、怒りを注ぎ、敵を取り除き、敵を滅ぼ
せ。
8 短い時間を過ごし、契約を思い出し、あなたの素晴
らしい業を彼らに宣言させてください。
9 逃げ出す者は激しい炎に焼き尽くされなさい。 そ
して人々を抑圧する者たちを滅ぼしてください。
10 「われわれのほかに誰もいない」と言う異教徒の
支配者の頭を打ち砕け。
11 ヤコブの部族をすべて集めて、初めからそうであ
るように、あなたを受け継ぎなさい。
12 主よ、あなたの名で呼ばれる民と、あなたの初子
にあなたの名を与えられたイスラエルを憐れんでく
ださい。
13 あなたの聖なる都、あなたの安息の地であるエル
サレムを憐れんでください。
14 あなたの言い尽くせない神託でシオンを満たし、
あなたの栄光であなたの民を満たしてください。
15 あなたが初めから持っていた者たちに証しをし、
あなたの名によって預言者を立てなさい。
16 あなたを待ち望む者たちに報いを与え、あなたの
預言者たちが忠実であることがわかるようにしてく
ださい。
17 主よ、あなたの民に対するアロンの祝福に従って、
あなたの僕たちの祈りを聞いてください。地上に住
むすべての人が、あなたが主、永遠の神であること
を知ることができるように。
18 腹はあらゆる肉を食い尽くしますが、ある肉は他
の肉よりも優れています。
19 味覚がさまざまな種類の鹿肉を味わうように、偽
りのスピーチを理解する心もさまざまです。
20 臆病な心は重さを引き起こす。しかし、経験のあ
る人がそれに報いてくれるだろう。
21 女はどんな男をも受け入れますが、一人の娘が他
の娘より優れているのです。
22 女性の美しさは顔に元気を与えますが、男性はこ
れ以上に愛するものはありません。
23 もし彼女の言葉に優しさ、柔和、そして慰めがあ
るなら、彼女の夫は他の男性と同じではないでしょ
う。
24 妻を得る者は、所有物、自分と同様の助け、そし
て安らぎの支柱を持ち始める。
25 生け垣のないところには、財産が台無しになる。
妻のいない者は、悲しみに暮れながらさまようこと
になる。
26 町から町へと飛び回る、よく任命された盗人を誰
が信用するでしょうか。 それでは、家を持たず、夜
が来るところどこにでも泊まる人間を誰が信じるで
しょうか?

章 37

1 友人は皆、「私も彼の友人だ」と言います。しかし、
友人がいます。それは名ばかりの友人です。
2 仲間や友人が敵に回されるとき、それは死に至るほ
どの悲しみではないでしょうか。
3 おお、邪悪な想像力よ、あなたはどこからやって来
て、地球を欺きで覆うのですか。
4 友がいて、その栄華を喜ぶが、苦難の時には敵対す
る。

5 腹を立てて友人を助け、敵に対してバックラーを取り上げる仲間がいる。
6 あなたの心の中のあなたの友人を忘れてはならず、あなたの富の中で彼のことを無視してはならない。
7 助言者は皆、助言を称賛します。 しかし、自分自身のためにカウンセリングを行う人もいます。
8 カウンセラーに注意し、彼が何を必要としているのかを事前に知ってください。 なぜなら、彼は自分自身のために助言するからです。 彼があなたにくじを引くことのないように、
9 そしてあなたに言う、「あなたの道は良いです。その後、彼は反対側に立って、あなたに何が起こるかを見ようとしています。」
10 あなたを疑う者に相談してはなりません。そして、あなたを妬む者からあなたの相談を隠してください。
11 嫉妬している女に触れても相談しないでください。戦争に関しては臆病者でもありません。 交換に関して商人との取引もありません。 売り手も買い手もいません。 妬み深い感謝の気持ちを持つ人とも。 慈悲のない男が優しさに触れることでもありません。 また、どんな仕事でも怠け者に対しても同様です。 1 年間の仕上げ作業のための雇用もありません。 また、多くの仕事をしている怠惰な召使に対しても同様です。いかなる相談に関しても、これらの言うことを聞いてはいけません。
12 しかし、敬虔な人と常に一緒にいてください。この人は主の戒めを守ることをあなたが知っており、その人の心はあなたの思いどおりであり、もしあなたが流産したとしても、あなたと一緒に悲しむでしょう。
13 そして、自分の心の勧告を守りなさい。これほどあなたに忠実な人はいないからです。
14 というのは、人の心は時々、高い塔の上に座っている七人の番人以上のことを考えてしまうからである。
15 そして何よりも、いと高き方に、真実にあなたの道を導いてくださるよう祈ってください。
16 あらゆる事業を行う前に理性を働かせ、あらゆる行動の前に助言を与えなさい。
17 顔つきは心の変化のしるしです。
18 善と悪、生と死という四つの物事が現れるが、舌は絶えずそれらを支配する。
19 知恵があり、多くの人を教えながら、自分には利益をもたらさない人がいます。
20 言葉で知恵を示し、憎まれる者がいる。その者は、食べるものにも事欠くであろう。
21 この人には、すべての知恵が欠けているので、主から恵みが与えられないからである。
22 また、自分自身に対して賢い人もいます。 そして彼の口では理解の成果が称賛に値する。
23 賢い人は民を教える。 そして彼の理解の成果は失われることはありません。
24 賢い人は祝福に満たされる。 そして彼を見る者は皆、彼を幸せだと思うだろう。
25 人の生涯は数え切れないかもしれないが、イスラエルの命は数え切れない。
26 賢い人はその民の間で栄光を受け継ぎ、その名は永遠に残るであろう。
27 わが子よ、自分の人生において自分の魂を証明し、何が悪いことかを見て、それをそれに与えてはならない。
28 というのは、すべてのことはすべての人にとって有益ではないし、すべての魂がすべてのことを喜ぶわけでもないからである。
29 どんなおいしいものでも飽きずに、また肉をむさぼり食べてはなりません。
30 肉の食べ過ぎは病気をもたらし、暴食は胆汁を悪化させるからである。
31 浪費によって多くの人が死んだ。 しかし、注意を払う人は命を延ばします。

章 38

1 医師を、あなたがたがその医師を利用するために当然の栄誉をもって讃えなさい。主が彼を創造されたからである。
2 いと高き者には癒しが与えられ、その者は王の栄誉を受けるであろう。
3 医師の技術は頭をもたげ、偉人の目には賞賛されるであろう。
4 主は地から薬を造られました。 そして賢明な者はそれらを憎むことはないであろう。
5 水を木で甘くしたのは、その良さを知らせるためではなかったのか。
6 そして神は、その驚くべき業において栄誉を得るために、人々に技術を与えた。
7 このようにして神は人々を癒し、彼らの苦しみを取り除きます。
8 薬剤師はそのようなものから菓子を作ります。 そして彼の作品には終わりがありません。 そして彼から全地に平和がもたらされ、
9 わが子よ、病気のときも放っておいてはなりません。主に祈りなさい。そうすれば主はあなたを回復してくださいます。
10 罪から離れ、あなたの手を正しく整え、すべての悪からあなたの心を清めてください。
11 甘い香りと、上等な小麦粉の記念品を与えなさい。そして存在しないものとして太った捧げ物をする。
12 それから医者に席を譲ってください。主が彼を創造されたからです。彼をあなたから去らせないでください。あなたは彼を必要としているからです。
13 彼らの手に大きな成功がもたらされる時がある。
14 彼らはまた、安らぎと延命のための治療法を与えるものを繁栄させてくださるよう、主に祈るであろう。
15 造り主の前で罪を犯した者は、医者の手に落ちなさい。
16 わが子よ、死者の上に涙を流して、あたかも自分自身が大きな害を受けたかのように嘆き始めなさい。そして習慣に従って遺体を覆い、埋葬を無視しないでください。

17 激しく泣き、大きなうめき声を上げ、嘆きの声を上げなさい。彼には相応しい者がいるからです。それは、悪口を言われないように一日か二日です。そして、自分の重さを慰めてください。
18 死は重さから来ます、そして心の重さは力を打ち砕きます。
19 苦しみの中には悲しみも残る。貧しい者の命は心の呪いである。
20 重苦しさを心に留めてはなりません。それを追い払い、最後までやり遂げましょう。
21 それを忘れてはなりません。二度と方向転換することはありません。あなたは彼に良くするのではなく、自分自身を傷つけてはいけません。
22 わたしの裁きを思い出してください。あなたもそうなるでしょう。 昨日は私にとって、今日はあなたにとって。
23 死者が安息しているときは、その記憶を休ませなさい。 そして、彼の霊が彼から離れたとき、彼のために慰められなさい。
24 学識のある人の知恵は、暇な機会によって生まれ、用事をほとんど持たない人は賢くなるであろう。
25 鋤を持ち、突き棒に栄光を見出し、牛を追い、その労働に専念し、雄牛の話をするような知恵を、どうやって得ることができようか。
26 彼は熱心に溝を作る。 そしてキネに飼料を与えることに熱心です。
27 昼も夜も働き続ける大工や職人も、また印章を切ったり刻んだり、多種多様なものを作ることに熱心で、模造品に身を任せ、作品が完成するまで見守っている人たちも同じだ。
28 鍛冶屋もまた、金床のそばに座って、製鉄の仕事を考えていますが、火の蒸気が彼の肉体を消耗させ、彼は炉の熱と格闘しています。ハンマーと金床の騒音が常に彼の耳にあり、彼の耳には 目は彼の作ったもののパターンをじっと見つめています。 彼は自分の仕事を終わらせようと決意し、それを完璧に磨くために気を配っている。
29 陶芸家も同じように、座って仕事をし、足でろくろを回し、常に慎重に仕事に取り組み、すべての仕事を数字で計算します。
30 彼は腕で粘土を作り、足の前に力を振り下ろす。彼はそれを乗り越えるために自らを奮い立たせる。そして彼は炉をきれいにすることに熱心です。
31 これらはみな自分の手に信頼しており、みなその仕事において賢明である。
32 これらがなければ、町に人が住むことはできず、望むところに住むことも、上り下りすることもできない。
33 彼らは公の弁護人に頼まれてはならず、会衆の中で上位に座ってはいけない。裁判官の席に座ってはならず、判決の文を理解してはならない。正義と裁きを宣言することはできない。 そして、たとえ話が語られるところにはそれらは見出されないであろう。
34 しかし、彼らは世界の状態を維持し、彼らのすべての欲望は彼らの技術の仕事にあります。

章 39

1 しかし、いと高き者の律法に心を捧げ、その黙想に没頭する者は、古代のあらゆる知恵を求め、預言に没頭するであろう。
2 彼は高名な人たちの言葉を守ります。そして、微妙なたとえ話があるところには、彼もそこにいます。
3 彼は重大な判決の秘密を探求し、暗いたとえ話に精通するでしょう。
4 彼は偉人たちの間で仕え、君主たちの前に現れ、見知らぬ国々を旅するだろう。 なぜなら、彼は人々の間で善と悪を試みたからである。
5 彼は自分を造られた主に早く頼るよう心を捧げ、いと高き方の前で祈り、口を開いて祈り、自分の罪を嘆願するであろう。
6 偉大な主が御心のままにすれば、彼は理解力に満たされ、賢明な言葉を注ぎ、祈りの中で主に感謝をささげるであろう。
7 彼は自分の助言と知識を導き、自分の秘密について黙想するであろう。
8 彼は学んだことを明らかにし、主の契約の律法を誇るであろう。
9 多くの人は彼の理解を賞賛するだろう。 そして世界が続く限り、それは消え去ることはない。 彼の記念碑は消えることはなく、彼の名前は世代から世代へと残ります。
10 諸国民は彼の知恵を示し、会衆は彼の賛美を宣言するであろう。
11 彼は死ねば千人よりも大きな名を残し、生きていればさらにその名を増すであろう。
12 まだ、私が考えたことがありますが、もっと言いたいことがあります。 私は満月のように満たされているからです。
13 聖なる子供たちよ、わたしの言うことを聞いて、野の小川のほとりに咲くバラのように芽を出しなさい。
14 そして、乳香のように甘い香りをあなたがたに与え、ユリのように栄え、香りを放ち、賛美の歌を歌い、主のすべての御業を祝福してください。
15 その御名をあがめ、口の歌と竪琴をもって彼の賛美を表し、あなたがたは彼を賛美する際に次のように言うべきである。
16 主の御業はすべて非常に優れており、主が命じられることは、時が来れば必ず達成される。
17 そして、「これは何ですか」と言う人は誰もいないでしょう。 それはなぜですか? なぜなら、都合のよいときに、それらはすべて探し出されるからである。彼の命令により、水は山のように立ち、彼の口の言葉により、水の容器が立ち上がった。
18 彼の命令に従って、彼が喜ぶことはすべて行われます。 そして彼が救うとき、誰もそれを妨げることはできません。
19 すべての肉なる者の業は彼の前にあり、彼の目から隠すことは何もできない。
20 彼は永遠から永遠までを見ます。 そして彼の前には素晴らしいものは何もありません。

21 人は、「これは何ですか」と言う必要はない。 それはなぜですか? 神はあらゆるものをその用途のために造られたからである。
22 彼の祝福は乾いた地を川のように覆い、洪水のように水を与えた。
23 神が水を塩水に変えられたように、異教徒もその怒りを受け継ぐであろう。
24 彼の道は聖なる者にとって平明であるように。 それらは悪人にとってつまずきとなるものでもあります。
25 善とは、初めから創造された善いものであり、罪人にとっては悪と同じである。
26 人間の一生に必要な主なものは、水、火、鉄、塩、小麦粉、蜂蜜、牛乳、ブドウの血、油、そして衣服である。
27 これらのものはみな、敬虔な者にとっては善であるが、罪人にとっては悪となる。
28 復讐のために創造された霊がおり、その激怒のあまりにひどい発作が起こります。 滅びのとき、彼らは力を注ぎ出し、彼らを造った神の怒りを鎮めます。
29 火、雹、飢餓、死、これらはみな復讐のために造られた。
30 野獣の歯、さそり、蛇、そして悪人を滅ぼすまで罰する剣。
31 彼らはその戒めを喜び、必要な時には地上に備えられるであろう。 そして、その時が来ても、彼らは神の言葉に背いてはなりません。
32 そこで、私は初めから決意を固め、これらのことを考え、それを書き残しました。
33 主の御業はすべて良いものであり、主は時が来れば必要なものをすべて与えてくださる。
34 それは、人が「これはあれよりもひどい」と言うことができないようにするためである。なぜなら、それらはいずれすべて正当に認められるからである。
35 それゆえ、あなたがたは心と口を尽くして主を賛美し、主の御名をほめたたえなさい。

章 40

1 すべての人に大きな苦難が課せられ、アダムの息子たちは、母の胎から出た日から万物の母に戻る日まで、重いくびきを負っています。
2 将来のことや死の日についての彼らの想像力は、彼らの思考を混乱させ、心の恐怖を引き起こします。
3 栄光の玉座に座る者から、地と灰の中に謙虚な者へ。
4 紫と冠をかぶった者から、亜麻布のドレスを着た者へ。
5 怒り、ねたみ、悩み、不安、死の恐怖、怒り、争い、そしてベッドの上で休んでいるとき、夜の睡眠中に、彼の知識は変わります。
6 わずかな休息、あるいは何もないのが彼の休息であり、その後、彼はまるで戦いから逃げてきたかのように、一日見張りをしているかのように、心の幻影に悩まされながら眠っている。
7 すべてが安全になったとき、彼は目を覚ますと、恐怖は何もなかったことに驚きます。
8 このようなことは、人間も獣も含め、すべての肉なる者に起こりますが、罪人の場合はその 7 倍になります。
9 死、流血、争い、剣、災害、飢餓、艱難、そして災難。
10 これらのものは悪者のために造られ、彼らのために洪水が起こりました。
11 地にあるものはすべて再び土に帰り、水にあるものは海に戻ります。
12 賄賂と不正はすべて根絶されますが、真の取引は永遠に続きます。
13 不正な者の財産は川のように干上がり、雨の中の大きな雷のように音を立てて消えてしまう。
14 彼が手を開くとき、彼は喜ぶだろう。違反者はそのようにして無になるだろう。
15 不敬虔な者の子らは多くの枝を出さず、堅い岩の上に生えた汚れた根のようなものである。
16 川のあらゆる水辺と堤防に生えている雑草は、すべての草より先に引き抜かれなければならない。
17 豊かさは最も実り豊かな園のようであり、いつくしみはとこしえに続く。
18 人が苦労して、持っているものに満足するのは、甘い人生である。だが、宝を見つけた人は、その両方を超えている。
19 子供たちと都市の建設は男の名前を引き継ぎますが、罪のない妻はそれらの両方よりも優れています。
20 ワインと音楽は心を喜ばせますが、知恵への愛はその両方を上回ります。
21 パイプと詩歌は甘いメロディーを奏でますが、心地よい舌は両方の上にあります。
22 あなたの目は恵みと美しさを望んでいます。しかし、それが青いうちはトウモロコシよりもずっとです。
23 友人と仲間は決して間違ったことはありません。しかし、その両方の上にあるのは夫と妻です。
24 兄弟たちと助けは、困難の時には立ち向かうが、施しは彼ら二人よりも多くのことをもたらすだろう。
25 金と銀は足を確かにしますが、助言はそれらの両方よりも高く評価されます。
26 富と強さは心を高揚させますが、主への畏れはその両方を上回ります。主への畏れには何の不足もなく、助けを求める必要もありません。
27 主を畏れることは実り豊かな園であり、あらゆる栄光の上に主を覆う。
28 わが子よ、物乞いのような人生を送ってはならない。 物乞いをするよりは死んだほうが良いからです。
29 他人の食卓に依存する者の命は、命として数えられるべきではない。 なぜなら、彼は他人の肉で自分自身を汚しているからです。しかし、よく育てられた賢い人はそれに注意するでしょう。
30 恥知らずな者の口には物乞いは甘いが、その腹には火が燃える。

章 41

1 死よ、自分の所有物に安らかに暮らしている人にとって、自分を悩ませるものが何もなく、すべてのことにおいて繁栄している人にとって、あなたの思い出はどれほど苦いことでしょう。そうです、まだ受け入れることができる人にとっては、 肉!
2 死よ、あなたの宣告は、貧しい者たち、そして力の衰えた者、つまり終わりの時代にあり、すべてに悩まされている者、そして絶望し、忍耐を失った者に受け入れられます。
3 死刑の宣告を恐れるな。あなたの前にいた人たちと、その後に来る人たちを思い出しなさい。 これはすべての肉に対する主の宣告だからである。
4 それなのに、なぜあなたは至高者の喜びに逆らうのですか? あなたが十年生きようと、百年生きようと、千年生きようと、墓には異端審問は行われない。
5 罪人の子らは忌まわしい子たちであり、不敬虔な者の住まいに慣れ親しんでいる者たちである。
6 罪人の子孫の相続財産は滅び、彼らの子孫は永遠の非難を受けるであろう。
7 子供たちは不敬虔な父親について不平を言うでしょう。父親のゆえに非難されるからです。
8 災いなるかな、いと高き神の律法を捨てた不敬虔な者たちよ。 もしあなたがたが増加すれば、それはあなたを滅ぼすことになるからです。
9 そして、あなたがたが生まれたなら、呪いを受けて生まれるでしょう。そして、あなたが死んだなら、呪いはあなたの分になるでしょう。
10 地に属するものはすべて再び地に帰り、不敬虔な者たちは呪いから滅びに至るであろう。
11 人の嘆きは自分のからだについてであるが、罪人の悪名はぬぐい去られるであろう。
12 あなたの御名を大切にしなさい。 それは千の偉大な金の宝の上であなたに続くからです。
13 良い人生はわずかしかありませんが、良い名は永遠に続きます。
14 わが子らよ、平和のうちに規律を保て。知恵は隠され、宝は目に見えないが、両者に何の益があるというのか。
15 愚かさを隠す人は、知恵を隠す人よりも優れている。
16 したがって、わたしの言葉に従って恥を知れ。あらゆる恥をかいたままにしておくのは良くないからである。 すべてにおいて完全に承認されているわけでもありません。
17 父と母の前で淫行を恥じ、君主や有力者の前で嘘を言うことを恥じなさい。
18 裁判官や統治者の前での犯罪について。 会衆と人々の前での不正行為。 パートナーや友人の前で不当な取引をしたこと。
19 また、あなたが滞在する場所に関する窃盗、および神とその契約の真理に関する窃盗。 そして肘をついて肉にもたれかかります。 そしてギブアンドテイクを軽蔑すること。
20 また、あなたに敬礼する人々の前では沈黙します。 そして娼婦を見ること。
21 そして、あなたの親族から顔をそむけるために。 または一部または贈り物を持ち去ること。 あるいは他人の妻を見つめること。
22 あるいは、メイドの世話に忙しくて、彼女のベッドに近づかないこと。 あるいは友人の前で非難のスピーチをすること。 そして、あなたが与えた後は、非難しないでください。
23 または、聞いたことを繰り返して再び話すこと。 そして秘密の暴露。
24 それで、あなたは本当に恥をかかされ、すべての人の前で好意を得るでしょう。

章 42

1 あなたは次のことについて恥じないでください。また、それによって人が罪を犯さないようにしてください。
2 いと高き方の律法とその契約について。 そして不敬虔な者たちを正当化する裁きについても。
3 あなたのパートナーや旅行者を考慮してください。 または友人の遺産の贈り物。
4 バランスと重量の正確さ。 または得るものが多いか少ないか。
5 そして商人の無関心な販売について。 子どもたちの多くの矯正。 そして邪悪な僕の側に血を流させること。
6 邪悪な妻がいれば、確かに守るのは良いことです。 そして、多くの人がいるところでは黙ってください。
7 すべてのものを数と重さで届けなさい。 そして、あなたが渡すか受け取ったものをすべて書面に書き留めてください。
8 思慮の浅い者や愚かな者、若者たちと争う極度の高齢者に知らせることを恥じないでください。そうすれば、あなたは真に学び、生きているすべての人に認められるでしょう。
9 父親は、誰も知らないうちに、娘のために起きます。 そして、彼女の世話は睡眠を奪います。彼女が若いときは、彼女が年齢の花を亡くさないようにします。 そして結婚しているのは、嫌われないためです。
10 彼女は処女のまま、汚されて父親の家で子供を産まないよう、 そして夫がいるのは、自分自身が不正行為をしないようにするためだ。 そして結婚するときは、不妊にならないようにするためです。
11 恥知らずな娘をよく見張って、あなたを敵の笑い者にし、町のあざけりにし、人々の間でそしりを与え、群衆の前で恥をかかせないようにしなさい。
12 見よ、すべての体の美しさを見てはいけないし、女性の真ん中に座ってはいけない。
13 というのは、衣からは蛾が生じ、女からは悪が生じるからである。
14 男の無愛想さは、恥と非難をもたらす礼儀正しい女、つまり女よりも優れている、と私は言います。
15 私は今、主のみわざを思い出し、私が見たことを宣言します。主の言葉には主のみわざがあります。

16 光を与える太陽は万物を見つめ、その働きは主の
栄光に満ちている。
17 主は聖徒たちに、そのすべての驚くべき業を宣言
する権限を与えなかったが、それは全能の主が堅く
定められたものであり、あらゆるものがその栄光の
ために確立されるためである。
18 彼は深みと心を捜し出し、彼らの狡猾な策略を考
慮する。主は知り得るすべてのことをご存じであり、
世のしるしをご覧になるからである。
19 神は過去のこととこれからのことを明らかにし、
隠された物事の歩みを明らかにする。
20 彼はどんな考えも逃れられず、どんな言葉も彼か
ら隠されない。
21 彼はその知恵のすぐれた業を飾っており、永遠か
ら永遠に至るまでいます。彼に何も加えることはで
きませんし、減らすこともできません。そして彼に
は助言者を必要としません。
22 ああ、彼の作品はどれも実に魅力的だ。 そして人
間は火花さえも見ることができるのです。
23 これらのものはみな生きており、あらゆる用途に
応じて永遠に残り、またみな従順である。
24 すべてのものは互いに二重であり、神は何一つ不
完全なものを作りませんでした。
25 一つのことが良いことを確立するか、あるいは別
のことを確立するか。そして誰がその栄光を見て満
たされるだろうか。

章 43

1 高さの誇り、澄んだ大空、その輝かしい姿を伴う天
の美しさ。
2 太陽が現れるとき、その昇りに驚くべき手段、いと
高き方の働きを宣言します。
3 正午になると国はカラカラになる、その灼熱に誰が
耐えられるだろうか。
4 かまどを吹いている人は熱の仕事をしているが、太
陽は三倍も山を焼きます。 燃えるような蒸気を吐き
出し、明るい光線を発すると、目が暗くなります。
5 それを造られた主は偉大です。 そして彼の命令に
従って急いで走りました。
6 神はまた、時の宣言と世界のしるしとして、その季
節に役立つように月を造られました。
7 月からは饗宴のしるしがあり、その完全性を低下さ
せる光である。
8 この月は彼女の名前にちなんで呼ばれており、その
変化の中で驚くほど増大し、天上の軍隊の道具とな
り、天の大空で輝いています。
9 天の美しさ、星の栄光、主のいと高き場所に光を与
える飾り。
10 聖なる方の命令に従って、彼らは秩序を保ち、決
して気を失わず見張りをする。
11 虹を見て、それを作った方をたたえよ。 その明る
さはとても美しいです。
12 それは輝かしい円を描いて天を取り囲み、いと高
き方の手によってそれが曲げられた。
13 その命令によって、神は雪をその場に降らせ、裁
きの稲妻を素早く送り出す。
14 これによって宝が開かれ、雲が鳥のように飛び出
す。
15 その偉大な力によって、神は雲を堅くし、雹を小
さく砕く。
16 彼の目には山々が揺れ、彼の意志のままに南風が
吹く。
17 雷の音が大地を震わせます。北の嵐と旋風も同様
です。飛ぶ鳥のように雪を散らし、その降り積もる
のはキリギリスの光のようです。
18 目はその白さの美しさに驚嘆し、心はその雨に驚
く。
19 霧氷も塩として地に注ぎ、固まって鋭い杭の上に
横たわる。
20 冷たい北風が吹いて、水が氷に固まるとき、それ
は水が集まるたびにとどまり、胸当てのように水を
覆います。
21 それは山を食い尽くし、荒野を焼き、草を火のよ
うに焼き尽くします。
22 当面の特効薬は、霧が速やかに降ってきて、露が
暑さをさわやかにすることである。
23 彼はその助言によって深海をなだめ、そこに島々
を植える。
24 海を航海する者たちはその危険を告げる。 そして
それを耳で聞くと、私たちはそこに驚嘆します。
25 そこには奇妙で不思議な作品があり、あらゆる種
類の獣や鯨が創造されたからである。
26 かれによって、彼らの終わりは豊かな成功を収め、
神の言葉によってすべてが成り立つ。
27 私たちは多くを語っても、不十分に語るかもしれ
ませんが、要するに、彼がすべてなのです。
28 どうすれば彼を讃えることができるでしょうか。
なぜなら、彼はあらゆる作品に勝って偉大だからで
ある。
29 主は恐ろしく、非常に偉大であり、その力は驚く
べきものである。
30 あなたがたが主を讃えるときは、できる限り主を
高めなさい。 なぜなら、彼はまだはるかに超えるか
らです。そして、あなたがたが彼を称賛するときは、
すべての力を出し、疲れてはいけません。 あなたが
たは決して十分に遠くまで行くことができないから
です。
31 だれが彼を見て、私たちに知らせようとしたでし
ょうか。 そして、誰がありのままの彼を拡大するこ
とができますか?
32 私たちは彼の作品をほんの少ししか見たことがな
いので、これらよりも偉大なものがまだ隠されてい
ます。
33 主は万物を造られたからである。 そして敬虔な者
に知恵を与えた。

章 44

1 さて、私たちを生んでくれた著名な人々と父たちを
讃美しましょう。

2 主は初めからその大いなる力によって彼らによって大いなる栄光を成し遂げられた。
3 彼らの王国で統治を行った人たちは、その力で知られ、理解力に基づいて助言を与え、預言を宣言した人たちです。
4 民の指導者は、その助言と学問の知識によって民のために行動し、その指示は賢明で雄弁です。
5 音楽の調べを見つけたり、詩を文字で暗唱したりする人たち。
6 人の金持ちは能力を備え、自分たちの住居で平和に暮らしています。
7 これらはみな、彼らの世代で栄誉を受け、その時代の栄光であった。
8 彼らの中には、その賛美が報道されるために名を残した者もいる。
9 また、記念碑のないものもある。 まるで最初から存在しなかったかのように滅びる人々。 そしてまるで生まれてこなかったかのようになります。 そして彼らの後に続く彼らの子供たち。
10 しかし、この人たちは慈悲深い人たちで、その義は忘れられていませんでした。
11 彼らの子孫には良い相続地が絶えず残り、彼らの子孫は契約の中にあります。
12 彼らの子孫はしっかりと立っており、彼らの子孫は彼らのために立っています。
13 彼らの子孫は永遠に残り、彼らの栄光は消えることがない。
14 彼らの遺体は安らかに埋葬されています。 しかし、彼らの名前は永遠に生き続けます。
15 民は彼らの知恵を語り、会衆は彼らを称賛するであろう。
16 エノクは主に喜ばれ、翻訳されて、あらゆる世代に対する悔い改めの模範となった。
17 ノアは完全で義であることが判明した。 怒りの時代に、彼は世界と引き換えに捕らえられた。 したがって、洪水が来たとき、彼は残りの者として地上に残されました。
18 彼と永遠の契約が結ばれた、それは、すべての肉なる者がもはや洪水によって滅びないということである。
19 アブラハムは多くの人々の偉大な父でした。栄光において彼に匹敵する者はいませんでした。
20 いと高き方の律法を守り、彼と契約を結んだ者である。彼はその肉において契約を定めた。 そして彼が証明されたとき、彼は忠実であることがわかりました。
21 そこで、彼は、自分の子孫のうちにある諸国民を祝福し、その子孫を地の塵のように増やし、その子孫を星のように高め、彼らが海から海へと受け継がせるように、と誓いを立てて彼に約束した。 そして川から土地の隅々まで。
22 彼はイサクと同様に、父アブラハムのために全人類の祝福と契約を定め、それをヤコブの頭に載せた。彼は祝福の中で彼を認め、遺産を与え、彼の分け前を分け与えました。 彼は 12 の部族の中で彼らを分けました。

章 45

1 そして、彼は自分の中から慈悲深い人を導き出し、その人はすべての肉なる者の目に好意を示し、神と人々に愛されたモーセさえも受け入れられ、その記念が祝福されました。
2 神は彼を輝かしい聖徒たちと同じようにし、彼を大きくしたので、彼の敵は彼を恐れて立っていた。
3 彼はその言葉によって不思議な出来事を終わらせ、王たちの前で彼を栄光とし、民のために戒めを与え、その栄光の一部を彼に示した。
4 神はその不忠実さと柔和さによって彼を聖別し、すべての人の中から彼を選びました。
5 神は彼に自分の声を聞かせ、暗雲の中に連れて行き、ヤコブに契約を、イスラエルに裁きを教えるために、面前で戒めと命と知識の律法を与えた。
6 彼は、レビ族の自分と同じ聖人であり、兄弟でもあるアロンを高く評価した。
7 彼は彼と永遠の契約を結び、民の間で神権を与えた。彼は美しい装飾品で彼を美しくし、栄光のローブを着せました。
8 彼は彼に完全な栄光を与えました。 そして、豊かな衣服、半ズボン、長い上着、そしてエポデで彼を強めた。
9 そして彼は、ザクロと多くの金の鐘で彼の周りを囲み、彼の民の子供たちの記念として、彼が行くときに音と騒音が神殿に聞こえるようにした。
10 聖なる衣、金、青絹、紫の刺繍細工、裁きの胸当て、ウリムとトンミム。
11 ひねった緋色は狡猾な職人の仕事で、貴石は印章のように刻まれ、宝石商の仕事は金にはめ込まれ、記念のためにイスラエルの部族の数にちなんだ文字が刻まれている。
12 彼はその冠に金の冠をかぶせた。そこには、名誉の装飾品であり、高価な仕事であり、目の欲望である、美しく美しい聖性が刻まれていた。
13 彼の以前には、そのような人は誰もおらず、見知らぬ人がそれを着たこともありませんでしたが、彼の子供たちと彼の子供たちの子供だけが常にそれを着ていました。
14 彼らのいけにえは、毎日二回続けて全部食べられる。
15 モーセは彼を聖別し、聖油をそそいだ。これは、永遠の契約によって彼とその子孫に、天が続く限り、彼らが彼に仕え、祭司の職を執行するようにと定められたものである。 そして彼の名において人々を祝福してください。
16 彼は、民の和解のために、記念として主にいけにえ、香、香料をささげるために、生きているすべての人の中から彼を選んだ。
17 イエスは、ヤコブに証しを教え、その律法をイスラエルに知らせるよう、自分の戒めと判決法に関する権威を彼に与えた。
18 見知らぬ人たちが彼に対して共謀し、荒野で彼を中傷し、ダタンとアビロンの側の人たち、そしてコアの会衆さえも激怒と憤りをもって中傷した。

19 主はこれを見て不快に思われたので、激しい憤りで彼らは焼き尽くされた。主は彼らに不思議なわざを行って、燃えるような炎で彼らを焼き尽くした。
20 しかし、彼はアロンをさらに名誉な者とし、相続財産を与え、その増加の初穂を彼に分け与えた。特にパンをたくさん用意してくれました。
21 彼らは、主が彼とその子孫に与えられた主のいけにえを食べるからである。
22 しかし、民の地では彼には相続財産がなく、民の中での分け前もありませんでした。主ご自身が彼の分け前であり、相続地であるからです。
23 栄光の第三は、エレアザルの子ピネスである。彼は主を畏れることに熱心で、民が引き返してイスラエルと和解したとき、勇敢な心に立ち上がったからである。
24 それゆえ、彼との間には、彼が聖所とその民のかしらとなり、彼と彼の子孫が永遠に祭司の威厳を有するという平和の契約が結ばれた。
25 ユダ族のエッサイの子ダビデと結んだ契約によれば、王の相続地はその子孫にのみ与えられるので、アロンの相続地もその子孫に与えられるべきである。
26 神は、ご自分の民を義をもって裁くための知恵を、あなたの心の中に与えてください。そうすれば、彼らの良いことが廃れず、彼らの栄光が永遠に続くようになります。

章 46

1 ナイーブの息子イエスは戦争で勇敢で、預言の中ではモーセの後継者であり、その名の通り、神の選民を救い、彼らに対して立ち上がった敵に復讐するために偉大とされた。それはイスラエルを彼らの相続地に置くためであった。
2 彼が手を上げ、都市に向かって剣を伸ばしたとき、彼はどれほど大きな栄光を得たことでしょう。
3 彼の前に誰がそのようなことに耐えたでしょうか。主ご自身が敵を自分のもとに連れて来られたからである。
4 太陽は彼の手段によって戻ったのではありませんか?そして一日は二日ほど長かったのではないか?
5 敵が四方八方から迫ってきたとき、彼はいと高き主を呼び求めた。すると偉大なる主は彼の声を聞いた。
6 そして彼は、強大な力の雹を諸国民に激しく降らせる戦いを仕掛け、ベテホロンの下りの際、抵抗する者たちを滅ぼした。諸国民がその力のすべてを知るためであった。彼は主の御前で戦ったからである。そして彼はマイティ･ワンを追った。
7 モーセの時代にも、彼とエフンネの子カレブは、会衆を耐え、民を罪から遠ざけ、邪悪なつぶやきをなだめるという慈悲の業を行った。
8 そして、徒歩で歩いていた 60 万人のうち、彼ら 2 人は、彼らを遺産、さらには乳と蜂蜜の流れる土地に連れて行くために守られました。
9 主はカレブにも力を与えられたが、カレブは老年まで彼と共にいたので、彼は国の高き所に入り、彼の子孫はそれを遺産として得た。
10 それは、イスラエルのすべての子らに、主に従うことが良いことであることが分かるためである。
11 裁判官たちについては、名前を挙げると、心が売春婦にならず、主から離れなかった人たち全員、その思い出が祝福されますように。
12 彼らの骨がその場所から栄え、栄えられた彼らの名が彼らの子供たちに受け継がれますように。
13 主の預言者、主に愛されたサムエルは王国を築き、民の上に君たちに油を注いだ。
14 ヤコブは主の律法によって会衆を裁いたので、主はヤコブを尊敬された。
15 彼はその忠実さによって真の預言者であることがわかり、その言葉によって幻において忠実であることが知られました。
16 彼は、敵が四方八方から迫ってきたとき、乳を飲んでいる小羊をささげたとき、力強い主を呼び求めた。
17 すると、主は天から雷鳴をとどろかせ、大きな音を立ててその声が聞こえた。
18 そして彼はティリア人の支配者たちとペリシテ人のすべての君主たちを滅ぼした。
19 そして、長い眠りの前に、彼は主とその油そそがれた者の目の前で、「わたしは靴一個たりとも人の物を受け取ったことがない」と抗議した。そして、誰も彼を告発しなかった。
20 そして彼の死後、彼は預言し、王に自分の最後を示し、民の悪を消し去るために地から預言の声を上げた。

章 47

1 そして彼の後、ナタンはダビデの時代に預言するために立ち上がった。
2 和解のいけにえから脂肪が取り除かれたように、ダビデもイスラエルの子らの中から選ばれた。
3 彼は子供たちと同じようにライオンと遊び、子羊と同じようにクマと遊びました。
4 彼は巨人ではなく、まだ若いときに殺しましたか?そして、彼が石投げの中に石を持って手を上げ、ゴリアテの高慢を打ち負かしたとき、人々からの非難を取り除いたではありませんか?
5 彼はいと高き主を呼び求めたからである。そして彼はその強力な戦士を殺し、彼の民の角を立てるために彼の右手に力を与えました。
6 そこで民は一万人で彼を讃え、彼に栄光の冠を与えたという主の祝福をもって彼を称賛した。
7 なぜなら、彼は四方八方の敵を滅ぼし、敵対するペリシテ人を無に帰し、今日に至るまで彼らの角を打ち砕いたからである。
8 彼はすべての業において、栄光の言葉をもっていと高き聖者を賛美した。彼は心を込めて歌を歌い、彼を作ってくれた彼を愛しました。
9 また、歌い手を祭壇の前に立たせて、その声で甘い調べを奏で、毎日歌の中で賛美を歌わせようとした。

10 彼は彼らの祝宴を美しくし、彼らが彼の聖なる御
名を賛美し、朝から神殿が響きわたるように、最後
まで厳粛な時間を整えた。
11 主は彼の罪を取り除き、その角をとこしえに高め、
王の契約とイスラエルにおける栄光の座を彼に与え
られた。
12 彼の後に賢い息子が起き上がり、彼は彼のために
広く住んだ。
13 ソロモンは平和な時代に君臨し、栄誉を受けまし
た。 神は彼の周りをすべて静かにして、彼が彼の名
のもとに家を建て、彼の聖所を永遠に備えさせたか
らである。
14 あなたは若い頃、なんと賢明で、洪水のように理
解力に満ちていたのでしょう。
15 あなたの魂は全地を覆い、あなたはそれを暗いた
とえで満たしました。
16 あなたの御名は遠く島々にまで響きました。 そし
てあなたの平和のために、あなたは愛されました。
17 国々はあなたの歌、ことわざ、たとえ話、解釈に
あなたを驚かせました。
18 イスラエルの主なる神と呼ばれる主なる神の御名
によって、あなたは錫のように金を集め、鉛のよう
に銀を増やしました。
19 あなたは女たちに腰をかがめ、その体によって服
従させられました。
20 あなたは自分の名誉を汚し、自分の種を汚したの
で、子供たちに怒りをもたらし、自分の愚かさのた
めに悲しみました。
21 こうして王国は分裂し、エフライムから反逆の王
国が支配した。
22 しかし、主は決して憐れみを捨てず、その業は滅
びず、選ばれた者の子孫を滅ぼさず、ご自分を愛す
る者の子孫を取り上げられない。それで主は残りの
者をヤコブに与えられた。 そして彼からダビデへの
根が生まれました。
23 ソロモンはこうして先祖たちとともに眠り、その
子孫のうち、民の愚かさ、そして自分の助言によっ
て民を遠ざけた理解力のないロボアムを残した。 ネ
バトの子ヤラベアムもイスラエルに罪を犯させ、エ
フライムに罪の道を教えました。
24 そして、彼らの罪は著しく増し、国から追い出さ
れた。
25 彼らは、復讐が彼らに臨むまで、あらゆる悪を追
い求めたからである。

章 48

1 それから、預言者エリアスが火のように立ち上がり、
彼の言葉はランプのように燃え上がりました。
2 彼は彼らにひどい飢きんをもたらし、その熱意によ
って彼らの数を減らした。
3 主の言葉によって、彼は天を閉ざし、また三度火を
降らせた。
4 おおエリアスよ、あなたはその驚くべき行為におい
てどれほど栄誉を受けたことでしょう。 そして誰が
あなたに同じように栄光をもたらすでしょう!
5 いと高き方の御言葉によって、だれが死者を死から
よみがえらせ、その魂を死者の場所からよみがえら
せたのでしょうか。
6 最も王たちを破滅に導き、名誉ある者たちを床から
引きずり下ろしたのは誰だ。
7 シナイでの主の叱責とホレブでの復讐の裁きを聞い
た者は、
8 だれが王たちに復讐するよう油をそそぎ、預言者た
ちに彼の後に続くように油を注いだのでしょう。
9 火の渦の中に、そして火の馬の戦車に乗せられた者
は、
10 彼らは、当時の戒めとして、主の裁きの怒りが激
怒する前にそれを静め、父の心を子に向け、ヤコブ
の部族を回復するために任命された者たちである。
11 あなたを見て、愛し合って眠った人たちは幸いで
す。 私たちは必ず生きるからです。
12 それは、つむじ風に覆われたエリアスでした。そ
してエリセウスは彼の精神に満たされていました。
彼は生きている間、どの君主の存在にも心を動かさ
れず、誰も彼を服従させることもできませんでした。
13 どんな言葉も彼を打ち負かすことはできませんで
した。 そして彼の死後、彼の体は預言した。
14 彼は生涯に驚くべきことを行い、その死の際にも
彼の行いは驚くべきものであった。
15 このようなことにもかかわらず、民は悔い改めず、
罪から離れることもせず、ついには甘やかされて土
地を追われ、全地に散らされた。それでもダビデの
家には少数の民と支配者が残っていた。:
16 その中で、ある者は神に喜ばれることを行い、あ
る者は罪を増大させた。
17 エゼキヤは自分の町を強化し、その真ん中に水を
引き込み、鉄で硬い岩を掘って、水のための井戸を
作りました。
18 やがてセンナケリブがやって来てラブサケスを遣
わし、シオンに向かって手を上げて誇らしげに誇っ
た。
19 すると、彼らの心と手は震え、産婦のように苦し
んだ。
20 しかし彼らは慈悲深い主を呼び求め、手をその方
に差し伸べた。すると、すぐに聖なる方が天から彼
らの声を聞き、エサイの奉仕によって彼らを救い出
された。
21 彼はアッシリア軍の軍勢を撃ち、彼の天使は彼ら
を滅ぼした。
22 エゼキヤは、偉大でその幻に忠実であった預言者
エサイが命じたとおり、主に喜ばれることを行い、
父ダビデの道に忠実であったからである。
23 彼の時代、太陽は逆行し、王の寿命を延ばした。
24 彼は優れた霊によって最後に何が起こるかを見て、
シオンで悲しんでいる人々を慰めた。
25 彼は永遠に起こるべきこと、そして秘密の事柄、
あるいはそれが起こることを示した。

章 49

ジョシアスの思い出は、薬剤師の技術によって作られる香水の組成に似ています。それは口の中に蜂蜜のように甘く、ワインの宴の音楽のように甘いです。
2 彼は民の回心において正しい行いをし、忌まわしい不法行為を取り除いた。
3 彼は心を主に向け、不敬虔な者の時代に神への崇拝を確立しました。
4 ダビデとエゼキアスとヨシアスを除いては、みな欠陥があった。彼らはいと高き者の律法を捨てたため、ユダの王たちも失敗した。
5 それゆえ、彼は彼らの力を他の人々に与え、彼らの栄光を見知らぬ国民に与えた。
6 彼らは、エレミヤの預言に従って、選ばれた聖所の町を焼き、街路を荒廃させた。
7 彼らは、母親の胎内で聖別された預言者であるにもかかわらず、彼を根絶し、苦しめ、滅ぼすように悪者を懇願したからである。 そして彼もまた家を建て、植えることができるように。
8 ケルビムの戦車の上で見せられた輝かしい幻を見たのはエゼキエルであった。
9 彼は雨の影の下にある敵について言及し、彼らが右に進むように指示したからである。
10 そして十二人の預言者のうち、記念碑が祝福され、彼らの骨がその場所から再び栄えますように。彼らはヤコブを慰め、確かな希望によって彼らを救ったからです。
11 ゾロバベルをどのように讃えるべきでしょうか。彼さえも右手に印章を持っていました。
12 ヨセデクの子イエスも同様でした。イエスは当時、家を建て、永遠の栄光のために備えられた主のための聖なる神殿を建てました。
13 そして選ばれた者の中には、名声の高いネミヤスがいた。彼は私たちのために崩れた城壁を築き上げ、門とかんぬきを設置し、私たちの廃墟を再び築き上げた。
14 しかし、地上にはエノクのように創造された人は誰もいなかった。 彼は地球から取られたからです。
15 また、ヨセフのような生まれで、兄弟たちの総督であり、民の滞在者であり、その骨が主とみなされた若者もいなかった。
16 セムとセトは人々の間で非常に名誉ある者であり、アダムもまた創造されたあらゆる生き物の上にありました。

章 50

1 オニアスの子大祭司シモンは、生前に再び家を修復し、その時代に神殿を強化した。
2 そして彼によって、神殿の周囲の城壁の二倍の高さの高い要塞が基礎から建てられた。
3 彼の時代、海と同じように水を受け取る貯水槽は真鍮の板で覆われていました。
4 彼は神殿が陥落しないように世話をし、包囲に対して都を強化した。
5 彼が聖所から出てきたとき、人々のただ中でどれほど栄誉を与えられたことでしょう。
6 彼は雲の中の明けの明星のようであり、満月の月のようだった。
7 いと高き方の神殿を照らす太陽のように、明るい雲の中に光を与える虹のように。
8 春のバラの花のように、川のほとりのユリのように、夏の乳香の木の枝のように。
9 香炉の火と香のように、またあらゆる宝石をはめた金の器のように、
10 そして、実を芽吹かせる美しいオリーブの木のように、そして雲にまで伸びる糸杉の木のように。
11 彼が栄誉の衣を着て、完全な栄光をまとったとき、聖なる祭壇に上ったとき、神は聖性の衣を名誉あるものとした。
12 祭司たちの手からその部分を取り出すと、彼自身は祭壇の囲炉裏のそばに立って、リバノスの若い杉のように周囲を取り囲んだ。 そしてヤシの木が彼の周りを取り囲んでいた。
13 アロンの子らは皆、イスラエルの全会衆の前で栄光を現し、主からの奉献物を手に持っていた。
14 そして祭壇での礼拝を終えて、いと高き全能者へのささげ物を飾るため、
15 彼は杯に手を伸ばし、ぶどうの血を注ぎ、甘い香りをすべての王に向けて祭壇の足元に注ぎました。
16 それから、アロンの子らは叫び、銀のラッパを吹き鳴らして、いと高き方の前で記念のために大きな音を立てた。
17 そこで民は皆、急いで地にひれ伏し、いと高き全能の神、主を礼拝した。
歌手たちも声で賛美を歌い、多彩な音で甘いメロディーを奏でた。
19 そして民は、主の厳粛が終わり、その奉仕が終わるまで、慈しみ深い御前で祈りによっていと高き主に祈りを求めた。
20 それから彼は下って行き、イスラエルの子らの会衆全体の上に手を上げて、唇で主の祝福をささげ、その御名を喜びました。
21 そして彼らは、いと高き方から祝福を受けるために、二度目に身をかがめて礼拝した。
22 それゆえ、今、あなたがたはすべての神を祝福してください。神はあらゆる場所でただ驚くべきことを行い、胎内から私たちの日々を高め、その憐れみに従って私たちを扱ってくださいます。
23 神は私たちに心の喜びを与えてくださいます。そして、私たちのイスラエルの日々に平和が永遠に続くようにしてください。
24 神が私たちに憐れみを示してくださり、その時に私たちを救い出してくださるように。
25 私の心が憎む国家には二つの種類があり、第三は国家ではありません。
26 サマリアの山に住む者たち、ペリシテ人の間に住む者たち、シケムに住む愚かな者たち。
27 エルサレムのシラクの子イエスは、心から知恵を注ぎ出して、理解と知識の教えをこの書に書き残されました。

28 これらのことに励む者は幸いである。 そしてそれ
を心の中に置く者は賢くなるであろう。
29 それを行うなら、彼はすべてのことに対して強い
でしょう。主の光が彼を導き、敬虔な者に知恵を与
えるからです。 主の御名が永遠にほめられますよう
に。 アーメン、アーメン。

章 51

1 シラクの子イエスの祈り。 主よ、王よ、私はあな
たに感謝し、あなたを讃美します、おお神よ、私の
救い主よ、私はあなたの御名を讃えます。
2 あなたは私の擁護者であり助け手であり、私の体を
破壊から、中傷する舌の罠から、嘘を捏造する唇か
ら守り、私の敵対者に対して私の助けとなってくだ
さいました。
3 そして、彼らの多くの慈悲とあなたの御名の偉大さ
に応じて、私をむさぼり食おうとする者たちの歯か
ら、私の命を狙う者たちの手から、そして人々が襲
うさまざまな苦しみから私を救い出してくださいま
した。 私は持っていました。
4 四方八方の火の窒息から、そして私が点火しなかっ
た火の真っ只中から。
5 地獄の腹の底から、汚れた舌から、偽りの言葉から。
6 不義の舌による王への告発によって、私の魂は死に
さえ近づき、私の人生は地獄に近づきました。
7 彼らは四方から私を取り囲み、私を助けてくれる人
は誰もいませんでした。私は人々の助けを探しまし
たが、誰もいませんでした。
8 そこで私は、主よ、あなたの慈悲と、あなたの昔の
行為について、あなたが待ち望んでいる人々をどの
ように救い出し、敵の手から救ってくださったのか
を思いました。
9 それから私は願いを地上から上げて、死からの解放
を祈りました。
10 わたしは、苦しみの日々や、助けのない高慢な時
期に、わたしを見捨てないでくださるよう、わたし
の主の父である主に祈りました。
11 わたしは絶えずあなたの御名を賛美し、感謝をも
って賛美を歌います。 そして私の祈りは聞き届けら
れました。
12 あなたは私を滅びから救い、悪の時代から救い出
してくださいました。それゆえ、私は感謝し、あな
たを賛美し、彼らの名を祝福します、主よ。
13 私がまだ若かったとき、あるいは海外に行ったと
き、私は祈りの中で公然と知恵を求めました。
14 私は神殿の前で彼女のために祈りました。そして
最後まで彼女を捜し求めます。
15 花が咲いてから、ぶどうが熟すまで、私の心は彼
女を喜びました。私の足は正しい道を進み、若い頃
から私は彼女を追い求めました。
16 私は少し耳を下げて彼女を受け入れ、多くのこと
を学びました。
17 わたしはそれで利益を得ました。ですから、わた
しに知恵を与えてくださる方に栄光を帰します。
18 私は彼女に倣おうと思って、良いことを熱心に行
ないました。 それで私は混乱しないでしょう。
19 私の魂は彼女と格闘し、私の行動においては正確
でした。私は天に手を伸ばし、彼女についての自分
の無知を嘆きました。
20 私は自分の魂を彼女に向けました、そして私は彼
女が純粋であることに気づきました。私は最初から
彼女と私の心を結び付けていました、それゆえに私
は見捨てられることはありません。
21 私の心は彼女を求めて悩んだので、私は良いもの
を手に入れました。
22 主は報酬として私に舌を与えてくださったので、
私はそれで彼をほめたたえます。
23 学ばない者よ、わたしに近づき、学びの家に住み
なさい。
24 あなたがたはなぜ遅いのか、自分の魂はひどく渇
いているのに、これらのことに何を言うのか。
25 私は口を開いて言った、「お金がなくても彼女を
買ってください。」
26 あなたの首をくびきの下に置き、あなたの魂に教
えを受けさせてください。彼女を見つけるのは難し
いです。
27 あなたの目で見てください、私はほんの少しの労
働で、十分な休息を与えられています。
28 多額の金を使って勉強し、彼女からたくさんの金
を手に入れなさい。
29 あなたの魂は神の憐れみを喜び、その賞賛を恥じ
てはならない。
30 時々自分の仕事をしなさい。そうすれば、神の時
が来たら、神はあなたに報酬を与えてくださるでし
ょう。

Book of Baruch

バルークの書

第 1 章

1 これは、ネリアの子、マアシアの子、セデシアの
子、アサディアスの子、ケルキアスの子バルクが
バビロンで書いた本の言葉である。
2 五年目の七日、カルデア人がエルサレムを占領し、
火で焼き払ったときのことである。
3 そしてバルクは、ユダの王ヨアヒムの子エコニア
スの耳に、またこの書を聞きに来たすべての民の
耳に、この書の言葉を読み上げた。
4 また、貴族たち、王の息子たち、長老たち、そし
て身分の低い者から高い者に至るまで、バビロン
のスド川のほとりに住んでいたすべての民の耳に
も入った。
5 そこで彼らは主の前で泣き、断食し、祈った。
6 彼らはまた、あらゆる人の力に応じてお金を集め
た。
7 それから彼らはそれをエルサレムに送り、サロム
の子ケルキアスの子である大祭司ヨアヒムと祭司
たち、およびエルサレムで彼と一緒にいたすべて
の民に送り、
8 シワンがユダの地に返すために神殿から運び出さ
れた主の宮の器物を受け取ったと同時に、シワン
は、セデヤスが持っていた銀の器、すなわち銀の
器を受け取った。 ヤダの王ヨシヤの子が作った、
9 その後、バビロンの王ナブコドノソルは、エコニ
アス、君たち、捕虜、有力者たち、および地の民
をエルサレムから連れ去り、バビロンに連れて行
った。
10 そこで彼らは言った、「見よ、私たちはあなた
がたに全焼のいけにえ、罪のためのいけにえ、香
を買うためにお金を送りました。また、マナを用
意して、私たちの神、主の祭壇にささげなさい。」
11 そして、バビロンの王ナブコドノソルの命と、
その子バルタザールの命のために祈ってください。
彼らの日々が地上で天国の日々のように続くよう
に。
12 そして、主は私たちに力を与え、私たちの目を
明るくしてくださいます。そして私たちはバビロ
ンの王ナブコドノソルの陰とその子バルタザール
の陰で生き、彼らに長く仕え、彼らの目に好意を
見出すでしょう。 。
13 私たちのためにも、私たちの神、主に祈ってく
ださい。私たちは私たちの神、主に対して罪を犯
しました。 そして今日に至るまで、主の怒りと怒
りは私たちから遠ざかっていません。
14 そして、あなたがたは、祝日と厳粛な日に、主
の家で告白をするために、私たちがあなたがたに
送ったこの本を読むべきである。
15 そして、あなたがたは言うであろう、「義は私
たちの神、主に属するが、今日のようなユダの人
々とエルサレムの住民の顔の混乱は私たちにある、
16 そして、私たちの王たち、私たちの君たち、私
たちの祭司たち、私たちの預言者たち、そして私
たちの先祖たちに、
17 私たちは主の前に罪を犯したのですから、
18 そして、彼に背き、主が私たちに公然と与えら
れた戒めに従って歩むという、私たちの神、主の
声に耳を傾けませんでした。
19 主が私たちの先祖たちをエジプトの地から導き
出して以来、今日に至るまで、私たちは私たちの
神、主に不従順であり、その声を聞かずに怠慢で
あった。
20 それゆえ、悪はわたしたちに裂け、そして主が
わたしたちの先祖たちをエジプトの地から連れ出
したとき、そのしもべモーセによって、このよう
に乳と蜜の流れる土地をわたしたちに与えようと
定められた呪いが、わたしたちに与えられたので
ある。 この日を見ることです。
21 それにもかかわらず、私たちは、私たちの神、
主が私たちに遣わされた預言者の言葉すべてに従
って、その声に耳を傾けませんでした。
22 しかし、人はみな、自分の邪悪な心の想像に従
い、異邦の神々に仕え、私たちの神、主の目に悪
を行った。

第 2 章

1 それゆえ、主は、わたしたちに対して、イスラエ
ルを裁いた裁判官たちに対して、わたしたちの王
たちに対して、わたしたちの君主たちに対して、
そしてイスラエルとユダの人々に対して宣告され
た御言葉を正しくされた。
2 モーセの律法に書かれているとおり、エルサレム
で起こったように、全天の下では決して起こらな
かったような大きな災いを私たちにもたらすため
です。
3 人が自分の息子の肉と自分の娘の肉を食べること。
4 さらに、主は彼らを、私たちの周囲のすべての王
国に服従させ、主が彼らを散らされた周囲のすべ
ての民の間で非難と荒廃のようなものにさせまし
た。
5 このように、私たちは、私たちの神、主に対して
罪を犯し、その声に従順でなかったために、高め
られることはなく、落とされたのです。
6 私たちの神、主には義が与えられますが、今日現
れるように、私たちと私たちの先祖には恥がさら
されます。
7 これらすべての災いがわたしたちに降りかかるの
は、主がわたしたちに対して宣告されたからであ
る。
8 しかし、私たちは、すべての人をその邪悪な心の
想像から遠ざけるように、主の前で祈ったことは
ありません。

9 それゆえ、主は私たちの悪を監視し、それを私た
ちにもたらしました。主は私たちに命じられたす
べての業において義であるからです。
10 それにもかかわらず、私たちは彼の声に耳を傾
けず、主が私たちの前に定められた主の戒めに従
って歩むことができませんでした。
11 そして今、イスラエルの神、主よ、力強い手と
高い腕としるしと不思議な力と大きな力をもって
あなたの民をエジプトの地から導き出し、あなた
の名を与えられました。 この日現れたように：
12 私たちの神、主よ、私たちは罪を犯し、不敬虔
な行いをし、あなたのすべての定めにおいて不正
を行いました。
13 あなたの怒りを私たちから遠ざけましょう。あ
なたが私たちを散らされた異教徒の中に、私たち
はほんのわずかしか残っていないからです。
14 主よ、わたしたちの祈りと嘆願を聞いてくださ
い。そして、あなたのためにわたしたちを救って
ください。そして、わたしたちを連れ去った者た
ちの前で、わたしたちに恵みを与えてください。
15 それは、イスラエルとその子孫があなたの名で
呼ばれているので、あなたが私たちの神、主であ
ることを全地が知るためです。
16 主よ、あなたの聖なる家から見下ろして、私た
ちを顧みてください。主よ、あなたの耳を傾けて
私たちの声を聞いてください。
17 あなたの目を開けて、見よ。 魂が体から取り去
られ、墓の中にいる死者たちは、主に賛美も義も
与えないからである。
18 しかし、主よ、ひどく悩まされ、かがんで弱っ
て行く魂、衰えた目、そして飢えた魂は、あなた
に賛美と正義を与えてくださいます。
19 それゆえ、私たちの神、主よ、私たちはあなた
の前に、私たちの先祖と王たちの義のために謙虚
に祈りません。
20 あなたは、ご自分の僕である預言者たちにこう
言われたように、私たちに怒りと憤りを送ってく
ださいました。
21 主はこう言われる、「肩を下げてバビロンの王
に仕えなさい。そうすれば、あなたがたは、わた
しがあなたの先祖たちに与えた地に留まるであろ
う。」
22 しかし、もしあなたがたがバビロンの王に仕え
る主の声を聞かないなら、
23 わたしは、ユダの諸都市から、そしてエルサレ
ムの外から、歓喜の声、喜びの声、花婿の声、花
嫁の声を絶やさせ、全地は荒廃するであろう。 住
民。
24 しかし、私たちは、バビロンの王に仕えようと
いうあなたの声に耳を貸そうとはしませんでした。
それで、あなたは、しもべ預言者たちに言った言
葉、すなわち、私たちの王たちの骨と私たちの先
祖の骨が、 彼らの場所から連れ去られる。
25 そして、見よ、彼らは日中の暑さ、夜の霜の中
に放り出され、飢餓と剣と疫病によってひどい苦
しみの中で死んだ。
26 そして、あなたの名で呼ばれる家は、今日見ら
れるように、イスラエルの家とユダの家の不法行
為のために、あなたは荒廃させました。
27 私たちの神、主よ、あなたはご自分の善意を尽
くして、あなたのその大いなる憐れみに従って私
たちを扱ってくださいました。
28 あなたが、イスラエルの人々の前で律法を書く
ように命じられた日、しもべモーセを通してこう
言われたとおりです。
29 もしあなたがたがわたしの声を聞かないなら、
きっとこの大群衆は諸国の中で少数となり、わた
しはそこで彼らを散らすであろう。
30 というのも、この民はかたくなな民なので、彼
らがわたしの言うことを聞かないことはわかって
いたからです。しかし、捕囚の地で彼らは自分自
身を思い出すでしょう。
31 そして、わたしが彼らの神、主であることを知
るであろう。わたしは彼らに心と聞く耳を与える
からである。
32 そして彼らは捕囚の地でわたしを賛美し、わた
しの名を思い起こすだろう。
33 そして、彼らの凝り固まった首とその悪行から
立ち帰りなさい。彼らは主の前で罪を犯した先祖
たちのやり方を思い出すからである。
34 そして、わたしは彼らの先祖であるアブラハム、
イサク、ヤコブに誓って約束した土地に彼らを再
び連れて行き、彼らはその領主となる。そしてわ
たしは彼らを増やし、彼らが減ることはない。
35 そして、わたしは彼らと永遠の契約を結び、彼
らの神となり、彼らはわたしの民となる。そして
わたしは、わたしのイスラエルの民を、わたしが
彼らに与えた土地からもはや追い出すことはない。

第 3 章

1 おお全能の主よ、イスラエルの神よ、苦悩する魂
よ、あなたに叫びます。
2 主よ、聞いてください、憐れんでください。 あ
なたは慈悲深いお方ですから、私たちを憐れんで
ください。私たちはあなたの前で罪を犯したので
すから。
3 あなたは永遠に耐え忍んで、私たちは完全に滅び
ます。
4 全能の主よ、イスラエルの神よ、今、死んだイス
ラエル人とその子供たちの祈りを聞いてください。
彼らはあなたの前に罪を犯し、彼らの神であるあ
なたの声に耳を傾けませんでした。これらの災い
が私たちに引き裂かれる原因となっているのは、 。
5 私たちの先祖たちの咎を思い出してはなりません。
しかし、今このとき、あなたの力とあなたの名前
について考えてください。

6 あなたは私たちの神、主ですから、主よ、私たち
はあなたを讃美します。
7 そして、この理由のために、あなたは私たちの心
にあなたの恐れを置き、私たちが捕らわれの身で
あなたの御名を呼び、あなたを賛美しなければな
らないという意図で、あなたの前に罪を犯した私
たちの先祖のすべての咎を思い出させたからです。
8 見よ、私たちは今日も捕虜の中にいます。あなた
は、非難と呪いを受け、私たちの神、主から離れ
た先祖たちのすべての咎に従って、あなたが私た
ちを散らし、代償を払わされたのです。
9 イスラエルよ、命の戒めを聞け。知恵を理解する
ために耳を傾けよ。
10 イスラエルよ、どうしてあなたはあなたの敵の
国にいて、あなたは見知らぬ国で年をとり、あな
たは死者とともに汚れているのですか、
11 あなたは墓に入る者たちと数えられるのか。
12 あなたは知恵の泉を見捨てました。
13 もしあなたが神の道を歩いていたら、あなたは
永遠に平和に住んでいたはずだからです。
14 どこに知恵があるのか、どこに力があるのか、
どこに理解があるのかを学びなさい。 日の長さ、
人生はどこにあるのか、目の光はどこにあるのか、
そして平和はどこにあるのかをあなたが知ること
ができるように。
15 誰が彼女の居場所を見つけたのか? あるいは誰
が彼女の宝物に入ったのでしょうか?
16 異教徒の君主たちは、地上の獣を統べる者たち
はどこにいるのか。
17 空の鳥たちと娯楽を楽しんだ者たち、そして人
々が信頼する銀や金を蓄え、果てしなく手に入れ
た者たちだろうか。
18 というのは、銀を細工し、細心の注意を払い、
その作品を捜すことのできない者たちである。
19 彼らは姿を消して墓に下り、他の者たちが代わ
りに上がってくる。
20 若者たちは光を見て地上に住んだが、知識の道
を知らなかった。
21 その道も理解できず、その道を掴むこともでき
なかった。彼らの子供たちはその道から遠く離れ
ていた。
22 それはカナンでも聞いたことがなく、テマンで
も見たことがありません。
23 地上で知恵を求めるアガレ人、メランとテマン
の商人、寓話の作者、そして理解のない探求者。
これらの誰も知恵の道を知らず、彼女の道を覚え
ていません。
24 イスラエルよ、神の家は何と偉大なのだろう。
そして彼の所有地はなんと広いことでしょう!
25 偉大で終わりがない。 高くて計り知れない。
26 最初から有名な巨人たちがいて、彼らは非常に
身長が高く、戦争に非常に熟練していました。
27 主はこれらの者たちを選ばなかったし、彼らに
知識の道を与えなかった。
28 しかし、彼らは知恵がなかったため滅ぼされ、
自らの愚かさによって滅びました。
29 だれが天に昇って彼女を連れ、雲から降ろした
だろうか。
30 だれが海を越えて彼女を見つけ、純金を手に入
れようとするだろうか。
31 誰も彼女の道を知りませんし、彼女の道につい
て考えません。
32 しかし、すべてを知っている者は彼女を知って
おり、自分の理解力をもって彼女を見つけ出しま
した。地球を永遠に備えた者は、それを四つ足の
獣で満たしました。
33 光を発し、それが去る者は、再びそれを呼び出
す、そして光は恐れて彼に従う。
34 星たちは時計を輝かせて喜びました。神が星々
を呼ぶと、彼らは言います、「ここにいます」。
こうして彼らは、彼らを造られた方に陽気な光を
当てた。
35 これは私たちの神であり、彼に匹敵するものは
他にありません。
36 彼はあらゆる知識の道を見つけ出し、それをそ
のしもべヤコブと彼の愛するイスラエルに与えた。
37 その後、彼は地上に姿を現し、人々と会話した。

第 4 章

1 これは神の戒めの書であり、永遠に存続する律法
である。これを守る者はみな命を得る。 しかし、
放っておくとそれは死んでしまいます。
2 ヤコブよ、向きを変えて、それをつかみなさい。
あなたが照らされるように、その光の前を歩きな
さい。
3 自分の名誉を他人に与えたり、自分の利益となる
ものを見知らぬ国民に与えたりしてはなりません。
4 イスラエルよ、わたしたちは幸いです。神に喜ば
れることがわたしたちに知らされるからです。
5 イスラエルの記念碑であるわが民よ、元気を出し
てください。
6 あなたがたは滅ぼされるためではなく、神の怒り
を招いたために、敵に引き渡されたのです。
7 あなたがたは、神ではなく悪魔に犠牲を捧げるこ
とで、あなたを造った神を怒らせたからです。
8 あなたがたは、あなたを育ててくださった永遠の
神を忘れています。 そしてあなたがたは、あなた
を看護してくれたエルサレムを悲しませた。
9 というのは、神の怒りがあなたがたに臨んでいる
のを見て、彼女は言った、「シオンの近くに住む
者よ、聞いてください。神は私に大きな悲しみを
もたらしたのです。
10 私は、永遠の神が彼らにもたらした私の息子や
娘たちの捕囚を見たからです。

11 わたしは喜んで彼らに栄養を与えました。 しかし彼らは泣きながら悲しみながら送り去った。
12 やもめであり、多くの人に見捨てられ、子供たちの罪のために荒廃した私を誰も喜ばないでください。 彼らは神の律法から逸脱したからです。
13 彼らは神のおきてを知らず、神の戒めの道を歩み、神の義に従った鍛錬の道を歩みませんでした。
14 シオンの周りに住んでいる人たちに来て、永遠の神が彼らにもたらした私の息子や娘たちの捕囚を思い出してください。
15 神は遠くから彼らに国民をもたらした。恥知らずな国民であり、老人を敬うことも子供を憐れむこともない、奇妙な言語を話す者だからである。
16 彼らはやもめの最愛の子供たちを連れ去ってしまい、娘のいない孤独な彼女を残しました。
17 でも、何を手伝えるでしょうか?
18 あなたにこれらの災いをもたらした者は、あなたを敵の手から救い出してくださるからです。
19 私の子供たちよ、あなたの道を行きなさい。私は寂しいままになっています。
20 わたしは平和の衣を脱ぎ捨て、祈りの荒布を着ました。わたしは日々、永遠に向かって叫びます。
21 わが子らよ、元気を出して、主に叫びなさい。そうすれば主はあなたを敵の力と手から救い出してくださいます。
22 私の希望は永遠にあり、神があなたを救ってくださるということです。 そして、永遠の私たちの救い主から間もなくあなたに与えられる慈悲のおかげで、聖なる方から喜びが私に来ます。
23 私は悲しみ、泣きながらあなたを送り出しましたが、神は、永遠に、喜びと喜びをもって、あなたを再び私に与えてくださいます。
24 今、シオンの隣人たちがあなたの捕囚を見たように、彼らも間もなく、大いなる栄光と永遠の輝きをもってあなたに臨まれる、私たちの神からのあなたの救いを見るでしょう。
25 わが子らよ、神からあなたに降りかかる怒りを忍耐して耐えなさい。あなたの敵があなたを迫害したからである。 しかし間もなくあなたは彼の破滅を目の当たりにし、彼の首を踏むだろう。
26 わたしの繊細な者たちはひどい道を歩み、敵に捕らえられた群れのように連れ去られました。
27 わたしの子供たちよ、良い慰めを得て、神に叫びなさい。あなたがたにこれらのことをもたらした神のことを覚えているからです。
28 あなたの心は神から離れようとしたのと同じように、立ち返った後は、さらに十倍も神を求めなさい。
29 あなたにこれらの災いをもたらした者は、あなたの救いによって永遠の喜びをあなたにもたらすからです。
30 エルサレムよ、元気を出してください。あなたにその名を与えた方があなたを慰めてくださるでしょう。
31 あなたを苦しめ、あなたの堕落を喜んだ者たちは悲惨である。
32 あなたの子供たちが仕えた都市は悲惨である、あなたの息子たちを受け入れた彼女は悲惨である。
33 なぜなら、彼女はあなたの破滅を喜び、あなたの堕落を喜んだのと同じように、自分自身の荒廃を悲しむことになるからです。
34 わたしは彼女の大群衆の喜びを奪い、彼女の誇りは悲しみに変わるからである。
35 火は永遠から彼女に臨み、長く耐えるであろう。そして彼女には長い間悪魔が住み着くことになる。
36 ああ、エルサレムよ、あなたの周りを東に見て、神からあなたに来る喜びを見よ。
37 見よ、あなたの息子たちが来ます。あなたが遣わした者たちです。彼らは聖なる方の言葉によって東から西まで集まり、神の栄光を喜びます。.

第 5 章

1 エルサレムよ、嘆きと苦しみの衣を脱ぎ捨て、永遠に神から来る栄光の美しさを身に着けなさい。
2 神から来る義の二重の衣をあなたの周りに着せなさい。 そして永遠の栄光の王冠をあなたの頭に置きなさい。
3 神はあなたの輝きを天の下のすべての国に示すからです。
4 あなたの御名は、義の平和と神の礼拝の栄光として永遠に神から呼ばれるからです。
5 エルサレムよ、立ち上がって、高いところに立って、東の方を見回してください。見よ、あなたの子供たちが、聖なる方の言葉によって西から東まで集まって、神の思い出に喜んでいます。
6 彼らは徒歩であなたから出発し、敵から連れ去られたからです。しかし、神は彼らを栄光をもってあなたのところに導き、王国の子として高めてくださいます。
7 神は、イスラエルが神の栄光のうちに安全に行くことができるように、地を平らにするために、長く続くすべての高い丘や堤防を打ち倒し、谷を埋めるべきであると定められたからである。
8 さらに、森や甘い香りのするあらゆる木さえも、神の命令によってイスラエルを覆うであろう。
9 神は、ご自分から出る憐れみと義をもって、ご自分の栄光の光の中で喜びをもってイスラエルを導くからです。

Letter of Jeremiah

エレミヤの手紙

第 1 章

1 エレミがバビロニア人の王によって捕虜としてバビロンに連れて行かれる彼らに、神からの命令どおりに彼らを証明するために送った書簡の写し。
2 あなたがたが神の前に犯した罪のゆえに、あなたがたはバビロニアの王ナブコドノソルによって捕虜としてバビロンに連れ去られるであろう。
3 それで、あなたがたがバビロンに来るときは、あなたがたはそこに何年も、長い期間、つまり七世代にわたって留まります。そしてその後、私はあなたをそこから平和に連れ去ります。
4 さて、あなたがたはバビロンで、諸国民を恐れさせる銀、金、木の神々が肩に担がれているのを見るであろう。
5 それゆえ、あなたがたは、群衆が彼らの前や後ろで彼らを崇拝しているのを見るとき、決して見知らぬ人たちと同じようにはならないように気をつけなさい。
6 しかし、あなたがたは心の中でこう言いなさい、主よ、私たちはあなたを崇拝しなければなりません。
7 わたしの天使があなたとともにおり、わたし自身があなたの魂の世話をしているからです。
8 彼らの舌は職人によって磨かれ、彼ら自身も金メッキされ、銀で覆われている。 しかし、それらは虚偽にすぎず、話すことができません。
9 そして、まるで同性愛者になるのが好きな処女のために金を手に入れて、彼らの神々の頭に冠を作ります。
10 また祭司たちは、時には自分たちの神から金や銀を伝え、それを自分たちに授けることもあります。
11 そうです、彼らはそれを一般の遊女たちに与え、銀の神、金の神、木の神である彼らに衣服を着させます。
12 しかし、これらの神々は、たとえ紫色の衣服で覆われていても、さびや虫から身を守ることはできません。
13 彼らは、神殿のほこりのせいで顔をぬぐいます。
14 そして、自分に罪を犯した者を死刑にすることができない者は、まるで国の裁判官であるかのように王笏を持っている。
15 彼は右手に短剣と斧を持っていますが、戦争と盗賊から身を守ることはできません。
16 それゆえ、彼らは神ではないことが知られている。だから彼らを恐れないでください。
17 人が使う器と同じように、壊れてしまえば何の価値もありません。 たとえ彼らの神々も同様であり、彼らが神殿に設置されるとき、彼らの目は入ってくる彼らの足から塵でいっぱいです。
18 そして、王に罪を犯した者には死が与えられるとして四方八方に扉がしっかりと設けられているのと同じように、祭司たちは自分たちの神が強盗で台無しにされないように、扉、鍵、かんぬきで神殿をしっかりと作っている。
19 彼らは、自分たちのために、いや、自分たちのためにろうそくの火を灯しますが、彼らにはそのろうそくの火が見えません。
20 彼らは神殿の梁の一つのようだが、地から這い出るものに心をかじられていると言う。 そして彼らが彼らや彼らの衣服を食べるとき、彼らはそれを感じません。
21 彼らの顔は神殿から出る煙で黒くなっています。
22 彼らの体と頭の上には、コウモリ、ツバメ、鳥、そして猫も座っている。
23 これによって、あなたがたは、彼らが神ではないことを知ることができる。だから、彼らを恐れてはならない。
24 それらを美しくするために金が身に着けられているにもかかわらず、さびを拭き取らなければ、それらは輝くことはない。なぜなら、それらが溶けたときも、彼らはそれを感じなかったからだ。
25 息のないものは最も高値で買われる。
26 彼らは肩に担がれ、足がないので、自分たちは何の価値もないことを人々に宣言します。
27 彼らに仕える者たちも恥じている。彼らはいつでも地に倒れたら、自分から立ち上がることができないし、もし人が彼らを立てても、自分から動くことはできないし、かがんでいても、 彼らは自分自身をまっすぐにすることができますか：しかし彼らは死人のように彼らの前に贈り物を置きます。
28 彼らにいけにえとしてささげられたものを、彼らの祭司たちは売ったり、乱用したりする。 同様に、妻たちもその一部を塩の中に漬け込みました。 しかし、貧しい人々や無力な人々には、彼らはそれを何も与えません。
29 月経中の女と産みの床にある女は、そのいけにえを食べる。これらのことから、あなたがたは、彼らが神ではないことを知ることができる。彼らを恐れるな。
30 どうして彼らを神と呼ぶことができるでしょうか。なぜなら、女性は銀、金、木の神々の前に肉を置くからです。
31 祭司たちは神殿に座っており、衣服を裂き、頭とひげを剃り、頭には何もつけていない。
32 彼らは、人が死んだときの宴会でするように、神々の前で叫び、叫びます。
33 祭司たちも上着を脱いで、妻や子供たちに服を着せます。
34 人が自分たちに悪いことをしたとしても、善いことをしたとしても、彼らはそれを償うことができません。王を立てることも、王を倒すこともできません。
35 同じように、彼らも富やお金を与えることができません。たとえ人が彼らに誓いを立ててそれを守らなかったとしても、彼らはそれを要求しません。
36 彼らは人を死から救うことはできず、弱い人を力ある人から救うこともできません。
37 彼らは目の見えない人を視力に戻すことはできませんし、苦しんでいる人を助けることもできません。

38 彼らはやもめに情けをかけることができず、父親のいない人に善いことをすることができません。
39 金銀でおおわれた彼らの木でできた神々は、山から切り出された石のようなものである。これを拝む者は混乱するであろう。
40 では、カルデア人自身さえ彼らの名誉を傷つけているのに、人はどう考えて自分たちが神であると言うべきでしょうか。
41 もしも、話すことのできない口のきけない人を見かけたら、彼らは彼を連れてきて、まるで理解できるかのように話せるようにベルに懇願するだろう。
42 しかし、彼らは自分自身でこれを理解することができず、彼らから離れます。彼らには知識がないからです。
43 女たちもまた、紐を締めて道に座って、香油のためにふすまを燃やしている。しかし、もし彼らの誰かが、通り過ぎる人たちに引かれて、彼と一緒に寝ていると、彼女は仲間を非難する、彼女は自分ほど価値があるとは考えられていないと 、コードも切れていませんでした。
44 彼らの間で行われたことはすべて偽りです。それでは、どうして彼らが神であると考えられたり、言われたりすることができますか。
45 それらは大工や金細工師で作られています。労働者が望んだもの以外の何ものでもありえません。
46 そして、それらを作った彼ら自身は決して長く続けることはできません。 それでは、それらから作られたものがどうして神となるのでしょうか?
47 彼らは、後から来る者たちに偽りと非難を残したからだ。
48 というのは、何か戦争や疫病が彼らに起こったとき、祭司たちは自分たちと一緒にどこに隠れるかと相談するからである。
49 それでは、どうして人は、自分たちが神ではなく、戦争や疫病から身を守ることもできないということを認識できないのでしょうか。
50 というのは、それらがただの木でできていて、銀と金で覆われているのを見ると、それが偽りであることが今後分かるであろう。
51 そして、すべての国民と王たちには、彼らが神ではなく人間の手の働きであり、彼らの中には神の働きがないことが明らかに現れるだろう。
52 それでは、彼らが神ではないことを知らない人はいないでしょうか。
53 彼らはその地に王を立てることも、人々に雨を降らせることもできないからである。
54 彼らは自分の大義を判断することも、間違いを正すこともできず、それができない。彼らは天と地の間のカラスであるからである。
55 それで、木の神々の家、あるいは金や銀で覆われた神の家に火が落ちると、祭司たちは逃げて逃げ出すであろう。 しかし、彼ら自身は梁のようにばらばらに焼かれるであろう。
56 さらに、彼らはどんな王や敵にも抵抗することができません。それでは、どうして彼らが神であると考えられたり、言われたりすることができますか?
57 また、銀や金で覆われた木の神々も、泥棒や強盗から逃れることはできません。
58 強い者たちは、その金、銀、そして自分が着ている衣服を奪い、持ち去ってしまいます。自分自身を助けることもできません。
59 したがって、そのような偽りの神々よりは、自分の権力を発揮する王であるか、そうでなければ所有者が使用できる家の中で有益な器である方が良いです。 あるいは、そのような偽りの神々よりも、家のドアになること、そのようなものを中に保管すること。 宮殿の木の柱など、偽りの神々よりも。
60 というのは、太陽、月、星は明るく、その任務を遂行するために遣わされているので、従順だからである。
61 同様に、稲妻が発生するときは簡単に見ることができます。 そして同じように風がどの国にも吹くのです。
62 そして、神が雲に全世界を越えるよう命じられると、彼らは命じられたとおりに行動します。
63 そして、丘と森を焼き尽くすために上から送られた火は、命じられたとおりに行います。しかし、これらは、見せ方も力も彼らに似ていません。
64 したがって、彼らは大義を判断することも、人間に善を行うこともできないので、彼らが神であると考えられることも言うこともできません。
65 したがって、彼らは神ではないことを知っているので、彼らを恐れる必要はありません。
66 彼らは王を呪うことも祝福することもできないからである。
67 彼らは異教徒の間で天にしるしを示すことも、太陽のように輝くことも、月のように光を放つこともできない。
68 獣は彼らよりも優れています。なぜなら、彼らは物陰に入って自分自身を助けることができるからです。
69 したがって、彼らが神であることは私たちには決して明らかではありません。したがって、彼らを恐れてはなりません。
70 キュウリの園のかかしが何も保てないように、彼らの木の神々も同様であり、銀と金で覆われています。
71 また、同様に、銀と金で覆われた彼らの木の神々は、あらゆる鳥が座っている果樹園の白いとげに似ています。 死体も同様で、それは暗闇の東にあります。
72 そして、あなたがたは、彼らを腐らせる明るい紫色によって、彼らが神ではないことを知るでしょう。そして彼ら自身もその後食べられ、国中の非難となるでしょう。
73 したがって、偶像を持たない正しい人は、より良い人です。彼は非難されることがないからです。



アザリヤの祈り

第 1 章

1 そして彼らは火の中を歩き、神を賛美し、主を祝福した。
2 そこでアザリアは立ち上がって、このように祈った。 そして火の中で口を開いてこう言った。
3 私たちの先祖の神、主よ、あなたは祝福されています。あなたの御名は永遠に称賛され、栄光を受けるに値します。
4 あなたが私たちにしてくださったことすべてにおいて、あなたは正しいのです。そうです、あなたの行いはすべて真実であり、あなたの道は正しく、あなたの判断はすべて真実です。
5 あなたは、私たちに、そして私たちの先祖の聖なる都、エルサレムにもたらされたすべてのことにおいて、真実の裁きを執行してくださいました。なぜなら、あなたは、真実と裁きに従って、これらすべてのものを私たちの罪のために私たちにもたらしたからです。
6 私たちはあなたから離れて、罪を犯し、不法を犯しました。
7 私たちは、あらゆることにおいて、罪を犯し、あなたの戒めに従わず、守らず、うまくいくようにと命じられたとおりに行いませんでした。
8 ですから、あなたが私たちにもたらしたこと、そして私たちにしたことはすべて、あなたは真実の裁きをもって行ったのです。
9 そして、あなたは私たちを不法な敵の手、最も憎むべき神を捨てる者の手に、そして不正な王、そして全世界で最も邪悪な者の手に渡されました。
10 そして今、私たちは口を開けることができず、あなたのしもべたちにとって恥となり、非難されることになっています。 そしてあなたを崇拝する者たちへ。
11 しかし、あなたの御名のために、私たちを完全に救出しないでください。また、あなたの契約を破棄しないでください。
12 あなたの愛するアブラハムのために、あなたのしもベイサクのために、そしてあなたの聖なるイスラエルのために、あなたの憐れみを私たちから遠ざけないでください。
13 あなたはこの人たちに、天の星のように、また海辺の砂のように彼らの種を増やしてくださると約束されました。
14 主よ、わたしたちは、罪のゆえに、どの国民よりも劣った者となり、今日、全世界に留まっているのです。
15 現時点では、君主も、預言者も、指導者も、燔祭も、いけにえも、捧げ物も、香をあげる場所も、あなたの前にいけにえを捧げたり、憐れみを見出したりする場所もありません。
16 それでも、悔い改めた心と謙虚な精神をもって、受け入れてもらいましょう。
17 雄羊や雄牛の全焼のいけにえのように、また一万頭の太った子羊のように、今日、私たちのいけにえをあなたの目の前に置き、私たちが全面的にあなたを追いかけることをお許しください。 あなたを信頼してください。
18 そして今、私たちは心を尽くしてあなたに従い、あなたを恐れ、あなたの顔を求めます。
19 わたしたちに恥をかかせないでください。あなたのいつくしみと、あなたの多くの憐れみに従って、わたしたちを扱ってください。
20 あなたの驚くべき御業に従って、私たちも救い出してください。主よ、あなたの御名に栄光を帰してください。そして、あなたのしもべたちを傷つけるすべての者を恥じてください。
21 そして、彼らがその力と力のすべてにおいて混乱し、彼らの力が打ち砕かれるようにしてください。
22 そして、あなたが神であり、唯一の神であり、全世界に対して栄光に満ちた方であることを彼らに知らせてください。
23 そして、彼らを入れた王の家臣たちは、松脂、ピッチ、トウ、小さな薪でかまどを温めることをやめなかった。
24 こうして炎は炉の上に四十九キュビトも燃え上がった。
25 そして、それは通過し、炉の周りで見つけたカルデア人を焼き殺しました。
26 ところが、主の使いがアザリアとその仲間たちとともに炉に降りてきて、炉の火を消し去った。
27 そして、湿った笛のような風が吹いていたので、火が彼らにまったく触れず、彼らを傷つけたり、悩ましたりすることもなかったように、炉の真ん中を作りました。
28 そこで三人は、口を一つにして、かまどの中で神を賛美し、讃美し、祝福した、こう言った。
29 私たちの先祖の神、主よ、あなたは祝福されています。そして永遠にすべての人よりも高く評価されますように。
30 そして、あなたの栄光ある聖なる御名は祝福され、永遠にすべての人々に勝って称賛されます。

31 あなたの聖なる栄光の神殿にいるあなたは幸いです。そして永遠に何よりも称賛され、栄光を受けることができます。
32 深みを眺め、ケルビムの上に座っているあなたは幸いです。そして、永遠にすべての中で賞賛され、高められます。
33 あなたの王国の輝かしい王座に就いているあなたは祝福されています。そして永遠に何よりも称賛され、栄光を受けることができます。
34 天の大空にいるあなたは祝福されています。そして何よりも永遠に称賛され、栄光を受けることができます。
35 汝らのすべての主の業よ、汝ら主を祝福せよ。永遠にすべての者にまさって主を讃美し称えよ。
36 天よ、あなたがたに主を祝福してください。永遠にすべての者にまさって主を讃美し、高めてください。
37 主の天使たちよ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、すべての者にまさって崇めよ。
38 天の上にあるすべての水よ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものの上に主をほめたたえよ。
39 あなたがたすべての主の力よ、あなたがたに主を祝福してください。永遠にすべてのものにまさって主を讃美し、高めてください。
40 おお、太陽と月よ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、何よりも高く讃えよ。
41 天の星よ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、何よりも高く讃えよ。
42 すべての雨と露よ、あなたがたは主を祝福しなさい。永遠にすべてのものの上に主を讃美し、高めなさい。
43 風よ、すべての風よ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、すべてのものにまさって崇めよ。
44 おお、火と熱よ、主を祝福せよ。主を讃美し、讃美せよ。 ずっとずっと。
45 冬も夏も、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、何よりも高く讃えよ。
46 おお、露と雪の嵐よ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものの上に主を讃美し、高めよ。
47 おお、あなたがたは夜も昼も、主を祝福せよ。永遠にすべての者にまさって主を祝福し、高めよ。
48 おお、光と闇よ、主を祝福せよ。永遠にすべての者にまさって主を讃美し、高めよ。
49 おお氷と寒き者よ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、何よりも高く讃えよ。
50 おお、霜と雪よ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、何よりも高く讃えよ。
51 おお、稲妻と雲よ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものの上に主を讃美し、高めよ。
52 おお、地が主を祝福しますように。永遠にすべての者にまさって主を讃美し、高めてください。
53 おお、山々よ、小さな丘よ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものの上に主を讃美し、高めよ。
54 地に生えるすべてのものよ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものの上に主を讃美し、高めよ。
55 おお、山よ、主を祝福せよ。永遠にすべての者にまさって主を讃美せよ。
56 おお、海と川よ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものにまさって主を讃美し称えよ。
57 おお、クジラよ、そして水の中を動くすべてのものよ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものの上に主を讃美し、高めよ。
58 おお、すべての空の鳥たちよ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、すべてにまさって崇めよ。
59 あなたがたすべての獣と家畜よ、主を祝福せよ。永遠にすべてのものの上に主を讃美し、高めよ。
60 おお、人の子よ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、すべての者にまさって崇めよ。
61 イスラエルよ、あなたがたは主を祝福せよ。永遠にすべての者にまさって主を讃美し、高めよ。
62 あなたがた主の祭司よ、あなたがた主を祝福しなさい。永遠にすべての者にまさって主を讃美し、高めなさい。
63 あなたがた主の僕たちよ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、すべての者にまさって崇めよ。
64 おお、あなたがた霊と義人の魂よ、あなたがた主を祝福しなさい。永遠にすべての者にまさって主を讃美し、高めなさい。
65 おお、聖なる謙虚な心を持つ者よ、主を祝福せよ。永遠に主を賛美し、何よりも高く讃えよ。
66 おお、アナニア、アザリア、ミザエルよ、主を祝福せよ。永遠に、何よりも主を讃美し称えよ。主は私たちを地獄から救い出し、死の手から救い出し、炉の中から救い出してくださったからである。 そして燃え盛る炎。火のただ中からでも、彼は私たちを救い出してくれました。
67 ああ、主に感謝せよ。主は慈悲深いからである。その憐れみはとこしえに続くからである。
68 主を崇拝するすべての人よ、神々の神を祝福し、賛美し、感謝せよ。その憐れみはとこしえに続くからである。



スザンナ

第 1 章

1 バビロンにヨアキムという男が住んでいた。
2 そして彼は妻をめとった。その名はスザンナ、ケルキアスの娘で、非常に美しい女性で、主を畏れる人であった。
3 彼女の両親も義人で、モーセの律法に従って娘を教えました。
4 さて、ヨアシムは大金持ちで、家に併設された美しい庭園を持っていた。そしてユダヤ人を彼に頼った。 彼は他の誰よりも名誉ある人だったからです。
5 同じ年、民の古代人のうち二人が裁判官に任命された。主が言われたように、悪はバビロンから来た古代の裁判官たちからであり、民を統治しているように見えた。
6 彼らはヨアシムの家に多くのものを保管していたので、訴訟を起こした者はみな彼らのところに来た。
7 さて、正午に人々が出発すると、スザンナは夫の庭へ散歩に行きました。
8 二人の長老は、彼女が毎日家に入って歩いているのを見た。 そのため彼らの欲望は彼女に対して燃え上がった。
9 そして、彼らは自分の心をひねり、天を仰ぐことも、正しい裁きを思い出すこともできないように、目をそらした。
10 そして、二人とも彼女の愛に傷ついていたにもかかわらず、お互いに悲しみを見せようとはしなかった。
11 彼らは、彼女と関係を持ちたいと自分の情欲を公言するのを恥ずかしく思ったからである。
12 それでも彼らは、彼女に会おうと毎日熱心に見張りました。
13 すると、一人がもう一人に、「もう家に帰りましょう。もう夕食の時間ですから」と言った。
14 そこで、二人は出て行って、一方と他方を分け、再び引き返して、同じ場所に来た。 そして、お互いに原因を尋ねた後、彼らは自分たちの欲望を認めた。それから、彼女が一人でいるのを見つけるかもしれないときに、二人で一緒に過ごす時間を指定した。
15 そして、彼らが適当な時間を見て、それが落ちたので、彼女は二人の侍女だけを連れて、前と同じように入りました、そして、彼女は庭で体を洗いたいと思っていました。 暑かったからです。
16 そして、二人の長老以外には誰もいなかった。彼らは身を隠して彼女を見守っていた。
17 それから彼女は侍女たちに言った、「油と洗濯玉を持ってきて、庭の戸を閉めて、私を洗ってあげてください。」
18 そこで、彼らは彼女に言われたとおりにし、庭の戸を閉め、彼女が命じたものを取りに自分たちも勝手口から出て行った。しかし、長老たちは隠れていたので見えなかった。
19 さて、侍女たちが出て行ったとき、二人の長老は立ち上がって彼女のところに走って行き、こう言った。
20 見よ、園の戸は閉ざされているので、誰も私たちを見ることができません。私たちはあなたを愛しています。 したがって、私たちに同意して、私たちと一緒に寝てください。
21 もしあなたが望まないなら、私たちはあなたに不利な証言をします。若い男があなたと一緒にいたのです。それであなたは侍女たちをあなたから追い出したのです。
22 それからスザンナはため息をついて言った、「私は四方八方で窮屈です。もしこのことをしたら、それは私にとって死です。もし私がそれをしなければ、私はあなたの手から逃れることはできません。」
23 私にとって、主の御前で罪を犯すよりは、そうせずにあなたの手に落ちた方が良いのです。
24 そこでスザンナは大声で叫びました。すると、二人の長老たちが彼女に向かって叫びました。
25 それから、その人を走らせて、庭の戸を開けました。
26 そこで、家の使用人たちは、庭で叫び声を聞くと、彼女に何が起こったのかを見ようと、表玄関に駆け込んだ。
27 しかし、長老たちが自分たちのことを告げると、召使たちは大いに恥じた。スザンナについてそのような報告がなされたことはなかったからである。
28 そして翌日、民が夫ヨアキムのもとに集まったとき、二人の長老もスザンナに対して悪戯な想像を膨らませて彼女を殺そうとやって来た。
29 そして民の前で、「ヨアキムの妻ケルキアスの娘スザンナを遣わしてください」と言った。それで彼らは送りました。
30 それで、彼女は父と母、子供たち、そして親戚全員と一緒に来た。
31 さて、スザンナはとても繊細な女性で、見るからに美しい人でした。
32 そこで、これらの悪人たちは、彼女の美しさで満たされるように、彼女の顔を隠すように命じた。
33 それで、彼女の友人たちと彼女を見ていた人たちはみな泣いた。

34 そこで二人の長老は民の真ん中に立ち、彼女の頭に手を置いた。
35 彼女は泣きながら天を見上げた。彼女の心は主に信頼していたからだ。
36 そこで長老たちは言った、「私たちが一人で庭を歩いていると、この女が二人の女中を連れて入ってきて、庭の戸を閉めて女中たちを追い返した。」
37 すると、そこに隠れていた若者が彼女のところに来て、一緒に寝た。
38 そこで、園の隅に立っていた私たちは、この悪事を見て、彼らのところへ走って行きました。
39 そして、私たちが一緒にいるのを見たとき、その男は私たちよりも強いので、私たちには抱き留めることができず、ドアを開けて飛び降りました。
40 しかし、私たちはこの女性を連れて行き、その若者が誰なのか尋ねましたが、彼女は教えてくれませんでした。これらのことを私たちは証言します。
41 それで、集会は彼らが民の長老で裁判官であると信じたので、彼女に死刑を宣告した。
42 そこでスザンナは大声で叫んで言った、「永遠の神よ、奥義を知っておられ、すべてをその前から知っておられるお方です。
43 彼らが私に対して偽りの証言をしたことをあなたは知っています。見よ、私は死ななければなりません。 一方、私に対してこの人たちが悪意を持ってでっち上げたようなことは決してしませんでした。
44 すると主は彼女の声を聞いた。
45 そこで、彼女が死刑に導かれたとき、主はダニエルという名前の若者の聖霊を起こさせました。
46 大声で叫んだ者よ、わたしはこの女の血を免れた。
47 そこで民はみなイエスの方を向いて言った、「あなたの言った言葉はどういう意味ですか」。
48 それで彼は彼らの真ん中に立って言った、「イスラエルの子たちよ、あなたがたは、調べることも真理を知らずにイスラエルの娘を罪に定めるとは、そんなに愚かなのですか」。
49 再び裁きの場に戻りなさい。彼らは彼女に対して偽りの証言をしたからです。
50 そこで民は皆、急いで引き返したので、長老たちは彼に言った、「さあ、私たちの中に座って、それを見せてください。神があなたに長老の栄誉を与えられたのがわかります。」
51 それからダニエルは彼らに言った、「この二人を互いに遠く離れたところに置いてください。私が調べてみましょう」。
52 それで、彼らが互いにばらばらになったとき、イエスはそのうちの一人を呼んで言った、「おお、悪の中で年を重ねているあなた、今、あなたが以前犯したあなたの罪が明るみに出ました。」
53 あなたは偽りの判決を言い渡し、無実の者を有罪とし、有罪の者を釈放したからです。 たとえ主が言われたとしても、「罪のない正しい者を殺してはならない」。
54 さて、もし彼女を見たことがあるなら、教えてください。「どの木の下で彼らが一緒にいるのを見ましたか？」 誰が答えたか、「マスティックの木の下で」
55 するとダニエルは言った、「よくわかりました。 あなたは自分の頭に嘘をつきました。 なぜなら、今でも神の御使いは、あなたを真っ二つにするという神の宣告を受けているからです。
56 それで彼は彼を脇に置き、もう一人を連れてくるように命じて言った、「おお、ユダの子孫ではなく、カナンの子孫よ、美しさがあなたを欺き、欲望があなたの心を歪めました。」
57 あなたがたはイスラエルの娘たちとこのように接し、彼らは恐れてあなたたちに同行しました。しかし、ユダの娘はあなたの悪行に耐えようとしませんでした。
58 そこで、教えてください、どの木の下で彼らを一緒に連れて行ったのですか。 誰が答えたか、「ホルムの木の下で」と。
59 そこでダニエルは彼に言った。 あなたはまた、自分の頭に嘘をつきました。神の天使があなたを滅ぼすために、剣であなたを真っ二つに切るのを待っているからです。
60 そこで、集会は皆、大声で叫び、神に信頼する者たちを救われる神を賛美した。
61 そこで彼らは二人の長老たちに対して立ち上がった。ダニエルが彼ら自身の口から偽りの証言で彼らに有罪判決を下したからである。
62 そしてモーセの律法に従って、彼らは隣人に対して悪意を持って行おうとしたのと同じようなことをして、彼らを死刑にした。 こうして無実の血はその日のうちに救われたのです。
63 そこで、チェルシアスとその妻は、娘スザンナとその夫ヨアシム、そして親戚全員のために神をほめたたえました。彼女には不正が見られなかったからです。
64 その日以来、ダニエルは人々の前で大きな評判を得るようになった。

Bel and the Dragon



ベルとドラゴン

第 1 章

1 そしてアステュアゲス王は先祖たちに集められ、ペルシャのキュロスが彼の王国を手に入れた。
2 そしてダニエルは王と話し合い、彼の友人の誰よりも尊敬されました。
3 さて、バビロンにはベルと呼ばれる偶像があり、毎日そのために小麦粉十二セア、羊四十頭、ぶどう酒六杯が費やされた。
4 そこで王はそれを崇拝し、毎日それを礼拝した。しかしダニエルは自分の神を崇拝した。そこで王は彼に言った、「なぜあなたはベルを崇拝しないのですか？」
5 だれが答えて言った、「私は手で作った偶像を崇拝することはできませんが、天と地を創造し、すべての肉を支配する生ける神を崇拝するからです。」
6 そこで王は彼に言った、「あなたはベルが生ける神だと思わないのですか。」彼が毎日どれだけ食べたり飲んだりしているかわかりませんか？
7 そこでダニエルは微笑んで言った、「王様、騙されないでください。これは中は粘土、外は真鍮で、決して何も食べたり飲んだりしませんでした。」
8 それで王は激怒し、祭司たちを呼んで言った、「この出費をむさぼり食う者が誰なのか言わなければ、あなたたちは死ぬであろう」。
9 しかし、あなたがたが、ベルが彼らをむさぼり食ったと私に証明できるなら、ダニエルは死ぬでしょう。彼はベルに対して冒涜を言ったからです。そしてダニエルは王に言った、「あなたの言葉どおりにしましょう。」
10 さて、ベルの祭司たちは妻と子供たちのほかに三人十人いた。そして王はダニエルとともにベルの神殿へ行きました。
11 それで、ベルの祭司たちは言った、「ああ、私たちは出かけます。しかし、王よ、あなたは肉を用意し、ワインを準備し、ドアをしっかり閉めて、あなたの印章で封をしてください。」
12 そして、明日、あなたが入ってくるとき、もしベルがすべてを食べてしまったことにあなたが気づかなかったら、私たちは死ぬでしょう。そうでなければ、ダニエル、私たちに対して偽りのことを言います。
13 そして、彼らはそれをほとんど気にしなかった。なぜなら、彼らはテーブルの下に秘密の入り口を作り、そこから絶えず入ってきて、それらの物を食べたからである。
14 そこで彼らが出て行くと、王はベルの前に肉を並べた。さて、ダニエルは家来たちに、灰を持ってきて、王だけの面前で神殿全体に散らすように命じました。それから彼らは外に出て、扉を閉め、王の印章で封をして立ち去りました。
15 さて、夜になると祭司たちが妻や子供たちを連れてやって来て、いつものように食べたり飲んだりした。
16 朝になると、王とダニエルも一緒に起きた。
17 そこで王は言った、「ダニエル、アザラシは全部ですか?」そして彼は言いました、「ああ、王様、彼らは元気です。」
18 そして、扉を開けるとすぐに、王はテーブルに目をやり、大声で叫んだ、「ベルよ、あなたは偉大です。あなたには何の偽りもありません。」
19 それからダニエルは笑って、入ってはいけないと王を押さえつけて言った、「見よ、舗道を見て、これが誰の足跡かをよく見てください。」
20 そこで王は、「男も女も子供たちの足音が見える」と言った。すると王様は怒って、
21 それから祭司たちを妻や子供たちとともに連れて行き、彼らは彼に専用の戸を教え、そこに入って、テーブルの上にあったものを食べた。
22 そこで王は彼らを殺し、ベルをダニエルの手に引き渡し、ダニエルは彼とその神殿を破壊した。
23 そして、同じ場所に大きな龍がいて、バビロンの人々はそれを崇拝していました。
24 そこで王はダニエルに言った、「あなたもこれは真鍮だと言うつもりですか。」見よ、彼は生きており、食べたり飲んだりする。彼が生ける神ではないとは言えない。だから彼を崇拝しなさい。
25 それからダニエルは王に言った、「私は私の神、主を礼拝します。彼は生ける神だからです。」
26 しかし、王よ、許してください。剣も杖も使わずにこの竜を殺します。王は、「あなたに休暇を与えます」と言いました。
27 それからダニエルは、ピッチ、脂肪、髪の毛を取り出し、それらをまとめて塊を作り、これを竜の口に入れると、竜は粉々に砕け散った。そしてダニエルは言った、「見よ、これがあなたがたは神々だ」崇拝。
28 バビロンの人々はこれを聞いて非常に憤慨し、王に対して共謀して言った、「王はユダヤ人となり、ベルを滅ぼし、竜を殺し、祭司たちを殺した」。
29 それで彼らは王のところに来て言った、「ダニエルを救ってください、さもなければあなたとあなたの家を滅ぼします」。
30 さて、王は、彼らがダニエルを拘束して圧迫しているのを見て、ダニエルを彼らに引き渡した。
31 誰が彼を獅子の穴に投げ込んだのか、そこで六日間過ごした。
32 巣穴には七頭のライオンがいて、彼らは毎日彼らに死骸二頭と羊二頭を与えていたが、ダニエルをむさぼり食うためにそれらは与えられなかった。
33 さて、ユダヤ人にハバククという預言者がいたが、彼はポタージュを作り、鉢の中でパンを裂き、刈り取る人たちに届けるために畑に行っていた。
34 しかし、主の使いはハバククに言った、「行って、あなたの持っている夕食をバビロンに持って行き、獅子の穴にいるダニエルのところに行きなさい。」
35 ハバククは言った、「主よ、私はバビロンを見たことはありません。巣穴がどこにあるのかも知りません。
36 それから、主の使いは彼の王冠をつかみ、頭の毛をむしり取り、彼の激しい霊によって彼をバビロンの巣の上に置いた。
37 そこでハバククは叫んで言った、「おおダニエル、ダニエル、神があなたに送ってくださった夕食をお召し上がりください。」
38 そこでダニエルは言った、「神よ、あなたはわたしのことを覚えておられました。あなたを求め、あなたを愛している人たちも、あなたはお見捨てにはならなかったのです。」
39 そこでダニエルは起きて食事をした。すると、主の使いはすぐにハバククを元の場所に戻した。
40 七日目、王はダニエルを嘆きに行った。そして、穴に来て中を見ると、見よ、ダニエルが座っていた。
41 そこで王は大声で叫んで言った、「偉大なるダニエルの神、主よ。あなたの傍には誰もいません。」
42 そこで彼は彼を引きずり出し、彼の滅びの原因となった者たちを巣穴に投げ込んだ。すると、彼らは彼の顔の前で一瞬のうちに食い殺された。



Prayer of Manasseh

マナセの祈り

おお主よ、私たちの先祖であるアブラハム、イサク、ヤコブと彼らの義の子孫の全能の神よ。天と地とそのあらゆる装飾を造られた方。あなたの戒めの言葉によって海を縛られた方。深みを閉ざし、あなたの恐ろしく輝かしい御名によってそれを封じた方。すべての人が恐れ、あなたの力の前におののきます。なぜなら、あなたの栄光の威厳は耐えられるものではなく、罪人に対するあなたの怒りの脅しは重要であるからです。しかし、あなたの慈悲深い約束は測り知れず、探ることもできません。あなたはいと高き主であり、大いなる同情心、忍耐力、非常に慈悲深く、人々の悪を悔い改められる方だからです。主よ、あなたは、あなたの偉大なる善意に従って、あなたに対して罪を犯した者たちに悔い改めと許しを約束してくださいました。そして、あなたの無限の慈悲によって、罪人たちが救われるように、彼らに悔い改めを約束してくださいました。それゆえ、正しい者の神である主よ、あなたは、あなたに対して罪を犯していないアブラハム、イサク、ヤコブのように、正しい者たちに悔い改めを与えませんでした。しかし、あなたは罪人である私に悔い改めを与えられました。私は海の砂の数を超えて罪を犯したからです。主よ、わたしの罪は増し加えられました。わたしの罪は増し加えられ、わたしの咎の多さゆえに天の高みを見つめる資格もありません。私は多くの鉄の帯で頭を下げられており、頭を持ち上げることも、解放することもできません。なぜなら、私はあなたの怒りを引き起こし、あなたの前に悪を行ったからです：私はあなたの意志を実行しませんでした、あなたの戒めも守りませんでした：私は定めました忌まわしいことを犯し、犯罪を重ねてきました。したがって、私は今、心の中でひざまずき、あなたに恵みを懇願します。主よ、私は罪を犯しました。私は自分の咎を認めます。ですから、私を赦してください、主よ、私を赦してください、そして私の不法行為で私を滅ぼさないでください。私のために悪を残しておいて、永遠に私に対して怒らないでください。どちらも私を地の底に追いやるつもりはありません。あなたは神であり、悔い改める者の神でもあるからです。そして、あなたは私の中にあなたのすべての善意を示してくださいます。なぜなら、あなたはあなたの偉大な慈悲に従って、価値のない私を救ってくださいます。したがって、私は生涯を通じて永遠にあなたを賛美します。天のすべての力があなたを賛美します、そしてあなたの栄光は永遠に永遠です。アーメン。



ファースト・マカビーズ

第 1 章

1 そして、ケッティムの地から出てきたマケドニア人ピリポの子アレクサンドロスが、ペルシアとメディアの王ダリウスを打った後、彼に代わって最初にギリシャを統治した。
2 そして多くの戦争を起こし、多くの要塞を勝ち取り、地上の王たちを殺し、
3 そして地の果てまで行き、多くの国々から戦利品を奪ったので、彼の前に地は静まり返った。 すると彼は高揚し、心は高揚した。
4 そして、彼は強力な軍勢を集めて、彼の属国となった国々、諸国民、王たちを支配した。
5 そして、これらの事の後、彼は病気になり、自分は死ななければならないと悟った。
6 そこで彼は、幼い頃から一緒に育てられた立派な家来たちを召集し、まだ生きているうちに王国を彼らの間に分けた。
7 こうしてアレクサンドロスは十二年間統治し、その後死んだ。
8 そして、彼の僕たちは、自分に代わってすべての人を治めます。
9 そして彼の死後、彼らはみな自分たちに冠をかぶせた。 彼らの息子たちも何年も後を追いました。そして地上では悪が増大しました。
10 そして彼らの中から、ローマの人質であったアンティオコス王の息子、エピファネスという名の邪悪な根のアンティオコスが出てきて、彼はギリシア人の王国の第百三十七年に統治した。
11 その頃、イスラエルから悪人たちが出て行き、多くの人を説得して、「行って、私たちの周りにいる異教徒と契約を結びましょう。私たちは彼らから離れて以来、多くの悲しみを経験しているからです。」と言いました。
12 それで、この装置は彼らにとても喜ばれました。
13 それから、民のうちのある人たちはここに来て非常に進んだので王のところへ行き、王は彼らに異教徒の儀式に従う許可を与えた。
14 そこで彼らは、異教徒の習慣に従ってエルサレムに演習場を建てた。
15 そして、割礼を受けず、聖なる契約を捨て、異教徒に加わり、悪戯をするために売られた。
16 さて、アンティオコス以前に王国が設立されたとき、アンティオコスはエジプトを治め、二つの領域を支配しようと考えた。
17 それで彼は、戦車、象、騎兵、そして大軍勢を率いて、大群衆を率いてエジプトに入った。
18 そしてエジプトの王プトレマイオスと戦争をした。しかしプトレマイオスは彼を恐れて逃げた。 そして多くの人が負傷して死亡した。
19 こうして彼らはエジプトの地に堅固な都市を手に入れたので、彼はその戦利品を奪った。
20 アンティオコスはエジプトを攻め落とした後、百四十三年に再び戻ってきて、大群衆を率いてイスラエルとエルサレムに攻め上った。
21 そして、誇らしげに聖所に入り、金の祭壇と明かりの燭台とそのすべての器物を取り去った。
22 また、供えのパンを置く台、注ぎの器、および小瓶もある。 そして神殿の前にあった金の香炉、ベール、王冠、そして金の装飾品をすべて彼は引き剥がしました。
23 彼は銀や金、貴重な器物も取り、見つけた隠された宝も取りました。
24 そして、すべてを奪い去った後、彼は自分の土地に入り、大虐殺を行って非常に誇らしげに話した。
25 そのため、イスラエルでは、彼らがいたあらゆる場所で、大きな悲しみが起こった。
26 そこで、君たちや長老たちは悲しみ、処女や若者たちは弱り、女性の美しさは変わってしまった。
27 花婿は皆、嘆きの声を上げたので、婚姻室に座っていた花婿は体が重かった。
28 土地もその住民のために移され、ヤコブの家全体が混乱に覆われた。
29 そして二年が満了した後、王は貢物の主任をユダの諸都市に派遣したが、彼らは大群衆を率いてエルサレムにやって来た。
30 そして、彼らに平和的な言葉を話したが、すべては欺瞞であった。彼らが彼を信頼したとき、彼は突然町に倒れ込み、町をひどく打ち、イスラエルの多くの人々を滅ぼしたからである。
31 そして彼は町の戦利品を奪うと、それに火をつけ、四方の家と城壁を取り壊した。
32 しかし、女と子供たちは彼らを捕らえ、牛を捕らえた。
33 それから彼らは、大きくて丈夫な城壁と強力な塔を備えたダビデの町を築き、それを彼らの堅固な砦とした。
34 そこで彼らは、罪深い国民、邪悪な者たちをその中に入れ、その中で自分たちを強化した。
35 彼らはそれを武具や食料とともに保管し、エルサレムの戦利品を集めてそこに置いたので、それはひどいわなとなった。
36 そこは聖所に対して待ち構える場所であり、イスラエルに対する邪悪な敵であったからである。
37 こうして彼らは聖所の四方八方に罪のない血を流し、聖所を汚した。
38 あまりにもエルサレムの住民は彼らのせいで逃げ出したので、その都はよそ者たちの住み家となり、エルサレムに生まれた者たちにとっては奇妙なものとなった。 そして彼女自身の子供たちは彼女のもとを去りました。
39 彼女の聖所は荒野のように荒廃し、祝宴は悲しみに変わり、安息日は彼女の名誉を非難し、軽蔑に変わった。
40 彼女の栄光があったように、彼女の不名誉も増大し、彼女の優秀さは悲しみに変わった。
41 さらにアンティオコス王は全王国に宛てて、すべての人が一つの民となるべきであると書き送った。
42 そして、各人は自分の律法を離れるべきである。それで異教徒はみな、王の命令に従って同意した。
43 そうです、イスラエル人の多くも彼の宗教に同意し、偶像に犠牲をささげ、安息日を冒涜しました。
44 というのは、王はエルサレムとユダの諸都市に、この地の奇妙な法律に従うようにとの手紙を使者で送っていたからである。
45 また、神殿内で全焼のいけにえ、いけにえ、飲みのいけにえを禁じる。 そして彼らは安息日と祭りの日を冒涜すべきである。
46 そして聖所と聖なる民を汚す。
47 祭壇、木立、偶像の礼拝堂を設け、豚の肉と汚れた獣をいけにえとして捧げよ。
48 また、彼らは自分たちの子供たちを割礼を受けさせずに残し、彼らの魂をあらゆる種類の汚れと冒涜で忌まわしいものにしなければならない。
49 彼らは最後まで律法を忘れ、すべての儀式を変えるかもしれない。
50 そして、王の命令に従わない者は、死ぬべきである、と彼は言った。
51 彼は同じように王国全体に手紙を書き、全民の上に監督を任命し、ユダの諸都市に都市ごとに犠牲を払うよう命じた。

52 それから、律法を捨てたすべての人に意見を求めるために、多くの民が彼らのもとに集まった。 それで彼らはこの地で悪を犯した。
53 そして、イスラエル人を秘密の場所に、たとえ彼らが助けを求めて逃げることができる場所にさえ追い込んだ。
54 さて、百四十五年、カスレウの月の十五日、彼らは祭壇の上に荒廃の忌まわしいものを設置し、ユダの町々の四方に偶像の祭壇を築いた。
55 そして、家の戸口や通りで香を焚いた。
56 そこで彼らは、見つけた律法の書をばらばらに裂いて、それを火で焼いた。
57 そして、遺言書を持っている者、あるいは律法を守った者が見つかった者は、王の命令で死刑に処せられた。
58 彼らは、毎月イスラエル人に対して、町にいる限り多くの人に対して、その権威によってこのようにした。
59 さて、彼らは毎月五日と二十日に、神の祭壇の上にある偶像の祭壇にいけにえをささげた。
60 そのとき、彼らは戒めに従って、自分たちの子供たちに割礼を受けさせたある婦人たちを殺した。
61 そして彼らは幼児の首を吊り下げ、家に銃で銃を当て、割礼を施した者たちを殺した。
62 しかし、イスラエルの多くの人々は、汚れたものを決して食べないという完全な決心をし、自分自身の中で確認していました。
63 それゆえ、彼らが肉で汚されないように、また聖なる契約を汚さないためには、むしろ死んだほうがよい。それで彼らは死んだ。
64 そしてイスラエルの上に非常に大きな怒りが起こった。

第 2 章

1 そのころ、ヨアリブの子孫の祭司シメオンの子ヨハネの子マタティアがエルサレムから起きて、モディンに住んだ。
2 そして彼には、カディスと呼ばれるジョアンナンという5人の息子がいました。
3 シモン。タッシと呼ばれる:
4 マカベウスと呼ばれたユダ:
5 アヴァランと呼ばれるエレアザルと、姓がアッファスであったヨナタン。
6 そして、ユダとエルサレムで行われた冒涜を見て、
7 彼は言った、「私は不幸だ！」 それなのに、なぜ私は、敵の手に渡され、聖域が見知らぬ人の手に渡ったとき、民と聖都のこの悲惨を見るために、そしてそこに住むために生まれてきたのでしょうか?
8 彼女の神殿は栄光のない人間のようになっている。
9 彼女の輝かしい器は捕虜にさらわれ、彼女の幼児は路上で殺され、彼女の若者たちは敵の剣で殺されました。
10 王国に参加せず、戦利品を手に入れなかった国民がいるでしょうか。
11 彼女の装飾品はすべて取り去られました。 自由な女性の彼女は奴隷にされる。
12 そして見よ、私たちの聖所、私たちの美しさと栄光さえも荒廃し、異邦人がそれを汚したのです。
13 それでは、私たちはこれ以上、どのような目的で生きなければならないのでしょうか。
14 そこでマッタティアとその息子たちは、衣服を裂き、荒布を着て、非常に悲しんだ。
15 その間に、民衆に反乱を強制するなど王の役人たちがモディンの街に来て、彼らに犠牲を払わせた。
16 多くのイスラエル人が彼らのところに来たとき、マタティアとその息子たちも集まった。
17 それから王の役人たちは答え、この賢明なことでマッタティアに言った、「あなたはこの町の統治者であり、名誉ある偉大な人であり、息子たちや兄弟たちとともに力づけられています。
18 それゆえ、今、あなたは真っ先に来て、すべての異教徒がそうしたように、またユダの人々やエルサレムに残っている者たちも同様に、王の命令を遂行しなさい。そうすれば、あなたとあなたの家は王の数に加わるであろう。 友人たち、そしてあなたとあなたの子供たちは、銀と金、そして多くの報酬で名誉を与えられるでしょう。
19 そこでマッタティアは答えて大声で言った、「たとえ王の統治下にあるすべての国々が王に従い、みな先祖たちの宗教から離れ、王の戒めに同意したとしても、
20 しかし、わたしも息子たちも兄弟たちも、先祖たちの契約に従って歩むつもりです。
21 神は、私たちが律法と儀式を放棄することを禁じられます。
22 私たちは、右にも左にも、私たちの宗教から離れなさいという王の言葉に耳を傾けません。
23 さて、彼がこれらの言葉を言い終えたとき、ユダヤ人の一人がみんなの見ている前に来て、王の命令に従ってモディンにある祭壇に犠牲を捧げた。
24 マタティアはこれを見て、熱意が燃え上がり、手綱が震え、裁きに従って怒りを露わにすることも我慢できなかったので、走って祭壇の上で彼を殺した。
25 また、当時、人々にいけにえを強制した王の長官も殺し、祭壇も取り壊した。
26 こうして彼は、ピネスがサロムの子ザンブリにしたのと同じように、神の律法に対して熱心に取り組んだ。
27 そこでマッタティアは大声で町中に叫んで言った、「律法を熱心に守り、契約を守る者はだれでも、わたしについて来なさい。」
28 そこで彼とその息子たちは、持ち物すべてを町に残して山へ逃げた。
29 それから、正義と裁きを求める多くの人々が荒野に下って行き、そこに住むようになった。
30 彼らと彼らの子供たちと彼らの妻たち。 そして彼らの牛。 苦難が彼らを痛めつけるようになったからである。
31 さて、王の戒めを破ったある者たちが荒野の隠れ場所に下ったということが、王の家来たちとダビデの町エルサレムにいる軍勢に告げられたとき、
32 彼らは大勢で彼らを追って追いついたので、彼らに対して陣を張り、安息日に彼らと戦った。
33 そこで彼らは言った、「あなたたちが今までしてきたことで十分でありましょう。」 出てきて、王の命令に従いなさい、そうすればあなたがたは生きるでしょう。
34 しかし彼らは言った、「わたしたちは出てこないし、安息日を汚すという王の命令にも従わない」。
35 それで彼らは彼らに全力で戦いを挑んだ。
36 それにもかかわらず、彼らは答えず、石を投げることも、隠れていた場所を止めることもなかった。
37 しかし、言った、「私たちは無実のままに死にましょう。あなたがたが私たちを不法に死刑にしたことは、天と地が私たちのために証言してくれるでしょう。」
38 それで彼らは安息日に彼らに対して蜂起し、妻子や牛もろとも千人に達して殺した。
39 さて、マタティアと彼の友人たちはこれを理解したとき、彼らのことを心から悲しみました。
40 そして、彼らのうちの一人は、別の人に言った、「もし私たちが皆、兄弟たちと同じように行動し、自分たちの命と法律のために異教徒と戦わないなら、彼らは今すぐに私たちを地球から根絶するでしょう。」

41 そこで彼らは布告してこう言った、「安息日に我々と戦
いに来る者は誰であろうと、我々は彼と戦う。」 秘密の場
所で殺された私たちの同胞のように、私たちも全員死ぬこ
とはありません。
42 それから、イスラエルの有力者であるアシデ人の一団が
彼のところにやって来た。彼らは皆、自発的に律法に忠実
であった。
43 また、迫害のために逃げた者たちも皆、彼らに加わり、
彼らに留まりました。
44 それで彼らは力を合わせて、罪深い者たちを怒りのまま
に、悪人たちを怒りをもって打ち殺したが、残りの者たち
は助けを求めて異教徒のところへ逃げた。
45 それから、マタティアとその友人たちは歩き回って、祭
壇を取り壊した。
46 そして、イスラエルの海岸で見つけた割礼を受けていな
い子供たちには、勇敢に割礼を施した。
47 彼らは高慢な人々の後を追い、その仕事は彼らの手で成
功した。
48 こうして彼らは、異邦人の手からも王たちの手からも律
法を取り戻しましたが、罪人である彼らが勝利することは
許されませんでした。
49 さて、マッタティアが死ぬ時が近づいたとき、彼は息子
たちに言った、「今は誇りと叱責が力を持ち、滅びの時と
憤りの怒りが強くなっています。
50 それゆえ、わたしの子らよ、あなたがたは律法に対して
熱心であり、先祖たちの契約のために命を捧げなさい。
51 私たちの先祖がその時代に行った行為を思い出すよう呼
び掛けてください。 そうすれば、あなたがたは大きな栄誉
と永遠の名を得るであろう。
52 アブラハムは誘惑の中で忠実であることがわかり、それ
が彼の義とみなされたのではありませんか。
53 ヨセフは苦難の時にも戒めを守り、エジプトの主となっ
た。
54 私たちの父ピネスは、熱心で熱心だったため、永遠の祭
司職の聖約を得ました。
55 イエスは、その言葉を実現したために、イスラエルで裁
判官に任命されました。
56 カレブは会衆が土地の遺産を受け取る前に証しをしてく
れた。
57 ダビデは慈悲深かったので、永遠の王国の王座を手に入
れました。
58 エリアスは律法に対して熱心であったため、天に上げら
れました。
59 アナニヤ、アザリア、ミザエルは、信じて炎の中から救
われた。
60 ダニエルは無実のゆえに獅子の口から救い出された。
61 このように、あなたがたは、いつの時代も、彼に信頼を
寄せる者は誰も打ち負かされないことを考えなさい。
62 罪深い男の言葉を恐れるな。彼の栄光は糞と虫になるか
らである。
63 今日、彼は持ち上げられますが、明日には見つからない
でしょう、彼は塵の中に戻され、彼の考えは無になるから
です。
64 それゆえ、わたしの子らよ、勇敢になって、律法を守る
者として自らを示しなさい。 それによってあなたがたは栄
光を得るからである。
65 そして見よ、あなたの兄弟シモンが助言者であることを
私は知っています。いつも彼の言うことを聞いてください。
彼はあなたの父親となるでしょう。
66 ユダ・マカベウスに関して言えば、彼は若い頃から力強
く、強かった。彼をあなたのキャプテンにして、人々の戦
いを戦わせてください。
67 また、律法を守る者たちをすべてあなたがたに連れて行
って、あなたの民の罪に復讐してください。
68 異教徒には十分に報いをし、律法の戒めを守りなさい。
69 そこでイエスは彼らを祝福し、先祖たちのところに集め
られた。
70 そして彼は百四十六年に亡くなり、息子たちはモーディ
ンにある先祖たちの墓に彼を埋葬したので、全イスラエル
は彼のために大いに嘆いた。

第 3 章

1 そこで、彼の息子、マカベウスという名のユダが彼の代
わりに立ち上がった。
2 そして、彼の兄弟たちもみな彼を助け、父親と一緒にい
た者たちもみな同じようにして、イスラエルの戦いを元気
よく戦った。
3 こうして彼は民に大きな栄誉を与え、巨人のように胸当
てを着け、好戦的な馬具を身に着け、剣で軍勢を守りなが
ら戦いを挑んだ。
4 その行為において、彼はライオンのようであり、獲物を
求めて吠えるライオンの子のようであった。
5 神は悪者を追い求め、民を悩ませた者たちを焼き尽くし
たからである。
6 それゆえ、悪人たちは彼を恐れて身を縮め、悪を行う者
たちは皆、悩みました。救いは彼の手で栄えたからです。
7 彼はまた多くの王を悲しませ、その行為によってヤコブ
を喜ばせたので、彼の記念は永遠に祝福される。
8 さらに彼はユダの町々を巡回して、その中から不敬虔な
者たちを滅ぼし、イスラエルの怒りを遠ざけた。
9 こうして彼は地の果てまで名声を博し、滅びようとして
いる者たちを受け入れた。
10 そこでアポロニウスは、イスラエルと戦うために異邦人
を集め、サマリアから大軍勢を集めた。
11 ユダはそれを悟り、出迎えに出て行ったので、彼を打っ
て殺し、多くの者が倒れて殺されたが、残りの者は逃げた。
12 そこでユダは彼らの戦利品とアポロニウスの剣を奪い、
それを持って生涯戦い続けた。
13 さて、シリア軍の君セロンは、ユダが戦争に同行するた
めに大勢の信者を自分のもとに集めたという話を聞いたと
き、
14 彼は言った、「王国で私に名声と名誉を与えてやろう」。
というのは、わたしはユダと王の命令を軽蔑するユダとと
もにいる者たちと戦いに行くからである。
15 それで彼は彼に上って行く準備をさせた。そして、彼を
助け、イスラエルの人々の復讐をするために、不敬虔な者
の大軍が彼と一緒に行った。
16 そして、ベトホロンへの登りが近づいたとき、ユダは小
さな隊を率いて彼を迎えに行った。
17 軍勢が迎えに来るのを見たとき、だれがユダに言った、
「今日一日中断食して気を失いそうなのに、これほど少数
の私たちが、これほど多くの、これほど強い群衆とどうや
って戦うことができるでしょうか」。
18 ユダは答えた、「多くの人が少数の人たちの手に閉じ込
められるのは、それほど難しいことではありません。 そし
て天の神にとって、大群衆で、あるいは小さな集団で配達
することは、すべて一つである。
19 戦いの勝利は軍勢の多さによって決まるのではない。
しかし、力は天から来るのです。
20 彼らは、高慢と不法を持って私たちに向かって来て、私
たちと私たちの妻と子供たちを滅ぼし、私たちを甘やかそ
うとしています。
21 しかし、私たちは自分たちの命と法律のために戦います。

22 それゆえ、主ご自身がわたしたちの面前で彼らを打ち倒されるであろう。あなたがたは、彼らを恐れるな。
23 さて、彼が話し終えるとすぐに、突然彼らに飛びついたので、セロンとその軍勢は彼の前でひっくり返された。
24 そして彼らはベトロンの下りから平原まで彼らを追跡したが、そこで彼らのうち約八百人が殺された。 そして残りの者はペリシテ人の地に逃げた。
25 それから、ユダとその兄弟たちの恐怖と、非常に大きな恐怖が周囲の国々に降りかかり始めた。
26 彼の名声は王に伝わり、すべての国々がユダの戦いのことを話題にした。
27 さて、アンティオコス王はこれらのことを聞いて憤慨した。そこで彼は自分の領土のすべての軍隊、さらには非常に強力な軍隊を派遣して集めた。
28 彼は宝物も開け、兵士たちに一年分の給料を与え、必要なときにいつでも備えられるように命じた。
29 それにもかかわらず、彼は、昔からあった法律を取り去ってこの国にもたらした不和と疫病のせいで、自分の財宝がなくなり、国中の貢物もわずかであるのを見て、彼はこう思った。
30 彼は、もはやその罪に耐えることができないのではないかと心配した。また、以前のように惜しみなく贈り物をすることもできないのではないかと心配した。
31 それで、彼は心の中で非常に当惑しながら、諸国の貢物を受け取り、多くの金を集めるためにペルシアに行くことを決心した。
32 そこで彼は、貴族で王家の血を引くリュシアスに、ユーフラテス川からエジプト国境に至るまで王の政務を監督するよう任せた。
33 そして、息子アンティオコスが再び来るまで育てるためである。
34 さらに彼は、兵力の半数と象を引き渡し、ユダとエルサレムに住む人々に関することと同様に、自分が行うであろうすべてのことを彼に任せた。
35 つまり、彼は彼らに対して軍隊を送り、イスラエルの力とエルサレムの残りの者を滅ぼして根絶し、その場所から彼らの記念碑を奪うということである。
36 そして、異邦人をそのすべての宿舎に配置し、彼らの土地をくじで分けることとした。
37 そこで王は、百四十七年、残っていた兵力の半数を率いて、王都アンティオキアを出発した。 そしてユーフラテス川を渡り、高地の国々を通った。
38 そこでリュシアスは、王の友人の有力者ドリメネス、ニカノール、ゴルギアスの子プトレマイを選んだ。
39 そこで彼は、王の命令どおり、彼らとともに歩兵四万人と騎手七千人をユダの地に送り、ユダの地を滅ぼすために遣わした。
40 そこで彼らは力を尽くして出て行き、平原のエマオのそばに来て投げた。
41 そこで、その国の商人たちは、彼らの名声を聞いて、召使たちとともに銀や金を大量に奪い、イスラエルの子らを奴隷として買うために陣営に入った。シリアとペリシテ人の地の勢力でもあった。彼らに加わりました。
42 さて、ユダとその兄弟たちは、悲惨さが増し、軍隊が国境に野営しているのを見たとき、王がどのようにして民を滅ぼし、完全に廃止するという命令を与えたかを知っていたからである。
43 彼らは互いに言った、「私たちの民の衰えた運命を回復しよう、そして私たちの民と聖域のために戦おうではないか」。
44 それから、戦いの準備を整え、祈り、憐れみと憐れみを求めるために、会衆が集まった。
45 今、エルサレムは荒野のように空虚に横たわっており、出入りする子供たちは一人もいなかった。聖所も踏み荒らされ、外国人が強固な砦を守っていた。 異教徒たちはその場所に住居を持っていました。 そしてヤコブから喜びが奪われ、ハープの笛が止まりました。
46 それで、イスラエル人は集まって、エルサレムに対抗するマスファに来た。 というのは、マスファはかつてイスラエルで彼らが祈った場所だったからです。
47 そこで彼らはその日断食し、荒布を着て頭に灰をかぶり、衣服を裂いた。
48 そして、異教徒たちが自分たちの像に似せて描こうとしていた律法の本を開いた。
49 彼らはまた、祭司の服、初穂、十分の一を持ってきた。また、彼らが奮起させた、日々を終えたナジル人たちも持ってきた。
50 そこで彼らは、天に向かって大声で叫んで言った、「これをどうしようか、どこへ運んでしまおうか」。
51 あなたの聖所は踏みにじられ汚され、あなたの祭司たちは重苦しさの中にあり、地位が低くされているからである。
52 そして見よ、異教徒たちは私たちを滅ぼすために集まっている。彼らが私たちに対してどんなことを想像しているか、あなたは知っている。
53 神よ、あなたが私たちを助けて下さる以外に、どうして私たちは彼らに対抗することができますか。
54 そこで彼らはラッパを吹き鳴らし、大声で叫びました。
55 この後、ユダは民の指揮官、さらには千人、百人、五十人、十人以上の指揮官を任命した。
56 しかし、家を建てている者、婚約中の妻がいる者、ぶどう畑を植えている者、または恐れを抱いている者については、律法に従って、みな自分の家に戻るようにと神は命じられた。
57 それで陣営は撤退し、エマオの南側に陣を張った。
58 そこでユダは言った、「武装し、勇敢な者となり、朝に備えて、我々と我々の聖所を滅ぼすために我々に対して結集している諸国民と戦うことができるように気を付けなさい。
59 というのは、私たちの民と私たちの聖域の災難を見るよりは、戦いで死ぬほうが私たちにとって良いからです。
60 しかし、神の御心は天にあるので、そのとおりにさせてください。

第 4 章

1 それからゴルギアは五千人の歩兵と千人の精鋭の騎兵を連れて、夜のうちに陣営から追い出された。
2 彼は最後までユダヤ人の陣営に突入し、突然彼らを打ち負かすかもしれない。 そして要塞の人たちは彼のガイドでした。
3 さて、ユダはそれを聞くと、エマオにいる王の軍隊を攻撃するために、自らも勇敢な者たちも連れて退去した。
4 まだ軍隊は陣営から分散していた。
5 ひどい季節に、夜、ゴルギアスがユダの陣営にやって来た。そして、そこに誰もいなかったので、山中で彼らを捜した。
6 しかし、日が暮れるとすぐに、ユダは三千人の兵を引き連れて平原に姿を現したが、彼らは鎧も剣も持っていなかった。
7 そして彼らは異教徒の陣営を見た、それは強くてよく利用されており、騎兵が周りを取り囲んでいた。 そして彼らは戦争の専門家でした。
8 そこでユダは一緒にいた者たちに言った、「あなたがたは彼らの群衆を恐れるな、彼らの攻撃を恐れるな」。

9 私たちの先祖たちが、ファラオが軍勢を率いて追撃した
とき、紅海でどのように救出されたかを思い出してくださ
い。
10 それゆえ、今、私たちは天に向かって叫びましょう。も
しも主が私たちを憐れみ、私たちの先祖の契約を思い出し、
今日、私たちの目の前でこの軍勢を滅ぼしてくださるのな
ら。
11 それは、イスラエルを救出して救う方がおられることを、
すべての異教徒が知るためである。
12 そこで、見知らぬ人たちは目を上げて、彼らが自分たち
に向かって近づいてくるのを見た。
13 そこで彼らは戦いのために陣営を出た。 しかし、ユダ
と一緒にいた者たちはラッパを吹き鳴らした。
14 それで彼らは戦いに加わったが、異教徒たちは狼狽して
平原に逃げた。
15 しかし、彼らのうち最後尾の者たちはみな剣で殺された。
彼らはガゼラ、イドメア、アゾトス、ヤムニアの平原まで
追撃したので、三千人が殺された。
16 こうしてユダは軍勢とともに追撃から再び戻ってきた。
17 そして民に言った、「これから戦いがあるのだから、戦
利品をむさぼるな。
18 そして、ゴルギアスとその軍勢は、山で私たちのそばに
います。しかし、あなたがたは今、私たちの敵に立ち向か
い、彼らに打ち勝ちましょう。その後、あなたは大胆に戦
利品を奪うことができます。
19 ユダがまだこれらの言葉を話しているとき、彼らの一部
が山から外を眺めているように見えた。
20 ユダヤ人たちが敵軍を敗走させ、天幕を焼き払っている
のを見たとき、だれがしたか。 というのは、見えた煙が何
が行われたかを告げたからである。
21 それゆえ、彼らはこれらのことを見て非常に恐れ、また
平地にいるユダの軍勢が戦いの準備をしているのを見て、
22 彼らは皆、よそ者の地に逃げた。
23 それからユダは天幕を荒らしに戻って、そこでたくさん
の金、銀、青い絹、海の紫、そして莫大な富を手に入れた。
24 その後、彼らは家に帰り、感謝の歌を歌い、天で主をた
たえました。それは良いことであり、主の憐れみは永遠に
続くからです。
25 こうして、その日、イスラエルは大いなる救いを得た。
26 さて、逃げてきた見知らぬ人たちが皆やって来て、何が
起こったのかをリシアスに告げた。
27 彼はそれを聞いて当惑し、落胆した。自分が望んでいた
ようなことはイスラエルに行われなかったし、王が命じた
ようなことも実現しなかったからだ。
28 そこで翌年、リュシアスは彼らを征服するために、選ば
れた歩兵三十千人と騎兵五千人を集めた。
29 そこで彼らはイドメアに来てベツスラに天幕を張ったの
で、ユダは一万の兵を率いて彼らを迎えた。
30 そして、その強大な軍勢を見て、彼は祈って言った、
「イスラエルの救い主よ、あなたは幸いです。あなたのし
もベダビデの手によって強者の暴虐を鎮め、多くの異邦人
を人の手に渡されました。」 サウルの子ヨナタンとその鎧
持ち。
31 この軍隊をあなたの民イスラエルの手中に閉じ込め、彼
らの力と騎兵を混乱させてください。
32 彼らに勇気を失わせ、彼らの勇敢な力を失わせ、彼らの
破滅に震えさせてください。
33 あなたを愛する者たちの剣で彼らを打ち倒し、あなたの
名を知る者は皆、感謝をもってあなたを讃美しましょう。
34 そこで彼らは戦いに参加した。 そして、彼らが殺され
る前に、約 5000 人のリュシアスの軍勢が殺された。
35 さて、リシアスは、自分の軍隊が敗走し、ユダの兵士の
男らしさ、そして彼らが勇敢に生きるか死ぬかの準備がで
きているのを見て、アンティオキアに入り、見知らぬ人た
ちを集めて軍隊を増強した。 むしろ、彼は再びユダヤに来
るつもりでした。
36 そこでユダとその兄弟たちは言った、「見よ、私たちの
敵は当惑している。聖所を清めて奉納するために上って行
こうではないか」。
37 これを受けて、軍勢はみな集まり、シオン山に登った。
38 そして彼らが見たとき、聖所は荒廃し、祭壇は汚され、
門は燃え、中庭には森か山の中のように低木が生えており、
祭司の間は取り壊された。
39 彼らは衣服を裂き、大いに嘆き、頭に灰をかぶった。
40 そして彼らは地面にひれ伏し、ラッパを吹き鳴らし、天
に向かって叫びました。
41 そこでユダは、聖所を清めるまで要塞にいる者たちと戦
うよう、ある者たちを任命した。
42 それで彼は、律法を楽しむような、とがめのない会話を
する祭司たちを選んだ。
43 だれが聖所を清め、汚れた石を汚れた場所にさらしたの
でしょう。
44 そして、彼らが、汚された燔祭の祭壇をどうするか相談
したとき、
45 彼らは、異教徒がそれを汚したのだから、自分たちへの
非難にならないように、それを引き倒すのが最善であると
考えた。それで、彼らはそれを引き下ろした。
46 それから、預言者が来て、石をどうすべきか教えてくれ
るまで、石を神殿の山の適当な場所に積み上げた。
47 それから彼らは律法に従って石を丸ごと取り出し、律法
に従って新しい祭壇を築いた。
48 そして聖所と神殿の中にあるものを造り、宮廷を聖別し
た。
49 彼らはまた、新しい聖なる器を作り、燭台、燔祭、香の
祭壇、食卓を神殿に運び込んだ。
50 そして彼らは祭壇の上で香を焚き、神殿に明かりを灯す
ために燭台の上のともしびに火をともした。
51 さらに彼らはテーブルの上にパンを置き、ベールを広げ、
作り始めていたすべての仕事を終えた。
52 さて、百四十八年、カスレウの月と呼ばれる第九の月の
五と二十日、彼らは朝起きて、
53 そして、彼らが作った新しい全焼のいけにえの祭壇の上
に、律法に従っていけにえをささげた。
54 見よ、いつ、何日に、異教徒がそれを冒涜したのか。そ
の中でも、歌、サイザーン、ハープ、シンバルが捧げられ
ていた。
55 そこで民はみなひれ伏し、彼らに良い成功を与えてくだ
さった天の神を礼拝し、賛美した。
56 そこで彼らは八日間祭壇の奉献を守り、喜んで燔祭をさ
さげ、救いと賛美のいけにえをささげた。
57 彼らは神殿の正面にも金の冠と盾を飾りました。 彼ら
は門と部屋を新しくし、扉を掛けた。
58 このようにして、異教徒のそしりが取り除かれたので、
民の間には非常に大きな喜びがあった。
59 さらに、ユダとその兄弟たちとイスラエルの会衆全体は、
祭壇の奉納の日を、カスレウの月の五日と二十日から八日
ずつ、毎年その季節に保つよう定めた。 、陽気さと喜びを
持って。
60 その時も、彼らは異邦人がやって来て、以前と同じよう
に踏みにじることのないように、シオン山を高い城壁と周
囲に強い塔で築き上げた。

61 そこで彼らはそれを守るためにそこに守備隊を置き、それを守るためにベツスラを要塞にした。 それは人々がイドメアから身を守るためであった。

第 5 章

1 さて、周りの国々は、祭壇が建てられ、聖所が以前のように新しくされたことを聞いて、非常に不快に思った。
2 そこで彼らは、自分たちの中にいたヤコブの世代を滅ぼそうと考え、すぐに民を殺し、滅ぼし始めた。
3 それから、ユダはアラバッティンでイドメアのエサウの子孫と戦った。彼らがガエルを包囲したからである。そして彼は彼らを大敗させ、彼らの勇気を弱め、彼らの戦利品を奪った。
4 また彼は、道で彼らを待ち構えていたという点で、人々にとって罠であり侮辱であったビーンの子供たちが負傷したことも思い出した。
5 そこで彼は彼らを塔の中に閉じ込め、彼らに向かって陣を張り、完全に破壊し、その場所の塔とその中にあったすべてのものを火で焼き払った。
6 その後、彼はアンモンの人々の所へ渡り、そこで彼は強大な力と多くの民、そして彼らの指揮官ティモテウスを見つけた。
7 それで彼は彼らと多くの戦いを戦ったが、ついに彼らは彼の前で狼狽した。 そして彼は彼らを打ち負かした。
8 そして彼はヤザルとそこに属する町々を占領すると、ユダヤに戻った。
9 そこで、ガラアデにいた異教徒たちは、彼らを滅ぼそうと、自分たちの宿舎にいたイスラエル人に対して集結した。しかし彼らはダテマの要塞に逃げました。
10 そして、ユダとその兄弟たちに手紙を送った。
11 そして彼らは来て、私たちが逃げている要塞を占領する準備をしている。ティモテウスが彼らの軍勢の隊長である。
12 だから、今来て、私たちを彼らの手から救い出してください。私たちの多くは殺されています。
13 そうだ、トビーの代わりにいた私たちの同胞はみな死刑に処せられ、彼らの妻や子供たちも捕虜を連れ去り、荷物を運び去った。 そして彼らはそこで約千人を滅ぼした。
14 この手紙がまだ読まれている間に、見よ、ガリラヤからほかの使者が着物を借りてやって来て、この賢明なことを報告した。
15 そして言った、「プトレマイオスの人々、テュロスの人々、シドンの人々、そして異邦人のすべてのガリラヤの人々は、私たちを滅ぼすために私たちに向かって集まっている。」
16 さて、ユダと民はこの言葉を聞くと、大きな会衆を集めて、苦境に立たされ、暴行を受けている同胞のために何をすべきかを話し合った。
17 そこでユダは弟シモンに言った、「あなたを人から選び、ガリラヤにいるあなたの兄弟たちを救出しに行ってください。私と弟のヨナタンはガラアドの国に行くからです。」
18 それで彼は、ザカリアの子ヨセフと民の長アザリアに、ユダヤの軍勢の残りの者にそれを守るよう任せた。
19 彼は彼に戒めを与えて言った、「あなたがたはこの民の責任を負い、私たちが再び来る時まで異教徒と戦争をしないように気を付けなさい。」
20 さて、シモンにはガリラヤへ行くための三千人が与えられ、ユダにはガラアドの国へ行くための八千人が与えられた。
21 それからシモンはガリラヤに行き、そこで異教徒と多くの戦いを戦ったので、異教徒は彼に不快感を覚えた。
22 そして彼はプトレマイスの門まで彼らを追いかけた。 そして異教徒約三千人が殺され、彼はその戦利品を奪った。
23 そこで、ガリラヤとアルバテスにいた人々は、妻や子供たち、そして持ち物すべてとともに、イエスを連れて行き、大喜びしてユダヤに連れて行った。
24 ユダ・マカベウスとその兄弟ヨナタンもヨルダンを渡り、荒野を三日間旅した。
25 そこで彼らはナバト人と会ったが、彼らは平和的な態度で彼らのところに来て、ガラアデの地で自分たちの同胞に起きた事をすべて告げた。
26 そして、彼らの多くがボソラ、ボソル、アレマ、カスフォル、マメド、カルナイムに閉じ込められたことを。 これらの都市はどれも強力で素晴らしいです。
27 そして、彼らはガラアデの国の残りの都市に閉じ込められ、明日に向けて軍勢を砦に迎え入れ、占領し、一日ですべてを破壊することを約束したことを。
28 そこでユダとその軍勢は突然荒野の道を通ってボソラの方へ向きを変えた。 そして彼が市に勝利すると、男たちをすべて剣の刃で殺し、戦利品をすべて奪い、市を火で焼き払いました。
29 彼は夜のうちにそこから出て、要塞に着くまで行った。
30 そして、朝になると、時々彼らが見上げると、見よ、はしごやその他の戦争の動力を担いで要塞を占領しようとしている無数の民がいた。彼らが彼らを攻撃したからである。
31 そこでユダは、戦いが始まり、ラッパのような大きな音とともに町の叫び声が天にまで上がったのを見て、
32 彼は主人に言った、「今日は兄弟たちのために戦え。」
33 そこでイエスは、三隊に分かれて彼らの後ろに出て行った。彼らはラッパを吹き鳴らし、祈りながら叫んだ。
34 そこで、ティモテウスの軍勢は、それがマカベウスであることを知って、彼から逃げたので、彼は彼らを大虐殺した。 その日、彼らのうち約 8,000 人が殺された。
35 それが終わると、ユダはマスファの方に背を向けた。 そしてそれを襲撃した後、彼はその中の雄をすべて捕らえて殺し、その戦利品を受け取って火で焼きました。
36 彼はそこから出て、カスフォン、マゲド、ボソル、およびガラアドの国の他の町々を占領した。
37 これらのことが起こった後、ティモテウスは別の軍勢を集め、小川の向こう側でラフォンに対して陣を敷いた。
38 そこでユダは軍勢を偵察させるために人を遣わしたところ、ユダは「我々の周りにいる異教徒はみな、非常に大軍勢も含めて彼らのもとに集まっている」との知らせをもたらした。
39 また、神は彼らを助けるためにアラビア人を雇い、彼らは小川の向こうに天幕を張り、あなたと戦う準備を整えている。そこでユダは彼らに会いに行きました。
40 そこでティモテウスは軍勢の長たちに言った、「ユダとその軍勢が小川の近くに来たとき、もし彼が先に私たちのところに渡って来たら、我々は彼に耐えることはできないだろう。 なぜなら、彼は私たちに対して力強く勝利するからです。
41 しかし、もし彼が恐れて、川の向こうで陣を張っているなら、我々は彼のところに行き、彼に勝つだろう。
42 さて、ユダは小川の近くに来たとき、民の律法学者たちを小川のそばに留まらせ、彼らに戒めを与えてこう言った、「誰も陣営に留まることは許されないが、全員が戦いに来なさい」。
43 それで、イエスはまず彼らのところに行き、民全員がその後に続いた。すると、異教徒たちは皆、彼の前で当惑して武器を捨て、カルナイムにある神殿に逃げた。

44 しかし彼らは町を占領し、そこにいた者たちもろとも神
殿を焼き払った。 こうしてカルナイムは制圧され、彼らも
もはやユダの前に立つことができなかった。
45 そこでユダは、ガラアデの国にいたすべてのイスラエル
人を、身分の低い者から偉い者に至るまで、その妻や子供
たち、その持ち物まで含めて、非常に多くの軍勢を集めて、
最後までガラアデの地に集めた。 ユダヤ。
46 さて、彼らがエフロンに来たとき、（これは彼らが行く
べき道にある大きな町で、非常によく防備されていた）、
彼らはそこから右にも左にも曲がることができず、道の中
を通らなければならなかった。 それ。
47 それから、町の人々は彼らを締め出し、石で門をふさい
だ。
48 そこでユダは平和的に彼らのところに人を遣わして言っ
た、「あなたの地を通って私たちの国に行きましょう。誰
もあなたを傷つけることはありません。」 私たちは徒歩で
通過するだけです。しかし、彼らは彼に心を開いてくれま
せんでした。
49 そこでユダは、万民が自分のいる場所に天幕を張るよう、
軍全体に布告を発するよう命じた。
50 そこで兵士たちは、その日も夜もずっと投獄し、市を攻
撃し、ついに町は彼の手に渡された。
51 それから、男はすべて剣の刃で殺し、町を破壊し、その
戦利品を奪い、殺された者たちの上を町を通り抜けた。
52 この後、彼らはヨルダンを越えてベトサンの前の大平原
に入った。
53 そこでユダは、後から来た者たちを集めて、民をユダヤ
の地に着くまでずっと勧めた。
54 そこで彼らは、喜び勇んでシオン山に登り、そこで全焼
のいけにえをささげた。平和に帰ってくるまで、一人も殺
されなかったからである。
55 さて、ユダとヨナタンがガラアデの地におり、その兄弟
シモンがプトレマイオスの前にガリラヤにいたとき、
56 ザカリヤの子ヨセフと守備隊の長アザリヤは、彼らが行
った勇敢な行為と好戦的な行為について聞いた。
57 それで彼らは言った、「私たちも名をあげて、周りにい
る異教徒と戦ってみようではないか」。
58 そこで彼らは、一緒にいた守備隊に突撃を与えると、ヤ
ムニアに向かって出発した。
59 そこでゴルギアスとその部下たちが彼らと戦うために都
から出てきた。
60 こうして、ヨセフとアザラスは逃走し、ユダヤの国境ま
で追撃された。その日、イスラエルの民のうち約二千人が
殺された。
61 このようにして、イスラエルの子らの間で大きな転覆が
起こった。なぜなら、彼らはユダとその兄弟たちに従わな
かったが、何らかの勇敢な行動をとろうと考えていたから
である。
62 さらに、これらの人々は、その手によってイスラエルに
救出を与えられた人々の子孫から出たものではありません。
63 しかし、ユダという男とその兄弟たちは、全イスラエル
と全異教徒の目に、彼らの名が知られるところならどこで
も非常に有名であった。
64 人々は歓喜の叫びをあげて彼らのもとに集まった。
65 その後、ユダは兄弟たちとともに出陣し、南の地でエサ
ウの子孫と戦い、そこでヘブロンとその町々を撃ち、その
要塞を破壊し、周囲の塔を焼き払った。
66 彼はそこからペリシテ人の地に入り、サマリアを通った。
67 当時、自分たちの勇気を示したいと願っていたある司祭
たちは、無分別に戦いに出て行ったため、戦いで殺されま
した。
68 そこでユダはペリシテ人の地でアゾトスに頼り、彼らの
祭壇を取り壊し、彼らの彫像を火で焼き、彼らの都市を破
壊した後、ユダヤの地に戻った。

第 6 章

1 その頃、高地諸国を旅していたアンティオコス王は、ペ
ルシャの国のエリマイスが富、銀、金で非常に有名な都市
であるという話を聞いた。
2 そして、そこには非常に豊かな神殿があり、そこには、
ギリシャ人の中で最初に君臨したマケドニアの王ピリポの
子アレクサンドロスがそこに残した、金の覆い、胸当て、
盾があった。
3 そこで彼は来て、町を占領し、それを破壊しようとした。
しかし彼にはそれができなかった、なぜなら街の人々が警
告していたからだ。
4 戦いで彼に対して立ち上がったので、彼は逃げ、重い気
持ちでそこを去り、バビロンに戻った。
5 さらに、ユダヤの地に攻め入った軍隊が敗退したという
知らせをペルシャにもたらした者が来た。
6 そして、最初に強大な力を持って出陣したリュシアスが
ユダヤ人たちを追い払った。 そして彼らは、彼らが滅ぼし
た軍隊から得た鎧と力と戦利品の蓄えによって強くなった、
と。
7 また彼らは、彼がエルサレムの祭壇の上に設けた忌まわ
しいものを引き倒し、以前と同じように聖所とその都市ベ
ツスラを高い城壁で取り囲んだこともあった。
8 さて、王はこれらの言葉を聞いて、驚き、ひどく感動し、
それから王を床に横たわらせ、悲しみのあまり病気になり
ました。それは、望んでいたようなことが彼に降りかから
なかったからです。
9 そして、彼は何日もそこにいた。悲しみはますます大き
くなり、彼は死ななければならないと考えた。
10 それで彼は友達全員を呼んで言った、「私の目からは眠
りが消え、私の心は細心の注意を払って疲れています。」
11 そして、私は心の中でこう思いました、「私は何という
艱難に遭っているのだろうか、そして今私がいるのは、な
んと大きな悲惨の洪水だろう！」。 なぜなら、私は豊かで、
その力において愛されていたからです。
12 しかし今、私はエルサレムで行った悪事を思い出し、そ
こにあった金銀の器をすべて奪い、ユダヤの住民を理由も
なく滅ぼすために遣わしたことを思い出します。
13 したがって、私は、このような理由から、これらの困難
が私に降りかかり、見よ、私は見知らぬ地で大きな悲しみ
のうちに死ぬことを理解しています。
14 それから彼は友人の一人ピリポを呼び、彼を彼の領土全
体の統治者に任命した。
15 そして、彼に王冠とローブと印章を与え、最後まで息子
アンティオコスを育て、王国のために養わなければならな
かった。
16 そこでアンティオコス王は百四十九年にそこで死んだ。
17 さて、リュシアスは王が死んだことを知ると、幼いころ
から育てた息子アンティオコスを王に代わって統治させ、
その名をエウパトルと呼んだ。
18 この頃、塔にいた者たちはイスラエル人を聖所の周りに
閉じ込め、常に彼らを傷つけ、異教徒を強めることを求め
た。
19 そこで、ユダは彼らを滅ぼそうと、民全員を集めて彼ら
を包囲させた。
20 そこで彼らは集まって、百五十年目に彼らを包囲したの
で、彼は彼らに対して射撃するための馬やその他の機関を
造った。

21 ところが、包囲されていた人々のうちの何人かが出て行
ったので、不敬虔なイスラエル人たちが彼らに加わった。
22 そこで彼らは王のところに行って言った、「あなたはど
れくらいの期間で裁きを執行し、私たちの兄弟たちに復讐
するのですか？」
23 私たちは、あなたの父に仕え、父が私たちに望んでいる
ことを行い、父の戒めに従いたいと思っています。
24 そのために、私たちの国の彼らは塔を包囲し、私たちか
ら疎外されています。さらに、彼らはできるかぎり多くの
私たちを殺し、私たちの相続財産を台無しにしました。
25 彼らは私たちに対してだけでなく、国境に対しても手を
差し伸べました。
26 そして見よ、今日、彼らはエルサレムの塔を包囲して、
それを奪おうとしている。聖所とベツスラも彼らは要塞を
築いている。
27 したがって、あなたが彼らをすぐに阻止しなければ、彼
らはこれらよりも大きなことをするでしょう、あなたは彼
らを支配することもできません。
28 さて、王はこれを聞いて怒り、友人たち、軍の長たち、
馬を担当していた者たちをすべて集めた。
29 また、他の王国や海の島々からも、雇われた兵士の一団
が彼のところにやって来た。
30 こうして彼の軍勢は、歩兵十万、騎兵二万、そして戦闘
に参加した象二三十頭となった。
31 彼らはイドメアを通過し、ベツスラに対して攻撃を仕掛
け、何日もベツスラを攻撃し、戦争の原動力となった。 し
かし、ベツスラの人々が出てきて、彼らを火で焼き、勇敢
に戦った。
32 そこでユダは塔から出て、王の陣営に向かってバトザカ
リアに陣を張った。
33 それから、王は非常に早く起きて、軍勢とともにバトザ
カリヤスに向けて激しく行進し、そこで軍隊が戦闘の準備
を整え、ラッパを吹き鳴らした。
34 そして最後まで、彼らは象たちに戦いを起こさせようと
して、彼らにブドウと桑の血を見せた。
35 さらに、彼らは獣を軍隊に分け、象ごとに、郵便物の上
着を着て、頭に真鍮のかぶとをかぶった千人の男を任命し
た。 そしてこれに加えて、すべての獣のために、最高の騎
手 500 人が任命されました。
36 これらはあらゆる機会に用意されていた。獣がいるとこ
ろにはどこへでも、獣が行くところにはどこへでも、彼ら
も行って、獣から離れることもなかった。
37 そして、獣の上には強い木の塔があり、そのすべてを覆
い、道具でしっかりと締められていた。また、支配するイ
ンディアンの傍らに、それぞれに二三十人の屈強な男たち
がいて、彼らと戦った。彼。
38 残りの騎兵たちについては、彼らを軍勢の二つの部分の
こちら側とあちら側に配置し、なすべきことを指示し、隊
列の中で全身を馬具にされた。
39 さて、太陽が金と真鍮の盾を照らすと、山々はそれによ
って輝き、火のともしびのように輝いた。
40 そこで王の軍隊の一部は高い山の上に、また一部は下の
谷に分散して、安全かつ整然と行進した。
41 そこで、群衆のざわめき、隊列の行進音、馬具のガタガ
タ音を聞いた者はみな感動した。軍隊は非常に偉大で強力
だったからである。
42 それから、ユダとその軍勢が近づいて戦いに入ったので、
王の軍勢六百人が殺された。
43 サバランという姓のエレアザルも、王の馬具で武装した
獣のうちの一匹が他のすべての獣よりも優れていることに
気づき、王が彼の上にいると仮定して、
44 自らを危険にさらして、最後まで民を救出し、永遠の名
を手に入れよう。
45 そこで、彼は戦いのさなか、勇敢にも彼に襲いかかり、
右手と左手で殺し、彼らは彼から両側に分かれた。
46 それで、彼は象の下に忍び込み、象を下に突き落として
殺した。すると、象は彼の上に倒れ、彼はそこで死んだ。
47 しかし、残りのユダヤ人たちは、王の力とその軍隊の暴
力を見て、彼らから背を向けた。
48 そこで王の軍隊は彼らを迎え撃つためにエルサレムに上
り、王はユダヤとシオン山に向かって天幕を張った。
49 しかし、彼はベツスラにいる人々と和解した。彼らは包
囲に耐えられる食料を持っていなかったので、この地は休
息の年であったので、町から出てきたのである。
50 そこで王はベツスラを占領し、そこを守るために守備隊
を置いた。
51 聖所に関して言えば、彼は何日もかけて包囲し、そこに
エンジンと火と石を投げるための道具と矢と投石器を投げ
るための道具を備えた大砲を置いた。
52 そこで彼らは、エンジンに対抗するエンジンも作り、長
いシーズンにわたって戦い続けた。
53 しかし、最後には、彼らの器には食料がなくなりました
（というのは、それは 7 年目であり、異邦人から救出され
たユダヤにいる彼らは、蓄えの残りを食べ尽くしていたか
らです）。
54 聖所にはほんの数人しか残っていなかった。飢餓が彼ら
を襲ったため、彼らは各自、それぞれの場所に分散するの
がやっとだった。
55 そのとき、リシアスは、アンティオコス王が生前、自分
が王になるために息子アンティオコスを育てるよう任命し
ていたフィリポが、次のように言うのを聞いた。
56 彼はペルシャとメディアから帰還し、王の軍勢も彼に同
行し、国政の統治を彼に任せようとした。
57 それで、彼は急いで行って、王と軍勢と中隊の隊長たち
に言った、「我々は日々衰退しており、我々の食料はほん
のわずかであり、我々が包囲している場所は強力であり、
王国の事はこうなっている」私たちに嘘をつく：
58 ですから、今、私たちはこれらの人たちと友達になり、
彼らと、そして彼らの国民全体と平和を作りましょう。
59 そして、彼らが以前と同じように、彼らの律法に従って
生きることを彼らと契約しなさい。それは、私たちが彼ら
の律法を廃止したために、彼らは不満を抱いており、これ
らすべてのことを行っているからです。
60 そこで王と君たちは満足したので、和平を結ぶために彼
らに人を遣わした。そして彼らはそれを受け入れました。
61 王と君たちも彼らに誓いを立てたので、彼らは砦から出
て行った。
62 それから王はシオン山に入った。 しかし、その場所の
強さを見て、彼は自分が立てた誓いを破り、周囲の壁を取
り壊すよう命令を出しました。
63 その後、彼は急いで出発し、アンティオキアに戻ったが、
そこでピリポがこの都市の主人であることがわかったので、
彼は彼と戦い、武力で都市を占領した。

第 7 章

1 百一五十年に、セレウコスの子デメトリオスはローマを
出発し、数人の兵士とともに海岸の都市にやって来て、そ
こで統治した。
2 そして、彼が先祖の宮殿に入ると、彼の軍隊がアンティ
オコスとリュシアスを捕らえ、彼らを彼のところに連れて
来た。

3 そこで、それを知った彼は、「彼らの顔を見ないでくれ」と言った。
4 そこで彼の主人は彼らを殺した。 さて、ディメトリアスが王国の王位に就いたとき、
5 そこで、イスラエルの邪悪で不敬虔な者たちがみな彼のところにやって来て、大祭司になりたかったアルキモをその長に任命した。
6 そこで彼らは民を王に告発して、「ユダとその兄弟たちがあなたの友人たちを皆殺しにし、私たちを自分たちの土地から追い出した」と言った。
7 そこで、今、あなたが信頼する人を遣わして、彼が私たちの間で、そして王の地でどんな大惨事を引き起こしたかを見に行かせ、彼らを助ける者たち全員とともに彼らを懲らしめさせてください。
8 そこで王は、王の友人で洪水の向こうを治め、王国の偉人で王に忠実なバッキデスを選んだ。
9 そこで彼は、あの邪悪なアルキモと一緒に遣わし、彼を大祭司とし、イスラエルの子らに復讐するよう命じた。
10 そこで彼らは出発し、大いなる力を持ってユダヤの地にやって来て、ユダとその兄弟たちに使者を送り、欺いて平和的な言葉を伝えた。
11 しかし、彼らは自分たちの言葉に耳を貸さなかった。彼らは自分たちが大きな力をもって来たのを見たからだ。
12 そこで、裁判を要求するために、アルキモスとバッキデスのもとに書記たちの一団が集まった。
13 さて、イスラエルの人々の中で最初に平和を求めたのはアシデ人であった。
14 彼らは言った、「アロンの子孫の祭司がこの軍に来て、私たちに何も悪いことをしないだろう。」
15 そこで彼は、平和的に彼らに語りかけて、「わたしたちはあなたにもあなたの友人にも危害を加えない」と誓った。
16 それで彼らは彼の言葉を信じた。しかし、彼が書いた言葉によれば、彼は彼らから三人十人を捕らえ、一日のうちに殺した。
17 あなたの聖徒たちの肉は彼らに追い出され、彼らの血はエルサレムの周りに流され、彼らを葬る者は誰もいなかった。
18 そこで民は皆、彼らに対する恐れと恐怖に襲われ、「彼らには真理も義もない。彼らには真理も義もない。 彼らは自分たちが交わした契約と誓いを破ったからである。
19 この後、バッキデスをエルサレムから連れ去り、ベゼトに天幕を張った。そこで彼は、自分を見捨てた多くの人たちと一部の民を送り込んで捕らえ、彼らを殺した後、彼らを大いなる王国に投げ込んだ。 ピット。
20 それから、バッキデスは国をアルキモスに託し、彼を助ける権限を残したので、王のところへ行った。
21 しかしアルキモは大祭司の座を争った。
22 そして、ユダの地を手中に収めた後、イスラエルに多くの害を及ぼした民を悩ませている者たちをすべて彼に頼った。
23 さて、ユダは、アルキモとその一行がイスラエル人の間で、さらには異教徒の上で行ったあらゆる悪事を見て、
24 彼はユダヤ全土の海岸に出て行って、彼に反逆した者たちに復讐し、彼らが二度とその国に入らないようにした。
25 一方、アルキモは、ユダとその一行が優勢になっているのを見て、彼らの武力に耐えることができないと悟り、再び王のところへ行き、彼らにできる限りのひどいことを言い尽くした。
26 それから王は、イスラエルに致命的な憎しみをむき出しにする名誉ある王子の一人であるニカノルを、民を滅ぼす命令を与えて遣わした。
27 そこでニカノルは大軍勢を率いてエルサレムに来た。そして、ユダとその兄弟たちに、人を欺いて友好的な言葉を与えてこう言った。
28 私とあなたとの間に争いが起こらないように。 安らかにお会いできるように、私は数人の男性と一緒に行きます。
29 それでイエスはユダのところに来られたので、彼らは平和的に挨拶を交わした。 しかし、敵は暴力によってユダを奪おうとしていました。
30 つまり、ユダは、ユダが欺瞞を持って自分のところに来たことを知ってから、ひどく恐れて、もう彼の顔を見ようとしなくなった。
31 ニカノルも、自分の助言が露見したのを見て、カファルサラマの傍らでユダと戦うために出て行った。
32 そこでニカノール側の者約五千人が殺され、残りはダビデの町に逃げた。
33 この後、ニカノルはシオン山に上った。すると、祭司の何人か、民の長老の何人かが聖所から出てきて、平和的に彼に挨拶し、王のためにささげられた全焼のいけにえを見せた。
34 ところが、イエスは彼らをあざけり、嘲笑し、恥ずべきまで罵り、誇らしげにこう言った。
35 そして、激怒してこう誓った、「ユダとその主人たちを今すぐ私の手に渡さない限り、もし私が安全に戻ってきたら、この家を焼き払ってやる。そう言って彼は激しく怒り出て行った。」
36 それから、祭司たちは中に入り、祭壇と神殿の前に立って泣きながら言った。
37 主よ、あなたはこの家をあなたの名で呼ばれ、あなたの民のための祈りと嘆願の家として選ばれました。
38 この男とその軍勢に復讐し、彼らを剣で倒れさせてください。彼らの冒涜を思い出し、これ以上続けないように耐えてください。
39 そこでニカノルはエルサレムを出てベトホロンに天幕を張ったが、そこでシリアから来た軍勢が彼を出迎えた。
40 しかしユダは三千の兵を率いてアダサに陣を張り、そこで祈ってこう言った。
41 主よ、アッシリアの王から遣わされた者たちが冒涜したとき、あなたの御使いは出て行って、彼ら百四十五千人を打ちました。
42 それでも、今日、あなたは私たちの前でこの軍勢を滅ぼしてください。そうすれば、彼があなたの聖所に対して冒涜的なことを言ったことを残りの人々が知り、彼の邪悪さに応じて彼を裁くことができます。
43 そこでアダルの月の十三日、軍勢は戦いに加わった。しかしニカノールの軍勢は狼狽し、まず彼自身が戦いで殺された。
44 さて、ニカノルの軍勢は彼が殺されたのを見て、武器を捨てて逃げた。
45 それから彼らはラッパで警鐘を鳴らしながら、アダサからガゼラまで一日かけて彼らの後を追った。
46 そこで彼らは周囲のユダヤのすべての町から出てきて、そこを囲い込んだ。 そのため、彼らは追ってきた者たちに背を向け、全員剣で殺され、一人も残らなかった。
47 その後、彼らは戦利品と獲物を奪い、ニカノルスの頭と誇らしげに伸ばした右手を打ち落として運び去り、エルサレムに向かって吊るした。
48 このため、民は大いに喜び、その日を大いに喜びの日として過ごした。
49 さらに彼らは、アダルの十三日目としてこの日を毎年守ることを定めた。
50 こうして、ユダの地はしばし安息を得た。

第 8 章

1 さて、ユダはローマ人のことを聞いていた。彼らは力強くて勇敢な人々であり、彼らに加わるすべての人を愛情を込めて受け入れ、彼らに来るすべての人たちと友好同盟を結ぶような人たちだった。
2 そして、彼らは非常に勇敢な人たちでした。 また、彼らがガラテヤ人の間で行った戦争と崇高な行為、そして彼らがどのようにして彼らを征服し、貢納下に置いたかについても彼に語られた。
3 彼らがスペインの国で行ったことは、そこにある銀と金の鉱山を獲得するためでした。
4 そして、彼らは自分たちから非常に遠かったにもかかわらず、彼らの政策と忍耐によってすべての場所を征服した。王たちも地の果てから彼らに向かって来て、ついに彼らを動揺させ、彼らを大転覆させたので、残りの国々は毎年彼らに貢物を与えた。
5 これに加えて、ピリポやキティム人の王ペルセウスが、彼らに対して自分たちを奮い立たせる他の者たちとの戦いでいかに当惑し、彼らに打ち勝ったかについても述べた。
6 アジアの大王アンティオコスも、百二十頭の象、騎兵、戦車、そして非常に大軍を率いて彼らに戦いに臨んだが、いかに彼らに当惑させられたか。
7 そして、彼らはどのように彼を生かして捕らえ、彼と彼の後に君臨する者たちが多大な貢物を納め、人質を差し出すという契約を交わしたのか、そしてその合意内容は、
8 また、インドの国、メディアの国、リディアの国、および最も善良な国々も彼から奪い、エウメネス王に与えた。
9 さらに、ギリシャ人はどのようにしてやって来て彼らを滅ぼそうと決意したのか。
10 そして、彼らは、それを知って、ある大尉を彼らに送り込み、彼らと戦って多くの彼らを殺し、彼らの妻と子供たちを捕虜として連れ去り、彼らを甘やかし、彼らの土地を占領し、彼らの強い勢力を引きずり下ろした。 そして彼らを彼らの召使いとして今日まで連れてきました。
11 さらに、彼らがどのようにして、いつでも彼らに抵抗してきた他のすべての王国や島々を破壊し、彼らの支配下に置いたかも彼に語られた。
12 しかし、彼らは友人などと信頼し、友好を保ち、彼らの名を聞いた者はみな彼らを恐れたほど、遠くも近くも王国を征服した。
13 また、彼らが統治する者たちを王国に助けようとする者もいる。 そして彼らは再び誰を望んでいるか、彼らは彼らを追い出します：最終的に、彼らは非常に高揚しました：
14 しかし、このようなことにもかかわらず、彼らはだれも冠をかぶったり、紫色の服を着たりすることなく、それによって誇張されるようになりました。
15 さらに、彼らは自分たちのために元老院を建て、そこでは毎日三百二十人が評議会に出席し、人民が最後までよく秩序づけられるように常に相談していた。
16 そして、彼らは毎年一人の人に統治を委ね、その人が国全体を統治し、全員がその人に従順であり、彼らの間にはねたみも見做うこともなかった。
17 これらのことを考慮して、ユダはアコスの子ヨハネの子エウポレモスとエレアザルの子イアソンを選び、彼らと友好同盟を結ぶためローマに送った。
18 そして、彼らからくびきを取り去ってくれるように懇願するためである。 彼らは、ギリシャ人の王国が確かにイスラエルを隷属的に抑圧しているのを見たからだ。
19 そこで彼らはローマへ行き、それは大変な旅であったが、元老院に入り、そこで語り合った。
20 ユダ・マカベウスはその同胞たち、そしてユダヤ人の人々とともに、あなたたちと同盟を結び、平和を結ぶため、そして私たちをあなたの同盟者および友人として登録するために、私たちをあなたたちに遣わしました。
21 それで、この件はローマ人を大いに喜ばせた。
22 そしてこれは、元老院が平和と同盟の記念碑を手元に残すために、再び真鍮の表に書き直してエルサレムに送った書簡の写しである。
23 ローマ人とユダヤ人に、海からも陸からも永遠に成功あれ。剣も敵も彼らから遠く離れよ。
24 もし最初にローマ人またはその同盟者に対する戦争が全領土にわたって起こった場合、
25 ユダヤ人は、定めの時に、心を尽くして彼らを助けなければならない。
26 また、ローマ人にとっては良いと思われたように、彼らに戦争を仕掛けてくる者たちに何も与えたり、物資、武器、金銭、船を援助したりしてはならない。 しかし、彼らは何も取らずに契約を守るであろう。
27 また、同様に、戦争が先にユダヤ国民に起こった場合、ローマ人は、定められた時に従って、全力を尽くしてユダヤ人を助けるであろう。
28 ローマ人にとっては良いと思われたように、彼らに敵対する者たちには、物資、武器、金銭、船なども与えられない。 しかし、彼らは偽りなく契約を守るであろう。
29 これらの記事によれば、ローマ人はユダヤ人と契約を結んだ。
30 しかし、今後、一方の当事者または他方の当事者が何かを追加または削除するために会おうと考えた場合、彼らは好きなようにそれを行うことができ、追加または削除するものはすべて承認されるものとする。
31 そして、デメトリオスがユダヤ人に対して行っている悪に触れて、私たちは彼に手紙を書いてこう言った、「なぜあなたは私たちの友人やユダヤ人同盟者にあなたのくびきを重く負わせたのですか。
32 したがって、もし彼らがあなたに対してこれ以上不平を言うなら、私たちは彼らに正義を与え、海でも陸でもあなたと戦います。

第 9 章

1 さらに、デメトリオスは、ニカノールとその軍勢が戦いで殺されたと聞くと、バッキデスとアルキモスを二度目にユダヤの地に送り込み、軍勢の主力を彼らとともに送り込んだ。
2 彼らはガルガラに通じる道を進み、アルベラにあるマサロトの前に天幕を張り、勝利した後、多くの人々を殺した。
3 また、百五十二年第一の月、彼らはエルサレムの前に陣を張った。
4 彼らは二万の歩兵と二千の騎兵を率いてそこから出発し、ベレアへ行った。
5 さて、ユダはエレアサに天幕を張り、三千人の選ばれた者たちを同行させた。
6 あれほど偉大な彼に他の軍の群衆を見た者は、ひどく恐れた。 すると多くの人が陣地から脱出し、そこに住むのはせいぜい 800 人だけだった。
7 そこでユダは、軍勢が滑り落ち、戦いが迫っているのを見て、心はひどく混乱し、非常に心を痛めたので、彼らを集める時間がなかった。
8 それにもかかわらず、彼は残った彼らに言った、「もし私たちが彼らと戦うことができるなら、立ち上がって敵に立ち向かいましょう。」

9 しかし、彼らは彼を締め出して言った、「私たちには決
してできないでしょう。今はむしろ命を救いましょう。そ
して、これから私たちは兄弟たちと一緒に戻って、彼らと
戦います。私たちはほんの少数だからです。」
10 そこでユダは言った、「神よ、私がこんなことをして彼
らから逃げることは禁じてください。私たちの時が来たら、
兄弟たちのために男らしく死にましょう。私たちの名誉を
汚さないようにしましょう。」
11 こうしてバッキデスの軍勢は天幕から出て彼らに立ち向
かい、騎兵は二隊に分かれ、投石兵と射手は軍勢の前を進
み、先頭で行軍した者たちは皆勇敢な者たちであった。
12 バッキデスに関して言えば、彼は右翼にいたので、軍勢
は二つの部分に近づき、ラッパを吹き鳴らした。
13 ユダ側の者たちもラッパを吹き鳴らしたので、地は軍勢
の騒音で震え、戦いは朝から夜まで続いた。
14 さて、ユダはバッキデスとその軍勢が右側にあると知る
と、屈強な男たちをすべて連れて行き、
15 誰が右翼を混乱させ、アゾトゥス山まで追撃した。
16 しかし、左翼の人々は、右翼の人々が動揺しているのを
見て、ユダと彼と一緒にいた者たちを後ろから激しく追い
かけた。
17 そこで激しい戦いが起こり、双方で多くの者が殺された。
18 ユダも殺され、残りの者は逃げた。
19 それからヨナタンとシモンは兄弟ユダを引き取り、モデ
ィンにある先祖の墓に葬った。
20 さらに彼らは彼を嘆き悲しんだので、全イスラエルは彼
のために大いに嘆き悲しみ、こう言って何日も悲しんだ。
21 イスラエルを救い出した勇敢な男が、どうして倒れたの
か。
22 ユダと彼の戦争、そしてユダが行った崇高な行為と彼の
偉大さに関するその他のことについては、書かれていない。
それは非常に多かったからだ。
23 さて、ユダの死後、悪人たちがイスラエルの全海岸で頭
を出し始め、不法行為のような者たちがすべて起きた。
24 そのころ、非常に大きな飢饉があったので、国も反乱を
起こし、これに同調した。
25 そこでバッキデスは悪者たちを選び、彼らを国の領主と
した。
26 そこで彼らはユダの友人を尋ねて探し、バッキデスのと
ころに連れて行ったが、バッキデスは彼らに復讐し、彼ら
を不当に利用した。
27 このように、イスラエルには大きな苦しみがあったが、
そのような苦しみは、預言者がイスラエルの中に現れなく
なって以来、起こったことではなかった。
28 このために、ユダの友人たちは皆集まって、ヨナタンに
言った。
29 あなたの兄弟ユダが死んで以来、私たちの敵、バッキデ
ス、そして私たちに敵対する我が国の彼らに対して、彼の
ような人はいません。
30 そこで私たちは、あなたが私たちの戦いに参加できるよ
う、今日あなたを彼の代わりに私たちの王子兼船長に選び
ました。
31 これを受けて、ヨナタンはそのとき統治を引き継ぎ、弟
のユダに代わって立ち上がった。
32 しかし、バッキデスがそのことを知ると、彼を殺そうと
した。
33 そこで、ヨナタンとその兄弟シモン、および彼と一緒に
いた者たちはみな、これを察知してテコーの荒野に逃げ、
アスファルの池の水のほとりに天幕を張った。
34 それを理解したバッキデスは、安息日に全軍を率いてヨ
ルダンに近づいた。
35 さて、ヨナタンは民の長である弟のヨハネを遣わして、
友人のナバト人に、高額の馬車を残してくれるよう祈らせ
た。
36 しかし、ジャンブリの人々はメダバから出てきて、ヨハ
ネとその持ち物すべてを連れて立ち去った。
37 この後、ヨナタンとその弟シモンに、ジャンブリの子供
たちが素晴らしい結婚をし、その花嫁がチャナンの偉大な
王子の一人の娘であるとして、大きな列車でナダバタから
連れて来ているという知らせが来た。
38 そこで彼らは、兄弟ヨハネのことを思い出して、上って
行き、山の陰に身を隠した。
39 彼らが目を上げて見ていると、見よ、大騒ぎと大きな馬
車があった。すると、花婿とその友人や兄弟たちが出てき
て、太鼓や楽器や多くの武器を持って彼らを出迎えた。
40 それから、ヨナタンと彼と一緒にいた者たちは、彼らが
待ち伏せしていた場所から立ち上がり、彼らを皆殺しにし
たので、多くの人が倒れ、残りの者たちは山に逃げ、全員
を連れて行った。 彼らの戦利品。
41 こうして、結婚は悲しみに変わり、彼らの旋律の騒音は
嘆きに変わった。
42 それで、彼らは兄弟の血の復讐を完全に終えると、再び
ヨルダンの沼地に向かった。
43 さて、バッキデスはこれを聞いて、安息日に大力を持っ
てヨルダンの岸にやって来た。
44 それからヨナタンは仲間に言った、「さあ、上って行っ
て命がけで戦いましょう。昔のように今日も私たちには耐
えられないからです。」
45 見よ、戦いは私たちの前にも後ろにもあり、ヨルダンの
水はこちら側にもあちら側にもあり、同様に沼地にも木に
も、私たちに背を向ける場所はありません。
46 ですから、あなたがたは敵の手から救われるように、今、
天に向かって叫びなさい。
47 こうして彼らは戦いに加わり、ヨナタンはバッキデスを
打とうと手を伸ばしたが、彼は背を向けた。
48 それから、ヨナタンと彼と一緒にいた人々はヨルダンに
飛び込み、対岸まで泳ぎ渡った。しかし、相手はヨルダン
を渡って彼らに渡らなかった。
49 それで、その日、バッキデス側の者約千人が殺された。
50 その後、バッキデスはエルサレムに戻り、ユダヤの堅固
な城を修復した。 エリコの砦、エマオ、ベトホロン、ベテ
ル、タムナタ、ファラトニ、タフォン、これらを高い城壁、
門、かんぬきで強化した。
51 そして彼は彼らの中に守備隊を置いた、それは彼らがイ
スラエルに悪意を及ぼすためである。
52 彼はまた、ベトスラ、ガゼラ、塔の要塞を築き、そこに
兵力を置き、食料を備えた。
53 さらに、彼はその国の長たちの息子たちを人質として取
り、エルサレムの塔に閉じ込めて置いた。
54 さらに、百五十三年第二月に、アルキモスは聖域の内庭
の壁を取り壊すよう命じた。 彼は預言者の著作も取り下げ
た
55 そして、彼が引き下がり始めたとき、そのときでさえ、
アルキモスは悩まされ、彼の企ては妨げられました。 なぜ
なら、彼の口は塞がれ、中風を患い、もはや何も話すこと
も、物事について命令することもできなかったからです。
彼の家。
56 こうしてアルキモスはその時、激しい苦しみのうちに死
んだ。
57 さて、バッキデスはアルキモスが死んだのを見て王のも
とに戻った。そこでユダヤの地は二年間安息を得た。
58 それから、不敬虔な者たちは皆会議を開き、こう言った、
「見よ、ヨナタンとその一行は安心して、何の心配もせず

に住んでいる。だから、今、我々はバッキデスをここに連
れて行き、一晩で全員を連れて行くだろう。」
59 それで彼らは行って彼に相談した。
60 それから彼を連れ去り、大軍勢を引き連れてやって来て、
ユダヤにいる彼の信奉者たちにひそかに手紙を送り、ヨナ
タンと彼と一緒にいた者たちを連れて行くようにと書いた
が、彼らの勧告は彼らに知られていたのでそうすることは
できなかった。
61 そこで彼らは、その悪事を行ったその国の人たち約五十
人を捕らえて殺害した。
62 その後、ヨナタンとシモン、そして彼と一緒にいた人々
は、彼らを荒野にあるベトバシに連れて行き、その朽ちた
ところを修復して丈夫にした。
63 それを知ったバッキデスは全軍を集め、ユダヤの者たち
に知らせを送った。
64 それから彼は行って、ベトバシを包囲した。 そして彼
らは長いシーズンにわたってそれと戦い、戦争の原動力を
作りました。
65 しかし、ヨナタンは弟のシモンを町に残して、自分も田
舎に出て、ある程度の人数を率いて出て行った。
66 そして彼は、オドナルケスとその兄弟たち、およびパシ
ロンの子孫を天幕の中で撃った。
67 そして、彼が彼らを打ち始め、軍勢を率いてやって来る
と、シモンとその一行は町から出て、戦争のエンジンを燃
やした。
68 そしてバッキデスと戦ったが、彼は彼らに当惑し、彼ら
は彼をひどく苦しめた。彼の助言と労苦は無駄だったから
である。
69 そこで彼は、自分に国に来るように勧めた悪人たちに非
常に腹を立て、その多くを殺して自分の国に戻るつもりだ
った。
70 ヨナタンはそのことを知って、最後までヨナタンと和解
し、捕虜を救出するために使者を送った。
71 彼はそれを受け入れ、要求に従って行い、生涯を通じて
決して彼に危害を加えないと誓った。
72 それで、彼は以前にユダヤの地から連れ出した捕虜を自
分に返還すると、戻ってきて自分の土地へ向かい、もはや
国境には行かなかった。
73 こうして剣はイスラエルから消えた。しかしヨナタンは
マクマスに住み、民を治め始めた。 そして彼はイスラエル
から不敬虔な人々を滅ぼしました。

第 10 章

1 百六十年目に、エピファネスという姓のアンティオコス
の息子アレクサンダーが上ってプトレマイスを占領した。
民は彼を受け入れ、それによって彼がそこで統治したから
である。
2 さて、デメトリオス王はそれを聞くと、非常に大軍勢を
集めて、戦うために彼に対して出陣した。
3 さらにデメトリオスはヨナタンに愛のこもった手紙を送
り、ヨナタンを讃えました。
4 彼は、「彼がアレクサンダーと手を組んで私たちに敵対
する前に、まず彼と和解しようではないか」と言った。
5 そうしないと、彼は私たちが彼に対して、また彼の兄弟
たちに対して、そして彼の民に対して行ったすべての悪を
思い出すでしょう。
6 そこで彼は、戦いを助けるために軍勢を集め、武器を提
供する権限を彼に与え、塔にいた人質を救出するようにも
命じた。
7 それからヨナタンはエルサレムに来て、民全員と塔にい
た人々の聴衆の前で次のような手紙を読み上げた。
8 人々は、王が彼に軍勢を集める権限を与えたと聞いて、
非常に恐れた。
9 そこで塔の者たちは人質をヨナタンに引き渡し、ヨナタ
ンは人質を彼らの両親に引き渡した。
10 こうしてヨナタンはエルサレムに定住し、その町の建設
と修復を始めた。
11 そして彼は職人たちに城壁とシオン山の周りに四角い石
を使って城塞を築くように命じた。 そして彼らはそうしま
した。
12 そこで、バッキデスが築いた要塞にいた異邦人たちは逃
げ去った。
13 すべての人が自分の場所を離れ、自分の国に入ったよう
に。
14 ベツスラだけは、律法と戒めを捨てた人々のうちの何人
かがじっとしていました。そこが彼らの避難場所だったか
らです。
15 さて、アレクサンドロス王がデメトリオスがヨナタンに
送った約束を聞いたとき、また、彼とその同胞たちが行っ
た戦いと崇高な行い、そして彼らが耐えてきた苦痛につい
て知らされたとき、
16 彼は 言った、「そのような人をほかに探してみません
か。」 したがって、今私たちは彼を友人にして同盟者にし
ます。
17 そこで彼は、次のように書いた手紙を書いて彼に送った。
18 アレクサンダー王は弟ヨナタンに次の挨拶を送った。
19 私たちはあなたのことを聞いています。あなたは偉大な
力のある人であり、私たちの友人になるために会ったとの
ことです。
20 そこで今日、私たちはあなたに、あなたの国の大祭司と
なり、王の友と呼ばれるように命じます。 （そしてそれと
ともに、彼は紫色のローブと金の冠を彼に送りました：）
そしてあなたに私たちの役割を果たし、私たちとの友情を
保つように要求します。
21 そこで、百六十年目の七月、幕屋の祭りのとき、ヨナタ
ンは聖なる法衣を着て、兵力を集め、多くの武具を備えた。
22 それを聞いたデメトリオスは非常に残念に思い、こう言
った。
23 アレクサンドロスが私たちが自分を強めるためにユダヤ
人と友好関係を結ぶのを妨げたとは、私たちが何をしたと
いうのでしょうか。
24 わたしもまた、彼らに励ましの言葉を書き、彼らの助け
が得られるように、尊厳と贈り物を約束します。
25 それで、彼は彼らに次の趣旨のことを遣わした。デメト
リオス王はユダヤ人の人々に挨拶を送った。
26 あなたがたが私たちと聖約を守り、敵に加担することな
く友情を保ってきたのを、私たちは聞いて喜んでいます。
27 ですから、あなたがたは今も私たちに忠実であり続けて
ください。あなたがたが私たちのためにしてくださったこ
とに対して、私たちは十分に報いてあげます。
28 そしてあなたたちに多くの免責を与え、あなたたちに報
酬を与えるだろう。
29 そして今、私はあなたを解放します。あなたのために、
ユダヤ人全員を貢物、塩の習慣、国税から解放します。
30 そして、私がその三分の一、すなわち種、そして木の実
の半分として受け取ろうとしているもののうち、私は今日
からそれを手放します。そうすれば、それらはユダヤの地
から奪われず、また、 サマリアとガリラヤの国からそこに
加えられた三つの政府は、今日から永遠に続く。
31 エルサレムもまた、その境界線とともに、十分の一と貢
ぎ物から聖なる自由とされよう。

32 そして、エルサレムにある塔については、わたしはその
塔に対する権威を放棄し、大祭司にそれを守る者を選んで
建ててもらうように大祭司に委ねる。
33 さらに、わたしはユダヤの地からわたしの王国のどこに
でも捕虜として連れて行かれたユダヤ人を一人残らず自由
にさせ、わたしの役人たち全員に家畜さえも貢物として納
めるようにしたい。
34 さらに、わたしは、すべての祝日、安息日、新月、厳粛
な日、および祭日の前の三日間と祭後の三日間が、わたし
の領土内のすべてのユダヤ人に免責と自由を与えることを
望みます。
35 また、いかなる人も、いかなる事柄についても、彼らに
干渉したり、虐待したりする権限を有してはならない。
36 わたしはさらに、王の軍隊に約三万人のユダヤ人を登録
させ、王の全軍隊に属するものとして、彼らに給料を与え
ることを希望する。
37 そして、彼らのうちの何人かは王の要塞に置かれ、また
そのうちの何人かは王国の政務を任され、それが信頼され
るであろう。そして私は彼らの監督と総督が独立し、彼ら
がその後に生きることを望む。 たとえユダヤの地で王が命
じたように、彼ら自身の法律でも。
38 また、サマリアの国からユダヤに加えられた三つの政府
については、ユダヤと合併し、一つの政府の下にあるとみ
なし、大祭司以外の権威に従う義務を負わないようにしな
さい。
39 プトレマイスとそれに関連する土地については、私はそ
れをエルサレムの聖所に、聖所の必要経費として無償で贈
与する。
40 さらに、私は毎年、王の会計の中から、関連する場所か
ら銀一万五千シェケルを贈ります。
41 そして、役人たちが以前のように納めなかった余剰金は、
今後すべて神殿の工事に充てられることになる。
42 また、これに加えて、神殿の使用料から毎年帳簿から取
り出した銀五千シェケルも、奉仕する祭司のものであるた
め、これらのものさえも公開されることになる。
43 そして、エルサレムの神殿に逃げた者、あるいは王に恩
義を感じてここの自由の範囲内にいた者、あるいはその他
の事柄のために、彼らを自由にし、彼らがわたしの領地に
持っているすべてのものを自由にさせてください。
44 聖所の建築と工事の修理も、王の会計から支出される。
45 そうです、エルサレムの城壁の建設とその周囲の強化に
は、ユダヤの城壁の建設と同様に、王の会計から費用が与
えられます。
46 さて、ヨナタンと民は、これらの言葉を聞いたとき、そ
の言葉を信用せず、受け入れもしませんでした。 というの
は、彼は彼らを非常に痛めつけていたからである。
47 しかし、アレクサンドロスは彼らとの真の平和を懇願し
た最初の人であり、彼らは常に彼と同盟関係にあったので、
彼らは非常に満足していた。
48 それからアレクサンドロス王の大軍勢を集めて、デメト
リオスに対して陣を張った。
49 そして二人の王が戦いに加わった後、デメトリオスの軍
勢は逃走した。しかしアレクサンドロスは後を追って彼ら
に勝利した。
50 そして彼は日が沈むまで激しい戦いを続けた。そしてそ
の日、デメトリオスは殺された。
51 その後、アレクサンダーはエジプトのプトレマイオス王
に使者を送り、次のようなメッセージを伝えた。
52 私が再び私の領域に来て、私の先祖の王座に就き、統治
権を獲得し、ディメトリアスを打倒し、私たちの国を回復
したのと同じように。
53 というのは、私が彼と戦いに加わった後、彼も彼の軍勢
も私たちに不快感を覚えたので、私たちは彼の王国の王座
に座っているのです。
54 そこで、さあ、一緒に友好同盟を結び、あなたの娘を私
に妻として与えましょう。そして私はあなたの義理の息子
となり、あなたの尊厳に応じてあなたと彼女の両方を与え
ます。
55 そこでプトレマイオス王は答えて言った、「あなたが先
祖たちの国に戻り、彼らの王国の王座に座れる日が幸いで
すように」。
56 そして今、あなたが書いたように、私はあなたにそうし
ます。だから、プトレマイスで私に会ってください、お互
いに会えるように。 あなたの望み通りに、私は娘をあなた
と結婚させますから。
57 そこでプトレマイオスは娘クレオパトラとともにエジプ
トを出て、百三十分二年にプトレマイオスのところに来た。
58 アレクサンドロス王が彼に出会ったとき、彼は王の作法
として、娘のクレオパトラを彼に与え、プトレマイスでの
彼女の結婚を盛大に祝いました。
59 さて、アレクサンダー王はヨナタンに、来て会いに来る
ようにとの手紙を書いた。
60 それで、彼は名誉あるプトレマイスに行き、そこで二人
の王に会い、彼らとその友人たちに銀と金、そして多くの
贈り物を与え、彼らの目に好意を寄せた。
61 その時、イスラエルの疫病に罹った者たち、邪悪な生活
を送っていた者たちが集まって、彼を告発しようとしたが、
王は彼らの言うことを聞き入れなかった。
62 それどころか、王は衣服を脱いで紫の服を着るように命
じたので、彼らはそのとおりにしました。
63 そこで彼は彼を一人で座らせて、君たちに言った、「彼
と一緒に町の真ん中へ行って、どんな事でも彼に対して文
句を言う者はいない、どんな理由であれ彼を困らせる者は
いないと宣言しなさい」。
64 さて、彼を告発した者たちは、彼が宣言どおりに栄誉を
受け、紫色の服を着ているのを見て、一斉に逃げた。
65 それで王は彼を尊敬し、主要な友人の中に彼を書き記し、
彼を公爵とし、その統治権に加わった。
66 その後、ヨナタンは平和と喜びとともにエルサレムに戻
りました。
67 さらに、 百三十年と五年目に、デメトリウスの息子デ
メトリウスがクレタ島から父祖たちの地にやって来ました。
68 その話を聞いたアレクサンダー王は、誠に残念に思い、
アンティオキアに戻った。
69 そこでデメトリオスはケロスリヤ総督アポロニウスを将
軍に任命し、大軍勢を集めてヤムニアに陣を張り、大祭司
ヨナタンのところに遣わしてこう言った。
70 あなただけが私たちに向かって立ち上がると、私はあな
たのせいで嘲笑され、非難されます。そしてなぜあなたは
山の中で私たちに対してあなたの力を誇示しますか?
71 それで、今、あなたが自分の力を信頼するなら、私たち
のところに平野に降りてきて、そこで一緒に問題を試して
みましょう。なぜなら、私には都市の力があるからです。
72 わたしが何者であるか、そしてわたしたちに加わってい
る残りの者たちを尋ねなさい。そうすれば彼らは、あなた
の足は自分たちの土地で逃げることができないとあなたに
言うでしょう。
73 それゆえ、今、あなたは、石も火打ち石も逃げ場もない
平原で、騎兵とこれほど大きな勢力に耐えることはできな
いであろう。
74 そこでヨナタンは、アポロニウスのこの言葉を聞いて心
を動かされ、一万人を選んでエルサレムを出て、そこで兄
のシモンが彼を助けてくれるというので迎えに来た。

75 そして彼はヨッパに向かって天幕を張った。 ヨッパの
人々は、アポロニウスがそこに守備隊を置いていたので、
彼を市から締め出しました。
76 それからヨナタンはそれを包囲した。すると町の人々は
恐れを抱いて彼を中に入れた。こうしてヨナタンはヨッパ
を獲得した。
77 アポロニウスはそれを聞くと、三千の騎兵と大多数の歩
兵を率いて、旅の一人としてアゾトスに行き、それによっ
て彼を平原に連れて行った。 なぜなら、彼には多くの騎手
がいて、彼らに信頼を置いていたからである。
78 それからヨナタンはアゾトスまで後を追って行き、そこ
で軍隊は戦闘に加わった。
79 さて、アポロニウスは千人の騎兵を待ち伏せに残した。
80 そしてヨナタンは、自分の後ろに待ち伏せがあることに
気づいた。 彼らは朝から晩まで彼の軍勢を取り囲み、民に
向かって矢を投げていたからである。
81 しかし民はヨナタンが命じたとおりに立ち尽くしたので、
敵の馬は疲れていた。
82 それからシモンをその軍勢を連れて来て、歩兵たちに向
けさせた。
83 騎兵たちも野原に散り散りになり、アゾトスへ逃げ、安
全を求めて彼らの偶像の神殿であるベトダゴンに入った。
84 しかしヨナタンはアゾトスとその周囲の町々に火を放ち、
その戦利品を奪った。 そしてダゴンの神殿を、そこに逃げ
込んだ者たちとともに、火で焼き払った。
85 このようにして、八千人近くの者が火に焼かれ、剣で殺
された。
86 そこでヨナタンはそこから軍勢を引き離し、アスカロン
に対して陣を敷いたが、そこに町の人たちが出てきて、非
常に威風堂々と彼を迎えた。
87 この後、ヨナタンとその軍勢は戦利品を持ってエルサレ
ムに戻った。
88 さて、アレクサンダー王はこれらのことを聞いて、ヨナ
タンをさらに尊敬しました。
89 そして、王の血を引く者に与えられる金のバックルを彼
に送った。彼はまた、その境界線が所有していたアカロン
も彼に与えた。

第 11 章

1 そこでエジプトの王は、海岸に横たわる砂のような大軍
勢と多くの船を集め、欺瞞によってアレクサンドロスの王
国を手に入れ、それを自分の王国に加えようと歩き回った。
2 そこで彼は平和的な態度でスペインへの旅を始めたので、
諸都市の人々が彼に心を開き、彼に会った。というのは、
アレクサンドロス王が義理の兄弟だったから、そうするよ
うに彼らに命じたからである。
3 さてプトレマイオスは諸都市に入ると、それを守るため
に各都市に守備隊を置いた。
4 そして彼がアゾトスに近づくと、彼らは焼かれたダゴン
の神殿、破壊されたアゾトスとその郊外、外に投げ捨てら
れた遺体と戦いで焼かれたそれらを彼に見せた。 というの
は、彼らは彼が通るべき道の脇にそれらを山盛りにしてい
たからだ。
5 また彼らは、ヨナタンが何をしたか、彼を非難するつも
りで王に話しました。しかし、王は黙っていました。
6 それから、ヨナタンはヨッパで盛大な態度で王に会い、
そこで互いに敬礼して宿泊した。
7 その後、ヨナタンは王と一緒にエレウテルスという川へ
行った後、再びエルサレムに戻った。
8 そこでプトレマイオス王は、海岸のセレウキアに至る海
沿いの都市の支配権を手に入れた後、アレクサンドロスに
対する邪悪な助言を想像した。
9 そこで彼はデメトリオス王に使者を送り、こう言った、
「さあ、我々の間で同盟を結びましょう。そうすればアレ
クサンドロスの持つ私の娘をあなたに与えます。そうすれ
ばあなたはあなたの父の王国を統治するでしょう。」
10 私は、彼が私を殺そうとしたので、娘を彼に渡したこと
を悔い改めました。
11 彼は自分の王国を望んでいたので、このように彼を中傷
した。
12 そこで、彼は娘を奪い、デメトリオスに与え、アレクサ
ンダーを見捨てたので、彼らの憎しみは公然と知られるこ
とになった。
13 それからプトレマイオスはアンティオキアに入り、そこ
でアジアの王冠とエジプトの王冠という二つの王冠を頭に
かぶせた。
14 その中間の季節に、アレクサンダー王はキリキアにいま
した。その地域に住んでいた人々が彼に反乱を起こしたか
らです。
15 しかし、アレクサンドロスはこれを聞くと、彼と戦おう
とした。すると、プトレマイオス王は軍勢を引き連れ、強
大な力で彼を迎え撃ち、彼を敗走させた。
16 そこでアレクサンドロスは、守るためにアラビアに逃げ
た。しかしプトレマイオス王は高揚しました。
17 ザブディエルのために、アラビア人はアレクサンドロス
の首をはぎ取り、それをプトレマイオスに送った。
18 プトレマイオス王もその三日目に亡くなり、砦にいた者
たちは次々と殺された。
19 これにより、デメトリオスは百三十七年目に統治しまし
た。
20 同時に、ヨナタンはエルサレムにある塔を奪うためにユ
ダヤにいる者たちを集め、それに対して多くの戦争の原動
力を作った。
21 そのとき、自分の民を憎む不敬虔な者たちがやって来て、
王のところに行き、ヨナタンが塔を包囲していると告げた。
22 それを聞いて彼は怒り、すぐに立ち去り、プトレマイス
に来て、塔を包囲するのではなく、大急ぎでプトレマイス
に来て話し合うようにとヨナタンに手紙を書いた。
23 それにもかかわらず、ヨナタンはこれを聞くと、さらに
包囲するよう命じ、イスラエルの長老たちと祭司の中から
何人かを選び、自らを危険にさらした。
24 そして、銀、金、衣服、その他の贈り物を持って、プト
レマイオスの王のところに行ったところ、王は好意を得た。
25 そして、民の中のある不敬虔な人々が彼に対して不平を
言ったが、
26 しかし王は、前任者たちがしたように彼を懇願し、友人
全員の前で彼を昇進させた。
27 そして彼を大祭司の地位と、それまでに受けていたあら
ゆる栄誉において堅く認め、主要な友人たちの間で彼に卓
越した地位を与えた。
28 そこでヨナタンは、サマリアの国と同様に、ユダヤを貢
納から解放してほしいと王に願った。 そして彼は彼に三百
タラントンを約束した。
29 それで王は同意し、次のようなことをすべてヨナタンに
手紙で書きました。
30 デメトリオス王は弟ヨナタンとユダヤ国民に挨拶を送り
ます。
31 私たちは、あなたがたに見てもらうために、いとこのラ
ステネスにあなたについて書いた手紙のコピーをここに送
ります。
32 デメトリオス王は父ラステネスに次の挨拶を送ります。

33 私たちは、彼らの私たちに対する好意のゆえに、私たちの友人であるユダヤ人たちに善を行い、私たちと契約を守る決意をしています。
34 そこでわれらは、エルサレムでいけにえを捧げる者のために、サマリアの国からユダヤに加えられたアフェレマ、リダ、ラマテムの三つの政府を含むユダヤの国境と、それに付随するすべてのものを彼らに批准した。 それまで王が毎年、大地と木の果実から彼らから受け取っていた支払いの代わりに。
35 また、私たちに属する他のもの、つまり私たちに関係する十分の一税や習慣、また私たちに支払われている塩田や国税についても、私たちは救済のためにそれらをすべて免除します。
36 そして、本契約のいかなるものも、今後永久に取り消されることはない。
37 そこで、あなたはこれらの物の写しを作り、それをヨナタンに渡し、聖なる山の目立つ場所に置くようにしてください。
38 この後、デメトリオス王は、目の前に土地が静まり、自分に対して何の抵抗も行われていないのを見て、自分が集めた一部のよそ者の集団を除いて、全軍を自分の場所に追いやった。 異教徒の島々：そのため、彼の先祖の勢力はすべて彼を憎んだ。
39 さらに、かつてアレクサンダーの部下だったトリフォンが一人いたが、彼は全軍勢がデメトリオスに対してつぶやいているのを見て、アレクサンダーの幼い息子アンティオコスを育てたアラビア人シマルクエのところへ行った。
40 そして、彼が父親に代わって君臨できるように、この若いアンティオコスを彼に引き渡してくれるように彼に頼みました。 そこで彼は、デメトリオスがしたことすべてと、彼の軍人たちがどのように彼と敵対していたかを彼に話しました、そして彼は長い間そこに留まりました季節。
41 その間に、ヨナタンはデメトリオス王に人を遣わして、塔の者たちと要塞の者たちをエルサレムから追い出すよう命じた。彼らはイスラエルと戦ったからである。
42 そこでディメトリオスはヨナタンに人を遣わして、「私はあなたとあなたの民のためにこれを行うだけでなく、機会があればあなたとあなたの国民に大いに敬意を表します」と言わせた。
43 それで、もしあなたが私を助けるために私に人を送ってくれたら、あなたはうまくいくでしょう。 私のすべての力が私から消え去ったからです。
44 これを受けて、ヨナタンは三千の屈強な兵をアンティオキアに送った。彼らが王のところに来たとき、王は彼らの到着を非常に喜んだ。
45 ところが、町の者たちは、十万二千人になって町の真ん中に集まり、王を殺そうとした。
46 そこで王は宮廷に逃げ込んだが、町の人々は町の通りを守り、戦いを始めた。
47 そこで王がユダヤ人たちに助けを求めたところ、ユダヤ人たちは一斉に王のもとにやって来て、市内に散り散りになり、その日、市内で十万人が殺された。
48 また彼らは町に火を放ち、その日多くの戦利品を集めて王を救出した。
49 それで、町の人々は、ユダヤ人たちが思い通りに町を手に入れたのを見て、勇気を失い、王に嘆願し、叫んで言った。
50 私たちに平和をお与えください。そしてユダヤ人が私たちと町を攻撃するのをやめさせてください。
51 そこで彼らは武器を捨てて和解した。 そしてユダヤ人は王とその領土内のすべての人々の目に名誉を与えられた。そして彼らは多くの戦利品を持ってエルサレムに戻った。
52 そこでデメトリオス王は王国の玉座に座り、国は彼の前に静まり返りました。
53 それにもかかわらず、彼は話すことすべてに反感を持ち、ヨナタンから距離を置き、彼から受けた恩恵に応じて彼に報いることもせず、むしろ彼を非常に悩ませました。
54 この後、トリフォンが戻ってきて、幼い子供アンティオコスも一緒に統治し、王位に就いた。
55 それから、デメトリオスが追い払ったすべての軍人が彼のところに集まり、彼らはデメトリオスと戦ったが、デメトリオスは背を向けて逃げた。
56 さらにトリフォンは象を率いてアンティオキアに勝利した。
57 そのとき、若いアンティオコスはヨナタンに手紙を書いて、「私はあなたを大祭司職に認め、あなたを四政府の統治者に任命し、王の友人の一人に任命します」と書いた。
58 そこで、彼は彼に金の器を送り、その中で仕えるようにし、金で飲み物を飲み、紫の服を着て、金のバックルを着用する許可を与えた。
59 彼の兄弟シモンもまた、テュロスの梯子と呼ばれる場所からエジプトの国境までの船長に任命された。
60 それからヨナタンは出て行って、水の向こうの町々を通り抜けた。すると、シリアの全軍勢がヨナタンを助けるために彼のところに集まった。そしてヨナタンがアスカロンに来たとき、町の人々は敬意をもって彼を出迎えた。
61 彼はそこからガザに行ったが、ガザの人々は彼を締め出した。 そこで彼はそこを包囲し、その郊外を火で焼き、彼らを台無しにした。
62 その後、ガザの人々がヨナタンに嘆願すると、彼は彼らと和解し、彼らの首長の息子たちを人質としてエルサレムに送り、その地方を通ってダマスコまで行った。
63 さて、ヨナタンは、デメトリオスの王子たちが、彼を国から追放しようと大きな力を持って、ガリラヤのカデスに来ていると聞いたとき、
64 彼は彼らを迎えに行き、弟シモンを田舎に残した。
65 それからシモンはベツスラに対して陣を張り、長い間戦い、そしてそれを黙らせた。
66 しかし彼らは彼との和平を望み、彼はそれを許し、彼らをそこから追い出し、町を占領し、そこに守備隊を置いた。
67 ヨナタンとその軍勢はゲネサルの水辺に投球し、そこから朝になると時々そこからナソルの平原まで連れて行った。
68 すると、見よ、大勢の異邦人たちが平地で彼らに出会ったが、彼らは山で彼を待ち伏せして兵を置き、自らやって来て彼に向かって来た。
69 それで、待ち伏せしていた者たちがその場から立ち上がって戦いに加わったとき、ヨナタン側にいた者はみな逃げた。
70 彼らのうち、軍勢の長であるアブサロムの子マッタティアとカルファイの子ユダのほかには、一人も残っていなかった。
71 そこでヨナタンは衣服を裂き、頭に土をかぶって祈った。
72 その後、彼は再び戦いに転じ、彼らを逃走させたので、彼らは逃げた。
73 さて、逃げていた彼の部下たちはこれを見て、再びイエスの方を向き、彼とともにカデスまで追いかけ、自分たちの天幕まで行き、そこで野営した。
74 それで、その日、異教徒のうち約三千人が殺されたが、ヨナタンはエルサレムに戻った。

第 12 章

1 さて、ヨナタンは時が自分に与えられたと見て、ある人たちを選び、彼らとの友情を確認し、更新するために彼らをローマに送りました。
2 彼は同じ目的でラケデモン人や他の場所にも手紙を送りました。
3 そこで彼らはローマに行き、元老院に入り、こう言った、「大祭司ヨナタンとユダヤ人の人々が私たちをあなたがたのところに遣わしたのです。あなたがたは最後まで彼らと結んだ友情を新たにし、同盟を結ぶべきです」。、昔と同じように。
4 これを受けて、ローマ人は各地の総督に、彼らをユダヤの地に平和的に連れて行くようにとの手紙を渡した。
5 これはヨナタンがラケデモン人に宛てて書いた手紙の写しです。
6 大祭司ヨナタン、国民の長老たち、祭司たち、その他のユダヤ人たちは、同胞であるラケデモン人に挨拶を送ります。
7 過去に、ここに書かれているコピーに明記されているように、あなたたちが私たちの兄弟であることを示すために、当時あなたがたの間で君臨していたダリウスから大祭司オニアスに宛てた手紙が送られていました。
8 その時、オニアスは名誉ある大使の派遣を懇願し、リーグと友好について宣言された手紙を受け取った。
9 したがって、私たちも、これらのものはどれも必要ありませんが、私たちを慰めるために聖書の本を手に持っています。
10 それにもかかわらず、兄弟愛と友情を新たにするためにあなたがたのところに遣わそうとしましたが、それは、私たちがあなたがたにとって全くの見知らぬ人にならないようにするためです。あなたが私たちに遣わされてから長い時間が経過しているからです。
11 ですから、私たちは、祭りのときも、その他の都合のよい日にも、いつも絶え間なく、ささげる犠牲と祈りの中で、また兄弟たちのことを思いながら、いつもあなたのことを思い出します。
12 そして私たちはあなたの名誉を心から嬉しく思います。
13 私たち自身について言えば、周囲の王たちが私たちに対して戦ったため、あらゆる方面で大きな困難と戦争に見舞われてきました。
14 しかし、私たちはこれらの戦争であなたや他の同盟者や友人たちに迷惑をかけるつもりはありません。
15 なぜなら、私たちには天からの助けがあり、敵から救われ、敵は踏みにじられるのです。
16 この目的のために、我々はアンティオコスの子ヌメニウスとイアソンの子アンティパトロスを選び、彼らをローマ人に送って、ローマ人との友好関係と以前の同盟関係を更新させた。
17 わたしたちはまた、あなたがたのところに行って、挨拶をし、兄弟の絆を新たにすることに関する手紙をあなたに届けるよう、彼らに命じました。
18 ですから、あなたがたは今、それに対して私たちに答えてくださると幸いです。
19 これはオニアレスが送った手紙のコピーです。
20 ラケデモン人の王アレウスは大祭司オニアスにこう挨拶している。
21 ラケデモン人とユダヤ人は兄弟であり、アブラハムの一族であることが文書で明らかになっている。
22 ですから、このことは私たちの知るところとなったのですから、あなたがたは、ぜひ私たちにあなたの繁栄について手紙を書いてください。
23 私たちは再びあなたに手紙を書きますが、あなたの家畜と物品は私たちのものであり、私たちのものはあなたのものです。したがって私たちは大使たちに、このことについて賢明にあなたに報告するよう命じます。
24 さて、ヨナタンは、デメビウスの君たちがこれまで以上に大軍勢を率いて彼と戦うためにやって来たと聞いたとき、
25 彼はエルサレムを離れ、アマティスの地で彼らに出会った。彼らに自分の国に入る猶予を与えなかったからである。
26 また彼らの天幕に斥候を送ったところ、彼らは再びやって来て、夜になると彼らを襲うよう命じられていると告げた。
27 そこで、ヨナタンは日が沈むとすぐに、一晩中戦いの準備ができるように部下たちに監視し、武装するように命じた。また、百分兵を軍勢の周りに送り出した。
28 しかし敵対者たちは、ヨナタンとその部下たちが戦いの準備ができていると聞くと、恐れ、心の中で震え、陣営に火を焚いた。
29 しかし、ヨナタンと彼の仲間は朝になるまでそのことに気づきませんでした。彼らは明かりが燃えているのを見たからです。
30 そこでヨナタンは彼らの後を追ったが、追いつけなかった。彼らはエレウテルス川を越えて行ってしまったからである。
31 そこでヨナタンは、ザバデ人と呼ばれるアラビア人たちに向かって彼らを撃ち、戦利品を奪った。
32 それから彼はそこからダマスコに来て、国中を巡回した。
33 シモンも出て行って、田舎を通ってアスカロンとそこに隣接する船倉まで行き、そこからヨッパの方へ向きを変えて、それを勝ち取った。
34 というのは、デメトリオスの分を奪った者たちに彼らが取り押さえを渡すと彼は聞いていたからである。 そこで彼はそれを守るためにそこに守備隊を置いた。
35 その後、ヨナタンは再び家に帰り、民の長老たちを集めて、ユダヤに要塞を築くことについて相談した。
36 そして、エルサレムの城壁を高くし、塔と町の間に大きな山を築き、町から隔てて、エルサレムだけを孤立させ、人々がそこで売り買いできないようにした。
37 そこで彼らは力を合わせて町を建設したが、東側の小川に面した城壁の一部が崩れ落ちたため、カフェナタと呼ばれる城壁を修復した。
38 シモンはまたセフェラにアディダを築き、門と鉄格子を設けて堅固なものとした。
39 さて、トリフォンはアジア王国を手に入れ、王アンティオコスを殺して自らの頭に王冠をかぶせようとした。
40 しかし、彼はヨナタンが自分を苦しめるのではなく、彼と戦うのではないかと心配していました。 そこで彼はジョナサンを連れて行き、彼を殺す方法を探しました。 そこで彼は立ち去り、ベツサンにやって来ました。
41 それから、ヨナタンは戦いのために選ばれた四万の兵とともに彼を迎えに出て、ベトサンに来た。
42 さて、トリフォンはヨナタンが非常に大軍勢でやって来たのを見て、彼に対して手を伸ばそうとはしなかった。
43 しかし、彼は敬意をもって迎えられ、友人たち全員に彼を褒め、贈り物を与え、兵士たちにも自分と同じように彼に従うように命じた。
44 彼はヨナタンにも言った、「私たちの間に戦争などないのに、なぜあなたはこの民全員をこれほど大きな困難に陥れたのですか。」
45 それゆえ、今すぐ彼らを再び家に送り、あなたを待つために数人を選んで、私と一緒にプトレマイスに来てください。私はあなたと残りの強力な砦と軍隊、そして何らかの責任を持つすべてのものをあなたに与えます。 私に関して

言えば、私は戻って出発します。これが私の来た理由だからです。
46 それでヨナタンは彼を信じて、彼の命令どおりにし、ユダヤの地に行った彼の軍勢を追い返した。
47 そして彼は三千人だけを自分のもとに残し、そのうち二千人をガリラヤに送り、千人が同行した。
48 さて、ヨナタンがプトレマイオスに入るとすぐに、プトレマイオスの人々は門を閉めて彼を捕らえ、彼と一緒に来た者たちを皆剣で殺した。
49 それからトリフォンは歩兵と騎兵の大軍をガリラヤと大平原に送り込み、ヨナタンの中隊をすべて滅ぼした。
50 しかし、ヨナタンと彼と一緒にいた人々が捕らえられて殺されたのを知ると、彼らは互いに励まし合った。 そして、戦う準備をして、お互いに近づきました。
51 そこで、後を追ってきた者たちは、自分たちの命のために戦う用意ができていると悟って、再び引き返した。
52 そこで彼らは皆、平和的にユダヤの地にやって来たが、そこでヨナタンと彼と一緒にいた者たちを嘆き、ひどく恐れた。 そこで全イスラエルは大いに嘆いた。
53 それから、周囲にいた異教徒たちは皆、彼らを滅ぼそうとした。彼らは、「彼らには指揮官もいないし、助けてくれる人もいない。だから、今こそ彼らに戦争を仕掛けて、人々の間から彼らの記念碑を奪い去ろう」と言った。

第 13 章

1 さて、シモンは、トリフォンが大軍勢を集めてユダヤの地に侵入し、ユダヤの地を滅ぼそうとしたことを聞いて、
2 そして、民が非常に震え、恐れているのを見て、イエスはエルサレムに上って行き、民を集めて言った。
3 そして彼らに勧めて言った。「わたしとわたしの兄弟たちとわたしの父の家が、律法と聖所のために、またわたしたちが見た戦いや困難のために、どれほど大きなことをしたか、あなたたち自身が知っているでしょう。」
4 そのため、私の兄弟たちはみなイスラエルのために殺され、私は一人取り残されました。
5 ですから、今は、私がどんな困難な時にも自分の命を救うことはできません。私は兄弟たちよりも優れているわけではないからです。
6 間違いなく、私は私の国、聖域、私たちの妻、そして私たちの子供たちに復讐するでしょう。すべての異教徒が非常に悪意を持って私たちを滅ぼすために集まっているからです。
7 さて、人々はこれらの言葉を聞くとすぐに、彼らの霊が生き返った。
8 すると彼らは大声で答えて言った、「ユダやあなたの兄弟ヨナタンに代わって、あなたが私たちの指導者になるでしょう。」
9 あなたは私たちと戦ってください。あなたが私たちに命じられることは何でも、私たちはそのとおりにします。
10 それで彼はすべての軍人を集めて、急いでエルサレムの城壁を完成させ、周囲に要塞を築いた。
11 また、アブソロムの子ヨナタンと大いなる力をヨッパのもとに遣わした。ヨッパはそこに残っていた者たちを追い出した。
12 こうしてトリフォンはユダヤの地に侵入する強大な力を持ってプトレマイオスから追い出され、ヨナタンも彼とともに病棟にいた。
13 しかしシモンはアディダの平野に天幕を張った。
14 さて、トリフォンは、シモンが兄ヨナタンの代わりに立ち上がって、彼と戦いに加わるつもりであることを知り、彼のもとに使者を送ってこう言った。
15 あなたの弟ヨナタンを私たちが預かっていますが、彼は、自分に託された仕事に関して、王の財宝に対して借りがあるのです。
16 そこで、今、銀百タラントと彼の息子二人を人質として送ってください。彼が自由になったときに私たちから反乱を起こさないように、そして私たちは彼を釈放します。
17 そこでシモンは、彼らが自分に欺瞞的なことを言っているのに気づきながらも、万一自分が民衆に対して大きな憎しみを抱くことのないように、お金と子供たちを送った。
18 「私が金も子供たちも送らなかったから、ヨナタンは死んだのだ」と誰が言ったでしょうか。
19 それで彼は子供たちと百タラントを彼らに送りました。トリフォンはどんなに不機嫌であったにもかかわらず、ヨナタンを手放そうとはしませんでした。
20 この後、トリフォンがその地に侵入し、それを破壊するためにやって来て、アドラに通じる道をぐるりと回った。しかし、シモンとその軍勢は、彼が行くところどこでも、彼に対して進軍した。
21 さて、塔にいた人々はトリフォンに使者を送り、彼が荒野を通って彼らのところに急いで来て、彼らに食料を送るようにとの目的であった。
22 それで、トリフォンはその夜、騎兵全員が来るように準備した。しかし、非常に大雪が降ったので、トリフォンは来なかった。 それで彼は出発し、ガラアドの国に入った。
23 そしてバスカマに近づいたとき、彼はそこに埋葬されていたヨナタンを殺した。
24 その後、トリフォンは戻ってきて、自分の土地に入った。
25 そこでシモンを遣わし、弟ヨナタンの骨を引き取って、先祖の町モディンに葬った。
26 そこで全イスラエルは彼のために大いに嘆き、何日も彼を嘆いた。
27 シモンはまた、父とその兄弟たちの墓の上に記念碑を建て、後ろと前に切り石を置いて、見えるところまで高く掲げた。
28 さらに彼は、父親と母親と四人の兄弟のために、七つのピラミッドを上下に建てました。
29 そして、これらの中で、彼は狡猾な装置を作り、その周りに大きな柱を立て、その柱の上に永遠の記憶のためにすべての鎧を作り、鎧の船によって彫刻され、海を航行するすべての人から見えるようになりました。。
30 これは彼がモディンに作った墓であり、今日まで残っています。
31 さて、トリフォンは若い王アンティオコスを欺き、彼を殺した。
32 そして彼は、彼に代わって統治し、アジアの王として戴冠し、この地に大きな災いをもたらした。
33 そこでシモンはユダヤに要塞を築き、高い塔、大きな城壁、門、かんぬきで周囲を囲い、その中に食料を積み込んだ。
34 さらにシモンは人を選び、デメトリオス王に遣わして、トリフォンのしたことはすべて台無しにするだけなので、最後までその土地に免除を与えるよう命じた。
35 デメトリオス王はこれに答えて、次のように書き送った。
36 デメトリオス王は、大祭司であり王の友人であるシモンに、またユダヤ人の長老たちや国民にも、次のような挨拶を送っている。
37 あなたが私たちに送ってくださった金の冠と緋色のローブを、私たちは受け取りました。そうです、私たちはあなたと堅固な和平を結び、私たちが与えた免除を確認するために私たちの役人に手紙を書く準備ができています。
38 そして、私たちがあなたと結んだどんな契約も有効です。そしてあなたが築いた堅固な砦はあなた自身のものとなる。

39 今日までに犯したいかなる見落としや過失についても、わたしたちはそれを赦し、あなたがたがわたしたちに負っている王冠税も赦します。エルサレムで他に貢物が支払われていたなら、それはもう支払われません。
40 そして、あなたがたのうち誰が私たちの法廷に集まるのか見てください。その場合は登録して、私たちの間に平和をもたらしましょう。
41 このようにして、異邦人のくびきは第百七十年にイスラエルから取り去られた。
42 そこでイスラエルの人々は、文書と契約書に、「ユダヤ人の総督であり指導者である大祭司シモンの初年に」と書き始めた。
43 そのころ、シモンはガザに対して陣を張り、周囲を包囲した。 彼は戦争のエンジンも作り、それを街のそばに設置し、ある塔を破壊してそれを奪いました。
44 それで、機関車に乗っていた者たちは町に飛び込んだ。すると街では大騒ぎが起きた。
45 町の人々が衣服を引き裂き、妻子とともに城壁によじ登り、大声で叫び、シモンに平和を懇願したのと同じくらいである。
46 そこで彼らは言った、「私たちの悪に従ってではなく、あなたの憐れみに従って私たちを扱ってください。」
47 それでシモンは彼らに対してなだめられ、もはや彼らに敵対することはなく、彼らを町から追い出し、偶像のあった家々を清めて、歌と感謝を捧げながら町に入った。
48 そうです、彼はそこからすべての汚れを取り除き、律法を守る人々をそこに配置し、それを以前よりも強くし、そこに自分の住まいを建てました。
49 エルサレムの塔の者たちも、非常に窮屈にされていたので、外に出ることも、田舎に行くことも、買うことも、売ることもできず、そのために、物資が不足して非常に苦しみ、その多くが亡くなった。飢餓を通じて。
50 それから彼らはシモンに叫び、自分たちと一つになってほしいと懇願した。 そして、それらをそこから追い出すと、彼は塔を汚染から浄化しました。
51 そして、第百七十一年の第二の月の三と二十日、感謝の祈りと、ヤシの木の枝と、ハープと、シンバルと、ヴィオールと、賛美歌と、歌を歌いながら、そこに入った。 イスラエルから大きな敵を滅ぼしました。
52 彼はまた、その日が毎年喜んで守られるようにと定めた。さらに、塔のそばにあった神殿の丘を彼は以前よりも強くし、そこに彼は仲間とともに住んだ。
53 シモンは、息子ヨハネが勇敢な男であるのを見て、彼を全軍の長に任命した。そして彼はガゼラに住んだ。

第 14 章

1 百三十六年目、ディメトリアス王は軍隊を結集し、トリフォンと戦うための援助を得るためにメディアに向かった。
2 しかし、ペルシャとメディアの王アルサケスは、デメトリオスが自国の国境に入ったことを聞くと、王子の一人を送り、彼を生け捕りにした。
3 だれが行ってデメトリオスの軍勢を打ち倒し、彼を捕らえてアルサケスに連れて行き、アルサケスによって看守に入れられた。
4 ユダヤの地は、シモンの時代はずっと静かでした。 なぜなら、彼は国民の利益を非常に賢明に追求し、その権威と名誉が国民をますます喜ばせたからである。
5 そして、彼はそのすべての行為において名誉あるものであったように、このことにおいても、ヨッパを安息の地として取り、海の島々への入り口を作った。
6 そして国の境界を広げ、国を回復した。
7 そして、おびただしい数の捕虜を集め、ガゼラとベツスラと塔を支配し、そこから彼はすべての汚れを取り除いたが、彼に抵抗する者はいなかった。
8 それから、彼らは平和に自分たちの土地を耕した、そして、土は彼女に成長を与え、野の木々に実を与えた。
9 古代の人たちはみな通りに座って楽しいことを語り合い、若者たちは輝かしい好戦的な服装をしていました。
10 彼は都市に食料を提供し、あらゆる種類の軍需品をそこに設置したので、彼の名誉ある名は世の終わりまで知られるようになった。
11 彼は国に平和をもたらしたので、イスラエルは大いに喜んだ。
12 というのは、人はみな、自分のぶどうの木といちじくの木の下に座っていたが、それらをほぐす者はいなかったからである。
13 この国には彼らと戦う者も残されていなかった。そうです、当時、王たち自身が打倒されたのです。
14 さらに、彼は自分の民の中で卑下された者たちをすべて強めた。 そして法を犯した者や邪悪な者はみな彼に連れ去られた。
15 彼は聖所を美化し、神殿の器物を増やした。
16 さて、ヨナタンが死んだという知らせがローマに伝わり、そしてスパルタにまで届いて、彼らは非常に残念に思った。
17 ところが彼らは、彼の弟シモンが彼の代わりに大祭司となり、国とその中の都市を治めていると聞くとすぐに、
18 彼らは、ユダやヨナタンと築いた兄弟たちとの友情と同盟を新たにするために、真鍮の表に次のような手紙を書いた。
19 エルサレムの会衆の前で読まれた文書は次のとおりです。
20 これはラケデモン人たちが送った手紙の写しである。ラケデモン人の支配者たちは、都市とともに、大祭司シモン、長老たち、祭司たち、そして私たちの同胞であるユダヤ人の残りの者たちに、次のような挨拶を送ります。
21 わたしたちの民に遣わされた使者たちは、わたしたちにあなたの栄光と名誉を証明してくれました。ですから、わたしたちは彼らの到着をうれしく思いました。
22 そして彼らが民会議で話したことをこのようにして記録した。 ユダヤ人の大使であるアンティオコスの息子ヌメニウスとヤソンの息子アンティパトロスが、私たちとの友情を新たにするために私たちのところにやって来ました。
23 そして民は、人々を名誉あるもてなすこと、そしてラケデモン人の人々がその記念碑を持つことができるように、彼らの使節の写しを公の記録に載せることを喜んだ。さらに我々はその写しを大祭司シモンに書き送った。。
24 この後、シモンは、同盟関係を確認するために、重さ千ポンドの金の大盾を持ってヌメニウスをローマに送った。
25 民はこれを聞いて言った、「シモンとその息子たちに何の感謝を捧げようか」。
26 というのは、彼とその兄弟たち、そして彼の父の家はイスラエルを建国し、戦いの敵を彼らから追い払い、彼らの自由を確認したからである。
27 それで彼らはそれを真鍮の板に書き、それをシオン山の柱の上に据えた。これがその文字の写しである。 大祭司シモンの三年目、百十三十二年目のエルルの月の十八日、
28 サラメルにある、祭司たち、民、国の統治者たち、国の長老たちの大会衆において、これらのことはわたしたちに告げられた。
29 この国では度々戦争があり、その聖所と律法を維持するために、ヤリブの子孫であるマッタティアの子シモンは、同胞たちとともに自らを危険にさらし、敵に抵抗した。 彼らの国民は彼らの国に大きな名誉を与えました。

30 （というのは、その後ヨナタンは国民を集めて大祭司となり、その民に加えられたからである。
31 彼らの敵は、彼らの国を破壊し、聖所を手に入れるために、侵略の準備をしました。
32 そのとき、シモンは立ち上がり、国のために戦い、私財の多くを費やし、国の勇敢な男たちに武器を与え、賃金を与えた。
33 そして、以前は敵の武具があったユダヤの国境にあるベツスラとともに、ユダヤの町々を要塞化した。 しかし彼はそこにユダヤ人の守備隊を置いた。
34 さらに彼は、海の向こうにあるヨッパと、以前敵が住んでいたアゾトスに隣接するガゼラを要塞化した。しかし彼はユダヤ人をそこに置き、賠償に便利なあらゆる物を彼らに与えた。）
35 そこで民はシモンの行為を歌い、彼は国にどれほどの栄光をもたらすと考え、彼を総督また祭司長にした。彼がこれらすべてのことを行ったからだ、そして彼が国民に守った正義と信仰のためである。 そしてそのために彼はあらゆる手段を使って国民を高めようとした。
36 というのは、彼の時代に物事は彼の手で繁栄したので、異教徒たちは国から連れ出され、エルサレムのダビデの町にいた異教徒たちもまた塔を作り、そこから出して汚染したからである。 聖域のことはすべて、聖地では多くの害を及ぼしました。
37 しかし、彼はそこにユダヤ人を入れた。 そして国と都市の安全のためにそれを強化し、エルサレムの城壁を築き上げた。
38 デメトリオス王もこれらの事柄に従って彼を大祭司職に認めた。
39 そして彼を友人の一人とし、大いに敬意を表した。
40 というのは、ローマ人がユダヤ人を友人、同盟者、兄弟と呼んでいるという話を彼は聞いていたからである。 そして彼らはシモンの大使たちを名誉あるもてなしをしたことも。
41 また、ユダヤ人や祭司たちは、忠実な預言者が現れるまで、シモンが永遠に彼らの総督および大祭司となることを大いに喜んでいた。
42 さらに、彼は彼らの船長となり、聖所を管理し、彼らの仕事、国、武具、要塞を監督すべきである、と私は言います。 聖域;
43 これに加えて、彼はすべての人に従うべきであり、国中のすべての文書は彼の名によって作成され、紫色の服を着て金を身に着けるべきです。
44 また、民も司祭もこれらのことを破ったり、彼の言葉を否定したり、彼のいない国で集会を集めたり、紫色の服を着たり、バックルを締めたりすることは合法であってはならない。 金;
45 そして、そうでないことをしたり、これらのことのいずれかを破った者は、罰せられるべきです。
46 こうして民はみな、シモンに対処し、言われたとおりに行動することを好んだ。
47 そこでシモンはこれを受け入れ、大祭司となり、ユダヤ人と祭司たちの長となり総督となり、彼ら全員を守ることを喜んだ。
48 そこで彼らは、この文字を真鍮の台に貼り、聖所のコンパス内の目立つ場所に設置するように命じた。
49 また、シモンとその息子たちがそれを手にできるように、その写しを宝庫に保管すること。

第 15 章

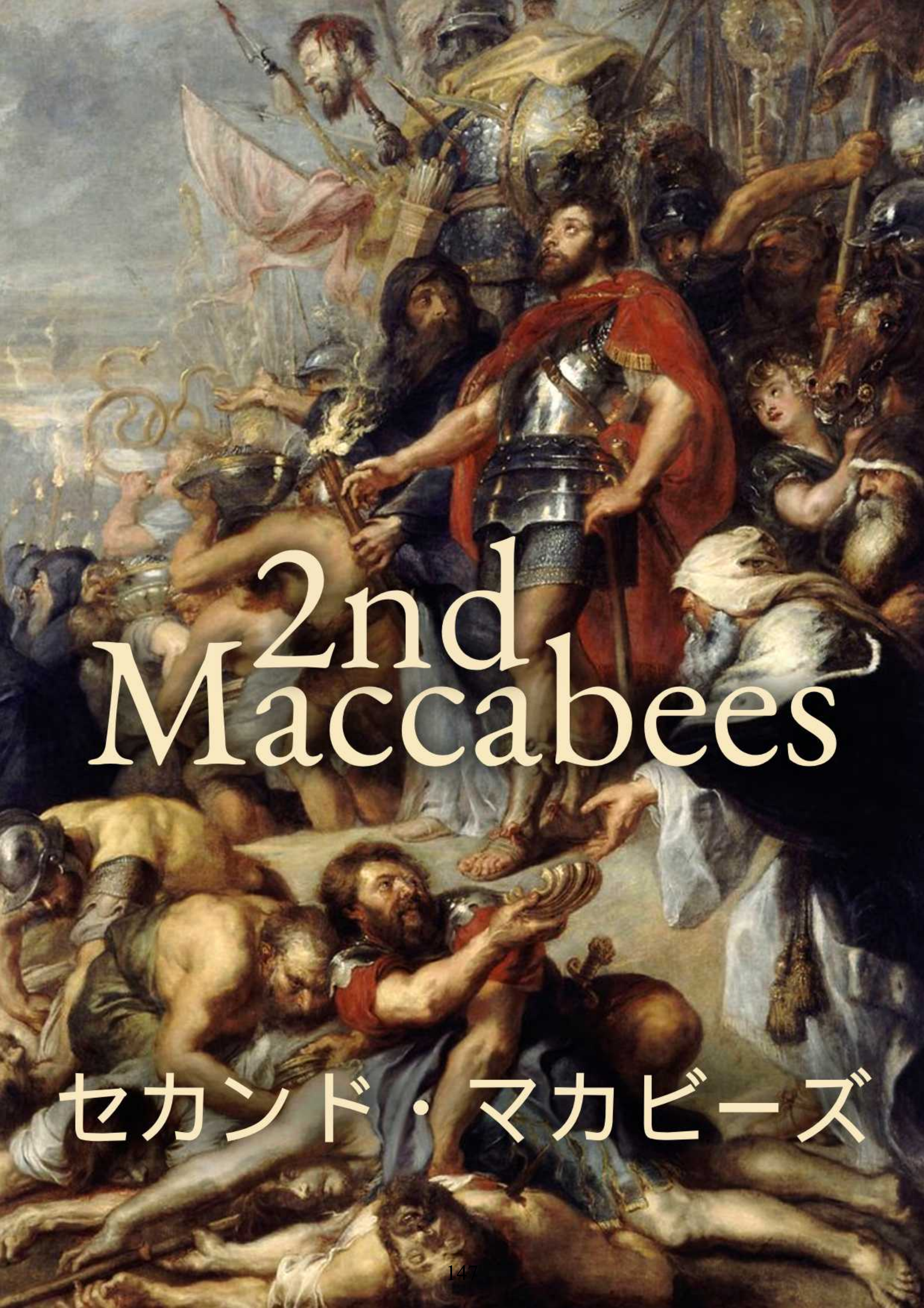
1 さらに、王デメトリオスの子アンティオコスは、海の島々からユダヤ人の王子で祭司であるシモンとすべての民に手紙を送りました。
2 その内容は次のようなものであった。アンティオコス王は、国の大祭司であり君主であるシモンとユダヤ人の人々に、こう挨拶した。
3 ある種の疫病人たちが私たちの先祖の王国を簒奪したのと同じように、私の目的は再びそれに挑戦し、王国を古い領地に戻すことであり、そのために多数の外国兵を集め、船を準備した。 戦争;
4 私の意味は、この国を破壊し、王国の多くの都市を荒廃させた者たちに復讐するために、この国を旅することでもあります。
5 したがって、私は今、私の前の王たちがあなたに与えたすべての奉納と、彼らが与えた以外のあらゆる贈り物をあなたに確認します。
6 私はあなたに、あなた自身の切手であなたの国のためにお金を硬貨にする許可を与えます。
7 エルサレムと聖所については、彼らを自由にしなさい。 そして、あなたが作ったすべての鎧と、あなたが建ててあなたの手に保管しているすべての要塞は、あなたのものとして残しておきます。
8 そして、もし王のせいで何かあるなら、あるいはこれからもそうなるであろうなら、これからは永遠に赦してもらいましょう。
9 さらに、私たちが王国を手に入れたとき、私たちはあなたとあなたの国民とあなたの神殿を大きな栄誉をもって讃え、あなたの名誉が全世界に知られるようにします。
10 百三十四年に、アンティオコスは先祖の地に行った。その時、全軍が彼のもとに集結したので、トリフォンに残る者はほとんどいなかった。
11 それで、アンティオコス王に追われ、彼は海辺にあるドーラのところに逃げた。
12 というのは、彼は、災難が一度に自分に降りかかり、軍隊が自分を見捨てたのを見たからだ。
13 それからアンティオコスは十二万の兵と八千の騎兵を率いてドラに対して陣を張った。
14 そして、彼が町をぐるりと見回り、海側の町の近くで船に加わったとき、彼は陸からも海からも町を悩ませ、出入りすることもできなかった。
15 中間の季節に、ヌメニウスとその一行が王や国々に宛てた手紙を持ってローマからやって来た。 そこには次のことが書かれていました。
16プトレマイオス王のローマ執政官ルシウス、挨拶:
17 私たちの友人であり同盟者であるユダヤ人の大使たちが、大祭司シモンとユダヤ人の民から遣わされて、古い友情と同盟を再開するために私たちのところに来ました。
18 そして彼らは千ポンドの金の盾を持ってきた。
19 そこでわれらは、王たちや諸国民に、彼らに危害を加えてはならない、彼らや彼らの都市や国と戦ってはいけない、また彼らに対する敵を助けてはならないとの手紙を書いた方がよいと考えた。
20 彼らの盾を受け取ることは、私たちにとっても良いことのように思えました。
21 それで、もし疫病に罹った同胞が自分たちの国からあなたのもとに逃げてきたなら、大祭司シモンに引き渡してください。そうすれば、シモンは彼らの律法に従って彼らを罰することができます。
22 彼は、デメトリオス王、アッタロス、アリアラテス、アルサケスにも同じことを書き送った。

23 また、すべての国々、サンプサメス、ラケデモン人、デルス、ミンドゥス、シキュオン、カリア、サモス、パンフィリア、リュキア、ハリカルナッソス、ロドス、アラドス、コス、シデへ。、アラドゥス、ゴルティナ、クニドス、キプロス、キレネ。
24 そして彼らはその写しを大祭司シモンに書き送った。
25 それで、王アンティオコスは二日目、ドーラに対して陣を張り、継続的に攻撃し、エンジンをかけてトリフォンを黙らせ、出たり入ったりできないようにした。
26 その時、シモンは彼を助けるために選ばれた二千人を彼に遣わした。銀も金も、そして多くの鎧もあった。
27 それにもかかわらず、彼はそれを受け入れようとせず、以前に自分と結んだすべての契約を破ったので、彼にとって奇妙なものになりました。
28 さらに彼は、友人の一人であるアテノビウスを彼に遣わして、「あなたがたはヨッパとガゼラを差し控えなさい。私の王国の都市であるエルサレムにある塔と一緒に。
29 あなたがたはその国境を無駄にし、その地に大きな損害を与え、私の王国内の多くの場所の支配権を手に入れました。
30 そこで、あなたがたが占領した都市と、ユダヤの国境を越えてあなたがたが支配権を得た場所の貢物を引き渡しなさい。
31 さもなければ、彼らのために銀五百タラントを私にください。 そして、あなたがたに与えた危害と都市への貢物として、他の 500 タラントンを支払ってください。そうでない場合は、私たちが来てあなたと戦います。
32 それで、王の友人アテノビウスがエルサレムに来た。そして、シモンの栄光と、金と銀の皿の戸棚と、彼の大勢の出席を見て驚いて、王のお告げを彼に告げた。
33 それからシモンは答えて言った、「わたしたちは他人の土地を奪ったことも、他人に属するものを所有したこともありません。ただ、ある時期、敵が不法に所有していた先祖の相続地です。」
34 したがって、私たちは機会があるので、先祖からの相続財産を保持しています。
35 そして、あなたがヨッパとガゼラを要求するのに対し、彼らは我が国の人々に多大な害を及ぼしたにもかかわらず、私たちはあなたに百タラントンを与えます。 ここでアテノビウスは一言も答えなかった。
36 しかし、激怒して王のところに戻り、これらの演説とシモンの栄光と彼が見たすべてのことについて報告したため、王は非常に憤慨した。
37 その間にトリフォンは船でオルソシアスに逃げた。
38 そこで王は、ケンデベウスを海岸の指揮官とし、多数の歩兵と騎兵を与えた。
39 そして彼に、その軍勢をユダヤに向かって撤退させるよう命じた。 また彼はセドロンを築き、門を強化し、人々と戦うよう命じた。しかし王自身はトリフォンを追跡した。
40 それで、ケンデベウスはヤムニアに来て、民を扇動してユダヤに侵入し、民を捕虜にして殺害し始めた。
41 そして、セドルを築いたとき、彼はそこに騎兵と大勢の歩兵を置き、王が命じたとおりユダヤの道に進軍させようとした。

第 16 章

1 それからヨハネがガゼラからやって来て、父親シモンにケンデベウスのしたことを話した。
2 それで、シモンは二人の長男、ユダとヨハネを呼んで、彼らに言った、「私と私の兄弟たち、そして私の父の家は、若い頃から今日に至るまで、イスラエルの敵と戦ってきました。私はイスラエルの敵と戦ってきました。」 そして私たちの手で物事はうまくいき、何度もイスラエルを救出してきました。
3 しかし、今、私は年をとりました、そして神の憐れみにより、あなたがたは十分な年齢に達しました。あなたがたは私と私の兄弟の代わりに行って、私たちの国のために戦いなさい、そして天からの助けがあなたとともにありますように。
4 それで彼は国から二万人の騎兵を選び出し、彼らはケンデベウスに対して出陣し、その夜モディンで休んだ。
5 そして、彼らが朝起きて、平地に入ったとき、見よ、歩兵と騎兵の両方からなる強力な大軍勢が彼らに向かって来た。しかし、彼らの間には小川があった。
6 そこで彼とその民は彼らに向かって身を投げた。そして、民が小川を渡ろうとするのを恐れているのを見て、彼はまず自分自身が渡って行き、それから彼を見ていた人々が彼の後を通り過ぎた。
7 それが終わって、彼は兵を分け、騎兵を歩兵の真ん中に置いた。敵の騎兵は非常に多かったからである。
8 それから彼らに聖なるラッパを吹き鳴らした。すると、ケンデベウスとその軍勢は逃走し、その多くが殺され、残った者たちが彼らを要塞に集めた。
9 その時、ユダ・ヨハネの兄弟は負傷していた。 しかしヨハネは依然として彼らを追って、センデベウスが建てたセドロンに到着した。
10 それで彼らはアゾトスの野原にある塔まで逃げた。 そこで彼はそれを火で焼き、その結果、約二千人が殺された。その後、彼は平和のうちにユダヤの地に戻りました。
11 さらに、エリコの平原にはアブブスの子プトレマイオスが隊長に任命され、豊富な銀と金を持っていた。
12 彼は大祭司の婿だったからである。
13 それで、彼は心が高揚して、この国を自分のものにしようと考え、その結果、シモンとその息子たちに対して、彼らを滅ぼすために欺瞞をもって相談した。
14 さて、シモンは国内の諸都市を訪れ、それらの秩序を整えようとしていた。 そのとき彼は、百三十七年目、サバトと呼ばれる第十一の月に、息子のマッタティアとユダとともにエリコに降り立った。
15 アブバスの息子が、自分が建てたドクスと呼ばれる小さな船倉に彼らをだまして迎え入れ、盛大な宴会とした。にもかかわらず、彼はそこに人を隠していた。
16 そこで、シモンとその息子たちが大いに酒を飲んだとき、プトレマイオスとその部下たちは立ち上がり、武器を取り、宴会の場にいたシモンに襲いかかり、彼とその二人の息子、そして何人かの召使たちを殺した。
17 彼はその行為において大いなる裏切りを犯し、善をもって悪を報いました。
18 それから、プトレマイオスはこれらのことを書いて王に送り、彼を助けるために軍勢を送ってください、そして国と都市を彼に引き渡してくださいと言いました。
19 彼はヨハネを殺すために他の者たちをガゼラにも遣わした。また護民官たちにも、銀や金や褒美を与えるために自分のもとに来るよう手紙を送った。
20 彼はまた他の者たちを遣わして、エルサレムと神殿の山を占領させた。
21 さて、ある人がガゼラまで走って行き、自分の父と兄弟たちが殺された、そしてプトレマイオスがあなたをも殺すために遣わしたとヨハネに告げた。
22 彼はこれを聞いて非常に驚いたので、自分を滅ぼそうと来た者たちに手をかけて殺し、彼は彼らを殺した。 彼らが彼を追い出そうとしていることを彼は知っていたからである。

23 ヨハネの残りの行為、彼の戦争、彼が行った価値のある
行為、および彼が作った城壁の建設と彼の行為に関しては、
24 見よ、これらのことは、彼が父の後を継いで大祭司とな
った時からの、彼の祭司職の年代記に書かれている。



2nd Maccabees

セカンド・マカビーズ

第 1 章

1 エルサレムとユダヤの地にいる兄弟たち、ユダヤ人の皆さん、エジプト全土にいるユダヤ人の兄弟たち、健康と平和を祈ります。
2 神はあなたに慈しみ深く、その忠実な僕たちであるアブラハム、イサク、ヤコブと結んだ契約を思い出してください。
3 そして、あなたがたは皆、良い勇気と意欲的な心をもって神に仕え、神のご意志を行うよう心を捧げてください。
4 そして、神の律法と戒めに従って心を開き、あなたがたに平和を送りなさい。
5 そして、あなたの祈りを聞いて、あなたと一つになって、苦難のときに決してあなたを見捨てないでください。
6 そして今、私たちはここであなたのために祈っています。
7 デメトリオスが治世していた百三十九年、私たちユダヤ人は、ヤソンとその一行が聖地と聖王国から反乱を起こした当時、私たちに降りかかった困難の極みの中で、あなたたちに次のような手紙を書きました。
8 そしてポーチを焼き、罪のない血を流しました。それから私たちは主に祈りました、そして聞き入れられました。 私たちはまた、いけにえと上等の小麦粉を捧げ、ともしびに火を灯し、パンを並べました。
9 そして今、あなたがたはカスレウの月に幕屋の祭りを守ることに気をつけなさい。
10 百四十八年に、エルサレムとユダヤにいた人々、議会、そしてユダは、油そそがれた祭司の系統であったプトレマイオス王の主人であるアリストブロスに挨拶と健康を送りました。 エジプトにいたユダヤ人たち：
11 神は私たちを大きな危険から救い出してくださったので、私たちは王と戦ったときのように神に深く感謝します。
12 神は聖都の中で戦った者たちを追い出されたからである。
13 というのは、指導者がペルシアに来たとき、そして彼とともに無敵に見えた軍隊が、ナネアの祭司たちの欺瞞によってナネアの神殿で殺されたからである。
14 アンティオコスは、あたかも彼女と結婚するかのように、持参金の名目で金を受け取るために、一緒にいた友人たちとその場に入ってきたからである。
15 ナネアの祭司たちが出発し、彼が小隊とともに神殿の羅針盤に入ったとき、アンティオコスが入ってくるとすぐに神殿を閉めた。
16 そして、屋上の勝手口を開けて、彼らは落雷のように石を投げ、船長を打ち倒し、切り刻んで首を切り落とし、外にいる者たちに投げつけた。
17 不敬虔な者たちを救い出してくださった、私たちの神がすべてのことにおいて祝福されますように。
18 したがって、私たちは今、カスレウの月の五日と二十日に神殿の清めを守ることを目的としていますが、幕屋と聖体の祝日として、あなたがたもそれを守るために、それをあなたがたに証明する必要があると考えました。ニーミヤスが犠牲を捧げたときに私たちに与えられた火で、その後彼は神殿と祭壇を建てました。
19 というのは、私たちの先祖たちがペルシャに導かれたとき、当時敬虔だった祭司たちは、祭壇の火をひそかに取り、水のない穴の空洞にそれを隠し、そこに確実に保管していたので、その場所が誰にも分からないようにしていたのです。 すべての男性。
20 さて、長い年月が経ち、神が御心に適ったとき、ネミヤスはペルシャ王から遣わされて、それを隠していた祭司たちの子孫を火の中に送り込んだが、彼らが私たちに言ったところ、彼らは火はなく、濃い水があったと言いました。；
21 そこでイエスは、それを汲み上げて持ってくるように彼らに命じた。 そして、いけにえが置かれると、ニーミヤスは祭司たちに、薪とその上に置かれた物に水を振りかけるように命じました。
22 これが行われ、それまで雲に隠れていた太陽が輝く時が来たとき、大きな火が燃え上がり、誰もが驚いた。
23 そして祭司たちは、いけにえが焼き尽くされる間、祈りをささげた、と私は言う、祭司二人と残りの者全員、ネミヤがしたように、ヨナタンが始め、残りの者がそれに答えた。
24 そして祈りはこのようになった。 おお主よ、主なる神よ、万物の創造主よ、恐れ深く、強く、正しく、慈悲深く、唯一にして慈悲深い王であられます。
25 すべてのものを与えてくださる唯一の御方、唯一の正義で全能で永遠の御方、あなたはイスラエルをあらゆる苦難から救い出し、先祖たちを選び、彼らを聖化してくださいました。
26 あなたの民イスラエル全体のためにいけにえを受け取り、あなたの分を守り、それを聖別しなさい。
27 私たちから離れ離れになった者たちを集め、異教徒の間で仕えている者たちを救い出し、軽蔑され忌み嫌われている者たちを見つめ、あなたが私たちの神であることを異教徒に知らせてください。
28 私たちを抑圧する者たちを懲らしめ、誇りを持って私たちに悪影響を及ぼす者たちを懲らしめてください。
29 モーセが言ったように、あなたの民を再びあなたの聖所に植えなさい。
30 そこで祭司たちは感謝の詩篇を歌った。
31 さて、いけにえが食べられると、ネミヤスは残った水を大きな石の上に注ぐように命じた。
32 このことが行われると、火が燃え上がりました。しかし、それは祭壇から輝く光によって消えてしまいました。
33 それで、このことが知られると、ペルシアの王に、連れ去られた祭司たちが火を隠した場所に水が現れ、ネミヤスがその水でいけにえを清めたことが伝えられた。
34 そこで王は、この問題を審理した後、その場所を囲い、そこを聖なる場所とした。
35 そこで王は多くの贈り物を受け取り、自分が満足させようとする者たちにそれを与えた。
36 ネミヤスはこれをナフタルと呼びましたが、これはいわば清いものです。しかし、多くの人はそれをニーファイと呼んでいます。

第 2 章

1 預言者エレミが、運ばれてきた彼らに、次のような意味で火を消すように命じたことも記録に残っています。
2 また、預言者は彼らに律法を与えた後、主の戒めを忘れないように、そして銀や金の像やその装飾品を見たときに誤った考えをしてはならないと彼らに命じたことでしょう。

3 そして、他のそのような演説とともに、律法が彼らの心から離れてはならないと彼らに勧めた。
4 同じ書簡には、預言者が神からの警告を受けて、山に入るときに幕屋と箱舟も一緒に行くように命じ、モーセがそこに登り、神の遺産を見た、という内容も含まれていました。
5 そこでエレミがそこに来ると、空洞のある洞窟を見つけ、そこに幕屋と箱と香の祭壇を置き、戸を閉めた。
6 そこで、イエスに従った者の中には、道標をしに来た者もいたが、道を見つけることができなかった。
7 エレミはこれに気づいて、彼らを責めて言った、「あの場所については、神が再びご自分の民を集め、彼らを慈悲に迎えられる時まで分からないであろう。」
8 そのとき、主はこれらのことを彼らに示されるであろう。そうすれば、モーセの下で示されたように、またソロモンがその場所が名誉ある神聖化されることを望んだときのように、主の栄光と雲も現れるであろう。
9 また、彼は賢明なので、献身と神殿の完成の犠牲をささげたとも宣言された。
10 そして、モーセが主に祈ったときと同じように、火が天から降ってきて、いけにえを焼き尽くしました。ソロモンも同じように祈ったので、火が天から降ってきて、全焼のいけにえを焼き尽くしました。
11 そこでモーセは言った、「罪のためのいけにえは食べてはいけないので、食べてしまいました。」
12 それでソロモンはその八日間を守りました。
13 ニーミアスの著作や注釈でも同じことが報告されています。 そして、聖なる賜物に関する王たち、預言者、ダビデの行為、そして王たちの書簡を集めた図書館をどのように設立したかについても語った。
14 同じように、ユダも戦争で失われたものをすべて集めて、私たちの手元に残っています。
15 ですから、必要があるなら、人を遣わして取りに来てください。
16 それで、私たちは清めを祝おうとしていますが、あなたがたに手紙を書きました。
17 私たちはまた、ご自分の民をすべて救い出し、彼らに相続地と王国と祭司職と聖所を与えてくださった神が、
18 律法で約束されたとおり、間もなく私たちを憐れんで、天の下のあらゆる地から私たちを聖所に集めてくださいます。神は私たちを大きな苦難から救い出し、その場所を清めてくださったからです。
19 さて、ユダ･マカベウスとその兄弟たち、そして大神殿の清めと祭壇の奉献については、
20 アンティオコス･エピファネスとその息子エウパトルに対する戦争、
21 また、ユダヤ教の名誉のために男らしい振る舞いをした者たちに、天からの明白なしるしが降った。その結果、彼らは少数に過ぎなかったが、国全体を征服し、野蛮な群衆を追い払った。
22 そして、世界中で有名な神殿を再び取り戻し、都市を解放し、制定されつつある法律を支持した。主は彼らにあらゆる恩恵を与えてくださった。
23 これらすべてのことは、キレネのヤソンによって五冊の本で宣言されているので、私たちは一冊に要約すると言います。
24 物語の語り口を調べたいという欲求が無限にあることと、その事柄の多様性を考えると、その困難を考慮して、
25 わたしたちは、本を読む人が喜びを得られるように、記憶に留めようと願う人が楽になるように、そしてそれが手に入るすべての人が利益を得られるように、注意を払ってきました。
26 したがって、この要約という苦痛を伴う労働を引き受けた私たちにとって、それは容易なことではなく、汗を流して見守るだけの問題でした。
27 宴会の準備をしたり、他人の利益を求めたりするのは、容易なことではありません。しかし、私たちは、多くの人を喜ばせるため、この大変な苦労を喜んで引き受けます。
28 あらゆる細部の正確な取り扱いは著者に任せ、要約の規則に従うよう努めます。
29 なぜなら、新しい家の棟梁は建物全体の世話をしなければならないからです。 しかし、それを飾り、それを描くことを引き受ける者は、その装飾にふさわしいものを探さなければなりません。それでも、それは私たちにもあると私は思います。
30 あらゆる点に立ち、物事を全般的に検討し、細部にまで好奇心を抱くのは、この物語の最初の作者に属します。
31 しかし、要約を作成する者には、簡潔さを保ち、多大な労力を費やすことを避けることが許される。
32 それでは、ここから物語を始めます。これまで述べてきたことに、長いプロローグを作って物語そのものを短くするのは愚かなことである、ということだけ付け加えておきます。

第 3 章

1 さて、大祭司オニアスの敬虔さと悪に対する憎しみのゆえに、聖なる都に人々が平和に住み、律法がよく守られていたとき、
2 王たち自身もこの場所に敬意を表し、最高の贈り物で神殿を輝かせました。
3 アジアのセレウコスは、犠牲の奉仕に属するすべての費用を自分の収入で賄えるほどです。
4 ところが、神殿の総督となったベニヤミン族のシモンの一人が、町の混乱について大祭司と喧嘩した。
5 そして、オニアスに勝つことができなかったので、彼を当時ケロスリアとフェニキアの総督であったトラセアスの子アポロニウスに引き入れた。
6 そして、エルサレムの宝庫には無限の金が詰まっているので、いけにえの勘定に関係のない彼らの富は数え切れないほどあり、すべてを王のものにすることは可能である、と告げた。 手。
7 さて、アポロニウスが王のところに来て、告げられたお金を見せると、王は財務官ヘリオドロスを選び、そのお金を持ってくるよう命じて彼を遣わした。
8 それでヘリオドロスはすぐに旅に出た。 セロシリアとフェニキアの都市を訪問するという名目でしたが、まさに王の目的を果たすためでした。
9 そして、彼がエルサレムに来て、町の大祭司から丁寧なもてなしを受けたとき、彼はそのお金についてどのような情報が与えられたかを話し、なぜ来たのかを宣言し、これらのことが本当にそうなのかどうか尋ねた。
10 そこで大祭司は、やもめや父のいない子供たちの救済のためにこれほどのお金が積み立てられていると告げた。

11 そして、その一部は、あの邪悪なシモンが誤解したようなものではなく、非常に威厳のある人であるトビアスの子ヒルカノスのものでした。その総額は、銀四百タラント、金二百タラントでした。
12 そして、その場所の神聖さ、そして全世界に名誉を与えられる神殿の威厳と不可侵の神聖さのためにそれを犯した彼らにそのような悪事が行われることはまったく不可能であるということも。
13 しかし、ヘリオドロスは、王から与えられた戒めなので、どんな意味であっても、それは王の宝物庫に納めなければならない、と言った。
14 それで、彼は指定した日に、この問題を命令するために入った。そのため、町全体に小さな苦しみが起こった。
15 しかし祭司たちは、祭司服を着て祭壇の前にひれ伏し、自分に与えられたものを守る律法を制定した彼に、それを守ると誓った者たちのために安全に保存されるようにと天に呼びかけた。
16 それで、大祭司の顔を直視した者がいたら、それは彼の心を傷つけたであろう。彼の顔色とその色の変化が、彼の心の内なる苦しみを明らかにしていたからである。
17 というのは、その人は体に対する恐怖と恐怖に圧倒されていたので、彼が今心にどれほどの悲しみを抱えているかが、彼を見ていた人々に明らかであったからである。
18 また、その場所が軽蔑されるようなものだったため、一般の嘆願を求めて家から群がって飛び出した者もいた。
19 そして、胸の下に荒布を着た女たちが街路にあふれ、閉じ込められていた処女たちは、ある者は門へ、ある者は城壁へ走り、またある者は窓の外を眺めた。
20 そして皆、天に向かって手をかざして祈った。
21 そのとき、あらゆる種類の群衆が倒れ、大祭司がこれほど苦しみに陥っているのを見るのは、人にとって哀れなことだろう。
22 そこで彼らは、信頼して託した事柄を、それを託した者たちのために安全かつ確実に守ってくださるよう全能の主に祈りを求めた。
23 それにもかかわらず、ヘリオドロスは命令されたことを実行した。
24 さて、彼が宝物庫の周りを警備していたとき、霊の主であり全権力の君である彼が大いなる幻影を起こしたので、彼と一緒に入ろうと思っていたすべての人々は神の力に驚いた。 そして気を失い、とても怖くなった。
25 そこに、ひどい乗り手を乗せた馬が現れ、非常にきれいな覆いで飾られ、激しく走り、前足でヘリオドロスを殴りつけた。そして、馬に乗っている彼は完全に馬具を身に着けているように見えたからである。 金。
26 さらに、ほかに二人の若者が彼の前に現れた。彼らは力が際立っており、美しさにも優れ、服装も美しく、彼の両側に立っていた。 そして絶えず彼をむちで打って、たくさんのひどい縞模様を与えた。
27 そして、ヘリオドロスは突然地面に倒れ、辺りは大きな闇に包まれた。しかし、一緒にいた者たちが彼を抱き上げ、担架に置いた。
28 このようにして、最近、大きな列車に乗って、全警護とともに前記宝物庫にやって来た彼は、武器を手にすることもできずに運び出された。そして明らかに彼らは神の力を認めた。
29 というのは、彼は神の手によって打ち倒され、生きる望みもなく言葉を失って横たわっていたからである。
30 しかし彼らは、奇跡的にご自身の地位、つまり神殿を尊ばれた主を賛美した。 少し前までは恐怖と困難に満ちていましたが、全能の主が現れた時には、喜びと喜びで満たされました。
31 それから、ヘリオドロスの友人の何人かは、すぐにオニアスに、幽霊を手放す準備ができている彼の命を与えてくれる至高者に呼びかけてくださいと祈りました。
32 そこで大祭司は、ユダヤ人がヘリオドロスに対して何らかの裏切りを行ったのではないかと王が誤解するのではないかと疑い、その男の健康のために犠牲をささげた。
33 さて、大祭司が償いをしていると、同じ服を着た同じ若者たちが現れて、ヘリオドロスの横に立って、「大祭司オニアスに、彼のために主が命を与えてくださったことに大いに感謝しなさい。
34 そして、あなたが天から鞭打たれたのを見て、神の強大な力をすべての人に宣言しなさい。 そして、彼らがこれらの言葉を話したとき、彼らはもう現れませんでした。
35 そこでヘリオドロスは、主にいけにえを捧げ、自分の命を救ってくれた主に大きな誓いを立て、オニアスに挨拶した後、軍勢とともに王のもとに戻った。
36 それから彼は、自分の目で見た偉大な神の御業をすべての人に証言した。
37 そして、もう一度エルサレムに派遣されるのにふさわしい人物かもしれないヘリオドロス王はこう言った。
38 もしあなたに敵や裏切り者がいるなら、彼をそこに送りなさい。もし彼が命からがら逃げたとしても、あなたは彼を十分に鞭打たれるであろう。 神の特別な力があります。
39 天に住む者はその場所に目を留め、そこを守るからである。 そして、それを傷つけに来る者たちを殴り、滅ぼします。
40 そして、ヘリオドロスと国庫の管理に関することは、このようなことで起こった。

第 4 章

1 先ほど話したこのシモンは、お金と祖国を裏切った者であり、あたかもヘリオドロスを怖がらせ、これらの悪の首謀者であるかのように、オニアスを中傷しました。
2 このようにして、彼は市から恩恵を受け、自分の国に貢献し、法に非常に熱心だった彼を、大胆にも裏切り者と呼ぶのです。
3 しかし、彼らの憎しみが行き過ぎて、シモンの一派による殺人事件が起きたとき、
4 オニアスはこの争いの危険性を見て、アポロニウスがケロシリアとフェニキアの総督であったために激怒し、シモンの悪意を増大させた。
5 彼は同胞を告発するためではなく、公私を問わずすべての人に利益をもたらすことを求めて王のもとへ行きました。
6 というのは、王がそれを考慮しない限り、国家が沈黙を続け、シモンがその愚かさを放置することは不可能であると彼は悟ったからである。

7 しかしセレウコスの死後、エピファネスと呼ばれるアンティオコスが王国を占領したとき、オニアスの兄弟ヤソンは大祭司になるために暗躍した。
8 とりなしにより、銀三百三十タラントと、さらに八十タラントの収入を王に約束する。
9 これに加えて、彼は、運動の場を設け、異教徒のやり方で青少年を訓練する許可があれば、さらに百五十人を割り当てること、そしてエルサレムのことをローマ法王によって書くことを約束した。 アンティオキア人の名前。
10 王がそれを認め、その統治を手に入れると、彼はすぐに自分の国をギリシャ風に整えました。
11 そして、友好と援助を求めてローマに大使として赴いたエウポレモスの父ヨハネによって、ユダヤ人に特別に与えられた王室の特権を彼は取り上げた。 そして法に従っていた政府を打倒し、法に反する新たな慣習を持ち出した。
12 というのは、彼は喜んで塔の下に運動場を建て、主な若者たちを自分の服従下に置き、彼らに帽子をかぶらせたからである。
13 さて、ギリシャの流行は最高潮に達し、大祭司のいない不敬虔な惨めなヤソンの度を越えた冒涜によって、異教徒の風習が増大した。
14 祭司たちは、これ以上祭壇で仕える勇気がなかったのに、神殿を軽蔑し、いけにえを無視して、円盤投げの試合で呼び出された後、急いで運動の代わりに不法な手当に参加した。
15 先祖たちの栄誉にこだわらず、ギリシャ人の栄光を何よりも好みました。
16 そのために、痛ましい災難が彼らに降りかかったのである。彼らは彼らを敵であり復讐者とし、その慣習を熱心に守り、あらゆる面で彼らのようになりたいと願ったからである。
17 というのは、神の律法に反して悪を行うのは軽いことではありません。しかし、次の時がこれらのことを宣言するでしょう。
18 さて、信仰の年ごとに用いられる遊戯がティロスに保管されていたとき、王も立会われていたが、
19 この不親切なヤソンは、アンティオキア人であるエルサレムから特別な使者を送り、銀三百ドラクムをヘラクレスのいけにえに届けさせた。 他の料金のために予約されています。
20 それで、このお金は、送り主に関して、ヘラクレスのいけにえとして与えられた。 しかし、その持ち主のおかげで、それはガリーの製造に使用されました。
21 さて、メネステウスの子アポロニウスがプトレマイオス･フィロメトル王の戴冠式のためにエジプトに送られたとき、アンティオコスは、彼が自分の政務にあまり影響を与えていないことを理解し、自分の安全を確保した。そして、彼はヨッパに来て、そこからエルサレムに向かった。 :
22 そこで彼はヤソンと町から名誉ある歓迎を受け、たいまつに火をつけ、大歓声とともに連れてこられた。そしてその後、彼の軍勢とともにフェニキアへ向かった。
23 それから三年後、ヤソンは、前述のシモンの弟メネラオスを遣わして、王にお金を届けさせ、必要な事柄を王に念頭に置いてもらいました。
24 しかし、彼は王の御前に連れて行かれ、その力の輝かしい外観のために王を讃えられたとき、ヤソンよりも多い銀三百タラントを捧げて祭司の職を自分のものにした。
25 そこで彼は、大祭司の職に値するものを何も持たず、残忍な暴君の激怒と野蛮な獣の怒りを持って王の命令に従ってやって来た。
26 そこで、自分の兄弟を弱体化させ、他の兄弟に弱体化させたヤソンは、アンモン人の国に逃げざるを得ませんでした。
27 こうしてメネラオスは公国を手に入れた。しかし、王に約束した金銭については、城の支配者ソストラティスが要求したにもかかわらず、彼は良い注文を受け付けなかった。
28 というのは、彼には習慣の収集が伴うからである。そこで二人とも王の前に呼び出されました。
29 さてメネラオスは弟リュシマコスを自分の代わりに祭司職に残した。 そしてソストラトスはキプロスの総督であったクラテスを去った。
30 これらのことが行われている間に、タルソスとマロスの人々は、アンティオコスと呼ばれる王の側室に与えられたため、反乱を起こした。
31 そこで王は、権威あるアンドロニカスを副官に残して、事態を鎮めるために急いでやって来た。
32 さて、メネラオスは都合の良い時が来たと思い、神殿からいくつかの金の器を盗み出し、その一部をアンドロニカスに与え、一部をテュロスと周囲の都市に売りつけた。
33 オニアスは保証人のことを知ると、彼を叱責し、アンティオキアのそばにあるダフネの聖所に身を引いた。
34 そこでメネラオスはアンドロニカスを引き裂きながら、オニアスを自分の手に渡すように祈った。 説得されて、騙されてオニアスのもとにやって来た者は、誓いを持って右手を彼に差し出した。 そして、彼に疑われていたにも関わらず、聖域から出てくるよう説得したのに、彼は正義を無視してすぐに彼を黙らせた。
35 というのは、この男の不当な殺害に対して、ユダヤ人だけでなく多くの他の国民も大きな憤りを感じ、大いに悲しんだからである。
36 そして、王がキリキアあたりから戻ってきたとき、その市にいたユダヤ人たちと、その事実を憎む一部のギリシア人たちも、オニアスが理由もなく殺されたので不平を言った。
37 そこでアンティオコスは、死んだ彼の慎み深く慎み深い態度を見て、心から残念に思い、同情し、涙を流した。
38 そして怒りが燃え上がった彼は、すぐにアンドロニカスから紫色の服を奪い、衣服を引き裂き、町中を通って彼がオニアスに対して不敬虔を犯したまさにその場所まで連れて行き、そこで呪われた殺人者を殺した。 こうして主は彼に当然の報いを与えた。
39 さて、メネラオスの同意を得てリュシマコスによって多くの冒涜が市内で行われ、その成果が国外に広まったとき、群衆は集まってリュシマコスに対抗し、すでに多くの金の器が持ち去られていた。
40 そこで民衆が立ち上がり、怒りに満ちたので、リュシマコスは約三千人を武装させ、まず暴力をふるい始めた。 一人のアウラヌスがリーダーであり、はるかに年を経て、そして同様に愚かな男です。
41 そこで彼らはリュシマコスの試みを見て、ある者は石をつかみ、ある者は棍棒をつかみ、またある者は次に

手近にあった塵を一掴み取り、それらをまとめてリュシマコスと彼らに向かって投げつけた。
42 こうして彼らは多くの人を傷つけ、ある人は地面に叩きつけられ、全員逃亡を余儀なくされた。しかし、教会強盗自身に関しては、宝物庫の傍らで殺された。
43 したがって、これらの問題については、メネラオスに対して告発がなされた。
44 さて、王がテュロスに来たとき、元老院から派遣された三人の男が王の前で大義を訴えた。
45 しかし、メネラオスは有罪判決を受けており、ドリメネスの子プトレマイオスに、王をなだめてくれたら多額の金を与えると約束した。
46 そこでプトレマイオスが王をあるギャラリーに脇に連れて行き、いわば空中を奪うと、王の考えは変わった。
47 彼は、すべての悪事の原因はメネラオスであったにもかかわらず、告発から解放した。そして、もし彼らがその理由を話していれば、そう、スキタイ人の前で無罪と判断されるべきだったであろうあの哀れな男たちを、彼は死刑に処した。 。
48 このようにして、都のため、民のため、聖なる器のためにこの問題に従った者たちは、間もなく不当な懲罰を受けることになった。
49 それゆえ、テュロスの人々さえも、その邪悪な行為に対する憎悪の念に駆られて、彼らを名誉ある埋葬にしたのである。
50 こうして権力者たちの貪欲さによって、メネラオスは依然として権力の座に留まり、悪意は増大し、国民に対する大裏切り者となった。

第 5 章

1 ほぼ同じ頃、アンティオコスはエジプトへの 2 回目の航海の準備をしました。
2 それから、ほぼ四十日の間、市内全域で、金の布を着て槍で武装した、まるで兵士の一団のように騎兵たちが空を走っているのが目撃された。
3 そして、騎兵の軍隊が整列し、盾を振り、多数の槍を振り、剣を抜き、ダーツを投げ、金の装飾品とあらゆる種類の馬具を輝かせながら、互いに遭遇し、突進していた。
4 そこで人はみな、その御出現が良いものに変わるようにと祈った。
5 さて、あたかもアンティオコスが死んだかのような誤った噂が流れたとき、イアソンは少なくとも千人の兵を率いて、突然市を襲撃した。 そして城壁にいた人々は後退され、ついに都市は占領され、メネラオスは城に逃げ込んだ。
6 しかし、イアソンは、自分の国の国民の命を奪うことが自分にとって最も不幸な日になるとは考えず、容赦なく自国民を殺害した。 しかし彼らは自分の敵であり、彼が征服した同胞ではなかったと考えていた。
7 それにもかかわらず、彼は公国を手に入れることができず、ついに反逆の報いとして恥をかかされ、再びアンモン人の国に逃げました。
8 したがって、結局彼は不幸な帰国をすることになり、アラビア王アレタスの前で告発され、町から町へと逃亡し、すべての人から追われ、法律を無視する者として憎まれ、公然たる敵として忌まわしい目に遭った。 彼の国と同胞たちによって、彼はエジプトに追い出されました。
9 このようにして、多くの人を国から追い出した彼は、見知らぬ地で命を落とし、ラケデモン人のもとに隠居し、そこで自分の血族の理由から援助を求めようと考えた。
10 そして、埋葬されていない多くの人を追放した彼には、彼のために悲しむ人も、厳粛な葬儀もまったくなく、先祖の墓もありませんでした。
11 さて、このことが行われたことが王の車に来たとき、王はユダヤが反乱を起こしたと思い、激怒してエジプトから出て武力でその都を占領した。
12 そして、兵士たちに、出会った者を容赦せず、家々に上ってきた者を殺しなさいと命じた。
13 このようにして、老若男女が殺害され、男も女も子供も奪われ、処女と幼児が殺害された。
14 そして、丸三日のうちに四十千人が破壊され、そのうち四万人が紛争で殺された。 そして殺された者以上に売れた。
15 しかし、彼はこれに満足せず、全世界の最も聖なる神殿に入ろうとした。 法と祖国への裏切り者、メネラオスが彼の案内役となる。
16 そして、彼は汚れた手で聖なる器を奪い、他の王たちがその場所の増強と栄光と名誉のために捧げたものを汚れた手で引きずり下ろし、それらを手放した。
17 アンティオコスはあまりにも傲慢な思いをしていたので、しばらくの間、主がこの町に住む者たちの罪のために怒っておられるとは考えず、そのため彼の目はその場所に向けられなかった。
18 というのは、もし彼らが以前に多くの罪に包まれていなかったら、この男も、王セレウコスが宝物を見るために遣わしたヘリオドロスと同じように、来てすぐに鞭打たれ、僭越の立場から引き戻されたからである。
19 それにもかかわらず、神はその場所のために民を選んだのではなく、民のために遠く離れた場所を選んだのです。
20 したがって、この国に起こった逆境を彼らとともに経験したこの場所自体が、その後、主から送られた恩恵を伝えました。そして、それが全能者の怒りで見捨てられたように、再び偉大な主が、 和解されて、それは栄光のうちに設立されました。
21 それで、アンティオコスは神殿から千八百タラントを持ち出したとき、陸地を航行可能にし、海を徒歩で通行できるようにするというプライドを捨てて、大急ぎでアンティオキアに向けて出発した。
22 そして彼は総督たちに国民を悩ませた。エルサレムでは、フリギア人であり、自分をそこに置いた者よりも野蛮なやり方で、自分の国のためにピリポを送った。
23 そしてガリジムでは、アンドロニカス。 それに加えて、メネラオスは他の誰よりもひどい人物で、同胞であるユダヤ人に対して悪意を持って国民に対して厳しい態度をとっていました。
24 彼はまた、あの憎むべき首謀者アポロニウスに二万二千の軍勢を送り、最盛期の者たちを皆殺しにし、女や若い者たちを売り飛ばすよう命じた。
25 エルサレムに来て、平和を装いながら、安息日の聖日まで我慢し、聖日を守るユダヤ人たちを捕らえたとき、部下たちに武装するよう命じた。

26 こうして彼は、安息日の祝いに出かけた人々を皆殺しにし、武器を持って町中を走り回り、大勢の群衆を殺した。
27 しかし、ユダ･マカベウスは、ほかの九人、あるいはそのあたりで荒野に引きこもり、仲間とともに野獣のやり方に従って山に住み、汚染に加担しないように絶えず薬草を食べていた。

第 6 章

1 この後間もなく、王はアテネの老人を遣わして、ユダヤ人たちに先祖の律法から離れ、神の律法に従って生きないよう強制しました。
2 また、エルサレムの神殿も汚し、それをオリンピウスのユピテルの神殿と呼ぶこと。 そして、ジュピターのガリジムには、見知らぬ人々の守護者がいて、彼らがその場所に住むことを望んでいたのです。
3 この悪事の侵入は人々にとって痛ましいものであり、悲惨なものでした。
4 というのは、神殿は異邦人による暴動と大騒ぎで満ちており、異邦人たちは娼婦と戯れたり、聖所の巡回内で女性と関係を持ったり、さらには不法なものを持ち込んだりしたからである。
5 祭壇には律法で禁じられている冒涜的なものも置かれていました。
6 また、人が安息日や昔ながらの断食を守ることも、ユダヤ人であると公言することも合法ではありませんでした。
7 そして毎月、王の誕生の日に、彼らは激しい制約によって犠牲を食べるように連れてこられました。 そしてバッカスの断食が守られたとき、ユダヤ人はツタを携えてバッカスへの行列を余儀なくされた。
8 さらに、プトレマイオスの提案により、ユダヤ人に対して、異教徒の近隣都市にも布告が出され、ユダヤ人たちも同じ様式を守り、彼らの犠牲にあずかるよう命じられた。
9 異邦人の作法に従わない者は死刑に処せられる。 その時、人は現在の悲惨さを見たかもしれない。
10 というのは、子供たちに割礼を施した二人の女が連れて来られたからである。 彼らが公然と街中を引き回し、乳房をつかみながら、壁から真っ逆さまに投げ落としたのだ。
11 また、安息日を密かに守るために一緒に近くの洞窟に逃げ込んだ他の者たちも、フィリポに発見されて、全員まとめて焼かれました。
12 さて、私はこの本を読んでいる人たちに、これらの災いのために落胆せず、それらの懲罰が滅びのためではなく、私たちの国を懲らしめるためであると判断するように懇願します。
13 というのは、悪を行う者が長い間苦しみを受けることなく、ただちに罰せられるのは、神の偉大な善意のしるしだからである。
14 というのは、他の国々の場合とは異なり、主は彼らが罪を償うまで忍耐強く彼らを罰することを許され、私たちに対してそのようにしてくださるからです。
15 それは、彼が罪の頂点に達した後、私たちに復讐するためです。
16 それゆえ、神は決して私たちから憐れみを取り去られることはなく、たとえ逆境で罰を与えても、それでもなお、ご自分の民を見捨てることは決してありません。
17 しかし、私たちが話したこの言葉は、私たちに対する警告とさせてください。 それでは、この問題をいくつかの言葉で宣言しましょう。
18 主要な書記官の一人であるエレアザルは、年老いていて、恵まれた顔立ちをしていたが、口を開けて豚の肉を食べることを強いられていた。
19 しかし彼は、そのような忌まわしいものに染まって生きるよりは、むしろ輝かしく死ぬことを選び、それを吐き出し、自らその苦しみに身を投じた。
20 命への愛を味わうには法的に許されないような事柄に対して断固として立ち向かうのは、彼らが来るのに当然のことであった。
21 しかし、その邪悪な宴の責任者らは、その男と昔からの知り合いだったので、彼をわきに連れて行き、合法的に使用できるような自分の食料の肉を持ってきて、あたかも彼が使っているかのように作るように要求した。王が命じた犠牲から取った肉を食べました。
22 そうすることで彼は死から救われ、彼らとの古い友情が好意を寄せられるようになるためである。
23 しかし彼は、年齢が上がるにつれて、自分の昔の優秀さ、そしてその白髪の頭の名誉、そして子供から受けた最も正直な教育、あるいはむしろ制定された聖なる律法について、慎重に考え始めた。 神が与えたものであるから、彼はそれに応じて答え、すぐに墓に送るよう彼らに望んだ。
24 というのは、もう私たちの年齢ではないからだ、と彼は言った。それは、多くの若者が、エレアザルが四十歳と十歳で、今では奇妙な宗教に入っているのではないかと思うかもしれないからである。
25 それで、彼らは私の偽善を通して、少しでも少しでも長く生きたいと願っているのですが、私に騙されるはずです、そして私は私の老年に汚点を付け、それを忌まわしいものにします。
26 というのは、当分の間、私は人々の懲罰から救われるべきであるが、それでも私は、生きている者も死んだ者も、全能者の御手から逃れるべきではない。
27 そこで、私は今、この人生を男らしく変えて、年齢に応じた自分を見せようと思います。
28 そして、若くして名誉ある聖なる律法のために進んで勇敢に死ぬという注目に値する模範を残してください。そして、彼がこれらの言葉を言うと、すぐに苦しみに行きました。
29 彼を導いて善意を変えさせた者たちは、その前に彼を少しだけ憎しみにさらした。というのは、彼らが考えていたように、前述の演説は絶望的な心から出たものだったからである。
30 しかし、縞模様を負って死のうとしていたとき、彼はうめき声を上げて言った、「私が死から救われたかもしれないのに、今は殴られて体の痛みに耐えているということは、神聖な知識をお持ちの主に明らかです」：しかし、私は彼を恐れているので、心の中ではこれらのことに耐えることに十分満足しています。
31 こうしてこの男は、その死を高貴な勇気の模範として、そして若者たちだけでなく国民全体に美徳の記念として残して死んだ。

第 7 章

1 また、七人の兄弟が母親とともに捕らえられ、法律に反して豚の肉を味わうよう王によって強制され、むち打ちと鞭で拷問を受けた。
2 しかし、最初に話した者の一人はこう言った、「あなたは私たちについて何を聞きたいですか、あるいは知りたいのですか」。 私たちは先祖たちの法に背くのではなく、死ぬ覚悟ができています。
3 それで、王は激怒して、鍋と大釜を熱くするように命じました。
4 それが熱くなって、彼は、残りの兄弟と母親が見守る中、最初に話した自分の舌を切り落とし、体の最大限の部分を切り落とすように命令した。
5 さて、こうして彼が家族全員に重傷を負わせたとき、彼はまだ生きている彼に、火にくべてフライパンで揚げるように命じた。そして、鍋の蒸気がかなりの空間に分散したので、彼らは一つのことを勧めた。 もう一人は母親と一緒に男らしく死に、こう言いました。
6 彼らの面と向かって証言したモーセが歌の中でこう宣言したように、主なる神はわたしたちを見つめ、実際、わたしたちのうちに慰めを与えてくださる、こう言った。
7 それで、最初の人がこの数の後で死んだとき、彼らは彼をあざけりの家畜にするために二番目の人を連れてきました、そして彼らは彼の頭の皮を髪の毛で剥がしたとき、彼らは彼に尋ねました、「あなたがずっと罰される前に食べますか？」 あなたの体のあらゆる部分は？
8 しかし、彼は自分の言葉で答えて、「いいえ」と言った。したがって、前者が受けたように、次の苦しみも順番に受けるのである。
9 そして、彼が最後の息を呑んだとき、彼は言った、「あなたは激怒のように私たちをこの命から連れ出しますが、世の王は、ご自分の律法のために死んだ私たちを永遠の命によみがえらせてくださいます。」
10 彼の後に、三人目が嘲笑の種を作りました。そして、要求されると、彼は舌を出しました、そしてすぐにそれは正しくなり、男らしく手を差し出しました。
11 そして勇気を持って言いました、「これは私が天から持ってきたものです。 そして彼の法律を私は軽蔑します。 そして彼からまたそれらを受け取ることを願っています。
12 王も、王と一緒にいた者たちも、若者の勇気に驚嘆したほどであった。なぜなら、彼は苦痛など何一つ考えなかったからだ。
13 さて、この人も死んだとき、彼らは同じように四人目を拷問し、引き裂いた。
14 それで、彼は死を覚悟したとき、こう言った、「人によって殺されたのだから、神によって再びよみがえらせてくださるという神からの希望を求めるのは良いことだ。あなたには、命への復活はないでしょう。」
15 その後、彼らは五人目も連れて来て、彼を引き裂いた。
16 それから彼は王の方を見て言った、「あなたは人々を支配する力を持っています。あなたは堕落する者です。あなたは望むことを行います。」 しかし、私たちの国が神から見捨てられたとは考えないでください。
17 しかし、しばらく留まって、彼の偉大な力を見よ、彼があなたとあなたの子孫をどのように苦しめるのか。
18 彼の後に、六人目も連れて来たが、六人目は死を覚悟して言った、「理由もなく騙されないでください。私たちは神に対して罪を犯して、自分でこのような目に遭っているのです。ですから、私たちに驚くべきことが行われるのです。」
19 しかし、神に敵対する者は、罰を受けずに逃げられるなどと考えてはならない。
20 しかし、母親は何よりも素晴らしく、名誉ある記憶に値する人でした。なぜなら、彼女は七人の息子が一日のうちに殺されるのを見たとき、主にあって抱いていた希望のゆえに、勇敢にそれを耐えたのです。
21 そうです、彼女は勇敢な精神に満ちて、自分の言葉で彼ら一人一人に勧めました。 そして、男らしいお腹で女らしい考えをかき立てて、彼女は彼らに言った、
22 あなたがたが、どのようにしてわたしの胎に来たのか、わたしにはわかりません。わたしはあなたに息も命も与えなかったし、あなたがた一人一人の体を形作ったのもわたしではありません。
23 しかし、間違いなく、人間の世代を形成し、万物の始まりを発見した世界の創造者は、あなたが今、自分自身を神の法に従っていないと考えているので、ご自身の慈悲によってあなたに再び息と命を与えてくださいます。酒。
24 さて、アンティオコスは、自分が軽蔑されていると思い、それが非難の言葉ではないかと疑ったが、末っ子がまだ生きていたのに、言葉で勧めただけでなく、必ず彼を金持ちにして幸せにすると誓いを立てた。 男、もし彼が先祖の法から離れようとするならば。 そして彼は彼を友人として扱い、物事に関して彼を信頼するだろうとも言いました。
25 しかし、若者が決して言うことを聞き入れなかったので、王は母親に電話して、若者に命を救うよう助言するよう勧めました。
26 そして、彼が多くの言葉で彼女を励ましたとき、彼女は息子に助言すると約束した。
27 しかし彼女は、彼に向かって身をかがめ、冷酷な暴君を嘲笑しながら、自分の田舎の言葉でこのような様子を語った。 ああ、わが子よ、あなたを私の胎内で九ヶ月産み、あなたに三年間を与え、あなたに栄養を与え、あなたをこの年齢まで育て、教育の困難に耐えた私を憐れんでください。
28 わが子よ、あなたにお願いします。天と地とそこにあるすべてのものを見て、神がそれらを、存在しないものから造られたと考えてください。 そして人類も同様に造られました。
29 この拷問者を恐れるな。しかし、あなたの兄弟たちにふさわしい者として、あなたの死を受け入れてください。そうすれば、私はあなたの兄弟たちと慈悲をもってあなたを再び受け入れることができます。
30 彼女がまだこの言葉を話している間に、若者は言った、「誰を待っているのですか」。 私は王の命令には従いません。しかし、モーセによって私たちの先祖に与えられた律法の命令には従うつもりです。
31 そして、ヘブライ人に対するあらゆる悪戯の張本人であるあなたは、神の手を逃れることはできない。
32 なぜなら、私たちは罪のゆえに苦しんでいるからです。

33 そして、生ける主は、私たちの懲らしめと矯正のために、しばらくの間私たちに対して怒られますが、それでも彼は、ご自分の僕たちと再び一致するでしょう。
34 しかし、おお、神を知らない者よ、そして他のすべての最も邪悪な者よ、あなたは、理由もなく持ち上げられたり、不確実な希望に思い上がったりして、神の僕たちに対して手を上げたりしてはなりません。
35 あなたはまだ、すべてを見ておられる全能の神の裁きを逃れていないからです。
36 というのは、私たちの兄弟たちは、今は短い痛みを経験していますが、永遠の命という神の契約の下では死んでいます。しかし、あなたは神の裁きによって、その高ぶりに対して正当な罰を受けるでしょう。
37 しかし、私は兄弟として、祖先の法のために自分の体と命を捧げ、私たちの国に速やかに憐れみを与えてくださるよう神に祈ります。 そして、あなたが苦痛と災難を通して、彼だけが神であると告白するかもしれません。
38 そして、私と私の兄弟たちの中で、私たちの国に正当にもたらされる全能者の怒りが止まりますように。
39 王は激怒して、他の誰よりもひどい仕打ちをし、嘲笑されたことをひどく受け止めた。
40 こうしてこの人は、汚れることなく主に全幅の信頼を置いて死んだ。
41 息子たちの後、最後に母親が亡くなりました。
42 偶像崇拝の宴と極度の拷問について話したのはこれくらいにしておきます。

第 8 章

1 それから、ユダ･マカベウスと彼と一緒にいた人々はひそかに町に行き、親族を集めて、ユダヤ教を信仰している者たちを全員集めて、約六千人を集めた。
2 そして彼らは、すべての人から踏みにじられた民を見てくださるようにと主を呼び求めた。 そしてまた、不敬虔な人々によって冒涜された神殿を哀れみます。
3 そして、汚れがひどく、今にも地面と平らになる準備ができているこの街に、彼が憐れみを持ってくれるように。 そして彼に向かって叫ぶ血の音が聞こえ、
4 そして、無害な幼児に対する邪悪な虐殺と、彼の名に対して行われた冒涜を思い出してください。 そして悪者に対する憎しみを示すだろうと。
5 さて、マカベウスが自分の周りにいたとき、彼は異教徒たちに耐えることができなかった。主の怒りは慈悲に変わったからである。
6 それゆえ、彼は何も知らずにやって来て、町や都市を焼き払い、最も快適な場所を彼の手に入れ、少なからぬ数の敵を打ち負かして敗走させた。
7 しかし、彼は特にその夜をそのような秘密の試みのために利用し、その結果、彼の神聖さの成果があらゆる場所に広まりました。
8 そこでフィリポは、この人が少しずつ増え、物事がますます繁栄しているのを見て、ケロシリアとフェニキアの総督プトレマイオスに、王の政務にもっと援助を与えるよう手紙を書いた。
9 そこで彼は、特別な友人の一人であるパトロクロスの息子ニカノルをすぐに選び、全世代のユダヤ人を根絶するために、配下の全国民二万人以上とともに彼を派遣した。 そして彼と一緒に、戦争に関して素晴らしい経験を積んだゴルギアス大尉も加わった。
10 そこでニカノールは、王がローマ人に支払う二千タラントの貢物を賄うのと同じくらい、捕虜となったユダヤ人たちから大金をもうけようとした。
11 そこで彼は直ちに海岸の諸都市に人を送り、捕虜となったユダヤ人を売却することを宣言し、全能の神から彼に続く復讐を期待せずに、一タラントで四十頭の遺体を手に入れることを約束した。
12 さて、ニカノールが来るという知らせがユダにもたらされ、ユダは軍隊が近づいていることを一緒にいる者たちに伝えたとき、
13 恐れを抱き、神の正義を信じなかった人々は、逃げて逃げ出した。
14 またある者たちは残ったものをすべて売り払い、集まる前に邪悪なニカノルに売られた自分たちを救い出してくださるようにと主に願いました。
15 そして、彼ら自身のためではないとしても、彼が彼らの先祖たちと結んだ契約のため、そして彼らが呼ばれたその聖なる輝かしい御名のためです。
16 そこでマカベウスは部下を六千人に集め、敵の恐怖に襲われたり、不当に襲い掛かってくる異教徒の大群を恐れたりしないようにと勧めた。 しかし男らしく戦うためには、
17 そして、彼らが聖地に不当に加えた傷害と、彼らが嘲笑したこの都市の残酷な扱い、そしてまた彼らの先祖たちの政府の剥奪を彼らの目の前にさらすためである。
18 彼らは自分たちの武器と大胆さを信頼している、と彼は言った。 しかし、私たちが信頼しているのは、私たちに敵対する者たちをも、そして全世界をも、意のままに打ち倒すことができる全能の神です。
19 さらに彼は、センナケリブの下で百四十五千人が死んだとき、彼らの先祖たちが発見した助けとなるものと、彼らがどのように救出されたかを彼らに語った。
20 そこで彼は、バビロンでガラテヤ人たちと戦ったこと、彼らがマケドニア人四千人に対して、総勢八千人しか来なかったこと、そしてマケドニア人が当惑し、八千人が十二万人を滅ぼしたことを話した。 彼らは天からの助けのおかげで、大きな戦利品を受け取りました。
21 こうして彼は、この言葉で彼らを大胆にし、法と国のために死ぬ覚悟を決めたとき、軍隊を四つに分けた。
22 そして、自分の同胞たち、各隊の長たちと協力して、シモン、ヨセフ、ヨナタンと協力し、それぞれに千五百人を与えた。
23 また、彼はエレアザルに聖典を読むように命じた。 そして、彼らに「神の助け」という合言葉を与えた。 彼自身が最初のバンドを率いており、
24 そして全能の神の助けにより、彼らは敵のうち九千人以上を殺し、ニカノールの軍勢の大部分を負傷させ、負傷させたので、すべてを敗走させた。
25 そして、買いに来た彼らの金を奪って、遠くまで追いかけたが、時間がなかったので引き返した。
26 その日は安息日の前日だったので、彼らはもう追いかけようとはしなかった。
27 そこで彼らは武具を集めて敵を攻撃すると、安息日を中心に、その日まで彼らを守ってくださった主に多大な賛美と感謝を捧げたが、それが彼らに注がれる慈悲の始まりであった。

28 安息日の後、彼らは戦利品の一部を障害者、やもめ、孤児に与え、残りを自分たちと召使いたちに分け与えた。
29 このことが行われ、彼らは共通の願いをした後、慈悲深い主に、その僕たちと永遠に和解してくださるようにと願い求めた。
30 さらに、ティモテウスとバッキデスと一緒にいて、彼らと戦った者のうち、彼らは二万人以上を殺し、いとも簡単に高くて強い砦を手に入れ、さらに多くの戦利品を分け与え、障害者、孤児、未亡人、そう、 そして老人たちもまた、自分たちと同等の戦利品を持っている。
31 そして彼らは武具を集めて、それをすべて使いやすい場所に注意深く置き、戦利品の残りをエルサレムに持って行った。
32 彼らはまた、ティモテウスと一緒にいて、ユダヤ人たちをいろいろと悩ませていた悪人ピラルケスも殺した。
33 さらに、彼らが祖国での勝利のために祝宴を開いていたとき、聖門に火を放ったカリステネスを焼き、小さな家に逃げ込んだカリステネスを焼き殺した。 それで彼はその悪行に対して報奨金を受け取りました。
34 ユダヤ人を買うために千人の商人を連れてきたあの最も不親切なニカノルについて言えば、
35 彼は、彼が軽視していた彼らによって倒された主の助けによるものであった。 そして、輝かしい衣服を脱ぎ捨て、仲間を解散させて、逃亡者のように中部地方を通ってアンティオキアまで来たが、そのホストは滅ぼされたという非常に大きな不名誉を負った。
36 このようにして、エルサレムの捕虜を使ってローマ人に貢物を納めようと引き受けた彼は、ユダヤ人は神に自分たちのために戦ってもらっているので、ユダヤ人は律法に従っていたので傷つくことはないと海外に告げた。彼はそれらに与えた。

第 9 章

1 その頃、アンティオコスは不名誉を背負ってペルシアの国から出てきた。
2 彼はペルセポリスという町に入り、神殿を略奪し、町を占領しようとしていたからである。 すると、武器を持って身を守ろうと走った群衆が彼らを逃走させた。 そして、住民を追放されたアンティオコスが恥を忍んで戻ってきたことが起こった。
3 さて、彼がエクバタネに来たとき、ニカノルとティモテウスに何が起こったのかという知らせがもたらされた。
4 それから怒りがこみ上げてきます。 彼は、自分を逃亡させた者たちによって受けた屈辱をユダヤ人たちに復讐しようと考えた。 そこで、御者に、絶え間なく運転し、神の裁きが彼を追って旅に出るよう命じた。 なぜなら、彼はエルサレムに来て、そこをユダヤ人の共通の埋葬地にするだろうと、このように誇らしげに語っていたからである。
5 しかし、イスラエルの神、全能の主は、彼を不治の目に見えない疫病で打った。あるいは、彼がこれらの言葉を話したとたん、救いようのない腸の痛みが彼を襲い、内臓の痛みが襲った。
6 そして、それは最も正当なことです。なぜなら、彼は多くの奇妙な苦痛で他の人の腸を苦しめたからです。
7 それにもかかわらず、彼は自慢話がまったく止まらなかったが、依然として誇りに満ちていて、ユダヤ人に対する怒りで火を噴き、旅を急ぐように命令した。ところが、彼は激しく運ばれて戦車から落ちたことが判明した。 ; そのため、転倒して痛くなり、体のすべての部分が非常に痛くなりました。
8 こうして、少し前までは海の波を制し（人間の境地を超えて誇り高かった）、天秤で高い山々の重さを量ることができると考えていた者が、今では地面に投げ込まれ、馬車に乗せられて運ばれた。 、神の明白な力をすべての人に示します。
9 それで、この邪悪な男の体から虫が湧き上がり、彼が悲しみと苦痛の中で生きている間に、彼の肉は剥がれ落ち、彼の不潔な臭いが全軍に不快感を与えた。
10 そして、少し前までは天の星に手が届くと思っていたこの男は、その耐え難い悪臭を耐えることに耐えられる人は誰もいなかった。
11 それゆえ、ここで、彼は悩まされて、大きな誇りを捨て、神の鞭打ちによって自分自身を認識し始めたが、彼の苦痛は刻一刻と増大した。
12 そして、自分自身も自分の匂いに耐えられなくなったとき、こう言った、「神に従うのは当然のことであり、死ぬべき人間は、もし自分が神だったらと高慢に考えるべきではない」。
13 この悪人はまた、主に誓ったが、主は今はもう彼を憐れまないであろう、こう言った。
14 それは、彼が聖なる都（彼が急いでそこへ行って、地面を平らにし、共同の埋葬地にするためだった）を解放するためであった。
15 そして、埋葬されるほどではなく、家禽や野獣にむさぼり食われるために子供たちとともに追放されるべきだと彼が判断したユダヤ人たちに触れるように、彼は彼ら全員をアテネの市民と同等にしようとした。
16 そして、彼が以前に破壊していた聖なる神殿に、立派な贈り物を飾り、すべての聖なる器をさらに多くの物で修復し、自分の収入から犠牲に属する費用を賄った。
17 そうだ、そして彼自身もユダヤ人になって、人の住む全世界を旅して、神の力を宣言するであろう。
18 しかし、こうしたことにもかかわらず、彼の苦しみは止むことがなかった。神の正当な裁きが彼に臨んだからである。そこで、彼は自分の健康に絶望して、次のような嘆願書の形式を含む代筆された手紙をユダヤ人たちに書いた。
19 王であり総督であるアンティオコスは、善良なユダヤ人たちに国民の多大な喜びと健康と繁栄を願っています。
20 もしあなたとあなたの子供たちがうまくいき、あなたの事が満足するなら、私は天国に希望を持ち、神に大いに感謝します。
21 私に関して言えば、私は弱っていました。そうでなければ、ペルシャから戻ってきたあなたの名誉と善意を親切に思い出したでしょうし、重い病気にかかっていたので、全員の共通の安全に気を配る必要があると思いました。
22 自分の健康状態を信用していないわけではありませんが、この病気から逃れられるという大きな希望を持っています。
23 しかし、私の父でさえ、いつの時代に軍隊を率いて高地に行ったかを考えると、 後継者を任命し、
24 それは、たとえ予想に反して何かが起こったとしても、あるいは何か悲惨な知らせがもたらされたとしても、

国が誰に委ねられるのかを知っているこの地の人々が、困らないようにするためである。
25 もう一度、私の王国の国境や隣人である君主たちがどのように機会を待ち、何が起こるかを期待しているかを考えてみましょう。 私は息子のアンティオコスを王に任命しましたが、高地に行ったとき、私はしばしば彼をあなた方の多くに託し、推薦しました。 私はその人に次のように書きました。
26 そこで私は、私があなたがたに対して全般的に、また特別に与えた恩恵を覚えておいて、すべての人が今も私と私の息子に対して忠実であってくれるように、祈ってお願いします。
27 というのは、私の心を理解してくれた神は、好意的に、そして親切にあなたの欲望に応じてくださると私は確信しているからです。
28 このようにして、殺人者であり冒涜者は、他の人々を懇願したとき、最も悲惨な苦しみを受けて、山中の見知らぬ国で惨めな死を遂げた。
29 そこで、彼と一緒に育てられたピリポも遺体を運び去ったが、彼もまたアンティオコスの子を恐れてエジプトに入り、プトレマイオス･フィロメトルのもとへ行った。

第 10 章

1 さて、マカベウスとその一行は、主の導きのもと、神殿と都市を回復した。
2 しかし、異教徒たちが外の通りに建てた祭壇と礼拝堂は取り壊された。
3 そして神殿を清めた後、彼らは別の祭壇を作り、石を叩いてそこから火を出し、二年後にいけにえをささげ、香と灯火と聖パンを用意した。
4 それが終わると、彼らはひれ伏し、もうこのような困難に遭わないように主に祈りました。 しかし、もし彼らが彼に対してこれ以上罪を犯したなら、彼自身が慈悲をもって彼らを懲らしめ、彼らが冒涜的で野蛮な国々に引き渡されないようにするためである。
5 さて、異邦人たちが神殿を汚したその同じ日に、それは再び清められた、それはカスレウである同じ月の五日と二十日であった。
6 そして、彼らは、つい最近、山や巣穴を獣のようにさまよっていたとき、幕屋の祭りを行っていたことを思い出しながら、幕屋の祭りのように、喜んで八日間を過ごした。
7 そこで彼らは、枝、美しい大枝、ヤシの木を裸にし、彼の場所を清めるのに大きな成功をもたらした詩篇を彼に向かって歌いました。
8 彼らはまた、共通の法と布告によって、ユダヤ人の全国民が毎年その日を守ることを定めた。
9 そして、これがエピファネスと呼ばれるアンティオコスの最後となった。
10 さて、私たちはこの邪悪な男の息子であるアンティオコス･エウパトルの行為を宣言し、戦争の災難を簡潔にまとめます。
11 それで彼は王位についたとき、一人のリュシアスを自分の領土の政務に任命し、彼をケロシリアとフェニキアの総督に任命した。
12 というのは、マクロンと呼ばれたプトレマイオスは、むしろユダヤ人に対して行われた悪事に対して正義を行うことを選択し、ユダヤ人との平和を継続しようと努めたからである。
13 そこで、ユーパトルの前で王の友人として非難され、彼がピロメトルが約束したキプロス島を離れ、アンティオコス･エピファネスに向けて出発したため、一言一句裏切り者呼ばわりされ、自分が名誉ある立場にないのを見て非常に落胆した。、毒を盛って亡くなったという。
14 しかし、ゴルギアスが船倉の総督だったとき、彼は兵士を雇い、ユダヤ人との継続的な戦争を煽った。
15 こうしてイドマ人は、最も有利な船倉を手に入れて、ユダヤ人を占領し続け、エルサレムから追放された人々を受け入れて、戦争を煽り始めた。
16 それから、マカベウスと一緒にいた人々は、神に助けてくださるようにと願い求めた。 そこで彼らはイドメア人の要塞に暴力をふるって突進した。
17 そして彼らを激しく攻撃して船倉を勝ち取り、城壁で戦ったすべての者を遠ざけ、彼らの手に落ちたすべての者を殺し、少なくとも二万人を殺した。
18 そして、九千人を下らない者たちが、包囲を維持するのに便利なありとあらゆる物を持って、非常に堅固な二つの城に一緒に逃げ込んだので、
19 マカベウスは、シモンとヨセフ、そしてザアカイと、彼らを包囲するのに十分な自分と一緒にいた者たちを残して、自分の助けをもっと必要とする場所へ去った。
20 さて、シモンと一緒にいた者たちは、貪欲に導かれて、城にいる者たちを通して金をせびられ、七万ドラクムを奪って、その中の何人かを逃がした。
21 しかし、マカベウスに何が行われたかを知らされると、彼は民の総督たちを集めて、彼らが金のために同胞を売り、敵を解放して彼らと戦わせたとして彼らを非難した。
22 そこで彼は、裏切り者とみなされた者たちを殺し、ただちに二つの城を占領した。
23 そして手にしたすべてのもので武器をうまく使い、二万人以上の船倉を撃ち殺した。
24 さて、以前ユダヤ人が勝利したティモテウスが、大勢の外国軍とアジアから少なからぬ馬を集めて、武力でユダヤ人を奪おうとしているかのようにやって来た。
25 しかし、彼が近づくと、マカベウスと一緒にいた者たちは、振り向いて神に祈り、頭に土を振りかけ、腰に荒布を巻き、
26 そして祭壇の足元にひれ伏して、律法に定められているように、彼らを憐れみ、彼らの敵には敵となり、敵対者には敵となってくださるようにと懇願した。
27 そこで彼らは祈りの後、武器を取り、町からさらに進んで、敵に近づいても、自分たちだけで退却した。
28 さて、太陽が新たに昇ったので、彼らは両者を結びつけた。 一方は自分たちの美徳とともに、成功と勝利を誓うために主に拠り所を持ち、もう一方は怒りを戦いのリーダーにする
29 しかし、戦いが激しくなったとき、金の手綱を持ち、馬に乗った美しい五人の男が天から敵に現れ、そのうちの二人がユダヤ人を率い、
30 そこでマカベウスを彼らの間に連れて行き、四方八方に武器をかぶせて安全を確保したが、敵に向けて矢と稲妻を放ったため、彼らは目が見えなくなり、混乱に陥り、殺された。
31 そして、歩兵二万五百六百人が殺された。

32 ティモテウス自身はというと、ケレアスが総督を務めていたガウラと呼ばれる非常に強力な砦に逃げ込んだ。
33 しかし、マカベウスと一緒にいた者たちは、勇敢にも四日間かけて要塞を包囲した。
34 そして、中にいた者たちは、その場の強さに頼って、ひどく冒涜し、邪悪な言葉を発した。
35 それにもかかわらず、5 日目の初め、マカベウスの一行の若者 20 人が、冒涜に怒りを燃やし、男らしく城壁に突撃し、猛烈な勇気で出会った者全員を殺害した。
36 他の者たちも同様に彼らの後を追って登って行ったが、彼らは中にいた者たちと忙しそうに塔を焼き、焚き火で冒涜者たちを生きたまま焼いた。 他の者たちは門をこじ開け、残りの軍隊を受け入れて市を占領した。
37 そして、穴に隠れていたティモテウスとその兄弟ケレアスをアポロファネスとともに殺した。
38 このことが終わると、彼らは詩篇と感謝をもって、イスラエルのために偉大なことをしてくださった主を賛美し、勝利を与えてくださった。

第 11 章

1 その後間もなく、王の保護者であり、また政務を管理していたいとこでもあるリシアスは、行われたことに対して強い不快感を抱きました。
2 そして、すべての騎兵を率いて約四十万人を集めたとき、彼はユダヤ人たちに向かって来て、この町を異邦人の居住地にしようと考えた。
3 そして、異教徒の他の礼拝堂と同じように、神殿で利益を得て、大祭司の職を毎年売りに出そうとした。
4 神の力などまったく考えず、神の一万の歩兵、数千の騎兵、そして四十頭の象のことで思い上がっていた。
5 そこで彼はユダヤに来て、堅固な町ではあるがエルサレムからは五ハロンほど離れたベツスラに近づき、そこを徹底的に包囲した。
6 さて、マカベウスと一緒にいた人々は、彼が船倉を包囲したことを聞くと、彼らとすべての民は嘆きと涙を流して、イスラエルを救い出すために良い天使を送ってくださるようにと主に祈った。
7 それから、マカベウス自身がまず武器を取り、兄弟たちを助けるために彼と一緒に危険を冒すだろうと相手に勧めたので、彼らは喜んで出発した。
8 そして、彼らがエルサレムにいるとき、白い服を着た者が馬に乗って、金の鎧を振りながら彼らの前に現れた。
9 そこで彼らは一斉に慈悲深い神を賛美し、人間だけでなく、最も残酷な獣とも戦い、鉄の壁を突き破る覚悟ができたほどに気を引き締めた。
10 こうして彼らは、天からの助けを得て、鎧を着て前進した。主は彼らに憐れみを与えられたからである。
11 そして彼らは獅子のように敵に突撃を加えて、歩兵一万一千人と騎兵千六百人を殺し、残りの者はみな敗走させた。
12 彼らの多くも負傷しており、裸で逃げた。 そしてリシアス自身も恥ずべき姿で逃げ出したので、逃げ出した。
13 彼は理解力のある人であったので、自分が受けた損失を自分に投げかけ、全能の神がヘブライ人を助けてくださったのでヘブライ人たちに打ち勝つことはできないと考え、彼らに人を遣わしてこう言われた。
14 そして、すべての合理的な条件に同意するよう彼らを説得し、彼らの友人になる必要があると王を説得すると約束した。
15 それからマカベウスは、共通の利益に注意しながら、リシアスの望むすべてに同意した。 そしてマカベウスがユダヤ人に関してリュシアスに書いたものはすべて、王はそれを認めた。
16 というのは、リュシアスからユダヤ人たちに次のような趣旨の手紙が書かれていたからである。リュシアスはユダヤ人の人々に次のような挨拶を送っている。
17 あなたから遣わされたヨハネとアブソロムが、購読した嘆願書を私に届け、その内容の履行を求めました。
18 そこで、王に報告すべき事柄はすべて、わたしが宣言したので、王はできる限りのことを許可した。
19 それで、あなたがたが国家に対して忠誠を保つなら、今後も私はあなたがたのためになるように努めます。
20 しかし、私はこれらのことと、私から来た他のことの両方に、あなたがたと交わるように命じました。
21 さようなら。 百八十四年、ディオスコリンティウスの月の四二十日。
22 さて、王の手紙には次の言葉が含まれていた。アンティオコス王は弟リュシアスに挨拶を送る。
23 私たちの父は神々に移されたので、私たちの意志は、私たちの領域にいる彼らが静かに暮らし、誰もが自分の事に専念できるようにすることです。
24 また、ユダヤ人たちが異邦人の習慣に従うことを父に同意せず、むしろ自分たちの生活様式を守りたかったことも、私たちは理解しています。彼らが私たちに要求しているのは、そのような理由から、私たちは彼らにそうさせるべきだからです。 自分たちの法律に従って生きています。
25 それゆえ、私たちの心は、この国が安らかになることを願っており、彼らが先祖たちの習慣に従って暮らせるように、彼らの宮を回復することを決意したのである。
26 それゆえ、あなたは彼らを遣わして、彼らに平安を与えるのがよいでしょう。そうすれば、彼らが私たちの考えを認めたとき、彼らは十分に安心し、常に自分の事に元気に取り組むことができます。
27 そして、ユダヤ国民にあてた王の手紙は次のようなものだった。アンティオコス王は議会と残りのユダヤ人に挨拶を送る。
28 あなたがたがうまくいっているなら、私たちにも望みがあります。 私たちも健康です。
29 メネラオスは私たちに、あなたの望みは家に帰って自分の仕事をすることだと言いました。
30 それゆえ、出発する者たちはクサンティコスの三十日まで安全に行動できるであろう。
31 そしてユダヤ人は、以前と同じように、自分たちの種類の肉と法律を使用するであろう。 そして、彼らはいかなる方法であっても、無知に行われたことのために虐待されることはありません。
32 私はあなたを慰めるために、メネラオスも遣わしました。
33 さようなら。 百四十八年、クサンティカスの月の十五日。
34 ローマ人も次の言葉を含む手紙を彼らに送った。ローマ人の大使であるクイントゥス・メミウスとティトゥス・マンリウスがユダヤ人の人々に挨拶を送っている。

35 王のいとこリシアスがどんなことをしても、私たち
もそれを喜んでいます。
36 しかし、王に報告すべきと判断した事柄については、
あなたがたに知らせた後、すぐに王に送ってください。
そうすれば、私たちはあなたの都合のよいように宣言す
ることができます。私たちは今アンティオキアに行って
いるからです。
37 そこで、急いで何人かを送ってください。あなたの
考えを私たちが知ることができるようにするためです。
38 さようなら。 今年 1840 年、クサンティカスの月の
15 日。

第 12 章

1 これらの契約が結ばれたとき、リシアスは王のもとに
行き、ユダヤ人たちは家畜の飼育に取りかかった。
2 しかし、いくつかの場所の総督のうち、ティモテウス
とゲネウスの子アポロニウス、またヒエロニムスとデモ
フォン、そして彼らの傍らにキプロス総督ニカノルは、
彼らが静かに平和に暮らすことを許さなかった。
3 ヨッパの人たちも、そのような不敬虔な行いをしまし
た。彼らは、自分たちの中に住んでいたユダヤ人たちに、
まるで自分たちに危害を加えるつもりがなかったかのよ
うに、自分たちの用意した舟に妻や子供たちと一緒に乗
ってくれるように祈ったのです。
4 人々は、平和に暮らすことを望んでおり、何も疑って
いないとして、市の共通の法令に従ってそれを受け入れ
ました。しかし、彼らが深みに行ったとき、彼らのうち
の少なくとも 200 人が溺死しました。
5 ユダは同胞に対してこのような残虐行為が行われたこ
とを聞くと、一緒にいた者たちに準備を整えるよう命じ
た。
6 そして、正義の裁判官である神を呼び求めて、彼は同
胞を殺した者たちに立ち向かい、夜に避難所を焼き、小
舟に火を放ち、そこから逃げた者たちを殺した。
7 そして、町が閉ざされると、あたかもヨッパの町から
すべての者を根絶するために戻ってくるかのように、彼
は後ずさりした。
8 しかし、ヤムニ人も自分たちの中に住んでいたユダヤ
人たちに対して同じようにしようとしていると聞いて、
9 彼は夜にもヤムニ人に襲来し、避難所と水軍に火を放
ったので、火の光は二百四十ハロン離れたエルサレムに
も見えた。
10 さて、彼らがそこからティモテウスに向かって九ハ
ロン離れたところに、アラビア人の徒歩五千人と騎手五
百人以上が彼に襲い掛かってきた。
11 そこで、非常に激しい戦いが起こった。 しかし、神
の助けによりユダ側が勝利を収めました。 そのため、
アラビアの遊牧民は打ちのめされてユダに平和を求め、
牛を与えるか、そうでなければ彼を喜ばせると約束した。
12 そこでユダは、彼らが多くのことで利益を得るだろ
うと考えて、彼らに平和を与えた。すると彼らは握手を
し、天幕へ去った。
13 彼はまた、城壁で囲まれ、さまざまな国の人々が住
んでいた、ある堅固な都市に橋をかけようとした。 そ
の名前はカスピスでした。
14 しかし、その中にいた人々は、城壁の強さと食料の
備えにあまりにも信頼を置いていたため、ユダと一緒に
いた人々に対して失礼な態度を取り、叱責したり、のの
しったり、言ってはいけないような言葉を発したりした。
15 そこで、ユダは一行とともに、ヨシュアの時代に衝
角もエンジンも持たずにエリコを打ち破った偉大なる世
界の主を呼び求め、城壁に激しい攻撃を加えた。
16 そして、神の御心によってその都市を占領し、言葉
では言い表せないほどの虐殺を行ったので、そのすぐ近
くにある幅二ハロンの湖が満杯になり、血が流れている
のが見えたほどであった。
17 それから彼らはそこから七百五十ハロンを出発し、
トゥビエニと呼ばれるユダヤ人の所にあるカラカに来た。
18 しかし、ティモテウスに関しては、彼らは彼をその
場所に見つけられなかった。彼は何かを派遣する前に、
ある砦に非常に強力な守備隊を残してそこから出発した
からである。
19 ところが、マカベウスの指揮官であったドシテウス
とソシパテルが出陣し、ティモテウスが要塞に残した一
万人以上の兵を殺した。
20 そこでマカベウスは軍勢を隊列に分けて隊列の上に
配置し、歩兵十二万二千人と騎手二千五百人を率いてテ
ィモテウスに向かっていった。
21 さて、ティモテウスはユダが来ることを知ると、女
子供たちと他の荷物をカルニオンという要塞に送った。
街はどこも険しかったので包囲するのが難しく、来るの
も不安だったからである。 。
22 しかし、ユダの最初の隊が視界に入ったとき、敵た
ちは、万物を見通す者の出現に恐怖と恐怖に襲われて、
あちらこちらに逃げ、またある者があちらに逃げて、し
ばしば傷つけられた。 彼らは自分たちの兵士たちを殺
し、自分たちの剣の先で負傷させた。
23 ユダも非常に熱心に彼らを追跡し、それらの邪悪な
哀れな者たちを殺し、そのうち約三万人を殺した。
24 さらに、ティモテウス自身もドシテウスとソシパテ
ルの手に落ちたが、ティモテウスには命がけで釈放して
くれるよう巧みに懇願した。なぜなら彼には多くのユダ
ヤ人の両親と彼らの兄弟たちがいたからである。 彼を
死に至るまで考慮すべきではない。
25 そこで、イエスが多くの言葉を尽くして、彼らを傷
つけずに回復させると約束したとき、彼らは、契約に従
って、兄弟たちを救うために彼を行かせた。
26 それからマカベウスはカルニオンとアタルガティス
の神殿に進軍し、そこで五万二千人を殺害した。
27 そしてユダは彼らを敗走させて滅ぼした後、その軍
勢をエフロンの方へ退かせた。エフロンはリュシアスが
住んでいる強固な都市であり、多くの多様な国々が住ん
でおり、屈強な若者たちが城壁を守り、力強く守ってい
た。 エンジンとダーツの素晴らしい提供もありました。
28 しかし、ユダとその一行が、その力で敵の力を打ち
破る全能の神を呼び求めたとき、彼らは都を勝ち取り、
中にいた者二万五千人を殺した。
29 そこから彼らはエルサレムから六百ハロンの距離に
あるスキトポリスに向けて出発した。
30 しかし、そこに住んでいたユダヤ人たちが、スキト
ポリ人たちが彼らに愛情を持って接し、逆境のときに親
切に懇願してくれたと証言したとき、
31 彼らは感謝の意を表し、これからも仲良くしてほし
いと願ったので、数週間後の祭りが近づいていたので、
エルサレムに来た。

32 そして、ペンテコステと呼ばれる祭りの後、彼らはイドメアの総督ゴルギアスに対して出陣した。
33 その人は三千人の歩兵と四百人の騎兵を率いて出てきた。
34 そして、彼らが共に戦って、数人のユダヤ人が殺されたということがあった。
35 そのとき、バセノールの一行の一人で、馬に乗った屈強な男ドシテウスがまだゴルギアスの上にいて、上着を掴んで力ずくでゴルギアスを引き寄せた。 そして彼がその呪われた男を生け捕りにしようとしたとき、彼に向かって来たトラキアの騎手が彼の肩を打ち落としたので、ゴルギアスは魔理沙のところに逃げた。
36 さて、ゴルギアスとともにいた人々が長く戦い疲れ果てていたとき、ユダは主に、自分たちが彼らの助け手であり、戦いの指導者であることを示してくださるよう求めた。
37 そして、彼は自分の言葉で始め、大きな声で詩篇を歌い、何も知らずにゴルギアスの部下たちに突進し、彼らを敗走させた。
38 そこでユダは軍勢を集めてオドルムの町に入り、七日目が来ると、慣習に従って身を清め、同じ場所で安息日を守った。
39 そして翌日、いつものように、ユダとその一行は、殺された彼らの遺体を引き取り、親族とともに彼らの先祖の墓に埋葬するためにやって来た。
40 さて、殺されたすべての人の上着の下から、ヤムニ人の偶像に聖別されたものが見つかったが、これはユダヤ人に律法で禁じられていた。 そのとき、すべての人は、これが自分たちが殺された原因であることに気づきました。
41 そこで人々はみな、隠されていたものを開いてくださった正義の裁判官である主を賛美し、
42 わたしたちは祈りに専念し、犯した罪が完全に記憶から消え去りますようにと彼に懇願した。 さらに、あの高貴なユダは、殺された人々の罪のために起こった出来事を目の前で見たので、罪から身を守るように人々に勧めました。
43 そして、銀二千ドラクムを集めて全会を集めた後、罪のためのいけにえをささげるためにそれをエルサレムに送り、その中で復活を心に留めて非常によく誠実に行いました。
44 というのは、殺された者たちが再びよみがえることを彼が望んでいなかったとしたら、死者のために祈ることは不必要であり、無駄だったからです。
45 また、敬虔に死んだ人々に大きな恩恵が与えられていることを彼が認識したという点でも、それは神聖で良い考えでした。 そこで彼は死者たちが罪から救われるように和解をしました。

第 13 章

1 第百四十九年に、アンティオコス･エウパトルが強大な力を持ってユダヤに来ているとユダに告げられた。
2 そして、リュシアスが彼とともに彼の保護者であり、彼の政務を統治し、ギリシャ軍の歩兵百一万人、騎兵五千三百人、象二二十頭、戦車三百台を持っていた。 フック。
3 メネラオスも彼らに加わり、国を守るためではなく、自分が総督に任命されたと思っていたため、非常に冷静にアンティオコスを激励した。
4 しかし、王の中の王がアンティオコスの心をこの邪悪な悪者に対して動かしたので、リュシアスはこの男がすべての悪事の元凶であると王に告げ、王は彼をベレアに連れて行き、死刑に処すよう命じた。 マナーはそこにあります。
5 さて、その場所には、灰で満たされた高さ五十キュビトの塔があり、その塔の四方には丸い道具が灰の中に垂れ下がっていた。
6 そして、冒涜で有罪判決を受けた者、またはその他の重大な犯罪を犯した者は、すべての人が彼を死に追いやった。
7 あの悪人は、土に埋もれることもなく、このような死を遂げたのです。 そして最も正当なことは次のとおりです。
8 彼は、火と灰が聖なる祭壇の周りで多くの罪を犯したため、灰の中で死を迎えたからです。
9 さて、王は野蛮で傲慢な考えを持ってやって来て、父親の時代に行われたよりもはるかにひどいことをユダヤ人に行おうとしました。
10 ユダはこのことを悟り、群衆に夜も昼も主を呼び求めるように命じた。もし他の時があれば、今まさに彼らの法と国から追放されようとしている彼らを主が助けてくださるようにと。 そして聖なる神殿から：
11 そして、今でも少し元気になったばかりの民を、冒涜的な諸国民に服従させないためであった。
12 それで、彼らが皆一緒にこれを行い、泣きながら断食し、三日間地面に横たわって慈悲深い主を祈ったとき、ユダは彼らに勧めて、準備を整えるように命じた。
13 そこでユダは、長老たちと離れて、王の軍勢がユダヤに入って町を占領する前に、主の助けを得て出陣して戦いを試みようと決心した。
14 こうして彼は、すべてを世界の創造主に委ね、法律と神殿と都市と国と連邦のために、死ぬまで男らしく戦うよう兵士たちに勧めたとき、モーディンのそばで野営した。
15 そして、彼の周りにいた人々に、「勝利は神から出る」という合言葉を与えた。 彼は最も勇敢で選ばれた若者たちとともに夜に王の天幕に入り、野営地で約 4000 人の兵士と象の頭長を、彼に味方していたすべての人たちとともに殺した。
16 そしてついに彼らは陣営を恐怖と騒ぎで満たし、無事に出発した。
17 これは昼休みに行われた。主の御守りが彼を助けたからである。
18 さて、王はユダヤ人の男らしさを味わうと、政策によって支配権を握ろうとした。
19 そしてユダヤ人の本拠地であるベツスラに向かって進軍したが、彼は敗走して失敗し、部下たちを失った。
20 というのは、ユダはその中にいる人々に、必要なことを伝えていたからである。
21 しかし、ユダヤ人の陣営にいたロドコスはその秘密を敵に暴露した。 そこで彼は捜索され、捕らえられると牢屋に入れられた。
22 王はベツムで二度目に彼らと接待し、手を差し出し、彼らの手を取り、立ち去り、ユダと戦い、打ち負かされた。

23 アンティオキアでのことを残されたピリポが必死に折れ、困惑し、ユダヤ人たちを懇願し、服従し、すべての平等な条件を誓い、彼らに同意し、いけにえをささげ、神殿を敬い、ユダヤ人たちに親切に接したと聞いた。場所、
24 そしてマカベウスをよく受け入れ、彼をプトレマイスからゲルレニア人までの主要総督とした。
25 プトレマイス島に来た。そこの人々は契約のために悲しみました。 彼らは契約を無効にするという理由で襲撃したからである。
26 リュシアスは裁判の席に上がり、できる限り大義を弁護し、説得し、なだめて、彼らに大きな影響を与え、アンティオキアに戻った。 こうして、それは王の出入りに触れていきました。

第 14 章

1 3 年後、セレウコスの息子デメトリオスが強大な力と海軍を率いてトリポリスの安息所に入ってきたことをユダが知らされた。
2 彼は国を占領し、アンティオコスと彼の保護者リュシアスを殺した。
3 さて、あるアルキモは大祭司であったが、異邦人と交わっていた時代に、どうやっても自分を救うことはできず、もはや聖なる祭壇に近づくこともできないと考え、故意に身を汚した。
4 百一五十年目にデメトリオス王のところに来て、金の冠と棕櫚、そして神殿で厳かに使われていた大枝を差し出した。それでその日彼は平和を保った。
5 しかし、彼の愚かな事業を推進する機会を得たにもかかわらず、デメトリオスから相談を受け、ユダヤ人たちがどのような影響を受けているのか、また彼らの意図は何なのかと尋ねられたので、彼はそれに答えて次のように答えた。
6 彼がアシデ人と呼んだユダヤ人たち、その隊長はユダ・マカベウスであり、戦争を煽り、扇動的であり、残りの者たちを平和にさせようとはしない。
7 したがって、私は先祖の名誉、つまり大祭司職を剥奪されて、今ここに来ています。
8 まず第一に、私が王に関する事柄に対して抱いている偽りのない気遣いに心から感謝します。 そして第二に、そのためにさえ、私は同胞の利益を意図しています。なぜなら、私たちの国民全員が、前述の彼らに対する無分別な対応によって、少なからず悲惨な状況に陥っているからです。
9 それゆえ、王よ、これらのことはすべて御存じですので、あなたがすべての人に喜んで示される寛大さに従って、この国と、四方八方から迫られている我が国に気をつけてください。
10 ユダが生きている限り、国家が静かであることは不可能です。
11 このことはすぐに彼のことについては言われなくなりましたが、王の他の友人たちはユダに対して悪意を持ってデメトリオスをさらに激怒させました。
12 そしてすぐに、象の主人だったニカノルを呼び、ユダヤの総督に任命して送り出した。
13 ユダを殺し、彼と一緒にいた者たちを蹴散らし、アルキモを大神殿の大祭司にするよう命じた。
14 それから、ユダから逃れてきた異教徒たちは、ユダヤ人の害と災いが彼らの幸福になると考えて、群れでニカノルにやって来た。
15 さて、ユダヤ人たちはニカノルが来たことと、異教徒たちが彼らに敵対していることを聞くと、頭に土を投げ、永遠に自分の民を確立し、その臨在を現すことで自分の分を常に助けてくださる方に祈りをささげた。 。
16 それで、船長の命令で彼らはそこから直ちに出発し、デッサウの町に近づいた。
17 さて、ユダの弟シモンはニカノールとの戦いに加わったが、突然の敵の沈黙にいくらか当惑していた。
18 それにもかかわらず、ニカノールは、ユダと一緒にいた彼らの男らしさと、祖国のために戦わなければならなかった彼らの勇敢さを聞いて、この問題を剣で裁くことを望まなかった。
19 そこで彼は和平を結ぶためにポシドニウス、テオドトス、マッタティアスを遣わした。
20 それで、彼らがそれについて長い間助言を受け入れ、船長が群衆にそのことを知らせ、全員の気持ちが一つになったように見えたとき、彼らはその契約に同意した。
21 そして、彼らだけで集まる日を決めた。そして、その日が来て、彼らのどちらかのために便が用意されたとき、
22 ルダスは、敵が突然裏切り行為をしないよう、武装した人たちを便利な場所に配置し、平和的な会議を開催した。
23 さて、ニカノルはエルサレムに住んでいて、何も傷つけず、自分のところに群がってきた民を追い払った。
24 そして、彼はユダを自分の目から遠ざけようとはしませんでした。なぜなら、彼は心からこの人を愛しているからです。
25 イエスはまた、妻をめとって子供を産むようにと祈った。そこで彼は結婚し、静かに暮らし、この世の生活に加わった。
26 しかしアルキモスは、二人の間にあった愛を感じ、結ばれた契約を考慮してデメトリオスのところに来て、ニカノルは国家に対してあまり良い感情を抱いていない、と告げた。 それは、彼が自分の領土への裏切り者であるユダを王の後継者に任命したからである。
27 そこで王は激怒し、極悪人の告発に挑発されてニカノルに手紙を書き、契約に非常に不満であることを示し、急いでマカベウスを捕虜としてアンティオキアに送るよう命じた。
28 このことがニカノールの耳に入ると、彼は内心非常に当惑し、この男には何の落ち度もないので、合意された条項を無効にすべきだとひどく考えた。
29 しかし、王に対して何の取り決めもなかったので、王は方針に従ってこのことを達成するために時間を見ていた。
30 それにもかかわらず、マカベウスはニカノールが自分に対して無愛想になり始め、いつもより乱暴に懇願しているのを見て、そのような不機嫌な態度は良くないと悟り、少なからぬ部下を集めて撤退した。 ニカノール出身。
31 しかし、もう一人は、ユダの方針によって自分が著しく妨げられたことを知って、大聖なる神殿に入り、いつものようにいけにえをささげていた祭司たちに、その男を引き渡すように命じた。

32 そして、彼らが捜していたその人がどこにいるのか
分からないと確信したとき、
33 彼は神殿に向かって右手を伸ばし、こう誓った。
「もしあなたがたがわたしのユダを捕虜として救出して
くれないなら、わたしはこの神の神殿を地に平らにし、
祭壇を打ち破る。 そしてバッカスのために有名な神殿
を建てました。
34 これらの言葉を残して、彼は立ち去った。 それから
祭司たちは天に向かって手を上げ、かつて自分たちの国
の擁護者であった彼にこう祈りました。
35 万物の主よ、あなたは何も必要としない方ですが、
あなたの住まいの神殿が私たちの中にあることを喜んで
くださいました。
36 そこで今、すべての聖性の聖なる主よ、最近清めら
れたこの家を常に汚さないようにし、すべての不義の口
を止めてください。
37 さて、ニカノルに告発されたのは、エルサレムの長
老の一人で、同胞の恋人であり、非常に報告の良い人で、
その優しさからユダヤ人の父と呼ばれていたラジスとい
う人だった。
38 というのは、かつて異邦人と交わっていなかった時
代に、彼はユダヤ教の罪で告発され、ユダヤ人の宗教の
ために全力で大胆に自分の体と命を危険にさらしたから
である。
39 そこでニカノルは、ユダヤ人に対する憎しみを公言
しようとして、彼を捕らえるために五百人以上の兵を送
り込んだ。
40 というのは、彼は、自分を連れて行くことで、ユダ
ヤ人たちに大きな痛手を与えることになると考えたから
である。
41 さて、群衆が塔を奪い、外の扉に乱暴に押し入り、
火を持ってきて燃やせと叫んだとき、彼は四方八方から
取られる覚悟で剣に倒れた。
42 邪悪な者の手に渡って、高貴な生まれと思われない
ように虐待されるよりも、男らしく死ぬことを選択した。
43 しかし、群衆がドアの中になだれ込んできたので、
急いで一撃を逃したため、彼は大胆に壁に駆け寄り、最
も厚い人々の中に男らしく身を投げました。
44 しかし、彼らはすぐに反撃し、スペースができたの
で、彼は何もない場所の真ん中に倒れました。
45 それにもかかわらず、彼はまだ息が残っているうち
に、怒りに燃え上がって立ち上がった。 そして、彼の
血は水の噴出のように噴出し、彼の傷は深かったが、そ
れでも彼は群衆の真ん中を駆け抜けた。 そして切り立
った岩の上に立って、
46 血がすっかりなくなったので、彼は腸を摘出し、両
手でそれを群衆に投げかけ、命と霊の主に再び腸を回復
してくださるよう呼び求め、こうして死んだ。

第 15 章

1 しかしニカノルは、ユダとその一行がサマリア周辺の
強固な場所にいると聞いて、安息日に彼らに危険を及ぼ
すことはないと決心した。
2 それにもかかわらず、彼に同行することを余儀なくさ
れたユダヤ人たちは、「おお、そんなに残酷で野蛮に破
壊するのではなく、すべてのものを見ておられる方が他
のどの日よりも神聖に崇めておられるその日を尊重して
ください」と言った。
3 そこで、最も恩知らずな卑劣な男が、もし天に力ある
者がいるとしたら、その者が安息日を守るよう命じたの
ではないかと要求した。
4 そこで彼らが言った、「天には生ける力ある主がおら
れ、七日目を守るよう命じられたのです。
5 それからもう一人は言った、「そして私も地上では力
があるので、武器を取って王の仕事をするように命じま
す。」 しかし、彼は自分の邪悪な意志を実行しないよ
うにしました。
6 それでニカノールは、過度の誇りと傲慢さのあまり、
ユダと彼と一緒にいた人々に対する勝利の記念碑を公に
建てることを決心しました。
7 しかしマカベウスは、主が助けてくださるという確信
を常に持っていました。
8 そこで彼は、異教徒が自分たちに向かって来るのを恐
れるのではなく、かつて天から受けた助けを思い出し、
今は全能者から与えられるであろう勝利と援助を期待す
るようにと民に勧めた。
9 そこでイエスは、律法と預言者から彼らを慰め、彼ら
が以前に勝利した戦いを思い出させて、彼らをさらに元
気づけた。
10 そして、イエスは彼らの心をかき乱した後、彼らに
非難を与え、異教徒の虚偽と誓いの違反をすべて示した。
11 こうして彼は、盾や槍で守るというよりも、心地よ
い良い言葉で彼ら一人一人を武装させた。そしてその上
で、あたかも本当にそのとおりであるかのように、信じ
られるに値する夢を彼らに語った。 彼らは少なからず
喜ぶだろう。
12 そしてこれが彼のビジョンでした。大祭司であり、
高潔で善良な人であったオニアスは、会話において尊敬
を抱き、穏やかな態度で、言葉遣いも上手で、子供から
すべての徳の点で手を上げて訓練しました。 ユダヤ人
全員のために祈りました。
13 これが行われると、同じように、白髪を生やした、
非常に輝かしい、素晴らしく優れた威厳のある男が現れ
た。
14 そこでオニアスは答えて言った、「この人は兄弟た
ちの恋人で、民のために、そして聖なる都のためによく
祈っている、つまり神の預言者エレミヤです。」
15 そこでエレミヤは右手を差し出して金の剣をユダに
与え、それを与える際にこう言った。
16 神からの贈り物であるこの聖なる剣を取りなさい。
これで敵を傷つけるであろう。
17 こうして、彼らはユダの言葉が非常に優れており、
勇気を奮い立たせ、若者たちの心を励ますことができた
ので、大いに慰められ、キャンプを張るのではなく、勇
敢に彼らに立ち向かうことを決心した。 都市も聖域も
神殿も危険にさらされていたので、男らしく紛争によっ
てこの問題を裁こうとした。
18 というのは、彼らが自分たちの妻や子供たち、兄弟
たち、そして家族たちに払った配慮は、彼らにとっては
ほとんど考慮されていなかったからです。しかし、最大
かつ主要な恐怖は、聖なる神殿に対するものでした。
19 また、市内にいた人々も、海外での紛争に心配して
いたため、少しも気を配らなかった。
20 さて、皆が試練がどうなるかを見たとき、敵はすで
に近づいており、軍隊は整列し、獣は都合よく配置され、
騎兵は翼を整えた。

21 マカベウスは、群衆の到来と、様々な鎧の準備と獣の猛々しさを見て、勝利は武力によってではなく、手段によってもたらされることを知って、手を天に向かって伸ばし、奇跡を起こされる主を呼び求めた。 それは彼にとって良いことのように思えます、彼はそれを価値のある人に与えます。
22 そこで、彼は祈りの中で次のように言いました。 主よ、あなたはユダヤの王エゼキアスの時代に御使いを遣わし、センナケリブの軍勢で百四十五千人を殺しました。
23 それゆえ、天の主よ、今、私たちの前に善良な天使を送ってください。彼らに恐れと恐れを与えてください。
24 そして、あなたの御腕の力によって、あなたの聖なる民に向かって冒涜する者たちを恐怖に打ちのめしてください。 そして彼はこう締めくくった。
25 それから、ニカノルと彼と一緒にいた人々がラッパと歌を持って前に出た。
26 しかし、ユダとその一行は、祈願と祈りをもって敵に立ち向かいました。
27 こうして彼らは、手で戦い、心で神に祈って、少なくとも三万五千人を殺した。神の出現によって彼らは大いに励まされたからである。
28 さて、戦いが終わり、喜び勇んで再び戻ってきたとき、彼らはニカノルが馬具に付けられたまま死んでいることを知った。
29 そこで彼らは、大声で叫び、自分たちの言葉で全能者を賛美した。
30 そして、身も心も国民の主な擁護者であり、生涯を通じて同胞への愛を持ち続けたユダは、ニカノルの頭と肩を持った手を打ち落とし、彼らをエルサレムに連れて行くように命じた。 。
31 それで、イエスはそこにいて、国民の者たちを集め、祭司たちを祭壇の前に立たせ、塔にいる者たちを呼び寄せた。
32 そして、卑劣なニカノールの頭と、全能者の聖なる神殿に向けて誇らしげに自慢したあの冒涜者の手を見せた。
33 そして、その不敬虔なニカノルの舌を切り取ると、それを鳥たちに分けて与え、彼の狂気の報いを神殿の前に吊るすように命じた。
34 そこで人は皆、天に向かって栄光の主をほめたたえ、こう言った、「自分の場所を汚さない人は幸いであるように。」
35 彼はニカノールの首も塔に掛けたが、これは主のすべての助けに対する明白なしるしである。
36 そして彼らは、いかなる場合にもその日を厳粛に過ぎないよう、マルドケウスの日の前日であるシリア語でアダルと呼ばれる第 12 の月の 13 日を祝うよう、共通の法令で全員に命じた。
37 ニカノールの場合も同様であった。そしてその時からヘブライ人がこの都市を支配下に置いた。 そしてここで終わりにします。
38 そして、もし私がうまくやったなら、そしてこの物語にぴったりなように、それは私が望んでいたものです。しかし、もし巧妙かつ卑劣であれば、それは私が達成することができたものです。
39 ワインや水を単独で飲むのは害があるのと同じです。そして、水と混ざり合ったワインが心地よく、味を喜ばせるように、それでも、緻密に構成されたスピーチは、物語を読む人の耳を楽しませます。 そしてここで終わりとなるだろう。